

Flat Panel Display

取扱説明書	JP
Operating Instructions	GB
Mode d'emploi	FR
Bedienungsanleitung	DE
Manual de instrucciones	ES
Istruzioni per l'uso	IT
使用说明书	CS

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示してあります。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

PFM-50C1/50C1E

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることもあり、危険です。

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

5(JP) ~ 7(JP)ページの注意事項をよくお読みください。

8(JP)ページの「本機の性能を保持するために」もあわせてお読みください。

定期点検をする

5年に1度は、内部の点検を、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください(有料)。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

- ・ 煙が出たら
- ・ 異常な音、においがしたら
- ・ 内部に水、異物が入ったら
- ・ 製品を落としたりキャビネットを破損したときは



- ① ディスプレイの電源を切る。
- ② ディスプレイの電源コードや接続コードを抜く。
- ③ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口連絡する。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながる可能性があります。



注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



注意



火災



感電



破裂



高温

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



水ぬれ禁止



ぬれ手禁止

行為を指示する記号



指示



プラグをコンセントから抜く



アース線を接続せよ

目次

⚠ 警告	5 (JP)
⚠ 注意	6 (JP)
電池についての安全上のご注意	7 (JP)
万一、異常が起きたら	7 (JP)
本機の性能を保持するために	8 (JP)
特長	8 (JP)
各部の名称と働き	9 (JP)
前面 / 後面 / 右側面	9 (JP)
⏻ (スタンバイ) スイッチ / インジケータ部	10 (JP)
コントロールボタン部 (上面)	10 (JP)
入出力端子パネル	11 (JP)
リモートコマンダー RM-971	13 (JP)
使用上のご注意	15 (JP)
接続	16 (JP)
スピーカーの接続	16 (JP)
電源コードの接続	16 (JP)
接続例	16 (JP)
フェライトコアの取り付け	19 (JP)
メニューで行う調整と設定	21 (JP)
メニューの操作	21 (JP)
メニューの説明	21 (JP)
画像を見る	29 (JP)
入力信号を切り換える	29 (JP)
入力信号と画質モードの情報とディスプレイの設定状態の 表示について	30 (JP)
画面表示を切り換える	32 (JP)
節電モード機能	32 (JP)
画質を選ぶ	33 (JP)
画質を調整する	33 (JP)
コントラスト、明るさ、色の濃さ、色あいなどを調整する	33 (JP)
調整した画質を出荷時の設定値に戻す	36 (JP)
映像を拡大する	37 (JP)
オートワイドを設定する	37 (JP)
ワイド切換を設定する	38 (JP)
画像のサイズや位置を調整する	39 (JP)
画像のサイズを変える	39 (JP)
画像の位置を調整する	39 (JP)
ドット位相を調整する	40 (JP)
設定した画面モードメニューの調整値を出荷時の設定値に戻す ..	40 (JP)
音質を調整する	41 (JP)

高音、低音、バランスなどを調整する	41 (JP)
調整した音質を出荷時の設定に戻す	41 (JP)
メモリーを使う	42 (JP)
現在の調整状態をメモリーする	42 (JP)
メモリーした設定値を呼び出す	43 (JP)
メニュー表示の言語を選ぶ	43 (JP)
スクリーンセーバー機能	44 (JP)
画像の色あいを反転させる	44 (JP)
画像の表示位置を自動的に変える	45 (JP)
カラーマトリクスを調整する	45 (JP)
電源のオン/オフを自動的に制御する(タイマー機能).....	46 (JP)
スリープ機能	46 (JP)
時刻を設定する	47 (JP)
時計を表示する	47 (JP)
電源タイマー機能	47 (JP)
パワーセービング機能	48 (JP)
自己診断機能	49 (JP)
特定のディスプレイをリモートコマンダーで操作する	49 (JP)
他のリモートコマンダーから操作する	51 (JP)
仕様	52 (JP)
保証書とアフターサービス	54 (JP)



下記の注意を守らないと、
火災や感電により死亡や大けがに
つながることがあります。

規定の電源電圧で使う



指示

この取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。
規定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。

油煙、湯気、湿気、ほこりの多い場所では設置・使用しない



禁止

上記のような場所に設置すると、火災や感電の原因となります。
この取扱説明書に記されている仕様条件以外の環境での使用は、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない



分解禁止

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

電源コードを傷つけない



禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。次の項目を必ずお守りください。

- ・ 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- ・ 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・ 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・ 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- ・ 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

内部に水や異物をいれない



禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

設置・取り付けは確実に



指示

不確実な設置を行うと、ディスプレイが転倒してけがや火災・感電の原因となります。設置の際は、以下の注意事項を必ずお守りください。
壁面・天井・台上への設置、または転倒防止のためディスプレイを固定するなど、特殊な設置を行う場合には、必ずお買い上げ店に工事を依頼してください。

衝撃を与えない



禁止

本機の前面にガラスを使用しているため、衝撃を与えるとガラスが割れ、けがの原因となることがあります。

安全アースを接続する

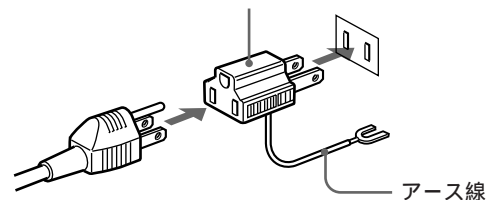


アース線を接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。次の方法でアースを接続してください。

- ・ 電源コンセントが3極の場合
付属の電源コードを使用することで、安全アースが接続されます。
- ・ 電源コンセントが2極の場合
付属の3極 2極の変換プラグアダプターを使用し、変換プラグアダプターから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続する。
- ・ アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。
また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

変換プラグアダプター



不明な点はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

高温部分に触れない



高温

機器を使用中または使用直後には上面や側面が高温になっているため、やけどをすることがあります。
使用中および電源を切るまたはスタンバイした状態から10分間は触れないでください。

⚠ 注意

下記の注意を守らないと、**けが**をしたり周辺の物品に**損害**を与えることがあります。

重いディスプレイは、2人以上で開梱・運搬する



注意

ディスプレイは見た目より重量があります。開梱・運搬は、けがや事故を防ぐため、必ず2人以上で行ってください。1人で行うと腰を痛めることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない



ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

水のある場所に設置しない



水ぬれ禁止

水が入ったり、ぬれたりすると、火災や感電の原因となることがあります。雨天や降雪中、海岸や水辺での使用は特にご注意ください。

不安定な場所に設置しない



禁止

ぐらついた台の上や傾いたところなどに設置すると、ディスプレイが落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。また、設置・取り付け場所の強度を充分にお確かめください。

接続の際は電源を切る



注意

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う



注意

付属の、あるいは取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。他の電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

通風孔をふさがない



禁止

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。風通しをよくするために次の項目をお守りください。

- ・使用上のご注意の項（15（JP）ページ）に従って設置してください。
- ・密閉された狭い場所に押し込めない。
- ・毛足の長い敷物（じゅうたんや布団など）の上に設置しない。
- ・布などで包まない。
- ・おお向けや横倒し、逆さまにしない。

設置時には必ずスタンドを使用する



注意

ディスプレイの転倒によるけがや事故を防ぐため、台・床などに本機を据え置きする際は、別売りの専用スタンド（SU-P50C）をご使用ください。

設置時には転倒防止処置を行う



注意

本機を据え置きする際には天災・地震など万一の場合に備え、転倒防止処置を行ってください。

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない



禁止

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。真夏の、窓を閉め切った自動車内では50℃を超えることがありますので、ご注意ください。

電源コードのプラグおよびコネクタは突き当たるまで差し込む



指示

まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く



プラグをコンセントから抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

移動させるときは電源コード、接続ケーブルを抜く



注意

接続したまま移動させると、電源コードや接続ケーブルが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。

定期的に内部の掃除を依頼する



注意

長い間、掃除をしないと内部にホコリがたまり、火災や感電の原因となることがあります。1年に1度は、内部の掃除をお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください（有料）。特に、湿気の多くなる梅雨の前に掃除をすると、より効果的です。

人が通行するような場所に置かない コード類は正しく配置する



注意

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、十分注意して接続・配置してください。

コード類は正しく配置する



指示

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。十分注意して接続・配置してください。

電池についての安全上のご注意

ここでは、本機での使用が可能なソニー製アルカリ乾電池についての注意事項を記載しています。

万一、異常が起きたら

- | | | |
|------------------|---|---|
| 電池の液が目に入ったら | ➔ | すぐにきれいな水で洗い、ただちに医師の治療を受ける。 |
| 煙が出たら | ➔ | ① 電池を抜く。
② お買い上げ店またはソニーのサービス窓口につながる。 |
| 電池の液が皮膚や衣服に付いたら | ➔ | すぐにきれいな水で洗い流す。 |
| バッテリー収納部内で液が漏れたら | ➔ | よくふき取ってから、新しい電池を入れる。 |



警告

下記の注意事項を守らないと、**破裂・発熱・液漏れ**により、**死亡や大けが**などの人身事故になることがあります。



破裂

- ・乾電池は充電しない。
- ・火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- ・指定された種類の電池を使用する。



高温



注意

下記の注意事項を守らないと、**破裂・液漏れ**により、**けが**をしたり周辺の商品に**損害**を与えたりすることがあります。



破裂

- ・投げつけない。
- ・使用推奨期限内（乾電池に記載）の乾電池を使用する。
- ・⊕と⊖の向きを正しく入れる。
- ・電池を入れたまま長期間放置しない。
- ・新しい電池と使用した電池は混ぜて使わない。
- ・種類の違う電池を混ぜて使わない。
- ・水や海水につけたり濡らしたりしない。

本機の性能を保持するために

PDP(プラズマディスプレイパネル)について

- 画面上に赤や青、緑の点(輝点)が消えなかったり、黒い点(滅点)がある場合がありますが、故障ではありません。パネルは非常に精密な技術で作られており、ごくわずかの画素欠けや常に点灯する画素がある場合があります。ご了承ください。また、画面の上下端および左右端に常に光らない部分がありますが、故障ではありません。また、すじ状の色むらや明るさのムラが見える場合もありますが、故障ではありません。
- 高山地など気圧の低いところで使用するとプラズマディスプレイパネルの構造上、ブーン音(バズ音)が発生することがあります。
- 一定時間同じ画像を表示し続けると、部分的に残像や焼きつきが発生することがあります。
一定時間画像を表示し続けるときは、画面の焼きつきを避けるため、本機のスクリーンセーバー機能を使用し、全画面表示してください。焼きつきが発生したときは、本機のスクリーンセーバー機能を使用するか、ビデオソフトなどの動きのある映像を映してください。焼きつきが軽度のときは、次第に目立たなくなりますが、一度発生した焼きつきは、完全には消えません。
- 本機はプラズマディスプレイの保護のため電源ON/STANDBYに時間をかけており、その間リモコンおよび本体の操作ボタンによる操作を受け付けません。約8秒待ってから操作をしてください。

設置についてのご注意

他の機器と組み合わせて設置する場合、各機器の設置位置などにより、リモートコマンドの誤動作や映像の乱れ、雑音などが起こることがあります。この場合は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

クリーニングについて

- お手入れの際は、必ず本機の電源を切って電源プラグを抜いてください。
- シンナーやベンジンなどの薬品類は、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがありますので、使用しないでください。

ディスプレイのガラス表面の取扱いについてのご注意

ディスプレイの表面は傷つきやすいので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶついたりしないでください。

1)Windowsは米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

特長

本機は、PDP(プラズマディスプレイパネル)を使用した薄型50型の16:9マルチメディア対応ディスプレイです。

高画質・高精細

PFM-50C1は水平1365ドット×垂直768ラインの高精細プラズマディスプレイパネルを採用。さまざまな映像ソースを高画質で再現します。

ソニー独自のデジタル高画質回路

すべての映像信号をデジタルで一貫処理することにより高品質でリアルな画像を再現します。

オーディオアンプ・スピーカーアウトを搭載

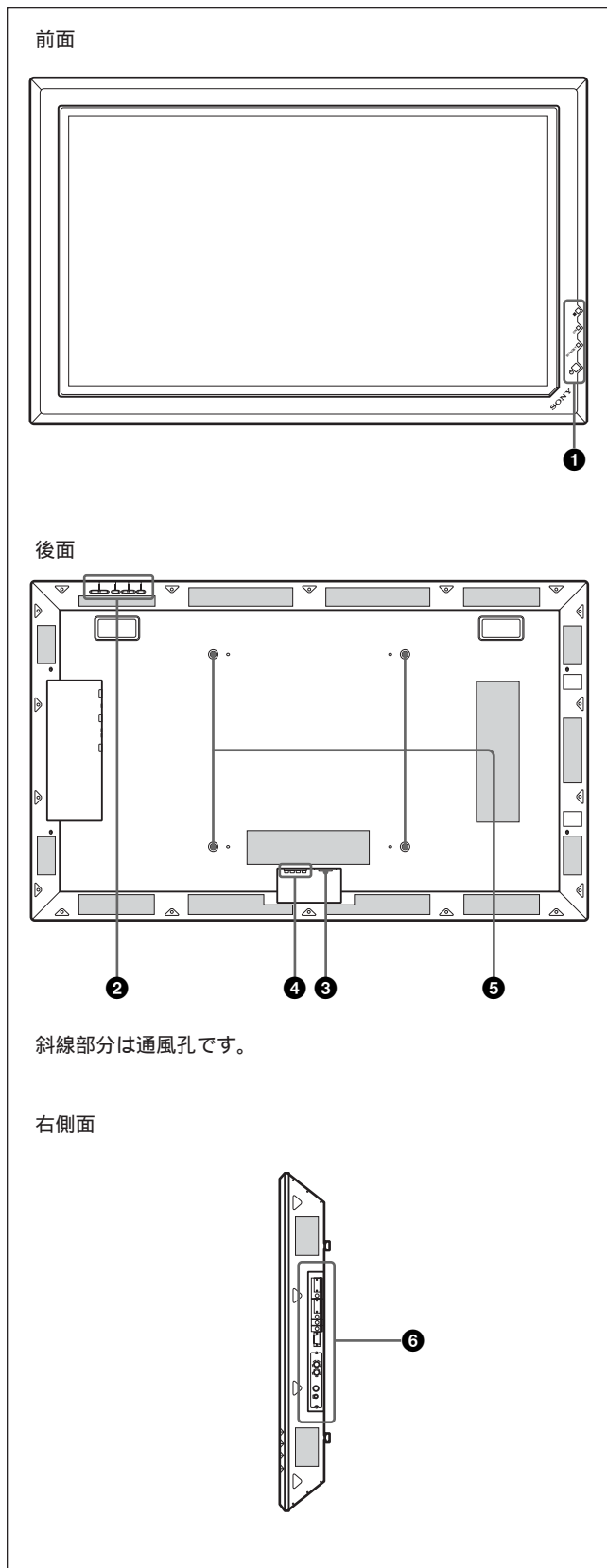
高音質デジタルアンプを搭載。オプションスピーカーとの組み合わせにより効果的なプレゼンテーションを実現します。

その他の特長

- シネマドライブモード機能搭載。
- スピーカーアウト(L/R)を装備。
- コントロールS(IN/OUT)を装備。
- RGB/コンポーネント入力2系統の映像入力を装備。
- 3値同期信号付きHDTV信号の表示が可能。
- NTSC方式のY/C分離に3次元くし形フィルターを使用。
- PAL方式のY/C分離にデジタルくし形フィルターを使用。
- 入力信号を自動判別して表示。
- Windows[®]95/98 PnP(プラグアンドプレイ)に対応。
- ダイナミックピクチャー機能搭載。
- 様々な調整や設定が可能なオンスクリーンメニュー機能。
- メニュー画面の表示を英語、ドイツ語、フランス語、イタリア語、スペイン語、日本語の6言語から選択可能。
- 画像サイズ、位置の微調整が可能。
- 20種類の画像設定をメモリー可能。
- IDコントロール機能搭載。
- 自己診断機能搭載。
- REMOTE(RS-232C)用端子(D-sub 9ピン)を装備。
- SIRCS方式のソニーのリモートコマンド(ワイヤレス)を使用可能。
- 縦設置のレイアウトも可能。
- クローズドキャプションデコーダー搭載。
- 残像を低減させるスクリーンセーバー機能搭載。
- オプションスロットを装備し、将来の機能拡張に対応しています。オプションアダプターはスロットイン方式で、迅速かつ手軽にシステムアップが可能です。

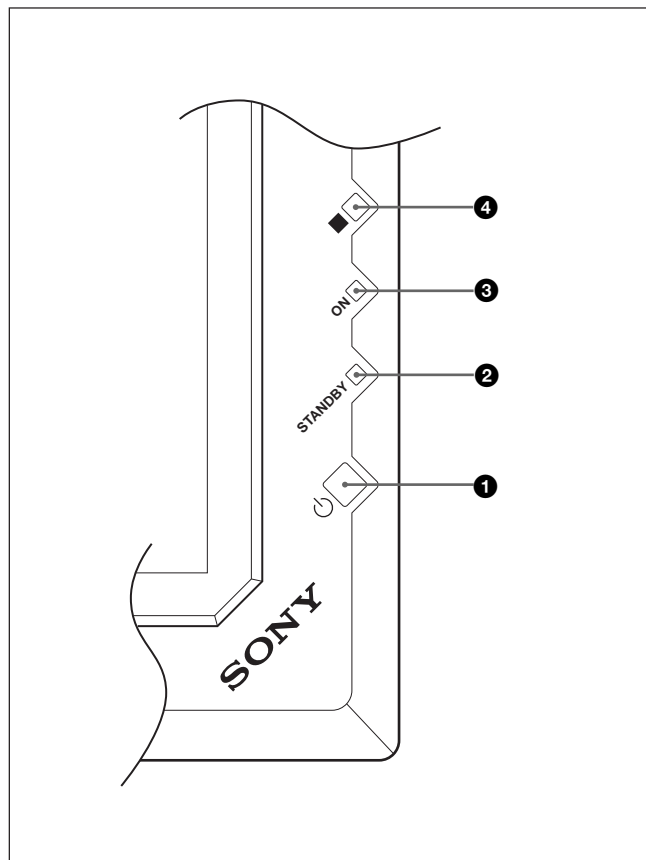
各部の名称と働き

前面 / 後面 / 右側面



- ① ⏻(スタンバイ)スイッチ / インジケータ部
⏻(スタンバイ)スイッチ / インジケータ部について詳しくは、「⏻(スタンバイ)スイッチ / インジケータ部」(10(JP)ページ)をご覧ください。
- ② コントロールボタン部
コントロールボタン部について詳しくは、「コントロールボタン部(上面)」(10(JP)ページ)をご覧ください。
- ③ ~AC IN(電源入力)端子
付属の電源コードを使用して、AC電源に接続します。AC電源に接続すると、STANDBYインジケータが赤色に点灯し、本機はスタンバイ状態になります。
電源コードの接続について詳しくは、「電源コードの接続」(16(JP)ページ)をご覧ください。
- ④ SPEAKER(スピーカー)端子
スピーカー(別売り)を接続すると、画面に表示されている信号の音声を出力します。
- ⑤ スタンド取り付け用フック
スタンド(別売り)を取り付けるときに使用します。
- ⑥ 入出力端子パネル
入出力端子パネルについて詳しくは、「入出力端子パネル」(11(JP)ページ)をご覧ください。

⏻(スタンバイ)スイッチ/インジケータ部



① ⏻(スタンバイ)スイッチ

スイッチを押すと電源が入り、もう一度押すとスタンバイ状態に戻ります。

【ご注意】

パネル保護のため電源ON/STANDBYに時間がかかります。約8秒待ってから押してください。

② STANDBY(スタンバイ)インジケータ

スタンバイ状態のとき、インジケータが赤色に点灯します。

STANDBYインジケータが点滅したときは、「自己診断機能」(49(JP)ページ)をご覧ください。

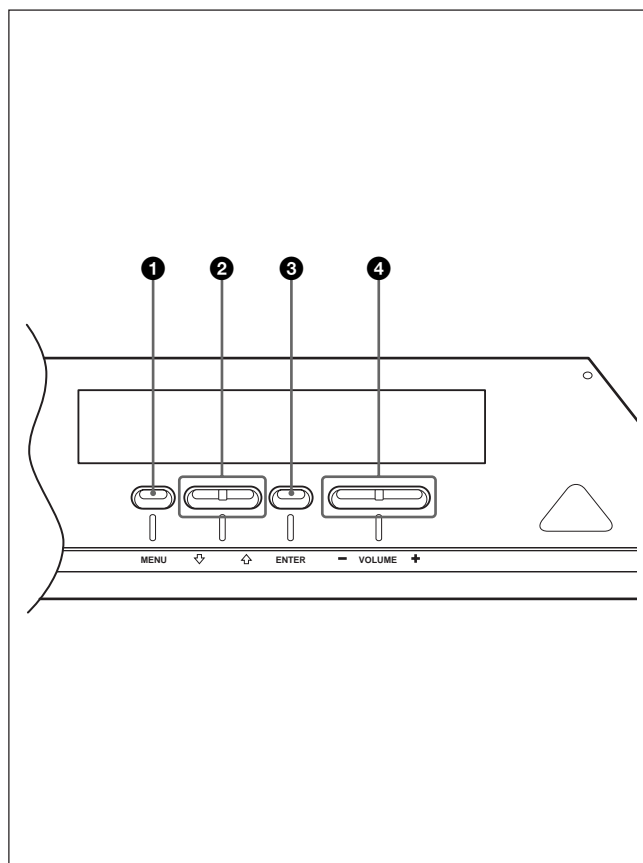
③ ON(電源)インジケータ

モニターの電源を入れると緑色に点灯します。

④ リモコン受光部

ここでリモートコマンドの信号を受けます。

コントロールボタン部(上面)



① MENU(メニュー)ボタン

画面にメニューを出すときに使用します。もう一度押すとメニューが消えます。

MENUボタンをメニューの階層を戻すために使用する場合は、「初期設定メニュー」(26(JP)ページ)をご覧ください。

② ↓/↑ボタン

メニューでカーソル(黄色)を移動するとき、また数値などを設定するときに使用します。

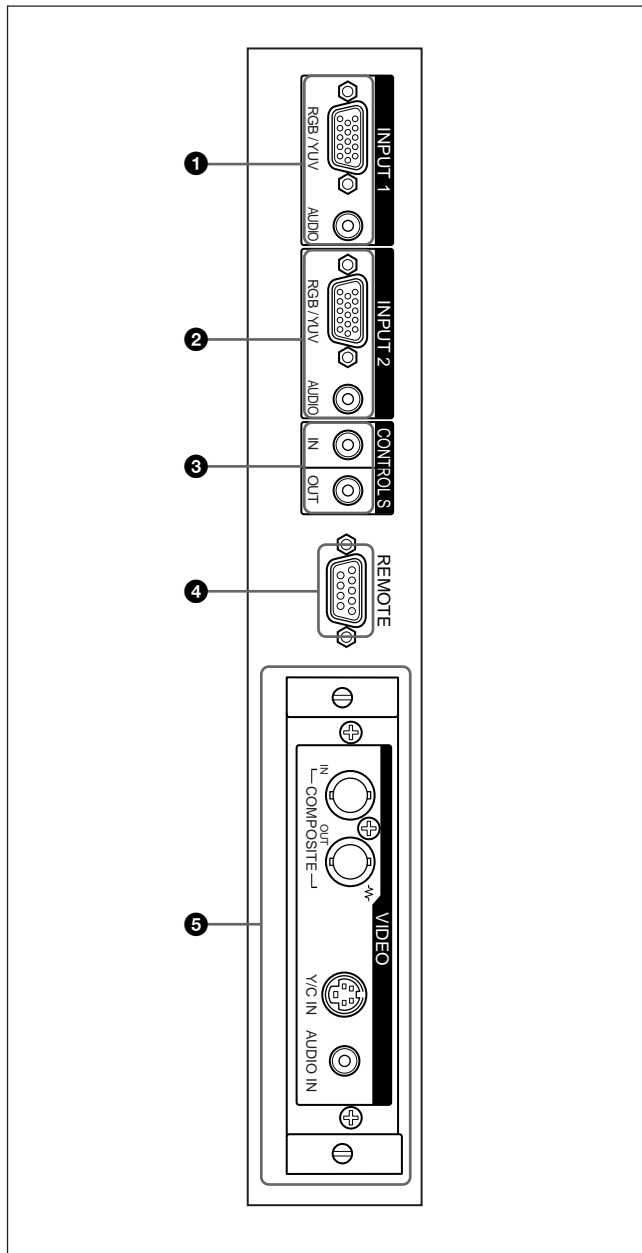
③ ENTER(エンター)ボタン

メニューで、設定した内容を確定するときに使用します。

④ VOLUME +/- (音量調節)ボタン

スピーカーから出る音量を調節するときに使用します。

入出力端子パネル



① INPUT 1 (RGB/YUV信号入力) 端子

RGB/YUV (RGB/YUV 信号入力) 端子 (D-sub 15 ピン) :
 コンピューターや映像機器のアナログRGB信号出力端子またはコンポーネント(YUV)信号出力端子と接続します。
 また、HDアナログコンポーネント(Y/Pb/Pr)信号の入力にも対応しています。コンポーネント信号をこの端子へ入力する場合には、53(JP)ページのピン配列を参考にしてください。

AUDIO (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック) : 音声信号を入力します。コンピューターや映像機器の音声出力端子と接続します。

② INPUT 2 (RGB/YUV信号入力) 端子

RGB/YUV (RGB/YUV 信号入力) 端子 (D-sub 15 ピン) :
 コンピューターや映像機器のアナログRGB信号出力端子またはコンポーネント(YUV)信号出力端子と接続します。
 また、HDアナログコンポーネント(Y/Pb/Pr)信号の入力にも対応しています。コンポーネント信号をこの端子へ入力する場合には、53(JP)ページのピン配列を参考にしてください。

AUDIO (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック) : 音声信号を入力します。コンピューターや映像機器の音声出力端子と接続します。

③ CONTROL S IN/OUT (コントロールS信号入力/出力) 端子 (ミニジャック)

ビデオ機器や他のディスプレイのCONTROL S端子に接続すると、1台のリモートコマンダーで複数の機器を操作できます。本機のCONTROL S OUT端子と他の機器のCONTROL S IN端子、本機のCONTROL S IN端子と他の機器のCONTROL S OUT端子を接続します。

④ REMOTE (RS-232C) 用端子 (D-sub 9ピン)

RS-232Cプロトコルを使って、リモートコントロールを行う場合に接続します。詳しくはお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

⑤ VIDEO (ビデオ) 端子

COMPOSITE IN (映像入力) 端子 (BNC型) : 映像機器のコンポジット信号出力端子と接続します。

COMPOSITE OUT (映像出力) 端子 (BNC型) : 映像機器のコンポジット信号入力端子と接続します。

Y/C IN (映像入力) 端子 (ミニDIN4ピン) : 映像機器のY/C出力端子と接続します。

AUDIO IN (音声入力) 端子 (ステレオミニジャック) : 音声信号を入力します。映像機器の音声出力端子と接続します。

INPUT1またはINPUT2のRGB/YUV信号入力端子に接続するケーブルは、下記のフェライトコア付ケーブルが相当品を使用してください。

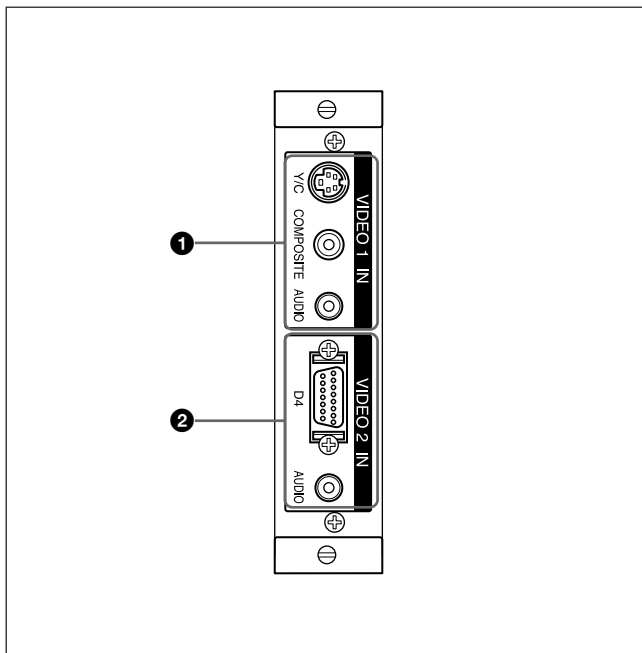
SMF-400 (DSub-DSub 15P)

MTSB-15HKBB-18 (DSub 15P-BNC)

D4端子アダプターBKM-B11(別売り)

VIDEO端子部はスロットイン方式になっていて、別売りのD4端子アダプターBKM-B11に付け換えることができます。

BKM-B11の取り付けかたについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



① VIDEO1 IN(ビデオ1入力)端子

Y/C(映像入力)端子(ミニDIN4ピン):映像機器のY/C出力端子と接続します。

COMPOSITE(映像入力)端子(ピンジャック):映像機器のコンポジット信号出力端子と接続します。

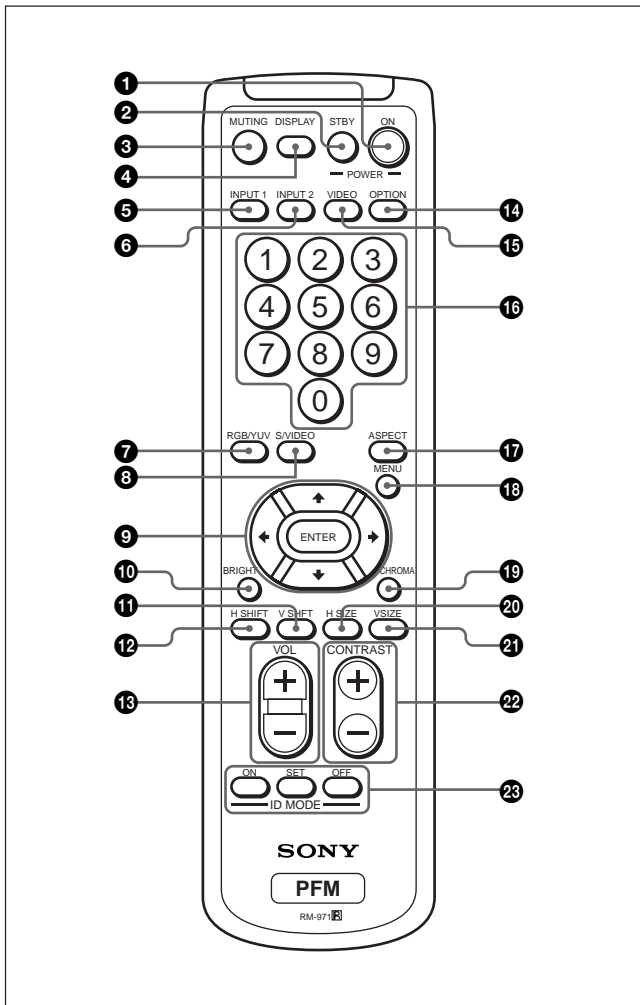
AUDIO(音声入力)端子(ステレオミニジャック):音声信号を入力します。映像機器の音声出力端子と接続します。

② VIDEO2 IN(ビデオ2入力)端子

D4(映像入力)端子(D端子型):映像機器のD出力端子と接続します。

AUDIO(音声入力)端子(ステレオミニジャック):音声信号を入力します。映像機器の音声出力端子と接続します。

リモートコマンダーRM-971



① POWER (電源) ONスイッチ
押すと電源が入ります。

② STANDBYボタン
押すとスタンバイ状態になります。

③ MUTINGボタン
音を消します。

④ DISPLAYボタン
入力されている信号の種類および画質モードを画面に表示します。もう一度押すと表示は消えます。表示された状態でしばらく経つと自動的に表示は消えます。

⑤ INPUT 1 ボタン
INPUT1 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

⑥ INPUT 2 ボタン
INPUT2 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

⑦ RGB/YUVボタン
INPUT1 または INPUT2 端子に接続した機器の入力信号フォーマットに合わせます。押すたびに、RGBとYUVの間で切り換わります。

⑧ S/VIDEOボタン

標準装備またはオプションアダプターを装着した際の、VIDEO端子からの入力信号を切り換えます。押すたびに、COMPOSITE INとY/C INの間で切り換わります。

⑨ ↑/↓/←/→/ENTER(エンター)ボタン

↑/↓/←/→ ボタンでメニューのカーソル(黄色)を移動させたり、数値などを設定します。ENTERボタンを押すと、選んだメニューや設定した内容を確定します。

⑩ BRIGHT(ブライトネス)ボタン

画質モードが「ユーザー1~3」のとき、画像のブライトネスを調整します。このボタンを押した後に↑/↓または←/→ボタン⑨で調整します。

⑪ V SHIFTボタン

垂直方向の画像位置を調整します。このボタンを押した後に、↑/↓ボタン⑨で調整します。

⑫ H SHIFTボタン

水平方向の画像位置を調整します。このボタンを押した後に、↑/↓または←/→ボタン⑨で調整します。

⑬ VOLUME + / - ボタン

音量を調整します。

⑭ OPTIONボタン

オプションアダプターを装着した際、そこに接続した機器からの入力信号を選びます。

⑮ VIDEOボタン

標準装備のVIDEO端子のCOMPOSITE IN端子またはY/C IN端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

⑯ 数字ボタン

インデックスナンバーを入力するときに使用します。

⑰ ASPECTボタン

画面の横縦比(ズームモード)を選択します。

⑱ MENU(メニュー)ボタン

画面にメニューを出すときに使用します。もう一度押すとメニューが消えます。

MENUボタンをメニューの階層を戻すために使用する場合は、「初期設定メニュー」(26(JP)ページ)をご覧ください。

⑲ CHROMAボタン

画質モードが「ユーザー1~3」のとき、画像の色の濃さを調整します。このボタンを押した後に、↑/↓または←/→ボタン⑨で調整します。

⑳ H SIZEボタン

水平方向の画像の大きさを調整します。このボタンを押した後に、↑/↓ボタン⑨で調整します。

㉑ V SIZEボタン

垂直方向の画像の大きさを調整します。このボタンを押した後に、**↑/↓ボタン**㉒ で調整します。

㉒ CONTRAST(コントラスト)+/- ボタン

画質モードが「ユーザー1~3」のとき、画像のコントラストを調整します。

㉓ ID MODE(ON/SET/OFF)ボタン

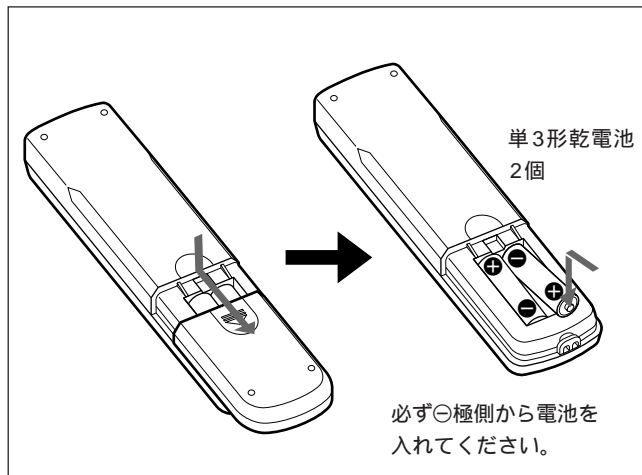
ON ボタンを押すとインデックスナンバーが画面に表示されます。数字ボタン**㉔**で、操作したいディスプレイのインデックスナンバーを入力しSET ボタンを押します。OFF ボタンを押すと、ID モードを抜けて通常の画面に戻ります。

インデックスナンバーについて詳しくは、「特定のディスプレイをリモートコマンダーで操作する」(49(JP)ページ)をご覧ください。

ご注意

- ・ 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- ・ 直射日光が当たるところ、暖房器具のそばの温度が高いところ、湿気が多いところには置かないでください。
- ・ ディスプレイ本体のリモコン受光部に、直射日光や照明器具の強い光が当たらないようにしてください。リモートコマンダーで操作できなくなる場合があります。
- ・ ディスプレイを操作するために必要なボタンがついていますので、紛失しないようにしてください。

電池の入れかた



電池の寿命は、通常の使用で約6か月です。リモートコマンダー操作が効かなくなり始めたら寿命ですので、新しい電池とお取り換えください。

リモートコマンダーで操作できないときは

STANDBYインジケータが点灯しているかどうか確認してください。また、リモートコントロール設定メニューのリモートモードが「切」になっていないかどうか確認してください。ディスプレイ本体の電源が入っているときか、スタンバイ状態のときで、リモートモードが「TV」または「PJ」のときのみリモートコマンダーで操作できます。

リモートモードについて詳しくは、「リモートコントロール設定メニュー」(27(JP)ページ)をご覧ください。

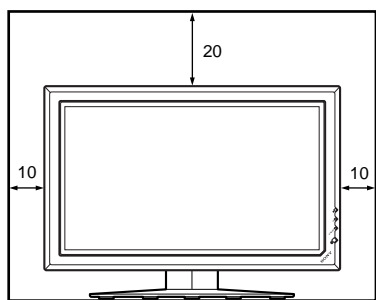
使用上のご注意

周囲に十分なスペースをとる

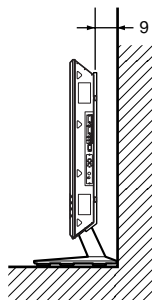
- ・ 内部の温度上昇を防ぐためディスプレイの周囲に以下に示す以上の距離をあけてください(下図参照)
- ・ スタンドには、専用スタンドSU-P50C(別売り)をご使用ください。
- ・ 通電中は高温になる部分があり、やけどの原因となります。通電中やスタンバイにした直後は、本機の上側、後側には手を触れないでください。

スタンド(別売り)を使用する場合

前面



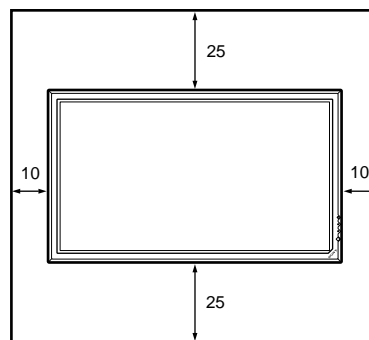
側面



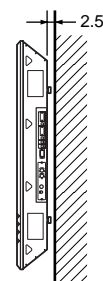
単位: cm

水平方向で使用する場合

前面



側面

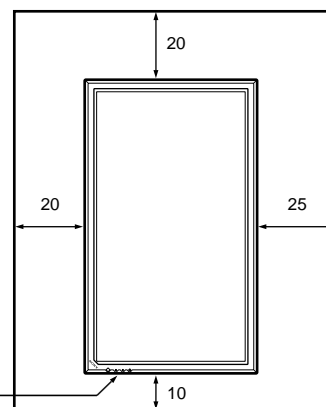


単位: cm

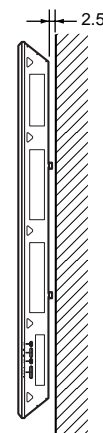
垂直方向で使用する場合

前面

設置の際は、必ず
⏻(スタンバイ)
スイッチを下に
してください。



側面



単位: cm

画面の焼き付きや残像についてのご注意

次の①～⑤のような画像を画面上に一定時間表示し続けると、部分的に焼き付きや残像が発生することがあります。これはプラズマディスプレイパネルの特性上起こるものであり、以下のA～Dの操作を行うことにより、焼き付きや残像を低減できます。

焼き付きや残像が発生しやすい状態

- ① 上下に帯が表示されるワイド映像(レターボックス映像)
- ② 画面横縦比4:3の映像
- ③ ゲーム映像
- ④ DVDのメニュー画面
- ⑤ BSデジタル/デジタルCSチューナー、ビデオデッキなどの映像に切り換えたときに表示されるチャンネル番号やメニューなど

焼き付きや残像を低減させるために

- A** 画面の焼き付きや残像を低減させるため、「スクリーンセーバー」を使うことをお勧めします。
- B** BSデジタル/デジタルCSチューナー、ビデオデッキなどの映像に切り換えたときに画面に表示されるチャンネル番号やメニューなどは、BSデジタル/デジタルCSチューナー、ビデオデッキ側の画面表示操作で表示を消すことをお勧めします。詳しくは、お使いのBSデジタル/デジタルCSチューナー、ビデオデッキなどの取扱説明書をご覧ください。
- C** 画面の「明るさ」を暗くして、画面モードを「ワイドズーム」や「フル」で表示すると、画面の焼き付きや残像が起こりにくくなります。
- D** 画面の焼き付きや残像が軽度のときは、「スクリーンセーバー」の「画像反転」機能を使って目立たなくすることができますが、一度起こった焼き付きや残像は完全には消えません。

スクリーンセーバー(画像反転)についてのご注意

表示画面が写真のネガフィルムのような場合、「スクリーンセーバー」の「画像反転」が「自動」もしくは「入」に設定されている可能性があります。通常の画像に戻すためには、「切」を選ぶか「自動」にて時刻の設定をしてください。

画像反転とは、焼き付いてしまった画像を表示したまま、画面の色合いを反転し(例:白黒、黒白)補正します。画像反転中は写真のネガフィルムのような画像になりますが、故障ではありません。

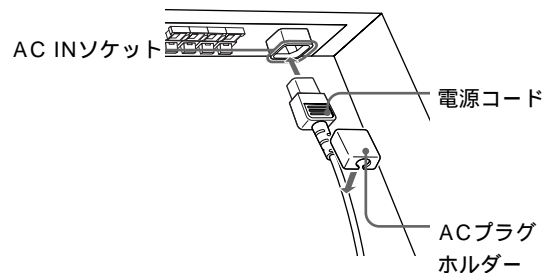
接続

スピーカーの接続

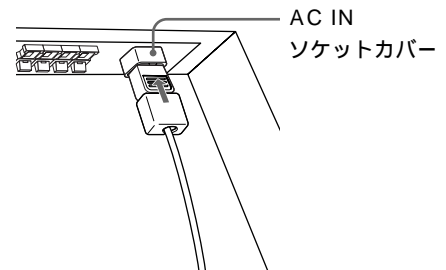
別売りのスピーカー(SS-SP10A)を接続して、より臨場感あふれる映像をお楽しみいただけます。スピーカーの接続について詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。正しく接続してください。

電源コードの接続

- 1 電源コードを下面のAC INソケットに差し込み、ACプラグホルダー(付属)を電源コードに取り付ける。



- 2 ACプラグホルダーをスライドさせて、本体側のAC INソケットカバーにはめ込む。



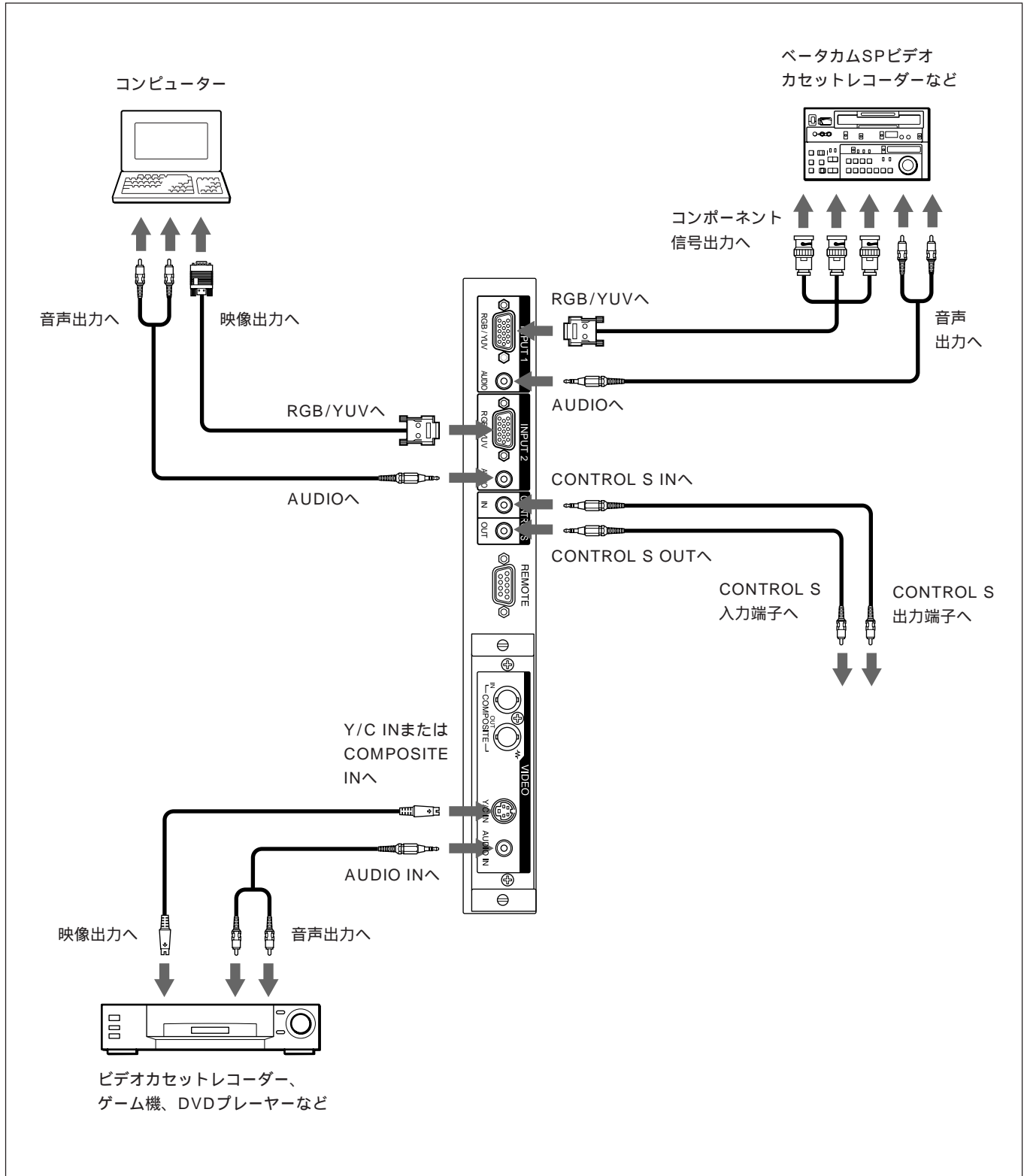
電源コードをはずすにはACプラグホルダーのつまみをはさみ、ロックを解除してからプラグをつかみ、電源コードをはずしてください。

接続例

接続上のご注意

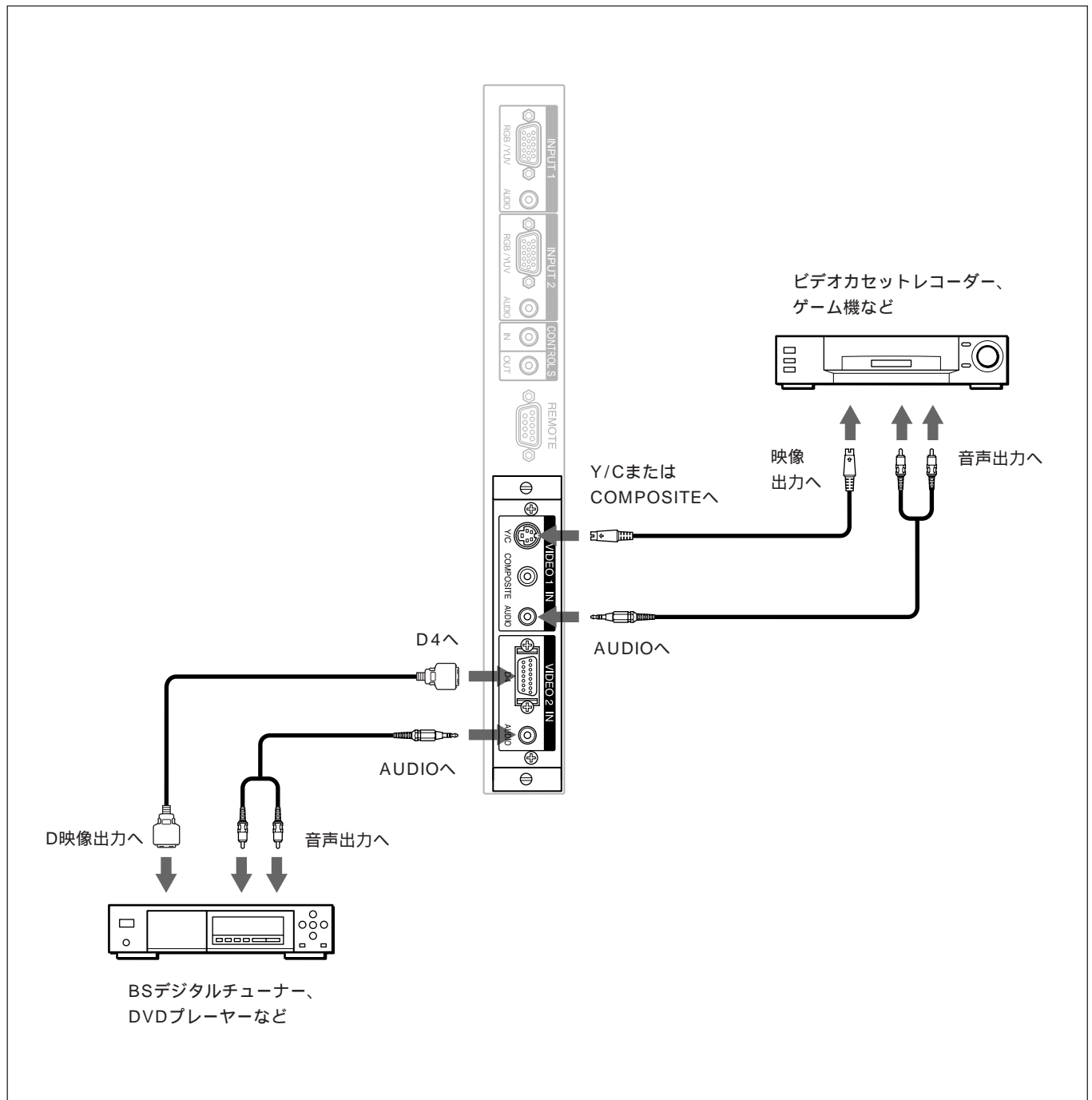
- ・各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- ・接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものを選びください。
- ・プラグはしっかり差し込んでください。接続が悪いとノイズの原因となります。
- ・コードを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
- ・接続の詳細については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- ・電源コードのプラグは、AC INソケットに、まっすぐ突き当たるまで差し込んでください。
- ・付属のACプラグホルダーは、使用する電源コードのプラグが確実に固定できる方を選んでお使いください。

接続例



D4端子アダプターBKM-B11(別売り)を装着した場合の接続例

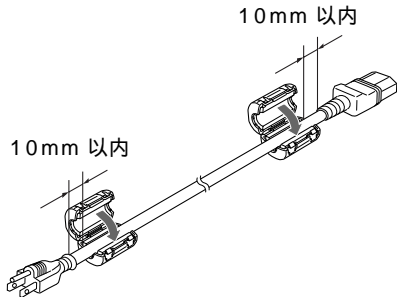
別売りのD4端子アダプターBKM-B11を取り付けた場合の接続例は以下のとおりです。



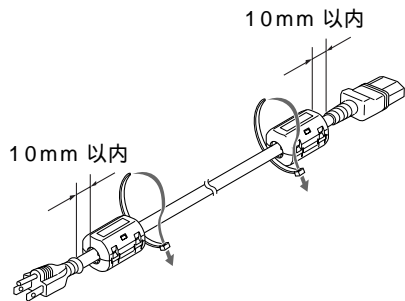
フェライトコアの取り付け

電源コードに取り付ける場合

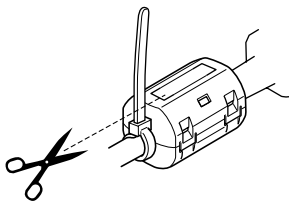
- 1 電源コードの両端にフェライトコアを取り付け、カチッと音がするまでしっかりとしめる。



- 2 フェライトコアがずれないようにストッパーを巻き付ける。

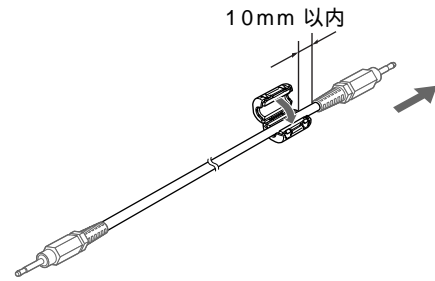


- 3 ストッパーをしっかりと締め、余分な部分を切り取る。

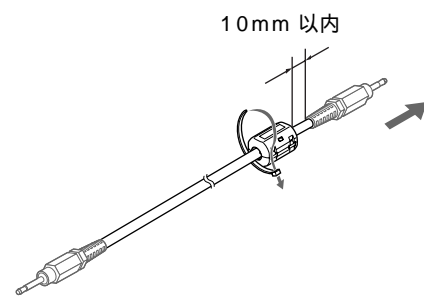


ケーブルに取り付ける場合

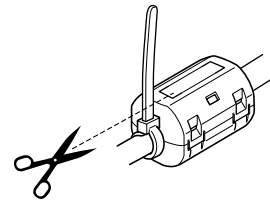
- 1 ケーブルの本体側にフェライトコアを取り付け、カチッと音がするまでしっかりとしめる。



- 2 フェライトコアがずれないようにストッパーを巻き付ける。



- 3 ストッパーをしっかりと締め、余分な部分を切り取る。

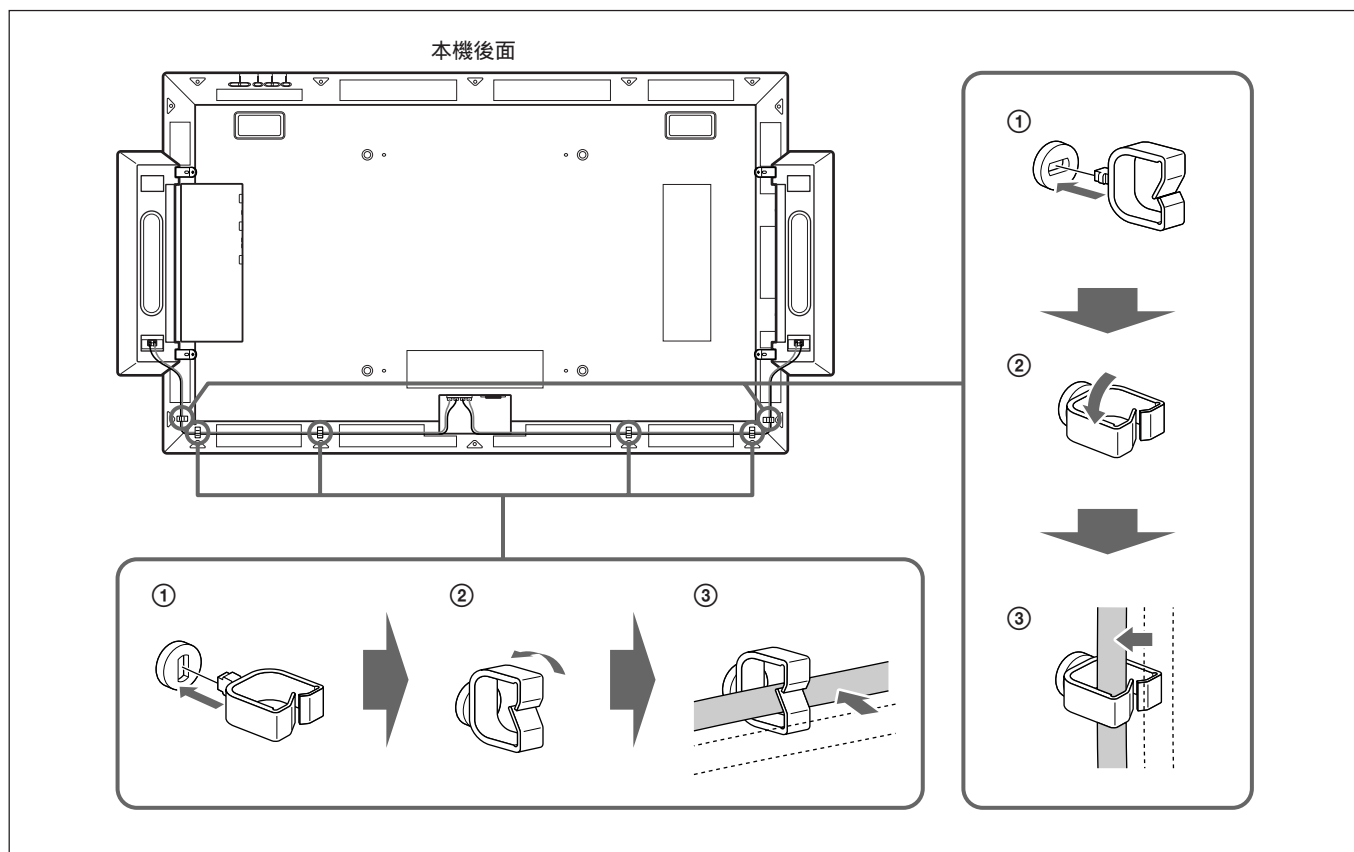


ご注意

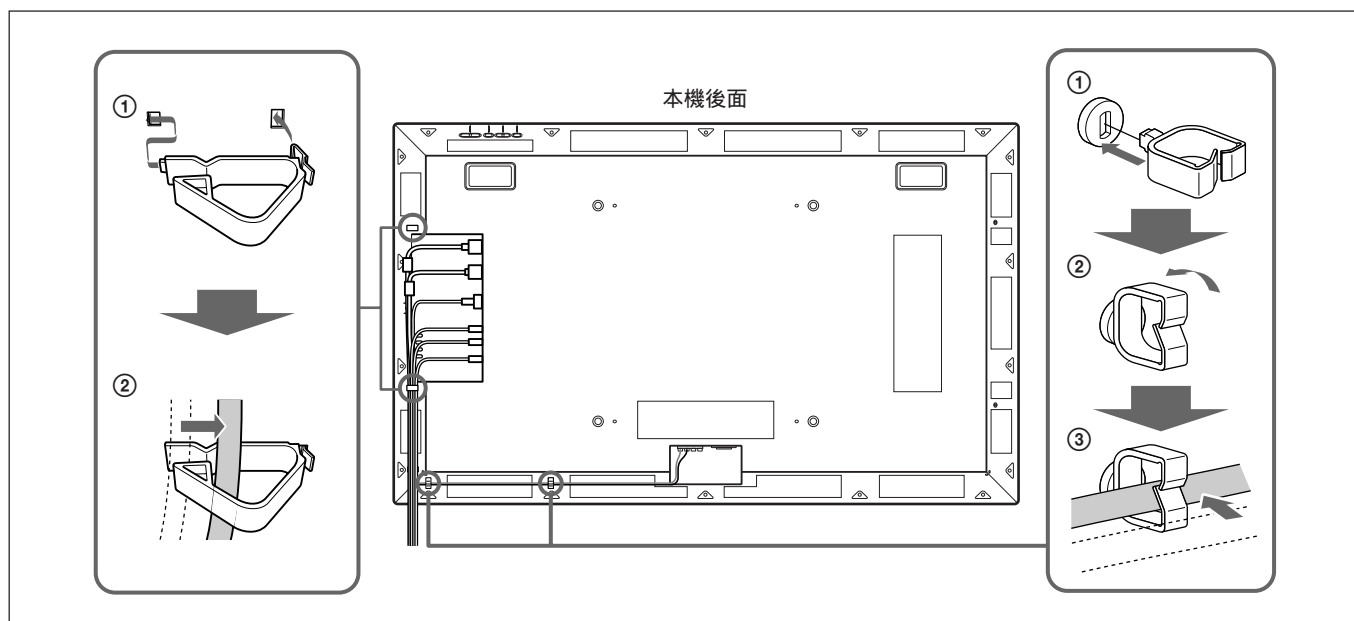
- RGB/YUVで接続する際は、指定のケーブルをご使用ください。
SMF-400 (D-Sub 15P - 5 BNC)
SMF-410 (D-Sub 15P - D-Sub 15P)
下記の端子にケーブルを接続する場合は、付属のフェライトコアを取り付けてご使用ください。
AUDIO (INPUT1)
AUDIO (INPUT2)
- 本機は、接続ケーブルにフェライトコアを取り付けないと、EMCの基準をみたくしませんので、ご注意ください。

ケーブルホルダーを使う

付属のケーブルホルダーB(×6)を使って、スピーカーケーブルをすっきりとまとめることができます。ケーブルホルダーは、以下のように取り付けます。



スピーカーを使用しない場合は、付属のケーブルホルダーA(×2)とケーブルホルダーB(×2)を使ってケーブル類をまとめることができます。ケーブルホルダーは図のように取り付けます。

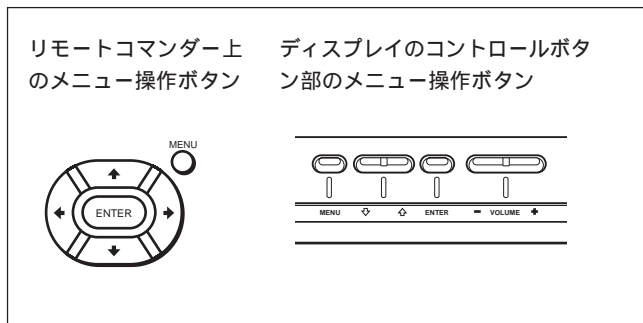


メニューで行う調整と設定

メニューの操作

メニュー操作ボタン

メニューは、リモートコンマダーまたはディスプレイ本体のコントロールボタン部のメニュー操作ボタンを使って操作します。



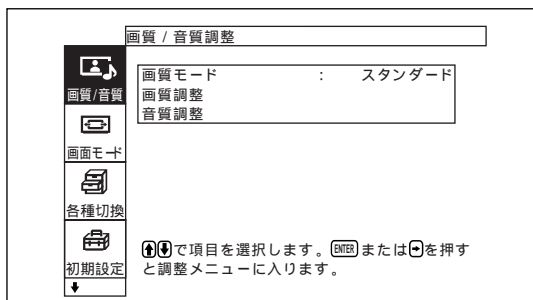
この取扱説明書ではリモートコンマダーを使って操作の説明をしています。リモートコンマダーの↑/↓ボタンおよびENTERボタンは本体の↑/↓ボタンおよびENTERボタンと、同じ働きをします。

ご注意

本体には←/→ボタンがないため、一部操作が異なる部分があります。

メニューの操作方法

- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンでカーソル(黄色)を動かして、メインメニューを決め、ENTER ボタンを押す。
次のメニューにカーソルが移動します。
- 3 ↑/↓ボタンでカーソル(黄色)を動かして、設定する項目を決め、ENTER ボタンを押す。
それぞれの項目の設定画面が表示されます。
さらに次のメニューが表示された場合は、同様に設定する項目を選びます。

- 4 ↑/↓ボタンで設定や調整値を選び、ENTER ボタンを押す。
設定が決まり、元のメニューに戻ります。

通常の画面に戻るには、MENU ボタンを押します。

メニューの階層を移動するには、←/→ ボタンを使います。

MENU ボタンを階層の移動に使用したいときは、「メニューキー動作」(26(JP)ページ)をご覧ください。

メニュー表示言語を切り換えるには

メニュー画面やメッセージの表示言語を6か国語の中から好きな言語に切り換えることができます。

工場出荷時は「ENGLISH」(英語)に設定されています。

表示言語の切り換えについて詳しくは、「メニュー表示の言語を選ぶ」(43(JP)ページ)をご覧ください。

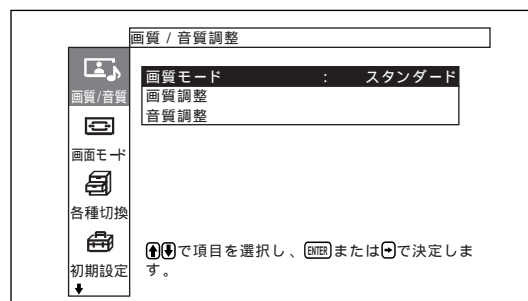
メニューの説明

ご注意

入力信号によって設定や調整ができない項目は背景が濃いグレーになります。また、画面下部には「調整できません」と表示されます。

画質 / 音質調整メニュー

ディスプレイに表示される映像の画質と音質を調整するメニューです。



画質モード

周囲の明るさや絵柄に合った画質モードを設定します。

画質モードについて詳しくは、「画質を選ぶ」(33(JP)ページ)をご覧ください。

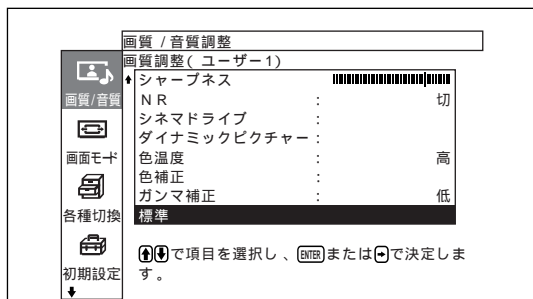
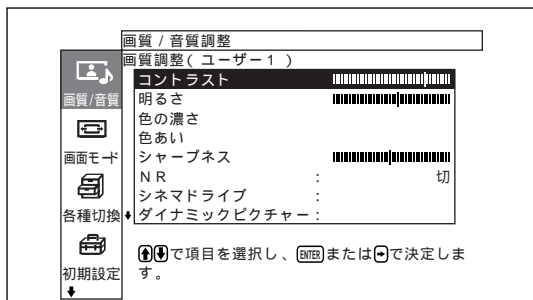
画質調整メニュー

画像を信号処理により調整するメニューです。

画質モードが「ユーザー1～3」のとき、好みの画質に調整することができます。

ご注意

画質モードが「スタンダード」「ダイナミック」のときは調整できません。



コントラスト

↑/→を押すとコントラストが強くなり、↓/←を押すと弱くなります。

明るさ

↑/→を押すと画面が明るくなり、↓/←を押すと暗くなります。

色の濃さ

↑/→を押すと画像の色が濃くなり、↓/←を押すと薄くなります。

色あい

↑/→を押すと画像が緑がかり、↓/←を押すと赤みがかります。

シャープネス

↑/→を押すと映像の輪郭補正レベルが強くなり、↓/←を押すと弱くなります。

NR

映像のざらつきや色ノイズを軽減するレベルを「切」「弱」「中」「強」の4段階で設定します。

NRについて詳しくは、「NR(ノイズリダクション)」(34(JP)ページ)をご覧ください。

シネマドライブ

自動にすると、フィルム映像特有の滑らかな動きのある映像を再現します。

シネマドライブについて詳しくは、「シネマドライブ」(34(JP)ページ)をご覧ください。

ダイナミックピクチャー

白をより白く、黒をより黒くしてコントラストを強めます。

ダイナミックピクチャーについて詳しくは、「ダイナミックピクチャー」(34(JP)ページ)をご覧ください。

色温度

色温度を調節します。

色温度について詳しくは、「色温度」(35(JP)ページ)をご覧ください。

色補正

入にすると、美しく健康的な色を再現します。

色補正について詳しくは、「色補正」(36(JP)ページ)をご覧ください。

ガンマ補正

映像の明暗部分のバランスを「高」「中」「低」の3段階で設定します。

ガンマ補正について詳しくは、「ガンマ補正」(36(JP)ページ)をご覧ください。

標準

画質調整メニューの調整値を出荷時の値に戻します。

標準機能について詳しくは、「調整した画質を出荷時の設定値に戻す」(36(JP)ページ)をご覧ください。

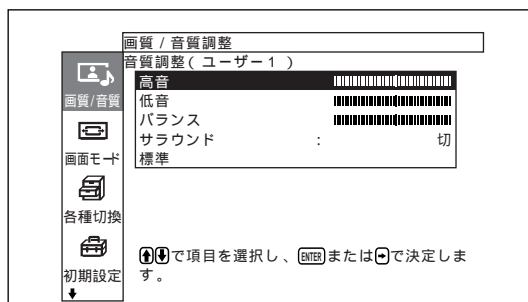
音質調整メニュー

音質を信号処理により調整するメニューです。

画質モードが「ユーザー1～3」のとき、好みの音質に調整することができます。

ご注意

画質モードが「スタンダード」「ダイナミック」のときは調整できません。



高音

↑/→を押すと高音が強くなり、↓/←を押すと弱くなります。

低音

↑/→を押すと低音が強くなり、↓/←を押すと弱くなります。

バランス

↑/→を押すと右側の音が強くなり、↓/←を押すと左側の音が強くなります。

サラウンド

サラウンド機能を「切」「ホール」「シミュレート」の3段階で設定します。

サラウンドについて詳しくは、「サラウンド」(41(JP)ページ)をご覧ください。

標準

音質調整メニューの調整値を出荷時の値に戻します。

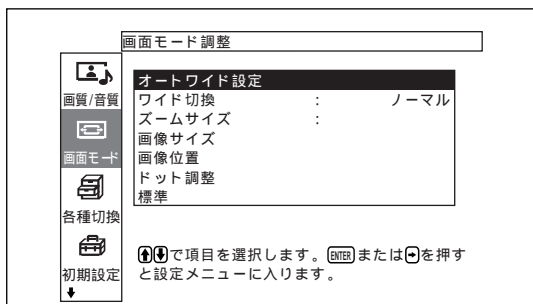
標準機能について詳しくは、「調整した音質を出荷時の設定に戻す」(41(JP)ページ)をご覧ください。

画面モード調整メニュー

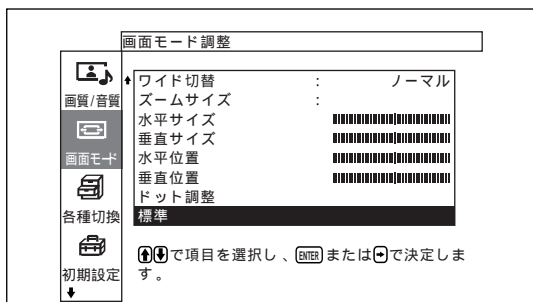
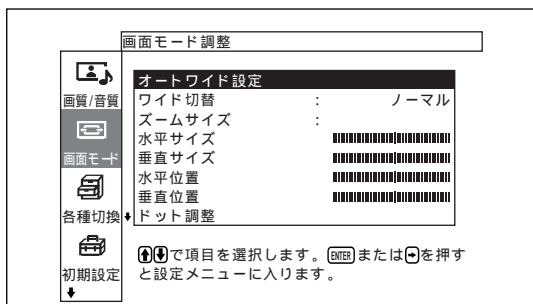
画像のサイズや位置を調整するメニューです。

画面モード調整メニューは、メニューキー動作の設定によって画面および操作方法が異なります。

メニューキー動作が「入/切」の場合(出荷時)



メニューキー動作が「戻る」の場合



オートワイド設定

オートワイド機能を設定するメニューです。オートワイド機能とは、通常のテレビ放送やワイドクリアビジョン、ワイドスクリーン画像など、横縦比の異なる映像の種類に対して最適なワイド切替を選び、横縦比16:9のワイド画面いっぱいに自動的に画像を拡大する機能です。

オートワイドについて詳しくは、「オートワイドを設定する」(37(JP)ページ)をご覧ください。

ワイド切替

映像のサイズや種類に合わせてワイド表示を切り換えます。

ワイド切替について詳しくは、「ワイド切替を設定する」(38(JP)ページ)をご覧ください。

ズームサイズ

画像を2倍、3倍、4倍に拡大します。

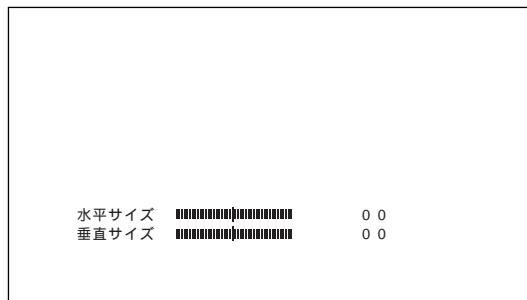
ご注意

ワイド切替が「フル」に設定されているときのみ拡大できます。

画像サイズメニュー

画像のサイズを調整するメニューです。

この画面はメニューキー動作が「入/切」に設定されているときのみ表示されます。



水平サイズ

水平方向に画像の大きさを調整します。→を押すと大きくなり、←を押すと小さくなります。

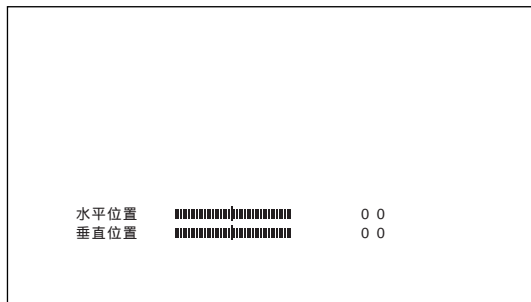
垂直サイズ

垂直方向に画像の大きさを調整します。↑を押すと大きくなり、↓を押すと小さくなります。

画像位置メニュー

画像の位置を調整するメニューです。

この画面はメニューキー動作が「入/切」に設定されているときのみ表示されます。



水平位置

水平方向に画像の位置を調整します。→を押すと右に移動し、←を押すと左に移動します。

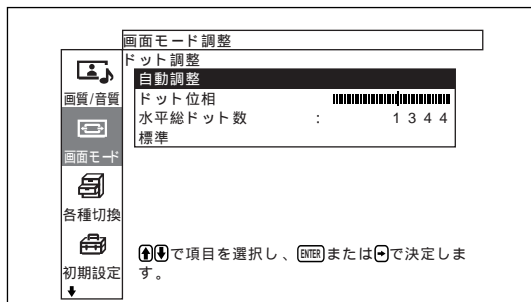
垂直位置

垂直方向に画像の位置を調整します。↑を押すと上に移動し、↓を押すと下に移動します。

ドット調整メニュー

画像のドットを調整するメニューです。

コンピューターの信号を受信しているときのみ調整できます。



自動調整

ドット位相と水平総ドット数を自動的に調整します。

自動調整について詳しくは、「ドット位相を調整する」(40(JP)ページ)をご覧ください。

ドット位相

ドット位相を調整します。↑/→を押すと大きくなり、↓/←を押すと小さくなります。

水平総ドット数

水平方向の総ドット数を調整します。↑/→を押すと大きくなり、↓/←を押すと小さくなります。

標準

ドット調整メニューの調整値を出荷時の値に戻します。

標準機能について詳しくは、「ドット調整項目を出荷時の設定に戻すには」(40(JP)ページ)をご覧ください。

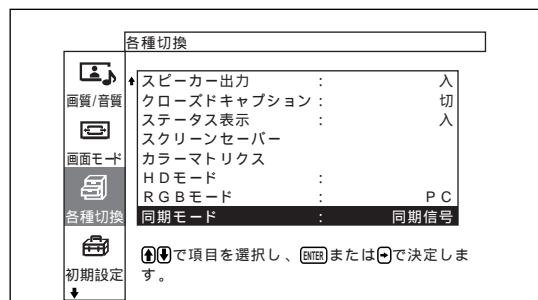
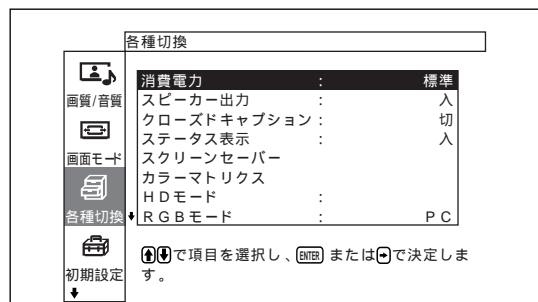
標準

画面モードメニューのすべての調整値を出荷時の値に戻します。

標準機能について詳しくは、「設定した画面モードメニューの調整値を出荷時の設定値に戻す」(40(JP)ページ)をご覧ください。

各種切替メニュー

消費電力を減らしたり、スクリーンセーバーを設定したりするメニューです。



消費電力

節電しながら画面を表示することができます。

消費電力について詳しくは、「節電モード機能」(32(JP)ページ)をご覧ください。

スピーカー出力

入にすると、スピーカー(SS-SP10A、別売り)から音が出ます。

クローズドキャプション

字幕を画面に表示したいときに使用します。

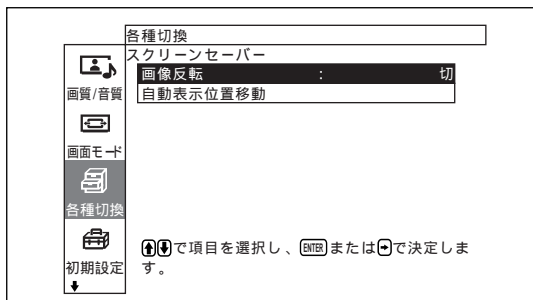
クローズドキャプションについて詳しくは、「字幕を表示させる」(32(JP)ページ)をご覧ください。

ステータス表示

入にすると、ディスプレイの電源投入時や入力信号が切り換わったとき、入力されている信号の種類と画質モードを約5秒間画面下部に表示します。

スクリーンセーバーメニュー

長時間にわたって同じ画面を映したりする場合に生じる画面の焼きつきや残像を補正したり軽減するときに使用します。



画像反転

画像の色あいを反転させるスクリーンセーバーを設定します。

画像反転について詳しくは、「スクリーンセーバー機能」(44(JP)ページ)をご覧ください。

自動表示位置移動

一定の時間がたつと画像の表示位置が自動的に移動するスクリーンセーバーを設定します。

自動表示位置移動について詳しくは、「スクリーンセーバー機能」(44(JP)ページ)をご覧ください。

カラーマトリクス

接続している機器からのコンポーネント信号入力時の映像が自然な色あいになるように設定します。

カラーマトリクスについて詳しくは、「カラーマトリクスを調整する」(45(JP)ページ)をご覧ください。

HDモード

INPUT1、INPUT2またはオプションアダプターのD端子に入力されるHDアナログコンポーネント信号によってモードを設定します。

1080i: BS デジタルチューナーを接続している場合

1035i: ハイビジョンビデオデッキ(ベースバンド)など従来のハイビジョン機器を接続している場合

ご注意

- ・オプションボードの設定を行うことはできません。
- ・BKM-B11のD4端子は、「1080i」で設定されています。

RGBモード

INPUT1、INPUT2のRGB/YUV端子に、RGB信号を出力する機器を接続しているときに、モードを設定します。

DTV: RGB信号のデジタルチューナーなどを接続している場合

PC: パソコンを接続している場合

ご注意

- ・オプションボードの設定を行うことはできません。

同期モード

INPUT1、INPUT2のRGB/YUV端子の13番ピンに入力される信号によって、モードを設定します。設定できる信号は、575/50i、480/60iのみです。

同期信号: 水平信号またはコンポジット同期信号*が入力される場合

映像信号: 映像信号またはコンポジット同期信号*が入力される場合

*コンポジット同期の信号レベルによっては正しく画像が表示されない場合があります。その際は、同期モードの設定を変更してください。

入力信号と同期モードの設定

PIN	D-sub 入力信号	同期モード選択
13	480/60i、575/50i の Composite Video	映像信号
	Composite Sync	
	Composite Sync	同期信号
13/14	H Sync/V Sync	
2	Sync On Green	

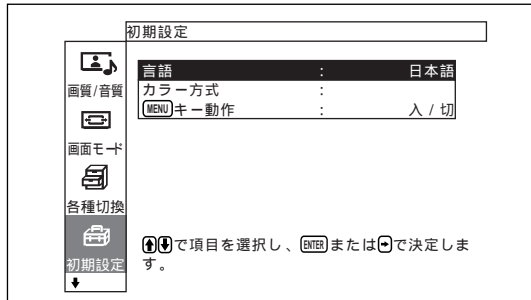
INPUT1、INPUT2のRGB/YUV端子のピン配列については、「ピン配列」(53(JP)ページ)をご覧ください。

ご注意

- ・「同期信号」に設定したときにコンポジットシンクを入力しても画像が表示されない場合があります。その際は、同期モードの設定を変更してください。
- ・同期モードの設定は、INPUT1、INPUT2で独立して設定できませんが、信号設定の異なった入力信号に切り換えると、信号が出なくなることがあります。その場合は、入力信号に合った同期モードの設定を入力端子ごとに行い、入力端子を切り換えるようにしてください。
- ・「同期信号」しか選べない入力があります。この場合は13ピンに「映像信号」を入力しても画像は表示されません。水平・垂直同期信号を13、14ピンに入力するか、Sync On Green信号をRGBに入力してください。
- ・Sync On Greenのときは同期信号に設定しないと画像が表示されません。
- ・オプションボードでは、同期モードの設定はできません。
- ・本機はコンポジットシンクおよび576/60Pの3値シンクには対応していません。

初期設定メニュー

メニュー表示の言語や映像ソースを選んだり、メニューキーの機能を設定したりするメニューです。



言語

メニューに表示する言語を日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語から選びます。

言語について詳しくは、「メニュー表示の言語を選ぶ」(43(JP)ページ)をご覧ください。

カラー方式

映像ソースを選びます。

自動: NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43またはNTSC/PAL-M/PAL-Nの映像を見る場合

NTSC: NTSCの映像を見る場合

NTSC 4.43: NTSC4.43の映像を見る場合

PAL: PALの映像を見る場合

SECAM: SECAMの映像を見る場合

PAL-M: PAL-Mの映像を見る場合

PAL-N: PAL-Nの映像を見る場合

PAL60: PAL60の映像を見る場合

カラー方式が「自動」に設定されている場合、下の階層でさらに自動検出できるカラー方式を設定します。

- ・NTSC/PAL/SECAM/NTSC 4.43を自動検出
- ・NTSC/PAL-M/PAL-Nを自動検出

ご注意

ビデオ受信時以外は設定できません。

メニューキー動作

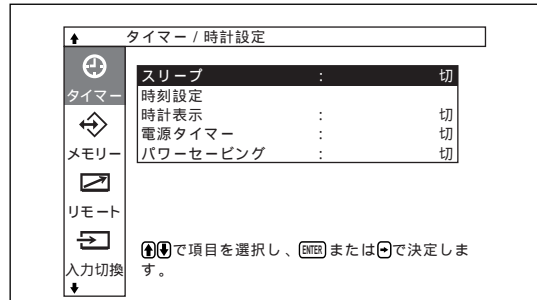
メニューキーを押したときの動作を選びます。

入/切: メニューキーを押すたびに、メニューの表示/消去を繰り返します。

戻る: メニューキーを押すと、カーソルが前の階層に戻ります。

タイマー / 時計設定メニュー

時刻やタイマーを設定したり、時刻を表示させたり、自動的に電源が入ったり切れたりするように設定するメニューです。



スリープ

設定した時間が過ぎると自動的に電源が切れます。設定できる時間は30分、60分、90分、120分です。

スリープについて詳しくは、「スリープ機能」(46(JP)ページ)をご覧ください。

時刻設定

時刻を設定するときに使用します。

時刻設定について詳しくは、「時刻を設定する」(47(JP)ページ)をご覧ください。

時計表示

入にすると画面に設定した時刻が表示されます。

時計表示について詳しくは、「時計を表示する」(47(JP)ページ)をご覧ください。

電源タイマー

時間を自由に設定して、自動的に電源をオン/オフするようにします。

電源タイマーについて詳しくは、「電源タイマー機能」(47(JP)ページ)をご覧ください。

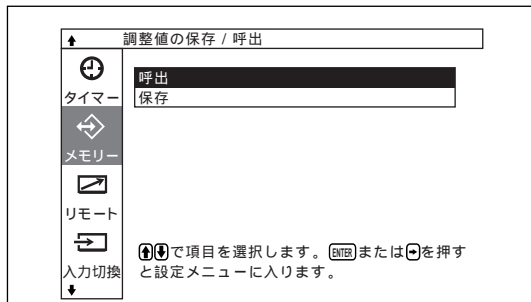
パワーセービング

本機に信号が入力されない状態が続くと、電源を自動的に切るようにします。

パワーセービングについて詳しくは、「パワーセービング機能」(48(JP)ページ)をご覧ください。

⇔ メモリーメニュー

画質 / 音質調整メニューと画面モード調整メニューの調整値をナンバー1 ~ 20のメモリーに保存したり、呼び出したりするメニューです。



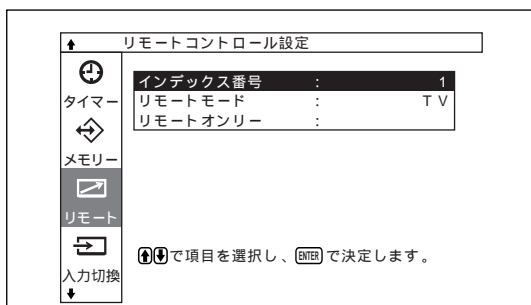
メモリー機能について詳しくは、「メモリーを使う」(42(JP)ページ)をご覧ください。

呼出
保存した調整値を呼び出します。

保存
調整値を保存します。

⇒ リモートコントロール設定メニュー

リモートコンマダーの操作に関する設定を行うメニューです。



インデックス番号
ディスプレイ本体のインデックス番号を設定します。

ご注意
この項目を設定する場合は、ディスプレイ本体のボタンを使用してください。リモートコンマダーでは設定できません。
インデックス番号について詳しくは、「特定のディスプレイをリモートコンマダーで操作する」(49(JP)ページ)をご覧ください。

リモートモード

リモートコンマダーのモードを切り換えます。

TV: ディスプレイまたはTVに付属しているリモートコンマダーから操作するとき。

PJ: 業務用プロジェクターに付属しているリモートコンマダーから操作するとき。

切: リモートコンマダーから操作しないとき。(リモートコンマダーからは操作できなくなります。)

ご注意

モードを切り換える場合は、ディスプレイ本体のボタンを使用してください。リモートコンマダーでは切り換えできません。

使用できるリモートコンマダーや操作について詳しくは、「他のリモートコンマダーから操作する」(51(JP)ページ)をご覧ください。

リモートオンリー

「リモートオンリー」を入にすると、ディスプレイ本体のボタンが効かなくなり、ディスプレイの操作はリモートコンマダーでのみ行えるようになります。

リモートオンリーモードを解除するには、リモートコンマダーで「リモートオンリー」を切にしてください。

ご注意

電源コードを抜いたりリモートコンマダーで電源を入 / 切してもリモートオンリーモードは解除できません。

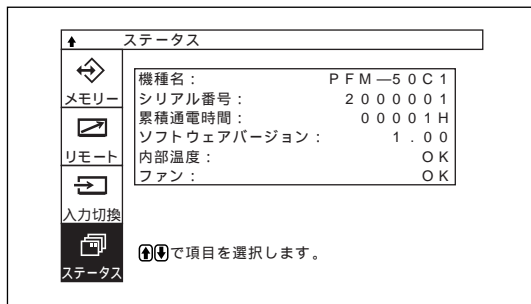
⇒ 入力切換メニュー

入力信号の切り換えを設定するメニューです。

入力信号の切り換えについて詳しくは「入力信号を切り換える」(29(JP)ページ)をご覧ください。

ステータスメニュー

ディスプレイ本体の内部状態を表示するメニューです。



機種名

機種名を表示します。

シリアル番号

シリアル番号を表示します。

累積通電時間

電源を入れていた累積通電時間を1時間単位で表示します。

ご注意

スタンバイ状態は累積通電時間に含まれません。

ソフトウェアバージョン

システムソフトウェアのバージョンを表示します。

内部温度

ディスプレイの内部温度が正常かどうかを表示します。

OK : 正常時

NG : 異常時

異常時には異常表示となり、項目が赤色で点滅します。このとき、**Ⓜ**(スタンバイ)スイッチ / インジケータ部のSTANDBY インジケータも点滅します。

ご注意

通風孔がふさがれたり、風通しの悪い状態で使用したりしていると、「NG」という表示が赤色で点滅することがあります。この場合は、通風孔がふさがれていないか確認し、風通しをよくしてください。表示が正常になればそのままご使用いただけます。風通しをよくしても異常表示になる場合は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

STANDBY インジケータが点滅したり、異常表示になったりしたときは、「自己診断機能」(49(JP)ページ)をご覧ください。

ファン

本機には、冷却用ファンが内蔵されています。ファンが正常に動いているかどうかを表示します。

OK : 正常時

NG : 異常時

このファンが何らかの異常により停止したときは、異常表示となり、項目が赤色で点滅します。このとき、**Ⓜ**(スタンバイ)スイッチ / インジケータ部のSTANDBY インジケータも点滅します。

ご注意

・「NG」という表示が赤色で点滅した場合は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

STANDBY インジケータが点滅したり、異常表示になったりしたときは、「自己診断機能」(49(JP)ページ)をご覧ください。

・冷却用ファンは本機の機内温度を検知して回転数を制御しています。そのために、周囲温度が上がるとファンの回転数が増え、ファンの回転音も大きくなりますのでご注意ください。

画像を見る

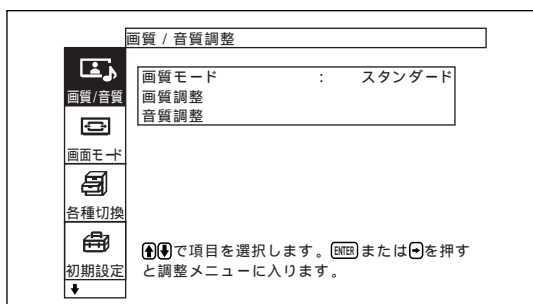
準備

- ・ディスプレイの電源を入れておきます。
- ・接続した機器の電源を入れ、映像ソースを再生します。
- ・電源投入時または入力切り換え時に入力信号の種類と画質モードを画面に表示させたいときは、各種切換メニューの「ステータス表示」を入にしておきます。
- ・メニュー表示は日本語以外の言語にすることもできます。
詳しくは、「メニュー表示の言語を選ぶ」(43(JP)ページ)をご覧ください。

入力信号を切り換える

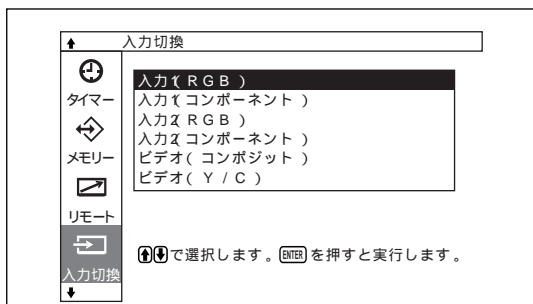
1 MENU ボタンを押す。

メインメニューが表示されます。



2 上下ボタンで「入力切換」を選び、ENTER ボタンを押す。

入力切換メニューが表示されます。



3 上下ボタンで表示したい入力信号を選び、ENTER ボタンを押す。

- 入力1 (RGB) : 入力1端子に接続した機器の入力信号 (RGB 信号) を選ぶ場合。
- 入力1 (コンポーネント) : 入力1端子に接続した機器の入力信号 (コンポーネント信号) を選ぶ場合。
- 入力2 (RGB) : 入力2端子に接続した機器の入力信号 (RGB 信号) を選ぶ場合。
- 入力2 (コンポーネント) : 入力2端子に接続した機器の入力信号 (コンポーネント信号) を選ぶ場合。

ビデオ (コンポジット) : ビデオ (VIDEO IN) 端子の COMPOSITE IN (COMPOSITE) 端子に接続した機器の入力信号を選ぶ場合。

ビデオ (Y/C) : ビデオ (VIDEO IN) 端子の Y/C IN (Y/C) 端子に接続した機器の入力信号を選ぶ場合。

オプションボード「BKM-B11」を装着している場合

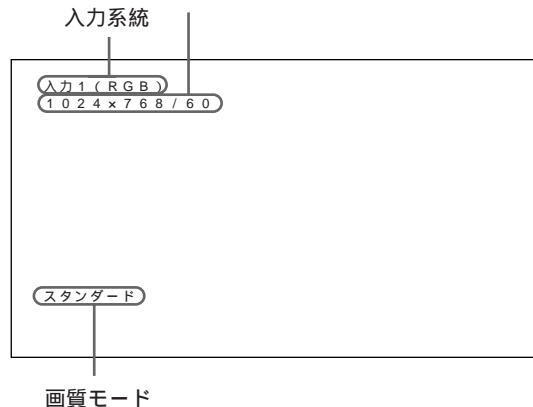
ビデオ1 (コンポジット) : ビデオ1 (VIDEO1 IN) 端子の COMPOSITE IN (COMPOSITE) 端子に接続した機器の入力信号を選ぶ場合。

ビデオ1 (Y/C) : ビデオ1 (VIDEO1 IN) 端子の YC IN (Y/C) 端子に接続した機器の入力信号を選ぶ場合。

ビデオ2 (D4) : ビデオ IN 端子の D4 端子に接続した機器の入力信号を選ぶ場合。

選んだ入力信号がディスプレイ画面に表示されます。

カラー方式または水平/垂直周波数



ディスプレイに付属しているリモートコンマnderから入力を切り換えることもできます。

ご注意

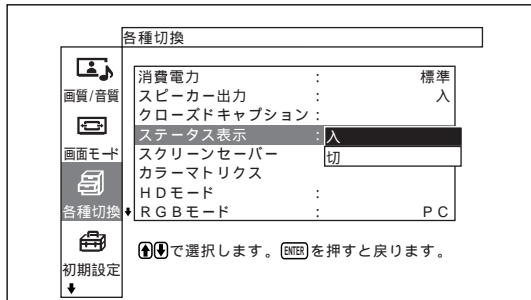
- ・ディスプレイへのビデオ入力信号は、TBC (タイムベースコレクター) 付きの入力ソース機器からの入力をおすすめします。TBC のかかっていない信号を入力すると、同期の乱れにより映像が消えることがあります。
- ・同じフォーマットの信号を複数の系統から入力している場合、画質モードの設定は最新の設定値になります (同フォーマットのみに)。

入力信号と画質モードの情報とディスプレイの設定状態の表示について

電源投入時または入力切り換え時に、入力信号と画質モードの情報が約5秒間画面に表示されます。

情報を画面に表示しないようにするときは、以下の手順に従って設定してください。

- 1 各種切替メニューから、↑/↓ボタンで「ステータス表示」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「ステータス表示」を切にし、ENTER ボタンを押す。

ステータス表示させるには

手順2で「ステータス表示」を入にします。

(工場出荷時は入に設定されています。)

ご注意

本機に付属しているリモートコンマnderのDISPLAYボタンを押して、いつでも必要なときに入力信号の情報および画質モードを表示することもできます。

入力プリセット信号			
	信号名称	カラー方式または水平 / 垂直周波数表示	
コンピューター信号			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31.5kHz	70.1Hz
2	640×350@85Hz (VESA ^{b)} STD)	37.9kHz	85.1Hz
3	640×400@85Hz (VESA STD)	37.9kHz	85.1Hz
4	640×480@60Hz (VESA STD)	31.5kHz	59.9Hz
5	Mac ^{c)} 13"	35.0kHz	66.7Hz
6	640×480@72Hz (VESA STD)	37.9kHz	72.8Hz
7	640×480@75Hz (VESA STD)	37.5kHz	75.0Hz
8	640×480@85Hz (VESA STD)	43.3kHz	85.0Hz
9	852×480@60Hz (I/O DATA) ^{d)}	31.7kHz	60.0Hz
10	VGA (VGA TEXT)	31.5kHz	70.1Hz
11	720×400@85Hz (VESA STD)	37.9kHz	85.0Hz
12	800×600@56Hz (VESA STD)	35.2kHz	56.3Hz
13	800×600@60Hz (VESA STD)	37.9kHz	60.3Hz
14	800×600@72Hz (VESA STD)	48.1kHz	72.2Hz
15	800×600@75Hz (VESA STD)	46.9kHz	75.0Hz
16	800×600@85Hz (VESA STD)	53.7kHz	85.1Hz
17	Mac 16"	49.7kHz	74.6Hz
18	1024×768@60Hz (VESA STD)	48.4kHz	60.0Hz
19	1024×768@70Hz (VESA STD)	56.5kHz	70.1Hz
20	1024×768@75Hz (VESA STD)	60.0kHz	75.0Hz
21	1024×768@85Hz (VESA STD)	68.7kHz	85.0Hz
22	1152×864@75Hz (VESA STD)	67.5kHz	75.0Hz
23	Mac 21"	68.7kHz	75.1Hz
24	1280×960@60Hz (VESA STD)	60.0kHz	60.0Hz
25	1280×960@85Hz (VESA STD)	85.9kHz	85.0Hz
26	1280×1024@60Hz (VESA STD)	64.0kHz	60.0Hz
27	1280×1024@75Hz (VESA STD)	80.0kHz	75.0Hz
28	1280×1024@85Hz (VESA STD)	91.1kHz	85.0Hz
29	1600×1200@60Hz (VESA STD)	75.0kHz	60.0Hz
30	856×480@60Hz (Matrox) ^{e)}	30.2kHz	60.0Hz
31	856×480@59.6Hz (Matrox) ^{e)}	30.1kHz	59.6Hz
32	856×480@60.1Hz (Matrox) ^{e)}	30.1kHz	60.1Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	

- a) VGAは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
- b) VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
- c) Mac (Macintosh)はApple Computer, Incの登録商標です。
- d) I-O DATA機器社製のグラフィックアクセラレーターボードを使用した場合。
- e) Matrox Graphics Inc.製のグラフィックスカードを使用した場合。

ご注意

- HDTV信号を入力する場合、同期信号は3値同期信号をINPUT1またはINPUT2端子のRGB/YUV端子(D-sub 15ピンコネクター)の2番ピンに入力してください。
- No. 29のコンピューター信号を入力する場合、画面モード調整メニューの水平サイズ、水平位置、垂直サイズ、垂直位置をいずれも標準位置(00)にし、ズームを標準に設定してください。これらを動かして使用すると、画像が乱れることがあります。
- PFM-50C1でDVD信号を入力した場合、画像の色を薄く感じたら、画質調整メニューの「色の濃さ」で好みの色の濃さに調整してください。
- 位相を再調整すると解像度が低下します。

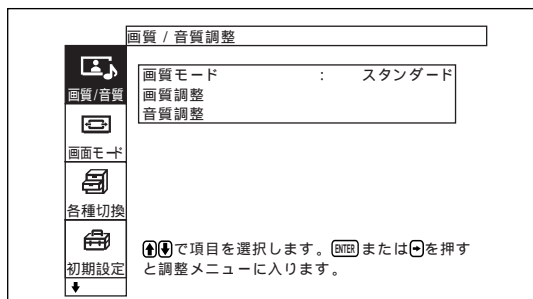
入力信号 / ディスプレイ設定情報の画面表示

画面表示	意味
640×480 / 60 (例)	コンピューター信号が入力されています。
525 / 60 (例)	コンポーネント信号が入力されています。
NTSC (例)	NTSC信号が入力されています。
標準信号ではありません	受信できない信号が入力されています。
信号が入力されていません	入力信号がありません。
入力1 (RGB)	入力1端子の入力モードはRGBです。
入力1 (コンポーネント)	入力1端子の入力モードはコンポーネントビデオです。
ビデオ (コンポジット)	ビデオ (VIDEO1 IN) 端子のCOMPOSITE IN (VIDEO1 IN COMPOSITE) が選択されています。
ビデオ (Y/C)	ビデオ (VIDEO1 IN) 端子のY/C IN (VIDEO1 IN Y/C) が選択されています。

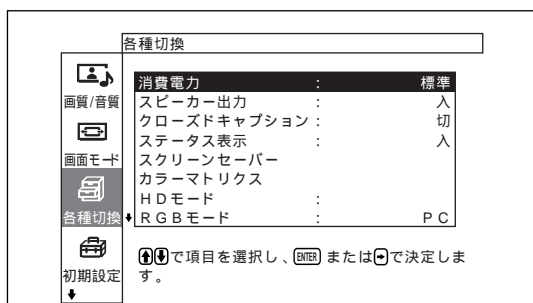
画面表示を切り換える

字幕を表示させる

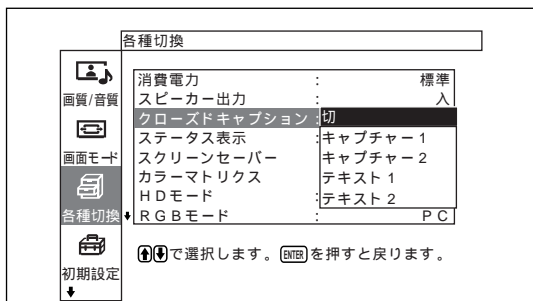
- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「各種切換」を選び、ENTER ボタンを押す。
各種切換メニューが表示されます。



- 3 ↑/↓ボタンで「クローズドキャプション」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



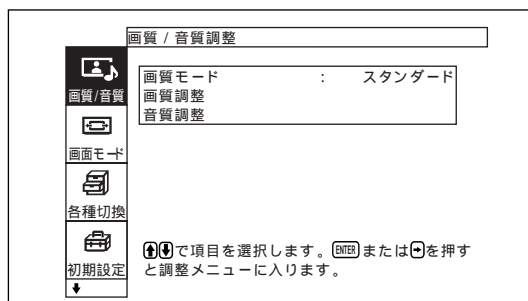
- 4 ↑/↓ボタンで表示する字幕のタイプを選ぶ。
切 : 字幕を表示しない
キャブチャー 1 : 画像に重ねて、言語 1 の字幕を表示する
キャブチャー 2 : 画像に重ねて、言語 2 の字幕を表示する
テキスト 1 : 字幕の背景を黒くして、言語 1 の字幕を表示する
テキスト 2 : 字幕の背景を黒くして、言語 2 の字幕を表示する

- 5 MENU ボタンを押す。
各種切換メニューに戻ります。

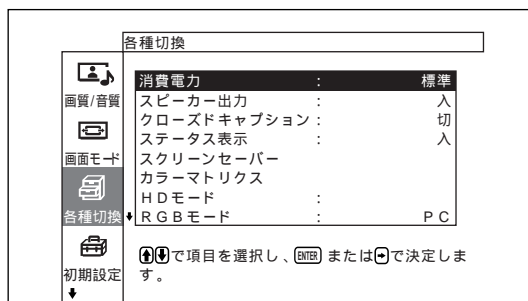
節電モード機能

節電しながら映像を見ることができます。

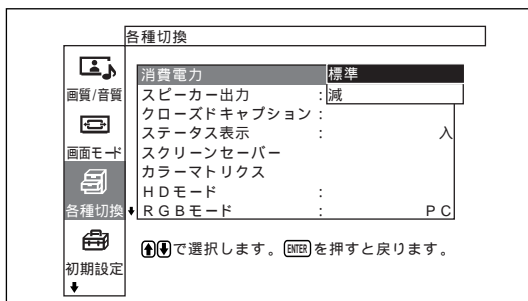
- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「各種切換」を選び、ENTER ボタンを押す。
各種切換メニューが表示されます。



- 3 ↑/↓ボタンで「消費電力」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4 ↑/↓ボタンで消費電力のモードを選ぶ。
標準 : 節電しない
減 : 節電する
節電モードを減にすると、画面の明るさを下げて、節電しながら見ることができます。

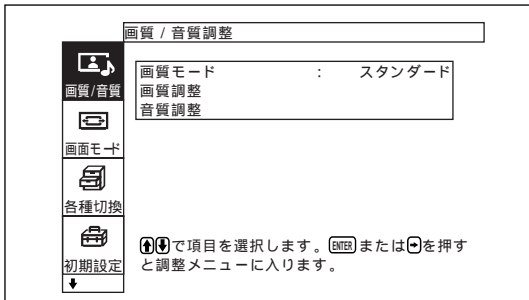
ご注意

- ・「消費電力 : 減」のときに電源を切ると、次に電源を入れたときも「消費電力 : 減」のままになります。
- ・画質モードで「ユーザー 1 ~ 3」を選んでいるときは、「消費電力 : 減」でも画質を調整できます。ただし、コントラストや明るさを上げると節電にならなくなる場合があります。

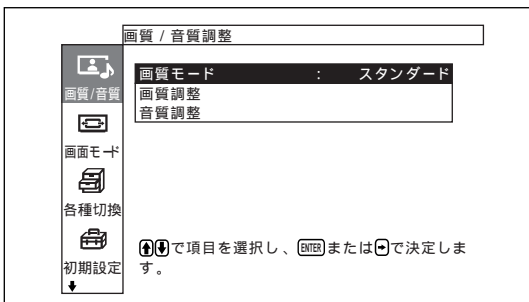
画質を選ぶ

映像の種類や周囲の明るさに合わせて画質を選ぶことができます。

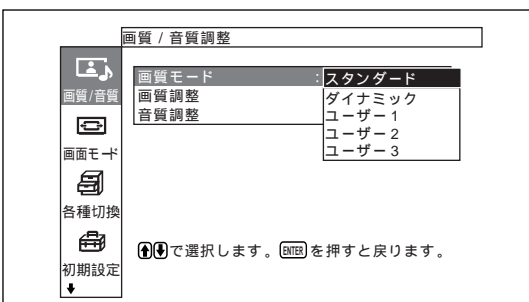
- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「画質 / 音質」を選び、ENTER ボタンを押す。
画質 / 音質調整メニューが表示されます。



- 3 ↑/↓ボタンで「画質モード」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4 ↑/↓ボタンで画質を選び、ENTER ボタンを押す。
スタンダード: 適度なコントラストと輪郭強調によりきめ細かい質感のあるリアルな画質になります。
ダイナミック: 映像の輪郭とコントラストを最大限に上げた、メリハリの強い画質になります。
ユーザー1~3: 画質調整メニューからお好みの画質を自由に設定できます。

画質を調整する

画像を見ながら、コントラスト、明るさ、色の濃さ、色あいを調整することができます。また、入力信号ごとに調整を行い、調整値をメモリーすることができます。

画質モードを「ユーザー1~3」のいずれかにしてください。

コントラスト、明るさ、色の濃さ、色あいを調整する

MENU ボタンを押してメインメニューを表示し、画質調整メニューから調整したい項目に応じて、「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」、「NR(ノイズリダクション)」、「シネマドライブ」、「ダイナミックピクチャー」、「色温度」、「色補正」、「ガンマ補正」を調整します。

コントラスト

↑/↓ボタンで「コントラスト」を選び、ENTER ボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンでコントラストを調整します。

最小(0)~最大(255)の範囲で設定できます。

↑/→ : コントラストが強くなる

↓/← : コントラストが弱くなる

明るさ

↑/↓ボタンで「明るさ」を選び、ENTER ボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで画像の明るさを調整します。

最小(-128)~最大(+127)の範囲で設定できます。

↑/→ : 画像が明るくなる

↓/← : 画像が暗くなる

色の濃さ

↑/↓ボタンで「色の濃さ」を選び、ENTER ボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンでクロマを調整します。

最小(-128)~最大(+127)の範囲で設定できます。

↑/→ : 色が濃くなる

↓/← : 色が薄くなる

色あい

↑/↓ボタンで「色あい」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで色あいを調整します。

赤(-128)～緑(+127)の範囲で設定できます。

↑/→: 画像が緑がかる

↓/←: 画像が赤みがかる

シャープネス

↑/↓ボタンで「シャープネス」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで画像のシャープネスを調整します。

最小(-5)～最大(+5)の範囲で設定できます。

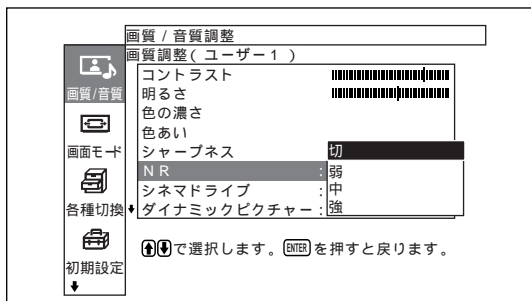
↑/→: 画像をくっきりと表示する

↓/←: 画像をやわらかく表示する

NR(ノイズリダクション)

映像のざらつきや色ノイズを軽減することができます。

- ↑/↓ボタンで「NR」を選び、ENTERボタンを押し、以下の画面が表示されます。

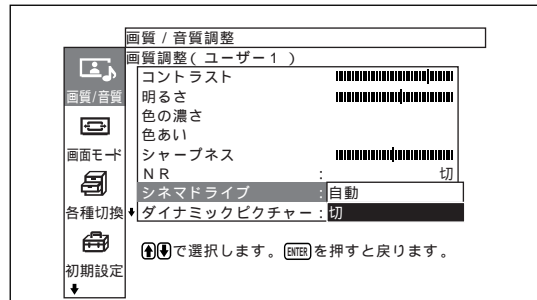


- ↑/↓ボタンでNRのモードを選び、ENTERボタンを押し。
 - 切: 映像信号をそのまま表示する
 - 弱: NR処理を弱く設定するとき
 - 中: NR処理を中程度に設定するとき
 - 強: NR処理を強く設定するとき

シネマドライブ

フィルム(24コマ)で撮影された映像を自動検出し、フィルム映像特有の滑らかな動きのある映像を再現することができます。

- ↑/↓ボタンで「シネマドライブ」を選び、ENTERボタンを押し、以下の画面が表示されます。

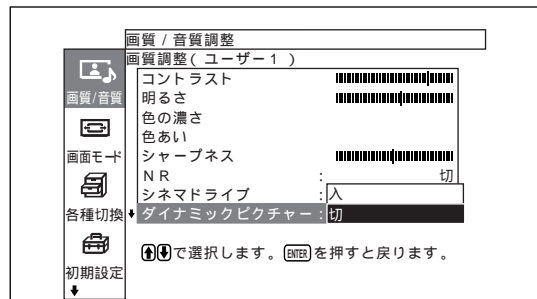


- ↑/↓ボタンでシネマドライブのモードを選び、ENTERボタンを押し。
 - 自動: フィルム映像に最適な信号処理を行う
 - 切: 映像信号をそのまま表示する

ダイナミックピクチャー

白をより白く、黒をより黒くしてコントラストを強めます。

- ↑/↓ボタンで「ダイナミックピクチャー」を選び、ENTERボタンを押し、以下の画面が表示されます。



- ↑/↓ボタンでダイナミックピクチャーのモードを選び、ENTERボタンを押し。
 - 入: ダイナミックピクチャー機能を使う
 - 切: ダイナミックピクチャー機能を使わない

色温度

色温度を設定します。「高」「中」「低」のほか、各ゲインを好みに合わせて細かく調整することもできます。調整した色温度は、3つまで登録できます。登録した色温度の名前を変更することもできます(6文字まで)。

1 ↑/↓ボタンで「色温度」を選び、ENTERボタンを押す。

2 ↑/↓ボタンで色温度を選び、ENTERボタンを押す。

高：色温度を高く設定するとき

中：色温度を中程度に設定するとき

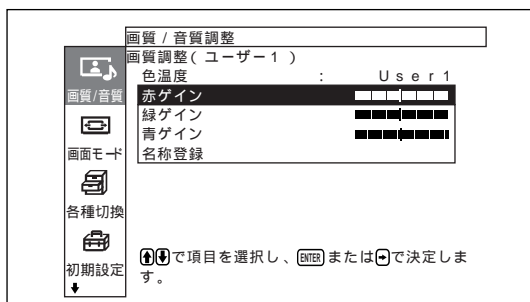
低：色温度を低く設定するとき

User1 ~ 3：各ゲインを細かく設定するとき

「高」「中」「低」を選んだ場合には、画質調整メニューに戻ります。

「User1 ~ 3」を選んだ場合

「User1 ~ 3」を選んだ場合には、以下の画面が表示されます。



(1) ↑/↓ボタンで設定したいゲインを選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



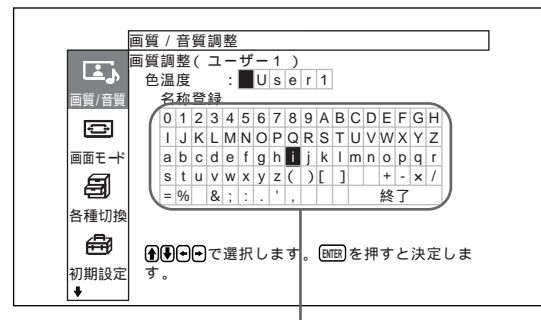
(2) ↑/↓/←/→ボタンでゲインを調整し(0 ~ 255) ENTERボタンを押す。

色温度メニュー画面に戻ります。

調整した色温度の名前の変更は、以下の手順で行います。

(3) ↑/↓ボタンで「名称登録」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



キャラクター一覧

(4) ↑/↓/←/→ボタンでキャラクター一覧から文字や記号を選び、ENTERボタンを押す。

選んだ文字が入力されます。間違えたときは画面上の「←」を選ぶと1文字戻りますので、選び直してください。初期設定メニューの「メニューキー動作」(26(JP)ページ)が「戻る」に設定されているときは、リモコンの↑/↓ボタンはカーソルを左右に移動させます。↑/↓ボタンでカーソルを上下に移動させた場合は、メニューキー動作の設定を「入/切」にしてください。

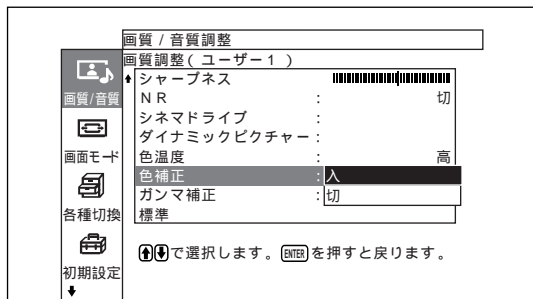
(5) 手順(4)を繰り返し、名前の変更が終わったら「終了」を選び、ENTERボタンを押す。

色温度メニュー画面に戻ります。

色補正

美しく健康的な色を再現することができます。

- 1 ↑/↓ボタンで「色補正」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

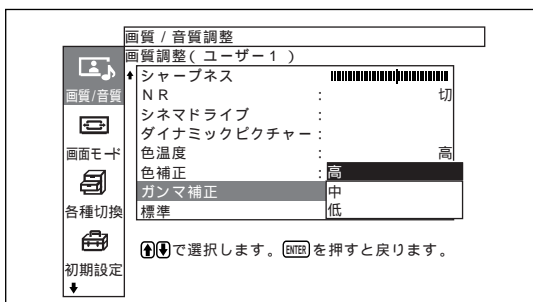


- 2 ↑/↓ボタンで色補正のモードを選び、ENTERボタンを押す。
入：色補正をかける
切：色補正をかけない

ガンマ補正

映像の明暗部分のバランスを自動的に調整することができます。

- 1 ↑/↓ボタンで「ガンマ補正」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



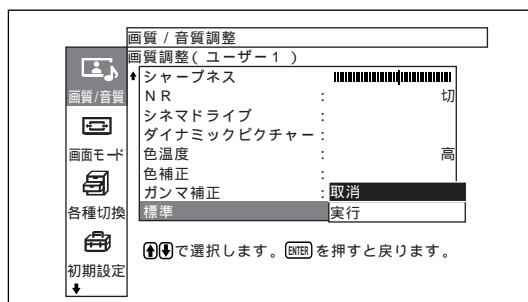
- 2 ↑/↓ボタンでガンマ補正のモードを選び、ENTERボタンを押す。
高：ガンマ補正を強くかけるとき
中：ガンマ補正を中程度にかけるとき
低：ガンマ補正を弱くかけるとき

ご注意

- RGB信号を入力している場合、色あいと色の濃さは調整できません。
- コンポーネント信号を入力している場合、色あいは調整できません。
- PAL、PAL-M、PAL-N、PAL60およびSECAM方式の入力信号の場合、色あいは調整できません。
- 白黒信号を入力しているときは、色の濃さと色あいは調整できません。

調整した画質を出荷時の設定値に戻す

- 1 画質調整メニューから、↑/↓ボタンで「標準」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTERボタンを押す。
画質調整メニューの項目が工場出荷時の設定値に戻ります。

リセットを中止するには
ENTERボタンを押す前にMENUボタンを押してください。または、↑/↓ボタンで「取消」を選びENTERボタンを押してください。

映像を拡大する

通常のテレビ放送やワイドクリアビジョンなど、映像の種類に合わせて画面いっぱいに拡大表示することができます。

ワイドモードには以下の種類があります。

オリジナルの映像
(映像の種類)

拡大した映像



- ・通常の4:3映像をワイドズームに設定したとき(画面横縦比4:3)

違和感なく画面いっぱいに拡大します。



- ・ワイドクリアビジョン放送(横縦比16:9)
- ・ビスタビジョンなど映像中に字幕が入った横長の映画(横縦比1.85:1)
- ・横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像(ID-1方式)

画面の左右に合わせていっぱい拡大します。(映像の種類によって、上下に黒い帯が残ることがあります。)



- ・横縦比情報の入ったビデオカメラやDVDソフトなどの映像(ID-1方式)

天地はそのまま、左右を画面いっぱいに引き伸ばします。



- ・シネマビジョンなど映像の外に字幕のある横長の映画(横縦比2.35:1)

画面の左右に合わせていっぱい拡大しながら、字幕部分だけを圧縮して画面に入れます。



- ・オートワイド「入」で、4:3映像を「ノーマル」(出荷時は「ノーマル」)に設定したとき

拡大せずに、横縦比4:3のままの映像になります。

オートワイドを設定する

一部の通常のテレビ放送やワイドクリアビジョン放送などでは、映像を判別するための識別制御信号が映像信号と重ねて送られています。オートワイド機能は、識別制御信号に基づいて映像を忠実に再現したり、識別制御信号に関係なくあらゆる映像を最適なサイズで拡大表示することができます。

また、横縦比が4:3の通常のテレビ放送やBS放送を、横縦比16:9に拡大して表示することもできます。

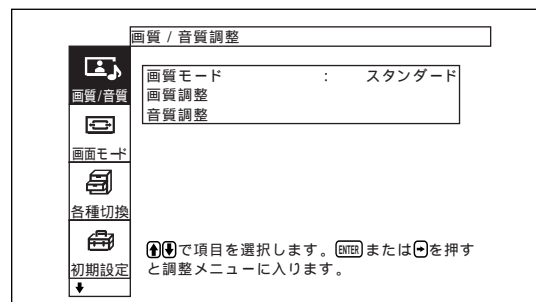
識別制御信号とは

オリジナル映像の横縦比をテレビで忠実に再現するためのコントロール信号です。この信号を含む映像には以下のものがあります。

- ・ワイドクリアビジョン放送
- ・横縦比情報の入ったビデオカメラなどの記録映像(ID-1方式)
- ・横縦比を4:3にする信号の入ったテレビ放送
- ・D4入力端子から受ける横縦比情報の入った映像

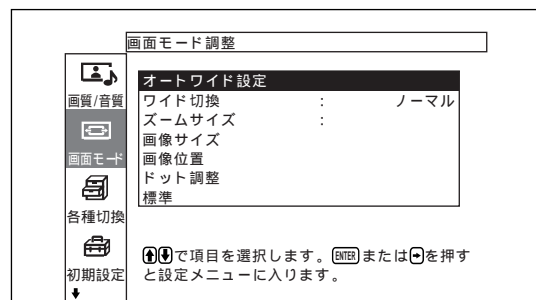
1 MENU ボタンを押す。

メインメニューが表示されます。



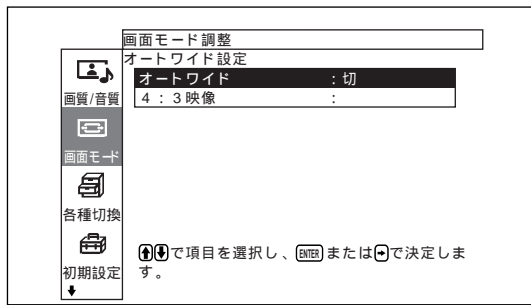
2 ↑/↓ ボタンで「画面モード」を選び、ENTER ボタンを押す。

画面モード調整メニューが表示されます。

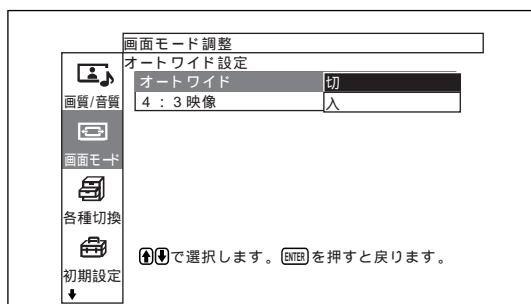


- 3** ↑/↓ボタンで「オートワイド設定」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



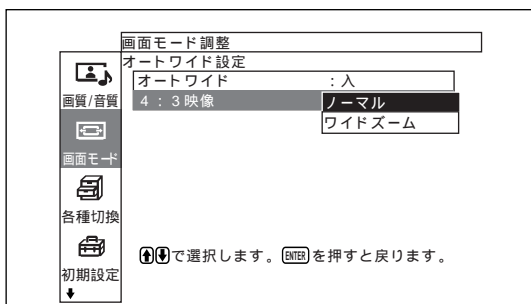
- 4** ↑/↓ボタンで「オートワイド」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 5** ↑/↓ボタンでオートワイドの設定を選ぶ。
切：映像をそのまま表示する
入：最適な横縦比に拡大して映像を表示する

- 6** ENTERボタンを押す。
3の画面に戻ります。

- 7** ↑/↓ボタンで「4:3映像」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



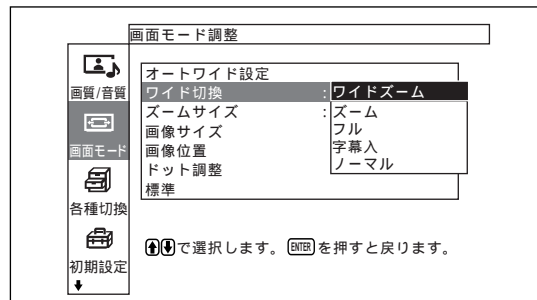
- 8** ↑/↓ボタンで4:3映像のモードを選ぶ。
ノーマル：4:3の映像をそのまま表示する
ワイドズーム：4:3の映像を16:9に拡大して表示する(識別制御信号のない場合)

- 9** ENTERボタンを押す。
オートワイド設定に戻ります。

ワイド切換を設定する

映像の種類に関係なく、好きなワイドモードで画面を拡大表示することができます。

- 1** 画面モード調整メニューから、↑/↓ボタンで「ワイド切換」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2** ↑/↓ボタンでワイドモードを選ぶ。
ワイドズーム：4:3の映像を16:9に画面いっぱいに拡大します。
ズーム：画面の左右に合わせていっぱいに拡大する(映像の種類によっては上下に黒い帯が残ることがあります。)
フル：天地をそのままにして、映像の左右を画面いっぱいに引き伸ばす
字幕入：画面の左右に合わせていっぱいに拡大し、字幕部分のみを圧縮して表示する
ノーマル：拡大せずにそのまま表示する

- 3** ENTERボタンを押す。
画面モードメニューに戻ります。

ご注意

- ワイド切換を設定すると、オートワイド機能が働きません。オートワイド機能を使いたい場合は、「入」に再設定してください。
- 映像の種類やサイズによっては、画面の上下が欠けたり、字幕が入りきらない場合があります。そのような場合は、画像のサイズや位置を調整してください。
- 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、ワイド切換機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
- 本機は、各種のワイド切換機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、ワイド切換をお選びください。

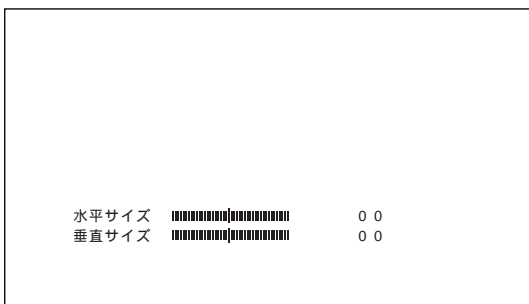
画像のサイズや位置を調整する

画像の大きさや位置がディスプレイ画面に合っていないときは、位置を調整したり、縦・横方向に画像のサイズを変えたりすることができます。

この取扱説明書では、メニューキー動作が「入/切」に設定されている状態での操作を説明しています。画面モード調整メニューについて詳しくは、「画面モード調整メニュー」(23(JP)ページ)をご覧ください。

画像のサイズを変える

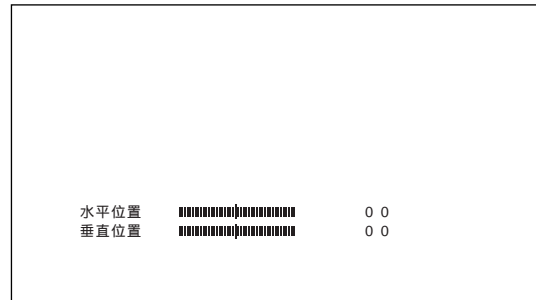
- 1 画面モードメニューから↑/↓ボタンで「画像サイズ」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓/←/→ボタンで水平方向 / 垂直方向のサイズを調整する。
←/→ : 水平方向のサイズを調整する
↑/↓ : 垂直方向のサイズを調整する
画像の水平方向のサイズは、画面上に最小(-128)~最大(+127)の調整値で表示されます。垂直方向のサイズは、画面上に最小(-128)~最大(+127)の調整値で表示されます。工場出荷時は00(標準位置)に設定されています。
- 3 ENTERボタンを押す。
画面モード調整メニューに戻ります。

画像の位置を調整する

- 1 画面モード調整メニューから、↑/↓ボタンで「画像位置」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓/←/→ボタンで水平方向 / 垂直方向に動かす。
←/→ : 画像が左 / 右に動く
↑/↓ : 画像が上 / 下に動く
画像の水平位置は、画面上に左(128)~右(127)の調整値で表示されます。画像の垂直位置は、画面上に下(128)~上(127)の調整値で表示されます。工場出荷時は00(標準位置)に設定されています。
- 3 ENTERボタンを押す。
画面モード調整メニューに戻ります。

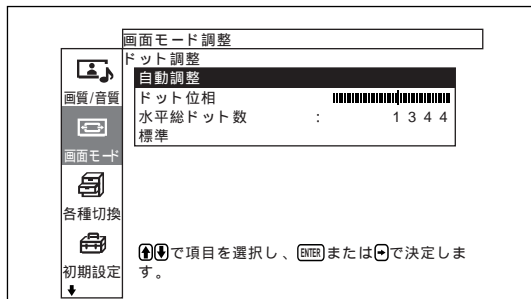
ドット位相を調整する

文字や縦線のエッジにチリチリとしたノイズが多いときに、ドット位相と水平総ドット数を調整します。

ご注意

コンピューター信号に対して有効です。

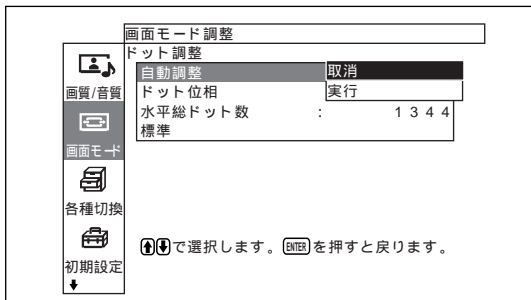
- 1 画面モード調整メニューから↑/↓ボタンで「ドット調整」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ドット位相と水平総ドット数の調整には、自動調整と手動調整の2通りがあります。

自動調整する場合

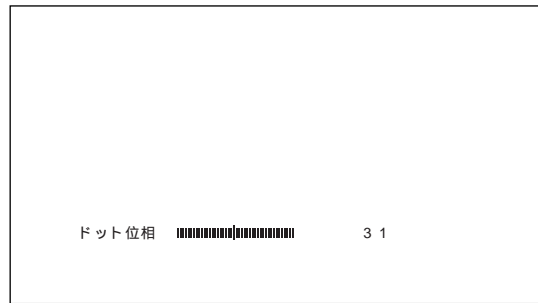
- (1) ↑/↓ボタンで「自動調整」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- (2) ↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTER ボタンを押す。
自動的にドット位相と水平総ドット数が調整されます。

手動調整する場合

- (1) ↑/↓ボタンで「ドット位相」または「水平総ドット数」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。(下図は「ドット位相」を選んだ場合)



- (2) ↑/↓ボタンで文字や縦線が最もきれいに見える状態に調整し、ENTER ボタンを押す。

ご注意

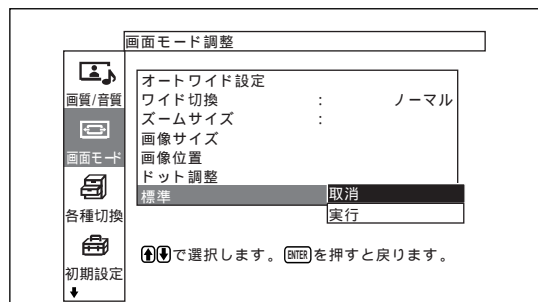
絵柄によっては自動調整でもノイズが消えないときがあります。この場合は手動調整をしてください。

ドット調整項目を出荷時の設定に戻すには

ドット調整メニューから、↑/↓ボタンで「標準」を選び、ENTER ボタンを押した後で、↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTER ボタンを押してください。

設定した画面モードメニューの調整値を出荷時の設定値に戻す

- 1 画面モード調整メニューから、↑/↓ボタンで「標準」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTER ボタンを押す。
画面モード調整メニューの項目が工場出荷時の設定値に戻ります。

リセットを中止するには

ENTER ボタンを押す前に MENU ボタンを押してください。または、↑/↓ボタンで「取消」を選びENTER ボタンを押してください。

音質を調整する

音の高音、低音、バランスを調整することができます。また、サラウンドモードを設定することができます。

高音、低音、バランスなどを調整する

MENUボタンを押してメインメニューを表示し、音質調整メニューから調整したい項目に応じて、「高音」、「低音」、「バランス」、「サラウンド」を調整します。

高音

↑/↓ボタンで「高音」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで高音を調整します。

最小(-50)～最大(+50)の範囲で設定できます。

- ↑/→ : 高音が強くなる
- ↓/← : 高音が弱くなる

低音

↑/↓ボタンで「低音」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンで低音を調整します。

最小(-50)～最大(+50)の範囲で設定できます。

- ↑/→ : 低音が強くなる
- ↓/← : 低音が弱くなる

バランス

↑/↓ボタンで「バランス」を選び、ENTERボタンを押し、↑/↓/←/→ボタンでバランスを調整します。

左(50)～右(50)の範囲で設定できます。

- ↑/→ : 右側の音が強くなる
- ↓/← : 左側の音が強くなる

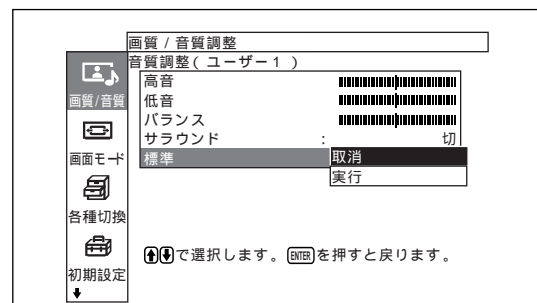
サラウンド

映像の種類に合わせて、サラウンドモードを選ぶことができます。

- 1 ↑/↓ボタンで「サラウンド」を選び、ENTERボタンを押す。
- 2 ↑/↓ボタンでモードを選び、ENTERボタンを押す。
切 : サラウンド出力はしない
ホール : 映画や音楽などのステレオ音声をより臨場感のある音にする場合
シミュレート : 通常の放送やニュース番組のモノラル音声を擬似的にステレオ音声にして臨場感を高める場合

調整した音質を出荷時の設定に戻す

- 1 音質調整メニューから、↑/↓ボタンで「標準」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「実行」を選び、ENTERボタンを押す。
音質調整メニューの項目が工場出荷時の設定値に戻ります。

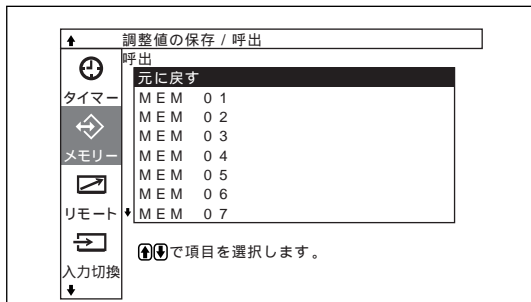
リセットを中止するには

ENTERボタンを押す前にMENUボタンを押してください。または、↑/↓ボタンで「取消」を選びENTERボタンを押してください。

- 9 手順8を繰り返し、名前が入力が終わったら「終了」を選び、ENTER ボタンを押す。
4の画面に戻ります。

メモリーした設定値を呼び出す

- 1 調整値の保存 / 呼出メニューから、↑/↓ボタンで「呼出」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで設定を呼び出したいメモリーナンバー(01 ~ 20)にカーソルを移動する。
保存された調整値が呼び出されます。

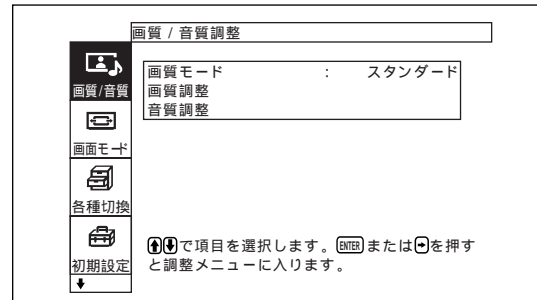
呼び出す前の調整値に戻すには
「元に戻す」にカーソルを移動してください。

- 3 ENTER ボタンを押す。
調整値の保存 / 呼出メニュー画面に戻ります。

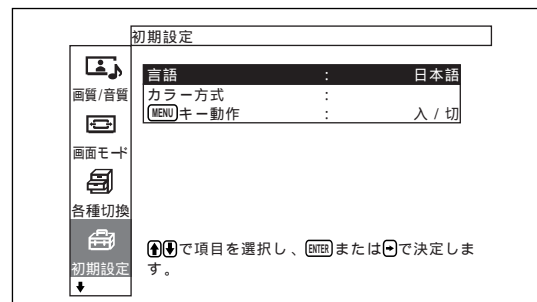
メニュー表示の言語を選ぶ

メニュー表示に使う言語を、日本語、英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語の6つの言語の中から選ぶことができます。

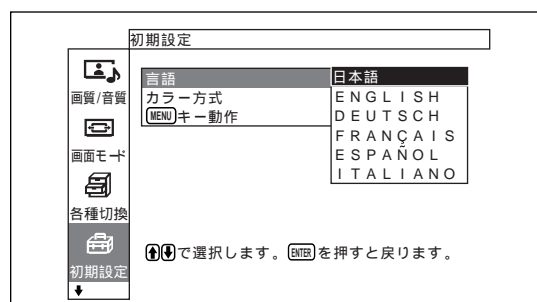
- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「初期設定」を選び、ENTER ボタンを押す。
初期設定メニューが表示されます。



- 3 ↑/↓ボタンで「言語」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4 ↑/↓ボタンで表示したい言語を選び、ENTER ボタンを押す。
メニュー画面の言語が切り換わります。
日本語: 日本語
ENGLISH: 英語
DEUTSCH: ドイツ語
FRANÇAIS: フランス語
ESPAÑOL: スペイン語
ITALIANO: イタリア語

スクリーンセーバー機能

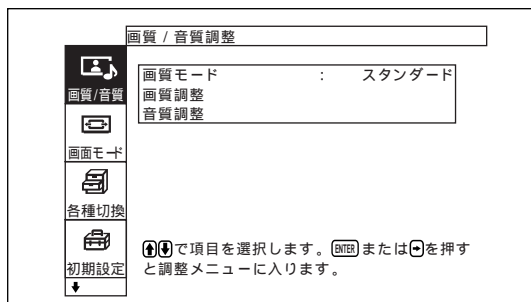
コンピュータの画像のように、輝度の変化しない画像や静止画の映像を長時間表示すると、画面に焼きつきや残像が生じることがあります。

これを補正したり、軽減させるため、本機にはスクリーンセーバー機能が搭載されています。スクリーンセーバー機能には、画像の色あいを反転させる(画像反転)、一定の時間がたつと画像の表示位置を自動的に変える(自動表示位置移動)の2種類があります。

画像の色あいを反転させる

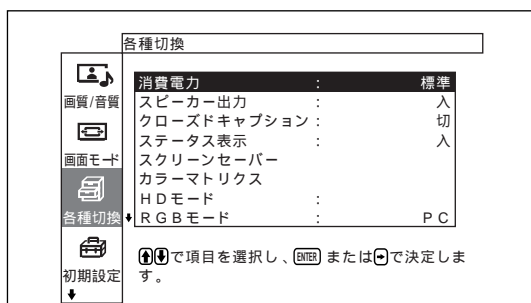
1 MENUボタンを押す。

メインメニューが表示されます。



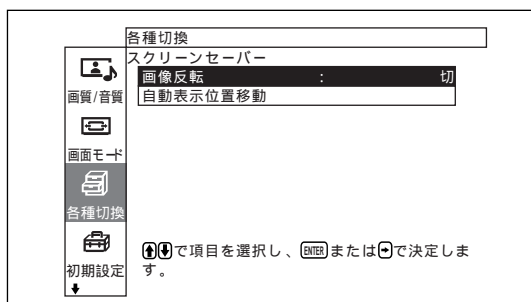
2 ↑/↓ボタンで「各種切換」を選び、ENTERボタンを押す。

各種切換メニューが表示されます。



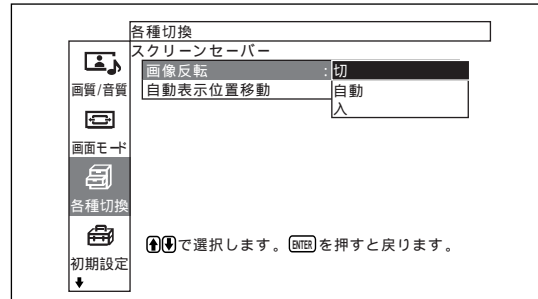
3 ↑/↓ボタンで「スクリーンセーバー」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



4 ↑/↓ボタンで「画像反転」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



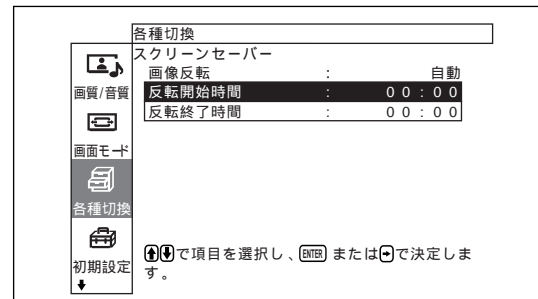
5 ↑/↓ボタンで画像反転のモードを選ぶ。

切: 画像を反転しない

自動: 1日1回、設定した時刻に画像の色あいを反転する

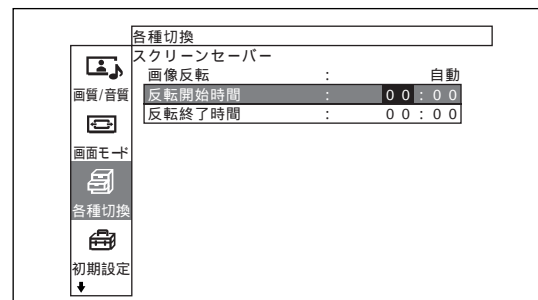
入: 画像の色あいを反転する

「自動」を選びENTERボタンを押すと、以下の画面が表示されます。



(1) ↑/↓ボタンで「反転開始時間」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示され、時間の背景が凸状に表示されます。



(2) ↑/↓ボタンで時間を設定し、ENTERボタンを押す。

時間が確定し、分の背景が凸状に変わります。

(3) ↑/↓ボタンで分を設定し、ENTERボタンを押す。

分が確定します。←ボタンを押すと5の画面に戻ります。本体のボタンで操作する場合はMENUボタンを押してメニューを閉じ、初期設定メニューで「メニューキー動作」(26(JP)ページ)を「戻る」に設定します。本体のMENUボタンが←ボタンと同じ動作をします。

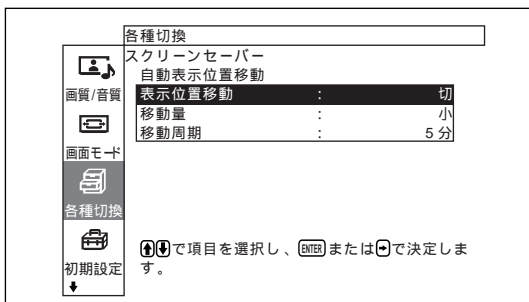
- (4) 反転開始時間と同様に、反転終了時間を設定する。
1日1回、反転開始時間に反転が始まり、反転終了時間に反転表示が終了する設定になります。

ご注意

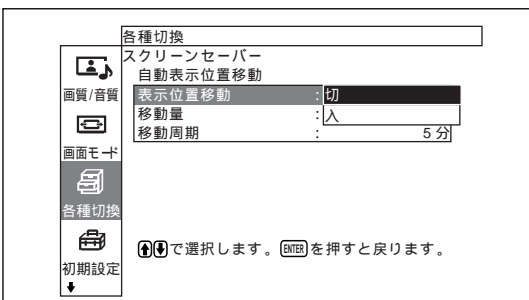
反転開始時間と反転終了時間に同じ時刻を設定すると、反転開始時間の設定が優先され、反転終了時間になっても反転表示は終了しません。

画像の表示位置を自動的に変える

- 1 スクリーンセーバーメニューから、↑/↓ボタンで「自動表示位置移動」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「表示位置移動」を選び、ENTER ボタンを押す。
以下の画面が表示されます。

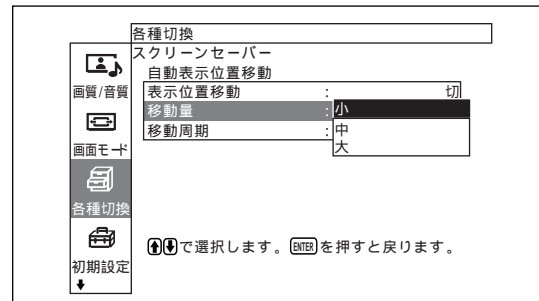


- 3 ↑/↓ボタンで表示位置移動のモードを選ぶ。
切: 表示位置を移動しない
入: 表示位置を移動する

- 4 ENTER ボタンを押す。
1の画面に戻ります。

- 5 ↑/↓ボタンで「移動量」(移動の大きさ)または「移動周期」(移動の時間)を選び、ENTER ボタンを押す。
選択できる移動量、移動周期は以下のとおりです。
移動量: 小、中、大
移動周期: 10秒、30秒、1分、5分

以下の画面が表示されます。(下図は「移動量」を選んだ場合)



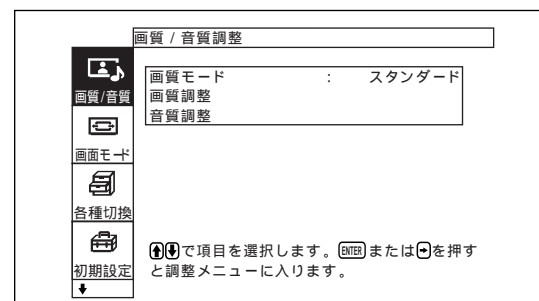
- 6 ↑/↓ボタンで移動量または移動周期を設定し、ENTER ボタンを押す。

画像反転と自動表示位置移動の両方を入にすると
画像が反転中に一定時間がたつと、反転した画像が表示位置を変えて表示されます。

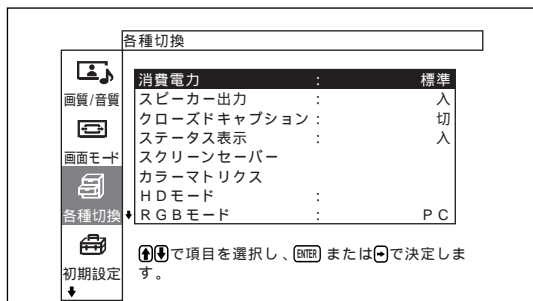
カラーマトリクスを調整する

コンポーネント入力アダプターに接続したBSデジタルチューナー、デジタルCSチューナーおよびDVDプレーヤーなどからの入力、480p(525p)、1080i(1125i)、720p(750p)の各信号フォーマットのとき、映像が自然な色合いになるように設定できます。

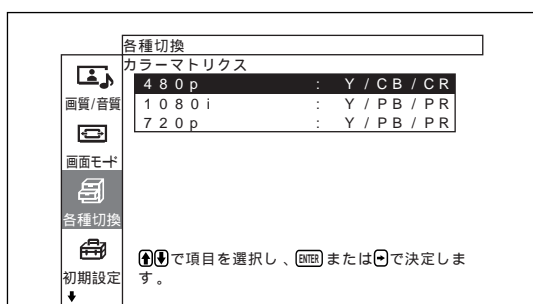
- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



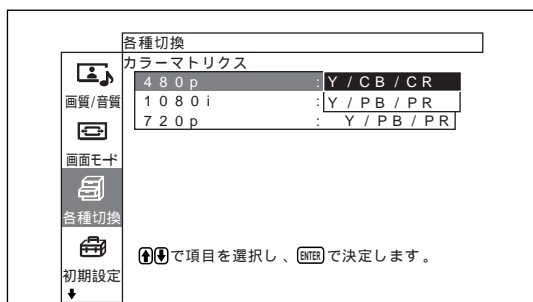
- 2 ↑/↓ボタンで「各種切換」を選び、ENTERボタンを押す。
各種切換メニューが表示されます。



- 3 ↑/↓ボタンで「カラーマトリクス」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4 ↑/↓ボタンで信号フォーマットを選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 5 ↑/↓ボタンでカラーマトリクスを選ぶ。

Y/CB/CR : 信号フォーマットが480pの場合

Y/PB/PR : 信号フォーマットが1080iまたは720pの場合

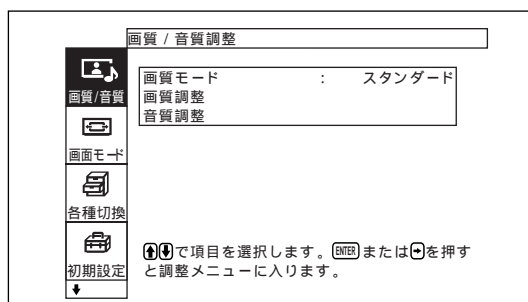
設定について詳しくは、各機器に付属の取扱説明書をご覧ください。

電源のオン/オフを自動的に制御する(タイマー機能)

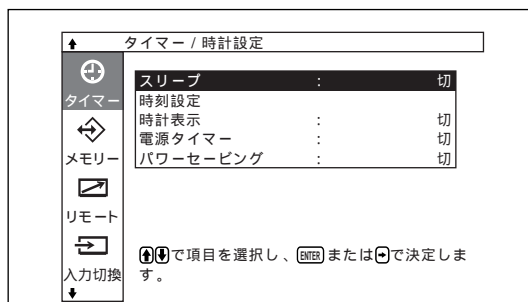
本機に信号が入力されない状態が続くと、電源を自動的に切るパワーセービング機能と、電源をオン/オフする時間を自由に設定できる電源タイマー機能があります。また、画面を表示したままにしても、設定した時間が過ぎると電源を自動的に切るスリープ機能もあります。

スリープ機能

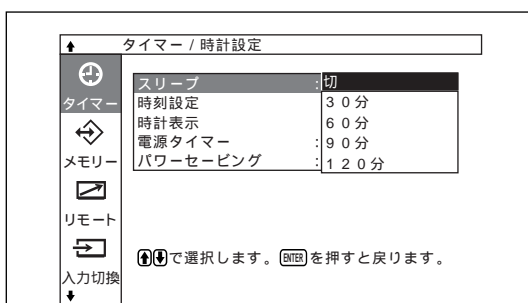
- 1 MENUボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「タイマー」を選び、ENTERボタンを押す。
タイマー/時計設定メニューが表示されます。



- 3 ↑/↓ボタンで「スリープ」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



4 ↑/↓ボタンで電源が切れるまでの時間を選ぶ。

切：電源は切れない

30分：30分過ぎると電源が切れる

60分：60分過ぎると電源が切れる

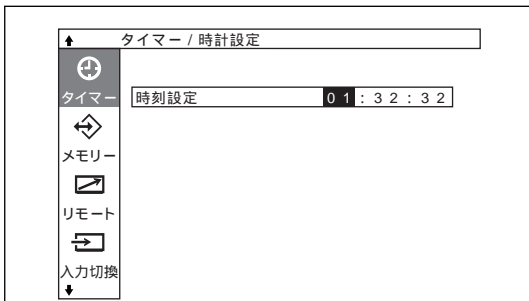
90分：90分過ぎると電源が切れる

120分：120分過ぎると電源が切れる

時刻を設定する

1 タイマー/時計設定メニューから、↑/↓ボタンで「時刻設定」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示され、時間の背景が黄色に変わります。



2 ↑/↓ボタンで時間を設定し、ENTERボタンを押す。

時間が確定し、分の背景が黄色に変わります。

3 時間と同様に、分を設定し、ENTERボタンを押す。

分が確定し、秒の背景が黄色に変わります。

4 ENTERボタンを押す。

秒がリセットされ、「00」になります。

5 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。再度設定が必要な場合は、手順1から繰り返してください。

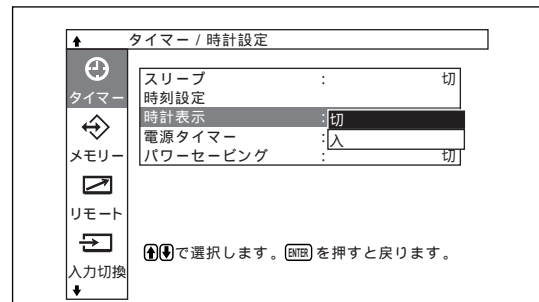
ご注意

時刻が大幅にずれたりするときは、内蔵電池の消耗が考えられます。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にて電池の交換をご依頼ください(有料)。

時計を表示する

1 タイマー/時計設定メニューから、↑/↓ボタンで「時計表示」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



2 ↑/↓ボタンで「入」を選び、ENTERボタンを押す。

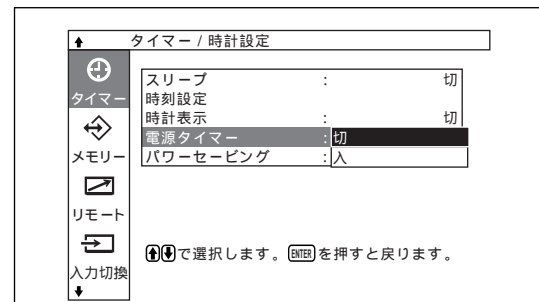
メニューを消すと、画面左上に時計が表示されます。

リモートコンマダーのDISPLAYボタンを押すと時計表示は消えて、入力されている信号および画質モードが表示されます。もう一度DISPLAYボタンを押すと時計が表示されます。表示された状態で約5分経つと表示は自動的に消えます。また、時計表示「入」の設定は電源オフ後は保存されません。

電源タイマー機能

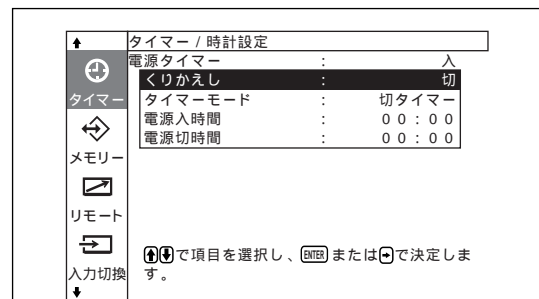
1 タイマー/時計設定メニューから、↑/↓ボタンで「電源タイマー」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示されます。

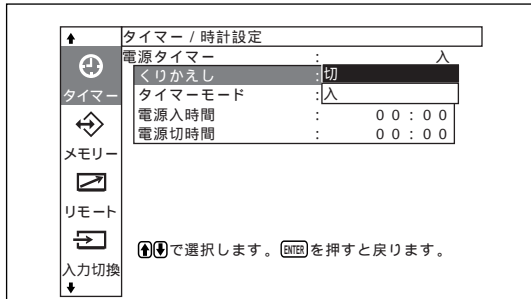


2 ↑/↓ボタンで「入」を選び、ENTERボタンを押す。

以下の画面が表示されます。



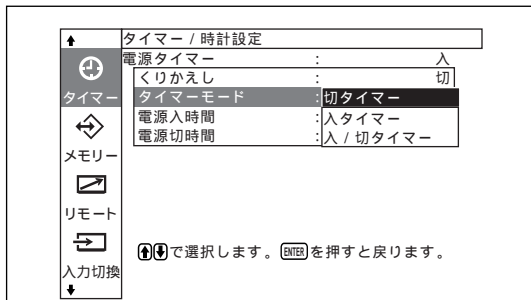
- 3** ↑/↓ボタンで「くりかえし」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4** ↑/↓ボタンでくりかえしのモードを選ぶ。
切: 1回だけ電源の入 / 切を行う
入: 毎日設定した時刻に電源の入 / 切を行う

- 5** ENTERボタンを押す。
2の画面に戻ります。

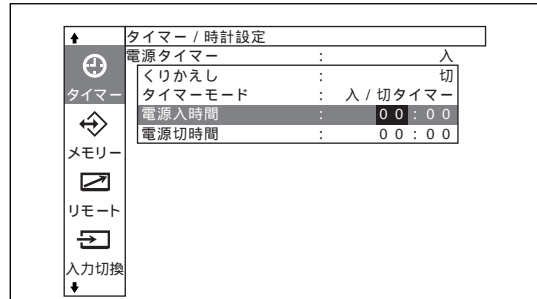
- 6** ↑/↓ボタンで「タイマーモード」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 7** ↑/↓ボタンでタイマーモードを選ぶ。
切タイマー: 「電源切時間」で設定した時刻になると電源が切れる
入タイマー: 「電源入時間」で設定した時刻になると電源が入る
入 / 切タイマー: 「電源入時間」で設定した時刻になると電源が入り、「電源切時間」で設定した時刻になると電源が切れる

- 8** ENTERボタンを押す。
2の画面に戻ります。

- 9** ↑/↓ボタンで「電源入時間」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示され、時間の背景が黄色で表示されます。



- 10** ↑/↓ボタンで時間を設定し、ENTERボタンを押す。
時間が確定し、分の背景が凸状に表示されます。

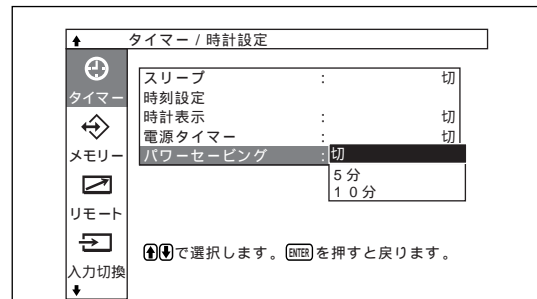
- 11** ↑/↓ボタンで分を設定し、ENTERボタンを押す。
←ボタンを押すと2の画面に戻ります。

本体のボタンで操作する場合はMENUボタンを押してメニューを閉じ、初期設定メニューで「メニューキー動作」(26(JP)ページ)を「戻る」に設定します。本体のMENUボタンが←ボタンと同じ動作をします。

- 12** ↑/↓ボタンで「電源切時間」を選び、ENTERボタンを押して、電源入時間と同様に時間と分を設定する。

パワーセービング機能

- 1** タイマー / 時計設定メニューから、↑/↓ボタンで「パワーセービング」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 2** ↑/↓ボタンでパワーセービングモードに入るまでの時間を選ぶ。
切: パワーセービングしない
5分: 信号が入力されない状態が5分続くとパワーセービングモードに入る
10分: 信号が入力されない状態が10分続くとパワーセービングモードに入る

パワーセービングモードに入ると、本機はスタンバイ状態になります。

パワーセービングモードを解除するには

- ・ \odot (スタンバイ)スイッチ / インジケータ部の \odot スイッチ、またはリモートコマンダーのPOWER ONスイッチを押すと、電源が入ります。

自己診断機能

本機には自己診断機能が搭載されています。これは本機が正しく動作していないときに、STANDBYインジケータの点滅によりお知らせする機能です。点滅状態によって本機の状態が分かるようになっています。

STANDBYインジケータが点滅したら、点滅状態を確認して、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

1 STANDBY インジケータの点滅状態を確認する。

画面が消えずにインジケータが点滅している場合と、画面が消えてインジケータが3秒おきに点滅する場合があります。画面が消えてインジケータが3秒おきに点滅している場合には、点滅回数を数えてください。たとえば、2回点滅 3秒あき 2回点滅...この場合の点滅回数は2回です。

2 本機の電源コードを抜く。

お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご連絡をお知らせください。

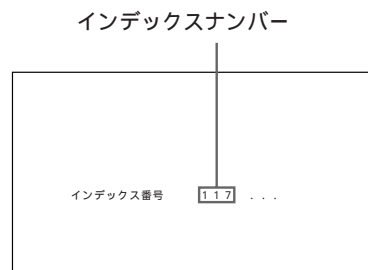
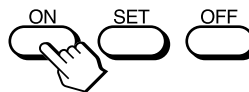
特定のディスプレイをリモートコマンダーで操作する

複数のディスプレイを使用しているとき、インデックスナンバーを指定して、特定のディスプレイのみを操作することができます。

1 リモートコマンダーのID MODE ON ボタンを押す。

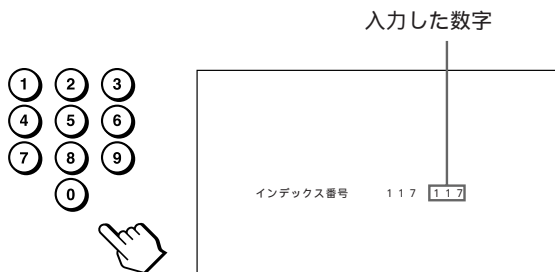
インデックスナンバーが、画面中央に白い文字で表示されます。(インデックスナンバーは、1から255の範囲で、あらかじめ各ディスプレイに設定されています。)

インデックスナンバーを変更したいときは、「インデックスナンバーを変更するには」(50(JP)ページ)をご覧ください。

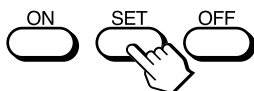


特定のディスプレイをリモートコマンダーで操作する

- 2 リモートコマンダーの数字ボタンで、操作したいディスプレイのインデックスナンバーを入力する。
すべてのディスプレイのインデックスナンバーの右に、入力した数字が表示されます。

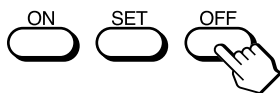


- 3 ID MODE SET ボタンを押す。
選択したディスプレイのメニュー表示が緑色に変わり、その他のディスプレイのメニュー表示は赤色に変わります。



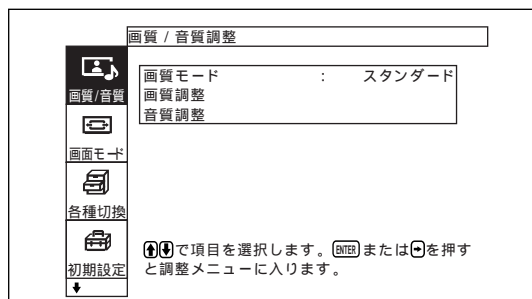
これで特定のディスプレイ(メニュー表示が緑色に変わったディスプレイ)のみを操作できます(電源ON/STANDBYは他のディスプレイにも有効です)

- 4 設定変更等の操作が終了したら、ID MODE OFFボタンを押す。
ディスプレイは通常の画面に戻ります。

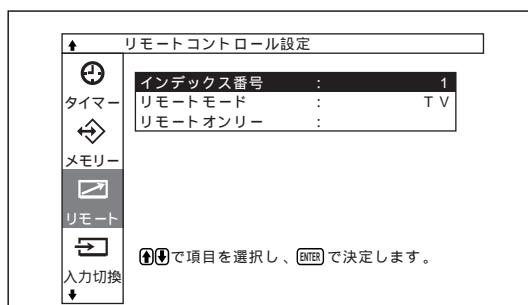


インデックスナンバーを変更するには必要に応じてインデックスナンバーを変更できます。変更する場合は、ディスプレイ本体のコントロールボタン部のボタンをお使いください。

- 1 MENU ボタンを押す。
メインメニューが表示されます。



- 2 ↑/↓ボタンで「リモートコントロール設定」を選び、ENTERボタンを押す。
リモートコントロール設定メニューが表示されます。



- 3 ↑/↓ボタンで「インデックス番号」を選び、ENTERボタンを押す。
以下の画面が表示されます。



- 4 ↑/↓ボタンでインデックス番号を選び、ENTERボタンを押す。
リモートコントロール設定メニューに戻ります。

他のリモートコマンダーから操作する

他のリモートコマンダーから以下の操作ができます。

- ・電源の入 / 切
- ・入力の切り換え
- ・メニュー操作
- ・画質調整(コントラスト、色の濃さ、色あい)
- ・画面表示の入 / 切

リモートコマンダーの種類により、使用するボタンは以下のようになります。

リモコンの型名		RM-854	RM-921	RM-PJ1001
REMOTE MODE の設定		TV	TV	PJ
入力切換	INPUT1	RGB	RGB1	A
	INPUT2	—	RGB2	B
	VIDEO	LINE1	LINE	VIDEO
メニュー操作	MENU	MENU	MENU	MENU または ←
	ENTER	ENTER	ENTER	ENTER または →
	↑	+	↑	↑
	↓	-	↓	↓
画質の調整	コントラスト	CONTRAST + / -	CONTRAST + / -	CONTR + / -
	色の濃さ	CHROMA + / -	CHROMA	COLOR + / -
	色あい	PHASE + / -	—	HUE + / -
画面表示		DISPLAY	DISPLAY	STATUS ON

電源接続時のご注意

それぞれの地域に合った電源コードをお使いください。

PFM-50C1

	アメリカ合衆国、カナダ	ヨーロッパ諸国		イギリス、アイルランド、オーストラリア、ニュージーランド	日本
プラグ型名	VM0233	COX-07	636	— ¹⁾	VM1296
コネクタ型名	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
コード型名	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
定格電圧・電流	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
安全規格	UL/CSA	VDE		VDE	電安法

1) プラグに関しては各国規制に適合し、使用に適した定格のものを使用してください。

仕様

映像処理系

プリセット信号	入力プリセット信号(31(JP)ページ)参照
サンプリング周波数	13.5 MHz ~ 140 MHz
パネル方式	プラズマディスプレイパネル
解像度	1365ドット(水平) × 768ライン(垂直)
ピクセルピッチ	0.81(水平) × 0.81(垂直)mm
有効表示寸法	1106(水平) × 622(垂直)mm
画面サイズ	50(V)型(対角1270mm)

入出力

INPUT1/INPUT2

RGB/YUV	D-sub 15ピン(メス)(×2) (「ピン配列」参照)
AUDIO	ステレオミニジャック 500 mVrms、ハイインピーダンス
SPEAKER	7 W + 7 W(6) 適合負荷インピーダンス6 ~ 16

CONTROL S IN/OUT

REMOTE(RS-232C)	D-sub 9ピン(×1)
-----------------	---------------

VIDEO(NTSC、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL60、PAL-M、PAL-N)

COMPOSITE IN	BNC型(×1) コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、 75 自動終端
--------------	---

Y/C	ミニDIN4ピン(×1) Y(輝度) 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、 75 終端 C(クロマ)バースト 0.286 Vp-p ± 2 dB(NTSC) 75 終端 バースト 0.3 Vp-p ± 2 dB(PAL) 75 終端
-----	--

AUDIO IN	ステレオミニジャック 500 mVrms、ハイインピーダンス
----------	-----------------------------------

COMPOSITE OUT BNC型(×1)ループスルー

安全規格 電安法、VCCIクラスB

本機は「高調波ガイドライン適合品」です。

D4端子アダプター-BKM-B11(別売り)

VIDEO1 IN(NTSC、PAL、SECAM、NTSC4.43、PAL60、PAL-M、PAL-N)	ピンジャック(×1) コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、 75 終端
COMPOSITE	ミニDIN4ピン(×1) Y(輝度) 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、 75 終端 C(クロマ)バースト 0.286 Vp-p ± 2 dB(NTSC) 75 終端 バースト 0.3 Vp-p ± 2 dB(PAL) 75 終端
Y/C	ステレオミニジャック 500 mVrms、ハイインピーダンス
AUDIO	VIDEO2 IN D4端子(×1) 75 終端 (JEITA RC-5237(デジタル放送映像信号 用(Y、P _B 、P _R)接続用D端子コネク ター)に準拠)
VIDEO2 IN	AUDIO ステレオミニジャック 500 mVrms、ハイインピーダンス
D4	

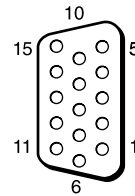
その他

電源	AC 100 V ~ 240 V、50/60 Hz、 5.4 A ~ 2.2 A
消費電力	490 W
動作条件	温度：0 ~ + 35 湿度：20 ~ 90% (結露のないこと) 気圧：700 ~ 1 060 hPa
保存・輸送条件	温度：- 10 ~ + 40 湿度：20 ~ 90% (結露のないこと) 気圧：720 ~ 1 114 hPa
外形寸法	1 246 × 755 × 100 mm (幅 / 高さ / 奥行き、最大突起部 含まず)
質量	約46.7 kg
付属品	電源コード(1) ACプラグホルダー(2) ケーブルホルダーA(2) ケーブルホルダーB(6) 変換プラグアダプター(1) リモートコマンダーRM-971(1) 単3形乾電池(2) 取扱説明書(1) 保証書(1)
別売りアクセサリ	スタンド SU-P50C スピーカー SS-SP10A D4端子アダプター BKM-B11

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

ピン配列

RGB/YUV端子(D-sub 15ピン)



ピンNo.	信号
1	赤映像信号またはR-Y信号またはP _R 信号
2	緑映像信号またはY信号またはSync On Green信号
3	青映像信号またはB-Y信号またはP _B 信号
4	接地 (GND)
5	接地 (GND)
6	赤接地 (GND)
7	緑接地 (GND)
8	青接地 (GND)
9	未使用
10	接地 (GND)
11	接地 (GND)
12	SDA
13	水平同期信号または複合同期信号
14	垂直同期信号
15	SCL

保証書とアフターサービス

保証書

- ・この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取りください。
- ・所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを
この説明書をもう1度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ
お買い上げ店、または添付の「サービス窓口・ご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理をさせていただきます。

WARNING

Owner's Record

The model and serial numbers are located on the rear. Record the model and serial numbers in the spaces provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No. _____ Serial No. _____

To prevent fire or shock hazard, do not expose the unit to rain or moisture.

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

For customers in the U.S.A.

If you have any questions about this product, you may call: Sony's Business Information Center (BIC) at 1-800-686-SONY (7669)

*or Write to: Sony Customer Information Services Center
6900-29 Daniels Parkway, PMB 330 Fort
Myers, Florida 33912*

Declaration of Conformity

Trade Name:	SONY
Model:	PFM-50C1/PFM-50C1E
Responsible Party:	Sony Electronics Inc.
Address:	680 Kinderkamack Road, Oradell NJ 07649 U.S.A.
Telephone Number:	201-930-6972

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful

interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

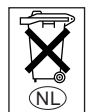
You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.

For customers in Canada

This class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003.

Voor de klanten in Nederland

- Dit apparaat bevat een vast ingebouwde batterij die niet vervangen hoeft te worden tijdens de levensduur van het apparaat.
- Raadpleeg uw leverancier indien de batterij toch vervangen moet worden. De batterij mag alleen vervangen worden door vakbekwaam servicepersoneel.
- Gooi de batterij niet weg maar lever deze in als klein chemisch afval (KCA).
- Lever het apparaat aan het einde van de levensduur in voor recycling, de batterij zal dan op correcte wijze verwerkt worden.



The socket-outlet should be installed near the equipment and be easily accessible.

Table of Contents

Precautions	5 (GB)
Features	6 (GB)
Location and Function of Parts and Controls	7 (GB)
Front / Rear / Right Side	7 (GB)
⏻ (standby) Switch / Indicator Section	8 (GB)
Control Button Section (Top)	8 (GB)
Connector Panel	9 (GB)
Remote Commander RM-971	11 (GB)
Caution	13 (GB)
Connections	14 (GB)
Connecting the Speakers	14 (GB)
Connecting the AC Power Cord	14 (GB)
Connection Example	14 (GB)
Attaching the Ferrite Core	16 (GB)
Using On-screen Menus	18 (GB)
Operating Through Menus	18 (GB)
Menu Guide	18 (GB)
Watching the Picture	26 (GB)
Switching the Input Signal	26 (GB)
Input Signal, Picture Mode and Display Status Information	27 (GB)
Switching the Display Mode	29 (GB)
Energy Saving Function	29 (GB)
Selecting Image Quality	30 (GB)
Adjusting the Picture	30 (GB)
Adjusting the Contrast, Brightness, Chroma, and Phase, etc.	30 (GB)
Restoring the Adjust Picture Menu Items to Their Original Settings	33 (GB)
Picture Enlargement	34 (GB)
Setting Auto Wide	34 (GB)
Setting the Wide Mode	35 (GB)
Resizing and Positioning the Picture	36 (GB)
Resizing the Picture	36 (GB)
Adjusting the Picture Position	36 (GB)
Adjusting the Pixels	37 (GB)

Restoring the Screen Control Menu	
Adjustment Values	37 (GB)
Adjusting the Sound Quality	38 (GB)
Adjusting the Treble, Bass, and Balance, etc.	38 (GB)
Restoring the Adjust Sound Menu Items to	
Their Original Settings	38 (GB)
Using the Memory Function	39 (GB)
Storing the Current Setting	39 (GB)
Calling Up a Stored Setting	40 (GB)
Selecting the On-screen Language	41 (GB)
Screen Saver Function	41 (GB)
Reversing the Color Tones of the Image	41 (GB)
Changing the Image Position Automatically	43 (GB)
Adjusting Color Matrix	43 (GB)
Controlling Power On/Off Automatically	
(Timer Function)	44 (GB)
Sleep Function	44 (GB)
Adjusting the time	45 (GB)
Displaying the time	45 (GB)
On/Off Timer Function	46 (GB)
Power Saving Function	47 (GB)
Self-diagnosis Function	47 (GB)
Operating a Specific Display With the Remote	
Commander	48 (GB)
Using Other Remote Commander Models	49 (GB)
Specifications	50 (GB)

Precautions

On safety

- A nameplate indicating operating voltage, power consumption, etc. is located on the back of the unit.
- Should any solid object or liquid fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it any further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days or more.
- To disconnect the AC power cord, pull it out by grasping the plug. Never pull the cord itself.
- When the unit is installed on the floor, be sure to use the optional stand.

On installation

- Allow adequate air circulation to prevent internal heat build-up. Do not place the unit on surfaces (rugs, blankets, etc.) or near materials (curtains, draperies) that may block the ventilation holes.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust, mechanical vibration or shock.
- When you install multiple equipment with the unit, the following problems, such as malfunction of the Remote Commander, noisy picture, noisy sound, may occur depending on the position of the unit and other equipment.

On the PDP (Plasma Display Panel)

- You may see some bright spots of red, blue or green remain, or dark spots appear on the screen. These do not indicate malfunction. Although the plasma display panel is manufactured with extremely high precision technology, it can generate a few dark or bright pixels. Dark spots on the edge of the screen, or striped color and brightness irregularities do not indicate malfunction.
- Do not display the same still image on the screen for a long time. Otherwise, an afterimage or ghost may appear on a part of the panel. Use the screen saver function to equalize use of the screen display.

- Because of the way it is made, when this plasma display panel is used in places with low air pressure, such as at high altitudes, a buzzing or humming noise may emanate from the unit.
- If you continue to display the same image on the screen for a long period of time, part of that image may burn into the screen and leave a ghosting image behind. To avoid this, please use the screen saver function provided to equalize use over the entire screen. If ghosting occurs, use the screen saver function, or use some kind of video or imaging software to provide constant movement on the screen. If light ghosting (image burn-in) occurs, it may become less conspicuous, but once burn-in occurs, it will never completely disappear.
- To protect the plasma display, this unit will not accept commands from the Remote Commander or from the function buttons on the unit for a certain period of time after the unit has been switched ON/STANDBY. After one of these operations, wait about 8 seconds before entering a command.

On cleaning

To keep the unit looking brand-new, periodically clean it with a mild detergent solution. Never use strong solvents such as thinner or benzine, or abrasive cleansers since these will damage the cabinet. As a safety precaution, unplug the unit before cleaning it.

Notes on handling and cleaning the display panel

The display panel's special surface finish should be treated with care when cleaning or handling the TV. When cleaning, use a soft cleaning cloth to avoid touching the panel directly.

On repacking

Do not throw away the carton and packing materials. They make an ideal container in which to transport the unit. When shipping the unit to another location, repack it as illustrated on the carton.

If you have any questions about this unit, contact your authorized Sony dealer.

Features

The PFM-50C1/50C1E is 16:9 32-inch flat panel displays utilizing a PDP (Plasma Display Panel), which can accept various types of signals with the built-in scan converter.

Improved image quality

The PFM-50C1/50C1E utilizes an 1365 dot × 768 line, high-precision plasma display panel. This allows high quality image reproduction from a variety of image sources.

Sony's proprietary digital high picture quality circuit

Consistent digital processing of all image signals results in faithful reproduction of high-quality images.

Audio amp and speaker out sockets

This display is equipped with high sound quality digital amps, which when combined with optional speakers, provides you with effective presentation.

Other features

- Cinema drive mode (Cine motion)¹⁾ function
- Speaker out (L/R) sockets
- Control S (IN/OUT)
- Two RGB/component inputs and one video input.
- Displays the HDTV signal with a tri-level sync signal.
- Three dimensional comb filter for NTSC Y/C separation.
- Line correlation comb filter for PAL Y/C separation.
- Automatic input signal detection with on-screen indication.
- Windows²⁾95/98 PnP (Plug and Play) compatible.
- Dynamic picture function
- On-screen menu for various adjustments and settings
- On-screen display in six languages for user-friendly access. (Languages: English, German, French, Italian, Spanish and Japanese)
- Fine adjustment of image size and position
- Memory function for storage of up to twenty picture settings.
- ID control
- Self-diagnosis function
- Remote (RS-232C) connector (D-sub 9-pin)
- Accepts infrared Sony Remote Commanders using SIRCS code.
- Vertical setup
- Closed caption decoder
- Screen saver to reduce afterimage or ghosting.
- An option slot is in place for future expansion. The slot-in optional adaptor allows for quick and easy system upgrades.

Warning on power connection

Use the proper power cord for your local power supply.

PFM-50C1/50C1E

	United States, Canada	Continental Europe		United Kingdom, Ireland, Australia, New Zealand	Japan
Plug type	VM0233	COX-07	636	— ^{a)}	VM1296
Female end	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
Cord type	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Minimum cord set rating	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
Safety approval	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

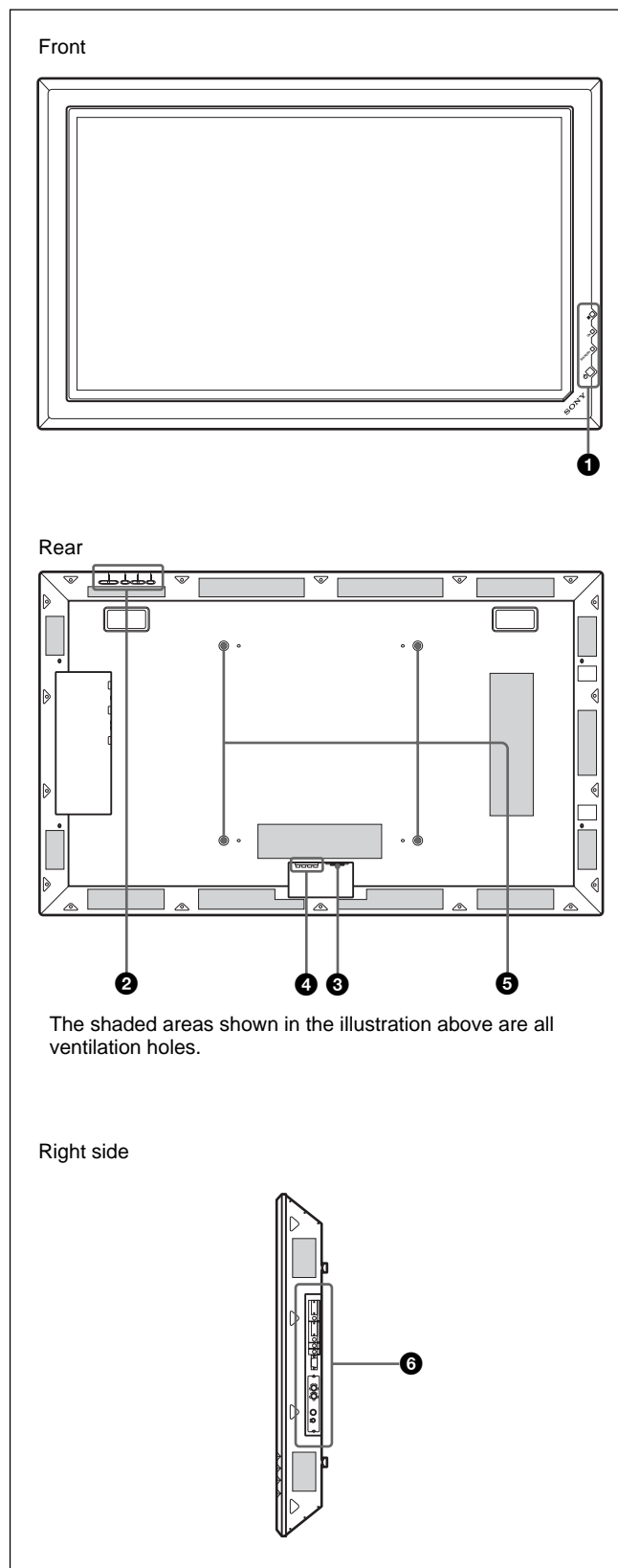
a) Note: Use an appropriate rating plug which is applied to local regulations.

1) Cine motion is a trademark of Sony Corporation.

2) Windows is a registered trademark of the Microsoft Corporation (U.S.A. and other countries).

Location and Function of Parts and Controls

Front / Rear / Right Side



The shaded areas shown in the illustration above are all ventilation holes.

❶ ⏻ (standby) switch / indicator section

For details on the ⏻ (standby) switch / indicator section, see “⏻ (standby) Switch / Indicator Section” on page 8 (GB).

❷ Control button section

For details on the control button section, see “Control Button Section (Top)” on page 8 (GB).

❸ ~ AC IN socket

Connect the supplied AC power cord to this socket and to a wall outlet. Once you connect the AC power cord, the STANDBY indicator lights up in red and the display turns to the standby mode.

For more details on the power cord, see “Connecting the AC Power Cord” on page 14 (GB).

❹ SPEAKER Socket

The audio component of the signal displayed on the screen is output when speakers (not supplied) are connected to this socket.

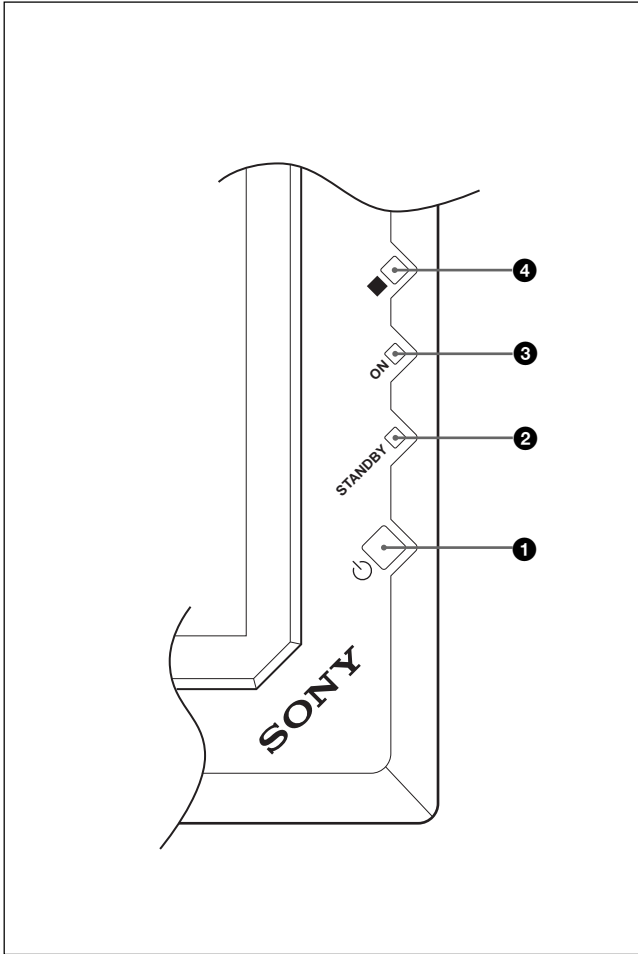
❺ Stand installation hooks

Use these hooks to install the stand (not supplied).

❻ Connector panel

For details on the connector panel, see “Connector Panel” on page 9 (GB).

⏻ (standby) Switch / Indicator Section



❶ ⏻ (standby) switch

Press to turn on the display unit. Press again to go back to the standby mode.

Note

To protect the panel, a certain amount of time is required to turn the unit ON/STANDBY. Wait about 8 seconds after one of these operations before pressing this switch again.

❷ STANDBY indicator

Lights up in red in the standby mode.

When the STANDBY indicator flashes, see “Self-diagnosis Function” on page 47 (GB).

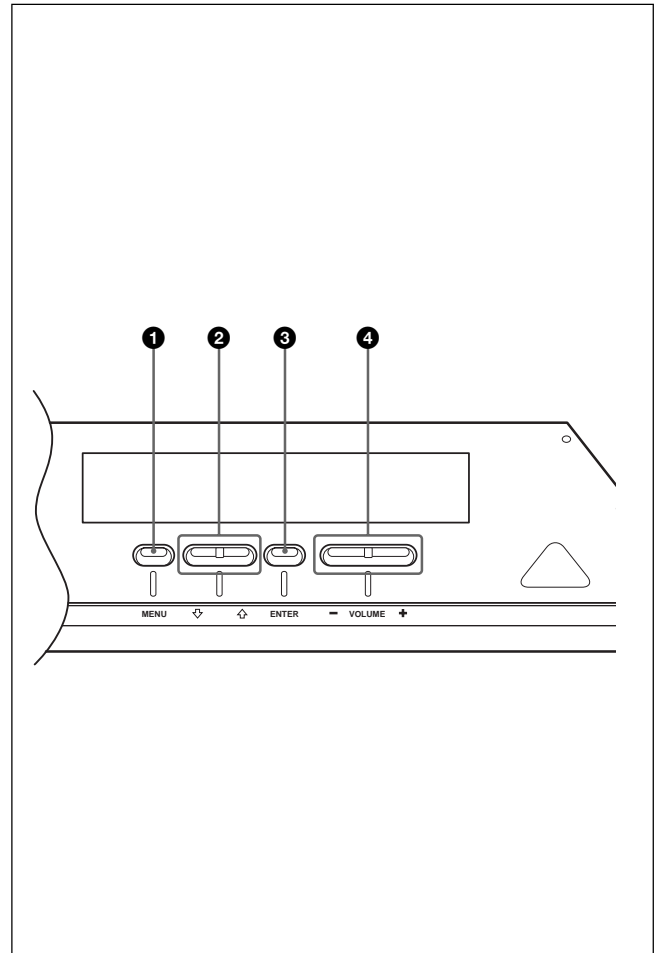
❸ ON indicator

Lights up in green when the display unit is turned on.

❹ Remote control detector

Receives the signal from the Remote Commander.

Control Button Section (Top)



❶ MENU button

Press to make the menu appear. The menu is no longer displayed when this button is pressed again. When using the MENU button to return to the previous menu level, see “Initial Setup menu” on page 23 (GB).

❷ ↓/↑ buttons

Press to move the cursor (yellow) to an item or to adjust a value in a menu.

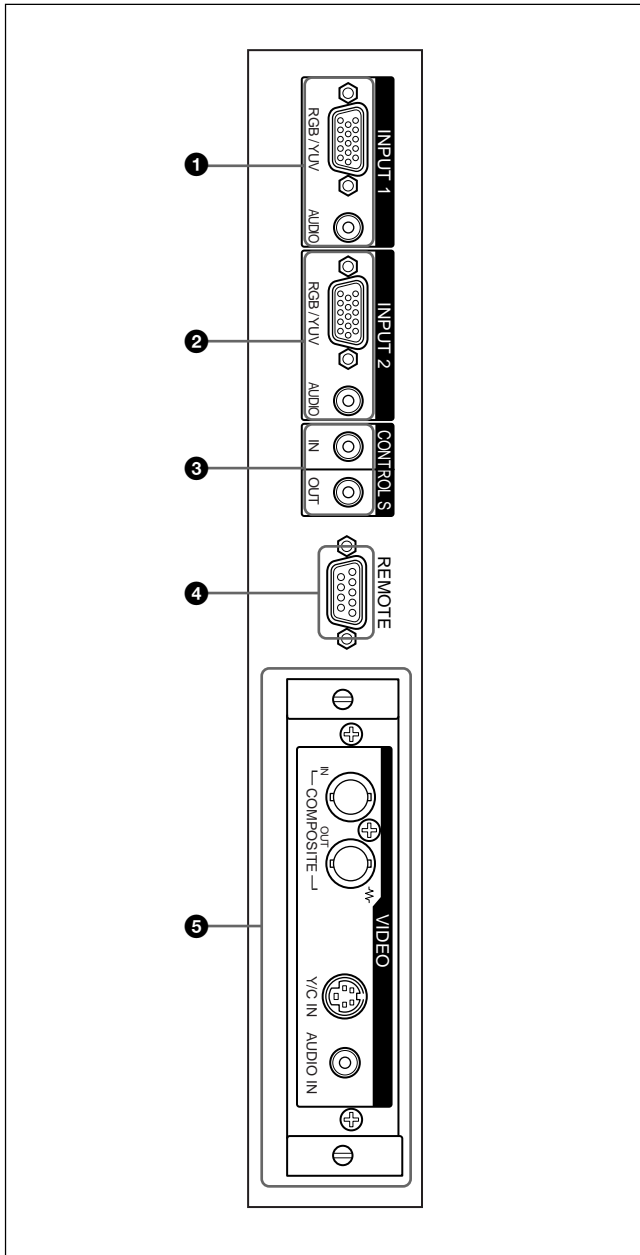
❸ ENTER button

Press to select the desired item from the menu displayed.

❹ VOLUME +/- button

Press to adjust the volume of the sound emitted from the speakers.

Connector Panel



1 INPUT1 connectors

RGB/YUV (D-sub 15-pin): Connects to the RGB signal or component (YUV) signal output of a computer or a piece of video equipment.

This display also accepts an HD analog component (Y/Pb/Pr) signal. See “Pin assignment” on page 51 (GB) when inputting a component signal.

AUDIO (Stereo minijack): Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a computer or a piece of video equipment.

2 INPUT2 connectors

RGB/YUV (D-sub 15-pin): Connects to the RGB signal or component (YUV) signal output of a computer or a piece of video equipment. This display also accepts an HD analog component (Y/Pb/Pr) signal. See “Pin assignment” on page 51 (GB) when inputting a component signal.

AUDIO (Stereo minijack): Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a computer or a piece of video equipment.

3 CONTROL S IN/OUT (Control S Signal Input/Output) Connector (Minijack)

You can control multiple devices with a single remote commander when connected to the CONTROL S connector of a video device or other display. Connect the CONTROL S OUT connector on this display to the CONTROL S IN connector of the other device, and connect the CONTROL S IN connector on this display to the CONTROL S OUT connector of the other device.

4 REMOTE (RS-232C) connector (D-sub 9-pin)

This connector allows remote control of the display using the RS-232C protocol. For details, contact your authorized Sony dealer.

5 VIDEO connectors

The PFM-50C1E is not equipped with VIDEO connectors. For the PFM-50C1E, composite video and Y/C input can be input to the display when the BKM-B10 video input adaptor (not supplied) is installed in the display.

COMPOSITE IN (BNC-type): Connects to the composite video signal output of a piece of video equipment.

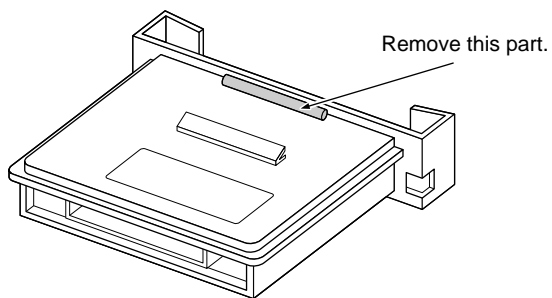
COMPOSITE OUT (BNC-type): Connects to the composite video signal input of a piece of video equipment.

Y/C IN (Mini DIN 4-pin): Connects to the Y/C signal output of a piece of video equipment.

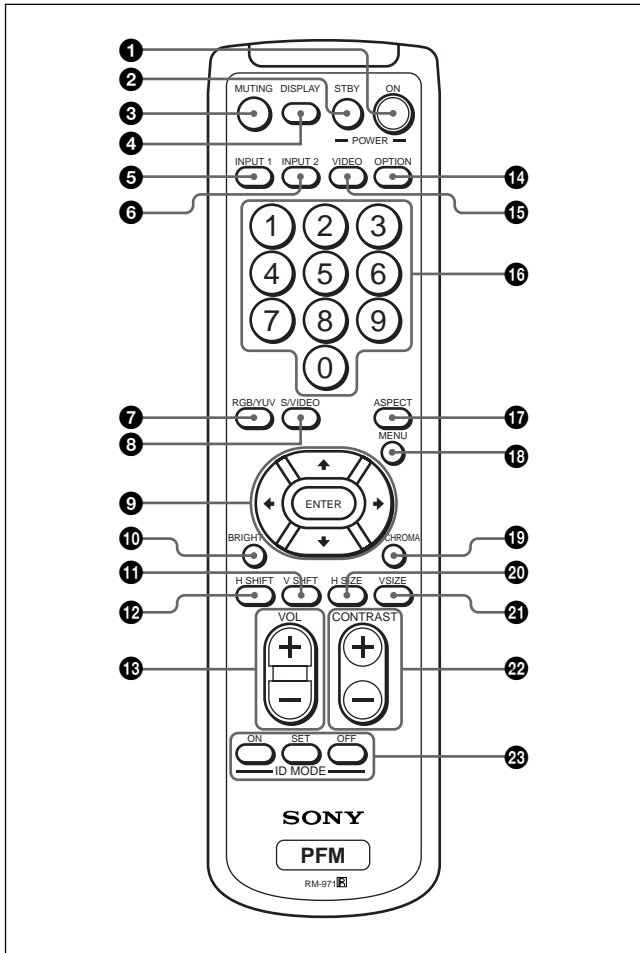
AUDIO IN (Stereo minijack): Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment.

Use the ferrite cores listed below, or compatible models, to attach to the cables you connect to the INPUT1 or INPUT2 RGB/YUV signal connectors.
SMF-400 (DSub-DSub 15P)
MTSB-15HKBB-18 (DSub 15P-BNC)

If you are using the PFM-50C1E with the BKM-B10 (not supplied), and you notice lateral stripes on the screen, remove the part indicated in the illustration.



Remote Commander RM-971



1 POWER ON switch

Press to turn on the display.

2 STANDBY button

Press to turn the display to the standby mode.

3 MUTING button

Mutes the sound.

4 DISPLAY button

Displays the input signal information and the picture mode at the display panel. Press again to clear it. If this displayed information is left undisturbed for a short time, it will disappear automatically.

5 INPUT1 button

Selects the signal input from the INPUT1 connectors.

6 INPUT2 button

Selects the signal input from the INPUT2 connectors.

7 RGB/YUV button

Press to select the format matching that of the input signal connected to the INPUT1 or INPUT2 connector. Each press toggles between RGB and YUV.

8 S/VIDEO button

Selects the signal input from the COMPOSITE IN connector or Y/C IN connector from among the VIDEO connectors. Each press toggles between COMPOSITE IN and Y/C IN.

9 ↑/↓/←/→/ENTER buttons

The ↑/↓/←/→ buttons move the menu cursor (yellow) and set values, etc. Pressing the ENTER button enters the selected menu or set contents.

10 BRIGHT +/- button

Adjusts the brightness when the picture mode is set to "User 1-3".

Press this button and then adjust the brightness with the ↑/↓ or ←/→ button 9.

11 V SHIFT button

Adjusts the vertical centering. Press this button and then adjust the vertical centering with the ↑/↓ button 9.

12 H SHIFT button

Adjusts the horizontal centering. Press this button and then adjust the horizontal centering with the ↑/↓ or ←/→ button 9.

13 VOLUME +/- button

Adjusts the volume.

14 OPTION button

Selects the signal input from the optional adaptor (except BKM-B10) when you install it in the unit.

15 VIDEO button

Selects the signal input from the COMPOSITE IN connector or Y/C IN connector from among the VIDEO connectors.

16 Number buttons

Press to enter the index number.

17 ASPECT button

Changes the aspect ratio of the picture (Wide Mode).

18 MENU button

Press to make the menu appear. The menu is no longer displayed when this button is pressed again. When using the MENU button to return to the previous menu level, see "Initial Setup menu" on page 23 (GB).

19 CHROMA button

Adjusts the chroma when the picture mode is set to “User 1-3”. Press this button and then adjust the chroma with the \uparrow/\downarrow or \leftarrow/\rightarrow button **9**.

20 H SIZE button

Adjusts the horizontal picture size. Press this button and then adjust the horizontal picture size with the \uparrow/\downarrow button **9**.

21 V SIZE button

Adjusts the vertical picture size. Press this button and then adjust the vertical picture size with the \uparrow/\downarrow button **9**.

22 CONTRAST +/- button

Adjusts the contrast when the picture mode is set to “User 1-3”.

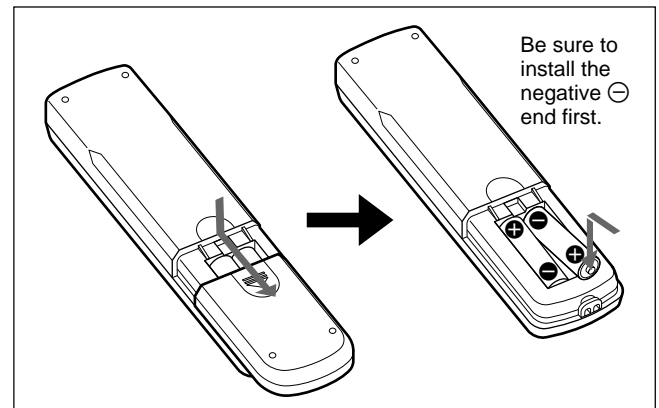
23 ID MODE (ON/SET/OFF) buttons

Press the ON button to make an index number appear on the screen. Then enter the index number of the display you want to operate using the number buttons **16** and press the SET button. After you finish the operation, press the OFF button to return from the ID mode to the normal mode.

For details about the index number, see “Operating a Specific Display With the Remote Commander” on page 48 (GB).

Installing batteries

Insert two size AA (R6) batteries in correct polarity.



- In normal operation, batteries will last up to half a year. If the Remote Commander does not operate properly, the batteries might be exhausted sooner. Replace them with new ones.
- To avoid damage from possible battery leakage, remove the batteries if you do not plan to use the Remote Commander for a fairly long time.

When the Remote Commander does not work

Check that the STANDBY indicator lights up and the Remote Mode in the Remote menu is not set to Off. The Remote Commander operates the display only when both of the two conditions below are met.

- The display is turned on, or it is in the standby mode.
- The Remote Mode in the Remote menu is set to TV or to PJ.

For details about the Remote Mode, see “Remote menu” on page 24 (GB).

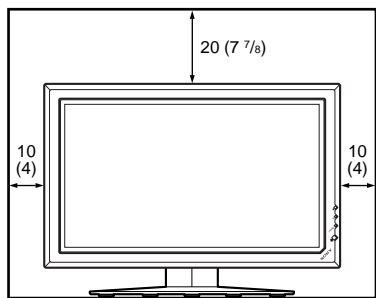
Caution

Provide an ample amount of space around the display

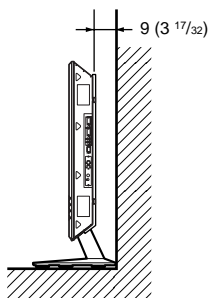
- When you use the display, make sure there is more space around the display than that shown in the figure below. This will allow for proper ventilation.
- The ambient temperature must be 0 °C to +35 °C (32 °F to 95 °F).
- Use the SU-P50C display stand (not supplied) as a stand.
- Regarding installation of hardware such as brackets, screws, and bolts, we cannot specify what to use because actual installation is up to the authorized local dealers. For installation, consult with qualified Sony personnel.
- While the unit is turned on, there are parts that may become hot, and this can cause burns. When the display is turned on, or just after it has entered the standby state, do not touch the top or back of the unit.

When using the stand (not supplied)

Front



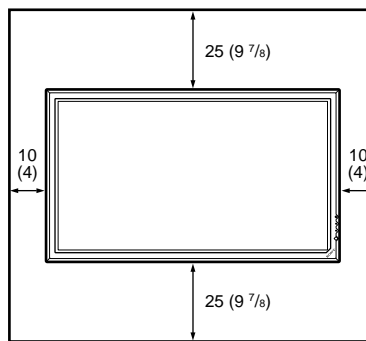
Side



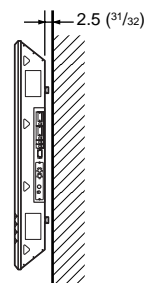
Units: cm (inches)

When mounting the display horizontally

Front



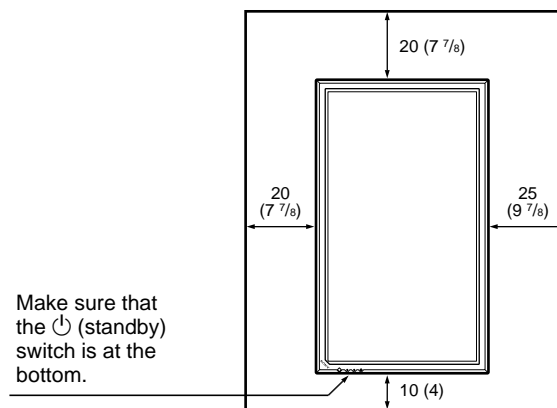
Side



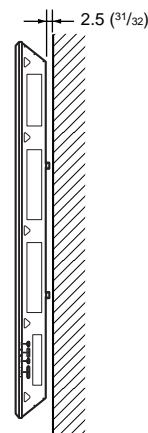
Units: cm (inches)

When mounting the display vertically

Front



Side



Units: cm (inches)

Notes on Image Retention

If the **1** – **5** images (below) are displayed for an extended period of time, image retention (afterimage) in areas of the screen may result due to the characteristics of the Plasma Display Panel. It is possible to reduce image retention by following steps **A** – **D**.

Situations which can result in burn-in and picture retention

- 1** Black bars at the top and bottom that appear with wide video source (Letter box picture)
- 2** Black bars to the left and right that appear with 4:3 video source (conventional TV broadcast)
- 3** Video game sources
- 4** DVD on-screen menu displays
- 5** On-screen menus, channel numbers, etc., of connected equipment such as DSS, Cable box, video decks, etc.

Precautions to avoid/reduce burn-in and picture retention

- A** Use the automatic orbiting Screen Saver function.
- B** Avoid displaying channel numbers, on-screen menus etc., of connected equipment such as DSS, Cable box, video decks, etc. To erase channel numbers, on-screen menus, refer to the user manual of connected equipment.
- C** Reduce brightness of the picture and/or display video source in Wide Zoom or Full Mode.
- D** It is possible to reduce minor image retention with “Pic. Inversion” (Picture Inversion) function of “Screen Saver,” it cannot remove it entirely once it has occurred.

Notes on “Pic. Inversion (Picture Inversion)” of “Screen Saver”

If the displayed image appears as an image like a film negative, “Pic. Inversion (Picture Inversion)” of “Screen Saver” may be set to “Auto,” or “On.” To return to a normal image, select “Off” or reset the specified time in “Auto.”

Pic. Inversion (Picture Inversion) inverts the tint of the picture (Example: white to black, black to white) and corrects the image retention (afterimage) with displayed image on. The image looks like a film negative during picture inversion. This is not a malfunction.

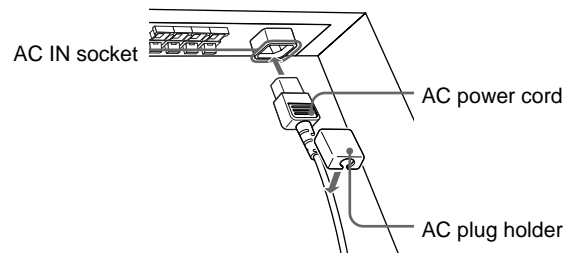
Connections

Connecting the Speakers

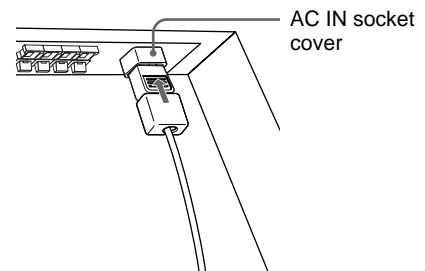
You can enjoy viewing with a greater sense of presence by connecting the speakers (SS-SP10A, not supplied). Please be sure to connect the speakers correctly. For more details on connecting the speakers, see the operating manual that came with the speakers.

Connecting the AC Power Cord

- 1** Plug the AC power cord into the AC IN socket. Then, attach the AC plug holder (supplied) to the AC power cord.



- 2** Slide the AC plug holder over the cord until it connects to the AC IN socket cover.



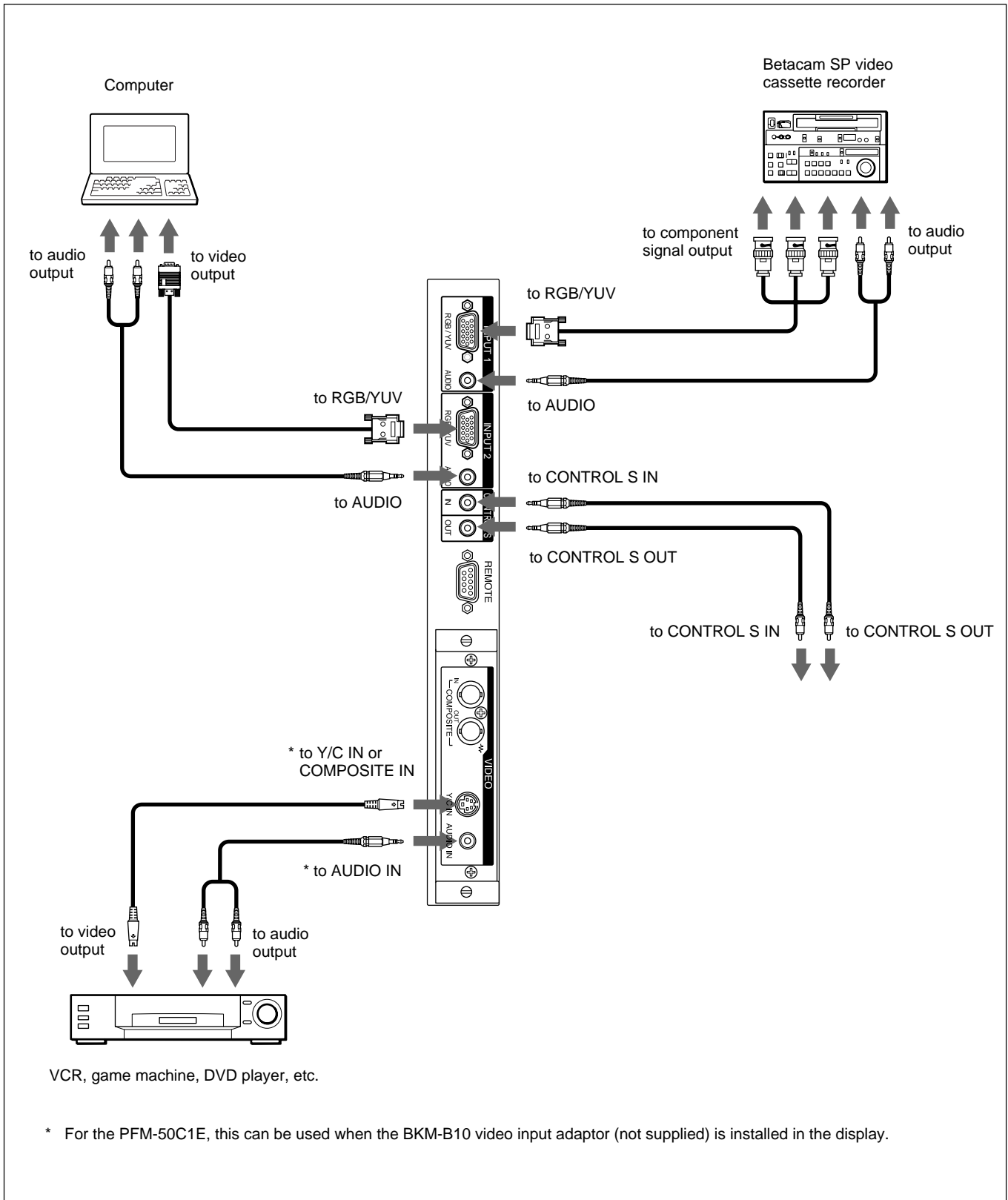
To remove the AC power cord

After squeezing the AC plug holder and freeing it, grasp the plug and pull out the AC power cord.

Connection Example

Before you start

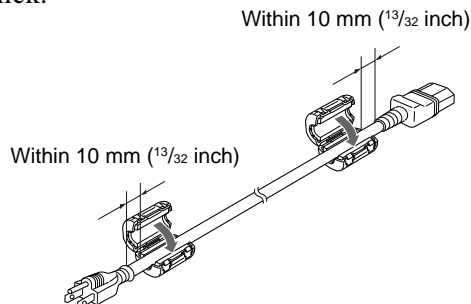
- First make sure that the power to each piece of equipment is turned off.
- Use connecting cables suitable for the equipment to be connected.
- The cable connectors should be fully inserted into the jacks. A loose connection may cause hum and other noise.
- To disconnect the cable, pull it out by grasping the plug. Never pull the cable itself.
- Refer to the instruction manual of the equipment to be connected.
- Insert the plug securely into the AC IN socket.
- Use one of the two AC plug holders (supplied) that will securely hold the AC plug.



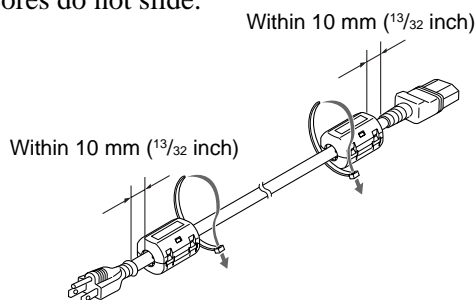
Attaching the Ferrite Core

When attaching to the AC power cord

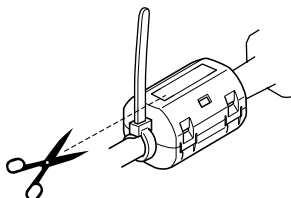
- 1 Attach the ferrite cores to both ends of the AC power cord and close the ferrite cores until they click.



- 2 Wind the stopper round the cord so that the ferrite cores do not slide.

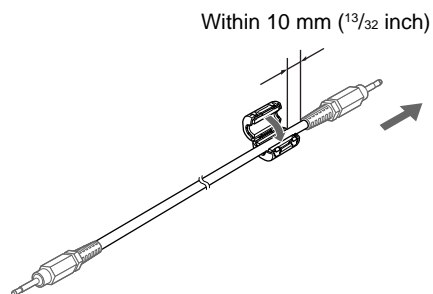


- 3 Tighten the stopper and cut the surplus.

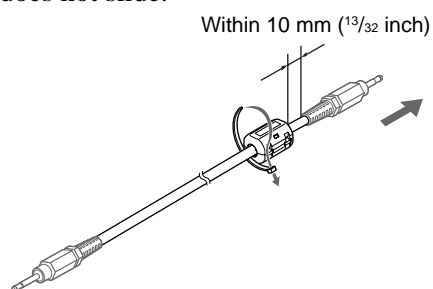


When attaching to the cables

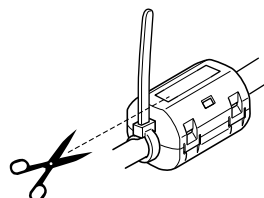
- 1 Attach the ferrite core to the end of the cable closer to this unit, closing it until it clicks.



- 2 Wind the stopper round the cord so that the ferrite core does not slide.



- 3 Tighten the stopper and cut the surplus.

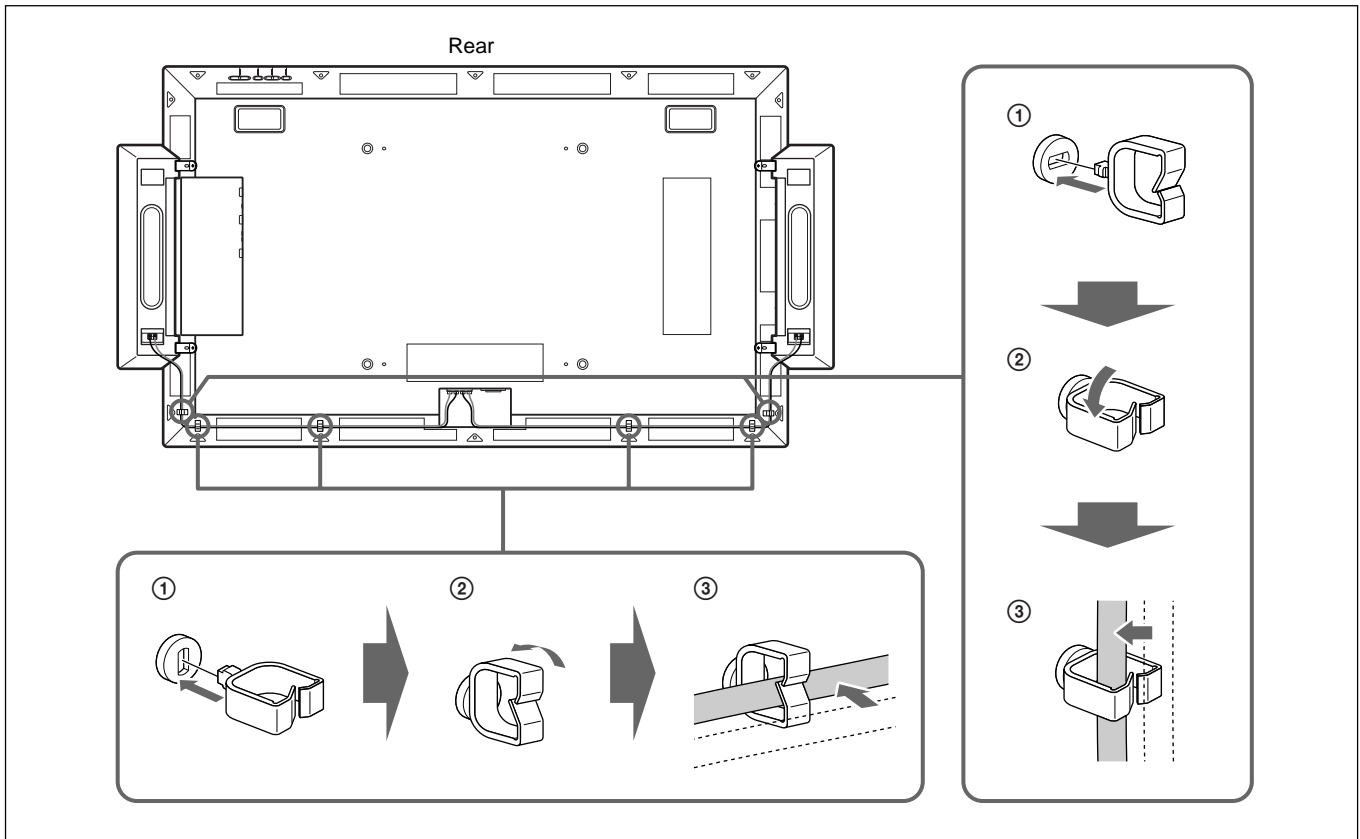


Notes

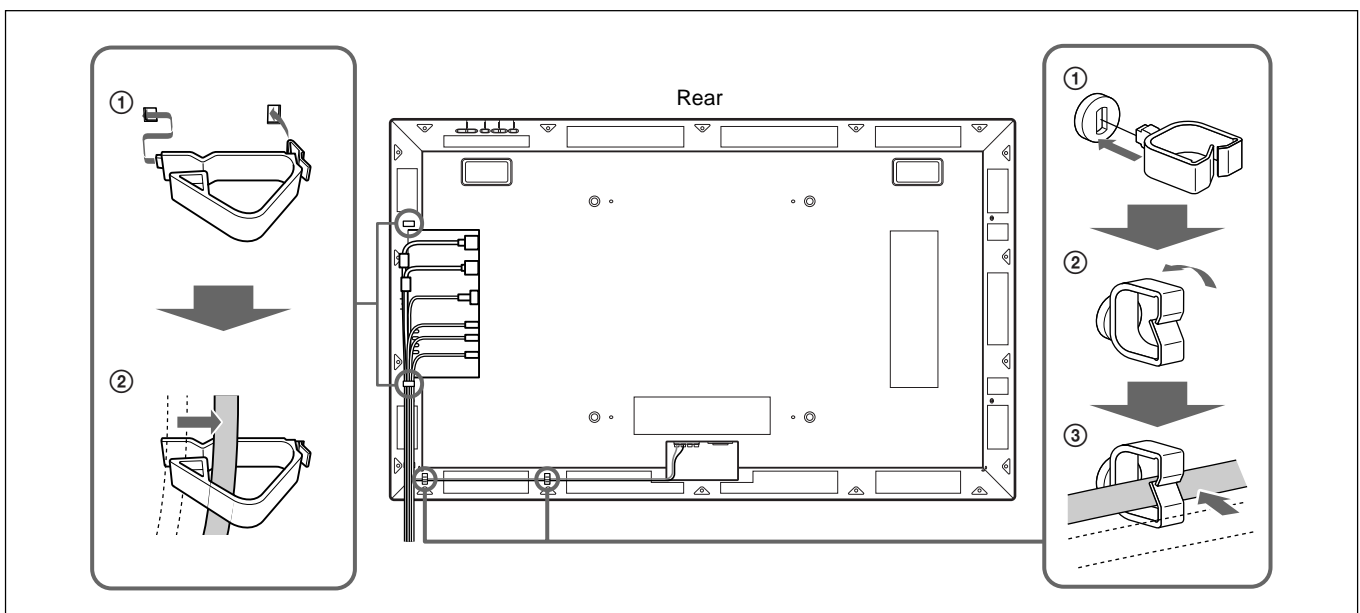
- When you connect this unit to various pieces of equipment using the RGB/YUV connectors, use the specified cable.
SMF-400 (D-Sub 15P - 5 BNC)
SMF-410 (D-Sub 15P - D-Sub 15P)
When you connect a cable to any of the terminals listed below, attach the ferrite core provided before using the cable.
AUDIO (INPUT1)
AUDIO (INPUT2)
- You are cautioned that this unit will not be in compliance with the EMC limits unless the ferrite core is installed on the interconnecting wire.

Using the cable holders

You can efficiently bundle the speaker cables with the cable holders B (×6) provided. Attach the cable holders as shown in the illustration below.



If you don't use speakers, you can use cable holders A (×2) and B (×2) that are provided to bundle up the unused cables. The cable holders are attached as shown in the illustration.

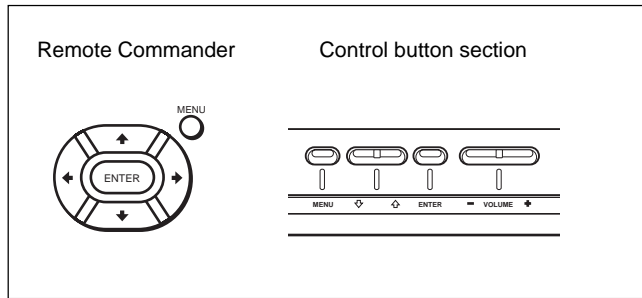


Using On-screen Menus

Operating Through Menus

Menu operating buttons

Use the buttons on the display unit or the Remote Commander for menu operations.



Operation is explained in these operating instructions for the case of operation using the Remote Commander. The \uparrow/\downarrow and ENTER buttons on the Remote Commander have the same functions as the \uparrow/\downarrow and ENTER buttons on the display.

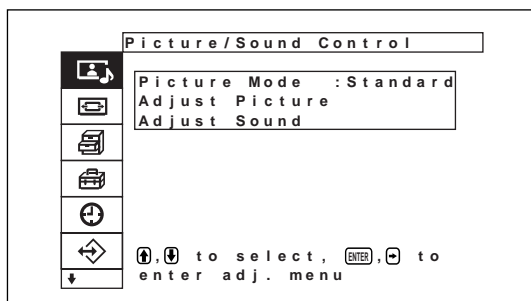
Note

Operation may differ in some cases since there is no \leftarrow/\rightarrow button on the display.

Configuration of the menu

To select the language used in the menu, see page 41 (GB).

- 1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



- 2 Press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow), and press ENTER to select a menu.
The cursor moves to the next menu.

- 3 Press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) and press ENTER to select an item.
The menu for the selected item appears on the display panel.
Settings are similarly selected when the next menu is displayed.
- 4 Press \uparrow/\downarrow to adjust or select the setting and press ENTER to set.
The setting is registered and the menu returns to the previous menu.

To return to the normal screen, press the MENU button.

To move between menu levels, use the \leftarrow/\rightarrow buttons.

If you want to use the MENU button to move between menu levels, see "MENU Function" on page 23 (GB).

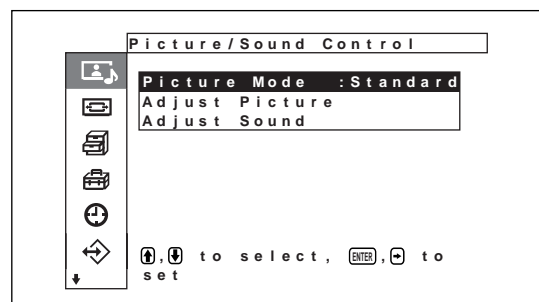
Menu Guide

Note

Items that cannot be set or adjusted by an input signal have a dark gray colored background. In addition, the message "Adjustment not possible" is displayed on the bottom of the screen.

Picture/Sound Control menu

Adjusts the image quality and sound quality of images displayed on the display.



Picture Mode

Sets the image quality mode to match the surrounding brightness or the pattern.

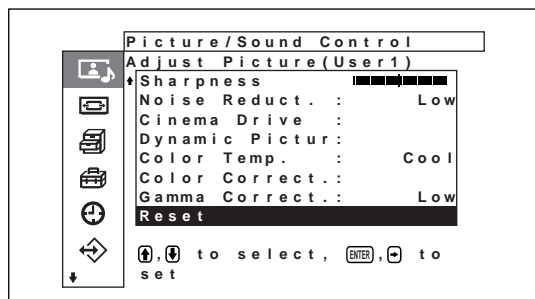
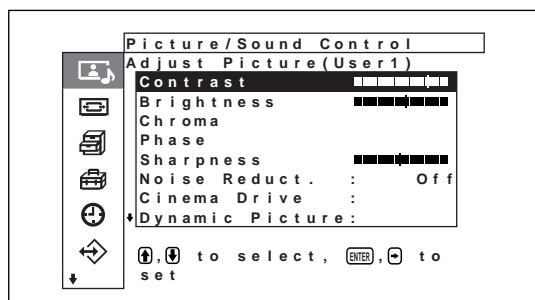
For details, see "Selecting Image Quality" on page 30 (GB).

Adjust Picture menu

This menu is used for adjusting the picture. The picture quality can be adjusted to suit your tastes using the User 1 to 3 menus.

Note

Picture quality cannot be adjusted in either Standard or Dynamic Picture mode.



Contrast

Press **↑/→** to increase the contrast and press **↓/←** to decrease it.

Brightness

Press **↑/→** to make the picture brighter and press **↓/←** to make it darker.

Chroma

Press **↑/→** to increase color saturation and press **↓/←** to decrease it.

Phase

Press **↑/→** to make the overall picture greenish and press **↓/←** to make it purplish.

Sharpness

Press **↑/→** to increase the outline correction level of the image and press **↓/←** to decrease it.

Noise Reduct.

Sets the level by which image graininess and color noise are reduced to one of four levels consisting of "Off", "Low", "Mid" and "High".

For details, see "Noise Reduct." on page 31 (GB).

Cinema Drive (Cine motion)

When this is set to automatic, images are reproduced with the smooth movement characteristic of film images.

For details, see "Cinema Drive (Cine motion)" on page 31 (GB).

Dynamic Picture

Enhances contrast by making white appear brighter and black appear darker.

For details, see "Dynamic Picture" on page 31 (GB).

Color Temp.

Changes the color temperature.

For details, see "Color Temp." on page 32 (GB).

Color Correct.

When set to ON, reproduces a beautiful, healthy color.

For details, see "Color Correct." on page 33 (GB).

Gamma Correct.

Sets the balance of the light and dark portions of images to one of three levels consisting of "High", "Mid" and "Low".

For details, see "Gamma Correct." on page 33 (GB).

Reset

Restores the factory settings in the Adjust Picture menu items.

For details on using the reset function, see "Restoring the Adjust Picture Menu Items to Their Original Settings" on page 33 (GB).

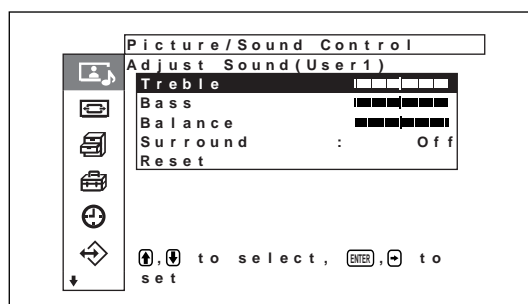
Adjust Sound menu

Adjusts the sound quality by signal processing.

When the Picture quality mode is set to User 1 to 3, the sound quality can be adjusted to suit your taste.

Note

Sound quality cannot be adjusted when the Picture Mode is set to "Standard" or "Vivid".



Treble

Press **↑/→** to increase the treble and press **↓/←** to decrease it.

Bass

Press **↑/→** to increase the bass and press **↓/←** to decrease it.

Balance

Pressing **↑/→** increases the volume on the right side, while pressing **↓/←** increases the volume on the left side.

Surround

The surround function can be set to one of four levels consisting of “Off”, “Hall” and “Sim”.

For details, see “Surround” on page 38 (GB).

Reset

Restore the factory setting in the Adjust Sound menu items.

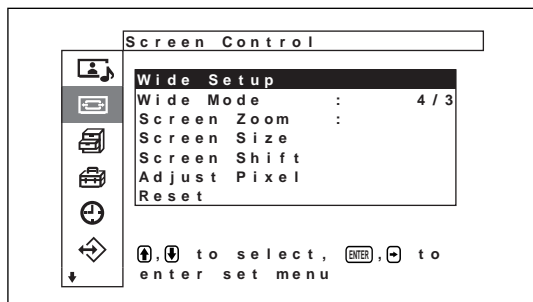
For details on using the reset function, see “Restoring the Adjust Sound Menu Items to Their Original Settings” on page 38 (GB).

Screen Control menu

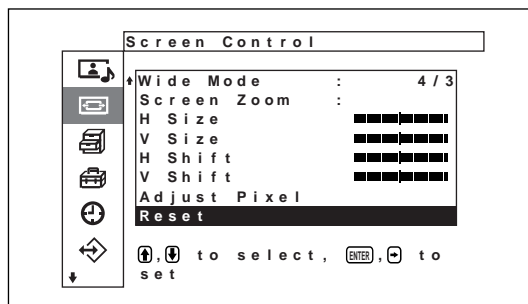
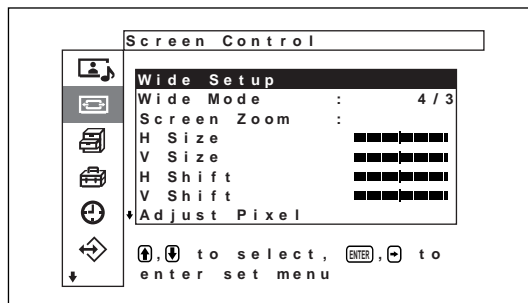
This menu is used for resizing and positioning the picture.

The screen and operating method of the Screen Control menu vary according to the setting of the MENU Function.

Case of MENU Function being set to “On/Off” (setting when shipped from the factory)



Case of MENU Function being set to “Return”



Wide Setup

Sets the Auto Wide function. The Auto Wide function is a function which chooses from among ordinary television broadcasts, Wide Clear Vision, or wide screen images, all having different proportions for horizontal and vertical display, and automatically expands the picture to a wide screen image with a 16:9 aspect ratio, enabling the most appropriate display of different types of images.

For details, see “Setting Auto Wide” on page 34 (GB).

Wide Mode

Switches the wide screen display to match the size and type of the picture.

For details, see “Setting the Wide Mode” on page 35 (GB).

Screen Zoom

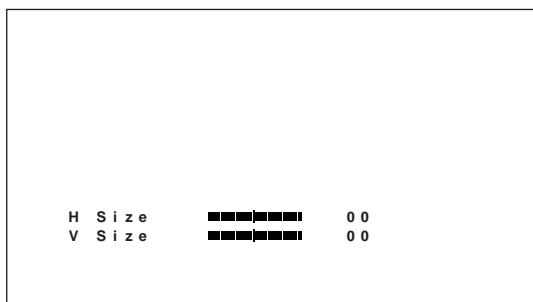
Enlarges the image (in order) to double (×2), triple (×3) and quadruple (×4).

Note

The enlargement settings can only be used when the Wide Mode is set to “Restore”.

Screen Size menu

This menu is used for adjusting the picture size. This screen is only displayed when the MENU Function is set to “On/Off”.



H Size

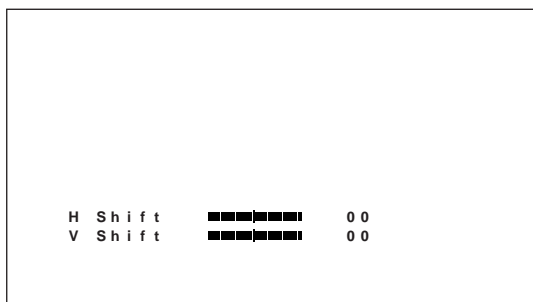
Adjust the horizontal picture size. Press **➡** to enlarge the horizontal size and press **⬅** to diminish it.

V Size

Adjust the vertical picture size. Press **⬆** to enlarge the vertical size and press **⬇** to diminish it.

Screen Shift menu

This menu is used for adjusting the picture centering. This screen is only displayed when the MENU Function is set to “On/Off”.



H Shift

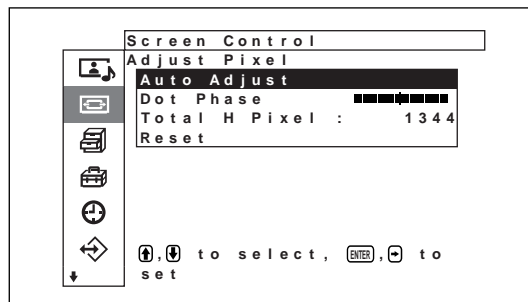
Adjust the horizontal centering. Press **➡** to move the picture to the right and press **⬅** to move it to the left.

V Shift

Adjust the vertical centering. Press **⬆** to move the picture up and press **⬇** to move it down.

Adjust Pixel menu

This menu is used for adjusting the picture pixels. Adjustment can only be made when the computer signal is being received.



Auto Adjust

Automatically adjusts the dot phase and total number of horizontal pixels.

For details, see “Adjusting the Pixels” on page 37 (GB).

Dot Phase

Adjusts the dot phase. Press **⬆/➡** to increase the dot phase and press **⬇/⬅** to decrease the it.

Total H Pixel

Adjusts the total number of horizontal pixels. Press **⬆/➡** to increase the number of pixels and press **⬇/⬅** to decrease it.

Reset

Restore the factory setting in the Adjust Pixel menu items.

For details on using the reset function, see “To restore Adjust Pixel menu items to their original settings” on page 37 (GB).

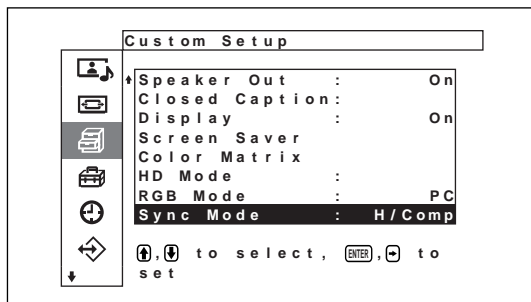
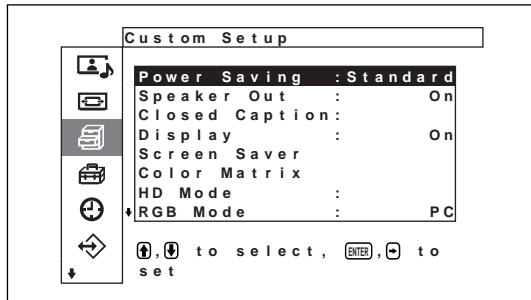
Reset

Restore the factory setting in the Screen Control menu items.

For details on using the reset function, see “Restoring the Screen Control Menu Adjustment Values” on page 37 (GB).

Custom Setup menu

Reduces power consumption or sets a screen saver and so forth.



Power Saving

Used to view the screen while conserving power.
For details, see “Energy Saving Function” on page 29 (GB).

Speaker Out

Causes sound to be emitted from the speakers (SS-SP10A, not supplied) when this is set to On.

Closed Caption

Displays closed captions.

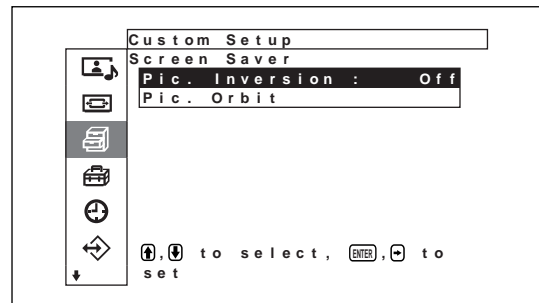
For details, see “Displaying closed captions” on page 29 (GB).

Display

Select On to display the input signal information and Picture Mode for about five seconds at the bottom of the display panel when the power is turned on or when switching the input signal.

Screen Saver menu

Corrects or lessens damage caused by ghosting or burn-in that may result from the same image being displayed on the screen for long periods of time.



Pic. Inversion

Sets the Screen Saver that inverts the image hue.
For details, see “Screen Saver Function” on page 41 (GB).

Pic. Orbit

Sets the Screen Saver that automatically moves the display position of images after a predetermined amount of time has elapsed.
For details, see “Screen Saver Function” on page 41 (GB).

Color Matrix

Sets the Color Matrix so that images are displayed in natural color tones during input of a component signal from an externally connected device.
For details, see “Adjusting Color Matrix” on page 43 (GB).

HD Mode

Sets the mode according to HD analog component signals input to INPUT1, INPUT2 of the D connector of the optional adapter.

1080i: When connected to a BS digital tuner

1035i: When connected to a Hi-Vision video deck (base band) or other conventional Hi-Vision device.

Notes

- Option board setup cannot be carried out in this mode.
- The BKM-B11 D-4 connector is set to [1080i].

RGB Mode

Sets the mode when a device that outputs RGB signals is connected to the RGB/YUV terminals of INPUT1 and INPUT2.

DTV: When connected to an RGB signal digital tuner, etc.

PC: When connected to a PC.

Note

Option board setup cannot be carried out in this mode.

Sync Mode

Sets the mode according to the signal input at pin 13 of the RGB/YUV terminals of INPUT1 and INPUT2. Signals can be set only to 575/50i or 480/60i.

H/Comp: When a horizontal signal or a composite synchronous signal* is input

Video: When a video signal or a composite synchronous signal* is input

*Depending on the level of the composite synchronous signal, the image may not be displayed correctly. In that case, change the Sync Mode setting.

Input signal and Synchronous mode settings

PIN	Signal input over the D-sub	Synchronous mode setting
13	480/60i, 575/50i Composite Video	Video signal
	Composite Sync	
	Composite Sync	
13/14	H Sync/V Sync	Synchronizing signal
2	Sync On Green	

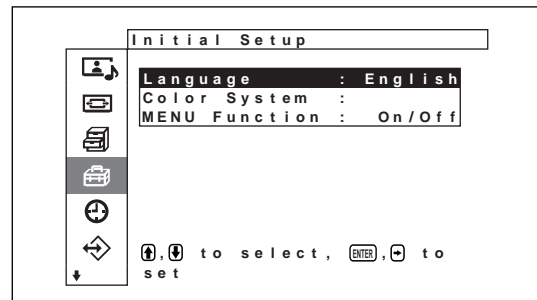
Refer to "Pin assignment" on page 51 (GB) for information on the pin assignments of the RGB/Y connectors of INPUT1 and INPUT2.

Notes

- When the unit is set to Synchronizing signals, an image may be not displayed, even if a COMPOSITE SYNC signal is input. In that case, change the Synchronous mode setting.
- For the Sync Mode settings, INPUT1 and INPUT2 can be set independently, but if the unit is switched to an input different from those called for in the settings, the signal may not be output. In such a case, change the Sync Mode settings to match the input signal for each input connector, and then switch the input signal.
- There are some inputs for which only synchronizing signals can be selected. In this case, an image will not be displayed even if a Video Signal is input through the 13 pin connector. Input horizontal/vertical synchronization signals through the 13 or 14 pin connectors, or input Sync On Green signals through the RGB connector.
- With Sync On Green, if the unit is not set to accept synchronizing signals, the image will not be displayed.
- Sync Mode settings cannot be carried out using option boards.
- This unit does not support three value sync of composite sync and 576/60P.

Initial Setup menu

Selects the language or signal source of the menu display, functions of the menu key and so forth.



Language

Selects the on-screen language (Japanese, English, German, French, Spanish or Italian).

For details, see "Selecting the On-screen Language" on page 41 (GB).

Color System

Selects the input signal.

Auto: to display NTSC, PAL, SECAM/NTSC4.43 or NTSC/PAL-M/PAL-N signals

NTSC: to display NTSC signals

NTSC4.43: to display NTSC4.43 signals

PAL: to display PAL signals

SECAM: to display SECAM signals

PAL-M: to display PAL-M signals

PAL-N: to display PAL-N signals

PAL60: to display PAL60 signals

When the Color System is set to "Auto", an additional Color System capable of automatic detection is set in the level below.

- Automatic detection of NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43

- Automatic detection of NTSC/PAL-M/PAL-N

Note

This can only be set when a video signal is being received.

MENU Function

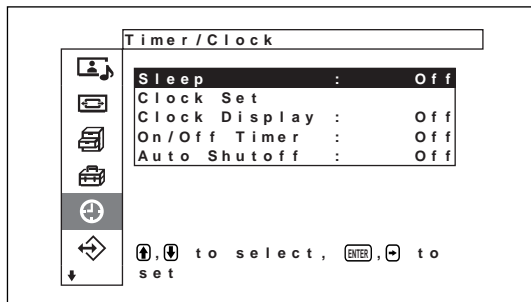
Selects the operation when the menu key is pressed.

On/Off: The menu display toggles between on and off each time the menu key is pressed.

Return: The cursor returns to the previous level each time the menu key is pressed.

Timer/Clock menu

Sets the time or timer and displays the time or sets when the power is automatically switched on or off.



Sleep

Automatically turns off the power when a preset amount of time elapses. The sleep time can be set to 30, 60, 90 or 120 minutes.

For details, see "Sleep Function" on page 44 (GB).

Clock Set

Sets the time.

For details, see "Adjusting the time" on page 45 (GB).

Clock Display

Displays the set time on the screen when set to On.

For details, see "Displaying the time" on page 45 (GB).

On/Off Timer

Sets the time at which the power is automatically turned on or off.

For details, see "On/Off Timer Function" on page 46 (GB).

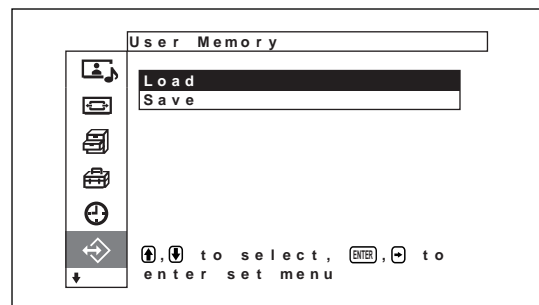
Auto Shutoff

Automatically turns off the power when a signal is not input to the display for a predetermined amount of time.

For details, see "Power Saving Function" on page 47 (GB).

User Memory menu

This menu is used for saving or recalling the settings in the Picture/Sound Control and Screen Control menus.



For details, see "Using the Memory Function" on page 39 (GB).

Load

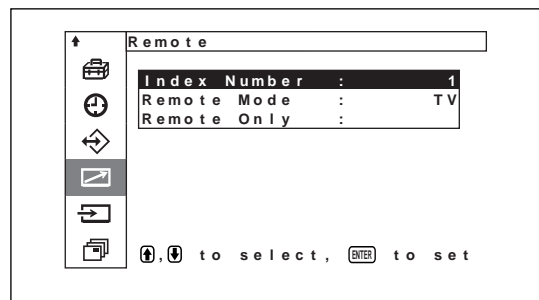
Recalls the preset settings.

Save

Saves the settings.

Remote menu

This menu is used for remote control settings.



Index Number

Sets the index number of the display.

Note

When you set the number, use the buttons on the display unit. The Index Number cannot be set with the Remote Commander.

For details about the Index Number, see "Operating a Specific Display With the Remote Commander" on page 48 (GB).

Remote Mode

Selects the Remote Commander mode.

TV: The Sony display's or the TV's commander

PJ: The Sony projector's commander

Off: Disables the remote control.

Note

When you change the Remote Commander mode, use the buttons on the display unit. You cannot change the Remote Commander mode with the Remote Commander. For details, see "Using Other Remote Commander Models" on page 49 (GB).

Remote Only

Select On to disable the control buttons on the display unit. The display can only be controlled with the Remote Commander.

To cancel the Remote Only mode, set Remote Only to Off with the Remote Commander.

Note

The setting in this item is still retained when the AC power cord is disconnected or when you turn the display on/off with the Remote Commander.

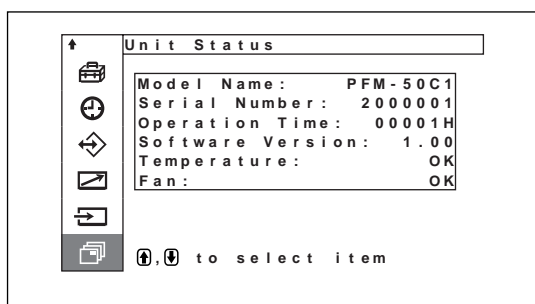
➔ Input Select menu

This menu is used to switch the input signal.

For details on switching the input signal, see "Switching the Input Signal" on page 26 (GB).

📄 Unit Status menu

This menu is used for displaying the internal status of the display unit.



Model Name

Indicates the model name.

Serial Number

Indicates the serial number.

Operation Time

Indicates the total number of hours of operation.

Note

The standby mode is not counted as part of the Operation Time.

Software Version

Indicates the system software version.

Temperature

Indicates whether the internal temperature of the display unit is normal.

OK: Normal

NG: Unusual

When the internal temperature is unusual, NG is displayed and the item flashes in red. The STANDBY indicator on the ⏻ (standby) switch / indicator section also flashes.

Note

When the ventilation holes are blocked or the display is used in a place with poor ventilation, "NG" may be displayed, flashing in red. In this case, check that the ventilation holes are not blocked and install the display unit in a well ventilated location. If the message is still shown, contact your authorized Sony dealer.

When the STANDBY indicator flashes or NG is indicated, see "Self-diagnosis Function" on page 47 (GB).

Fan

Cooling fans are built into this display unit. This item indicates whether the cooling fans work properly.

OK: Normal

NG: Unusual

When the cooling fans are not working normally, NG is displayed and the item flashes in red. The STANDBY indicator on the ⏻ (standby) switch / indicator section also flashes.

Notes

- If "NG" is displayed, flashing in red, contact the dealer from whom you purchased the unit, or your nearest Sony Service Center. When the STANDBY indicator flashes or NG is indicated, see "Self-diagnosis Function" on page 47 (GB).
- The cooling fans detect the display unit's internal temperature and control the fan rotation. If the ambient temperature is high, the fan speed increases and the fan noise will be louder.

Watching the Picture

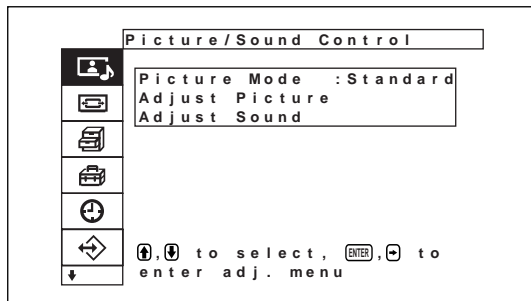
Before you start

- Turn on the display.
- Turn on the connected equipment and play a video source.
- To display the input signal information and Picture Mode on the screen when turning on the power or switching the input signal, set “Display” in the Custom Setup menu to On.
- To select the on-screen language used in the menu, see page 41 (GB).

Switching the Input Signal

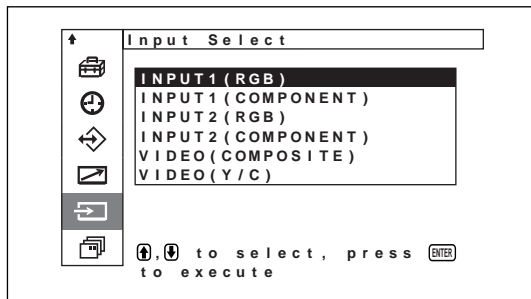
1 Press MENU.

The main menu appears on the display panel.



2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Input Select” and press ENTER.

Input Select menu appear on the display panel.



3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to the input source to be displayed and press ENTER.

INPUT1 (RGB): Selects the audio and video signal input from the INPUT1 connectors when the input signal is an RGB signal.

INPUT1 (COMPONENT): Selects the audio and video signal input from the INPUT1 connectors when the input signal is a component signal.

INPUT2 (RGB): Selects the audio and video signal input from the INPUT2 connectors when the input signal is an RGB signal.

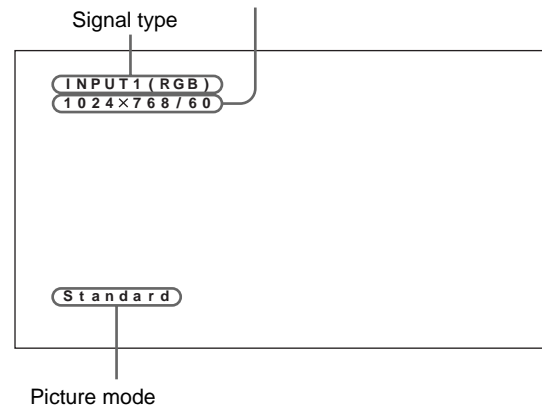
INPUT2 (COMPONENT): Selects the audio and video signal input from the INPUT2 connectors when the input signal is a component signal.

VIDEO (COMPOSITE): Selects the audio and video signal input from the COMPOSITE IN connector and AUDIO IN jack among the VIDEO connectors.

VIDEO (Y/C): Selects the audio and video signal input from the Y/C IN connector and AUDIO IN jack among the VIDEO connectors.

The selected input signal appears on the display panel.

Color system or horizontal/vertical frequency



You can switch the input signal using the Remote Commander supplied with your display panel.

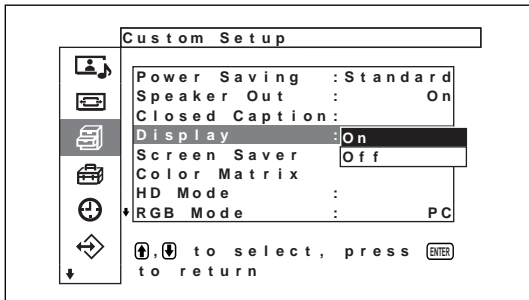
Notes

- We recommend input source video equipment equipped with a TBC (time base corrector). If the display receives a signal without TBC, the picture may disappear due to disturbance of the sync signal.
- If signals of the same format are input from multiple systems, the Picture Quality setting will default to the most recently set value (Only when the signal formats are identical).

Input Signal, Picture Mode and Display Status Information

Input signal and Picture Mode information is appears on the display panel for about five seconds when the power is turned on or when switching the input signal. To disable this function, follow the steps below.

- 1 In the Custom Setup menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Display” and press ENTER. The following menu appears on the display panel.



- 2 Press **↑/↓** to set Display to Off and press ENTER.

To display the information

Set Display to On in step 2 above. The factory default is On.

Note

You can display the input signal information and the time anytime by pressing the DISPLAY button on the Remote Commander, regardless of the above setting.

Preset input signals			
	Signal name	Color system or horizontal/vertical frequency	
Computer signals			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31.5kHz	70.1Hz
2	640×350@85Hz (VESA ^{b)} STD)	37.9kHz	85.1Hz
3	640×400@85Hz (VESA STD)	37.9kHz	85.1Hz
4	640×480@60Hz (VESA STD)	31.5kHz	59.9Hz
5	Mac ^{c)} 13"	35.0kHz	66.7Hz
6	640×480@72Hz (VESA STD)	37.9kHz	72.8Hz
7	640×480@75Hz (VESA STD)	37.5kHz	75.0Hz
8	640×480@85Hz (VESA STD)	43.3kHz	85.0Hz
9	852×480@60Hz (I/O DATA) ^{d)}	31.7kHz	60.0Hz
10	VGA (VGA TEXT)	31.5kHz	70.1Hz
11	720×400@85Hz (VESA STD)	37.9kHz	85.0Hz
12	800×600@56Hz (VESA STD)	35.2kHz	56.3Hz
13	800×600@60Hz (VESA STD)	37.9kHz	60.3Hz
14	800×600@72Hz (VESA STD)	48.1kHz	72.2Hz
15	800×600@75Hz (VESA STD)	46.9kHz	75.0Hz
16	800×600@85Hz (VESA STD)	53.7kHz	85.1Hz
17	Mac 16"	49.7kHz	74.6Hz
18	1024×768@60Hz (VESA STD)	48.4kHz	60.0Hz
19	1024×768@70Hz (VESA STD)	56.5kHz	70.1Hz
20	1024×768@75Hz (VESA STD)	60.0kHz	75.0Hz
21	1024×768@85Hz (VESA STD)	68.7kHz	85.0Hz
22	1152×864@75Hz (VESA STD)	67.5kHz	75.0Hz
23	Mac 21"	68.7kHz	75.1Hz
24	1280×960@60Hz (VESA STD)	60.0kHz	60.0Hz
25	1280×960@85Hz (VESA STD)	85.9kHz	85.0Hz
26	1280×1024@60Hz (VESA STD)	64.0kHz	60.0Hz
27	1280×1024@75Hz (VESA STD)	80.0kHz	75.0Hz
28	1280×1024@85Hz (VESA STD)	91.1kHz	85.0Hz
29	1600×1200@60Hz (VESA STD)	75.0kHz	60.0Hz
30	856×480@60Hz (Matrox) ^{e)}	30.2kHz	60.0Hz
31	856×480@59.6Hz (Matrox) ^{e)}	30.1kHz	59.6Hz
32	856×480@60.1Hz (Matrox) ^{e)}	30.1kHz	60.1Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50i	
9	480/60i	480/60i	
10	1080/24psf	1080/48i	
11	1080/50i	1080/50i	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60i	
15	720/60p	720/60P	

- a) VGA is a registered trademark of International Business Machines Corporation, U.S.A.
- b) VESA is a registered trademark of the Video Electronics Standards Association.
- c) Mac (Macintosh) is a registered trademark of Apple Computer, Inc.
- d) This item is only available when you use a graphic accelerator board manufactured by I-O DATA DEVICE, INC.
- e) This item is only available when you use a graphics card manufactured by Matrox Graphics Inc.

Notes

- When inputting an HDTV signal, input the tri-level sync signal to the 2nd pin of the INPUT1 or INPUT2 (D-sub 15-pin) connector.
- When inputting a computer signal at the resolution shown in item No. 29, set H Size, H Shift, V Size and V Shift to the standard (00) and set Screen Zoom to Reset in the Screen Control menu, or the picture might oscillate.
- If the image color is too light after inputting the DVD signal in the PFM-50C1/50C1E, adjust the color in the “Chroma” setting in the Adjust Picture menu.
- When the phase is readjusted, the resolution will be reduced.

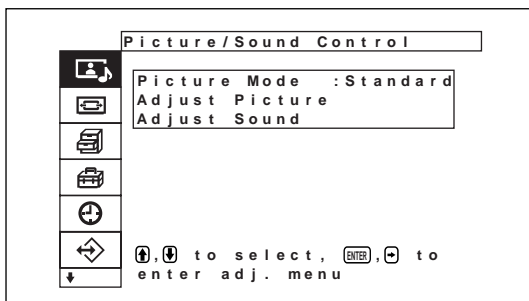
Actual on-screen display of the unit’s status

On-screen display	Significance
640×480 / 60 (e.g.)	The selected input signal is computer RGB.
525 / 60 (e.g.)	The selected input signal is component video.
NTSC (e.g.)	The selected input signal is NTSC.
OTHERS	The input signal is out of the capture range.
NO SYNC	There is no input signal.
INPUT1 (RGB)	The signal mode of INPUT1 is set to RGB.
INPUT1 (YUV)	The signal mode of INPUT1 is set to component video.
VIDEO (COMPOSITE)	Composite video input is selected for VIDEO.
VIDEO (Y/C)	Y/C video input is selected for VIDEO.

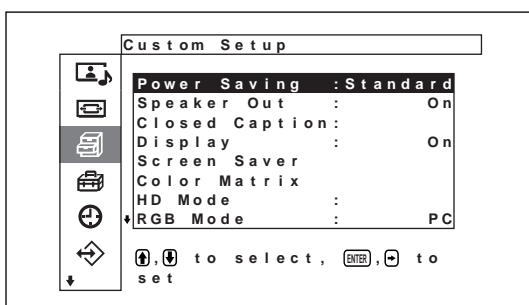
Switching the Display Mode

Displaying closed captions

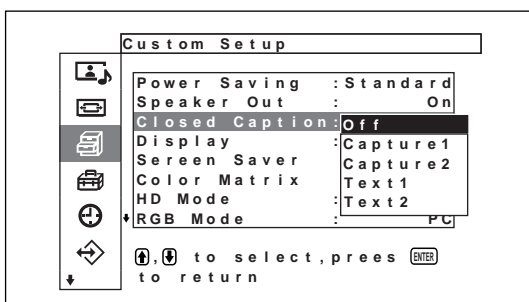
- 1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



- 2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Custom Setup” and press ENTER.
The Custom Setup menu appears on the display panel.



- 3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Closed Caption” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



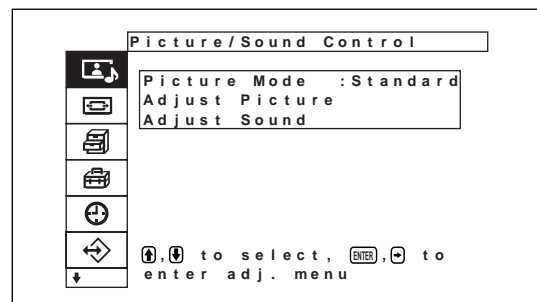
- 4 Select the caption type with ↑/↓.
Off: The caption is not displayed.
Capture1: Displays caption1 over the picture.
Capture2: Displays caption2 over the picture.
Text1: Displays caption1 against a black background.
Text2: Displays caption2 against a black background.

- 5 Press MENU.
The menu returns to the Custom Setup menu.

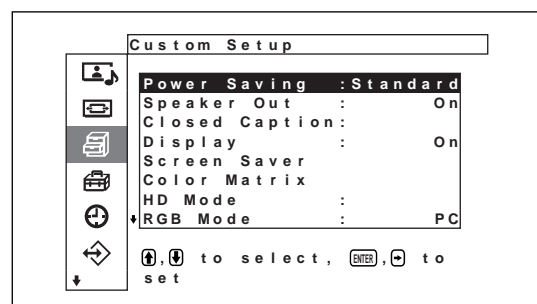
Energy Saving Function

This lets you view the display while saving on energy.

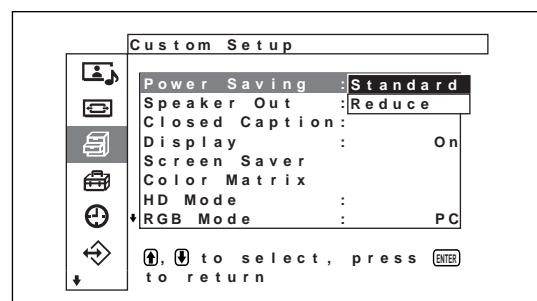
- 1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



- 2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Custom Setup” and press ENTER.
The Custom Setup menu appears on the display panel.



- 3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Power Saving” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 4 Press ↑/↓ to select the Power Saving mode.
Standard: No energy saving
Reduce: energy saving
By enabling the Power Saving (Reduce), the screen brightness is reduced and you can view the display unit while saving energy.

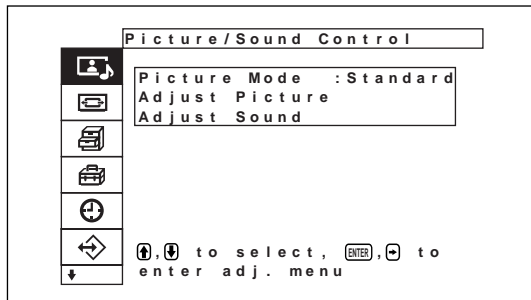
Notes

- When “Power Saving: Reduce” is selected and you turn off the power, the same setting will be in effect when you next turn the power back on.
- When you choose User 1 to 3 in Picture quality mode, even though you have set “Power Saving: Reduce,” you can still adjust the image quality. However, if you raise the contrast or the brightness, you may lose the power saving effects.

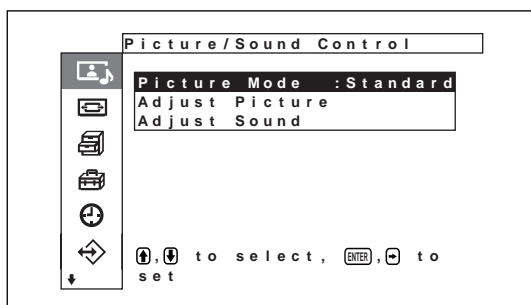
Selecting Image Quality

Image quality can be selected according to the type of image and surrounding brightness.

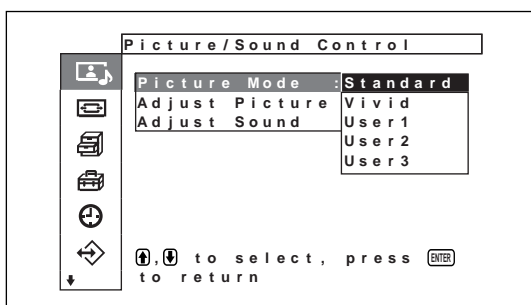
- 1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



- 2 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Picture/Sound Control” and press ENTER.
The Picture/Sound Control menu appears on the display panel.



- 3 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Picture Mode” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 4 Select the Picture Mode with **↑/↓** and press ENTER.
Standard: Based on moderate contrast and contour adjustment, image quality that appears real can be obtained.
Vivid: This setting results in images with intense sharpness in which image contour and contrast are set to their maximum settings.
User1-3: You can set the image quality to suit your taste using the Adjust Picture menu.

Adjusting the Picture

While watching the picture, you can adjust contrast, brightness, chroma, phase, and so on, to suit your taste. The adjustments can be carried out for each input signal separately. You can also store the adjusted levels in memory. Set the Picture Mode to any of the “User1-3” settings.

Adjusting the Contrast, Brightness, Chroma, and Phase, etc.

Press MENU so that the main menu appears on the display panel and adjust “Contrast”, “Brightness”, “Chroma”, “Phase”, “Sharpness”, “Noise Reduct.”, “Cinema Drive (Cine motion)”, “Dynamic Picture”, “Color Temp.”, “Color Correct.” or “Gamma Correct.” from the Adjust Picture menu.

Contrast

Select “Contrast” with **↑/↓** and press ENTER.
Adjust the contrast with **↑/↓/←/→** in the range from MIN (0) to MAX (255).

- ↑/→**: to increase picture contrast
- ↓/←**: to decrease picture contrast

Brightness

Select “Brightness” with **↑/↓** and press ENTER.
Adjust the brightness with **↑/↓/←/→** in the range from MIN (-128) to MAX (+127).

- ↑/→**: to make the picture brighter
- ↓/←**: to make the picture darker

Chroma

Select "Chroma" with **↑/↓** and press ENTER.
Adjust the chroma with **↑/↓/←/→** in the range from MIN (-128) to MAX (+127).

- ↑/→**: to increase color intensity
- ↓/←**: to decrease color intensity

Phase

Select "Phase" with **↑/↓** and press ENTER.
Adjust the phase with **↑/↓/←/→** in the range from RED (-128) to GREEN (+127).

- ↑/→**: to make the overall picture greenish
- ↓/←**: to make the overall picture reddish

Sharpness

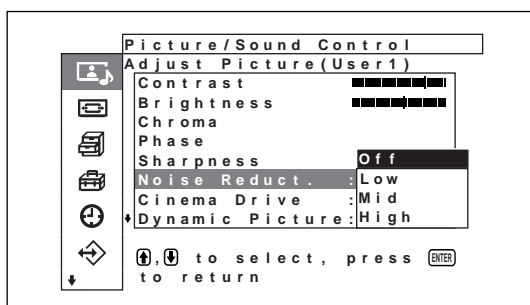
Select "Sharpness" with **↑/↓** and press ENTER.
Adjust the sharpness with **↑/↓/←/→** in the range from MIN (-5) to MAX (+5).

- ↑/→**: to increase image sharpness
- ↓/←**: to decrease image sharpness

Noise Reduct.

Reduces image graininess and color noise.

- 1 Select "Noise Reduct." with **↑/↓** and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.

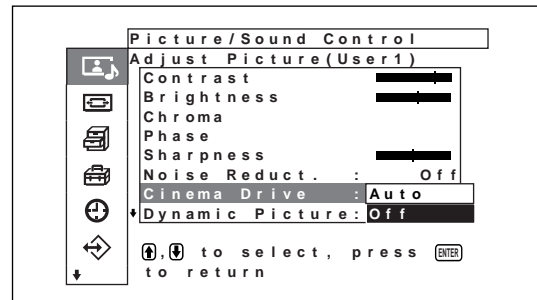


- 2 Select the Noise Reduct. mode with **↑/↓** and press ENTER.
 - Off**: The image signal is displayed directly.
 - Low**: to set the Noise Reduct. processing to low.
 - Mid**: to set the Noise Reduct. processing to medium
 - High**: to set the Noise Reduct. processing to high

Cinema Drive (Cine motion)

Automatically detects images captured on film (24-frame) and reproduces those images with the characteristic smooth movement of film images.

- 1 Select "Cinema Drive" with **↑/↓** and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.

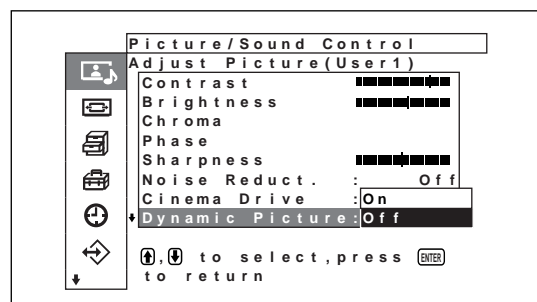


- 2 Select the cinema drive mode with **↑/↓** and press ENTER.
 - Auto**: Signal processing is performed that is optimal for film images.
 - Off**: Video signals are displayed directly.

Dynamic Picture

Enhances contrast by making white appear brighter and black appear darker.

- 1 Select "Dynamic Picture" with **↑/↓** and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 2 Select the Dynamic Picture mode with **↑/↓** and press ENTER.
 - On**: Dynamic Picture function used
 - Off**: Dynamic Picture function not used

Color Temp.

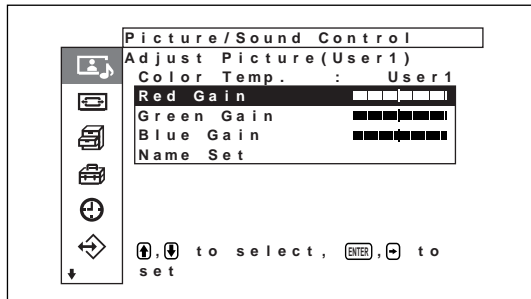
You can also set the color temperature. You can select Cool, Neutral or Warm, or adjust each gain more precisely. Up to three adjusted color temperatures can be registered. You can rename them (up to six characters in length).

- 1 Select "Color Temp." with **↑/↓** and press ENTER.
- 2 Select the color temperature with **↑/↓** and press ENTER.
Cool: to set the color temperature to high
Neutral: to set the color temperature to neutral
Warm: to set the color temperature to low
User1 – 3: to set the gain more precisely

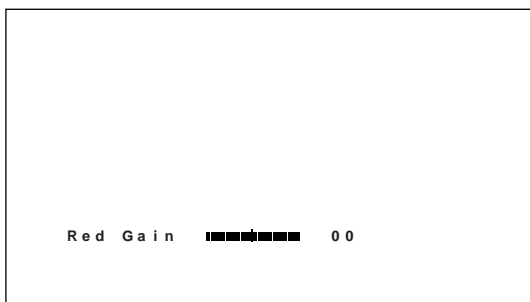
When you select Warm, Neutral or Cool, the menu returns to the Adjust Picture menu.

When you select "User1" to "User3"

When you select "User1" to "User3", the following menu appears on the display panel.



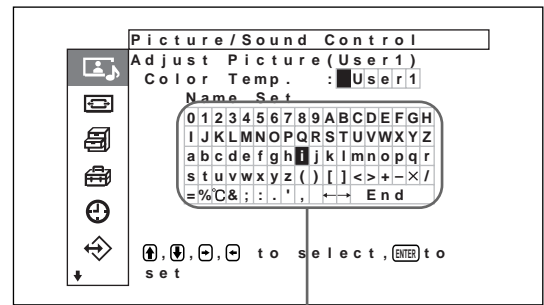
- (1) Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to the gain item that you want to set and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- (2) Adjust the gain (0 to 255) with **↑/↓/←/→** and press ENTER.
The menu returns to the Color Temp. menu.

When you rename the adjusted color temperature, follow the steps below.

- (3) Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to "Name Set" and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



Character list

- (4) Select a character or symbol in the character list with **↑/↓/←/→** and press ENTER. The selected character is input. If you make a mistake, select **←** on the screen to backspace the cursor one character, then correct the error.

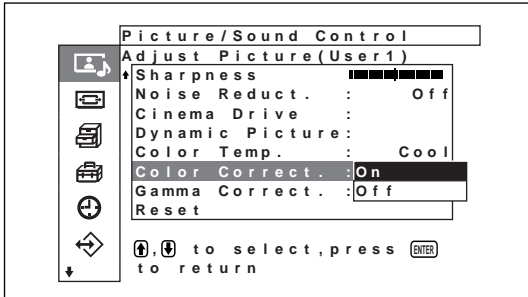
*When [MENU Function] (page 23 (GB)) on the Initial Setup menu has been set to [Return], the **↑/↓** buttons on the Remote Commander move the cursor left and right. To make the **↑/↓** buttons move the cursor up and down, set [MENU Function] to [On/Off].*

- (5) Repeat steps (4) and after you have finished entering the name, select "end" and press ENTER.
The menu returns to the Color Temp menu.

Color Correct.

You can reproduce a beautiful, healthy color.

- 1 Select “Color Correct.” with **↑/↓** and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.

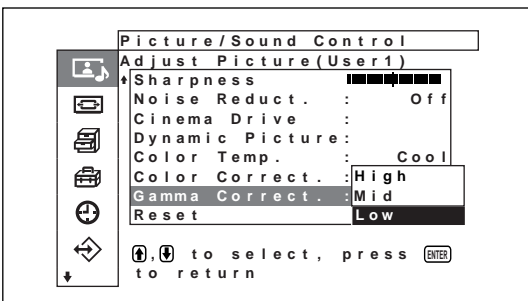


- 2 Select the color correct. mode with **↑/↓** and press ENTER.
On: to set the color correct. to On
Off: to set the color correct. to Off

Gamma Correct.

Automatically adjusts the balance between the light and dark portions of images.

- 1 Select “Gamma Correct.” with **↑/↓** and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



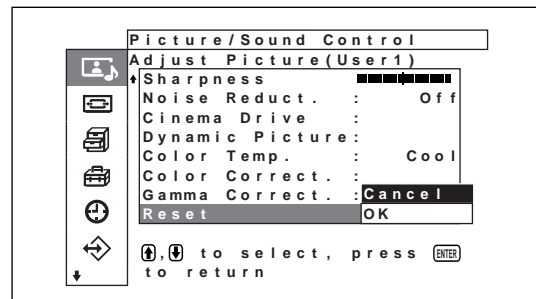
- 2 Select the Gamma Correct. mode with **↑/↓** and press ENTER.
High: to set the Gamma Correct. to high
Mid: to set the Gamma Correct. to medium
Low: to set the Gamma Correct. to low

Notes

- Chroma and Phase controls do not function with an RGB signal.
- Phase control does not function with a component signal.
- Phase control does not function with a PAL, PAL-M, PAL-N, PAL60 or SECAM color source.
- When you input a black-and-white (B&W) signal, the depth of the color and the color tone cannot be adjusted.

Restoring the Adjust Picture Menu Items to Their Original Settings

- 1 In the Adjust Picture menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Reset” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 2 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “OK” and press ENTER.
The Adjust Picture menu items are restored.

To cancel the reset function

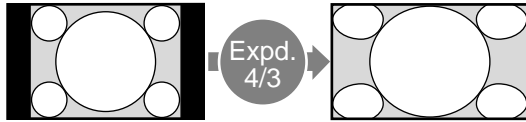
Press MENU before pressing ENTER. Alternatively, select “Cancel” with **↑/↓** and then press ENTER.

Picture Enlargement

Enlarges the picture to cover the entire screen according to the type of picture, such as ordinary television broadcasts or Wide Clear Vision, etc. For Wide Mode, the following choices are available.

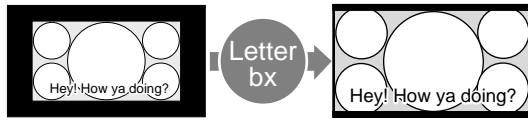
Original Pictures (Picture Type)

Enlarged Pictures



- Allows ordinary pictures having a 4:3 aspect ratio to set to Wide Zoom (screen aspect ratio: 4:3).

Images are enlarged naturally to full screen size



- Wide Clear Vision Broadcasts (aspect ratio: 16:9)
- Movies filmed in VistaVision and so forth that appear long in the horizontal direction of the screen and contain captions within the picture (aspect ratio: 1.85:1)
- Images from a video camera or DVD software containing aspect ratio information (ID-1 type)

Images are enlarged to full screen size while aligning with the right and left sides of the screen. (Black bars may remain on the top and bottom of the screen depending on the type of picture.)



- Images from a video camera or DVD software containing aspect ratio information (ID-1 type)

The left and right edges of the picture are enlarged to full screen size without changing the top and bottom.



- Movies filmed in CinemaVision and so forth that appear long in the horizontal direction of the screen and contain captions outside the picture (aspect ratio: 2.35:1)

The picture is displayed on the screen by compressing only the area where captions are displayed while enlarging to full screen size and aligning with the left and right sides of the screen.



- When pictures having an aspect ratio of 4:3 are set to "Normal" ("Normal" is the factory setting) and Auto Wide is set to On.

Pictures are displayed in the original 4:3 aspect ratio without being enlarged

Setting Auto Wide

An identification control signal is transmitted with the video signal in some ordinary television and Wide Clear Vision broadcasts, etc. The auto wide function faithfully reproduces images based on this identification control signal or enlarges various types of pictures to the optimum size regardless of this identification control signal.

In addition, ordinary television broadcasts and BS broadcasts having an aspect ratio of 4:3 can also be enlarged and displayed at an aspect ratio of 16:9.

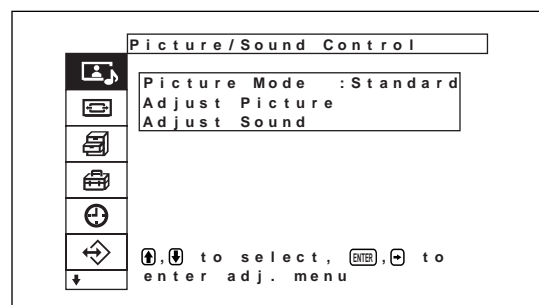
Identification Control Signal

This is a control signal for faithfully reproducing the aspect ratio of the original image on a television screen. Images that contain this signal consist of the following:

- Wide Clear Vision broadcasts
- Images recorded with a television camera containing aspect ratio information (ID-1 format).
- Television broadcasts containing a signal for setting the aspect ratio to 4:3.
- Images containing aspect ratio information received from the D4 input connector.

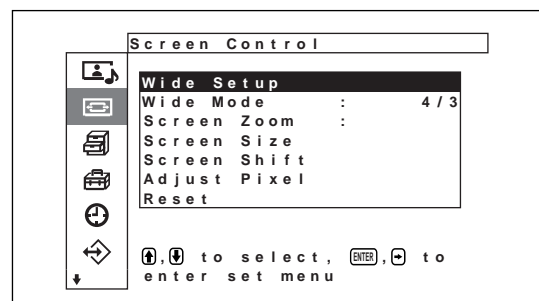
1 Press MENU.

The main menu appears on the display panel.

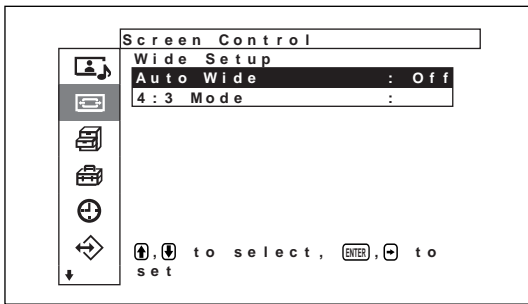


2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Screen Control" and press ENTER.

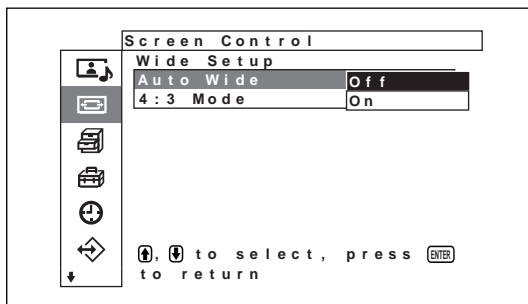
The Screen Control menu appears on the display panel.



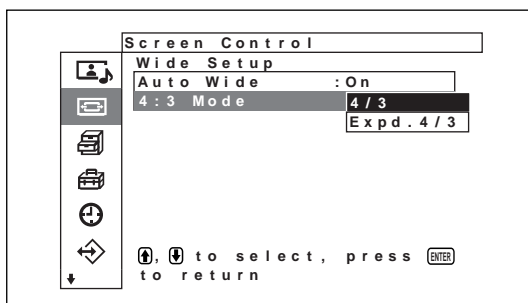
- 3** Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Wide Setup” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 4** Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Auto Wide” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 5** Select an Auto Wide setting using the **↑/↓** button.
Off: Images are reproduced as-is.
On: The image is enlarged and displayed in the most appropriate aspect ratio.
- 6** Press ENTER.
The menu returns to the Wide Setup menu.
- 7** Select “4:3 Mode” with **↑/↓** and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



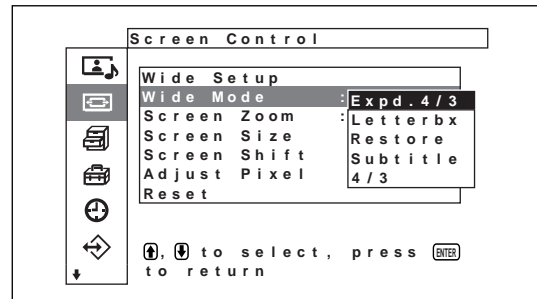
- 8** Select the 4:3 Mode with **↑/↓**.
4/3: Pictures with a 4:3 aspect ratio are displayed as-is.
Expd.4/3: Pictures with a 4:3 aspect ratio are displayed after being enlarged to an aspect ratio of 16:9. (When there is no discriminating control signal.)

- 9** Press ENTER.
The menu returns to the Wide Setup.

Setting the Wide Mode

Pictures can also be enlarged in the desired wide mode regardless of the type of picture.

- 1** In the Screen Control menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Wide Mode” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 2** Select the Wide Mode with **↑/↓**.
Expd.4/3: Enlarges 4:3 pictures full-screen to 16:9 pictures.
Letterbx: Enlarges the picture all the way to the left and right edges of the screen. (Black bars may remain on the top and bottom of the screen depending on the type of picture.)
Restore: Extends the left and right sides of the picture over the entire screen without changing the top and bottom.
Subtitle: Enlarges the picture all the way to the left and right edges of the screen and compresses only the area where captions are displayed.
4/3: Displays the picture without enlarging.

- 3** Press ENTER.
The menu returns to the Screen Control menu.

Notes

- If you set Wide Mode, the Auto Wide function is disabled. If you want to use the Auto Wide function, reset it to “On.”
- The top or bottom of the picture may be cut off or the captions may not be completely contained on the screen depending on the type and size of picture.
- Please be aware that if this unit is used for commercial purposes, or is used for public viewing in coffee shops or hotels, and that if the wide screen switching function is used, screen compression or elongation can result, and there may be some infringement on copyrights as defined under the copyright laws.

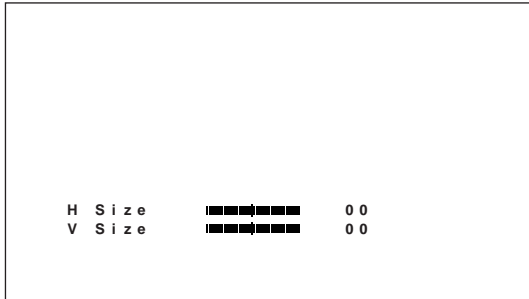
Resizing and Positioning the Picture

You can shift the position of the picture so that it fits the screen, or adjust the vertical and horizontal size of the picture separately.

Operation is explained in these operating instructions for the state in which the MENU Function is set to "On/Off". Refer to "Screen Control menu" on page 20 (GB) for further details regarding the Screen Control menu.

Resizing the Picture

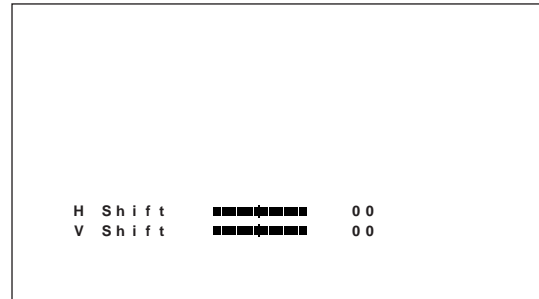
- In the Screen Control menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to "Screen Size" and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- Adjust the picture size vertically and horizontally using the **↑/↓/←/→** buttons.
 - ←/→**: Adjust the picture size horizontally
 - ↑/↓**: Adjust the picture size vertically
 Horizontal picture size is displayed on the screen with adjustment values ranging from MIN (-128) to MAX (+127). Vertical picture size is displayed on the screen with adjustment values ranging from MIN (-128) to MAX (+127). The factory preset value is 00.
- Press ENTER.
The menu returns to the Screen Control menu.

Adjusting the Picture Position

- In the Screen Control menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to "Screen Shift" and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- The **↑/↓/←/→** buttons move the picture vertically and horizontally.
 - ←/→**: Move the picture left and right
 - ↑/↓**: Move the picture up and down
 Horizontal picture position is displayed on the screen with adjustment values ranging from LEFT (128) to RIGHT (127). Vertical picture position is displayed on the screen with adjustment values ranging from BOTTOM (128) to TOP (127). The factory preset value is 00.
- Press ENTER.
The menu returns to the Screen Control menu.

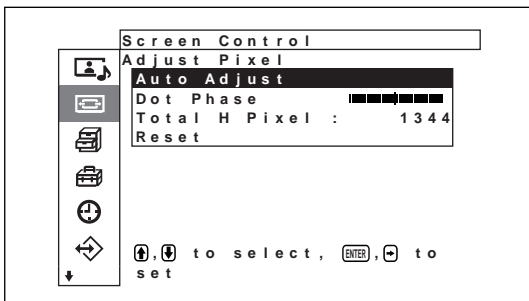
Adjusting the Pixels

If there is too much noise on the edges of the characters or the vertical lines, you can adjust the dot phase and the total number of horizontal pixels.

Note

This item depends on the computer signal being used.

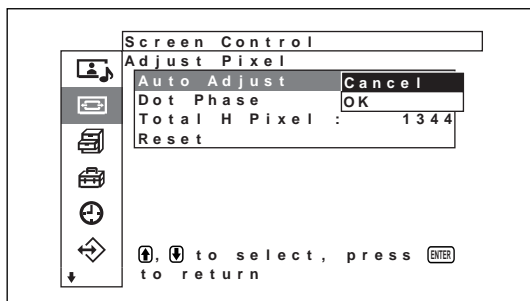
- In the Screen Control menu, press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to “Adjust Pixel” and press ENTER. The following menu appears on the display panel.



- You can adjust the dot phase and the total number of horizontal pixels automatically or manually.

Adjusting automatically

- Select “Auto Adjust” with \uparrow/\downarrow and press ENTER. The following menu appears on the display panel.

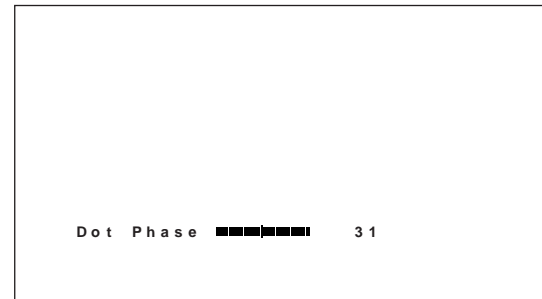


- Select “OK” with \uparrow/\downarrow and press ENTER. The dot phase and the total number of horizontal pixels are adjusted automatically.

Adjusting manually

- Select “Dot Phase” or “Total H Pixel” with \uparrow/\downarrow and press ENTER.

The following menu appears on the display panel. (The illustration below is for selecting Dot Phase.)



- Adjust the dot phase or the total number of horizontal pixels with \uparrow/\downarrow and press ENTER.

Note

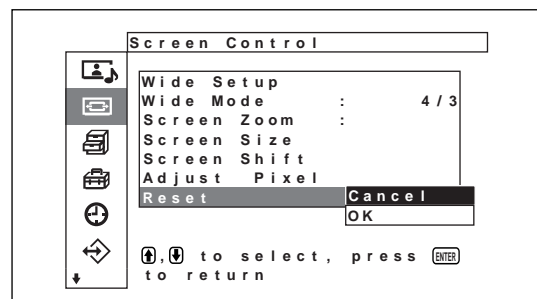
Due to patterns in the image, there may be times when noise continues to occur even after you have used Auto Adjust. In such cases, adjust the dot phase manually.

To restore Adjust Pixel menu items to their original settings

In the Adjust Pixel menu, press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to “Reset” and press ENTER. Then select “OK” with \uparrow/\downarrow and press ENTER.

Restoring the Screen Control Menu Adjustment Values

- In the Screen Control menu, press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to “Reset” and press ENTER. The following menu appears on the display panel.



- Press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to “OK” and press ENTER. The Screen Control menu items are restored.

To cancel the reset function

Press MENU before pressing ENTER. Alternatively, select “Cancel” with \uparrow/\downarrow and then press ENTER.

Adjusting the Sound Quality

Sound treble level, bass level and balance can be adjusted. The surround mode can also be set.

Adjusting the Treble, Bass, and Balance, etc.

Press MENU so that the main menu appears on the display panel and adjust “Treble”, “Bass”, “Balance” or “Surround” from the Adjust Sound menu.

Treble

Select “Treble” with **↑/↓** and press ENTER.
Adjust the treble with **↑/↓/←/→** in the range from MIN (-50) to MAX (+50).

- ↑/→**: to increase sound treble
- ↓/←**: to decrease sound treble

Bass

Select “Bass” with **↑/↓** and press ENTER.
Adjust the bass with **↑/↓/←/→** in the range from MIN (-50) to MAX (+50).

- ↑/→**: to increase sound bass
- ↓/←**: to decrease sound bass

Balance

Select “Balance” with **↑/↓** and press ENTER.
Adjust the balance with **↑/↓/←/→** in the range of LEFT (50) to RIGHT (50).

- ↑/→**: to increases the volume on the right side
- ↓/←**: to increases the volume on the left side

Surround

Select the Surround mode according to the type of picture.

1 Select “Surround” with **↑/↓** and press ENTER.

2 Select the Surround mode with **↑/↓** and press ENTER.

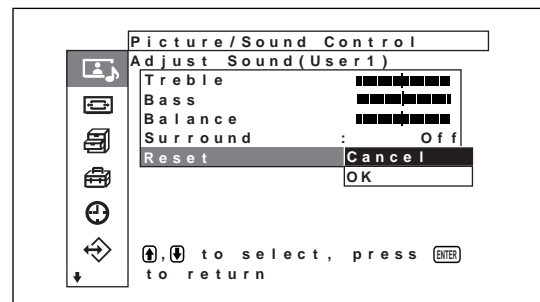
Off: No surround output

Hall: When desiring to give the stereo sound of movies or music programs a greater sense of presence.

Sim: When desiring to give ordinary monaural programs or news telecasts an enhanced sense of presence using simulated stereo sound.

Restoring the Adjust Sound Menu Items to Their Original Settings

1 In the Adjust Sound menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Reset” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



2 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “OK” and press ENTER.
The Adjust Sound menu items are restored.

To cancel the reset function

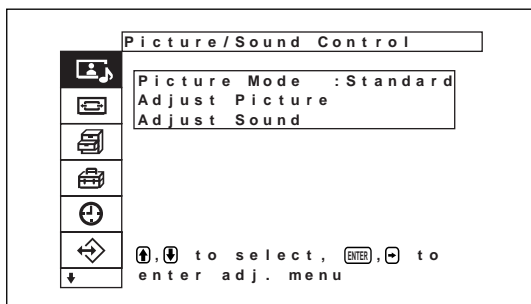
Press MENU before pressing ENTER. Alternatively, select “Cancel” with **↑/↓** and then press ENTER.

Using the Memory Function

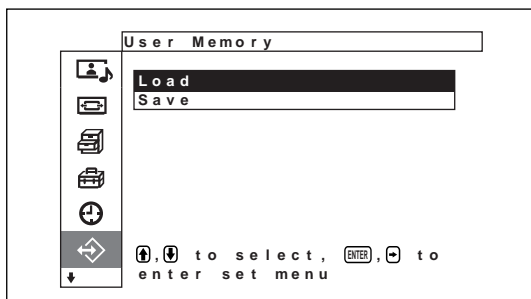
You can save the current picture setting for each input signal using the Memory function. The saved settings can be restored whenever necessary. The items in the Picture/Sound Control and Screen Control menus can be memorized. You can save the picture settings of up to twenty input signals. You can name the settings of the items (up to 6 characters in length).

Storing the Current Setting

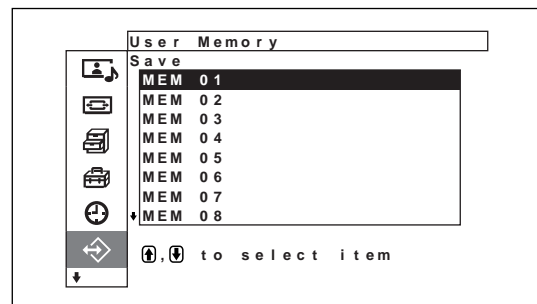
- 1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



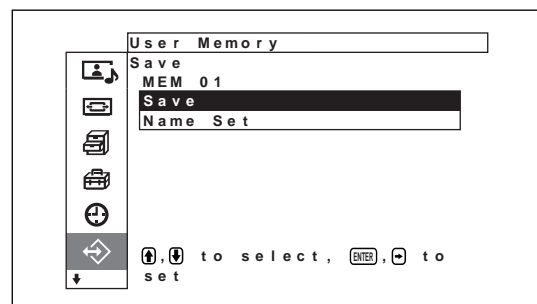
- 2 Press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to "User Memory" and press ENTER.
The User Memory menu appears on the display panel.



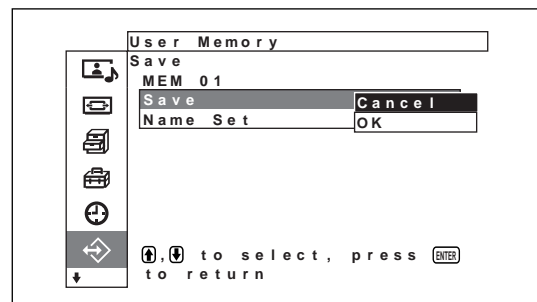
- 3 Press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to "Save" and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 4 Select a memory number (01 to 20) with \uparrow/\downarrow and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



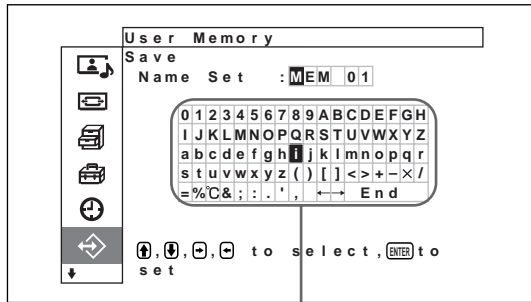
- 5 Press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to "Save" and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 6 Press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to "OK" and press ENTER.
The current data is stored under the selected memory number.

When you name the setting, follow the steps below.

- 7** Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Name Set” and press ENTER again.
The following menu appears on the display panel.



Character list

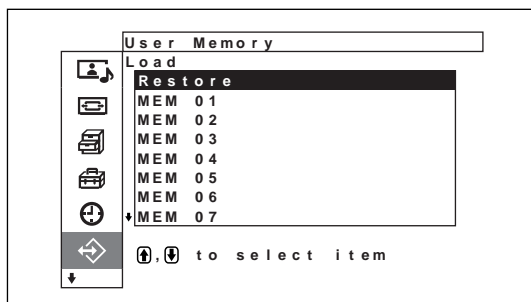
- 8** Select a character or symbol in the character list with **↑/↓/←/→** and press ENTER. The selected character is input. If you make a mistake, select [**←**] on the screen to backspace the cursor one character, then correct the error.

*When [MENU Function] (page 23 (GB)) on the Initial Setup menu has been set to [Return], the **↑/↓** buttons on the Remote Commander move the cursor left and right. To make the **↑/↓** buttons move the cursor up and down, set [MENU Function] to [On/Off].*

- 9** Repeat step **8** and after you have finished entering the name, select “End” and press ENTER.
The menu returns to the Save menu.

Calling Up a Stored Setting

- 1** In the User Memory menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Load” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



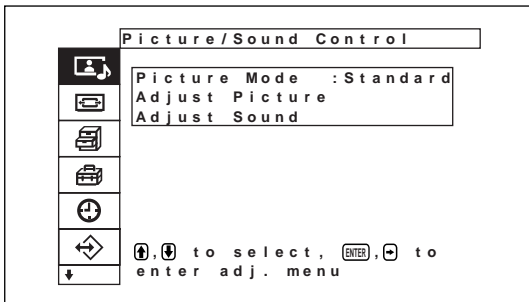
- 2** Move the cursor to the Memory Number (01~ 20) of the setting that you want to recall using the **↑/↓** buttons.
The stored adjustment value is recalled.
To restore the value in effect before the recall, move the cursor to “Restore.”

- 3** Press the ENTER button.
The display returns to the User Memory screen used to store and recall adjustment values.

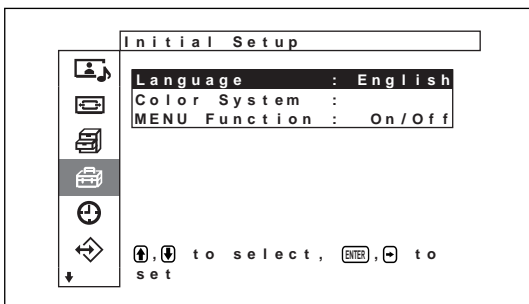
Selecting the On-screen Language

You can select the on-screen language from among Japanese, English, German, French, Spanish or Italian.

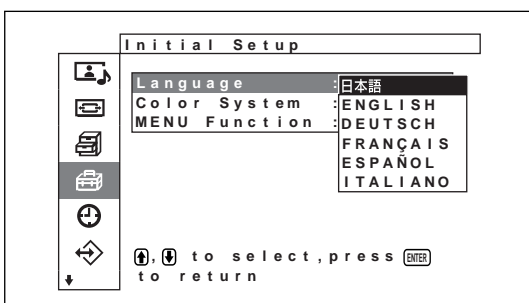
- 1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



- 2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Initial Setup” and press ENTER.
The Initial Setup menu appears on the display panel.



- 3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Language” menu and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 4 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to the desired language and press ENTER.
The on-screen language is switched to the one you selected.

日本語: Japanese

ENGLISH: English

DEUTSCH: German

FRANÇAIS: French

ESPAÑOL: Spanish

ITALIANO: Italian

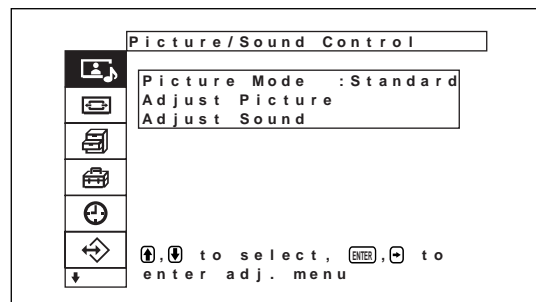
Screen Saver Function

If an image that does not change in brightness or a still image, such as the kind of image displayed on a computer, is displayed for a long time, an after-image (ghosting) may be burned into the display panel. To correct or lessen the severity of this problem, this unit is equipped with a screen saver function.

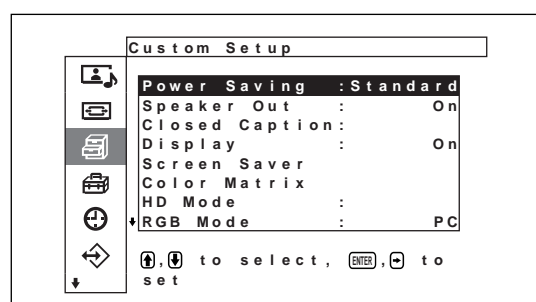
There are two types of screen saver: one reverses the color tones of the image (Pic. Inversion), and the other automatically moves the image around on the screen at a preset interval (Pic. Orbit).

Reversing the Color Tones of the Image

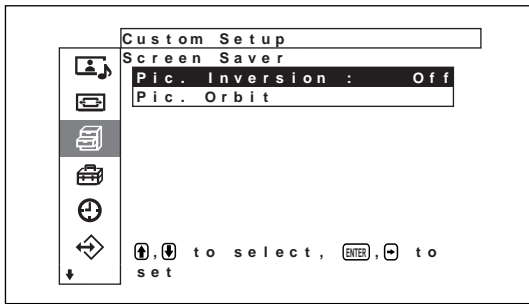
- 1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.



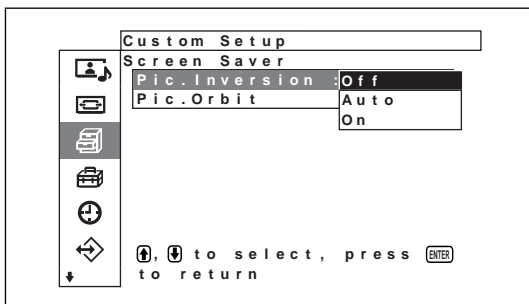
- 2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to “Custom Setup” and press ENTER.
The Custom Setup menu appears on the display panel.



- 3** Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Screen Saver” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.

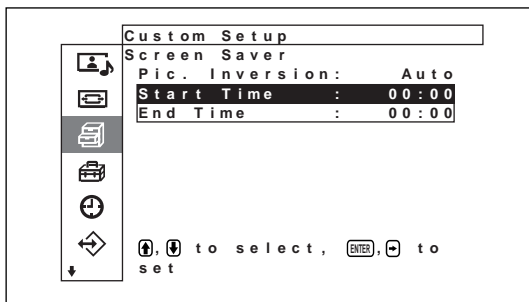


- 4** Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Pic. Inversion” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.

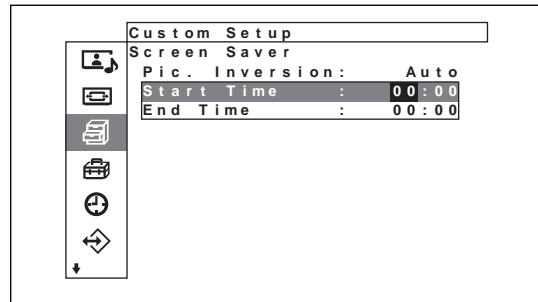


- 5** Select the Pic. Inversion mode with **↑/↓**.
Off: to set the Pic. Inversion to Off
Auto: Carry out the Pic. Inversion process once a day.
On: Reverses the color tones of the image

When you select Auto, and then press ENTER, the following menu appears.



- (1) Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Start Time” and press ENTER.
The following menu appears and the background of the hour is displayed in relief.



- (2) Set the hour when the image is to be reversed with **↑/↓** and press ENTER.
The setting for the hour is entered and the background of the minute is displayed in relief.

- (3) Set the minute with **↑/↓** and press ENTER.
The setting for the minute is entered. Press **←** to return to the screen shown in step 5.
When using the buttons on the unit, press the MENU button to close the menu, and set [MENU Function] (page 23 (GB)) on the Initial Setup menu to [Return]. The MENU button on the unit then has the same function as the ← button.

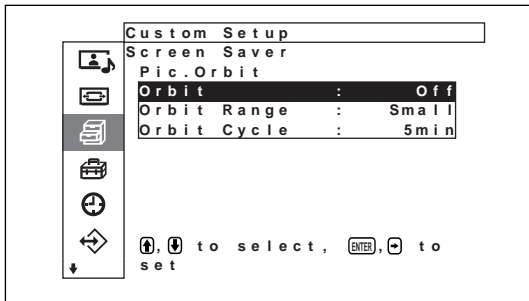
- (4) Similarly, set the time when the Pic. Inversion function is to be cancelled.
The display image will be reversed at the Start Time and will return to the original display image at the End Time. This cycle is carried out automatically once a day.

Note

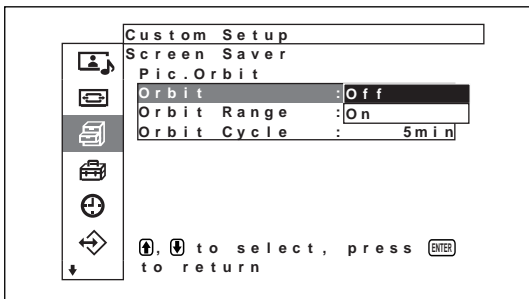
If you set Start Time and End Time to the same time, the setting of Start Time takes priority over that of End Time. The display image does not return to the original image at the End Time.

Changing the Image Position Automatically

- 1 In the Screen Saver menu, press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to "Pic. Orbit" and press ENTER. The following menu appears on the display panel.

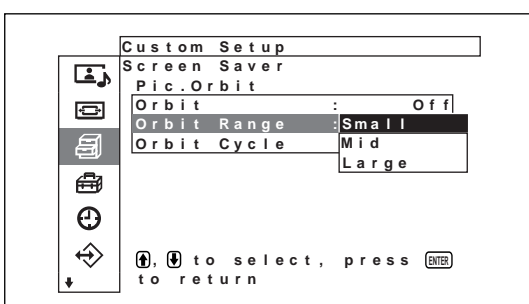


- 2 Press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to "Orbit" and press ENTER. The following menu appears on the display panel.



- 3 Select the Orbit mode with \uparrow/\downarrow .
Off: Cancel the Pic. Orbit function.
On: Set the Pic. Orbit function.
- 4 Press ENTER.
 The menu returns to the Pic. Orbit menu.
- 5 Select Orbit Range (moving distance) or Orbit Cycle (time) with \uparrow/\downarrow and press ENTER. The following values can be selected:
Orbit Range: Small, Mid, Large
Orbit Cycle: 10sec, 30sec, 1min, 5min

The following menu appears on the display panel. (The illustration below is for selecting Orbit Range.)



- 6 Adjust the Orbit Range or Orbit Cycle with \uparrow/\downarrow and press ENTER.

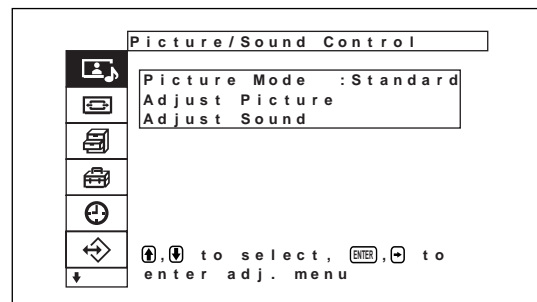
When both Pic Inversion and Pic. Orbit are set to ON

If the Pic. Orbit function is actuated while the picture is reversed, the reversed picture is displayed changing position.

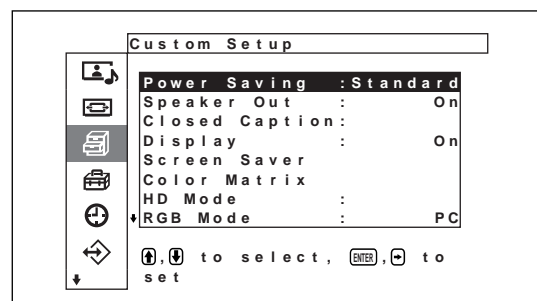
Adjusting Color Matrix

The Color Matrix can be set so that pictures are displayed in natural colors when the input from a BS digital tuner, digital CS tuner or DVD player and so forth connected to the component input adapter has a signal format of 480p (525p), 1080i (1125i) or 720p (750p).

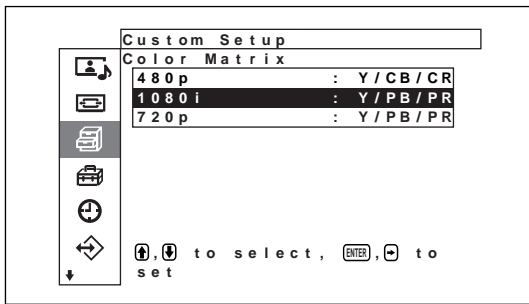
- 1 Press Menu.
 The main menu appears on the display panel.



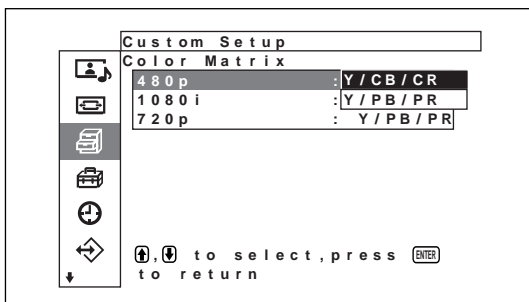
- 2 Press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to "Custom Setup" and press ENTER. The Custom Setup menu appears on the display panel.



- 3 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Color Matrix” and press ENTER.
The following menu appears on the display panel.



- 4 Select the signal format with **↑/↓**.
The following menu appears on the display panel.



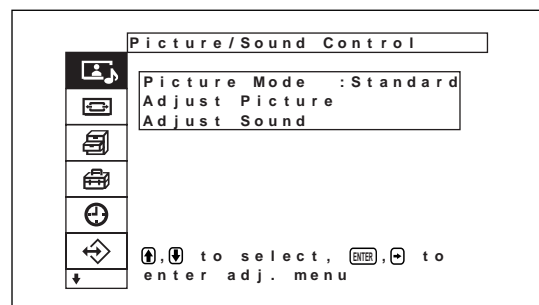
- 5 Select the color matrix with **↑/↓**.
Y/CB/CR: When signal format is 480p.
Y/PB/PR: When signal format is 1080i or 720p.
Refer to the operating instructions provided with each device for details regarding the correct setting.

Controlling Power On/Off Automatically (Timer Function)

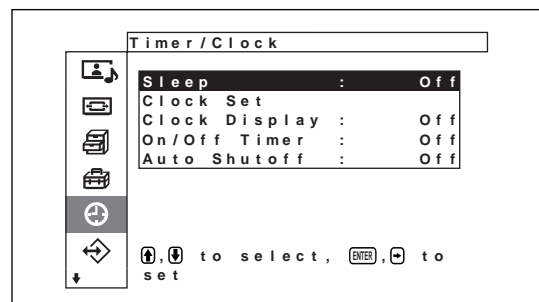
This display has three power controlling functions. You can set one to turn off the power automatically after a certain period if there is no input signal (Power Saving function). You can set the time when the power automatically turns on/off (On/Off Timer function). In addition, a sleep function is provided that automatically turns off the power after a preset amount of time has elapsed even while the screen is displayed.

Sleep Function

- 1 Press MENU.
The main menu appears on the display panel.

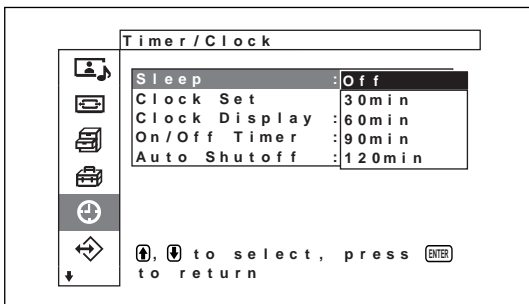


- 2 Press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Timer/Clock” and press ENTER.
The Timer/Clock menu appears on the display panel.



- 3** Press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to “Sleep” and press ENTER.

The following menu appears on the display panel.



- 4** Select the amount of time until the power is turned off with \uparrow/\downarrow .

Off: Power is not turned off.

30 min.: Power is turned off after 30 minutes.

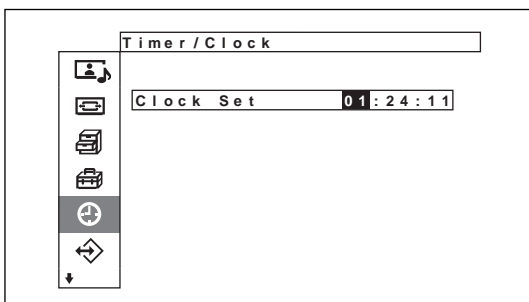
60 min.: Power is turned off after 60 minutes.

90 min.: Power is turned off after 90 minutes.

120 min.: Power is turned off after 120 minutes.

Adjusting the time

- 1** In the Timer/Clock menu, press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to “Clock Set” and press ENTER. The following menu is displayed, and background color of the time changes to yellow.



- 2** Adjust the hour with \uparrow/\downarrow and press ENTER. The setting for the hour is entered and the background of the minute is displayed in yellow.

- 3** Similarly, adjust the minute and press ENTER. The setting for the minute is entered and the seconds background changes to yellow.

- 4** Press ENTER. The second is reset to 00.

- 5** Press MENU. The display returns to the normal screen. If you must make further adjustments, or the setting must be made again, repeat the process from step 1.

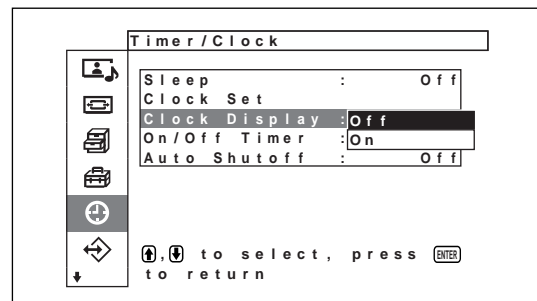
Note

If the time displayed is significantly slow, the internal battery may be losing its charge. Please contact the your authorized Sony dealer to have the battery replaced.

Displaying the time

- 1** In the Timer/Clock menu, press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to “Clock Display” and press ENTER.

The following menu appears on the display panel.



- 2** Select On with \uparrow/\downarrow and press ENTER. When the menu is no longer displayed, a clock in the upper left corner of the display is displayed.

When you press the DISPLAY button on the Remote Commander, the clock displayed in the corner of the panel screen disappears, and in its place, the signal currently input and the Picture mode are displayed. If you press the DISPLAY button again, the clock returns to the corner of the display panel.

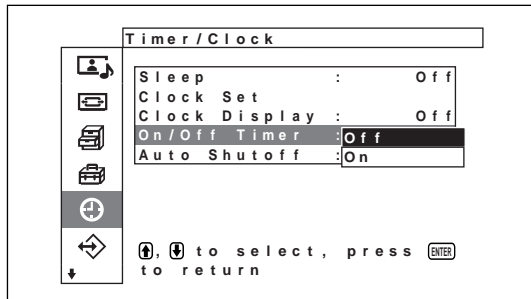
If this information is displayed undisturbed for about 5 minutes, it will disappear automatically.

In addition, a Clock Display setting of ON will not be saved when the power to the unit is turned off.

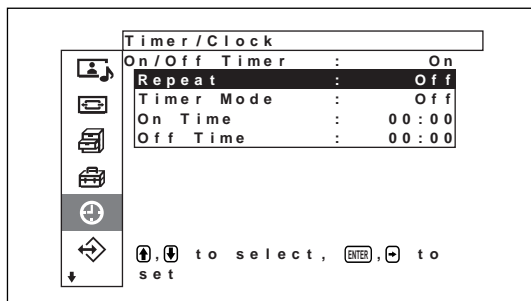
On/Off Timer Function

- 1** In the Timer/Clock menu, Press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to “On/Off Timer” and press ENTER.

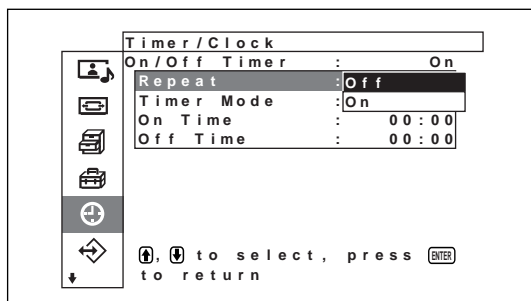
The following menu appears on the display panel.



- 2** Select On with \uparrow/\downarrow and press ENTER. The following menu appears on the display panel.

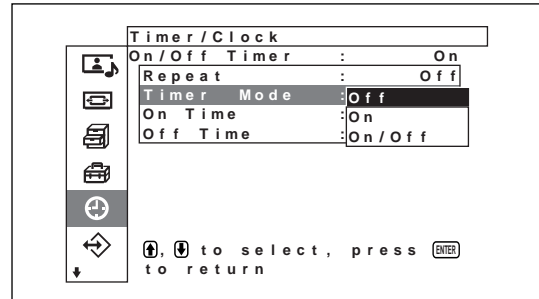


- 3** Select “Repeat” with \uparrow/\downarrow and press ENTER. The following menu appears on the display panel.



- 4** Select the repeat mode with \uparrow/\downarrow .
Off: Power turned on/off only once
On: Power turned on/off at the same preset time every day.
- 5** Press ENTER. The menu returns to the On/Off Timer menu.

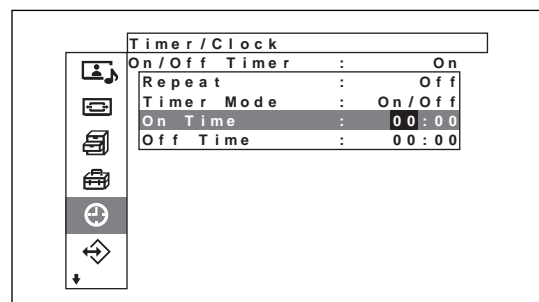
- 6** Select “Timer” with \uparrow/\downarrow and press ENTER. The following menu appears on the display panel.



- 7** Press \uparrow/\downarrow to select the timer mode.
Off: Power turned off at the time set with Off Time.
On: Power turned on at the time set with On Time.
On/Off: Power turned on at the time set with On Time, and turned off at the time set with Off Time.

- 8** Press ENTER. The menu returns to the On/Off Timer menu.

- 9** Press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to “On Time” and press ENTER. The following menu appears on the display panel. The area behind the hour is displayed in light blue.

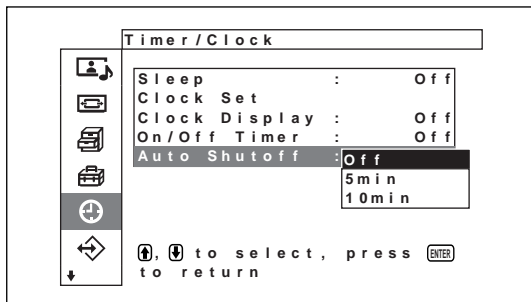


- 10** Press \uparrow/\downarrow to set the hour and press ENTER. The time is entered and the area behind the minutes is displayed in relief.
- 11** Press \uparrow/\downarrow to set the minute and press ENTER. Press \leftarrow to return to the screen shown in step 2. When using the buttons on the unit, press the MENU button to close the menu, and set [MENU Function] (page 23 (GB)) on the Initial Setup menu to [Return]. The MENU button on the unit then has the same function as the \leftarrow button.
- 12** Press \uparrow/\downarrow to move the cursor (yellow) to “Off Time” and press Enter. Do the same thing for the power on hour and minute.

Power Saving Function

- 1 In the Timer/Clock menu, press **↑/↓** to move the cursor (yellow) to “Auto Shutoff” and press **ENTER**.

The following menu appears on the display panel.



- 2 Press **↑/↓** to select the length of time until the change to power saving mode.
 - Off:** The power saving function does not work.
 - 5min:** Changes to the power saving mode after five minutes if there is no input signal.
 - 10min:** Changes to the power saving mode after 10 minutes if there is no input signal.

When the power saving mode is on, the unit changes to standby mode.

To cancel the power saving function

Press the **⏻** switch on the **⏻** (standby) switch / indicator section or the **POWER ON** switch on the Remote Commander.

Self-diagnosis Function

The unit has a self-diagnosis function.

This function shows the display's condition based on the pattern shown by the flashing of the STANDBY indicator. The flashing pattern informs you of the display's current condition.

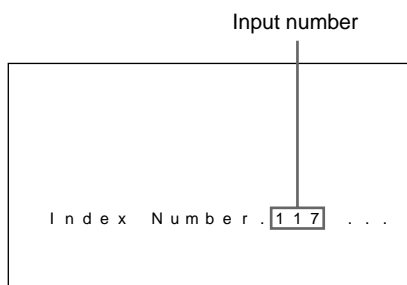
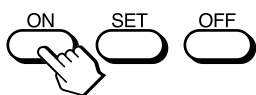
If the STANDBY indicator flashes, check the number of flashes and contact your authorized Sony dealer.

- 1 Check the flashing pattern of the STANDBY indicator.
 - The indicator flashes (with an image showing on the display) or flashes at intervals of three seconds (with no image showing on the display). Count the number of flashes if the indicator flashes at intervals of three seconds. For example, the indicator flashes twice, followed by a three second pause, two more flashes and this pattern repeats. In this case, the count for the number of flashes is two.
- 2 Unplug the unit. Inform your authorized Sony dealer of the number of flashes.

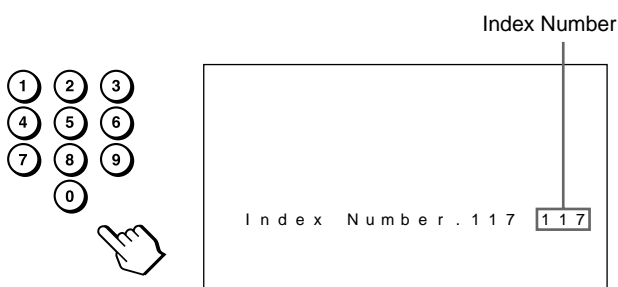
Operating a Specific Display With the Remote Commander

Using the supplied Remote Commander, you can operate a specific display without affecting other displays that are installed at the same time.

- 1 Press ID MODE ON on the Remote Commander. Monitor index numbers appear in white characters on all the displays. (Every display is allocated an individual preset index number from 1 to 255.) See "To change the index number" in the right-hand column on this page to change the index number.



- 2 Input the index number of the display you want to operate using the 0 – 9 buttons on the Remote Commander. The input number appears right next to the index number of each display.



- 3 Press ID MODE SET. The characters on the selected display change to green while the others change to red. Power ON/STANDBY apply to the other displays, as well.



You can operate only the display specified.

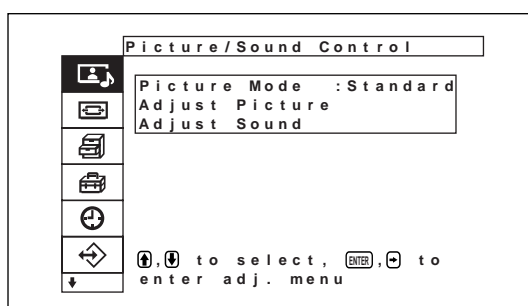
- 4 When all of the setting changes have been completed, press the ID MODE OFF button. The display returns to the normal mode.



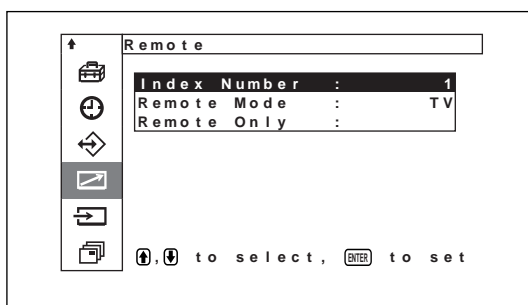
To change the index number

You can change the index number if necessary. When you change the number, use the buttons on the control button section of the display unit.

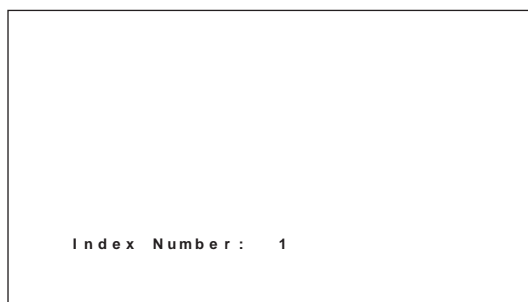
- 1 Press MENU. The main menu appears on the display panel.



- 2 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Remote" and press ENTER. The Remote menu appears on the display panel.



- 3 Press ↑/↓ to move the cursor (yellow) to "Index Number" and press ENTER. The following menu appears on the display panel.



- 4 Select the index number with ↑/↓ and press ENTER. The menu returns to the Remote menu.

Using Other Remote Commander Models

The following operations can be carried out using other Remote Commander models.

- Power on/off
- Input selection
- Menu operations
- Picture adjustments: Contrast, Phase and Chroma
- On-screen display on/off

The operations available and the buttons to be used for each operation are limited depending on each Remote Commander. See the table below.

Remote Commander model		RM-854	RM-921	RM-PJ1001
REMOTE MODE setting		TV	TV	PJ
Input selection	INPUT1	RGB	RGB1	A
	INPUT2	—	RGB2	B
	VIDEO	LINE1	LINE	VIDEO
Menu operation	MENU	MENU	MENU	MENU or ←
	ENTER	ENTER	ENTER	ENTER or →
	↑	+	↑	↑
	↓	-	↓	↓
Picture adjustment	Contrast	CONTRAST+/-	CONTRAST+/-	CONTR+/-
	Chroma	CHROMA+/-	CHROMA	COLOR+/-
	Phase	PHASE+/-	—	HUE+/-
On-screen information		DISPLAY	DISPLAY	STATUS ON

Specifications

Video processing

Preset signal	See page 28 (GB).
Sampling rate	13.5 MHz to 140 MHz
Panel system	AC-type Plasma Display Panel
Display resolution	1 365 dots (horizontal) × 768 lines (vertical)
Pixel pitch	0.81 (horizontal) × 0.81 (vertical) mm ($\frac{1}{32} \times \frac{1}{32}$ inches)
Picture size	1 106 (horizontal) × 622 (vertical) mm ($43 \frac{1}{2} \times 24 \frac{1}{2}$ inches)
Panel size	50-inch (diagonal 1 270 mm)

Inputs and Outputs

INPUT1/INPUT2

RGB/YUV D-sub 15-pin (female) (×2) (See "Pin assignment" on page 51 (GB).)

AUDIO Stereo minijack 500 mVrms, high impedance

SPEAKER 7W + 7W (6 ohms), direct unbalanced impedance: 6-16 ohms

CONTROL S IN/OUT

REMOTE (RS-232C) D-sub 9-pin type (×1)

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)¹⁾

COMPOSITE IN	BNC-type (×1) Composite video, 1 Vp-p ±2 dB sync negative, 75 ohms (automatic termination)
Y/C IN	Mini DIN 4-pin type (×1) Y (luminance): 1 Vp-p ±2 dB sync negative, 75 ohms terminated C (chrominance): Burst 0.286 Vp-p ±2 dB (NTSC), 75 ohms terminated Burst 0.3 Vp-p ±2 dB (PAL), 75 ohms terminated
AUDIO IN	Stereo minijack 500 m Vrms, high impedance

COMPOSITE OUT

BNC-type (×1) Loop-through
Safety regulations
UL1950, CSA No. 950 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

General

Power requirements

100 V to 240 V AC, 50/60 Hz, 5.4 A to 2.2 A

Power consumption

490 W

Operating conditions

Temperature: 0 °C to 35 °C (32 °F to 95 °F)

Humidity: 20% to 90% (no condensation)

Atmospheric pressure: 700 to 1 060 hPa

Storing/transporting conditions

Temperature: -10 °C to +40 °C (14 °F to 104 °F)

Humidity: 20% to 90% (no condensation)

Atmospheric pressure: 720 to 1 114 hPa

Dimensions

1 246 × 755 × 100 mm (49 $\frac{1}{8}$ × 29 $\frac{3}{4}$ × 4 inches) (w/h/d, excluding projections)

Mass

46.7 kg (102 lb 15 oz)

Supplied accessories

AC power cord (1)
AC plug holder (2)
Cable holder A (2)
Cable holder B (6)
Remote Commander RM-971 (1)
Size AA (R6) batteries (2)
Operating instructions (1)

Optional accessories

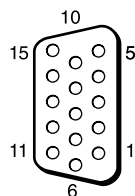
Display stand SU-P50C
Speaker SS-SP10A
Video input Adaptor BKM-B10 (for the PFM-50C1E only)

Design and specifications are subject to change without notice.

1) The PFM-50C1E is not equipped with VIDEO connectors. For the PFM-50C1E, composite video and Y/C input can be input to the display when the BKM-B10 video input adaptor (not supplied) is installed in the display.

Pin assignment

RGB/YUV connector (D-sub 15-pin)



Pin No.	Signal
1	Red video or R-Y or P _R
2	Green video or Y or Sync On Green
3	Blue video or B-Y or P _B
4	Ground
5	Ground
6	Red ground
7	Green ground
8	Blue ground
9	Not used
10	Ground
11	Ground
12	SDA
13	H sync or composite sync
14	V sync
15	SCL

AVERTISSEMENT

Pour prévenir tout risque d'incendie ou d'électrcution, garder cet appareil à l'abri de la pluie et de l'humidité.

De dangereuses hautes tensions circulent à l'intérieur de cet appareil. N'ouvrez pas le châssis.


Confiez-en l'entretien exclusivement à un personnel qualifié.

Pour les utilisateurs au Canada

Cet appareil est numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

La prise doit être près de l'appareil et facile d'accès.

Table des matières

Précautions	5 (FR)
Caractéristiques	6 (FR)
Emplacement et fonction des pièces et commandes	7 (FR)
Avant / Arrière / Côté droit	7 (FR)
Section du Commutateur / Indicateur  (veille)	8 (FR)
Section de la touche de contrôle (Haut)	8 (FR)
Panneau des connecteurs	9 (FR)
Télécommande RM-971	11 (FR)
Attention	13 (FR)
Raccordements	14 (FR)
Raccordement des haut-parleurs	14 (FR)
Raccordement de la prise d'alimentation secteur ...	14 (FR)
Exemple de raccordement	14 (FR)
Fixation du noyau de ferrite	16 (FR)
Utilisation des menus d'affichage	18 (FR)
Exploitation des menus	18 (FR)
Guide de menu	18 (FR)
Visualisation de l'image	26 (FR)
Commutation du signal d'entrée	26 (FR)
Données du signal d'entrée, du mode Picture et du statut d'affichage	27 (FR)
Commutation du mode d'affichage	29 (FR)
Fonction d'économie d'énergie	29 (FR)
Sélection du mode de qualité de l'image	30 (FR)
Réglage de l'image	31 (FR)
Réglage du contraste, de la luminosité, de l'intensité des couleurs, de la phase, etc.	31 (FR)
Restauration des réglages par défaut des options du menu Réglage de l'image	34 (FR)
Agrandissement de l'image	34 (FR)
Réglage du grand format automatique	35 (FR)
Réglage du Mode gr. format	36 (FR)
Redimensionnement et positionnement de l'image	37 (FR)
Réglage de la taille de l'image	37 (FR)
Réglage de la position de l'image	37 (FR)
Réglage des pixels	38 (FR)

Restauration des paramètres du menu Commande écran à leurs valeurs initiales	38 (FR)
Réglage de la qualité du son	39 (FR)
Réglage des aiguës, des graves et de la balance	39 (FR)
Restauration des paramètres du menu Réglage du son à leurs valeurs initiales	39 (FR)
Utilisation des fonctions de la mémoire	40 (FR)
Mémorisation des réglages actuels	40 (FR)
Appel d'un paramètre sélectionné	41 (FR)
Sélection de la langue d'affichage à l'écran	41 (FR)
Fonction d'économiseur d'écran	42 (FR)
Inverse les tons de couleur de l'image	42 (FR)
Changement automatique de la position de l'image	43 (FR)
Réglage de la matrice de couleurs	44 (FR)
Contrôle automatique de la fonction de mise sous/hors tension	45 (FR)
Fonction de sommeil	45 (FR)
Réglage de l'heure	45 (FR)
Affichage de l'heure	46 (FR)
Activation/désactivation de la fonction de timer	46 (FR)
Fonction d'économie d'énergie (MODE ECO)	47 (FR)
Fonction d'auto-diagnostic	48 (FR)
Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande	48 (FR)
Utilisation d'autres modèles de télécommande ...	50 (FR)
Spécifications	51 (FR)

Précautions

Sécurité

- Une plaque signalétique indiquant la tension de service, la consommation électrique, etc. est située à l'arrière de l'appareil.
- Si des solides ou des liquides pénètrent à l'intérieur du châssis, débranchez le moniteur et faites-le vérifier par un technicien qualifié avant de le remettre en service.
- Débranchez le cordon de la prise si vous prévoyez de ne plus utiliser le moniteur pendant quelques jours.
- Pour débrancher le cordon, tirez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.
- Lorsque l'appareil est installé sur le sol, utilisez le support en option.

Installation

- Veillez à assurer une circulation d'air adéquate pour éviter une surchauffe interne de l'appareil. Ne placez pas l'appareil sur des surfaces textiles (tapis, couvertures, etc.) ni à proximité de rideaux ou de draperies susceptibles d'obstruer les orifices de ventilation.
- N'installez pas l'appareil à proximité de sources de chaleur comme un radiateur ou une bouche d'air chaud, ni dans un endroit exposé au rayonnement solaire direct, à des poussières excessives, à des vibrations ou à des chocs mécaniques.
- Lorsque vous installez plusieurs équipements avec cet appareil, des problèmes tels qu'un dysfonctionnement de la télécommande, une image parasitée ou un son parasité peuvent se produire en fonction de la position de l'appareil et des autres équipements.

Ecran d'affichage à Plasma (PDP)

- Des points lumineux ou sombres (rouges, bleus ou verts) peuvent apparaître à l'écran. Ce phénomène n'est pas le signe d'un problème de fonctionnement. Bien que cet écran à plasma soit issu d'une technologie de haute précision, il est possible qu'il génère des pixels sombres ou lumineux. Des points sombres à la périphérie de l'écran ou des bandes ou des couleurs irrégulières n'indiquent pas un dysfonctionnement.
- N'affichez pas une même image fixe à l'écran pendant une période prolongée. Sinon, une image rémanente ou une image fantôme peut apparaître sur une partie du panneau. Utilisez la fonction d'économiseur d'écran pour égaliser l'affichage sur écran.

- En raison de sa conception, lorsqu'il est utilisé dans des endroits avec une faible pression d'air, comme à haute altitude, cet écran à plasma peut émettre un bourdonnement.
- Si vous affichez la même image sur l'écran pendant une durée prolongée, une partie de cette image peut s'imprimer sur l'écran et laisser une image fantôme. Afin d'éviter ce phénomène, utilisez la fonction d'économiseur d'écran pour rétablir l'équilibre sur l'ensemble de l'écran. Si une image fantôme est occasionnée, utilisez la fonction d'économiseur d'écran ou un logiciel de vidéo ou de traitement des images pour obtenir un mouvement permanent sur l'écran. Si une image fantôme légère (image imprimée) est occasionnée, elle peut s'atténuer mais ce phénomène ne disparaît jamais complètement après s'être produit.
- Pour protéger l'écran à plasma, cet appareil n'accepte pas les commandes émises par la télécommande ou les touches de fonction sur l'appareil pendant un certain laps de temps après la mise en position ON/STANDBY de l'appareil. A la suite de l'une de ces opérations, attendez environ 8 secondes avant de transmettre une commande.

Nettoyage

Pour garder l'aspect neuf de l'appareil, nettoyez-le régulièrement à l'aide d'une solution détergente douce. N'utilisez jamais de solvants tels que de l'alcool ou de l'essence ni de nettoyeurs abrasifs sous peine de ternir le revêtement de l'appareil. Par mesure de sécurité, débranchez l'appareil avant de le nettoyer.

Remarques sur la manipulation et l'entretien de l'écran

La surface spéciale de cet écran exige des précautions spéciales lors de la manipulation et de l'entretien du téléviseur. Pour le nettoyer, utilisez un chiffon de nettoyage doux et évitez de toucher directement la surface de l'écran.

Remballage

Conservez les cartons ainsi que les matériaux d'emballage. Vous pourrez en avoir de nouveau besoin en cas de déplacement et de transport de l'appareil. Lors du transport de l'appareil, remballer-le comme illustré sur le carton.

Pour toute question au sujet de cet appareil, consultez un distributeur Sony agréé.

Caractéristiques

Le PFM-50C1/50C1E est des écrans 16:9 à panneau plat de 50 pouces utilisant un écran PDP (écran d'affichage à plasma) et acceptant différents types de signaux grâce au convertisseur à balayage intégré.

Qualité d'image améliorée

La série PFM-50C1/50C1E utilise une définition de 1 365 points × 768 lignes, un écran d'affichage plasma de haute précision. Ceci permet d'obtenir une reproduction d'images de qualité supérieure à partir de nombreuses sources d'images.

Circuit numérique à haute qualité d'image, propriété de Sony

Le traitement numérique cohérent de tous les signaux d'images offre une reproduction fidèle des images de grande qualité.

Enceintes avec amplification audio

Cet écran est équipé d'amplificateurs numériques dotés d'un son de qualité supérieure, qui vous offrent une bonne présentation lorsqu'ils sont associés avec des enceintes en option.

Autres caractéristiques

- Un connecteur optionnel est prévu pour une extension future.
- Fonction de mode lecteur cinéma
- Prises de sortie de haut-parleurs gauche et droit (L/R)
- Connecteurs Control S (IN/OUT)
- Deux entrées RVB/composante et une entrée vidéo.
- Affiche le signal HDTV avec le signal de synchro à trois niveaux.
- Filtre en peigne tridimensionnel pour la séparation NTSC Y/C.
- Filtre en peigne à corrélation de ligne pour la séparation Y/C PAL.
- Détection automatique du signal d'entrée avec indication sur écran.
- Compatible avec Windows¹⁾95/98 PnP (Plug and Play).
- Fonction d'image dynamique
- Menus d'affichage sur écran pour différents réglages et sélections
- Affichage sur écran en six langues pour un accès plus convivial. (Langues: anglais, allemand, français, italien, espagnol et japonais)
- Réglage fin de la taille et de la position de l'image
- Fonction de mémoire pour l'enregistrement d'un maximum de vingt réglages d'image.
- Commande ID
- Fonction d'auto-diagnostic
- Connecteur REMOTE (RS-232C) (D-sub à 9 broches)
- Accepte les signaux des télécommandes infrarouges Sony utilisant le code SIRCS.
- Réglage vertical
- Décodeur de sous-titres
- Economiseur d'écran pour réduire les phénomènes d'image rémanente ou d'image fantôme.

Avertissement sur le raccordement électrique

Utilisez un cordon d'alimentation approprié à votre tension secteur locale.

PFM-50C1/50C1E

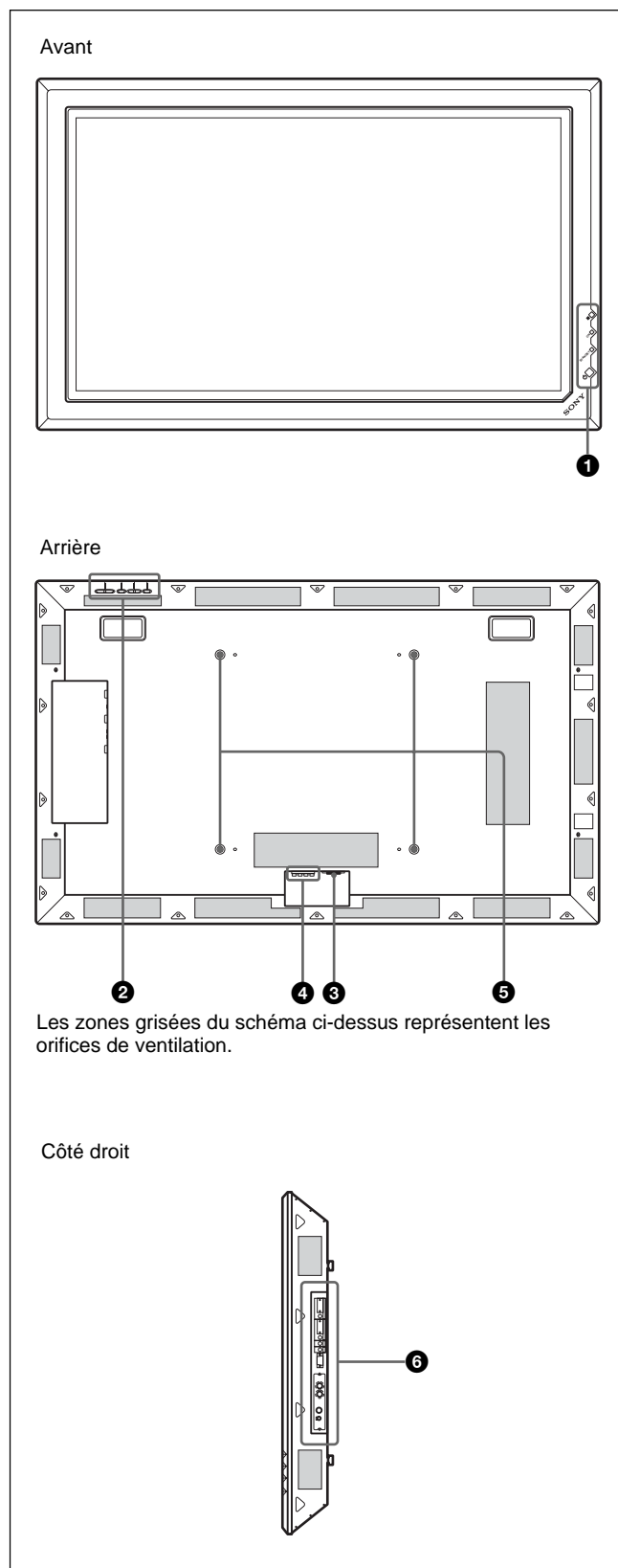
	Etats-Unis, Canada	Europe continentale	Royaume-Uni, Irlande, Australie, Nouvelle-Zélande	Japon
Type de fiche	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Extrémité femelle	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Type de cordon	SVT	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Tension et courant minimum	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Homologation de sécurité	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

a) Remarque: Utilisez une fiche appropriée conforme à la réglementation locale.



1) Windows est une marque commerciale déposée de Microsoft Corporation (aux Etats-Unis et dans d'autres pays).

Emplacement et fonction des pièces et commandes

Avant / Arrière / Côté droit



❶ Section du commutateur / indicateur (veille)

Pour obtenir des détails sur la section du commutateur / indicateur  (veille), reportez-vous à la section "Section du Commutateur / Indicateur  (veille)", page 8 (FR).

❷ Section de la touche de contrôle

Pour plus de détails sur la section de la touche de contrôle, reportez-vous à la section "Section de la touche de contrôle (Haut)", page 8 (FR).

❸ Prise \sim AC IN

Raccordez le cordon d'alimentation secteur fourni à cette prise et à une prise murale. Dès que vous branchez le cordon d'alimentation secteur, l'indicateur STANDBY s'allume et le moniteur passe en mode de veille.

Pour plus d'informations sur le cordon d'alimentation, reportez-vous à la section "Raccordement de la prise d'alimentation secteur" page 14 (FR).

❹ Prise SPEAKER (sortie audio)

Permet la sortie du signal audio correspondant au signal vidéo à l'écran lorsque des enceintes vendues séparément sont raccordées à cette prise.

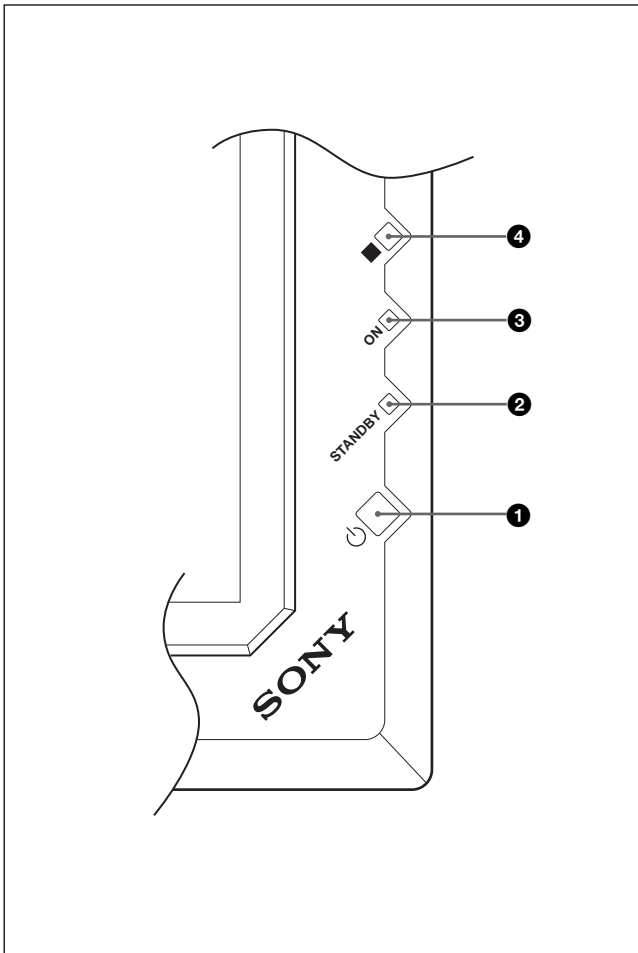
❺ Crochets d'installation du support

Utilisez ces crochets pour installer le support (non fourni).

❻ Panneau des connecteurs

Pour plus de détails sur le panneau des connecteurs, reportez-vous à la section "Panneau des connecteurs", page 9 (FR).

Section du Commutateur / Indicateur (veille)



❶ Commutateur (veille)

Appuyez sur ce commutateur pour mettre l'écran sous tension. Appuyez de nouveau pour revenir en mode de veille.

Remarque

Pour protéger le panneau, un certain temps est nécessaire pour mettre l'appareil en position ON/STANDBY. Attendez environ 8 secondes avant d'appuyer une nouvelle fois sur ce commutateur.

❷ Indicateur STANDBY

S'allume en rouge en mode de veille.

Lorsque l'indicateur STANDBY clignote, reportez-vous à la section "Fonction d'auto-diagnostic", page 48 (FR).

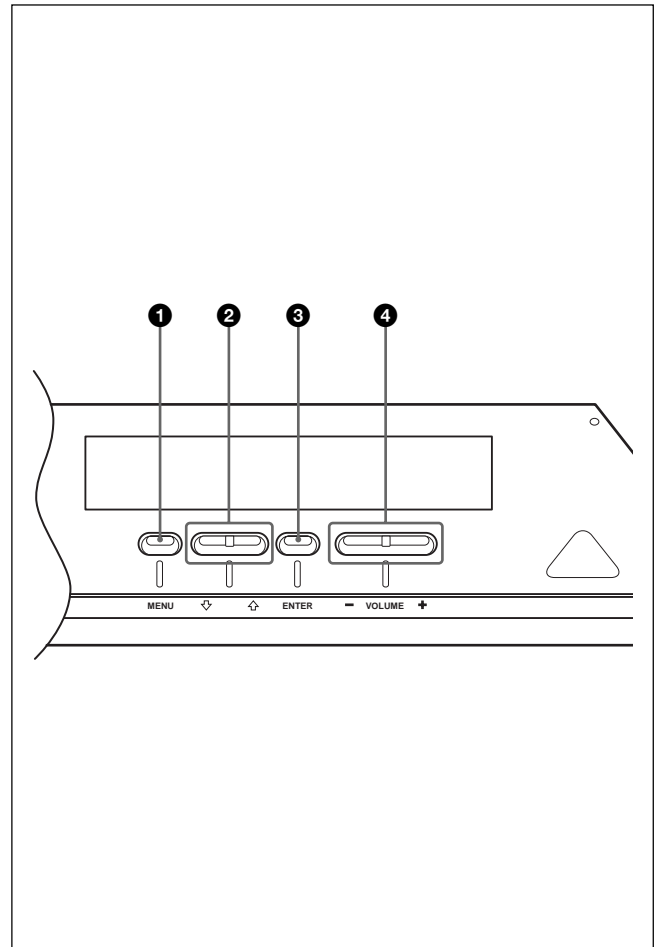
❸ Indicateur ON

S'allume en vert lorsque l'écran est sous tension.

❹ Capteur de télécommande

Capte le signal de la télécommande.

Section de la touche de contrôle (Haut)



❶ Touche MENU

Appuyez pour faire apparaître le menu. Appuyez de nouveau sur cette touche pour faire disparaître le menu.

Lorsque vous utilisez la touche MENU pour revenir au niveau de menu précédent, reportez-vous à la section "Menu Réglage initial" page 23 (FR).

❷ Touches /

Appuyez sur ces touches pour déplacer le curseur (jaune) sur une option ou pour régler une valeur d'un menu.

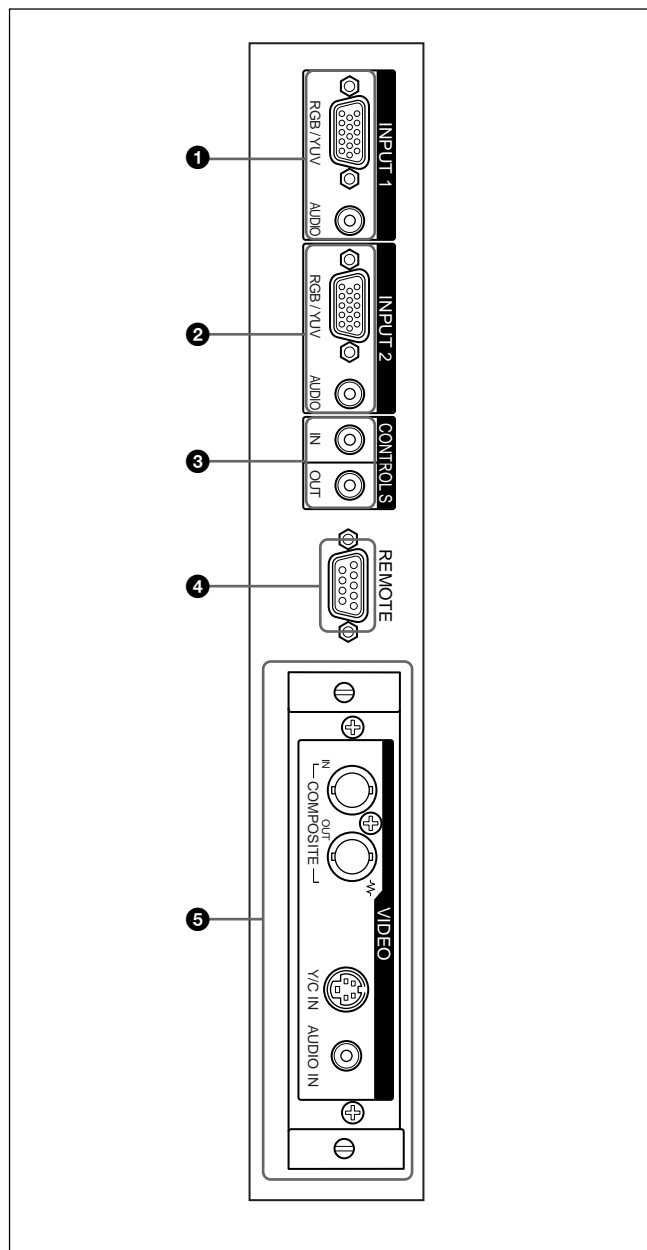
❸ Touche ENTER

Appuyez sur cette touche pour sélectionner l'option souhaitée dans un menu.

❹ Touche VOLUME +/-

Appuyez sur cette touche pour régler le volume du son émis par les haut-parleurs.

Panneau des connecteurs



1 Connecteurs INPUT1

RGB/YUV (D-sub à 15 broches): Se raccorde à la sortie du signal RVB ou du signal composant (YUV) d'un ordinateur ou d'un équipement vidéo.

Cet écran accepte également un signal analogique composante HD (Y/Pb/Pr). Voir "Attribution des broches", page 52 (FR) lorsque vous entrez un signal de composante.

AUDIO (miniprise stéréo): Entre un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un ordinateur ou d'un équipement vidéo.

2 Connecteurs INPUT2

RGB/YUV (D-sub à 15 broches): Se raccorde à la sortie du signal RVB ou composante (YUV) d'un ordinateur ou d'un équipement vidéo.

Cet écran accepte également un signal analogique composante HD (Y/Pb/Pr). Voir "Attribution des broches", page 52 (FR) lorsque vous entrez un signal de composante.

AUDIO (miniprise stéréo): Entre un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un ordinateur ou d'un équipement vidéo.

3 CONTROL S IN/OUT (entrée/sortie de signal de commande S) (mini-prise)

En raccordant ce connecteur au connecteur CONTROL S d'un appareil vidéo ou d'un autre écran, vous pouvez commander plusieurs appareils à partir d'une seule télécommande. Raccordez le connecteur CONTROL S OUT de cet écran au connecteur CONTROL S IN de l'autre appareil, puis raccordez le connecteur CONTROL S IN de cet écran au connecteur CONTROL S OUT de l'autre appareil.

4 Connecteurs REMOTE (RS-232C) (D-sub à 9 broches)

Ce connecteur vous permet de commander l'écran à distance à l'aide du protocole RS-232C. Pour plus de détails, contactez votre revendeur Sony agréé.

5 Connecteur VIDEO

Le PFM-50C1E n'est pas doté de connecteurs VIDEO. Pour le modèle PFM-50C1E, la vidéo composite et l'entrée Y/C peuvent être transmises sur l'écran lorsque l'adaptateur d'entrée vidéo BKM-B10 (non fourni) est installé sur l'écran.

COMPOSITE IN (type BNC): se raccorde à la sortie du signal vidéo composite d'un équipement vidéo.

COMPOSITE OUT (type BNC): se raccorde à l'entrée du signal vidéo composite d'un équipement vidéo.

Y/C IN (mini DIN à 4 broches): se raccorde à la sortie du signal Y/C d'un équipement vidéo.

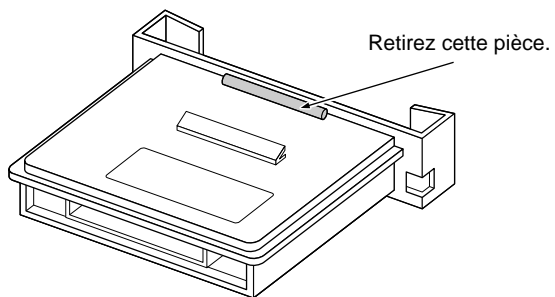
AUDIO IN (miniprise stéréo): Entre un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un équipement vidéo.

Fixez les noyaux de ferrite des modèles indiqués ci-dessous, ou d'autres modèles compatibles, sur les câbles raccordés aux connecteurs de signaux INPUT1 et INPUT2 RGB/YUV.

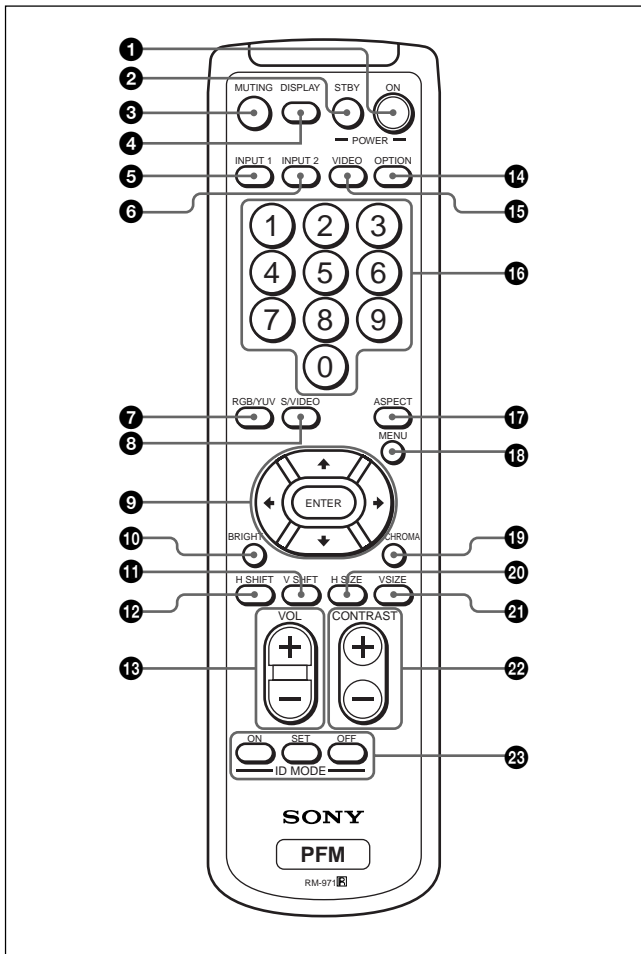
SMF-400 (D-Sub à D-Sub 15 broches)

MTSB-15HKBB-18 (D-Sub 15 broches à BNC)

Si vous utilisez le PFM-50C1E avec le BKM-B10 (non fourni) et que vous remarquez des bandes latérales sur l'écran, retirez la pièce indiquée dans l'illustration.



Télécommande RM-971



❶ Commutateur POWER ON

Appuyez sur ce commutateur pour mettre l'écran sous tension.

❷ Touche STANDBY

Appuyez sur cette touche pour mettre l'écran en mode de veille.

❸ Touche MUTE

Permet de couper le son.

❹ Touche DISPLAY

Affiche les informations du signal d'entrée et le Mode Picture dans la partie supérieure du panneau d'affichage. Appuyez une deuxième fois sur la touche pour faire disparaître ces informations. Appuyez de nouveau pour les faire disparaître. Si ces informations affichées ne sont pas modifiées pendant quelques instants, elles disparaissent automatiquement.

❺ Touche INPUT1

Sélectionne l'entrée du signal depuis les connecteurs INPUT1.

❻ Touche INPUT2

Sélectionne l'entrée du signal depuis les connecteurs INPUT2.

❼ Touche RGB/YUV

Appuyez sur cette touche pour sélectionner le format correspondant à celui du signal d'entrée raccordé au connecteur INPUT1 ou INPUT2. Chaque activation de cette touche permet de basculer entre RVB et YUV.

❽ Touche S/VIDEO

Sélectionne l'entrée du signal à partir du connecteur COMPOSITE IN ou du connecteur Y/C IN parmi les connecteurs VIDEO.

Chaque activation de cette touche permet de basculer entre COMPOSITE IN et Y/C IN.

❾ Touches ↑/↓/←/→/ENTER

Les touches ↑/↓/←/→ permettent, entre autres, de déplacer le curseur (jaune) du menu et de régler des paramètres. Appuyez sur la touche ENTER pour valider le menu ou le réglage sélectionné.

❿ Touche BRIGHT +/-

Permet de régler la luminosité lorsque le mode image est réglé sur "Util. 1 à 3".

Appuyez sur cette touche, puis réglez la luminosité avec la touche ❾ ↑/↓ ou ←/→.

⓫ Touche V SHIFT

Ajuste le centrage vertical. Appuyez sur cette touche puis ajustez le centrage vertical à l'aide de la touche ❾ ↑/↓.

⓬ Touche H SHIFT

Ajuste le centrage horizontal. Appuyez sur cette touche puis ajustez le centrage horizontal à l'aide de la touche ❾ ↑/↓ ou ←/→.

⓭ Touche VOLUME +/-

Permet de régler le volume.

⓮ Touche OPTION

Sélectionne l'entrée du signal à partir de l'adaptateur en option (sauf pour le BKM-B10) lorsque vous l'installez sur l'appareil.

15 Touche VIDEO

Sélectionne l'entrée du signal à partir du connecteur COMPOSITE IN ou du connecteur Y/C IN parmi les connecteurs VIDEO.

16 Touches numériques

Appuyez sur ces touches pour entrer le numéro d'index.

17 Touche ASPECT

Permet de définir le format de l'image (Mode gr. format).

18 Touche MENU

Appuyez pour faire apparaître le menu. Appuyez de nouveau sur cette touche pour faire disparaître le menu.

Lorsque vous utilisez la touche MENU pour revenir au niveau de menu précédent, reportez-vous à la section "Menu Réglage initial" page 23 (FR).

19 Touche CHROMA

Ajuste le chroma lorsque le Mode Picture est réglé sur "Util.1-3". Appuyez sur cette touche et ajustez le centrage horizontal à l'aide des touches ↑/↓ ou ←/→, touche 9.

20 Touche H SIZE

Règle la taille horizontale de l'image. Appuyez sur cette touche puis ajustez la taille horizontale de l'image à l'aide de la touche ↑/↓ 9.

21 Touche V SIZE

Ajuste la taille verticale de l'image. Appuyez sur cette touche puis ajustez la taille verticale de l'image à l'aide de la touche ↑/↓ 9.

22 Touche CONTRAST +/-

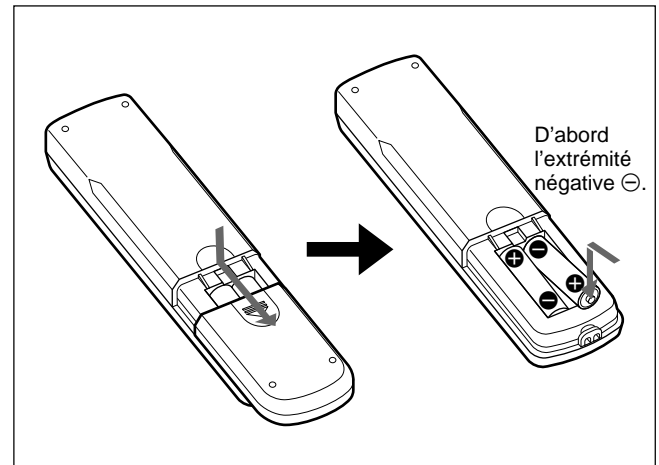
Règle le contraste. Ajuste le contraste lorsque le Mode Picture est réglé sur "Util.1-3".

23 Touches ID MODE (ON/SET/OFF)

Appuyez sur la touche ON pour faire apparaître un numéro d'index à l'écran. Saisissez ensuite le numéro d'index de l'écran que vous souhaitez utiliser à l'aide du pavé numérique 16, puis appuyez sur la touche SET. Une fois l'opération terminée, appuyez sur la touche OFF pour passer du mode ID au mode normal.
Pour plus d'informations sur le numéro d'index, reportez-vous au paragraphe "Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande" page 48 (FR).

Installation des piles

Introduisez deux piles AA (R6) en respectant la polarité.



- En mode d'utilisation normale, les piles devraient durer environ six mois. Si la télécommande ne fonctionne pas correctement, il est possible que les piles soient vides. Remplacez-les par des piles neuves.
- Pour éviter des dommages découlant de la fuite des piles, retirez-les de la télécommande si vous prévoyez de ne pas l'utiliser pendant une période prolongée.

Lorsque la télécommande ne fonctionne pas

Vérifiez que le voyant STANDBY s'allume et que Mode télécomm. du menu Télécommande est activé. La télécommande actionne l'écran uniquement lorsque les deux conditions énoncées ci-après sont remplies.

- L'écran est sous tension ou est en mode de veille.
- Le mode Mode télécomm. du menu Télécommande est réglé sur TV ou PJ.

Pour plus d'informations sur le Mode télécomm., reportez-vous au paragraphe "Menu Télécommande" page 24 (FR).

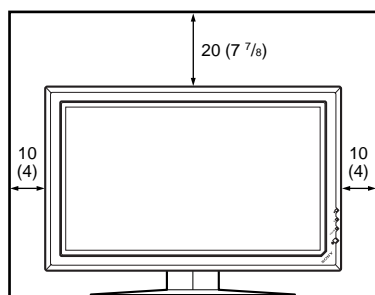
Attention

Laissez amplement d'espace autour de l'écran d'affichage

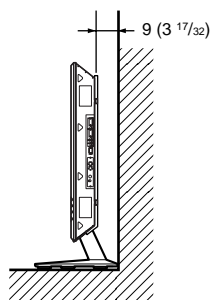
- Lorsque vous utilisez l'écran, assurez-vous que l'espace présent autour de l'affichage est plus important que celui indiqué dans l'illustration ci-dessous. Ceci permettra d'assurer une ventilation correcte.
- La température ambiante doit être comprise entre 0 °C et +35 °C (32 °F à 95 °F).
- Utilisez le support d'écran SU-P50C (non fourni) comme support.
- Lorsque l'appareil est sous tension, certaines pièces peuvent chauffer et provoquer des brûlures. Lorsque l'écran est sous tension ou juste au moment où il passe en mode de veille, ne touchez pas la partie supérieure ou l'arrière de l'appareil.

Lorsque vous utilisez le support (non fourni)

Avant



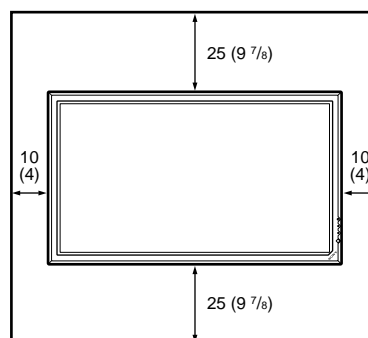
Côté



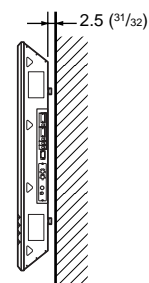
Unités: cm (pouces)

Utilisation de l'écran à l'horizontale

Avant




Côté

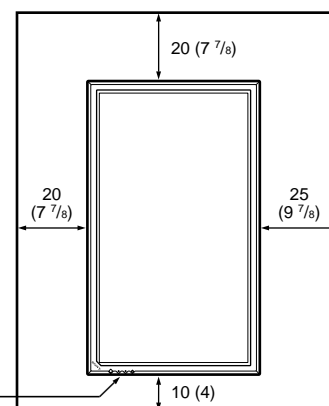


Unités: cm (pouces)

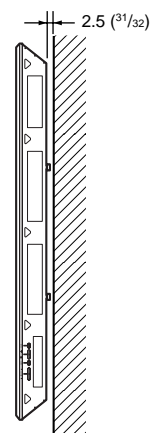
Utilisation de l'écran à la verticale

Avant

Assurez-vous que le commutateur  (veille) est en position basse.



Côté



Unités: cm (pouces)

Remarques sur le phénomène d'image rémanente

Si des images des types **1** à **5** (ci-dessous) restent affichées pendant une longue période, une image rémanente peut apparaître dans certaines zones de l'écran à cause des caractéristiques propres à l'écran à plasma. Pour réduire l'effet d'image rémanente, suivez les étapes **A** à **D**.

Situations susceptibles d'entraîner la formation de traînées de lumière ou d'une image rémanente

- 1** Bandes noires apparaissant dans le haut et le bas de l'écran lors du visionnage d'une source vidéo au format grand écran (image au format Letter box)
- 2** Bandes noires apparaissant sur la gauche et la droite de l'écran lors du visionnage d'une source vidéo au format d'écran 4:3 (diffusions d'émissions de télévision normales)
- 3** Sources de jeux vidéo
- 4** Affichages des menus à l'écran des DVD
- 5** Menus à l'écran, numéros des canaux, etc., des appareils raccordés tels qu'un récepteur satellite DSS, un décodeur de câblodistribution, des platines vidéo, etc.

Précautions permettant d'éviter ou de réduire les phénomènes de traînées de lumière et d'image rémanente

- A** Utiliser la fonction automatique d'économiseur d'écran actif.
- B** Éviter d'afficher les numéros de canaux, les menus à l'écran, etc., des appareils raccordés tels qu'un récepteur satellite DSS, un décodeur de câblodistribution, des platines vidéo, etc. Pour désactiver l'affichage des numéros de canaux ou des menus à l'écran, reportez-vous au manuel de l'utilisateur de l'appareil raccordé.
- C** Réduire la luminosité de l'image et afficher la source vidéo en mode "Z. large" (zoom large) ou "Plein".
- D** Il est possible de réduire une image rémanente peu marquée avec l'option "Invers. image" (Inversion de l'image) du menu "Economiseur d'écran", mais il n'est pas possible de l'éliminer entièrement une fois qu'elle s'est formée.

Remarques sur l'option "Invers. image" (Inversion de l'image) du menu "Economiseur d'écran"

Si l'image s'affiche comme un négatif de film, "Invers. image" (Inversion de l'image) dans "Economiseur d'écran" est peut-être réglé sur "Auto" ou "Marche". Pour revenir à une image normale, sélectionnez "Arrêt" ou modifiez le délai spécifié dans "Auto".

L'option "Invers. image" (Inversion de l'image) permet d'invertir les teintes de l'image (p. ex. le blanc devient noir et le noir devient blanc) et de corriger le phénomène d'image rémanente de l'image affichée. En mode d'inversion de l'image, celle-ci ressemble à un négatif de film. Ceci n'a rien d'anormal.

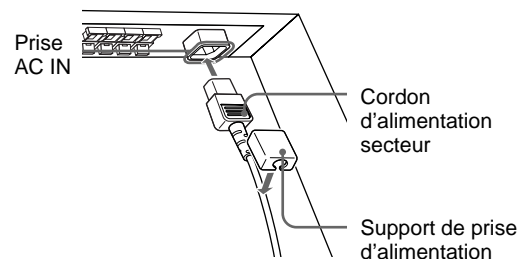
Raccordements

Raccordement des haut-parleurs

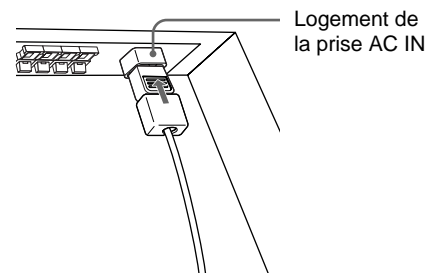
Vous pouvez bénéficier d'une ambiance plus réelle en raccordant les enceintes (SS-SP10A, non fournies). Assurez-vous de raccorder les enceintes correctement. Pour plus d'informations sur le raccordement des enceintes, reportez-vous à leur mode d'emploi.

Raccordement de la prise d'alimentation secteur

- 1** Branchez le cordon d'alimentation secteur dans la prise AC IN. Fixez ensuite le support de prise AC (fourni) au cordon d'alimentation secteur.



- 2** Faites glisser le support de prise d'alimentation secteur par-dessus le cordon jusqu'à ce qu'il s'enclenche dans le logement de la prise d'alimentation secteur.



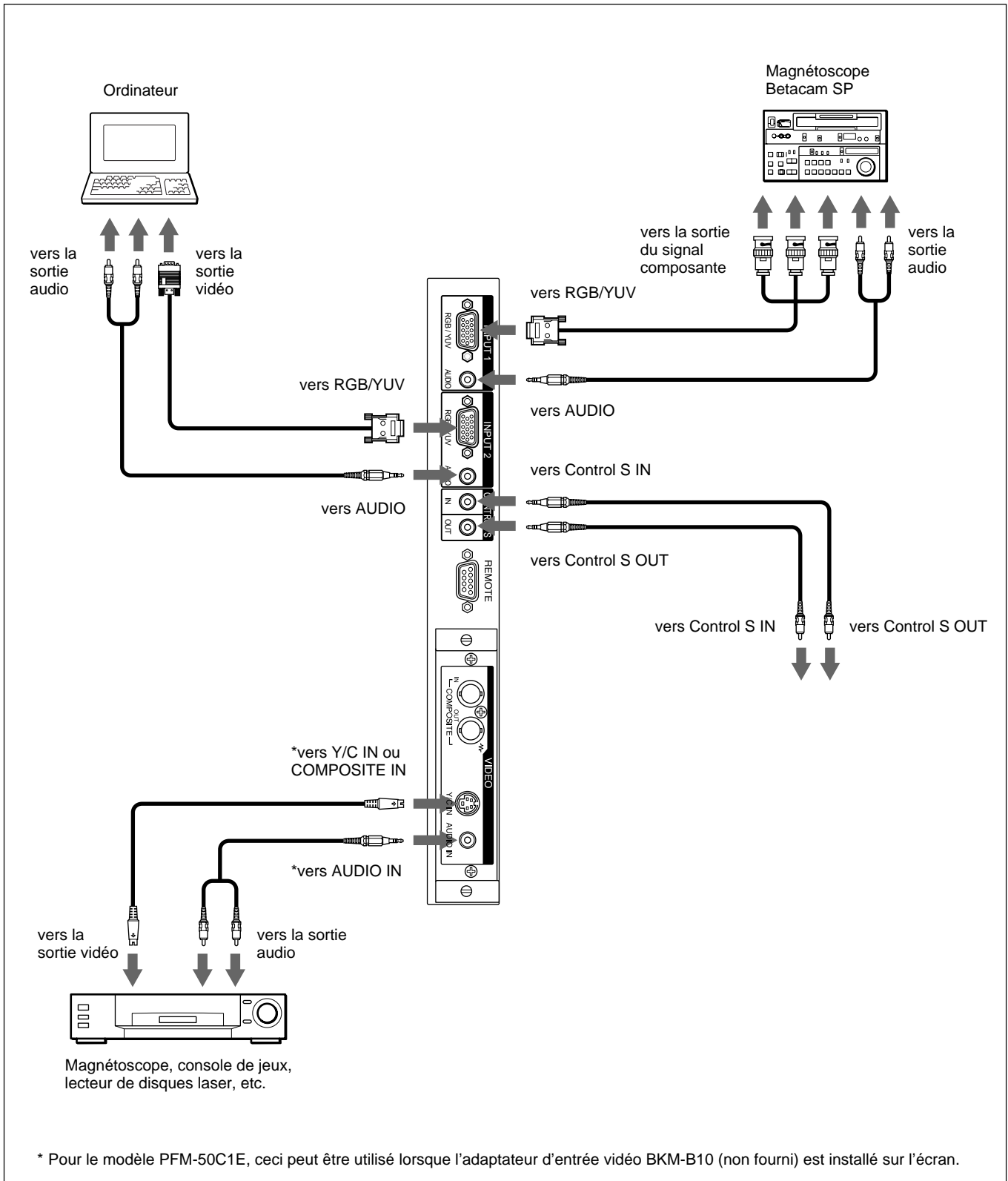
Pour ôter le cordon d'alimentation secteur

Après avoir pincé le support de la prise de courant alternatif pour la libérer, saisissez la prise et retirez le cordon d'alimentation en C.A.

Exemple de raccordement

Avant de commencer

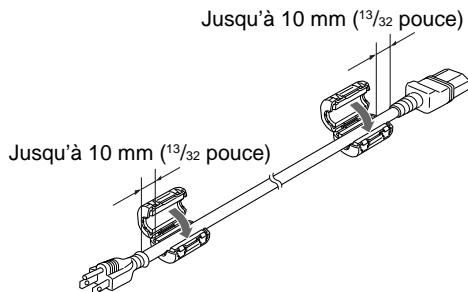
- Assurez-vous dans un premier temps que tous les appareils sont hors tension.
- Utilisez des câbles de connexion adaptés aux appareils à raccorder.
- Les connecteurs de câbles doivent être complètement insérés dans les prises. Une connexion lâche risque de provoquer du souffle ou d'autres parasites.
- Pour débrancher le câble, saisissez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le câble lui-même.
- Référez-vous au mode d'emploi de l'appareil à raccorder.
- Insérez bien le connecteur dans la prise AC IN.
- Utiliser l'un des deux supports de la prise secteur (fournis) qui maintiennent en place la prise secteur.



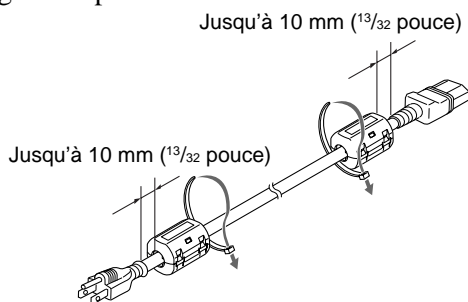
Fixation du noyau de ferrite

Fixation du cordon d'alimentation secteur

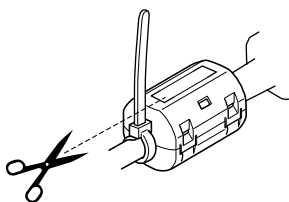
- 1 Fixez les noyaux de ferrite aux deux extrémités du cordon d'alimentation secteur et fermez-les jusqu'à ce qu'ils s'encliquettent.



- 2 Enroulez le système de fermeture autour du cordon de sorte que les noyaux de ferrite ne glissent pas.



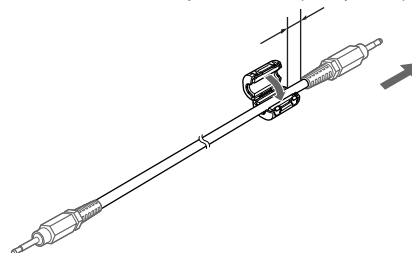
- 3 Serrez le système de fermeture et coupez le câble superflu.



Fixation des câbles

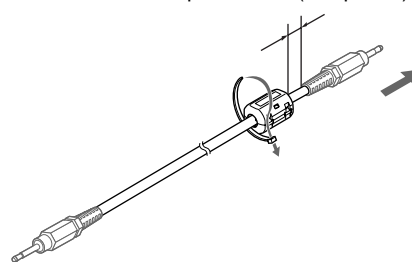
- 1 Fixez le noyau de ferrite à l'extrémité du câble la plus proche du présent appareil. Fermez le noyau en appuyant jusqu'au déclic indiquant sa fermeture.

Jusqu'à 10 mm ($13/32$ pouce)

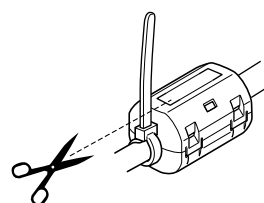


- 2 Enroulez le système de fermeture autour du câble de manière à ce que le noyau de ferrite ne glisse pas.

Jusqu'à 10 mm ($13/32$ pouce)



- 3 Serrez le système de fermeture et coupez le câble superflu.

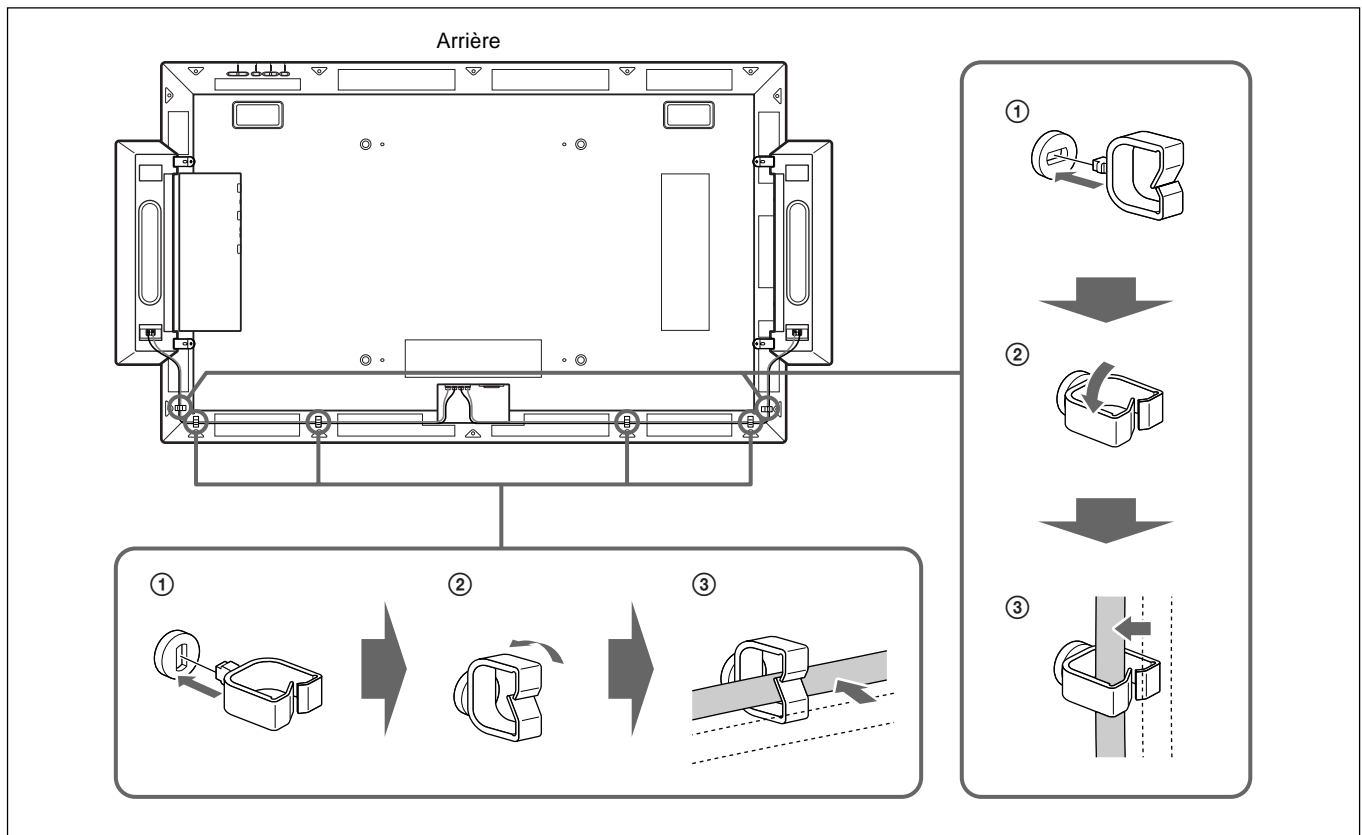


Remarques

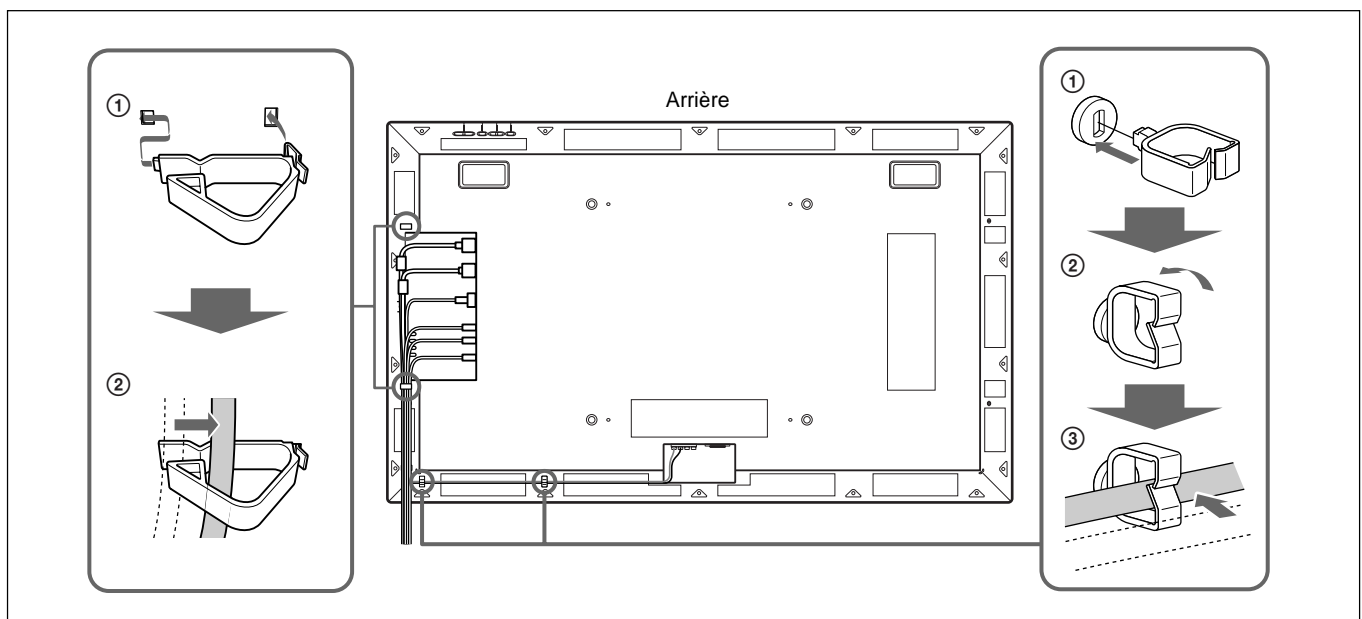
- Lors du raccordement de cet appareil à d'autres appareils via les connecteurs RGB/YUV, utilisez le câble spécifié.
SMF-400 (D-Sub 15P - 5 BNC)
SMF-410 (D-Sub 15P - D-Sub 15P)
Si vous raccordez un câble à l'une des bornes indiquées ci-dessous, fixez le tore de ferrite fourni avant toute utilisation du câble.
AUDIO (INPUT1)
AUDIO (INPUT2)
- Faites attention que cet appareil n'est pas conforme aux limites EMC sauf si le tore de ferrite est installé sur le câble d'interconnexion.

Utilisation des attaches de câbles

Les porte-câbles B (×6) fournis sont très efficaces pour attacher les câbles des haut-parleurs. Fixez les porte-câbles comme indiqué dans l'illustration ci-dessous.



Si vous n'utilisez pas de haut-parleurs, vous pouvez enrouler les câbles non utilisés sur les porte-câbles A (×2) et B (×2) fournis. Les porte-câbles se fixent comme indiqué dans l'illustration.

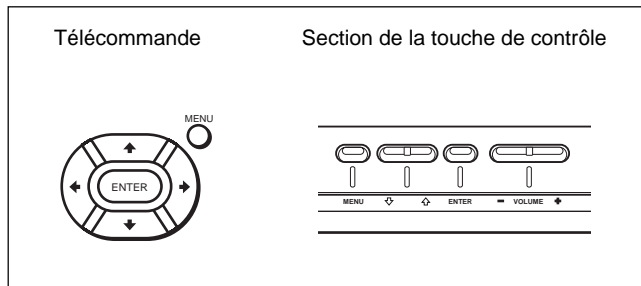


Utilisation des menus d'affichage

Exploitation des menus

Touches d'exploitation des menus

Utilisez les touches de l'écran ou de la télécommande pour les opérations de menu.



L'utilisation à l'aide de la télécommande est expliquée dans ce mode d'emploi. Les touches \uparrow/\downarrow et ENTER de la télécommande possèdent les mêmes fonctions que les touches \uparrow/\downarrow et ENTER de l'écran.

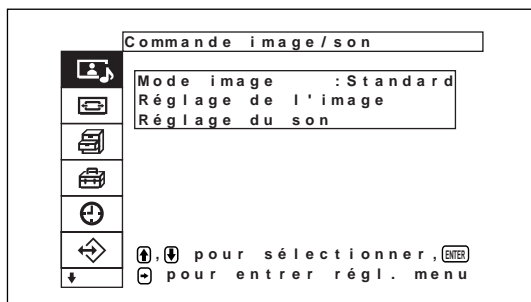
Remarque

Le fonctionnement peut être différent dans certains cas, puisqu'il n'y a pas de touche \leftarrow/\rightarrow sur l'écran.

Configuration des menus

Pour sélectionner la langue d'affichage des menus, reportez-vous à la section page 41 (FR).

- Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune), puis appuyez sur ENTER pour sélectionner un menu. Le curseur passe au menu suivant.

- Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) et appuyez sur ENTER pour sélectionner une option.

Le menu de l'option sélectionnée apparaît à l'écran.

Sélectionnez les réglages de la même manière lorsque le menu suivant est sélectionné.

- Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour régler ou sélectionner le réglage et appuyez sur ENTER pour confirmer. Ce réglage est alors enregistré et l'affichage revient au menu précédent.

Pour revenir à l'écran normal, appuyez sur la touche MENU.

Pour basculer entre les niveaux de menu, utilisez les touches \leftarrow/\rightarrow .

Si vous souhaitez utiliser la touche MENU pour basculer entre les niveaux de menu, reportez-vous à la section "Fonction MENU" page 24 (FR).

Guide de menu

Remarque

Les paramètres ne pouvant être réglés ni modifiés par un signal d'entrée s'affichent sur un arrière-plan gris foncé.

De plus, le message "Réglage impossible" s'affiche au bas de l'écran.

Menu Commande image/son

Permet de régler la qualité visuelle et sonore des signaux dont les images sont affichées à l'écran.



Mode image

Définit le mode de qualité d'image correspondant à la luminosité environnante ou au modèle.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Sélection du mode de qualité de l'image" à la page 30 (FR).

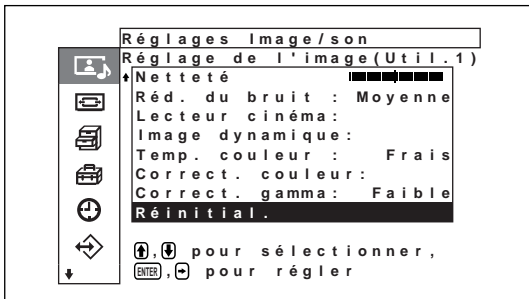
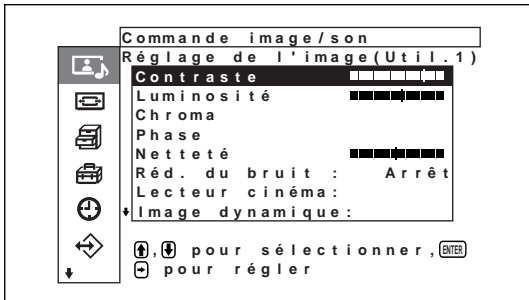
Menu Réglage de l'image

Ce menu sert au réglage de l'image.

La qualité de l'image peut être réglée en fonction de vos préférences à l'aide des menus Util. 1 à 3.

Remarque

La qualité de l'image ne peut pas être réglée en mode Standard ou Éclatant.



Contraste

Appuyez sur **↑/→** pour augmenter le contraste et appuyez sur **↓/←** pour le diminuer.

Luminosité

Appuyez sur **↑/→** pour rendre l'image plus lumineuse et appuyez sur **↓/←** pour la rendre plus sombre.

Chroma

Appuyez sur **↑/→** pour augmenter la saturation des couleurs et appuyez sur **↓/←** pour la diminuer.

Phase

Appuyez sur **↑/→** pour rendre l'image plus verdâtre et appuyez sur **↓/←** pour la rendre plus rougeâtre.

Netteté

Appuyez sur **↑/↓** pour augmenter le niveau de correction du contour de l'image et appuyez sur **↑/↓** pour le réduire.

Réd. du bruit

Permet de régler le niveau de réduction de la granularité et des interférences de couleur de l'image. Quatre niveaux de réduction sont possibles : "Arrêt", "Faible", "Moyen" et "Élevé".

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Réd. du bruit" à la page 31 (FR).

Lecteur cinéma

Lorsque ce réglage est réglé sur le fonctionnement automatique, les images affichées présentent des mouvements fluides, comme les images de films.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Lecteur cinéma" à la page 32 (FR).

Image dynamique

Permet d'améliorer le contraste en rendant les blancs plus vifs et les noirs plus foncés.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Image dynamique" à la page 32 (FR).

Temp. couleur

Modifie la température des couleurs.

Pour plus de détails, reportez-vous à la section "Temp. couleur (température couleur)", page 32 (FR).

Corr. couleur

Lorsqu'il est réglé sur Marche, il reproduit une image fidèle et de bonne qualité.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Corr. couleur" à la page 33 (FR).

Correct. gamma

Permet de régler l'équilibre entre les portions lumineuses et sombres de l'image. Trois niveaux de correction sont possibles : "Élevé", "Moyen" et "Faible".

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Correct. gamma" à la page 33 (FR).

Réinit.

Restaure les réglages usine par défaut des options à du menu Réglage de l'image.

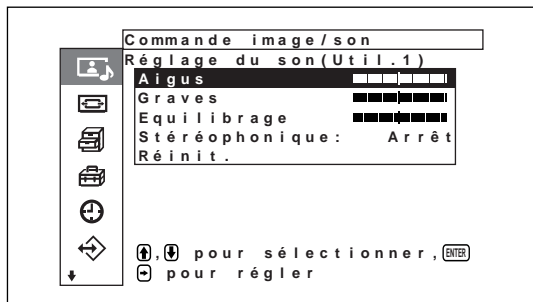
Pour plus de détails sur l'utilisation de la fonction de réinitialisation, reportez-vous à la section "Restauration des réglages par défaut des options du menu Réglage de l'image", page 34 (FR).

Menu Réglage du son

Réglage de la qualité du son par traitement du signal. Lorsque le mode de qualité d'image est réglé sur Util. 1 à 3, la qualité du son peut être réglée à votre convenance.

Remarque

La qualité sonore ne peut pas être réglée lorsque le Mode image est réglé sur "Standard" ou "Éclatant".

**Aigus**

Appuyez sur \uparrow/\rightarrow pour augmenter le niveau des sons aigus ou sur \downarrow/\leftarrow pour le réduire.

Graves

Appuyez sur \uparrow/\rightarrow pour augmenter le niveau des sons graves ou sur \downarrow/\leftarrow pour le réduire.

Equilibrage

Appuyez sur \uparrow/\rightarrow pour augmenter le volume du côté droit ou sur \downarrow/\leftarrow pour augmenter le volume du côté gauche.

Stéréophonique

La fonction ambiophonique (surround) offre quatre réglages différents : "Arrêt", "Hall", "Simul."

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Stéréophonique" à la page 39 (FR).

Réinit.

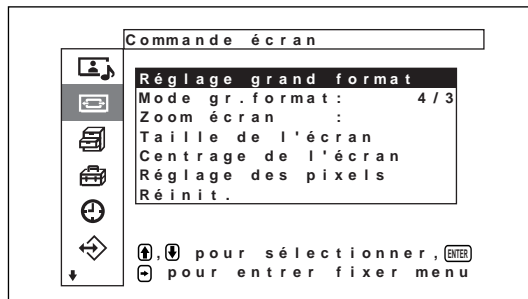
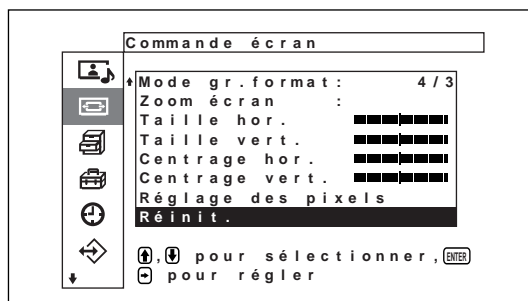
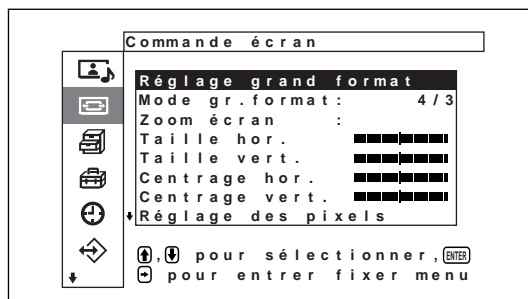
Permet de rétablir les paramètres du menu Réglage du son à leurs valeurs par défaut.

Pour obtenir plus de détails sur la fonction de réinitialisation, reportez-vous à la section "Restauration des paramètres du menu Réglage du son à leurs valeurs initiales" à la page 39 (FR).

Menu Commande écran

Ce menu permet d'ajuster la taille de l'image et de la repositionner à l'écran.

L'écran et la méthode de fonctionnement du menu Taille image peuvent varier, selon le réglage de la touche Menu.

Lorsque la touche Menu est réglée sur "Mar/Arr." (réglage par défaut)**Lorsque la touche Menu est réglée sur "Retour"****Réglage grand format**

Permet de régler la fonction de grand format automatique, La fonction Auto Wide permet de sélectionner des émissions de télévision classiques, Wide Clear Vision ou des images plein écran, ayant toutes un affichage horizontal et vertical différent et agrandit automatiquement l'image avec un rapport d'aspect de 16:9, permettant d'afficher de manière appropriée différents types d'images.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Réglage du grand format automatique" à la page 35 (FR).

Mode gr. format

Permet de changer le mode d'affichage de l'écran large pour le faire correspondre au type de l'image et à ses proportions.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Réglage du Mode gr. format" à la page 36 (FR).

Taille de l'écran

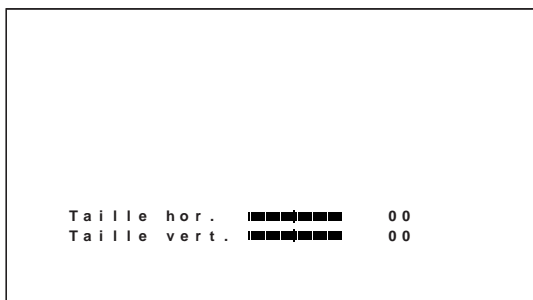
Agrandit l'image au double (×2), au triple (×3) ou au quadruple (×4), dans cet ordre.

Remarque

Les réglages d'agrandissement de l'image peuvent uniquement être utilisés lorsque le Mode gr. format est réglée sur "Rétablir".

Menu Taille de l'écran

Ce menu permet d'ajuster la taille de l'image. Ce menu s'affiche uniquement lorsque la touche Menu est réglée sur "Mar/Arr."



Taille hor.

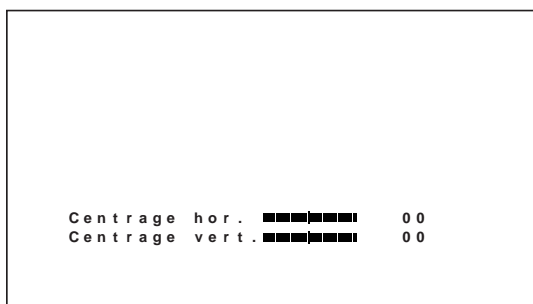
Réglage horizontal de la taille de l'image. Appuyez sur → pour augmenter la largeur de l'image ou sur ← pour la réduire.

Taille vert.

Réglage vertical de la taille de l'image. Appuyez sur ↑ pour augmenter la hauteur de l'image ou sur ↓ pour la réduire.

Menu Centrage de l'écran

Ce menu permet de régler le centrage de l'image. Ce menu s'affiche uniquement lorsque la touche Menu est réglée sur "Mar/Arr."



Centrage hor.

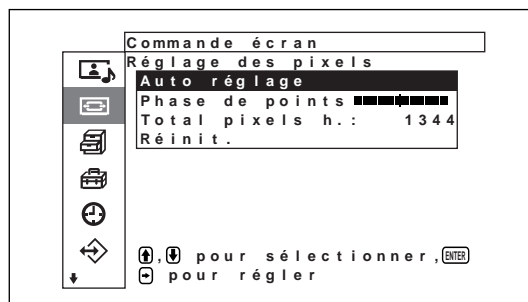
Réglage horizontal du centrage de l'image. Appuyez sur → pour déplacer l'image vers la droite ou sur ← pour la déplacer vers la gauche.

Centrage vert.

Réglage vertical du centrage de l'image. Appuyez sur ↑ pour déplacer l'image vers le haut ou sur ↓ pour la déplacer vers le bas.

Menu Réglage des pixels

Ce menu permet de régler les pixels de l'image. Le réglage de ce paramètre est possible uniquement lorsque le signal de l'ordinateur est en cours de réception.



Auto réglage

Réglage automatique de la phase des points et du nombre total de pixels horizontaux.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Réglage des pixels" à la page 38 (FR).

Phase de points

Permet de régler la phase des points. Appuyez sur ↑/→ pour augmenter le niveau de phase des points ou sur ↓/← pour le réduire.

Total pixels h.

Réglage du nombre total de pixels horizontaux. Appuyez sur ↑/→ pour augmenter le nombre de pixels ou sur ↓/← pour le réduire.

Réinit.

Restaure les paramètres du menu Réglage pixels à leurs valeurs par défaut.

Pour obtenir plus de détails sur la fonction de réinitialisation, reportez-vous à la section "Pour restaurer les options de menu Réglage des pixels à leurs paramètres d'origine" à la page 38 (FR).

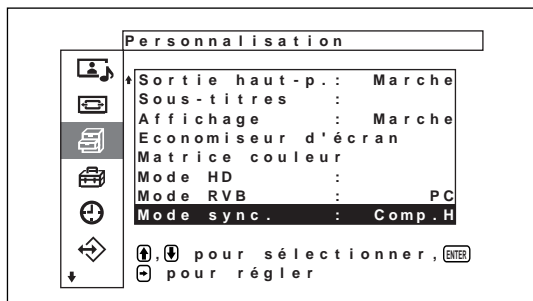
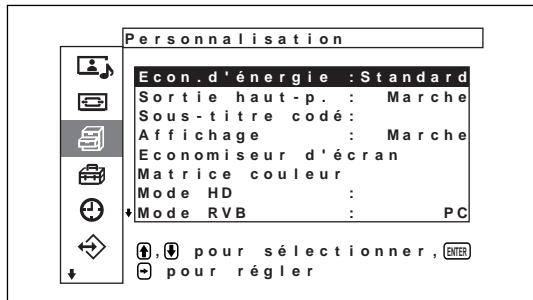
Réinit.

Restaurez la configuration par défaut dans les options du menu Commande écran.

Pour plus d'informations sur l'utilisation de la fonction de réinitialisation, reportez-vous à la section "Restauration des paramètres du menu Commande écran à leurs valeurs initiales" page 38 (FR).

Menu Personnalisation

Permet, entre autres, de régler le niveau d'économie d'énergie ou de régler un économiseur d'écran.



Econ. d'énergie

Permet d'économiser l'électricité tout en continuant d'utiliser l'écran.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Fonction d'économie d'énergie" à la page 29 (FR).

Sortie haut-p.

Permet la sortie du son par les haut-parleurs (SS-SP10A, non fournis) lorsqu'il est réglé sur ON.

Sous-titre codé

Permet l'affichage des sous-titres.

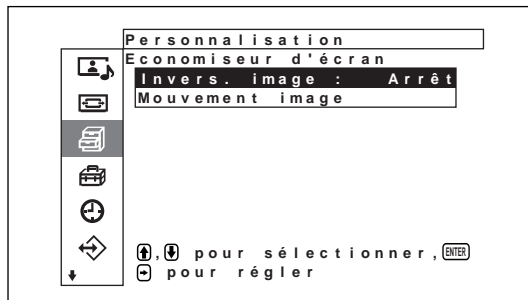
Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Affichage de sous-titres" à la page 29 (FR).

Affichage

Sélectionnez Oui pour afficher les informations du signal d'entrée pendant environ cinq secondes dans le bas de l'écran lorsque l'appareil est mis sous tension ou lors de la commutation du signal d'entrée.

Menu Economiseur d'écran

Permet de corriger ou réduire les dommages dus à une image rémanente ou imprimée résultant de l'affichage prolongé de la même image sur l'écran.



Invers. image

Permet de régler l'économiseur d'écran qui inverse les couleurs de l'image.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Fonction d'économiseur d'écran" à la page 42 (FR).

Mouvement image

Permet de régler un économiseur d'écran qui déplace automatiquement les images après un délai prédéterminé.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Fonction d'économiseur d'écran" à la page 42 (FR).

Matrice couleur

Permet de régler la matrice de couleur de façon à obtenir des couleurs naturelles pour les images pendant la réception d'un signal composant provenant d'un appareil externe raccordé.

Pour plus de détails, voir "Réglage de la matrice de couleurs", en page 44 (FR).

Mode HD

Permet de régler le mode selon la réception des signaux composants analogiques de haute définition (HD) par les entrées ENTRÉE1, ENTRÉE2 du connecteur D de l'adaptateur en option.

1080i: lors du raccordement à un récepteur de diffusion numérique par satellite.

1035i: Lors du raccordement à une console vidéo Hi-Vision (bande de base) ou à tout autre appareil Hi-Vision ordinaire.

Remarques

- La configuration de la carte en option ne peut pas être effectuée dans ce mode.
- Le connecteur BKM-B11 D-4 est réglé sur [1080i].

Mode RVB

Définit le mode lorsqu'un appareil émettant des signaux RVB est raccordé aux bornes RVB/YUV de ENTRÉE1 et ENTRÉE2.

DTV: lors du raccordement à un récepteur numérique RVB ou à un autre appareil de ce type.

PC: lors du raccordement à un ordinateur ou autre.

Remarque

La configuration de la carte en option ne peut pas être effectuée dans ce mode.

Mode sync.

Définit le mode en fonction du signal d'entrée sur la broche 13 des bornes RVB/YUV de ENTRÉE1 et ENTRÉE2. Les signaux peuvent uniquement être réglés sur 575/50i ou 480/60i.

Comp.H: lors de l'entrée d'un signal horizontal ou d'un signal de synchronisation composite*

Vidéo: lors de l'entrée d'un signal vidéo ou d'un signal de synchronisation composite*

*Selon le niveau du signal de synchronisation composite, il est possible que l'image ne soit pas affichée correctement. Dans ce cas, modifiez le réglage du Mode sync.

Réglages du mode de synchronisation et du signal d'entrée

PIN	Entrée du signal sur le connecteur D	Réglage du mode de synchronisation
13	Vidéo composite 480/60i, 575/50i	Signal vidéo
	Synchronisation composite	
	Synchronisation composite	Signal de synchronisation
13/14	H Sync/V Sync	
2	Sync on Green	

Reportez-vous à la section "Attribution des broches" (page 52 (FR)) pour de plus amples informations concernant l'attribution des broches des connecteurs RGB/Y aux entrées ENTRÉE1 et ENTRÉE2.

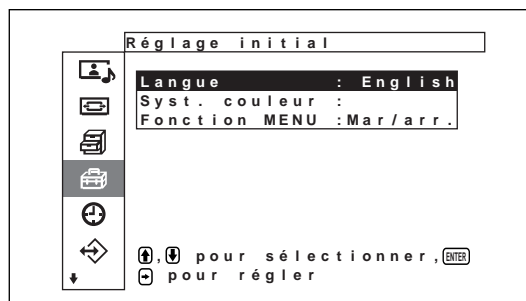
Remarques

- Lorsque l'appareil est réglé sur Signaux de synchronisation, l'image ne s'affiche pas même si un signal COMPOSITE SYNC est entré. Dans ce cas, modifiez le réglage du Mode sync.
- ENTRÉE1 et ENTRÉE2 peuvent être réglés indépendamment pour les réglages du mode de synchronisation mais si l'appareil est commuté sur une autre entrée que celles définies dans les réglages, le signal risque de ne pas être transmis. Dans ce cas, modifiez les réglages du mode de synchronisation pour qu'ils correspondent au signal d'entrée de chaque connecteur d'entrée, puis commutez le signal d'entrée.
- Certaines entrées acceptent des signaux de synchronisation uniquement. Dans ce cas, l'image ne s'affiche pas même si un signal vidéo est transmis via le connecteur 13 broches. Entrez des signaux de synchronisation horizontaux/verticaux via les connecteurs 13 ou 14 ou entrez des signaux Sync On Green via le connecteur RVB.

- Avec Sync On Green, si l'appareil n'est pas réglé pour accepter les signaux de synchronisation, l'image ne s'affiche pas.
- Les réglages du Mode sync. ne peuvent pas être utilisés avec des cartes en option.
- Cet appareil ne prend pas en charge de synchronisation à trois valeurs du signal de synchronisation composite et du réglage 576/60P.

Menu Réglage initial

Permet de régler la langue des menus, la source du signal, les fonctions de la touche MENU et autres paramètres.

**Langue**

Sélection de la langue d'affichage des menus (japonais, anglais, allemand, français, espagnol ou italien).

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Sélection de la langue d'affichage à l'écran" à la page 41 (FR).

Syst. couleur

Permet de sélectionner le type de signal d'entrée.

Auto: pour afficher les signaux NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43 ou NTSC/PAL-M/PAL-N

NTSC: affichage des signaux NTSC.

NTSC4.43: affichage des signaux NTSC4.43.

PAL: affichage des signaux PAL.

SECAM: affichage des signaux SECAM.

PAL-M: affichage des signaux PAL-M.

PAL-N: affichage des signaux PAL-N.

PAL60: affichage des signaux PAL60.

Lorsque le système couleur est réglé sur "Auto", un système de couleur supplémentaire capable d'une détection automatique est réglé au niveau inférieur.

- Détection automatique des systèmes NTSC, PAL, SECAM ou NTSC4.43
- Détection automatique des systèmes NTSC, PAL-M ou PAL-N

Remarque

Le réglage de ce paramètre n'est possible que lorsqu'un signal vidéo est en cours de réception.

Fonction MENU

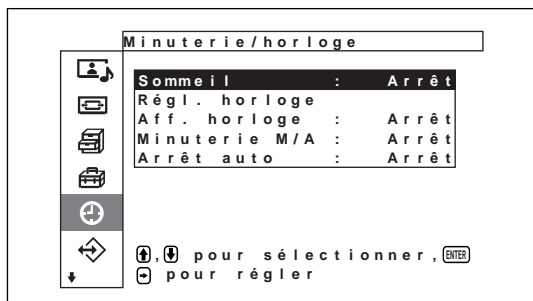
La touche MENU permet d'effectuer les opérations suivantes :

Mar/arr.: le menu s'affiche ou s'éteint chaque fois que la touche MENU est enfoncée.

Retour: le curseur revient au niveau de menu précédent chaque fois que la touche MENU est enfoncée.

Menu Minuterie/horloge

Permet de régler l'heure ou la minuterie et d'afficher l'heure ou de régler le délai de mise sous tension ou hors tension automatiquement de l'appareil.



Sommeil

L'alimentation est automatiquement coupée après un délai prédéterminé. Le délai de veille peut être réglé à 30, 60, 90 ou 120 minutes.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Fonction de sommeil" à la page 45 (FR).

Régl. horloge

Permet de régler l'heure.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Réglage de l'heure" à la page 45 (FR).

Aff. horloge

Lorsque cette fonction est active, l'heure réglée s'affiche à l'écran.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Affichage de l'heure" à la page 46 (FR).

Minuterie M/A

Permet de régler l'heure à laquelle l'appareil est automatiquement mis sous tension ou hors tension.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Activation/désactivation de la fonction de timer" à la page 46 (FR).

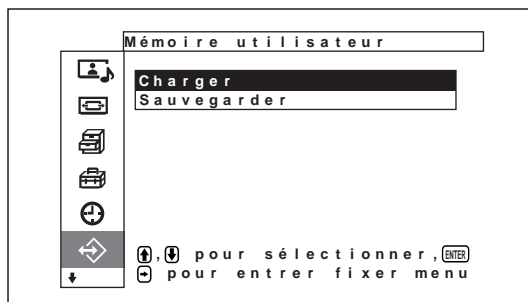
Arrêt auto

Met automatiquement l'appareil hors tension lorsqu'aucun signal n'est reçu pendant une période prédéterminée.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Fonction d'économie d'énergie (MODE ECO)" à la page 47 (FR).

Menu Mémoire utilisateur

Ce menu permet de sauvegarder et de rappeler les réglages des menus Commande image/son et Commande écran.



Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Utilisation des fonctions de la mémoire" à la page 40 (FR).

Charger

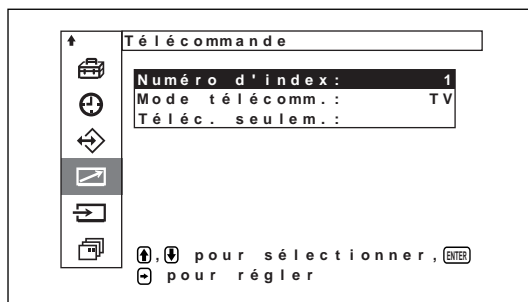
Permet de rappeler les réglages prédéfinis.

Sauvegarder

Permet de sauvegarder les réglages.

Menu Télécommande

Ce menu sert au réglage de la télécommande.



Numéro d'index

Définit le numéro d'index de l'écran.

Remarque

Lorsque vous définissez le numéro, utilisez les touches de l'écran.

Le numéro d'index ne peut pas être réglé avec la télécommande.

Pour plus d'informations sur le numéro d'index, reportez-vous au paragraphe "Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande" page 48 (FR).

Mode télécomm.

Permet de sélectionner le mode de télécommande.

TV: Télécommande de l'écran ou du téléviseur Sony

PJ: Télécommande du projecteur Sony

Arrêt: Désactive la télécommande.

Remarque

Pour changer de mode de télécommande, utilisez les touches de l'écran. Vous ne pouvez pas changer de mode de télécommande avec la télécommande.

Pour obtenir plus de détails, reportez-vous à la section "Utilisation d'autres modèles de télécommande", page 50 (FR).

Télec. seulem

Sélectionnez Marche pour désactiver les touches de commande de l'écran. L'écran ne peut être commandé qu'au moyen de la télécommande.

Pour désactiver le mode "Télec. seulem", réglez "Télec. seulem" sur Arr à l'aide de la télécommande.

Remarque

Le réglage de cette option reste en mémoire lorsque vous débranchez le cordon d'alimentation secteur ou lorsque vous mettez l'écran M/A tension avec la télécommande.

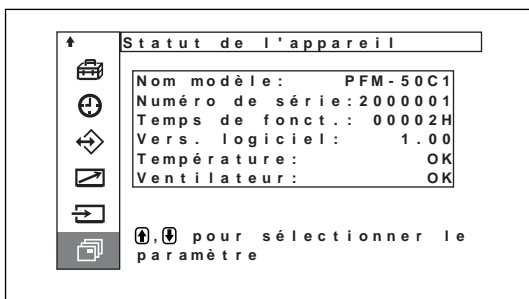
Menu Sélection entrée

Ce menu sert à passer d'un signal d'entrée à l'autre.

Pour plus d'informations sur la commutation du signal d'entrée, reportez-vous à la section "Commutation du signal d'entrée" à la page 26 (FR).

Menu Statut de l'appareil

Ce menu sert à afficher l'état interne de l'écran.

**Nom modèle**

Indique le nom du modèle.

Numéro de série

Indique le numéro de série.

Temps de fonct.

Indique le nombre total d'heures d'utilisation.

Remarque

Le mode de veille n'est pas comptabilisé dans les heures d'utilisation.

Vers. logiciel

Indique la version du logiciel du système.

Température

Indique si la température interne de l'écran est normale.

OK: Normal

NG: Anormal

Lorsque la température interne est anormale, NG s'affiche et l'option clignote en rouge. L'indicateur STANDBY de la section du commutateur / indicateur (veille) clignote également.

Remarque

Lorsque les orifices de ventilation sont obstrués ou que l'écran est utilisé dans un lieu peu aéré, "NG" peut clignoter en rouge. Dans ce cas, vérifiez que les orifices de ventilation ne sont pas obstrués et installez l'écran dans une zone bien aérée. Si le message reste affiché, contactez votre distributeur Sony agréé.

Lorsque l'indicateur STANDBY clignote ou que NG s'affiche, reportez-vous à la section "Fonction d'auto-diagnostic", page 48 (FR).

Ventilateur

Des ventilateurs de refroidissement sont intégrés dans cet écran. Cette option indique que les ventilateurs de refroidissement fonctionnent correctement.

OK: Normal

NG: Anormal

Lorsque les ventilateurs de refroidissement ne fonctionnent pas correctement, NG s'affiche et l'option clignote en rouge. L'indicateur STANDBY de la section du commutateur / indicateur (veille) clignote également.

Remarques

- Si "NG" est affiché et clignote en rouge, contactez votre distributeur ou votre service après-vente Sony. Lorsque l'indicateur STANDBY clignote ou que NG s'affiche, reportez-vous à la section "Fonction d'auto-diagnostic", page 48 (FR).
- Les ventilateurs de refroidissement détectent la température interne de l'écran et commandent la vitesse des ventilateurs. Si la température ambiante est élevée, la vitesse des ventilateurs augmente et les bruits émis sont plus importants.

Visualisation de l'image

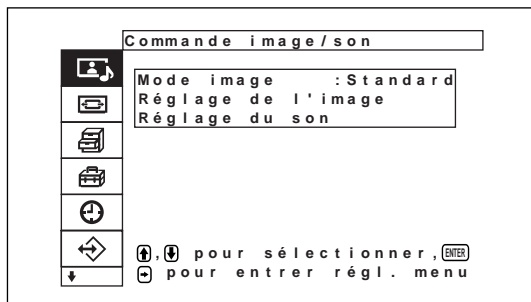
Avant de commencer

- Mettez l'écran sous tension.
- Mettez l'appareil raccordé sous tension et activez la lecture d'une source vidéo.
- Pour afficher sur l'écran les informations du signal d'entrée au moment de la mise sous tension ou de la commutation du signal d'entrée, définissez "Affichage" sur Oui dans le menu Personnalisation.
- Pour sélectionner la langue d'affichage des menus, reportez-vous à la section page 41 (FR).

Commutation du signal d'entrée

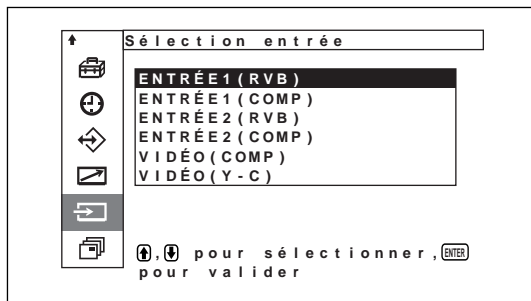
1 Appuyez sur MENU.

Le menu principal apparaît à l'écran.



2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur "Selection entrée" puis appuyez sur ENTER.

Le menu Selection entrée apparaît à l'écran.



3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur la source d'entrée à afficher puis appuyez sur ENTER.

ENTRÉE1 (RVB): Sélectionne le signal d'entrée audio et vidéo des connecteurs INPUT1 lorsque le signal d'entrée est un signal RVB.

ENTRÉE1 (COMP): Sélectionne le signal d'entrée audio et vidéo des connecteurs INPUT1 lorsque le signal d'entrée est un signal de composante.

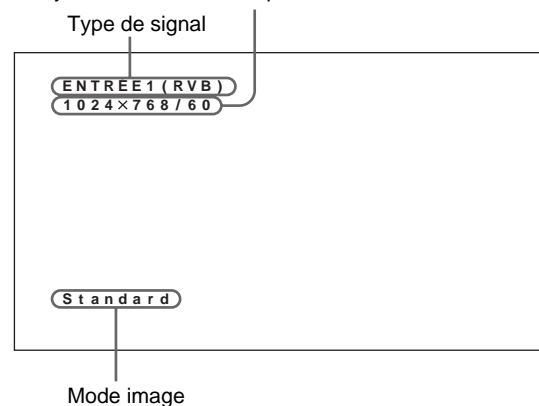
ENTRÉE2 (RVB): Sélectionne le signal d'entrée audio et vidéo des connecteurs INPUT2 lorsque le signal d'entrée est un signal RVB.

ENTRÉE2 (COMP): Sélectionne le signal d'entrée audio et vidéo des connecteurs INPUT2 lorsque le signal d'entrée est un signal composante.

VIDÉO (COMP): Sélectionne le signal d'entrée audio et vidéo du connecteur COMPOSITE IN et de la prise AUDIO IN parmi les connecteurs VIDEO.

VIDÉO (Y-C): Sélectionne le signal d'entrée audio et vidéo du connecteur Y/C IN et de la prise AUDIO IN au niveau des connecteurs VIDEO.

Le signal d'entrée sélectionné apparaît à l'écran.
Système couleur ou fréquence horizontale/verticale



Vous pouvez commuter le signal d'entrée à l'aide de la télécommande fournie avec l'écran.

Remarques

- Nous vous recommandons d'utiliser comme source d'entrée un appareil vidéo doté d'un correcteur de base de temps (TBC). Si le moniteur reçoit un signal sans TBC, il se peut que l'image disparaisse en raison de perturbations du signal de synchronisation.
- Si des signaux du même format sont transmis par de multiples systèmes, le réglage de la qualité d'image prendra par défaut la valeur définie la plus récente (Uniquement lorsque les formats des signaux sont identiques).

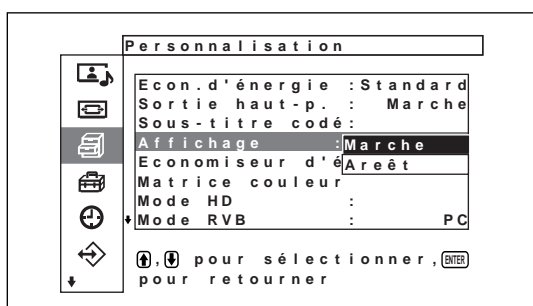
Données du signal d'entrée, du mode Picture et du statut d'affichage

Les données du signal d'entrée et du statut d'affichage sont visible pendant cinq secondes sur le panneau d'affichage lorsque l'appareil est mis sous tension ou lorsque le signal d'entrée est commuté.

Pour désactiver cette fonction, reportez-vous aux instructions.

Pour désactiver cette fonction, suivez cette procédure:

- 1 Dans le menu Personnalisation, appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Affichage" et appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2 Appuyez sur les touches **↑/↓** pour définir Affichage sur Arrêt et appuyez sur ENTER.

Pour afficher les informations

Réglez Affichage sur Marche à l'étape **2** ci-dessus. La valeur par défaut est Marche.

Remarque

Vous pouvez à tout moment afficher les données du signal d'entrée et le mode Picture en appuyant sur la touche DISPLAY de la télécommande, indépendamment des réglages cités plus haut.

Signaux d'entrée présélectionnés			
	Nom du signal	Système couleur ou fréquence horizontale/verticale	
Signaux de l'ordinateur			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5kHz	70,1Hz
2	640x350@85Hz (VESA ^{b)} STD)	37,9kHz	85,1Hz
3	640x400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,1Hz
4	640x480@60Hz (VESA STD)	31,5kHz	59,9Hz
5	Mac ^{c)} 13"	35,0kHz	66,7Hz
6	640x480@72Hz (VESA STD)	37,9kHz	72,8Hz
7	640x480@75Hz (VESA STD)	37,5kHz	75,0Hz
8	640x480@85Hz (VESA STD)	43,3kHz	85,0Hz
9	852x480@60Hz (I/O DATA) ^{d)}	31,7kHz	60,0Hz
10	VGA (VGA TEXT)	31,5kHz	70,1Hz
11	720x400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,0Hz
12	800x600@56Hz (VESA STD)	35,2kHz	56,3Hz
13	800x600@60Hz (VESA STD)	37,9kHz	60,3Hz
14	800x600@72Hz (VESA STD)	48,1kHz	72,2Hz
15	800x600@75Hz (VESA STD)	46,9kHz	75,0Hz
16	800x600@85Hz (VESA STD)	53,7kHz	85,1Hz
17	Mac 16"	49,7kHz	74,6Hz
18	1024x768@60Hz (VESA STD)	48,4kHz	60,0Hz
19	1024x768@70Hz (VESA STD)	56,5kHz	70,1Hz
20	1024x768@75Hz (VESA STD)	60,0kHz	75,0Hz
21	1024x768@85Hz (VESA STD)	68,7kHz	85,0Hz
22	1152x864@75Hz (VESA STD)	67,5kHz	75,0Hz
23	Mac 21"	68,7kHz	75,1Hz
24	1280x960@60Hz (VESA STD)	60,0kHz	60,0Hz
25	1280x960@85Hz (VESA STD)	85,9kHz	85,0Hz
26	1280x1024@60Hz (VESA STD)	64,0kHz	60,0Hz
27	1280x1024@75Hz (VESA STD)	80,0kHz	75,0Hz
28	1280x1024@85Hz (VESA STD)	91,1kHz	85,0Hz
29	1600x1200@60Hz (VESA STD)	75,0kHz	60,0Hz
30	856x480@60Hz (Matrox) ^{e)}	30,2kHz	60,0Hz
31	856x480@59,6Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	59,6Hz
32	856x480@60,1Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	60,1Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50i	
9	480/60i	480/60i	
10	1080/24psf	1080/48i	
11	1080/50i	1080/50i	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60i	
15	720/60p	720/60P	

- a) VGA est une marque déposée de International Business Machines Corporation, USA.
- b) VESA est une marque déposée de Video Electronics Standard Association.
- c) Mac (Macintosh) est une marque déposée de Apple Computer, Inc.
- d) Ce réglage n'est disponible que lorsque vous utilisez une carte d'accélération graphique fabriquée par I-O DATA Corporation.
- e) Ce réglage n'est disponible que lorsque vous utilisez une carte graphique fabriquée par Matrox Graphics Inc.

Remarques

- Lors de l'entrée d'un signal HDTV, entrez le signal de synchronisation à trois niveaux vers la seconde broche du connecteur ENTRÉE1 ou ENTRÉE2 (D-sub 15-broches).
- Lors de l'entrée d'un signal d'un ordinateur à la résolution affichée en No. 29, réglez Taille hor., Centrage hor., Taille vert. et Centrage vert. sur la valeur standard (00) et réglez ZOOM sur Réinit. dans le menu Commande écran. Sinon, il est possible que l'image oscille.
- Si la couleur de l'image est trop claire après avoir entré le signal DVD dans le PFM-50C1/50C1E, réglez la couleur dans le réglage "Chroma" du menu Réglage de l'image.
- Lorsque la phase est réajustée, la résolution diminue.

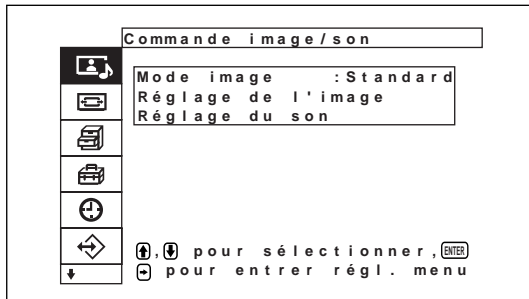
Affichage à l'écran de l'état de l'appareil

Affichage à l'écran	Signification
640x480 / 60 (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est le signal RVB d'un ordinateur.
525 / 60 (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est le signal vidéo composite.
NTSC (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal NTSC.
AUTRES	Le signal d'entrée sort de la plage de saisie.
Pas de sync.	Il n'y a pas de signal d'entrée.
ENTRÉE1 (RVB)	Le mode de signal de ENTRÉE1 est réglé sur RVB.
ENTRÉE1 (YUV)	Le mode de signal de ENTRÉE1 est réglé sur le signal vidéo composite.
VIDÉO (COMP)	L'entrée vidéo composite est sélectionnée sur VIDEO.
VIDÉO (Y-C)	L'entrée vidéo Y/C est sélectionnée sur VIDEO.

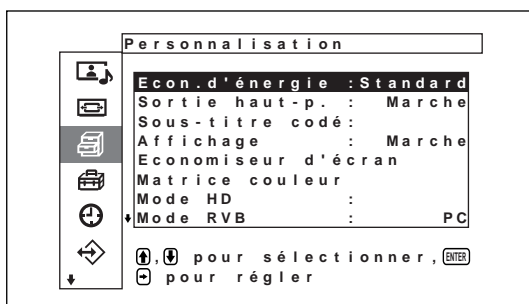
Commutation du mode d'affichage

Affichage de sous-titres

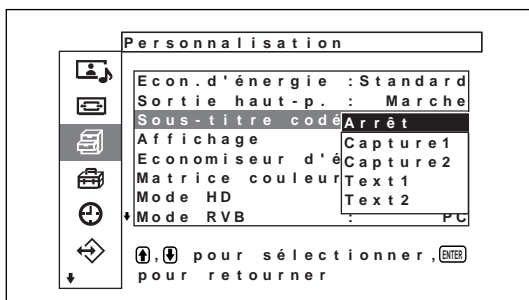
- Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur "Personnalisation" puis appuyez sur ENTER.
Le menu Personnalisation apparaît à l'écran.



- Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur "Sous-titre codé" puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



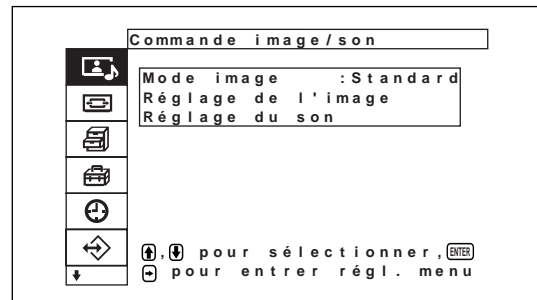
- Sélectionnez le type de sous-titres à l'aide des touches ↑/↓.
Arrêt: Le sous-titre n'est pas affiché.
Capture1: Affiche caption1 sur l'image.
Capture2: Affiche caption2 sur l'image.
Text1: Affiche caption1 sur un fond noir.
Text2: Affiche caption2 sur un fond noir.

- Appuyez sur MENU.
Le menu Personnalisation réapparaît.

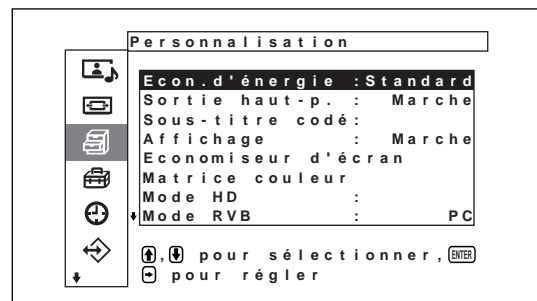
Fonction d'économie d'énergie

Ceci vous permet de regarder l'écran tout en économisant l'électricité.

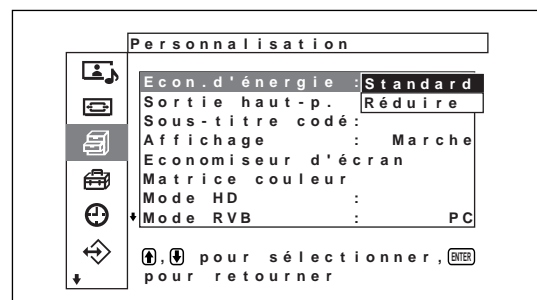
- Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît dans la fenêtre d'affichage.



- Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur "Personnalisation", puis appuyez sur ENTER.
Le menu Personnalisation apparaît dans la fenêtre d'affichage.



- Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur "Econ. d'énergie", puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.



- 4** Appuyez sur **↑/↓** pour sélectionner le mode Econ. d'énergie.
- Standard:** Pas d'économie d'énergie
Réduire: Economie d'énergie
- Si vous activez Econ. d'énergie (Réduire), la luminosité de l'écran est réduite et vous pouvez visualiser l'affichage en économisant de l'énergie.

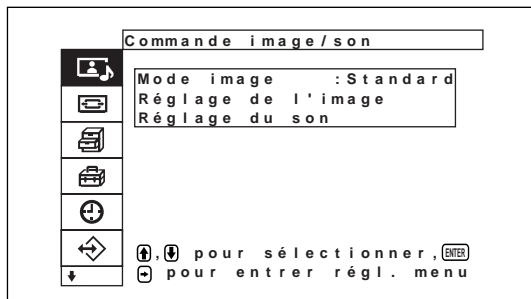
Remarques

- Lorsque "Econ. d'énergie : Réduire" est sélectionné et que vous mettez l'appareil hors tension, la même configuration sera conservée lorsque vous remettez l'appareil sous tension.
- Lorsque vous sélectionnez Util. 1 à 3 en mode de qualité image (Picture), même si vous avez défini "Econ. d'énergie : Réduire," vous pouvez tout de même régler la qualité de l'image. Cependant, si vous augmentez le contraste ou la luminosité, il est possible que l'économie d'énergie soit inefficace.

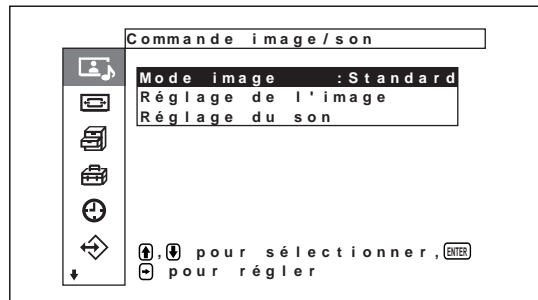
Sélection du mode de qualité de l'image

Permet de régler la qualité de l'image selon le type d'image et les conditions de luminosité ambiantes.

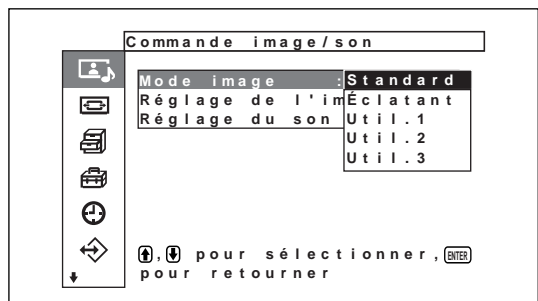
- 1** Appuyez sur MENU.
 Le menu principal s'affiche à l'écran.



- 2** Appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Commande image/son", puis appuyez sur ENTER.
 Le menu Commande image/son s'affiche à l'écran.



- 3** Appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Mode image", puis appuyez sur ENTER.
 Le menu suivant s'affiche à l'écran.



- 4** Sélectionnez le mode image souhaité avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.

Standard: En effectuant un réglage moyen des contrastes et du contour, une qualité d'image réaliste peut être obtenue sur l'écran.

Eclatant: Images d'une grande netteté. La précision des contours et le contraste des images sont réglés au maximum.

Util. 1 à 3 : Vous pouvez régler la qualité de l'image à votre convenance à l'aide du menu Réglage de l'image.

Réglage de l'image

Pendant que vous visionnez l'image, vous pouvez régler à votre gré le contraste, la luminosité, l'intensité des couleurs, la phase, etc. Ces réglages peuvent être exécutés séparément pour chacun des signaux d'entrée. Vous pouvez également enregistrer en mémoire les réglages effectués.

Réglez le Mode image sur l'un des réglages "Util. 1", "Util. 2" ou "Util. 3".

Réglage du contraste, de la luminosité, de l'intensité des couleurs, de la phase, etc.

Appuyez sur la touche MENU pour faire apparaître le menu principal sur le panneau d'affichage et sélectionnez "Contraste", "Luminosité", "Chroma", "Phase", "Netteté", "Réd. du bruit", "Lecteur cinéma", "Image dynamique", "Temp. couleur", "Corr. couleur" ou "Correct. gamma" dans le menu Picture Adjust à l'aide des flèches.

Contraste

Sélectionnez "Contraste" à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.

Ajustez le contraste à l'aide des touches ↑/↓/←/→ dans la plage allant de MIN (0) à MAX (255).

- ↑/→: pour augmenter le contraste de l'image
- ↓/←: pour diminuer le contraste de l'image

Luminosité

Sélectionnez "Luminosité" à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.

Ajustez la luminosité à l'aide des touches ↑/↓/←/→ dans la plage allant de MIN (-128) à MAX (+127).

- ↑/→: pour rendre l'image plus brillante
- ↓/←: pour rendre l'image plus sombre

Chroma

Sélectionnez "Chroma" à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.

Ajustez l'intensité des couleurs à l'aide des touches ↑/↓/←/→ dans la plage allant de MIN (-128) à MAX (+127).

- ↑/→: pour augmenter l'intensité des couleurs
- ↓/←: pour diminuer l'intensité des couleurs

Phase

Sélectionnez "Phase" à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.

Ajustez la phase à l'aide des touches ↑/↓/←/→ dans la plage allant de MIN (-128) à MAX (+127).

- ↑/→: pour donner à l'image une teinte verdâtre
- ↓/←: pour donner à l'image une teinte rougeâtre

Netteté

Sélectionnez "Netteté" avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.

Réglez la netteté avec la touche ↑/↓/←/→. La plage de réglage va de MIN (-5) à MAX (+5).

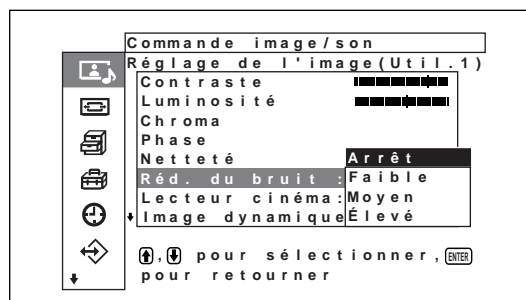
- ↑/→: pour augmenter la netteté de l'image.
- ↓/←: pour diminuer la netteté de l'image.

Réd. du bruit

Réduction du bruit électrostatique causant de la granularité et des interférences de couleur dans l'image.

- 1 Sélectionnez "Réd. du bruit" avec la touche ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant s'affiche à l'écran.

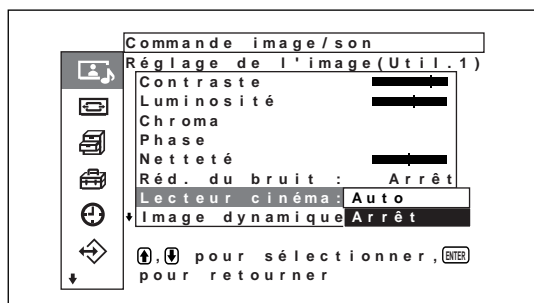


- 2 Sélectionnez le mode de Réd. du bruit souhaité avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Arrêt: Le signal vidéo est affiché directement, sans modification.
Faible: faible réduction des bruits parasites.
Moyen: réduction moyenne des bruits parasites.
Élevé: réduction importante des bruits parasites.

Lecteur cinéma

Les images de film (24 images/minute) sont automatiquement détectées et reproduites avec des mouvements fluides, comme les images projetées en salle de cinéma.

- 1 Sélectionnez "Lecteur cinéma" avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
 Le menu suivant s'affiche à l'écran.

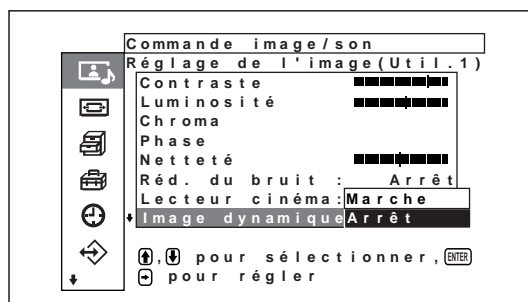


- 2 Sélectionnez le mode de lecteur cinéma souhaité avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Auto: le traitement du signal est optimisé pour les images de film.
Arrêt: le signal vidéo est affiché directement, sans traitement.

Image dynamique

Permet d'améliorer le contraste en rendant les blancs plus vifs et les noirs plus foncés.

- 1 Sélectionnez "Image dynamique" avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
 Le menu suivant s'affiche à l'écran.



- 2 Sélectionnez le mode d'image dynamique souhaité avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Marche: Fonction "Image dynamique" (image dynamique) activée
Arrêt: Fonction "Image dynamique" (image dynamique) désactivée

Temp. couleur (température couleur)

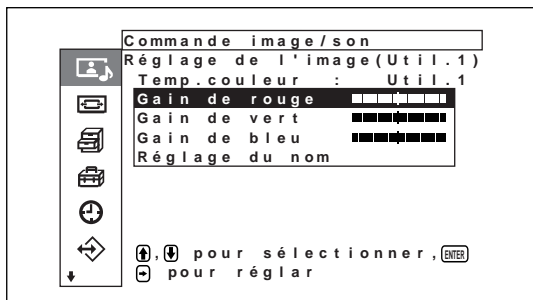
Vous pouvez également régler la température des couleurs. Vous pouvez sélectionner Frais, Neutre ou Chaud ou effectuer des réglages plus précis. Vous pouvez utiliser jusqu'à six températures de couleurs. Ces couleurs peuvent être renommées (jusqu'à six caractères au maximum).

- 1 Sélectionnez "Temp. couleur" à l'aide des touches **↑/↓** et appuyez sur ENTER.
- 2 Sélectionnez la température de couleur à l'aide des touches **↑/↓** et appuyez sur ENTER.
Faible: pour définir la température de couleur sur HAUT
Moyen: pour régler la température de couleur au neutre.
Élevé: pour définir la température de couleur sur BAS
Util.1 – 3: pour effectuer des réglages plus précis

Lorsque vous sélectionnez Frais, Neutre ou Chaud, le menu Réglage de l'image réapparaît.

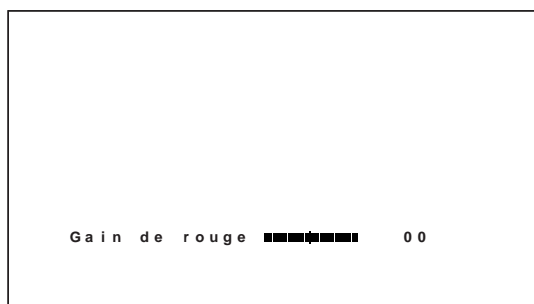
Lorsque vous sélectionnez une valeur comprise entre "Util.1" et "Util.3"

Lorsque vous sélectionnez une valeur comprise entre "Util.1" à "Util.3", le menu suivant apparaît à l'écran.



- (1) Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) vers l'option de gain souhaitée puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.



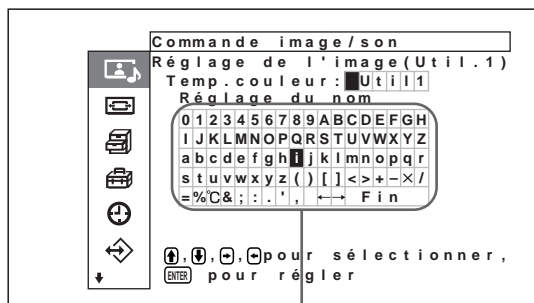
- (2) Réglez le gain (0 à 255) à l'aide de $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ puis appuyez sur ENTER.

Le menu revient au menu Temp. couleur.

Lorsque vous renommez la température de la couleur réglée, suivez les étapes ci-dessous.

- (3) Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) sur "Réglage du nom", puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.



Liste de caractères

- (4) Sélectionnez un caractère ou un symbole dans la liste des caractères à l'aide de $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$, puis appuyez sur ENTER. Le caractère sélectionné est validé. Si vous avez fait une erreur, sélectionnez \leftarrow sur l'écran pour faire revenir le curseur d'un caractère, puis corrigez l'erreur.

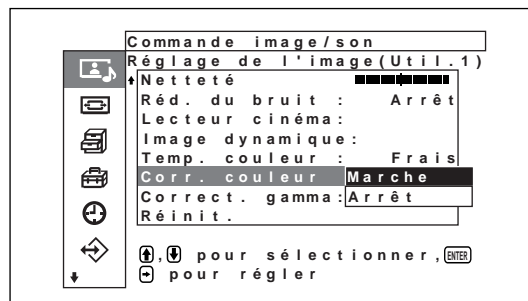
Lorsque la [Fonction MENU] (page 24 (FR)) est réglée sur [Retour] dans le menu Réglage initial, les touches \uparrow/\downarrow sur la télécommande déplacent le curseur vers la droite et la gauche. Pour que les touches \uparrow/\downarrow déplacent le curseur vers le haut et le bas, réglez la [Fonction MENU] sur [Mar/arr.].

- (5) Répétez les étapes (4) et après avoir terminé la saisie du nom, sélectionnez "Fin" puis appuyez sur ENTER.
Le menu revient au menu Temp. couleur.

Corr. couleur

Vous pouvez reproduire des couleurs fidèles et de bonne qualité.

- 1 Sélectionnez "Corr. couleur" avec la touche \uparrow/\downarrow , puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



- 2 Sélectionnez le mode de correction des couleurs souhaité avec la touche \uparrow/\downarrow , puis appuyez sur ENTER.

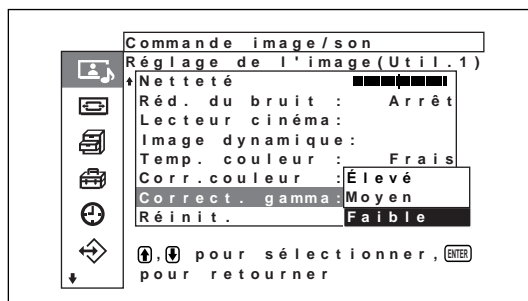
Marche: pour activer la correction des couleurs.

Arrêt: pour désactiver la correction des couleurs.

Correct. gamma

Réglage automatique de l'équilibre entre les portions lumineuses et sombres de l'image.

- 1 Sélectionnez "Correct. gamma" avec la touche \uparrow/\downarrow , puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



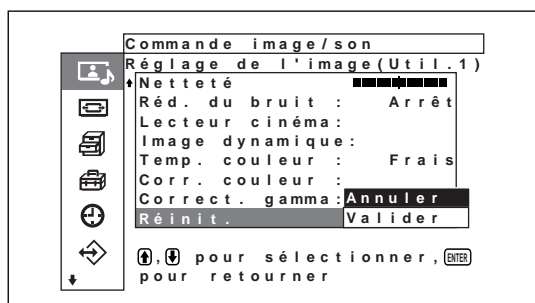
- 2** Sélectionnez le mode de correction gamma souhaité avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
- Élevé:** pour un niveau élevé de correction gamma.
- Moyen:** pour un niveau moyen de correction gamma.
- Faible:** pour un faible niveau de correction gamma.

Remarques

- Les commandes Chroma et Phase sont inopérantes avec un signal RVB.
- La commande Phase est inopérante avec un signal composante.
- La commande Phase est inopérante avec une source de couleur PAL, PAL-M, PAL-N, PAL60 ou SECAM.
- Si vous entrez un signal noir et blanc (B&W), la profondeur et le ton des couleurs ne peuvent pas être réglés.

Restauration des réglages par défaut des options du menu Réglage de l'image

- 1** Dans le menu Réglage de l'image, appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Réinit." et appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2** Appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Valider" puis appuyez sur ENTER. Les options du menu Réglage de l'image sont restaurées à leurs valeurs par défaut.

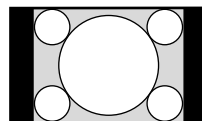
Pour annuler la fonction de réinitialisation

Appuyez sur MENU puis ENTER. Tour à tour, sélectionnez "Annuler" avec **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.

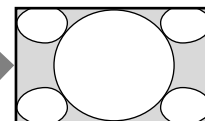
Agrandissement de l'image

Permet l'agrandissement automatique de l'image pour qu'elle couvre la totalité de l'écran, selon le type d'image, par exemple le format de télévision ordinaire, le format Wide Clear Vision ou autre. En mode Wide, les choix suivants sont disponibles.

Images d'origine (type d'image)



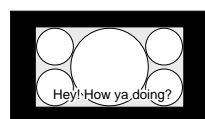
Images agrandies



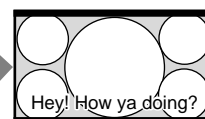
Agr. 4/3

- Permet d'afficher les images ordinaires (format 4:3) avec leur apparence naturelle lorsqu'elles sont agrandies au plein écran en format zoom large (format d'écran : 4:3).

Agrandit les images en plein écran de la taille 4:3 à 16:9.

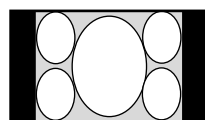


B.lettre

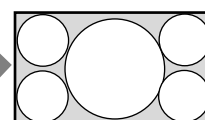


- Transmissions Wide Clear Vision (format d'écran : 16:9)
- Films tournés au format VistaVision ou autres formats similaires, dont l'image semble longue horizontalement et contient des sous-titres à l'intérieur de l'image (format d'écran : 1.85:1)
- Images provenant d'un caméscope ou d'un logiciel de DVD contenant des informations sur le format d'écran (type ID-1)

Les images sont agrandies au format plein écran pendant l'alignement avec les côtés droit et gauche de l'écran. (Il se peut que des bandes noires subsistent en haut et en bas de l'écran, selon le type d'image).

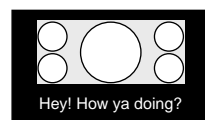


R tablir

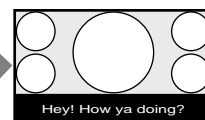


- Images provenant d'un caméscope ou d'un logiciel de DVD contenant des informations sur le format d'écran (type ID-1)

Les bords gauche et droit de l'image sont agrandis au format plein écran sans modification des bords inférieur et supérieur.



S.-titre



- Films tournés au format CinemaVision ou autres, dont l'image semble longue horizontalement et dont les sous-titres apparaissent à l'extérieur de l'image (format d'écran : 2.35:1)

Dans l'image à l'écran, seule la zone d'affichage des sous-titres est comprimée. Le reste de l'image est agrandi au format plein écran et s'aligne aux bords gauche et droit de l'écran.



- Les images sont affichées au format d'écran d'origine de 4:3 sans être agrandies lorsque les images ayant un format d'écran de 4:3 sont réglées sur "4/3" (réglage par défaut) et que Grd format auto (gr. format automatique) est réglé sur Mar.

Le signal vidéo est affiché sans agrandissement.

Réglage du grand format automatique

Certaines transmissions télévisuelles et vidéo, de type Wide Clear Vision, entre autres, sont accompagnées d'un signal d'identification et de contrôle. Selon le réglage, la fonction de grand format automatique reproduit fidèlement les images selon les informations du signal d'identification, ou agrandit divers types d'images au format idéal, peu importe le signal d'identification.

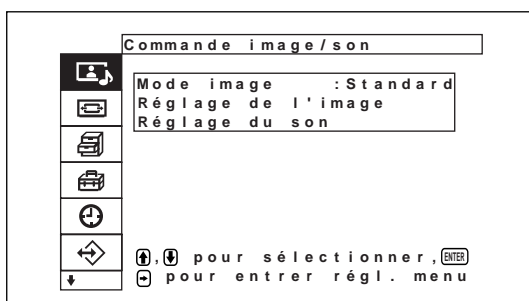
De plus, les émissions de télévision ordinaires et de diffusion numérique par satellite au format 4:3 peuvent également être agrandies au format 16:9.

Signal d'identification et de contrôle

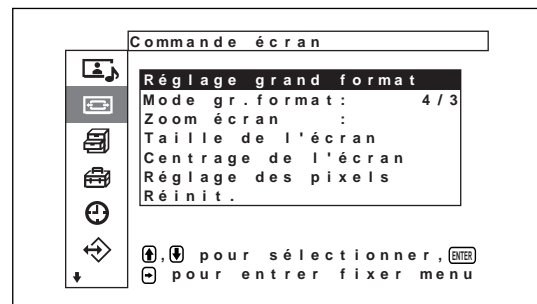
Ce signal de contrôle permet la reproduction fidèle du format d'écran original de l'image sur l'écran de télévision. Les types d'images comportant ce signal sont les suivantes :

- Transmissions Wide Clear Vision
- Images enregistrées par une caméra de télévision et comportant des informations sur le format d'écran (format ID-1)
- Émissions de télévision comportant un signal indiquant le réglage au format 4:3.
- Images comportant des informations sur le format d'écran reçues via le connecteur D4.

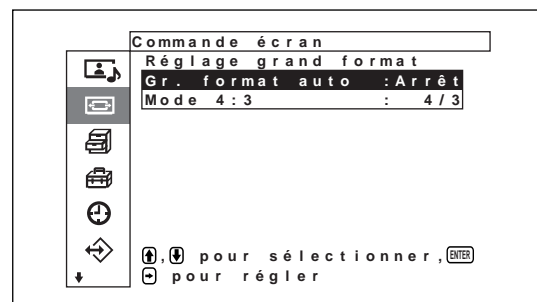
- 1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal s'affiche à l'écran.



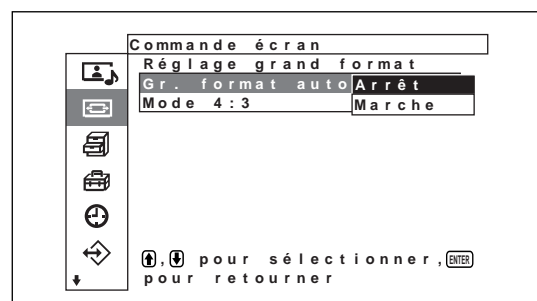
- 2 Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) sur "Commande écran", puis appuyez sur ENTER.
Le menu Commande écran s'affiche à l'écran.



- 3 Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) sur "Réglage grand format", puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



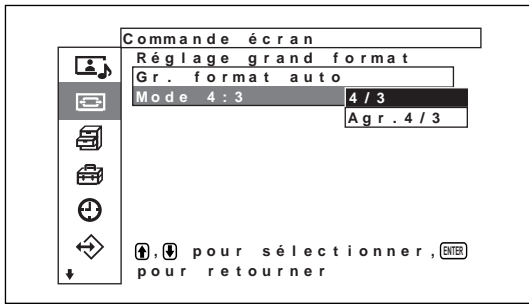
- 4 Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) sur "Gr. format auto", puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



- 5 Sélectionnez le réglage Gr. format auto à l'aide de la touche \uparrow/\downarrow .
Arrêt: Les images sont reproduites telles quelles.
Marche: L'image est agrandie et affichée selon le rapport d'aspect approprié.

- 6 Appuyez sur ENTER.
Le menu Réglage grand format s'affiche de nouveau.

- 7** Sélectionnez “Mode 4:3” avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant s’affiche à l’écran.



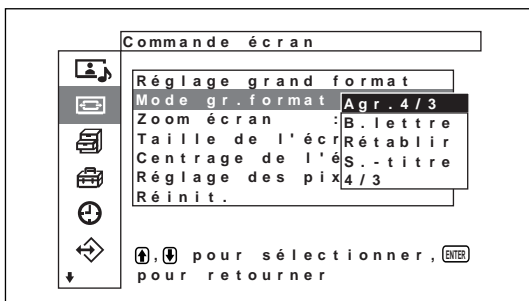
- 8** Sélectionnez le mode d'image 4:3 avec la touche **↑/↓**.
4/3: Les images ayant un rapport d'aspect de 4:3 sont affichées telles quelles.
Agr. 4/3: Les images ayant un rapport d'aspect de 4:3 sont affichées après avoir été agrandies à un rapport d'aspect de 16:9. (En l'absence de signal de commande sélectif.)

- 9** Appuyez sur ENTER. Le menu Réglage grand format s’affiche de nouveau.

Réglage du Mode gr. format

Avec cette fonction, toutes les images peuvent être agrandies au format souhaité, quel que soit leur type.

- 1** Dans le menu Commande écran, appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur “Mode gr. format”, puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant s’affiche à l’écran.



- 2** Sélectionnez le mode zoom avec la touche **↑/↓**.
Agr. 4/3: Agrandit les images en plein écran de la taille 4:3 à 16:9.
B.lettre: Elargit l’image vers la droite et la gauche, jusqu’aux bords de l’écran. (Il se peut que des bandes noires subsistent en haut et en bas de l’écran, selon le type d’image).
Rétablir: Elargit l’image vers la droite et la gauche jusqu’aux bords de l’écran, mais sans modifier le haut ni le bas de l’image.
S.-titre: Elargit l’image vers la droite et la gauche, jusqu’aux bords de l’écran, et comprime la zone d’affichage des sous-titres.
4/3: Le signal vidéo est affiché sans agrandissement.
- 3** Appuyez sur ENTER. Le menu Réglage écran s’affiche de nouveau.

Remarque

- Si vous définissez le mode Wide, la fonction Gr. format auto est désactivée. Pour utiliser la fonction Gr. format auto, réglez-la à nouveau sur “Marche.”
- Selon le type et le format de l’image, le haut ou le bas de l’image peuvent être coupés, ou les sous-titres peuvent ne pas être affichés au complet.
- Gardez à l’esprit que si cet appareil est utilisé à des fins commerciales ou de diffusion dans les cafés ou hôtels et que vous utilisez la fonction de commutation en grand écran, l’écran risque d’être comprimé ou allongé et vous risquez de violer les droits d’auteur définis dans les lois sur la protection des droits d’auteur.

Redimensionnement et positionnement de l'image

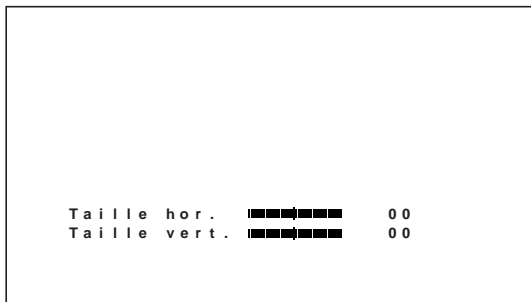
Vous pouvez décaler la position de l'image de manière à ce qu'elle s'adapte à l'écran ou régler séparément la taille verticale et horizontale de l'image.

Le fonctionnement décrit dans ce mode d'emploi est valable lorsque la touche Menu est réglée sur "Mar/Arr."

Reportez-vous à la section "Menu Commande écran" (page 20 (FR)) pour de plus de détails sur le réglage de la Commande écran.

Réglage de la taille de l'image

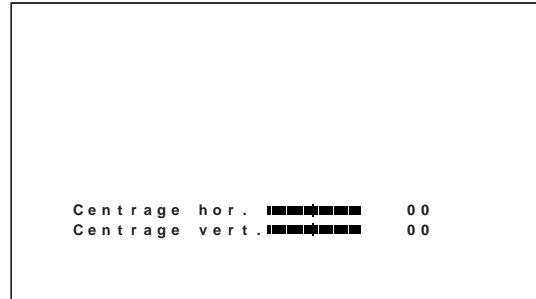
- 1 Dans le menu Commande écran, appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Taille de l'écran" puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2 Réglez la taille de l'image verticalement et horizontalement à l'aide des touches **↑/↓/←/→**.
←/→ : règle la taille de l'image horizontalement
↑/↓ : règle la taille de l'image verticalement
 La taille horizontale de l'image à l'écran est réglable selon une échelle allant de MIN (-128) à MAX (+127). La taille verticale de l'image à l'écran est réglable selon une échelle allant de MIN (-128) to MAX (+127).
- 3 Appuyez sur ENTER.
 Le menu Commande écran s'affiche de nouveau.

Réglage de la position de l'image

- 1 Dans le menu Commande écran, appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Centrage de l'écran" et appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2 Les touches **↑/↓/←/→** permettent de déplacer l'image verticalement ou horizontalement.
←/→ : déplace l'image vers la gauche et vers la droite
↑/↓ : déplace l'image vers le haut et vers le bas
 La position horizontale de l'image à l'écran est réglable selon une échelle allant de LEFT (gauche) (128) à RIGHT (droite) (127). La position verticale de l'image à l'écran est réglable selon une échelle allant de BOTTOM (bas) (128) à TOP (haut) (127).
- 3 Appuyez sur ENTER.
 Le menu Commande écran s'affiche de nouveau.

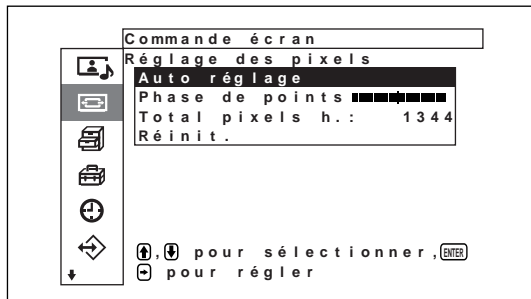
Réglage des pixels

S'il y a trop de parasites sur les contours des caractères ou des lignes verticales, vous pouvez ajuster la phase de point et le nombre total de pixels horizontaux.

Remarque

Cette option dépend du signal de l'ordinateur utilisé.

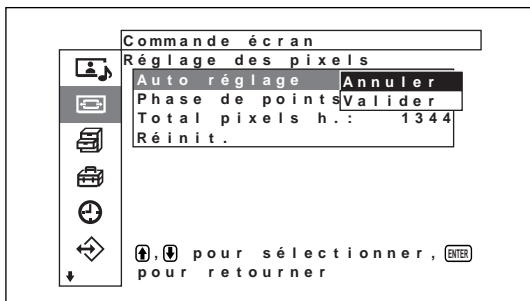
- 1 Dans le menu Commande écran, appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) sur "Réglage des pixels" puis appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2 Vous pouvez ajuster la phase de point et le nombre total de pixels horizontaux automatiquement ou manuellement.

Ajustement automatique

- (1) Sélectionnez Auto réglage à l'aide des touches \uparrow/\downarrow et appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.



- (2) Sélectionnez Valider à l'aide des touches \uparrow/\downarrow et appuyez sur ENTER. La phase de point et le nombre total de pixels horizontaux sont ajustés automatiquement.

Ajustement manuel

- (1) Sélectionnez Phase de points ou Total pixels h à l'aide des touches \uparrow/\downarrow et appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.

(L'illustration ci-dessous correspond à la sélection du paramètre Phase points.)



- (2) Ajustez la phase de point ou le nombre total de pixels horizontaux à l'aide des touches \uparrow/\downarrow et appuyez sur ENTER.

Remarque

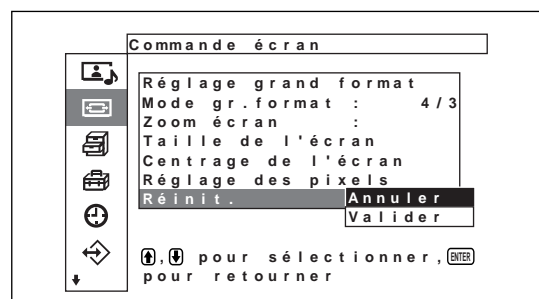
En raison des motifs de l'image, il est possible que celle-ci soit toujours parasitée même après avoir utilisé la fonction Auto réglage. Dans ce cas, réglez la phase de points manuellement.

Pour restaurer les options de menu Réglage des pixels à leurs paramètres d'origine

Dans le menu Réglage des pixels, appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) sur "Réinit" et appuyez sur ENTER. Sélectionnez Valider à l'aide des touches \uparrow/\downarrow et appuyez sur ENTER.

Restauration des paramètres du menu Commande écran à leurs valeurs initiales

- 1 Dans le menu Commande écran, appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) sur "Réinit" et appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2** Appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur “Valider” puis appuyez sur ENTER.
Les paramètres du menu Commande écran sont rétablis aux valeurs par défaut.

Pour annuler la fonction de réinitialisation

Appuyez sur MENU puis ENTER.
Tour à tour, sélectionnez “Annuler” avec **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.

Réglage de la qualité du son

Ce menu permet de régler la balance et les niveaux des aiguës et des graves. Il permet également de régler le mode ambiophonique.

Réglage des aiguës, des graves et de la balance

Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal à l'écran, puis, avec la touche **↑/↓**, sélectionnez “Aigus”, “Graves”, “Equilibrage” ou “Stéréophonique” dans le menu Réglage du son.

Aigus

Sélectionnez “Aigus” avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Réglez le niveau des aiguës avec la touche **↑/↓/←/→**. La plage de réglage va de MIN (–50) à MAX (+50).
↑/→: pour augmenter le niveau des aiguës.
↓/←: pour réduire le niveau des aiguës.

Graves

Sélectionnez “Graves” avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Réglez le niveau des graves avec la touche **↑/↓/←/→**. La plage de réglage va de MIN (–50) à MAX (+50).
↑/→: pour augmenter le niveau des graves.
↓/←: pour réduire le niveau des graves.

Equilibrage

Sélectionnez “Equilibrage” avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Réglez la balance avec la touche **↑/↓/←/→**. La plage de réglage va de GAUCHE (–50) à DROITE (+50).
↑/→: pour augmenter le volume du côté droit.
↓/←: pour augmenter le volume du côté gauche.

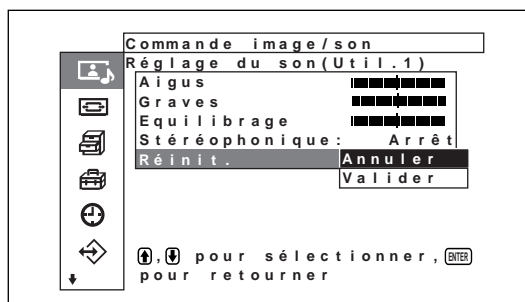
Stéréophonique

Permet de régler le mode de sortie ambiophonique selon le type des signaux.

- 1 Sélectionnez “Stéréophonique” avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
- 2 Sélectionnez le mode ambiophonique souhaité avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Arrêt: aucun effet ambiophonique ajouté au signal de sortie.
Hall: Lorsque vous souhaitez augmenter la sensation d'enveloppement du son stéréo de vos films et programmes musicaux.
Simul. : Lorsque vous souhaitez augmenter la présence audio de vos programmes mono ordinaires ou d'actualités télévisées à l'aide d'un son stéréo simulé.

Restauration des paramètres du menu Réglage du son à leurs valeurs initiales

- 1 Dans le menu Réglage du son, appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur “Réinit.”, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.



- 2 Appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur “Valider”, puis appuyez sur ENTER.
Les paramètres du menu Réglage du son sont rétablis aux valeurs par défaut.

Pour annuler la fonction de réinitialisation

Appuyez sur MENU puis ENTER.

Tour à tour, sélectionnez “Annuler” avec ↑/↓, puis appuyez sur ENTER.

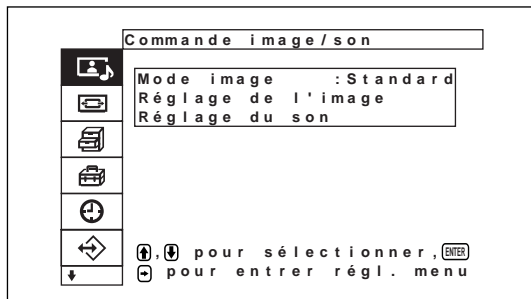
Utilisation des fonctions de la mémoire

Vous pouvez sauvegarder les réglages actuels de l'image pour chaque signal d'entrée à l'aide de la fonction Mémoire. Les réglages enregistrés peuvent être rappelés à tout moment. Les éléments des menus Commande image/son et Commande écran peuvent être mémorisés. Vous pouvez enregistrer les paramètres d'image de vingt signaux d'entrée au maximum. Ces paramètres peuvent être nommés (jusqu'à dix caractères au maximum).

Mémorisation des réglages actuels

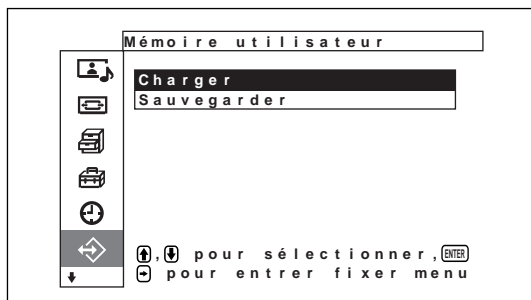
1 Appuyez sur MENU.

Le menu principal apparaît à l'écran.



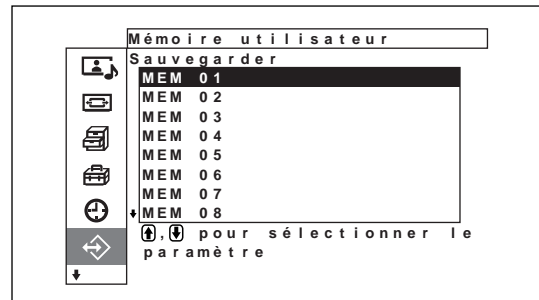
2 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur “Mémoire utilisateur” puis appuyez sur ENTER.

Le menu Mémoire utilisateur apparaît à l'écran.



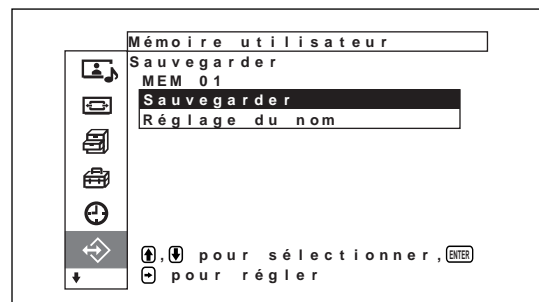
3 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur “Sauvegarder” puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.



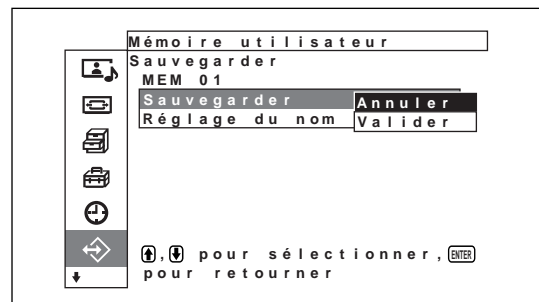
4 Sélectionnez un numéro de mémoire (de 01 à 20) à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.



5 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur “Sauvegarder” puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.



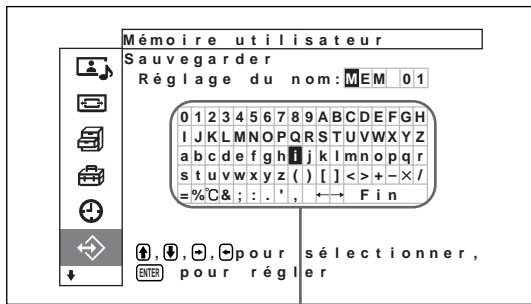
6 Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur “Valider” puis appuyez sur ENTER.

Les réglages en cours sont enregistrés sous le numéro de mémoire sélectionné.

Pour donner un nom au réglage, suivez les étapes ci-dessous.

- 7** Appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) vers "Réglage du nom" et appuyez de nouveau sur ENTER.

Le menu suivant apparaît sur l'écran du moniteur.



Liste de caractères

- 8** Sélectionnez un caractère ou un symbole dans la liste des caractères à l'aide de $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$, puis appuyez sur ENTER. Le caractère sélectionné est validé. Si vous avez fait une erreur, sélectionnez [\leftarrow] sur l'écran pour faire revenir le curseur d'un caractère, puis corrigez l'erreur.

Lorsque la [Fonction MENU] (page 24 (FR)) est réglée sur [Retour] dans le menu Réglage initial, les touches \uparrow/\downarrow sur la télécommande déplacent le curseur vers la droite et la gauche. Pour que les touches \uparrow/\downarrow déplacent le curseur vers le haut et le bas, réglez la [Fonction MENU] sur [Mar/arr.].

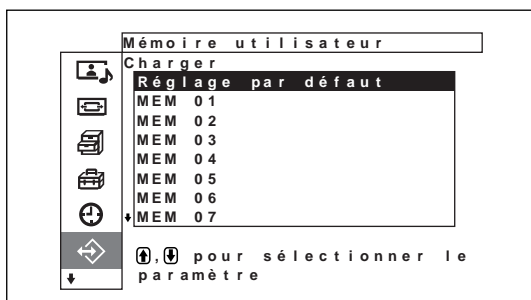
- 9** Répétez l'étape 8 jusqu'à la fin de la saisie du nom, puis sélectionnez "Fin" et appuyez sur ENTER.

Le menu Sauvegarder s'affiche à nouveau.

Appel d'un paramètre sélectionné

- 1** Dans le menu Mémoire utilisateur, appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) sur "Charger" et appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2** Déplacez le curseur vers le numéro de mémoire (01 à 20) du réglage que vous souhaitez rappeler à l'aide des touches \uparrow/\downarrow .

La valeur du réglage mémorisée est rappelée.

Pour restaurer la valeur utilisée avant le rappel, déplacez le curseur sur "Réglage par défaut".

- 3** Appuyez sur la touche ENTER.

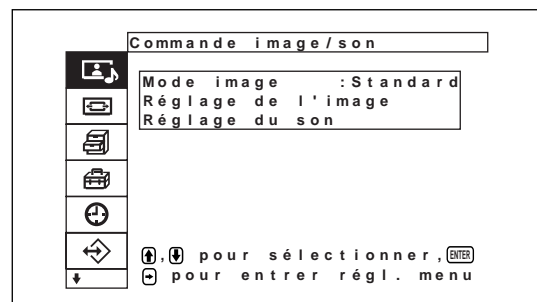
L'affichage revient à l'écran Mémoire utilisateur utilisé pour mémoriser et rappeler les valeurs de réglage.

Sélection de la langue d'affichage à l'écran

Les langues d'affichage possibles sont le japonais, l'anglais, l'allemand, le français, l'espagnol ou l'italien.

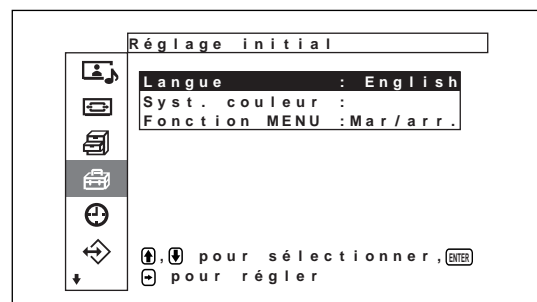
- 1** Appuyez sur MENU.

Le menu principal apparaît à l'écran.

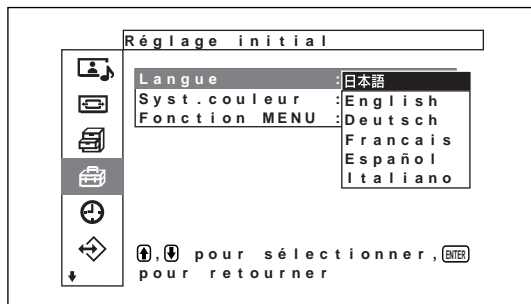


- 2** Appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) sur "Réglage initial" puis appuyez sur ENTER.

Le menu Réglage initial apparaît à l'écran.



- 3** Déplacez le curseur (jaune) à l'aide des touches **↑/↓** vers "Langue" puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 4** Appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur la langue de votre choix et appuyez sur ENTER.
La langue d'affichage que vous avez sélectionnée est activée.

日本語: japonais
ENGLISH: anglais
DEUTSCH: allemand
FRANÇAIS: français
ESPAÑOL: espagnol
ITALIANO: italien

Fonction d'économiseur d'écran

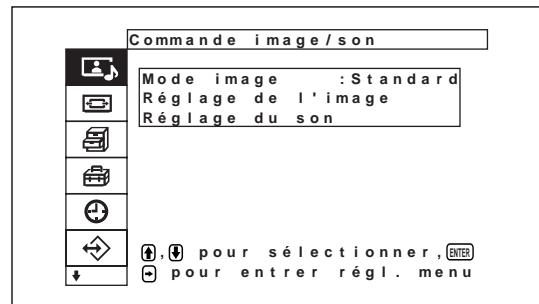
Si une image dont la luminosité ne change pas ou une image fixe, telle qu'une image affichée sur un ordinateur, est affichée pendant longtemps, une image rémanente (image fantôme) peut être imprimée sur l'écran.

Cet appareil possède une fonction d'économiseur d'écran permettant de corriger ou de réduire ce phénomène.

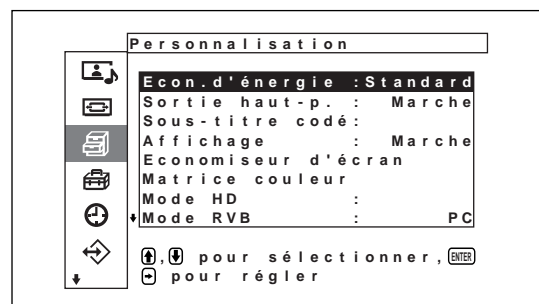
Il existe deux types d'économiseur d'écran : l'un inverse les tons de couleur de l'image (Invers. image) et l'autre déplace automatiquement l'image sur l'écran à une intervalle prédéfinie (Mouvement image).

Inverse les tons de couleur de l'image

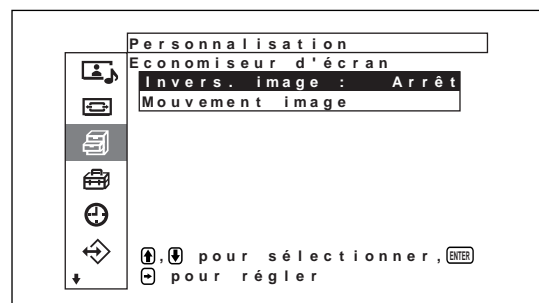
- 1** Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



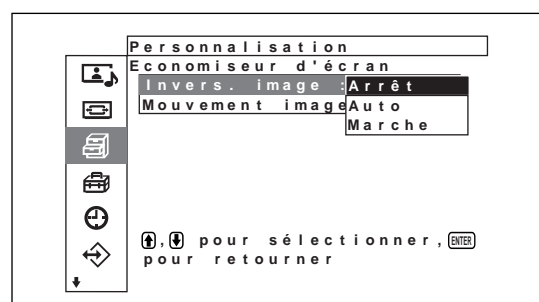
- 2** Appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Personnalisation" puis appuyez sur ENTER.
Le menu Personnalisation apparaît à l'écran.



- 3** Appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Economiseur d'écran" puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 4** Appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Invers. image" puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



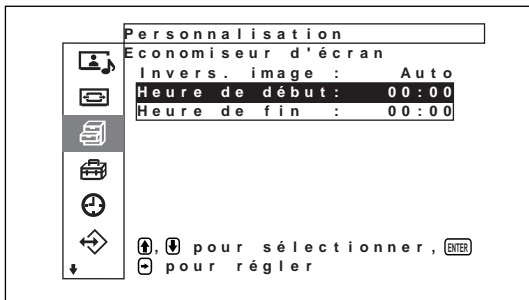
5 Sélectionnez le mode Invers. image à l'aide des touches **↑/↓**.

Arrêt: pour désactiver le mode Invers. image

Auto: pour effectuer le mode Invers. image une fois par jour

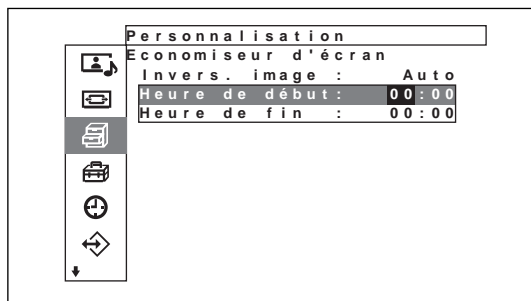
Marche: Inversement des tons de couleur de l'image

Lorsque vous sélectionnez Auto et que vous appuyez sur ENTER, le menu suivant s'affiche.



(1) Appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Heure de début" puis appuyez sur ENTER.

Le menu ci-dessous apparaît et l'heure est affichée en relief.



(2) Définissez l'heure à laquelle l'image doit être inversée à l'aide des touches **↑/↓** et appuyez sur ENTER.

Le réglage des heures est validé et l'arrière-plan des minutes s'affiche en relief.

(3) Réglez les minutes à l'aide des touches **↑/↓** puis appuyez sur ENTER. Le réglage des minutes est validé. Appuyez sur **←** pour revenir à l'écran affiché à l'étape 5.

Lorsque vous utilisez les touches de l'appareil, appuyez sur la touche MENU pour fermer le menu et réglez [Fonction MENU] (page 24 (FR)) dans le menu de configuration initiale sur [Retour]. A partir de ce moment, la touche MENU de l'appareil possède la même fonction que la touche **←**.

(4) De la même façon, définissez l'heure à laquelle le mode Invers. image doit être annulé.

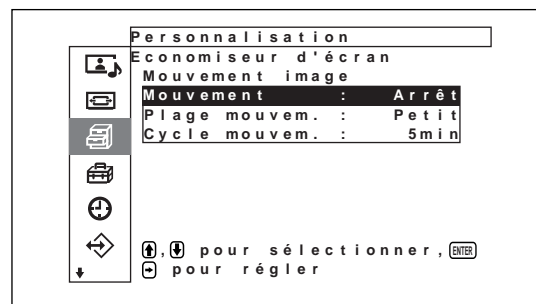
L'image affichée sera inversée à l'Heure de début et retrouvera son aspect d'origine à l'Heure de fin. Ce cycle a lieu automatiquement une fois par jour.

Remarque

Si vous définissez Heure de début et Heure de fin sur la même heure, la valeur Heure de début l'emporte sur celle de Heure de fin. L'affichage ne revient pas à la l'image initiale à l'Heure de fin.

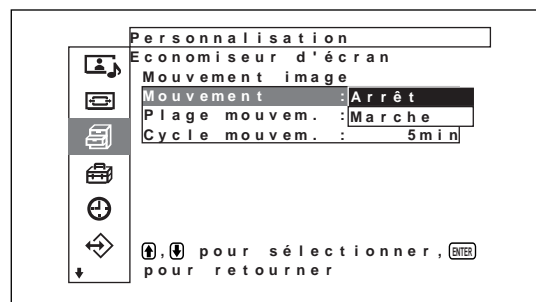
Changement automatique de la position de l'image

1 Dans le menu Economiseur d'écran, appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Mouvement image" et appuyez sur ENTER. Le menu suivant apparaît à l'écran.



2 Appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Mouvement" puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît sur l'écran du moniteur.



3 Sélectionnez le mode Mouvement à l'aide des touches **↑/↓**.

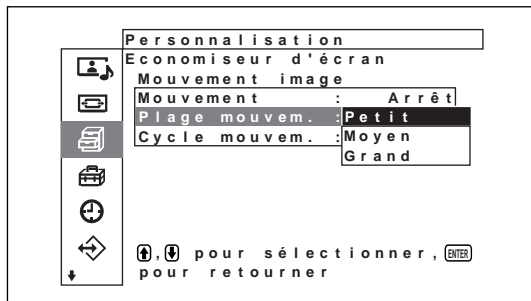
Arrêt: pour annuler la fonction Mouvement d'image

Marche: pour activer la fonction Mouvement d'image

4 Appuyez sur ENTER.
Le menu Mouvement d'image réapparaît.

5 Sélectionnez Plage movem. (distance de déplacement) ou Cycle movem. (heure) à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Les valeurs suivantes peuvent être sélectionnées:
Plage movem.: Petit, Moyenne, Grand
Cycle movem.: 10sec, 30sec, 1min., 5 min.

Le menu suivant apparaît sur l'écran du moniteur. (L'illustration ci-dessous correspond à la sélection du paramètre Plage movem.)



6 Ajustez la fonction Plage movem. ou Cycle movem. à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.

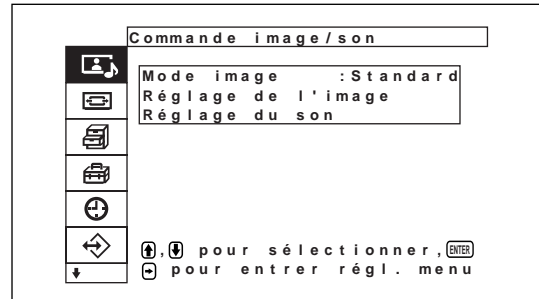
Lorsque les fonctions Invers. image et Mouvement image sont définies sur Oui

Si la fonction Mouvem. image est activée pendant que l'image est inversée, l'image inversée s'affiche dans une autre position.

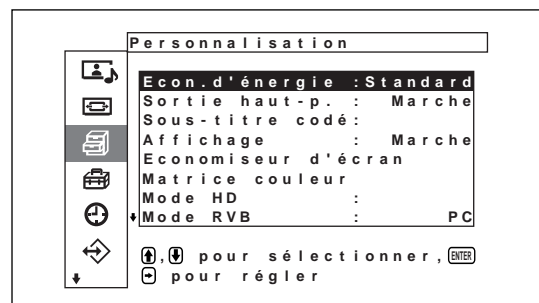
Réglage de la matrice de couleurs

La matrice de couleurs peut être réglée de manière à ce que les images s'affichent avec des teintes naturelles lorsque les signaux d'entrée, provenant d'un récepteur satellite ou CS numérique, d'un lecteur de DVD ou autre appareil raccordé à l'adaptateur d'entrée composant, sont au format 480p (525p), 1080i (1125i) ou 720p (750p).

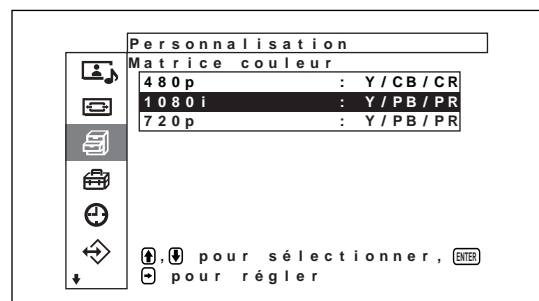
1 Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



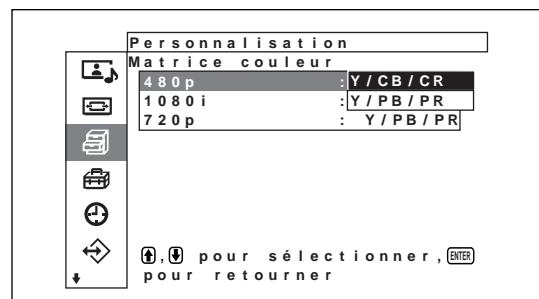
2 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur "Personnalisation", puis appuyez sur ENTER.
Le menu Personnalisation apparaît à l'écran.



3 Appuyez sur ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur "Matrice couleur", puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



4 Sélectionnez le format du signal à l'aide de ↑/↓.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 5** Sélectionnez la matrice des couleurs à l'aide de **↑/↓**.
Y/CB/CR: lorsque le format du signal est 480p.
Y/PB/PR: lorsque le format du signal est 1080i ou 720p.

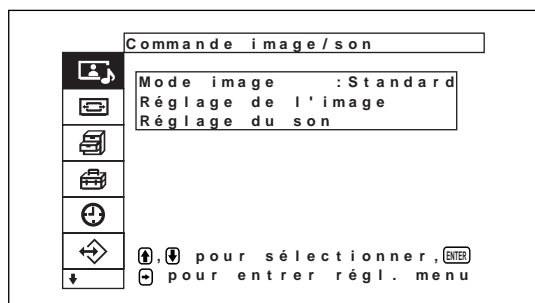
Pour plus d'informations sur le réglage, reportez-vous au mode d'emploi fourni avec chaque appareil.

Contrôle automatique de la fonction de mise sous/hors tension

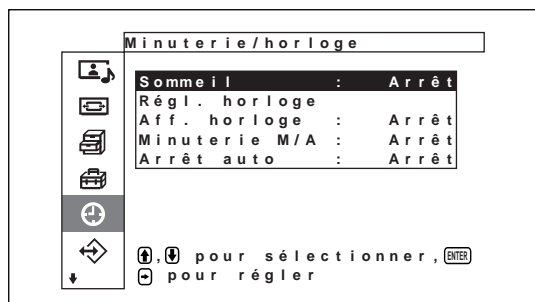
Cet écran possède deux fonctions de contrôle de l'énergie. Vous pouvez choisir le réglage un pour mettre automatiquement l'appareil hors tension après une certaine période si aucun signal d'entrée n'est reçu (fonction Arrêt auto). Vous pouvez définir l'heure à laquelle l'alimentation est automatiquement M/A (fonction Arrêt auto). De plus, la fonction de veille permet à l'alimentation d'être automatiquement coupée après un délai prédéterminé, même si l'écran est en train d'afficher une image.

Fonction de sommeil

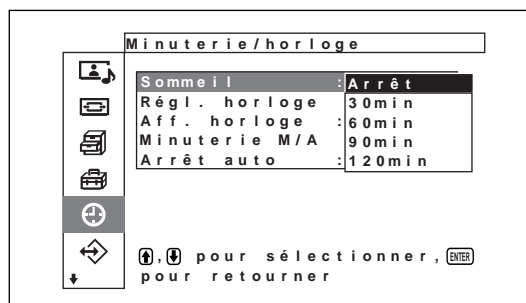
- 1** Appuyez sur MENU.
 Le menu principal s'affiche à l'écran.



- 2** Appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Minuterie/horloge", puis appuyez sur ENTER.
 Le menu Minuterie/horloge s'affiche à l'écran.



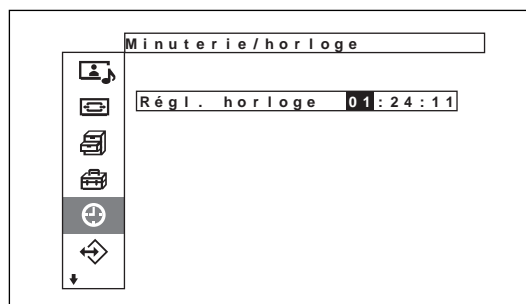
- 3** Appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Sommeil", puis appuyez sur ENTER.
 Le menu suivant s'affiche à l'écran.



- 4** Avec la touche **↑/↓**, réglez le délai au bout duquel l'appareil sera automatiquement mis hors tension.
Arrêt: l'appareil ne s'éteint pas.
30 min: l'appareil s'éteint au bout de 30 minutes.
60 min: l'appareil s'éteint au bout de 60 minutes.
90 min: l'appareil s'éteint au bout de 90 minutes.
120 min: l'appareil s'éteint au bout de 120 minutes.

Réglage de l'heure

- 1** Dans le menu Minuterie/horloge, appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Régl.horloge" puis appuyez sur ENTER.
 Le menu suivant est affiché et l'arrière-plan devient jaune.



- 2** Réglez l'heure avec **↑/↓** puis appuyez sur ENTER.
 Le réglage de l'heure est entré et la minute est affichée en arrière-plan en jaune.

- 3** Réglez les minutes de la même manière puis appuyez sur ENTER.
 Le réglage des minutes est entré et les secondes d'arrière-plan s'affichent en jaune.

- 4** Appuyez sur ENTER.
Les secondes sont réinitialisées sur 00.

- 5** Appuyez sur MENU.
L'affichage revient à l'écran normal. Si vous devez procéder à d'autres réglages ou si vous devez recommencer le paramétrage, répétez la procédure à partir de l'étape 1.

Remarque

Si l'affichage de l'heure est très lent, il est possible que la pile interne soit en train de se décharger. Contactez votre revendeur agréé Sony pour faire remplacer la pile.

Affichage de l'heure

- 1** Dans le menu Minuterie/horloge, appuyez sur **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Aff. horloge", puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.

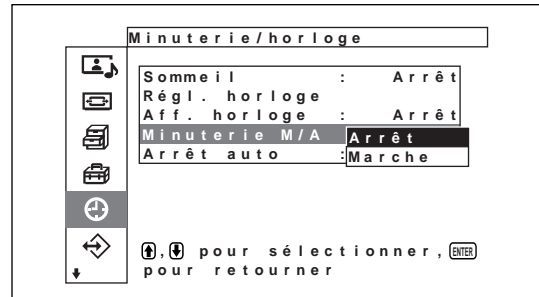


- 2** Sélectionnez Arrêt avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Lorsque le menu n'est plus affiché, une horloge apparaît dans le coin supérieur gauche de l'écran.

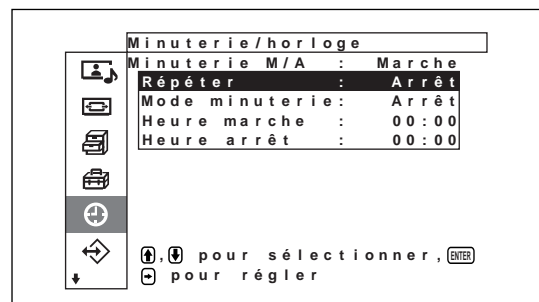
Lorsque vous appuyez sur la touche DISPLAY de la télécommande, l'horloge affichée dans le coin de l'écran disparaît et, à sa place, le signal en entrée et le Mode image sont affichés. Si vous appuyez de nouveau sur la touche DISPLAY, l'horloge réapparaît dans le coin de l'écran.

Activation/désactivation de la fonction de timer

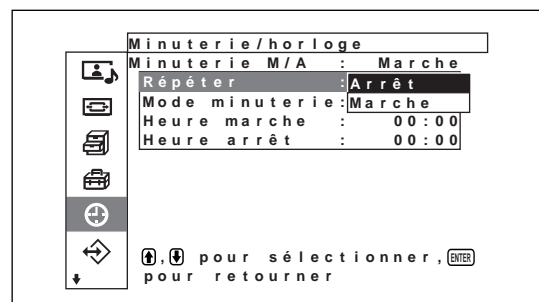
- 1** Dans le menu Minuterie/horloge, appuyez sur les touches **↑/↓** pour déplacer le curseur (jaune) sur "Minuterie M/A" et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît sur l'écran du moniteur.



- 2** Sélectionnez Marche à l'aide des touches **↑/↓** et appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 3** Sélectionnez "Répéter" avec la touche **↑/↓**, puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant s'affiche à l'écran.

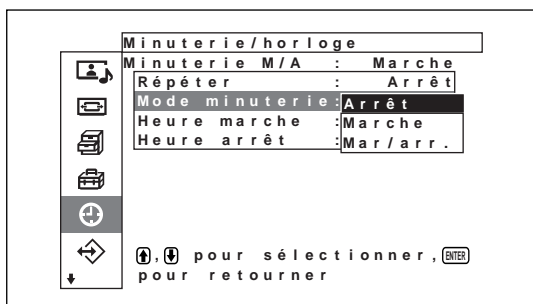


- 4** Sélectionnez le mode de répétition avec la touche **↑/↓**.
Arrêt: l'appareil est allumé ou éteint une seule fois.
Marche: l'appareil est allumé ou éteint une fois par jour, à la même heure pré-réglée.

- 5** Appuyez sur ENTER.
Le menu Minuterie M/A s'affiche de nouveau.

- 6** Sélectionnez Mode minuterie à l'aide des touches \uparrow/\downarrow et appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage.



- 7** Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour sélectionner le mode de la minuterie.

Arrêt: l'appareil s'éteint à l'heure réglée sous Heure arret.

Marche: l'appareil s'allume à l'heure réglée sous Heure marche.

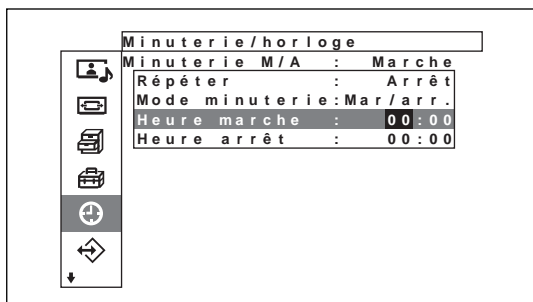
Mar/arr.: l'appareil s'allume à l'heure réglée sous Heure marche, et s'éteint à l'heure réglée sous Heure arret.

- 8** Appuyez sur ENTER.

Le menu Minuterie M/A s'affiche de nouveau.

- 9** Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) sur "Heure marche", puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît dans la fenêtre d'affichage. La zone située derrière l'heure est affichée en bleu clair.



- 10** Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour régler l'heure, puis appuyez sur ENTER.

L'heure est valide et les minutes s'affichent en relief.

- 11** Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour régler les minutes, puis appuyez sur ENTER.

Appuyez sur \leftarrow pour revenir à l'écran affiché à l'étape 2.

Lorsque vous utilisez les touches de l'appareil, appuyez sur la touche MENU pour fermer le menu et réglez [Fonction MENU] (page 24 (FR)) dans le menu de configuration initiale sur [Retour]. A partir de ce moment, la touche MENU de l'appareil possède la même fonction que la touche \leftarrow .

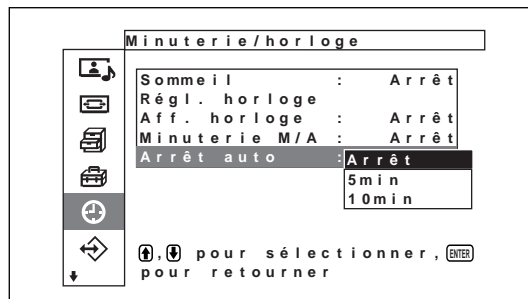
- 12** Appuyez sur \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) sur "Heure arret", puis appuyez sur ENTER.

Procédez de la même façon que pour le réglage de l'heure et des minutes d'activation de l'alimentation.

Fonction d'économie d'énergie (MODE ECO)

- 1** Dans le menu Minuterie/horloge, appuyez sur \uparrow/\downarrow pour déplacer le curseur (jaune) sur "Arrêt auto", puis appuyez sur ENTER.

Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 2** Appuyez sur les touches \uparrow/\downarrow pour définir le laps de temps après lequel le moniteur doit passer en mode d'économie d'énergie.

Arrêt: La fonction d'économie d'énergie ne fonctionne pas

5min.: pour passer en mode d'économie d'énergie si aucun signal d'entrée n'est reçu au bout de cinq minutes

10min.: pour passer en mode d'économie d'énergie si aucun signal d'entrée n'est reçu au bout de dix minutes

Lorsque la fonction d'économiseur d'écran est activée, l'appareil passe en mode de veille.

Pour annuler la fonction d'économie d'énergie

- Appuyez sur le commutateur \odot de la section du commutateur / indicateur \odot (veille) ou sur le commutateur POWER ON de la télécommande.

Fonction d'auto-diagnostic

L'appareil est équipé d'une fonction d'auto-diagnostic. Cette fonction permet d'afficher l'état de l'écran sur la base de la séquence de clignotement de l'indicateur STANDBY. Cette séquence de clignotements vous informe de l'état actuel de l'écran.

Si l'indicateur STANDBY clignote, vérifiez le nombre de clignotements et contactez votre distributeur Sony agréé.

1 Vérifiez la séquence de clignotement de l'indicateur STANDBY.

L'indicateur clignote (avec une image affichée sur l'écran) ou clignote toutes les trois secondes (sans qu'aucune image n'apparaisse sur l'écran).

Comptez le nombre de clignotements si l'indicateur clignote à des intervalles de trois secondes. Par exemple, l'indicateur clignote deux fois, suivi par une pause de trois secondes, puis clignote deux autres fois et cette séquence est répétée. Dans ce cas, le nombre de clignotements est égal à deux.

2 Débranchez l'appareil.

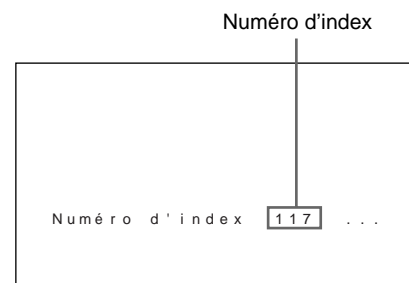
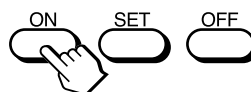
Communiquez ce nombre de clignotements à votre distributeur Sony agréé.

Utilisation d'un écran spécifique avec la télécommande

A l'aide de la télécommande fournie, vous pouvez utiliser un écran spécifique sans agir sur d'autres écrans également installés.

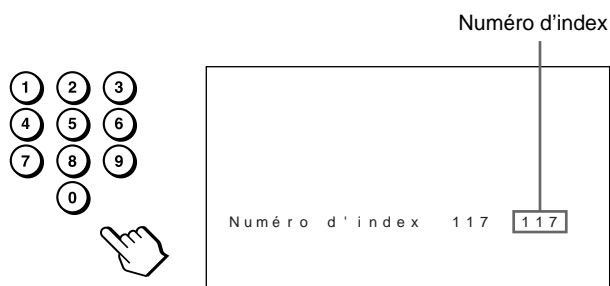
1 Appuyez sur ID MODE ON de la télécommande. Les numéros d'index de l'écran apparaissent en caractères blancs sur tous les écrans. (Chaque écran reçoit un numéro d'index prédéfini individuel compris entre 1 et 255).

Voir "Pour modifier le numéro d'index" dans la colonne de droite de la page suivante pour modifier le numéro d'index.

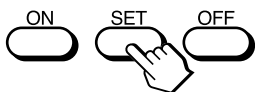


2 Entrez le numéro d'index de l'écran que vous souhaitez utiliser à l'aide des touches 0 – 9 de la télécommande.

Le numéro entré apparaît à droite du numéro d'index de chaque écran.



- 3** Appuyez sur ID MODE SET.
Les caractères de l'affichage sélectionné deviennent bleu cyan tandis que les autres deviennent vert. L'alimentation ON/STANDBY s'applique également aux autres affichages.



Vous pouvez utiliser uniquement l'écran spécifié. (Toutes les opérations sont disponibles en mode ID, sauf la mise sous/hors tension de l'alimentation.)

- 4** Lorsque toutes les modifications de paramétrage sont terminées, appuyez sur la touche ID MODE OFF.
L'écran revient au mode normal.

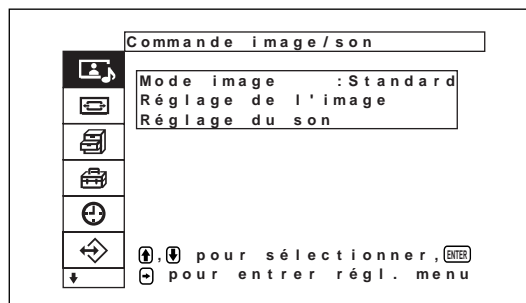


Pour modifier le numéro d'index

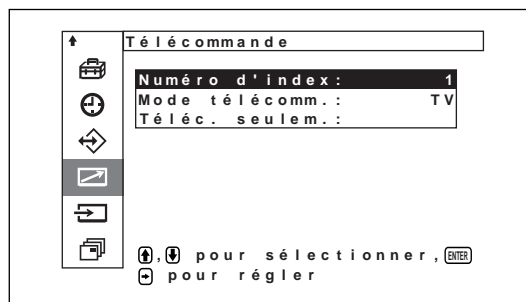
Vous pouvez modifier le numéro d'index si nécessaire.

Lorsque vous modifiez le numéro, utilisez les touches de la partie de l'écran contenant les touches de commande.

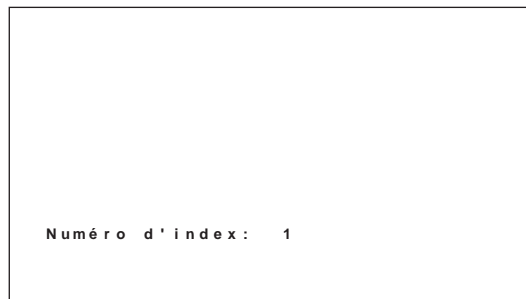
- 1** Appuyez sur MENU.
Le menu principal apparaît à l'écran.



- 2** Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur "Télécommande" puis appuyez sur ENTER.
Le menu Télécommande apparaît à l'écran.



- 3** Appuyez sur les touches ↑/↓ pour déplacer le curseur (jaune) sur "Numéro d'index" puis appuyez sur ENTER.
Le menu suivant apparaît à l'écran.



- 4** Sélectionnez le numéro d'index à l'aide des touches ↑/↓ et appuyez sur ENTER.
Le menu Télécommande réapparaît.

Utilisation d'autres modèles de télécommande

Les opérations suivantes peuvent être effectuées à l'aide de la télécommande.

- Mise sous/hors tension
- Sélection de l'entrée
- Exploitation des menus
- Réglages d'image: contraste, phase et intensité des couleurs
- Activation/désactivation de l'affichage à l'écran

Les opérations et les touches disponibles pour chaque opération sont limitées en fonction de chaque télécommande. Voir le tableau ci-dessous.

Modèle de télécommande		RM-854	RM-921	RM-PJ1001
paramètre MODE TELECOM		TV	TV	PJ
Sélection de l'entrée	INPUT1	RGB	RGB1	A
	INPUT2	—	RGB2	B
	VIDEO	LINE1	LINE	VIDEO
Exploitation des menus	MENU	MENU	MENU	MENU ou ←
	ENTER	ENTER	ENTER	ENTER ou →
	↑	+	SELECT+↑	↑
	↓	-	SELECT-↓	↓
Réglage d'image	Contraste	CONTRAST+/-	—	CONTR+/-
	Chroma	CHROMA+/-	—	COLOR+/-
	Phase	PHASE+/-	—	HUE+/-
Informations à l'écran		DISPLAY	DISPLAY	STATUS ON

Spécifications

Traitement du signal vidéo

Signal présélectionné	voir page 28 (FR)
Phase de décalage	13,5 MHz à 140 MHz
Panneau d'affichage	Panneau d'affichage à plasma de type CA
Résolution d'affichage	1 365 points (horizontal) × 768 lignes (vertical)
Profondeur de pixel	0,81 (horizontal) × 0,81 (vertical) mm ($\frac{1}{32} \times \frac{1}{32}$ pouces)
Taille d'image	1 106 (horizontal) × 622 (vertical) mm ($43 \frac{17}{32} \times 24 \frac{1}{2}$ pouces)
Taille de panneau	50 pouces (diagonale 1270 mm)

Entrées et sorties

INPUT1/INPUT2

RGB/YUV	D-sub à 15 broches (femelle) (× 2) (voir "Attribution des broches", page 52 (FR))
AUDIO	Miniprise stéréo 500 mVrms, haute impédance

H.P.

7 W + 7 W (6 ohms), impédance directe asymétrique : 6 à 16 ohms

CONTROL S IN/OUT

REMOTE (RS-232C)	D-sub à 9 broches (×1)
------------------	------------------------

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)¹⁾

COMPOSITE IN	Type BNC (×1) Vidéo composite, 1 Vcc ±2 dB sync négatif, 75 ohms (termination automatique)
Y/C IN	Miniconnecteur DIN à 4broches (×1) Y (luminosité): 1 Vcc ±2 dB négatif, 75 ohms (termination) C (chrominance): Salve 0.286 Vcc ±2 dB (NTSC), 75 ohms (termination) Slave 0,3 Vcc ± 2 dB (PAL), 75 ohms (termination)

AUDIO IN	Miniprise stéréo 500 m Vrms, haute impédance
COMPOSITE OUT	Type BNC (×1) boucle directe
Réglementations de sécurité	UL1950, CSA No. 950 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

Généralités

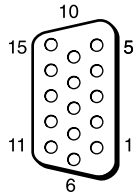
Alimentation nécessaire	de 100 à 240 V AC, 50/60 Hz, 5,4 à 2,2 A
Consommation électrique	490 W
Conditions d'utilisation	Température: 0 à 35 °C (32 °F à 95 °F) Humidité: de 20 à 90% (sans condensation) Pression atmosphérique : de 700 à 1 060 hPa
Conditions de stockage/transport	Température: de -10 °C à +40 °C (14 °F à 104 °F) Humidité: de 20 à 90% (sans condensation) Pression atmosphérique: de 720 à 1 114 hPa
Dimensions	1 246 × 755 × 100 mm (49 $\frac{1}{8}$ × 29 $\frac{3}{4}$ × 4 pouces) (l/h/p, hors éléments saillants)
Masse	46,7 kg (102 lb 15 oz)
Accessoires fournis	Cordon d'alimentation secteur (1) Support de prise secteur (2) Porte-câble A (2) Porte-câble B (6) Télécommande RM-971 (1) Piles R6 (AA) (2) Mode d'emploi (1)
Accessoires en option	Support d'écran SU-P50C Haut-parleur SS-SP10A Adaptateur d'entrée vidéo BKM-B10 (uniquement pour le modèle PFM-50C1E)

La conception et les spécifications sont sujettes à modifications sans préavis.

¹⁾ Le PFM-50C1E n'est pas équipé de connecteurs VIDEO. Pour le modèle PFM-50C1E, la vidéo composite et l'entrée Y/C peuvent être entrés sur le moniteur lorsque l'adaptateur d'entrée vidéo BKM-B10 (non fourni) est installé sur le moniteur.

Attribution des broches

Connecteur RGB/YUV (D-sub à 15 broches)




N° de broche	Signal
1	Vidéo rouge ou R-Y ou P _R
2	Vidéo vert ou Y ou Sync On Green
3	Vidéo bleu ou B-Y ou P _B
4	Masse
5	Masse
6	Masse du rouge
7	Masse du vert
8	Masse du bleu
9	Non utilisé
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	Sync H ou sync composite
14	Sync V
15	SCL

ACHTUNG

Um Feuergefahr und die Gefahr eines elektrischen Schlags zu vermeiden, setzen Sie das Gerät weder Regen noch sonstiger Feuchtigkeit aus.

Im Inneren des Geräts liegen gefährlich hohe Spannungen an. Öffnen Sie daher das Gehäuse nicht. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

Sicherheitsmaßnahmen	5 (DE)
Merkmale und Funktionen	6 (DE)
Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente	7 (DE)
Vorderseite / Rückseite / Rechte Seite	7 (DE)
Bereich für Netzschalter  (Bereitschaft) / Netzanzeige	8 (DE)
Steuertastenbereich (Oberseite)	8 (DE)
Anschlußfeld	9 (DE)
Fernbedienung RM-971	11 (DE)
Vorsicht	13 (DE)
Anschließen des Monitors	14 (DE)
Anschließen der Lautsprecher	14 (DE)
Anschließen des Netzkabels	14 (DE)
Anschlußbeispiel	14 (DE)
Anbringen des Ferritkerns	16 (DE)
Die Bildschirmmenüs	18 (DE)
Arbeiten mit den Menüs	18 (DE)
Übersicht über die Menüs	18 (DE)
Die Anzeigefunktionen	26 (DE)
Wechseln des Eingangssignals	26 (DE)
Anzeige von Eingangssignal, Bildmodus und Monitorstatus	27 (DE)
Wechseln des Anzeigemodus	29 (DE)
Energiesparfunktion	29 (DE)
Auswählen der Bildqualität	30 (DE)
Einstellen der Bildqualität	31 (DE)
Einstellen von Kontrast, Helligkeit, Farbe, Phase usw.	31 (DE)
Zurücksetzen der Optionen im Menü Bild einstellen auf ihre ursprünglichen Werte	34 (DE)
Bildvergrößerung	34 (DE)
Einstellen der automatischen Breitbildfunktion	35 (DE)
Einstellen des Zoom-Modus	36 (DE)
Einstellen von Bildgröße und Bildposition	37 (DE)
Einstellen der Bildgröße	37 (DE)
Einstellen der Bildposition	37 (DE)
Einstellen der Pixel	38 (DE)

Zurücksetzen der Optionen im Menü Bildschirm einstellen auf die ursprünglichen Werte	38 (DE)
Einstellen der Tonqualität	39 (DE)
Einstellen der Höhen, Bässe, Balance usw.	39 (DE)
Zurücksetzen der Optionen im Menü Ton einstellen auf die ursprünglichen Werte	39 (DE)
Die Speicherfunktion	40 (DE)
Speichern der aktuellen Einstellungen	40 (DE)
Aufrufen der gespeicherten Einstellungen	41 (DE)
Auswählen der Menüsprache	42 (DE)
Bildschirmschoner-funktion	42 (DE)
Umkehren der Bildfarben	42 (DE)
Automatisches Verschieben der Bildposition	44 (DE)
Einstellen der Farbmatrix	44 (DE)
Automatisches Steuern des Ein-/Ausschaltens (Ein-/Ausschaltautomatik)	45 (DE)
Sleep-Funktion	45 (DE)
Einstellen der Uhrzeit	46 (DE)
Anzeigen der Uhrzeit	46 (DE)
Timer-Funktion zum Ein-/Ausschalten	47 (DE)
Energiesparfunktion	48 (DE)
Selbstdiagnosefunktion	49 (DE)
Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung	49 (DE)
Verwenden anderer Fernbedienungsmodelle	51 (DE)
Technische Daten	52 (DE)

Sicherheitsmaßnahmen

Sicherheit

- Ein Typenschild mit Betriebsspannung, Leistungsaufnahme usw. befindet sich an der Geräterückseite.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gehäuse gelangen, trennen Sie das Gerät von der Netzsteckdose. Lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Wollen Sie das Gerät einige Tage oder länger nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.
- Um das Gerät vom Netzstrom zu trennen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Netzsteckdose. Ziehen Sie nicht am Kabel.
- Wenn der Monitor aufgestellt wird, verwenden Sie bitte unbedingt den gesondert erhältlichen Ständer.

Aufstellung

- Achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, damit sich im Gerät kein Wärmestau bildet. Stellen Sie das Gerät nicht auf Oberflächen wie Teppichen oder Decken oder in der Nähe von Materialien wie Gardinen und Wandbehängen auf, die die Lüftungsöffnungen blockieren könnten.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.
- Wenn Sie mehrere andere Geräte an dieses Gerät anschließen, kann es je nach Standort dieses Geräts und der anderen Geräte zu folgenden Problemen kommen: Fehlfunktionen der Fernbedienung, Bildstörungen und Tonstörungen.

Plasmabildschirm

- Möglicherweise sind ständig einige helle Lichtpunkte (rot, blau oder grün) oder vorübergehend schwarze Punkte auf dem Bildschirm zu sehen. Dabei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion. Der Plasmabildschirm wird mit einer Hochpräzisionstechnologie hergestellt. Dennoch können einige wenige dunkle oder helle Pixel auftreten. Dunkle Punkte am Bildschirmrand oder Farbstreifen und Helligkeitsunregelmäßigkeiten deuten nicht auf eine Fehlfunktion hin.
- Lassen Sie nicht für lange Zeit dasselbe Standbild ununterbrochen anzeigen. Andernfalls können auf einem Teil des Bildschirms ein Nachbild oder Doppelbilder zu sehen sein. Aktivieren Sie in einem solchen Fall die Bildschirmschonerfunktion, damit die Anzeige wechselt.

- Wenn dieser Plasmabildschirm an Orten mit niedrigem Luftdruck, wie z. B. in großer Höhe, verwendet wird, kann aufgrund des Herstellungsverfahrens ein Brummen oder Summen vom Gerät zu hören sein.
- Wenn Sie für lange Zeit dasselbe Standbild ununterbrochen auf dem Bildschirm anzeigen lassen, kann das Bild auf dem Bildschirm einbrennen, so daß ständig ein Nachbild zu sehen ist. Um dies zu vermeiden, verwenden Sie bitte die Bildschirmschonerfunktion, die dafür sorgt, daß die Anzeige gleichmäßig wechselt. Wenn Nachbilder auftreten, verwenden Sie die Bildschirmschonerfunktion oder eine andere Video- oder Bildsoftware, die eine ständig bewegte Anzeige erzeugt. Wenn die durch das Einbrennen des Bildes entstandenen Nachbilder schwach sind, lassen sie möglicherweise auch wieder nach, doch vollständig verschwinden werden sie nicht.
- Nachdem das Gerät eingeschaltet oder in den Bereitschaftsmodus geschaltet wurde, akzeptiert es zum Schutz des Plasmabildschirms einige Sekunden lang keine Befehle von der Fernbedienung oder den Funktionstasten am Gerät. Warten Sie etwa 8 Sekunden lang, bevor Sie einen Befehl eingeben.

Reinigung

Damit das Gerät immer wie neu aussieht, reinigen Sie es regelmäßig mit einer milden Reinigungslösung. Verwenden Sie keine Lösungsmittel wie Verdünnern oder Benzin und keine Scheuermittel, da sie die Gehäuseoberfläche angreifen. Trennen Sie zur Sicherheit das Gerät vor dem Reinigen von der Stromversorgung.

Hinweise zur Handhabung und Reinigung des Bildschirms

Die spezielle Bildschirmoberfläche sollte mit entsprechender Sorgfalt beim tragen und reinigen behandelt werden. Verwenden Sie zum Reinigen ein weiches Reinigungstuch, um ein direktes Berühren des Bildschirms zu vermeiden.

Verpacken

Werfen Sie den Karton und die Verpackungsmaterialien nicht weg. Sie sind ideal für den Transport des Geräts geeignet. Wenn Sie das Gerät transportieren müssen, verpacken Sie es wie auf dem Karton abgebildet.

Wenn Sie Fragen zu dem Gerät haben, wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler.

Merkmale und Funktionen

Die Geräte der Serie PFM-50C1E sind 16:9-Flachmonitore (50 Zoll) mit einem Plasmabildschirm. Dank des integrierten Bildrastrwandlers sind sie für verschiedene Signaltypen geeignet.

Verbesserte Bildqualität

Der Hochpräzisions-Plasmabildschirm des PFM-50C1E arbeitet mit 1365 Punkten × 768 Zeilen. Dies ermöglicht eine Bildreproduktion hoher Qualität bei einer Vielzahl von Bildquellen.

Digitaler Schaltkreis (Eigenentwicklung von Sony) für hohe Bildqualität

Die konsistente digitale Verarbeitung aller Bildsignale ermöglicht die originalgetreue Reproduktion von qualitativ hochwertigen Bildern.

Audioverstärker für Lautsprecher

Dieser Bildschirm ist mit digitalen Verstärkern ausgestattet, die in Kombination mit gesondert erhältlichen Lautsprechern eine hohe Tonqualität ermöglichen und Ihre Präsentationen noch wirkungsvoller machen.

Weitere Merkmale und Funktionen

- Ein Steckplatz dient als Reserve für zukünftige Erweiterungen.
- Cinema Drive-Modus
- Lautsprecherausgangsbuchsen (L/R)

- Control S (IN/OUT)
- Zwei RGB-/Farbdifferenzsignaleingänge und ein Videoeingang.
- Zeigt das HDTV-Signal mit dreistufigem Synchronisationssignal an.
- Dreidimensionaler Kammfilter für die Trennung der Y/C-Signale bei NTSC.
- Zeilenkorrelationskammfilter für die Trennung der Y/C-Signale bei PAL.
- Automatische Eingangssignalerkennung mit Anzeige auf dem Bildschirm.
- Kompatibel mit PnP (Plug and Play) von Windows¹⁾95/98.
- Funktion für dynamisches Bild
- Bildschirmmenü für verschiedene Einstellungen und Anpassungen
- Benutzerfreundliche Bildschirmmenüs in sechs Sprachen (Englisch, Deutsch, Französisch, Italienisch, Spanisch und Japanisch).
- Feineinstellung von Bildgröße und -position
- Speicher für bis zu zwanzig Bildeinstellungen.
- ID-Steuerung
- Selbstdiagnosefunktion
- Fernsteuerungsanschluß RS-232C (D-Sub, 9polig)
- Kann mit Infrarot-Fernbedienungen von Sony eingesetzt werden, sofern diese mit dem SIRCS-Code arbeiten.
- In vertikaler Position verwendbar
- Untertitel-Decoder
- Bildschirmschoner zum Verringern von Nach- oder Doppelbildern.

Warnhinweis zum Netzanschluß

Verwenden Sie das für die Stromversorgung in Ihrem Land geeignete Netzkabel.

PFM-50C1E

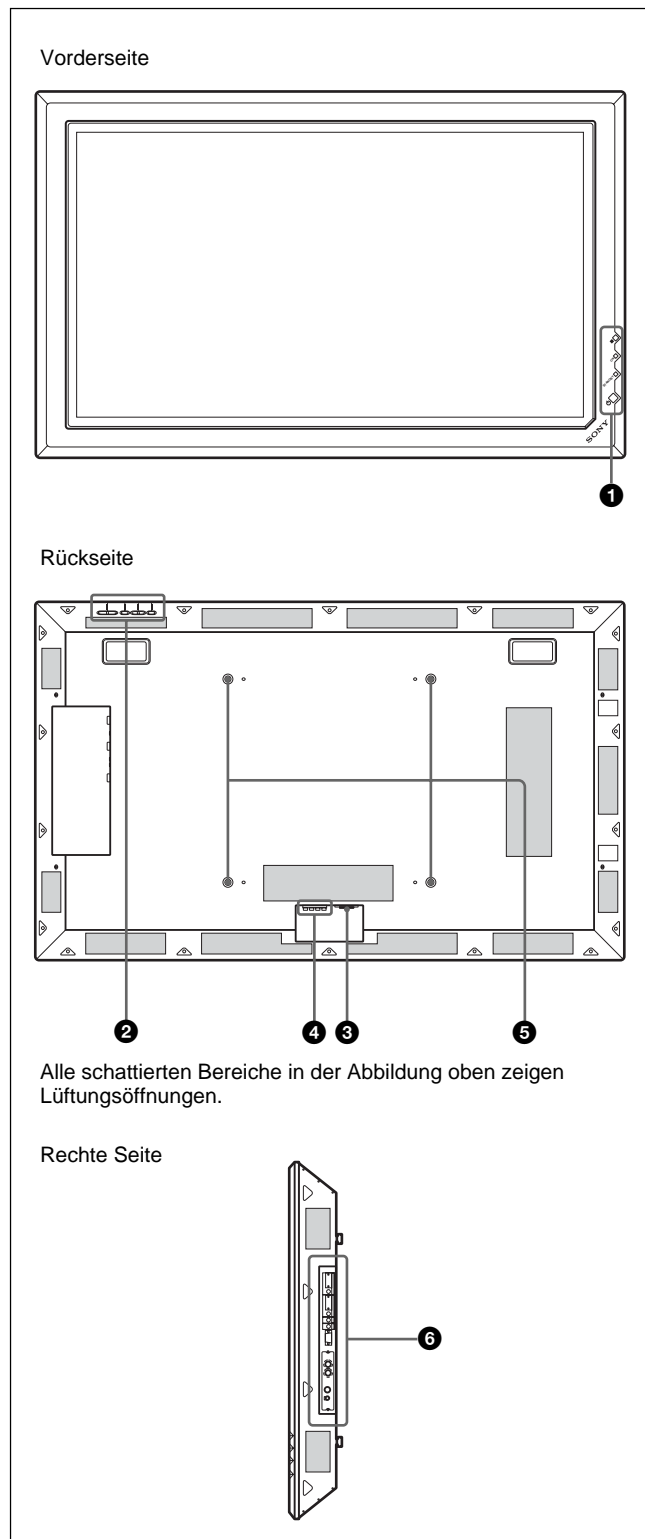
	USA, Kanada	Kontinental-europa	Großbritannien, Irland, Australien, Neuseeland	Japan
Steckertyp	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Weibliches Ende	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Kabeltyp	SVT	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Mindestwerte (Kabel)	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Sicherheitszertifizierung	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

a) Hinweis: Verwenden Sie einen geeigneten Netzstecker, der die örtlichen Bestimmungen erfüllt.

1) Windows ist ein eingetragenes Warenzeichen der Microsoft Corporation in den USA und anderen Ländern.

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

Vorderseite / Rückseite / Rechte Seite



❶ Bereich für Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) / Netzanzeige

Näheres zum Bereich für Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) / Netzanzeige finden Sie unter "Bereich für Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) / Netzanzeige" auf Seite 8 (DE).

❷ Steuertastenbereich

Näheres zum Steuertastenbereich finden Sie unter "Steuertastenbereich (Oberseite)" auf Seite 8 (DE).

❸ Netzbuchse ~ AC IN socket

Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel an diese Buchse und an eine Netzsteckdose an. Sobald Sie das Netzkabel angeschlossen haben, leuchtet die Anzeige STANDBY rot, und der Monitor wechselt in den Bereitschaftsmodus.

Nähere Informationen zum Netzkabel finden Sie unter "Anschließen des Netzkabels" auf Seite 14 (DE).

❹ Buchse SPEAKER (Audioausgang)

Die Audiosignale der auf dem Bildschirm angezeigten Bilder werden ausgegeben, wenn an dieser Buchse gesondert erhältliche Lautsprecher angeschlossen sind.

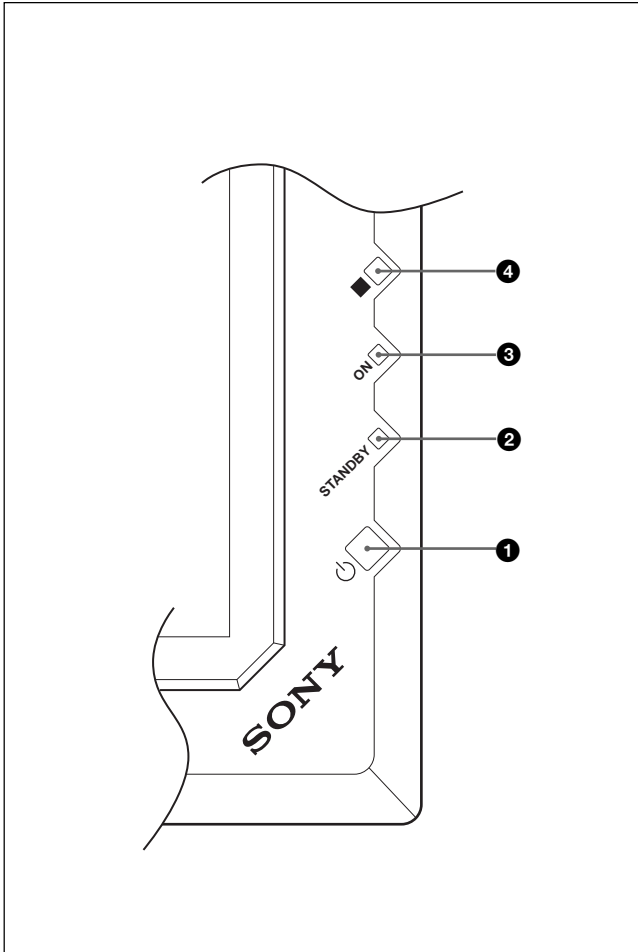
❺ Haken für Ständerbefestigung

Befestigen Sie mit diesen Haken den Ständer (nicht mitgeliefert).

❻ Anschlußfeld

Einzelheiten zum Anschlußfeld finden Sie unter "Anschlußfeld" auf Seite 9 (DE).

Bereich für Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) / Netzanzeige



1 Netzschalter ⏻ (Bereitschaft)

Zum Einschalten des Monitors. Durch erneutes Drücken schalten Sie wieder in den Bereitschaftsmodus.

Hinweis

Zum Schutz des Bildschirms dauert es einige Sekunden, bis das Gerät eingeschaltet wird bzw. in den Bereitschaftsmodus wechselt. Nachdem Sie den Schalter einmal betätigt haben, warten Sie etwa 8 Sekunden, bevor Sie den Schalter erneut drücken.

2 Anzeige STANDBY

Leuchtet im Bereitschaftsmodus rot auf.
Wenn die Anzeige *STANDBY* blinkt, schlagen Sie unter "Selbstdiagnosefunktion" auf Seite 49 (DE) nach.

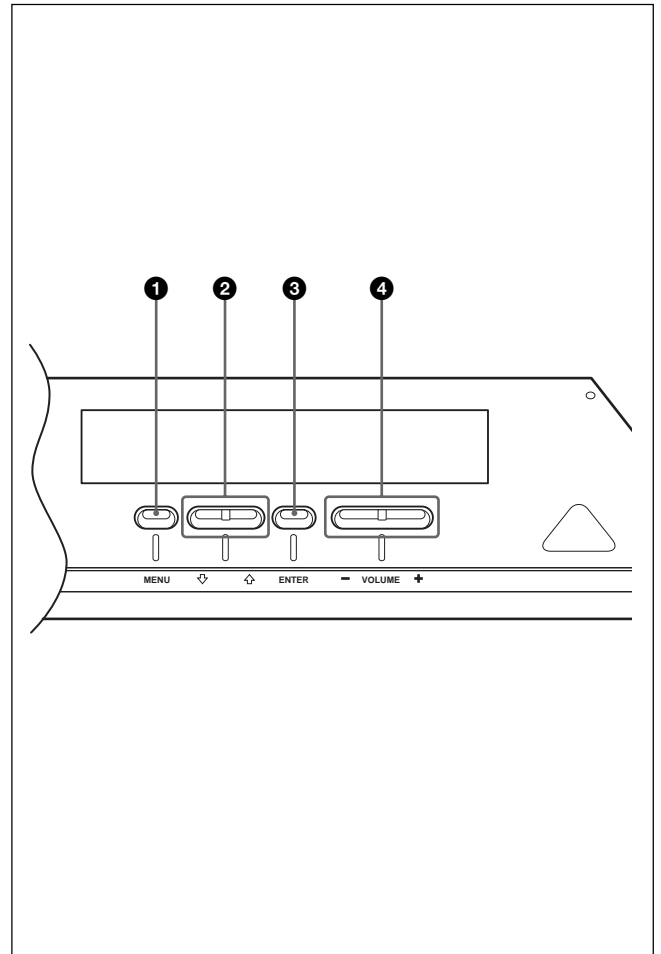
3 Anzeige ON

Leuchtet grün, wenn der Monitor eingeschaltet ist.

4 Fernbedienungsdetektor

Hier geht das Signal von der Fernbedienung ein.

Steuertastenbereich (Oberseite)



1 Taste MENU

Wenn das Menü auf dem Monitorbildschirm angezeigt wird, wechseln Sie mit dieser Taste zur vorherigen Menüebene zurück. Das Menü wird ausgeblendet, wenn Sie diese Taste erneut drücken.
Wenn Sie mit der Taste *MENU* zur vorherigen Menüebene zurückwechseln, schlagen Sie unter "Menü Anfangseinstellungen" auf Seite 23 (DE) nach.

2 Tasten ↑ / ↓

Zum Bewegen des Cursors (gelb) zu einer Option bzw. zum Einstellen eines Werts in einem Menü.

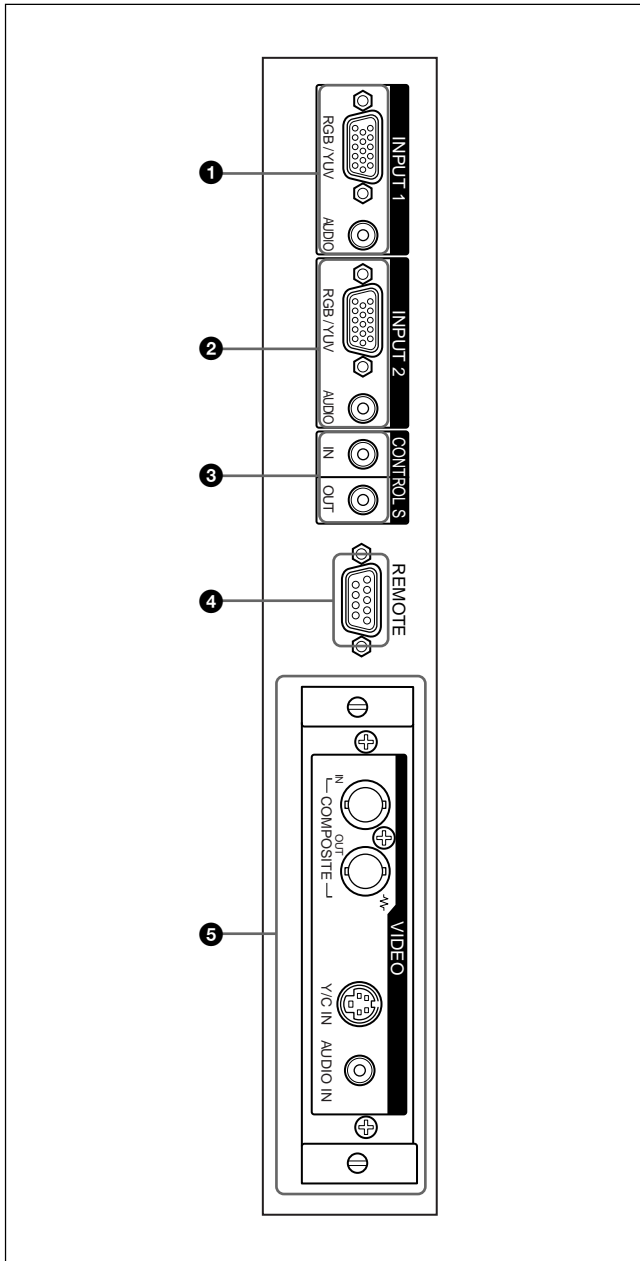
3 Taste ENTER

Zum Auswählen der gewünschten Option aus dem angezeigten Menü.

4 Taste VOLUME +/-

Zum Einstellen der Lautstärke des über die Lautsprecher ausgegebenen Tons.

Anschlußfeld



1 INPUT1-Anschlüsse

RGB/YUV (D-Sub, 15polig): Zum Anschließen an den RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang (YUV) eines Computers oder Videogeräts. Mit diesem Monitor können Sie auch ein analoges HD-Farbdifferenzsignal (Y/Pb/Pr) einspeisen. Schlagen Sie unter "Stiftbelegung" auf Seite 53 (DE) nach, wenn Sie Farbdifferenzsignale einspeisen wollen.

AUDIO (Stereominibuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Computers oder Videogeräts.

2 INPUT2-Anschlüsse

RGB/YUV (D-Sub, 15polig): Zum Anschließen an den RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang (YUV) eines Computers oder Videogeräts. Bei diesem Monitor können Sie auch ein analoges HD-Farbdifferenzsignal (Y/Pb/Pr) einspeisen. Schlagen Sie unter "Stiftbelegung" auf Seite 53 (DE) nach, wenn Sie Farbdifferenzsignale einspeisen wollen.

AUDIO (Stereominibuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Computers oder Videogeräts.

3 Anschluss CONTROL S IN/OUT (Ein-/Ausgang für Control-S-Signal) (Minibuchse)

Sie können mehrere Geräte mit nur einer Fernbedienung steuern, wenn das Gerät an den Anschluss CONTROL S eines Videogeräts oder eines anderen Bildschirms angeschlossen wird. Verbinden Sie den Anschluss CONTROL S OUT an diesem Bildschirm mit dem Anschluss CONTROL S IN am anderen Gerät und verbinden Sie den Anschluss CONTROL S IN an diesem Bildschirm mit dem Anschluss CONTROL S OUT am anderen Gerät.

4 RS-232C-Anschluß REMOTE (D-Sub, 9polig)

Mit diesem Anschluß können Sie den Monitor über das RS-232C-Protokoll fernsteuern. Näheres dazu erfahren Sie bei Ihrem autorisierten Sony-Händler.

5 VIDEO-Anschlüsse

Der PFM-50C1E ist nicht mit VIDEO-Anschlüssen ausgestattet. Beim PFM-50C1E können FBAS-Video- und Y/C-Signale nur eingespeist werden, wenn der Videoeingangsadapter BKM-B10 (nicht mitgeliefert) im Monitor installiert ist.

COMPOSITE IN (BNC-Anschluß): Zum Anschließen an den FBAS-Videosignalausgang eines Videogeräts.

COMPOSITE OUT (BNC-Anschluß): Zum Anschließen an den FBAS-Videosignaleingang eines Videogeräts.

Y/C IN (Mini-DIN, 4polig): Zum Anschließen an den Y/C-Signalausgang eines Videogeräts.

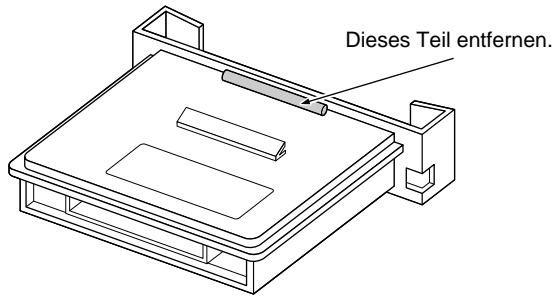
AUDIO IN (Stereominibuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts.

Bringen Sie die unten aufgeführten Ferritkerne oder kompatible Modelle an den Kabeln an, die Sie an die INPUT1- oder INPUT2-Signalanschlüsse RGB/YUV anschließen.

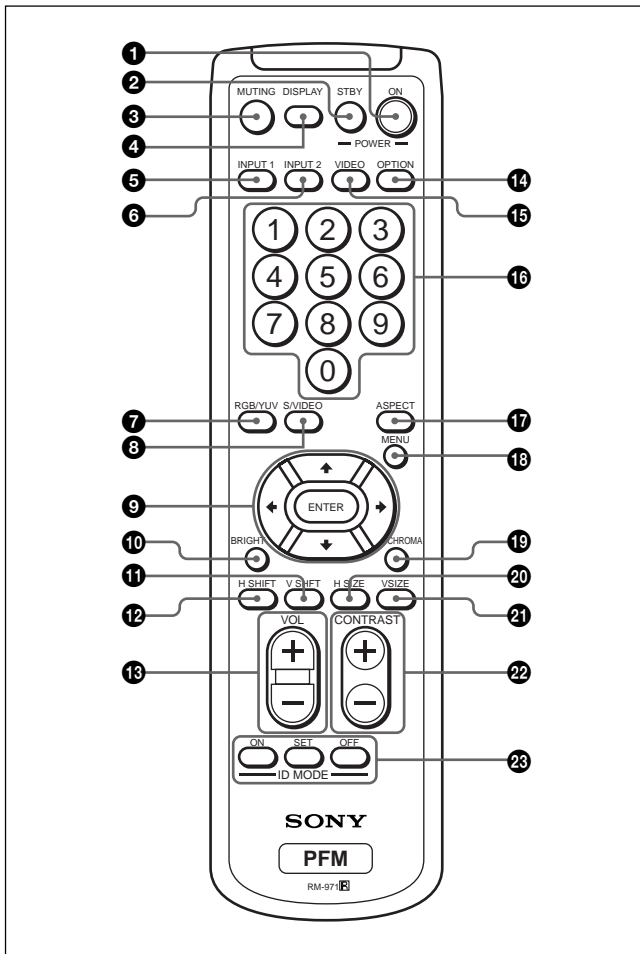
SMF-400 (DSub-DSub 15P)

MTSB-15HKBB-18 (DSub 15P-BNC)

Wenn Sie den PFM-50C1E mit der BKM-B10 (nicht mitgeliefert) verwenden und seitliche Streifen auf dem Bildschirm auftreten, entfernen Sie das in der Abbildung gezeigte Teil.



Fernbedienung RM-971



1 Schalter POWER ON

Zum Einschalten des Monitors.

2 Taste STANDBY

Mit diesem Schalter wird der Monitor in den Bereitschaftsmodus geschaltet.

3 Taste MUTING

Zum Stummschalten des Tons.

4 Taste DISPLAY

Zum Anzeigen von Informationen zum Eingangssignal und zum Bildmodus am Bildschirm. Drücken Sie die Taste nochmals, wenn Sie die Informationen wieder ausblenden wollen. Drücken Sie die Taste nochmals, wenn Sie die Informationen wieder ausblenden wollen. Wenn die angezeigte Information eine kurze Zeit lang unberührt belassen wird, verschwindet sie automatisch.

5 Taste INPUT1

Zum Auswählen des Signals, das über die INPUT1-Anschlüsse eingespeist wird.

6 Taste INPUT2

Zum Auswählen des Signals, das über die INPUT2-Anschlüsse eingespeist wird.

7 Taste RGB/YUV

Zum Auswählen des Formats, das dem Eingangssignal an Anschluß INPUT1 oder INPUT2 entspricht. Mit jedem Tastendruck wird zwischen RGB und YUV gewechselt.

8 Taste S/VIDEO

Zum Auswählen des Signals, das über den Anschluss COMPOSITE IN oder Y/C IN der VIDEO-Anschlüsse eingespeist wird. Mit jedem Tastendruck wird zwischen COMPOSITE IN und Y/C IN gewechselt.

9 Tasten ↑/↓/←/→/ENTER

Mit den Tasten ↑/↓/←/→ können Sie den Cursor (gelb) im Menü bewegen und Werte einstellen usw. Wenn Sie die Taste ENTER drücken, wird das ausgewählte Menü geöffnet oder die Einstellung bestätigt.

10 Taste BRIGHT

Zum Einstellen der Helligkeit, wenn der Bildmodus auf "Benutz. 1-3" eingestellt ist. Drücken Sie diese Taste und stellen Sie dann die Helligkeit mit der Taste ↑/↓ oder ←/→ 9 ein.

11 Taste V SHIFT

Zum Einstellen der vertikalen Zentrierung. Drücken Sie diese Taste, und stellen Sie dann die vertikale Zentrierung mit der Taste ↑/↓ 9 ein.

12 Taste H SHIFT

Zum Einstellen der horizontalen Zentrierung. Drücken Sie diese Taste, und stellen Sie dann die horizontale Zentrierung mit der Taste ↑/↓ oder ←/→ 9 ein.

13 Taste VOLUME +/-

Zum Einstellen der Lautstärke.

14 Taste OPTION

Zum Auswählen des Signals, das über den gesondert erhältlichen Adapter (außer BKM-B10) eingespeist wird, falls ein solcher im Gerät installiert wird.

15 Taste VIDEO

Zum Auswählen des Signals, das über den Anschluss COMPOSITE IN oder Y/C IN der VIDEO-Anschlüsse eingespeist wird.

16 Zahlentasten

Dienen zum Eingeben der Indexnummer.

17 Taste ASPECT

Zum Auswählen des Bildformats (Breitbildmodus).

18 Taste MENU

Wenn das Menü auf dem Monitorbildschirm angezeigt wird, wechseln Sie mit dieser Taste zur vorherigen Menüebene zurück. Das Menü wird ausgeblendet, wenn Sie diese Taste erneut drücken. Wenn Sie mit der Taste MENU zur vorherigen Menüebene zurückwechseln, schlagen Sie unter "Menü Anfangseinstellungen" auf Seite 23 (DE) nach.

19 Taste CHROMA

Zum Einstellen der Farbe, wenn der Bildmodus auf "Benutz.1-3" eingestellt ist. Drücken Sie diese Taste und stellen Sie dann die horizontale Zentrierung mit der Taste \uparrow/\downarrow oder \leftarrow/\rightarrow $\text{\textcircled{9}}$ ein.

20 Taste H SIZE

Zum Einstellen der Bildbreite. Drücken Sie diese Taste, und stellen Sie dann die Bildbreite mit der Taste \uparrow/\downarrow $\text{\textcircled{9}}$ ein.

21 Taste V SIZE

Zum Einstellen der Bildhöhe. Drücken Sie diese Taste, und stellen Sie dann die Bildhöhe mit der Taste \uparrow/\downarrow $\text{\textcircled{9}}$ ein.

22 Taste CONTRAST +/-

Zum Einstellen des Kontrasts, wenn der Bildmodus auf "Benutz.1-3" eingestellt ist.

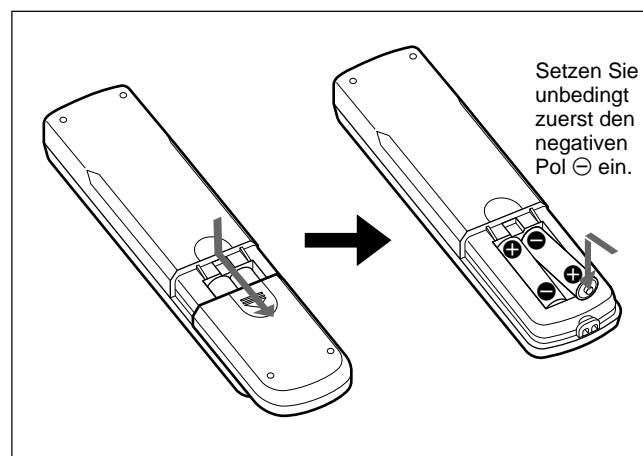
23 ID MODE-Tasten (ON/SET/OFF)

Wenn Sie die Taste ON drücken, erscheint eine Indexnummer auf dem Bildschirm. Geben Sie dann mit den Zahlentasten $\text{\textcircled{16}}$ die Indexnummer des Monitors ein, den Sie bedienen wollen, und drücken Sie die Taste SET. Danach schalten Sie mit der Taste OFF aus dem ID-Modus wieder in den normalen Modus.

Näheres zum Einstellen der Indexnummer finden Sie unter "Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung" auf Seite 49 (DE).

Einlegen der Batterien

Legen Sie zwei R6-Batterien der Größe AA polaritätsrichtig ein.



- Unter normalen Bedingungen halten die Batterien bis zu einem halben Jahr lang. Wenn die Fernbedienung nicht ordnungsgemäß funktioniert, sind die Batterien möglicherweise früher erschöpft. Tauschen Sie sie gegen neue aus.
- Wenn Sie die Fernbedienung längere Zeit nicht benutzen wollen, nehmen Sie die Batterien heraus, um Schäden durch auslaufende Batterien zu vermeiden.

Wenn die Fernbedienung nicht funktioniert

Vergewissern Sie sich, daß die Anzeige STANDBY leuchtet und Fernbed.-Modus im Menü Fernbedienung nicht auf AUS gesetzt ist. Mit der Fernbedienung kann der Monitor nur gesteuert werden, wenn beide Bedingungen unten erfüllt sind.

- Der Monitor ist eingeschaltet oder befindet sich im Bereitschaftsmodus.
- Die Option Fernbed.-Modus im Menü Fernbedienung ist auf TV oder PJ gesetzt.

Näheres zur Option Fernbed.-Modus finden Sie unter "Menü Fernbedienung" auf Seite 25 (DE).

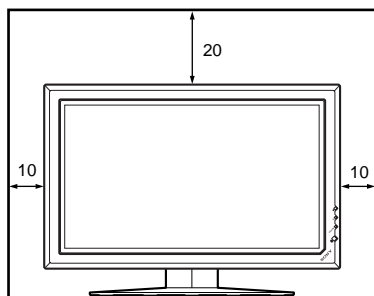
Vorsicht

Lassen Sie um den Bildschirm herum viel Platz.

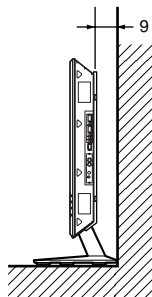
- Achten Sie beim Aufstellen bzw. Aufhängen des Monitors darauf, dass der Platz um den Bildschirm herum größer ist als in der Abbildung unten dargestellt.
- Die Umgebungstemperatur muß bei 0 °C bis +35 °C liegen.
- Verwenden Sie als Ständer den Monitorständer SU-P50C (nicht mitgeliefert).
- Wenn das Gerät eingeschaltet ist, können sich einige Teile stark erhitzen und es besteht Verbrennungsgefahr. Berühren Sie nicht die Ober- und Rückseite des Monitors, wenn dieser eingeschaltet ist oder gerade in den Bereitschaftsmodus geschaltet wurde.

Bei Verwendung des Ständers (nicht mitgeliefert)

Vorderseite



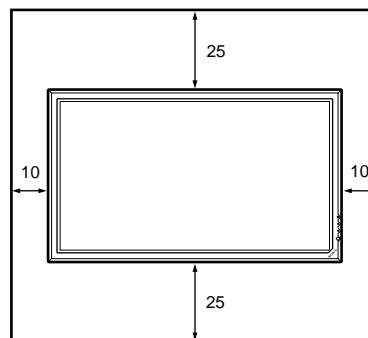
Seite



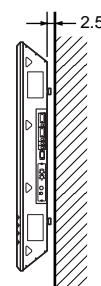
Einheit: cm

Wenn Sie den Monitor horizontal verwenden

Vorderseite



Seite

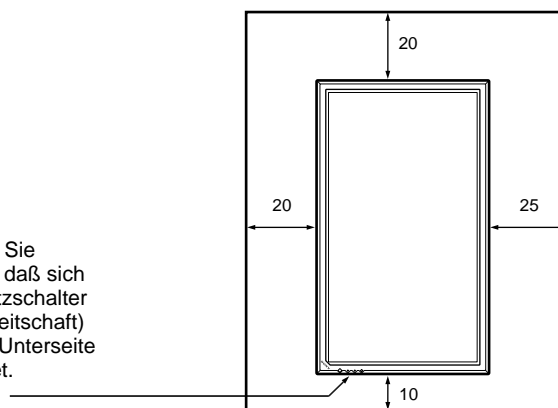


Einheit: cm

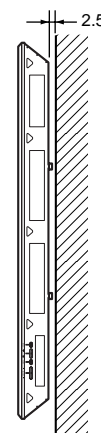
Wenn Sie den Monitor vertikal verwenden

Vorderseite

Achten Sie darauf, daß sich der Netzschalter ⏻ (Bereitschaft) an der Unterseite befindet.



Seite



Einheit: cm

Hinweise zu Nachbildern

Wenn die Bilder **1** – **5** unten längere Zeit unverändert auf dem Bildschirm angezeigt werden, kann es aufgrund der charakteristischen Merkmale von Plasmabildschirmen in einigen Bildschirmbereichen zu dauerhaften Nachbildern kommen. Sie können Nachbilder verringern, indem Sie wie in Schritt **A** – **D** erläutert vorgehen.

In folgenden Fällen kann es zu Einbrennen und Nachbildern kommen

- 1** Schwarze Streifen oben und unten bei Videoquellen im Breitbildformat (Letter Box-Bilder)
- 2** Schwarze Streifen links und rechts bei Videoquellen im 4:3-Format (normale Fernsehsendungen)
- 3** Bilder von Videospielen
- 4** DVD-Bildschirmmenüs
- 5** Bildschirmmenüs, Kanalnummern usw. von angeschlossenen Geräten wie DSS, Kabeltuner, Videodecks usw.

Maßnahmen zum Vermeiden/Verringern von Einbrennen und Nachbildern

- A** Verwenden Sie die automatische Bildverschiebung als Bildschirmschonerfunktion.
- B** Vermeiden Sie das Anzeigen von Kanalnummern, Bildschirmmenüs usw. von angeschlossenen Geräten wie DSS, Kabeltuner, Videodecks usw. Wie Sie Kanalnummern, Bildschirmmenüs usw. ausblenden, schlagen Sie bitte in der Bedienungsanleitung zum angeschlossenen Gerät nach.
- C** Verringern Sie die Helligkeit von Bildern und/oder lassen Sie Videobilder im Breitbildmodus oder im Modus Full (in voller Größe) anzeigen.
- D** Geringe Nachbilder können Sie mit der Funktion "Pic. Inversion" (Bildumkehrung) unter "Screen Saver" verringern. Wenn Nachbilder bereits entstanden sind, können sie mit dieser Funktion allerdings nicht vollständig entfernt werden.

Hinweise zu "Pic. Inversion" (Bildumkehrung) unter "Screen Saver"

Wenn das angezeigte Bild wie ein Negativ erscheint, ist die Option "Pic. Inversion" (Bildumkehrung) unter "Screen Saver" möglicherweise auf "Auto" oder "On" gesetzt. Wenn das Bild wieder normal angezeigt werden soll, wählen Sie "Off" oder stellen die unter "Auto" angegebene Zeit neu ein.

Bei der Bildumkehrung werden die Farben des Bildes umgekehrt (Beispiel: weiß wird schwarz und schwarz wird weiß). Nachbilder können durch die Anzeige der entsprechenden umgekehrten Bilder bis zu einem gewissen Grad korrigiert werden. Das Bild sieht bei der Bildumkehrung wie ein Filmnegativ aus. Dies ist keine Fehlfunktion.

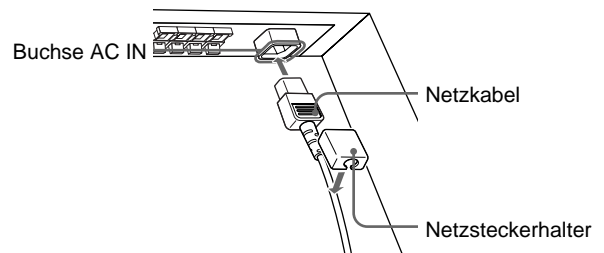
Anschließen des Monitors

Anschließen der Lautsprecher

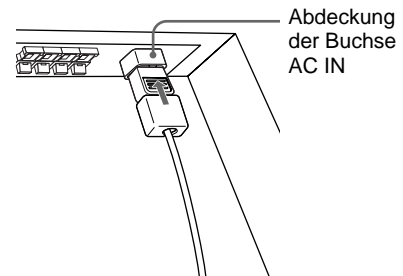
Die Wirkung der Wiedergabe wird verstärkt, wenn Sie Lautsprecher anschließen (SS-SP10A, nicht mitgeliefert). Achten Sie darauf, die Lautsprecher korrekt anzuschließen. Nähere Informationen zum Anschließen der Lautsprecher finden Sie in der Bedienungsanleitung zu den Lautsprechern.

Anschließen des Netzkabels

- 1** Schließen Sie das Netzkabel an die Buchse AC IN an. Bringen Sie dann den Netzsteckerhalter (mitgeliefert) am Netzkabel an.



- 2** Schieben Sie den Netzsteckerhalter über das Kabel, bis er mit der Abdeckung der Buchse AC IN verbunden ist.



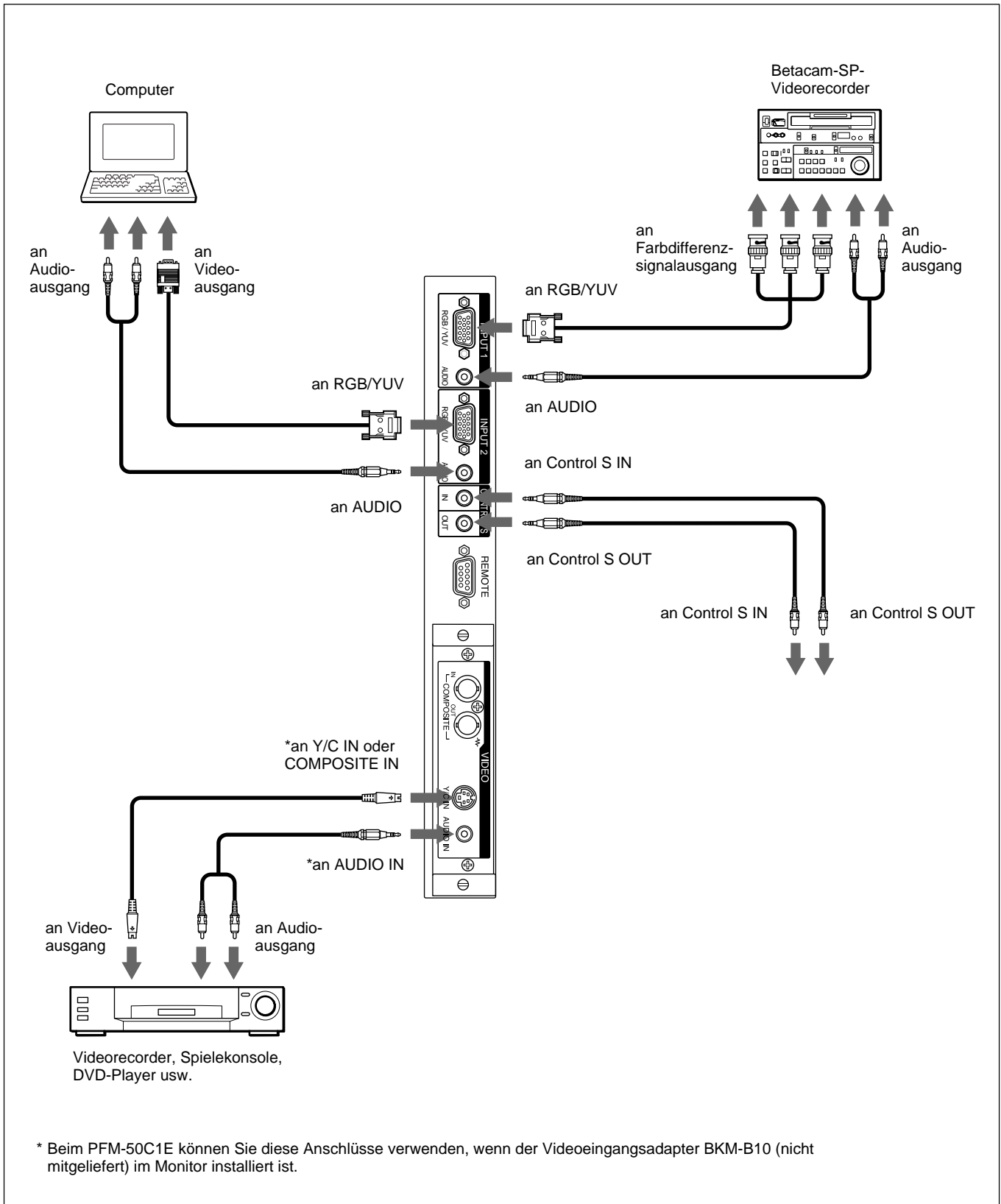
So nehmen Sie das Netzkabel ab

Nachdem Sie auf beide Seiten des Netzsteckerhalters gedrückt und ihn gelöst haben, ziehen Sie das Netzkabel am Stecker heraus.

Anschlußbeispiel

Vorbereitungen

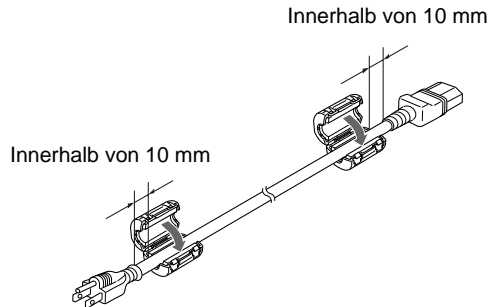
- Achten Sie darauf, daß alle Geräte ausgeschaltet sind.
- Verwenden Sie nur Kabel, die für die anzuschließenden Geräte geeignet sind.
- Achten Sie darauf, die Kabelstecker fest in die Buchsen zu stecken. Eine lose Verbindung kann Störungen verursachen.
- Um ein Kabel zu lösen, ziehen Sie immer am Stecker. Ziehen Sie auf keinen Fall am Kabel selbst.
- Schlagen Sie in den Bedienungsanleitungen zu den anzuschließenden Geräten nach.
- Stecken Sie den Stecker fest in die Buchse AC IN.
- Verwenden Sie einen der beiden Netzsteckerhalter (mitgeliefert), die den Netzstecker sicher halten.



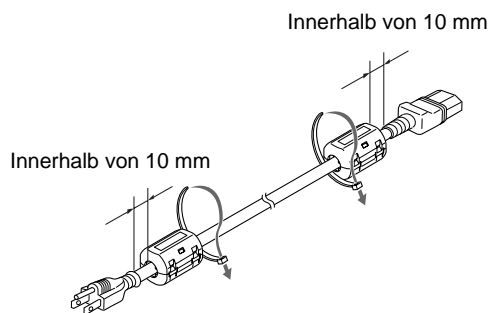
Anbringen des Ferritkerns

Anbringen am Netzkabel

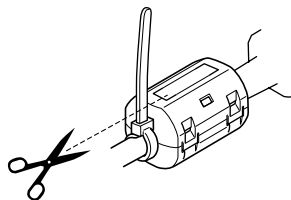
- 1 Bringen Sie die Ferritkerne an den beiden Enden des Netzkabels an, und schließen Sie sie, so daß sie mit einem Klicken einrasten.



- 2 Wickeln Sie den Stopper um das Kabel, damit die Ferritkerne nicht verrutschen können.

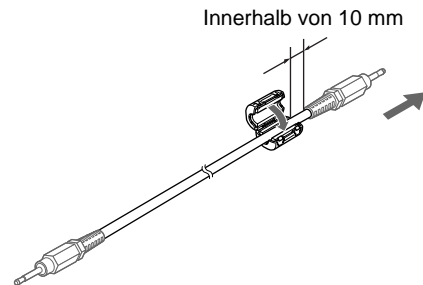


- 3 Ziehen Sie den Stopper an, und schneiden Sie überstehende Teile ab.

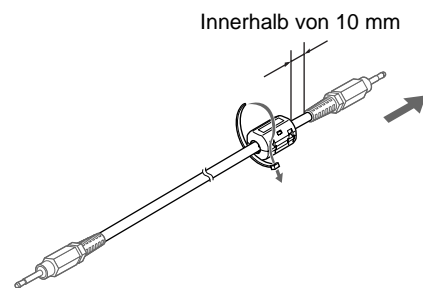


Anbringen am Kabel

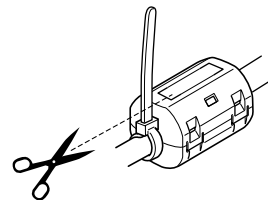
- 1 Bringen Sie den Ferritkern an dem Kabelende an, das sich näher an diesem Gerät befindet, und schließen Sie ihn so, dass er mit einem Klicken einrastet.



- 2 Wickeln Sie den Stopper um das Kabel, damit der Ferritkern nicht verrutschen kann.



- 3 Ziehen Sie den Stopper an, und schneiden Sie überstehende Teile ab.

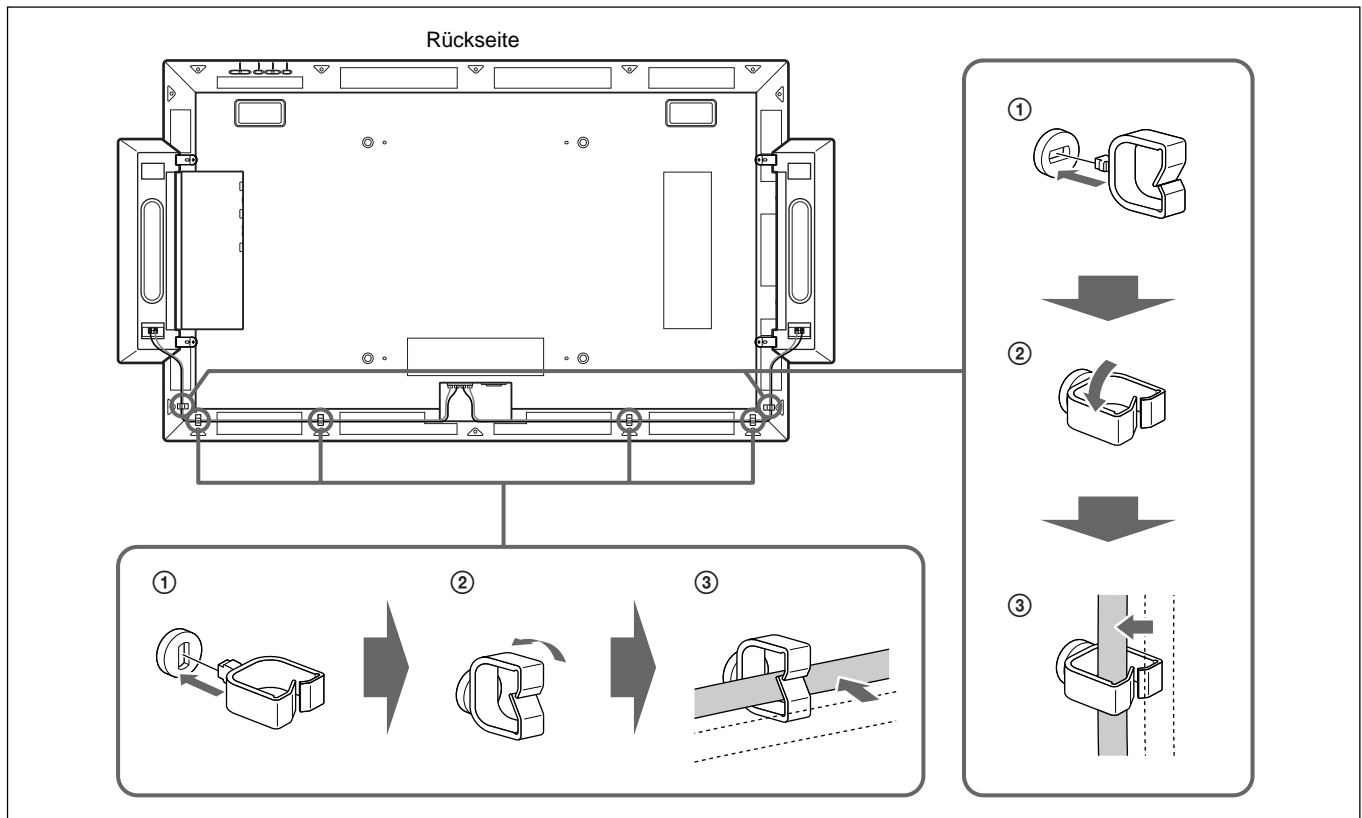


Hinweise

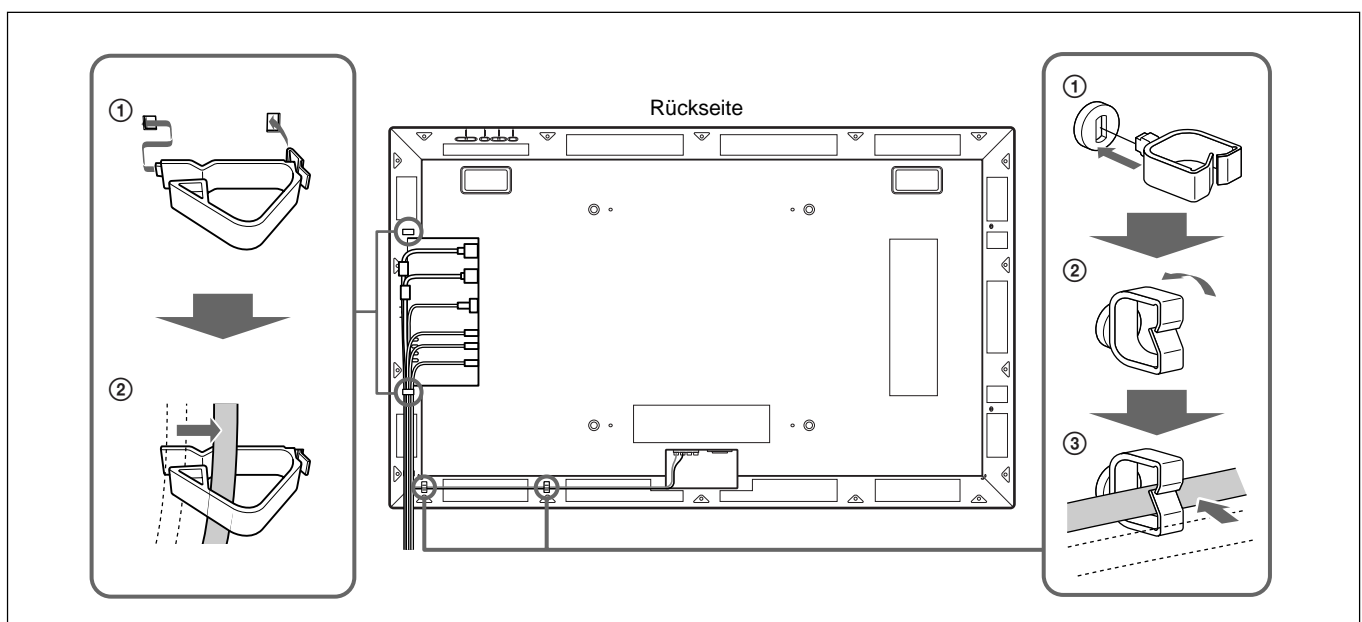
- Wenn Sie diese Einheit an verschiedene Geräte über die Anschlüsse RGB/YUV anschließen, verwenden Sie das vorgeschriebene Kabel.
SMF-400 (D-Sub 15P - 5 BNC)
SMF-410 (D-Sub 15P - D-Sub 15P)
Wenn ein Kabel an beliebige der unten aufgeführten Anschlüsse angeschlossen wird, bringen Sie den mitgelieferten Ferritkern an, bevor Sie das Kabel verwenden.
AUDIO (INPUT1)
AUDIO (INPUT2)
- Beachten Sie bitte unbedingt, dass das Gerät die EMV-Richtlinien nur erfüllt, wenn der Ferritkern am Verbindungskabel angebracht ist.

Anbringen der Kabelhalter

Die Lautsprecherkabel lassen sich mit den mitgelieferten Kabelhaltern B (×6) hervorragend bündeln. Bringen Sie die Kabelhalter wie in der Abbildung unten dargestellt an.



Wenn Sie die Lautsprecher nicht verwenden, können Sie die nicht benutzten Kabel mithilfe der Kabelhalter A (×2) und B (×2) bündeln. Die Kabelhalter werden wie in der Abbildung dargestellt angebracht.

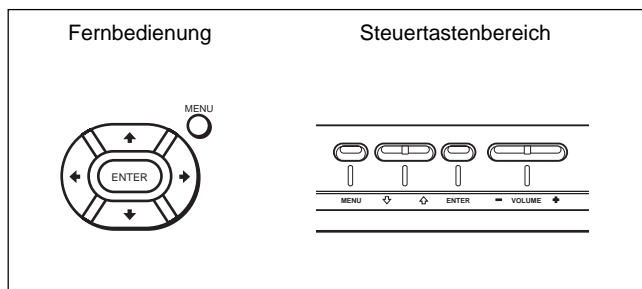


Die Bildschirmmenüs

Arbeiten mit den Menüs

Menütasten

Zur Arbeit mit den Menüs können Sie die Tasten am Monitor oder auf der Fernbedienung verwenden.



Bei den Anweisungen in dieser Bedienungsanleitung wird der Betrieb mit der Fernbedienung zugrunde gelegt. Die Tasten \uparrow/\downarrow und ENTER auf der Fernbedienung haben dieselben Funktionen wie die Tasten \uparrow/\downarrow und ENTER am Bildschirm.

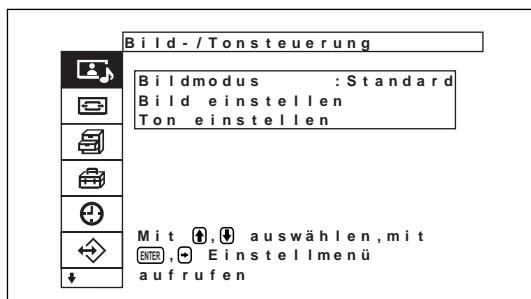
Hinweis

Das Vorgehen kann sich in einigen Fällen unterscheiden, da der Bildschirm nicht über eine Taste \leftarrow/\rightarrow verfügt.

Menükonfiguration

Erläuterungen zum Auswählen der Menüsprache finden Sie auf Seite 42 (DE).

- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Mit den Tasten \uparrow/\downarrow können Sie den Cursor (gelb) bewegen und mit der Taste ENTER ein Menü auswählen.
Der Cursor wechselt zum nächsten Menü.

- 3 Mit den Tasten \uparrow/\downarrow können Sie den Cursor (gelb) bewegen und mit der Taste ENTER eine Option auswählen.
Das Menü zu der ausgewählten Option erscheint auf dem Bildschirm.
Wenn das nächste Menü angezeigt wird, sind ähnliche Einstellungen ausgewählt.

- 4 Mit \uparrow/\downarrow können Sie eine Einstellung ändern oder auswählen, mit ENTER können Sie diese Einstellung bestätigen.
Die entsprechende Einstellung wird gespeichert, und es erscheint wieder das vorhergehende Menü.

Um zum normalen Bildschirm zurückzuschalten, drücken Sie die Taste MENU.

Zum Wechseln zwischen den Menüebenen verwenden Sie die Tasten \leftarrow/\rightarrow .

Wenn Sie mit der Taste MENU zwischen den Menüebenen wechseln wollen, schlagen Sie unter "MENU-Funktion" auf Seite 23 (DE) nach.

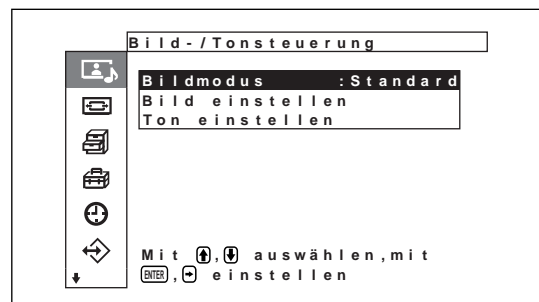
Übersicht über die Menüs

Hinweis

Optionen, die für ein Eingangssignal nicht eingestellt werden können, sind dunkelgrau unterlegt.
Darüber hinaus wird die Meldung "Einstellung nicht möglich" unten am Bildschirm angezeigt.

Menü Bild-/Tonsteuerung

Dient zum Einstellen der Bild- und Tonqualität der auf dem Bildschirm angezeigten Bilder.



Bildmodus

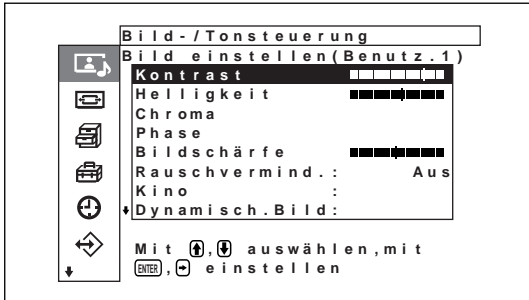
Stellt den Bildqualitätsmodus auf die Umgebungshelligkeit oder das Muster ein.
Einzelheiten dazu finden Sie unter "Auswählen der Bildqualität" auf Seite 30 (DE).

Menü Bild einstellen

Auf dem Menü BILDEINST. können Sie die Bildqualität einstellen.
Die Bildqualität kann bei Bedarf über die Menüs "Benutz.1" bis "Benutz.3" individuell eingestellt werden.

Hinweis

Die Bildqualität kann im Standardbildmodus und im dynamischen Bildmodus nicht eingestellt werden.

**Kontrast**

Mit **↑/→** verstärken Sie den Kontrast, mit **↓/←** schwächen Sie ihn ab.

Helligkeit

Mit **↑/→** stellen Sie das Bild heller, mit **↓/←** dunkler ein.

Chroma

Mit **↑/→** verstärken Sie die Farbsättigung, mit **↓/←** schwächen Sie sie ab.

Phase

Mit **↑/→** verstärken Sie im Bild den Grünanteil, mit **↓/←** den Rotanteil.

Bildschärfe

Mit **↑/→** erhöhen Sie die Kontureinstellstufe des Bildes, mit **↓/←** verringern Sie sie.

Rauschvermind.

Stellt die Stufe ein, mit der die Körnigkeit des Bildes und das Farbrauschen reduziert werden. Die vier Stufen "Aus", "Niedrig", "Mittel" und "Hoch" stehen zur Verfügung.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Rauschvermind." auf Seite 31 (DE).

Kino

Wenn diese Einstellung auf Automatik gesetzt ist, sind Bewegungen bei der Wiedergabe fließend wie bei einem Film.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Kino" auf Seite 32 (DE).

Dynamisch. Bild

Verbessert den Kontrast, indem Weiß heller und Schwarz dunkler erscheint.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Dynamisch. Bild" auf Seite 32 (DE).

Farbtemperatur

Zum Ändern der Farbtemperatur.

Näheres dazu finden Sie unter "Farbtemperatur" auf Seite 32 (DE).

Farbkorrektur

Wenn hier Ein eingestellt ist, werden natürliche, kräftige Farben reproduziert.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Farbkorrektur" auf Seite 33 (DE).

Gamma-Korrektur

Zum Einstellen der Balance der hellen und dunklen Bildbereiche auf eine der Stufen "Hoch", "Mittel" und "Niedrig".

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Gamma-Korrektur" auf Seite 33 (DE).

Zurücksetzen

Zum Zurücksetzen der Optionen bis im Menü Bild einstellen auf die werkseitigen Werte.

Erläuterungen zum Zurücksetzen finden Sie unter "Zurücksetzen der Optionen im Menü Bild einstellen auf ihre ursprünglichen Werte" auf Seite 34 (DE).

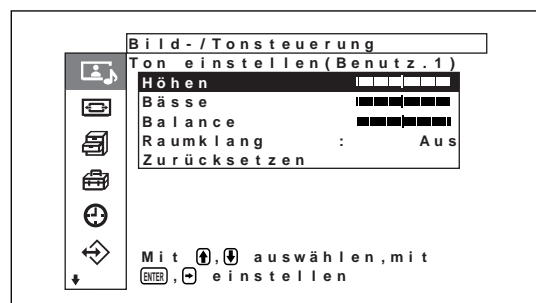
Menü Ton einstellen

Zum Einstellen der Tonqualität durch Signalverarbeitung.

Wenn als Bildqualitätsmodus "Benutz.1" bis "Benutz.3" eingestellt ist, kann die Tonqualität nach Belieben eingestellt werden.

Hinweis

Die Tonqualität kann nicht eingestellt werden, wenn der Bildmodus auf "Standard" oder "Lebhaft" gesetzt wird.

**Höhen**

Mit **↑/→** verstärken Sie die Höhen, mit **↓/←** verringern Sie sie.

Bässe

Mit **↑/→** verstärken Sie die Bässe, mit **↓/←** verringern Sie sie.

Balance

Mit **↑/→** wird die Lautstärke auf der rechten Seite verstärkt, mit **↓/←** die Lautstärke auf der linken.

Raumklang

Für die Raumklangfunktionen können Sie eine der vier Stufen "Aus", "Saal", "Simul." einstellen. Einzelheiten dazu finden Sie unter "Raumklang" auf Seite 39 (DE).

Zurücksetzen

Zum Zurücksetzen der Optionen im Menü "Ton einstellen" auf die werkseitigen Werte. Erläuterungen zum Zurücksetzen finden Sie unter "Zurücksetzen der Optionen im Menü Ton einstellen auf die ursprünglichen Werte" auf Seite 39 (DE).

Menü Bildschirm einstellen

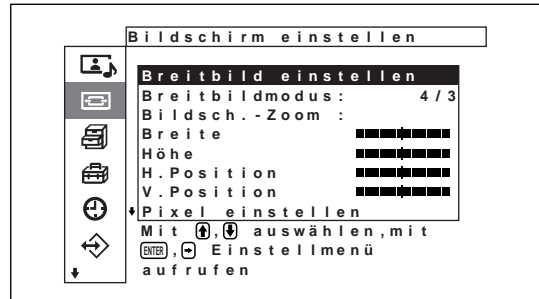
Mit diesem Menü können Sie die Größe und Position des Bildes ändern.

Der Bildschirm und das Vorgehen im Menü "Bildschirm einstellen" unterscheiden sich je nach Einstellung der Menütaste.

Wenn die Menütaste auf "Ein/Aus" steht (werkseitige Einstellung)



Wenn die Menütaste auf "Return" steht



Breitbild einstellen

Zum Einstellen der automatischen Breitbildfunktion. Bei der automatischen Breitbildfunktion wird zwischen dem Format normaler Fernsehsendungen, dem Format Wide Clear Vision und dem Breitbildformat gewählt. Diese Formate weisen unterschiedliche Bildseitenverhältnisse auf. Das Bild wird automatisch auf ein Breitbildformat mit einem Bildseitenverhältnis von 16:9 vergrößert, so dass bei verschiedenen Bildformaten immer eine optimale Darstellung erzielt wird.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Einstellen der automatischen Breitbildfunktion" auf Seite 35 (DE).

Breitbildmodus

Zum Wechseln der Breitbildanzeige, um sie auf Größe und Typ des Bildes einzustellen.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Einstellen des Zoom-Modus" auf Seite 36 (DE).

Bildsch.-Zoom

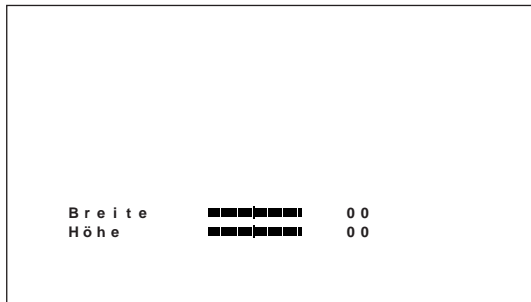
Zum Vergrößern des Bildes auf das Doppelte (×2), Dreifache (×3) bzw. Vierfache (×4).

Hinweis

Die Vergrößerungseinstellungen können nur verwendet werden, der der Breitbildmodus auf "Wiedher" gesetzt ist.

Menü Bildschirmgröße

Mit diesem Menü können Sie die Bildgröße einstellen. Dieses Menü wird nur angezeigt, wenn die Menütaste auf "Ein/Aus" gestellt wird.



Breite

Zum Einstellen der Bildbreite. Mit **➡** stellen Sie das Bild breiter, mit **⬅** schmaler ein.

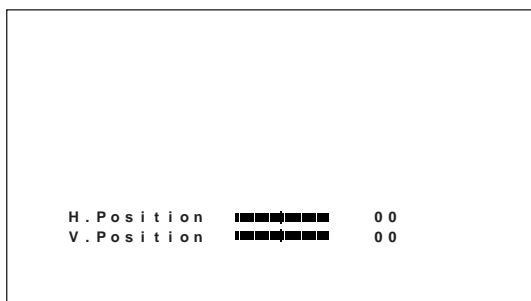
Höhe

Zum Einstellen der Bildhöhe. Mit **⬆** stellen Sie das Bild höher, mit **⬇** niedriger ein.

Menü Bildschirmposition

Mit diesem Menü können Sie die Bildzentrierung einstellen.

Dieses Menü wird nur angezeigt, wenn die Menütaste auf "Ein/Aus" gestellt wird.



H. Position

Zum Einstellen der horizontalen Zentrierung. Mit **➡** verschieben Sie das Bild nach rechts, mit **⬅** nach links.

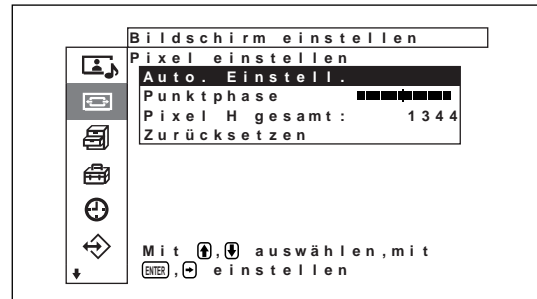
V. Position

Zum Einstellen der vertikalen Zentrierung. Mit **⬆** verschieben Sie das Bild nach oben, mit **⬇** nach unten.

Menü Pixel einstellen

Mit diesem Menü können Sie die Bildpunkte einstellen.

Die Einstellung kann nur vorgenommen werden, wenn Computersignale eingespeist werden.



Auto. Einstell.

Die Punktphase und die Gesamtzahl der horizontalen Pixel werden automatisch eingestellt.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Einstellen der Pixel" auf Seite 38 (DE).

Punktphase

Zum Einstellen der Punktphase. Mit der Taste **⬆/➡** erhöhen Sie die Punktphase, mit der Taste **⬇/⬅** verringern Sie sie.

Pixel H gesamt

Zum Einstellen der Gesamtzahl der horizontalen Pixel. Mit **⬆/➡** erhöhen Sie die Anzahl der Pixel, mit **⬇/⬅** verringern Sie sie.

Zurücksetzen

Zum Zurücksetzen der Optionen im Menü "Pixel einstellen" auf die werkseitigen Werte.

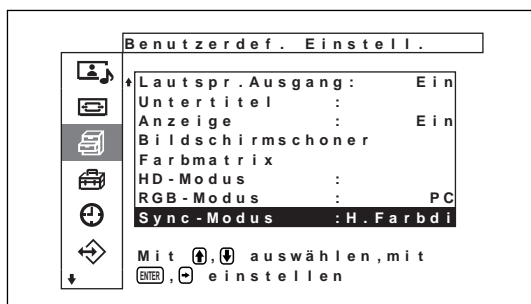
Erläuterungen zum Zurücksetzen finden Sie unter "So setzen Sie die Optionen des Menüs Pixel einstellen auf ihre ursprünglichen Werte zurück" auf Seite 38 (DE).

Reset

Zum Zurücksetzen der Optionen im Menü "Bildschirm einstellen" auf die werkseitigen Werte. *Erläuterungen zum Zurücksetzen finden Sie unter "Zurücksetzen der Optionen im Menü Bildschirm einstellen auf die ursprünglichen Werte" auf Seite 38 (DE).*

Menü Benutzerdef. Einstell.

In diesem Menü können Sie die Leistungsaufnahme verringern oder die Bildschirmschonerfunktion aktivieren usw.



Energie sparen

Zum Energiesparen, während Sie mit dem Bildschirm arbeiten.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Energiesparfunktion" auf Seite 29 (DE).

Lautspr.Ausgang

Wenn diese Option aktiviert ist, wird der Ton über die Lautsprecher (SS-SP10A, nicht mitgeliefert) ausgegeben.

Untertitel

Zum Anzeigen von Untertiteln.

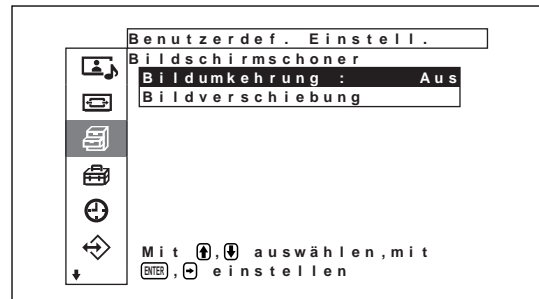
Einzelheiten dazu finden Sie unter "Anzeigen von Untertiteln" auf Seite 29 (DE).

Anzeige

Wählen Sie Ein, so werden beim Einschalten oder nach einem Wechsel des Eingangssignals etwa fünf Sekunden lang unten am Bildschirm Informationen zum Eingangssignal angezeigt.

Menü Bildschirmschoner

Zum Korrigieren oder Verringern von Schäden durch Nachbilder oder eingebrannte Bilder, die darauf zurückzuführen sind, dass lange Zeit dasselbe Bild auf dem Bildschirm angezeigt wird.



Bildumkehrung

Zum Einstellen des Bildschirmschoners, bei dem die Bildfarben umgekehrt werden.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Bildschirmschonerfunktion" auf Seite 42 (DE).

Bildverschiebung

Zum Einstellen eines Bildschirmschoners, bei dem die Anzeigeposition von Bildern nach einer voreingestellten Zeitspanne automatisch verschoben wird.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Bildschirmschonerfunktion" auf Seite 42 (DE).

Farbmatrix

Zum Einstellen der Farbmatrix, so dass Bilder mit natürlichen Farbtönen angezeigt werden, wenn Farbdifferenzsignale von einem extern angeschlossenen Gerät eingespeist werden.

Näheres dazu finden Sie unter "Einstellen der Farbmatrix" auf Seite 44 (DE).

HD-Modus

Zum Einstellen des Modus je nach den analogen HD-Farbdifferenzsignalen, die an EINGANG1 bzw. EINGANG2 des Anschlusses D am gesondert erhältlichen Adapter eingespeist werden.

1080i: Wenn ein digitaler BS-Tuner angeschlossen ist.

1035i: Wenn ein Hi-Vision-Videodeck (Basisband) oder ein anderes herkömmliches Hi-Vision-Gerät angeschlossen ist.

Hinweis

- Die Konfiguration der Zusatzkarte ist in diesem Modus nicht möglich.
- Der D4-Anschluss am BKM-B11 ist auf [1080i] eingestellt.

RGB-Modus

Zum Einstellen des Modus, wenn an die RGB/YUV-Anschlüsse von EINGANG1 und EINGANG2 ein Gerät angeschlossen ist, das RGB-Signale ausgibt.

DTV: Wenn ein digitaler Tuner mit RGB-Signalen usw. angeschlossen ist.

PC: Wenn ein PC usw. angeschlossen ist.

Hinweis

Die Konfiguration der Zusatzkarte ist in diesem Modus nicht möglich.

Sync-Modus

Zum Einstellen des Modus je nach dem Signal, das an Stift 13 der RGB/YUV-Anschlüsse von EINGANG1 und EINGANG2 eingespeist wird. Die Signale können nur auf 575/50i oder 480/60i eingestellt werden.

H.Farbd: Wenn ein horizontales Signal oder ein zusammengesetztes Synchronisationssignal* eingespeist wird.

Video: Wenn ein Videosignal oder ein zusammengesetztes Synchronisationssignal* eingespeist wird.

*Je nach dem Pegel des zusammengesetzten Synchronisationssignals wird das Bild unter Umständen nicht korrekt angezeigt. Ändern Sie in diesem Fall die Einstellung des Sync-Modus.

Eingangssignal und Einstellungen des Synchronisationsmodus

STIFT	Signaleingang über D-Sub	Einstellung des Synchronisationsmodus
13	FBAS-Videosignal 480/60i, 575/50i	Videosignal
	Zusammengesetztes Synchronisationssignal	
13/14	Zusammengesetztes Synchronisationssignal	Synchronisationssignal
2	H. Sync./V. Sync.	
	Grünsignal mit Synchronisation	

Unter "Stiftbelegung" (Seite 53 (DE)) finden Sie Einzelheiten zur Stiftbelegung der RGB/Y-Anschlüsse an EINGANG1 und EINGANG2.

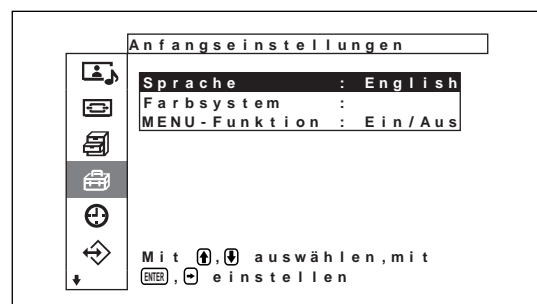
Hinweise

- Wenn das Gerät auf Synchronisationssignale eingestellt ist, wird unter Umständen kein Bild angezeigt, auch wenn ein zusammengesetztes Synchronisationssignal eingespeist wird. Ändern Sie in diesem Fall die Einstellung des Sync-Modus.

- EINGANG1 und EINGANG2 können beim Einstellen des Synchronisationsmodus unabhängig voneinander eingestellt werden. Wenn aber das Gerät auf ein anderes Eingangssignal umgeschaltet wird als das, das in den Einstellungen angegeben ist, wird das Signal unter Umständen nicht ausgegeben. Ändern Sie in diesem Fall die Einstellungen des Synchronisationsmodus so, dass diese dem Eingangssignal an den einzelnen Eingängen entsprechen, und schalten Sie das Eingangssignal dann um.
- Es gibt einige Eingänge, für die nur Synchronisationssignale ausgewählt werden können. In diesem Fall wird kein Bild angezeigt, auch wenn ein Videosignal über den 13-poligen Anschluss eingespeist wird. Speisen Sie horizontale/vertikale Synchronisationssignale über die 13- oder 14-poligen Anschlüsse oder Grünsignale mit Synchronisation über den RGB-Anschluss ein.
- Wenn das Gerät nicht so eingestellt ist, daß Synchronisationssignale akzeptiert werden, und ein Grünsignal mit Synchronisation eingespeist wird, wird kein Bild angezeigt.
- Eine Einstellung des Sync-Modus kann nicht über Zusatzkarten vorgenommen werden.
- Dieses Gerät unterstützt keine zusammengesetzten Synchronisationssignale und 576/60P-Signale mit dreiwertiger Synchronisation.

Menü Anfangseinstellungen

Zum Auswählen der Sprache für die Menüanzeige, der Signalquelle oder der Funktionen der Menütaste usw.



Sprache

Zum Auswählen der Sprache für die Bildschirmanzeigen (Japanisch, Englisch, Deutsch, Französisch, Spanisch oder Italienisch).

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Auswählen der Menüsprache" auf Seite 42 (DE).

Farbsystem

Dient zum Auswählen des Eingangssignals.

Autom.: Zum Anzeigen von NTSC-, PAL-, SECAM-, NTSC4.43- oder NTSC-/PAL-M-/PAL-N-Signalen

NTSC: Zum Anzeigen von NTSC-Signalen

NTSC4.43: Zum Anzeigen von NTSC4.43-Signalen

PAL: Zum Anzeigen von PAL-Signalen

SECAM: Zum Anzeigen von SECAM-Signalen

PAL-M: Zum Anzeigen von PAL-M-Signalen

PAL-N: Zum Anzeigen von PAL-N-Signalen

PAL60: Zum Anzeigen von PAL60-Signalen

Wenn das Farbsystem auf "Autom" eingestellt ist, können Sie in der Menüebene darunter zusätzlich ein Farbsystem einstellen, das die automatische Erkennung unterstützt.

- Automatische Erkennung von NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43
- Automatische Erkennung von NTSC/PAL-M/PAL-N

Hinweis

Diese Einstellung kann nur vorgenommen werden, wenn ein Videosignal empfangen wird.

MENU-Funktion

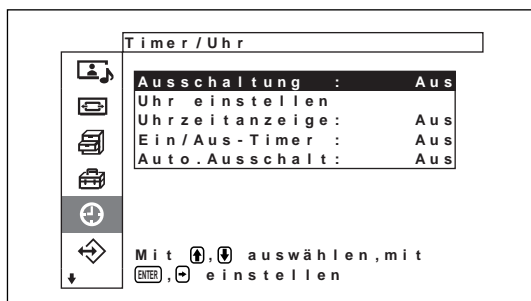
Zum Auswählen der Funktion, wenn die Menütaste gedrückt wird.

Ein/Aus: Die Menüanzeige wird mit jedem Drücken der Menütaste ein- und ausgeblendet.

Zurück: Der Cursor wechselt mit jedem Drücken der Menütaste zur vorherigen Ebene zurück.

Menü Timer/Uhr

Zum Einstellen der Uhrzeit oder des Timers, zum Anzeigen der Uhrzeit oder zum Einstellen, wann sich das Gerät automatisch ein- oder ausschaltet.



Ausschaltung

Das Gerät wird automatisch ausgeschaltet, wenn eine voreingestellte Zeitspanne verstrichen ist. Sie können für diese Zeitspanne 30, 60, 90 oder 120 Minuten einstellen.

Näheres dazu finden Sie unter "Sleep-Funktion" auf Seite 45 (DE).

Uhr einstellen

Zum Einstellen der Uhrzeit.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Einstellen der Uhrzeit" auf Seite 46 (DE).

Uhrzeitanzeige

Wenn diese Option aktiviert ist, wird die eingestellte Uhrzeit auf dem Bildschirm angezeigt.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Anzeigen der Uhrzeit" auf Seite 46 (DE).

Ein/Aus-Timer

Zum Einstellen der Uhrzeit für das automatische Ein- oder Ausschalten des Geräts.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Timer-Funktion zum Ein-/Ausschalten" auf Seite 47 (DE).

Auto. Ausschalt

Das Gerät wird automatisch ausgeschaltet, wenn eine voreingestellte Zeit lang kein Signal in den Bildschirm eingespeist wird.

Einzelheiten dazu finden Sie unter "Energiesparfunktion" auf Seite 48 (DE).

Menü Benutzerspeicher

Dieses Menü dient zum Speichern und Wiederaufrufen der Einstellungen in den Menüs Bild-/Tonsteuerung und Bildschirm einstellen.



Erläuterungen dazu finden Sie unter "Die Speicherfunktion" auf Seite 40 (DE).

Laden

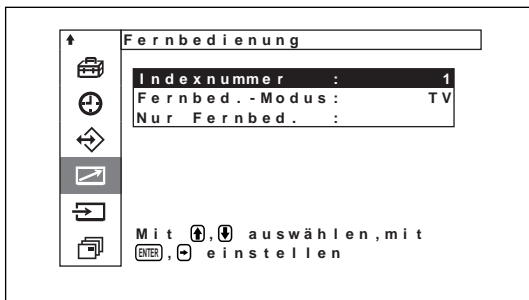
Ruft die voreingestellten Werte auf.

Speichern

Speichert die Einstellungen.

Menü Fernbedienung

Dieses Menü dient zum Einstellen des Fernbedienungsmodus.



Indexnummer

Zum Einstellen der Indexnummer für den Monitor.

Hinweis

Verwenden Sie zum Einstellen der Nummer die Tasten am Monitor.

Die Indexnummer kann nicht mit der Fernbedienung eingestellt werden.

Näheres zum Einstellen der Indexnummer finden Sie unter "Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung" auf Seite 49 (DE).

Fernbed.-Modus

Zum Auswählen des Fernbedienungsmodus.

TV: Fernbedienung von Sony-Monitor oder -Fernsehgerät

PJ: Fernbedienung des Sony-Projektors

Aus: Deaktiviert die Fernbedienung.

Hinweis

Verwenden Sie zum Ändern des Fernbedienungsmodus die Tasten am Monitor. Sie können den Fernbedienungsmodus nicht mit der Fernbedienung ändern.

Näheres dazu finden Sie unter "Verwenden anderer Fernbedienungsmodelle" auf Seite 51 (DE).

Nur Fernbed.

Wählen Sie Ein, um die Steuertasten am Monitor zu deaktivieren. Der Monitor läßt sich jetzt nur noch über die Fernbedienung steuern.

Setzen Sie "Nur Fernbed." mit der Fernbedienung auf Aus, wenn Sie die Tasten am Bedienfeld vorn wieder aktivieren wollen.

Hinweis

Diese Einstellung bleibt auch dann erhalten, wenn Sie das Netzkabel lösen oder den Monitor mit der Fernbedienung ein- bzw. ausschalten.

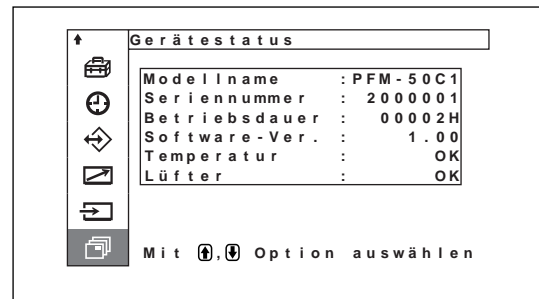
Menü Eingangswahl

Dieses Menü dient zum Wechseln des Eingangssignals.

Weitere Informationen zum Wechseln des Eingangssignals finden Sie unter "Wechseln des Eingangssignals" auf Seite 26 (DE).

Menü Gerätestatus

Dieses Menü dient zum Anzeigen von Informationen zum Status des Monitors.



Modellname

Hier wird der Modellname angegeben.

Seriennummer

Hier wird die Seriennummer angegeben.

Betriebsdauer

Gibt die Gesamtzahl der Betriebsstunden an.

Hinweis

Der Bereitschaftsmodus zählt nicht zur Betriebsdauer.

Software-Ver.


Gibt die Version der Systemsoftware an.

Temperatur

Gibt an, ob die interne Temperatur des Monitors im Normalbereich liegt.

OK: Normal

Nicht OK: Nicht normal

Wenn die interne Temperatur nicht im Normalbereich liegt, wird Nicht OK angezeigt, und die Option blinkt rot. Die Anzeige STANDBY am Bereich für Netzschalter  (Bereitschaft) / Netzanzeige blinkt ebenfalls.

Hinweis

Wenn die Lüftungsöffnungen blockiert sind oder der Bildschirm an einem Ort mit ungenügender Luftzufuhr verwendet wird, erscheint möglicherweise "NG" und blinkt rot. Sorgen Sie in diesem Fall dafür, daß die Lüftungsöffnungen nicht blockiert werden, und stellen Sie den Monitor an einem Ort mit ausreichender Luftzufuhr auf. Wird die Meldung dann immer noch angezeigt, wenden Sie sich bitte an Ihren autorisierten Sony-Händler.

Wenn die Anzeige **STANDBY** blinkt oder **Nicht OK** angezeigt wird, schlagen Sie unter "Selbstdiagnosefunktion" auf Seite 49 (DE) nach.

Lüfter

Dieser Monitor enthält Ventilatoren. Hier wird angegeben, ob die Ventilatoren ordnungsgemäß funktionieren.

OK: Normal

Nicht OK: Nicht normal

Wenn die Ventilatoren nicht ordnungsgemäß funktionieren, wird **Nicht OK** angezeigt, und die Option blinkt rot. Die Anzeige **STANDBY** am Bereich für Netzschalter \odot (Bereitschaft) / Netzanzeige blinkt ebenfalls.

Hinweise

- Wenn "NG" erscheint und rot blinkt, wenden Sie sich an den Händler, bei dem Sie das Gerät erworben haben, oder an das nächste Sony-Kundendienstzentrum.

Wenn die Anzeige **STANDBY** blinkt oder **Nicht OK** angezeigt wird, schlagen Sie unter "Selbstdiagnosefunktion" auf Seite 49 (DE) nach.

- Die Ventilatoren messen die interne Temperatur des Monitors und steuern die Rotationsgeschwindigkeit. Wenn die Umgebungstemperatur hoch ist, erhöht sich die Ventilatorgeschwindigkeit, und das Summen der Ventilatoren wird lauter.

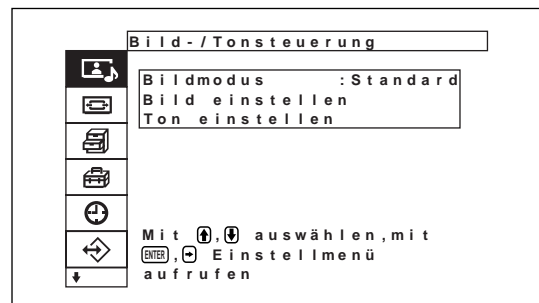
Die Anzeigefunktionen

Vorbereitungen

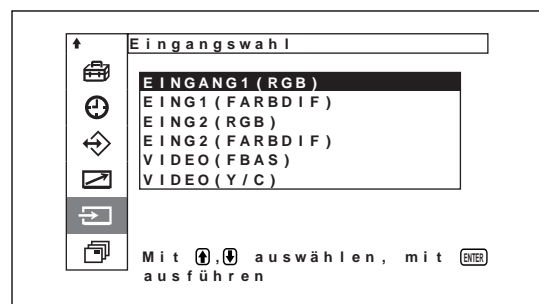
- Schalten Sie den Monitor ein.
- Schalten Sie die angeschlossenen Geräte ein, und starten Sie die Wiedergabe einer Videoquelle.
- Wenn beim Einschalten des Monitors oder bei einem Wechsel des Eingangssignals Informationen zum Eingangssignal angezeigt werden sollen, setzen Sie "Anzeige" im Menü Benutzerdef. Einstell. auf Ein.
- Erläuterungen zum Auswählen der Bildschirmmenüsprache finden Sie auf Seite 42 (DE).

Wechseln des Eingangssignals

- 1 Drücken Sie **MENU**. Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit \uparrow/\downarrow auf "Eingangswahl", und drücken Sie **ENTER**. Das Menü Eingangswahl erscheint auf dem Bildschirm.



- 3** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit \uparrow/\downarrow auf die Eingangsquelle, die angezeigt werden soll, und drücken Sie ENTER.

EINGANG1 (RGB): Das über die INPUT1-Anschlüsse eingespeiste Audio- und Videosignal wird ausgewählt, sofern es sich bei diesem Eingangssignal um ein RGB-Signal handelt.

EING1 (FARBDIF): Das über die INPUT1-Anschlüsse eingespeiste Audio- und Videosignal wird ausgewählt, sofern es sich bei diesem Eingangssignal um ein Farbdifferenzsignal handelt.

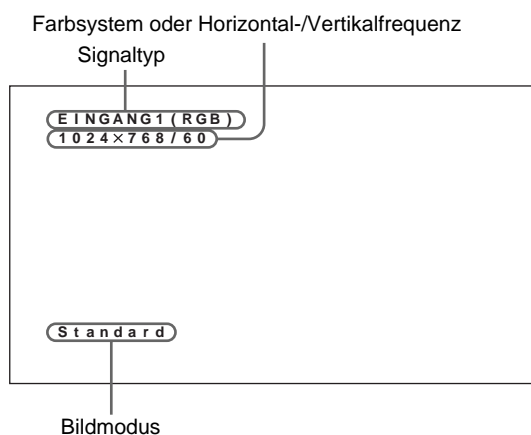
EING2 (RGB): Das über die INPUT2-Anschlüsse eingespeiste Audio- und Videosignal wird ausgewählt, sofern es sich bei diesem Eingangssignal um ein RGB-Signal handelt.

EING2 (FARBDIF): Das über die INPUT2-Anschlüsse eingespeiste Audio- und Videosignal wird ausgewählt, sofern es sich bei diesem Eingangssignal um ein Farbdifferenzsignal handelt.

VIDEO (FBAS): Das über den Anschluß COMPOSITE IN und die Buchse AUDIO IN (VIDEO-Anschlüsse) eingespeiste Audio- und Videosignal wird ausgewählt.

VIDEO (Y/C): Das über den Anschluß Y/C IN und die Buchse AUDIO IN (VIDEO-Anschlüsse) eingespeiste Audio- und Videosignal wird ausgewählt.

Das ausgewählte Eingangssignal erscheint auf dem Bildschirm



Sie können das Eingangssignal auch mit der mit dem Bildschirm gelieferten Fernbedienung auswählen.

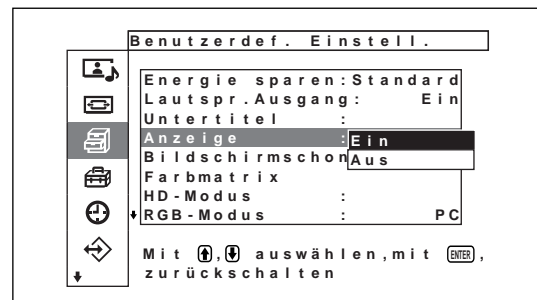
Hinweise

- Es empfiehlt sich, als Eingangssignalquelle ein Videogerät mit TBC-Funktion (Time Base Corrector) zu verwenden. Wenn am Monitor ein Signal ohne TBC eingespeist wird, wird aufgrund einer Störung des Synchronisationssignals unter Umständen kein Bild angezeigt.
- Wenn Signale desselben Formats von mehreren Systemen eingespeist werden, wird die Einstellung für "Picture Quality" auf den zuletzt eingestellten Wert zurückgesetzt. Dies gilt nur, wenn die Signalformate identisch sind.

Anzeige von Eingangssignal, Bildmodus und Monitorstatus

Informationen zum Eingangssignal und zum Bildmodus erscheinen beim Einschalten des Geräts oder bei einem Wechsel des Eingangssignals etwa fünf Sekunden lang auf dem Monitorbildschirm. Wollen Sie diese Funktion ausschalten, gehen Sie bitte wie im Folgenden beschrieben vor. Wollen Sie diese Funktion ausschalten, gehen Sie bitte wie im folgenden beschrieben vor.

- 1** Stellen Sie im Menü Benutzerdef. Einstell. den Cursor (gelb) mit den Tasten \uparrow/\downarrow auf "Anzeige", und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Setzen Sie Anzeige mit der Taste \uparrow/\downarrow auf Aus, und drücken Sie ENTER.

So lassen Sie die Informationen anzeigen

Setzen Sie Anzeige in Schritt 2 oben auf Ein. Als werkseitiger Standard ist Ein gestellt.

Hinweis

Unabhängig von der Einstellung oben können Sie die Informationen zum Eingangssignal und zum Bildmodus jederzeit abrufen, indem Sie die Taste DISPLAY auf der Fernbedienung drücken.

Voreingestellte Eingangssignale			
	Signalname	Farbsystem oder Horizontal-/Vertikalfrequenz	
Computersignale			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5kHz	70,1Hz
2	640×350@85Hz (VESA ^{b)} STD)	37,9kHz	85,1Hz
3	640×400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,1Hz
4	640×480@60Hz (VESA STD)	31,5kHz	59,9Hz
5	Mac ^{c)} 13 Zoll	35,0kHz	66,7Hz
6	640×480@72Hz (VESA STD)	37,9kHz	72,8Hz
7	640×480@75Hz (VESA STD)	37,5kHz	75,0Hz
8	640×480@85Hz (VESA STD)	43,3kHz	85,0Hz
9	852×480@60Hz (I/O DATA) ^{d)}	31,7kHz	60,0Hz
10	VGA (VGA TEXT)	31,5kHz	70,1Hz
11	720×400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,0Hz
12	800×600@56Hz (VESA STD)	35,2kHz	56,3Hz
13	800×600@60Hz (VESA STD)	37,9kHz	60,3Hz
14	800×600@72Hz (VESA STD)	48,1kHz	72,2Hz
15	800×600@75Hz (VESA STD)	46,9kHz	75,0Hz
16	800×600@85Hz (VESA STD)	53,7kHz	85,1Hz
17	Mac 16 Zoll	49,7kHz	74,6Hz
18	1024×768@60Hz (VESA STD)	48,4kHz	60,0Hz
19	1024×768@70Hz (VESA STD)	56,5kHz	70,1Hz
20	1024×768@75Hz (VESA STD)	60,0kHz	75,0Hz
21	1024×768@85Hz (VESA STD)	68,7kHz	85,0Hz
22	1152×864@75Hz (VESA STD)	67,5kHz	75,0Hz
23	Mac 21 Zoll	68,7kHz	75,1Hz
24	1280×960@60Hz (VESA STD)	60,0kHz	60,0Hz
25	1280×960@85Hz (VESA STD)	85,9kHz	85,0Hz
26	1280×1024@60Hz (VESA STD)	64,0kHz	60,0Hz
27	1280×1024@75Hz (VESA STD)	80,0kHz	75,0Hz
28	1280×1024@85Hz (VESA STD)	91,1kHz	85,0Hz
29	1600×1200@60Hz (VESA STD)	75,0kHz	60,0Hz
30	856×480@60Hz (Matrox) ^{e)}	30,2kHz	60,0Hz
31	856×480@59,6Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	59,6Hz
32	856×480@60,1Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	60,1Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	

- a) VGA ist ein eingetragenes Warenzeichen der International Business Machines Corporation, USA.
 b) VESA ist ein eingetragenes Warenzeichen der Video Electronics Standards Association.
 c) Mac (Macintosh) ist ein eingetragenes Warenzeichen der Apple Computer, Inc.
 d) Steht nur zur Verfügung, wenn Sie eine Grafikkarte verwenden, die von der I-O DATA Corporation hergestellt wurde.
 e) Steht nur zur Verfügung, wenn Sie eine Grafikkarte von Matrox Graphics Inc., verwenden.

Hinweise

- Wenn ein HDTV-Signal eingeht, speisen Sie das dreistufige Synchronisationssignal über den 2. Stift des Anschlusses EINGANG1 oder EINGANG2 (D-Sub, 15polig) ein.
- Wenn Sie das Computersignal mit der unter Nr. 29 aufgeführten Auflösung einspeisen, setzen Sie im Menü Bildschirm einstellen die Option Breite, H.Position, Höhe und V.Position auf den Standardwert (00) und Bildsch.-Zoom auf Zurücksetzen. Andernfalls oszilliert das Bild unter Umständen.
- Wenn das Bild beim Einspeisen von DVD-Signalen in den PFM-50C1E zu hell ist, stellen Sie die Farbe über die Option "Chroma" im Menü Bild einstellen ein.
- Wenn die Phase neu eingestellt wird, wird die Auflösung reduziert.

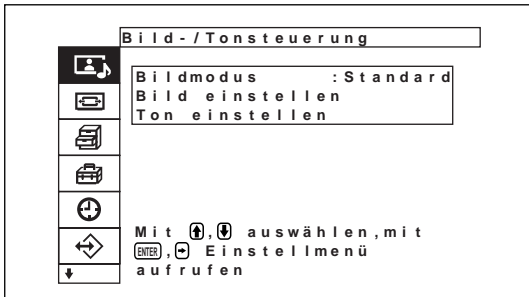
Anzeigen zum Monitorstatus auf dem Bildschirm

Bildschirmanzeige	Bedeutung
640×480 / 60 (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Computersignal im RGB-Format.
525 / 60 (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Farbdifferenzvideosignal.
NTSC (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein NTSC-Signal.
ANDERE	Das Eingangssignal liegt außerhalb des Fangbereichs.
Keine sync	Es ist kein Eingangssignal vorhanden.
EINGANG1 (RGB)	Für EINGANG1 gilt der Signalmodus RGB.
EING1 (YUV)	Für EINGANG1 gilt als Signalmodus das Farbdifferenzsignal.
VIDEO (FBAS)	Für VIDEO wurde als Eingangssignal das FBAS-Videosignal ausgewählt.
VIDEO (Y/C)	Für VIDEO wurde als Eingangssignal das Y/C-Videosignal ausgewählt.

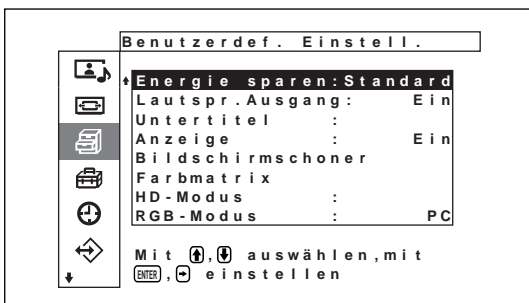
Wechseln des Anzeigemodus

Anzeigen von Untertiteln

- 1** Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf "Benutzerdef. Einstell.", und drücken Sie ENTER.
Das Menü Benutzerdef. Einstell. erscheint auf dem Bildschirm.



- 3** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf "Untertitel", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



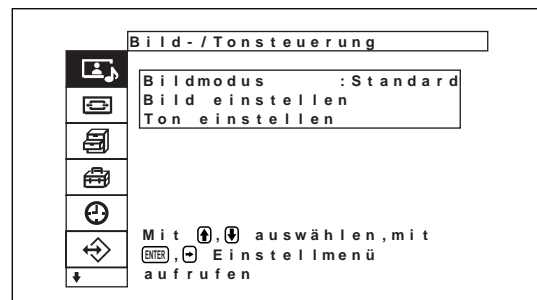
- 4** Wählen Sie mit **↑/↓** den Untertiteltyp aus.
Aus: Untertitel werden nicht angezeigt.
Speich1: Untertitel 1 wird über das Bild eingeblendet.
Speich2: Untertitel 2 wird über das Bild eingeblendet.
Text1: Untertitel 1 wird vor einem schwarzen Hintergrund angezeigt.
Text2: Untertitel 2 wird vor einem schwarzen Hintergrund angezeigt.

- 5** Drücken Sie MENU.
Nun erscheint wieder das Menü Benutzerdef. Einstell..

Energiesparfunktion

Damit ist die Anzeige auf dem Bildschirm weiterhin zu erkennen und gleichzeitig sparen Sie Energie.

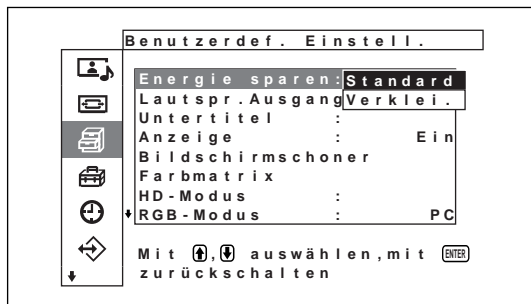
- 1** Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf "Benutzerdef. Einstell.", und drücken Sie ENTER.
Das Menü "Benutzerdef. Einstell." erscheint auf dem Bildschirm.



- 3** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf “Energie sparen”, und drücken Sie **ENTER**. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4** Setzen Sie mit **↑/↓** die Option Energie sparen auf Standard oder Verklei.

Standard: Der Monitor wechselt nicht in den Energiesparmodus.

Verklei.: Der Monitor wechselt in den Energiesparmodus.

Wenn Sie Energie sparen auf Verklei. setzen, wird die Bildschirmhelligkeit verringert. Die Anzeige auf dem Monitor ist weiterhin zu erkennen, und gleichzeitig sparen Sie Energie.

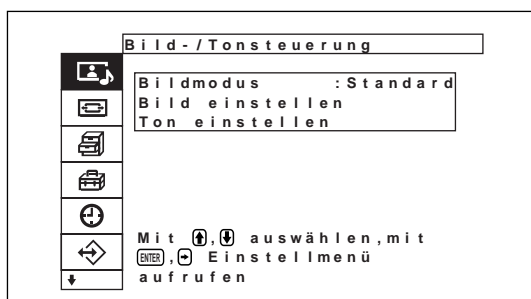
Hinweise

- Wenn “Energie sparen: Verklei.” ausgewählt wird und Sie das Gerät ausschalten, gilt diese Einstellung, wenn Sie das Gerät das nächste Mal wieder einschalten.
- Wenn Sie als Bildqualitätsmodus “Benutz.1” bis “Benutz.3” wählen, obwohl Sie “Energie sparen: Verklei.” eingestellt haben, können Sie die Bildqualität trotzdem einstellen. Wenn Sie jedoch den Kontrast oder die Helligkeit erhöhen, geht der Energiespareffekt möglicherweise verloren.

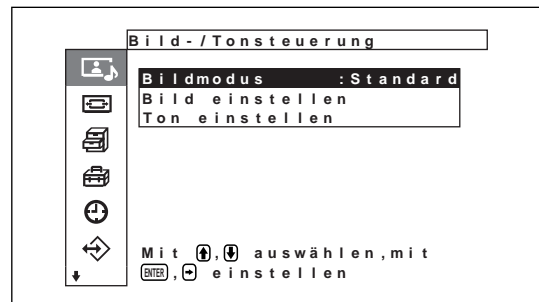
Auswählen der Bildqualität

Die Bildqualität kann gemäß dem Bildtyp und der Umgebungshelligkeit ausgewählt werden.

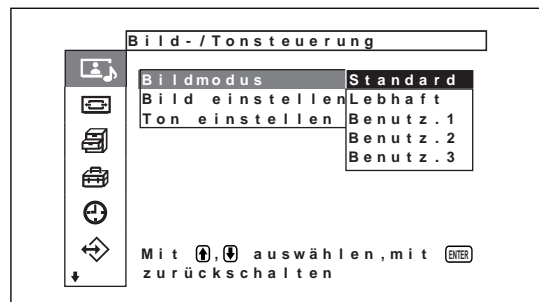
- 1** Drücken Sie **MENU**. Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf “Bild-/Tonsteuerung” und drücken Sie **ENTER**. Das Menü “Bild-/Tonsteuerung” erscheint auf dem Bildschirm.



- 3** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf “Bildmodus” und drücken Sie **ENTER**. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4** Wählen Sie mit **↑/↓** den Bildmodus aus und drücken Sie **ENTER**.
- Standard:** Mit mittlerem Kontrast und mittlerer Schärfe wird ein echt wirkendes Bild erzielt.
- Lebhaft:** Mit dieser Einstellung erzielen Sie Bilder mit außergewöhnlicher Schärfe, wobei Bildkonturen und Kontrast auf maximale Werte eingestellt sind.
- Benutz.1-3:** Sie können die Bildqualität mit dem Menü “Bild einstellen” nach Belieben einstellen.

Einstellen der Bildqualität

Sie können das Bild anzeigen lassen und dabei Kontrast, Helligkeit, Chroma (Farbintensität), Phase usw. einstellen. Diese Werte können Sie für die einzelnen Eingangssignale unabhängig voneinander einstellen. Darüber hinaus können Sie die eingestellten Werte im Gerät speichern. Stellen Sie als Bildmodus eine der Einstellungen "Benutz.1-3" ein.

Einstellen von Kontrast, Helligkeit, Farbe, Phase usw.

Drücken Sie MENU, so dass das Hauptmenü angezeigt wird. Wählen Sie dann im Menü "Bild einstellen" eine der Optionen "Kontrast", "Helligkeit", "Chroma", "Phase", "Bildschärfe", "Rauschvermind.", "Kino", "Dynamisch. Bild", "Farbtemperatur", "Farbkorrektur" oder "Gamma-Korrektur".

Kontrast

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option "Kontrast" aus, und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** für den Kontrast einen Wert zwischen MIN (0) und MAX (255) ein.

↑/→: Der Kontrast wird verstärkt.

↓/←: Der Kontrast wird abgeschwächt.

Helligkeit

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option "Helligkeit" aus, und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** für die Helligkeit einen Wert zwischen MIN (-128) und MAX (+127) ein.

↑/→: Das Bild wird heller.

↓/←: Das Bild wird dunkler.

Chroma

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option "Chroma" aus, und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** für die Farbe einen Wert zwischen MIN (-128) und MAX (+127) ein.

↑/→: Die Farbintensität wird verstärkt.

↓/←: Die Farbintensität wird abgeschwächt.

Phase

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option "Phase" aus, und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** für die Phase einen Wert zwischen MIN (-128) und MAX (+127) ein.

↑/→: Der Grünanteil im Bild wird verstärkt.

↓/←: Der Rotanteil im Bild wird verstärkt.

Bildschärfe

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option "Bildschärfe" aus und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** für die Schärfe einen Wert zwischen MIN (-5) und MAX (+5) ein.

↑/→: Die Bildschärfe wird erhöht.

↓/←: Die Bildschärfe wird verringert.

Rauschvermind.

Zum Reduzieren der Körnigkeit des Bildes und des Farbrauschens.

- 1 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option "Rauschvermind." und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Wählen Sie mit **↑/↓** den gewünschten Modus aus und drücken Sie ENTER.

Aus: Das Bildsignal wird direkt angezeigt.

Niedrig: Die Rauschverminderung wird auf einen niedrigen Wert gesetzt.

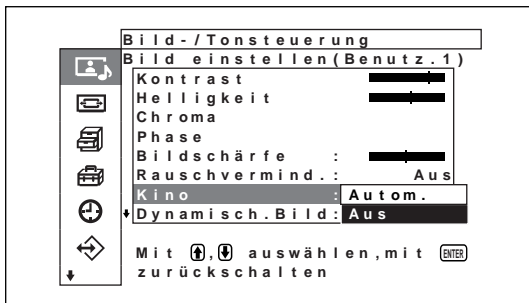
Mittel: Die Rauschverminderung wird auf einen mittleren Wert gesetzt.

Hoch: Die Rauschverminderung wird auf einen hohen Wert gesetzt.

Kino

Auf Film (24 Vollbilder) aufgenommene Bilder werden automatisch erkannt und mit den charakteristischen fließenden Bewegungen von Filmbildern reproduziert.

- 1 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option “Kino” aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Wählen Sie mit **↑/↓** den gewünschten Modus aus und drücken Sie ENTER.
Autom.: Die für Filmbilder optimale Signalverarbeitung wird ausgeführt.
Aus: Videosignale werden direkt angezeigt.

Dynamisch. Bild

Verbessert den Kontrast, indem Weiß heller und Schwarz dunkler erscheint.

- 1 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option “Dynamisch. Bild” aus und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Wählen Sie mit **↑/↓** den dynamischen Bildmodus aus und drücken Sie ENTER.
Ein: Funktion für dynamisches Bild wird verwendet.
Aus: Funktion für dynamisches Bild wird nicht verwendet.

Farbtemperatur

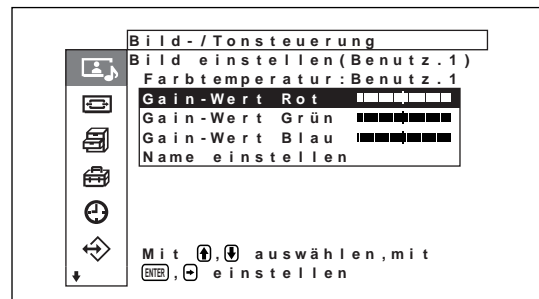
Sie können auch die Farbtemperatur einstellen. Sie können Warm oder Kalt auswählen oder die einzelnen Gain-Werte separat einstellen. Bis zu sechs eingestellte Farbtemperaturen können Sie abspeichern und einen Namen dafür eingeben (bis zu sechs Zeichen pro Name).

- 1 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option “Farbtemperatur” aus, und drücken Sie ENTER.
- 2 Wählen Sie mit **↑/↓** die Farbtemperatur aus, und drücken Sie ENTER.
Kalt: Die Farbtemperatur wird auf einen hohen Wert eingestellt.
Neutral: Die Farbtemperatur wird auf einen neutralen Wert eingestellt.
Warm: Die Farbtemperatur wird auf einen niedrigen Wert eingestellt.
Benutz1 – 3: Damit stellen Sie den Gain-Wert genauer ein.

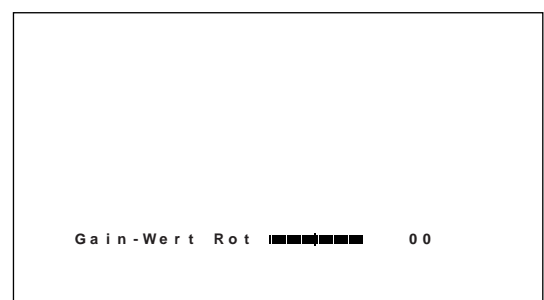
Wenn Sie Warm, Neutral oder Kalt auswählen, wird wieder das Menü Bild einstellen angezeigt.

Wenn Sie “Benutz.1” bis “Benutz.3” auswählen

Wenn Sie “Benutz.1” bis “Benutz.3” auswählen, erscheint folgendes Menü auf dem Bildschirm.



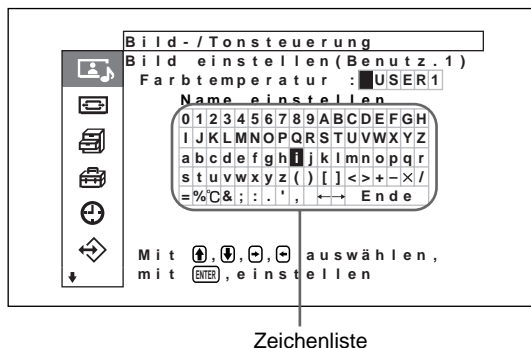
- (1) Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf den einzustellenden Gain-Wert und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- (2) Stellen Sie den Gain-Wert (0 bis 255) mit **↑/↓/←/→** ein und drücken Sie **ENTER**.
Nun erscheint wieder das Menü “Farbtemperatur”.

Wenn Sie einen neuen Namen für die eingestellte Farbtemperatur eingeben wollen, gehen Sie wie im Folgenden beschrieben vor.

- (3) Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf “Name einstellen” und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- (4) Wählen Sie mit **↑/↓/←/→** ein Zeichen oder Symbol in der Zeichenliste aus und drücken Sie **ENTER**. Das ausgewählte Zeichen wird eingegeben. Wenn Ihnen ein Fehler unterläuft, wählen Sie [**←**] auf dem Bildschirm, um den Cursor um ein Zeichen nach links zurückzusetzen, und korrigieren Sie den Fehler.

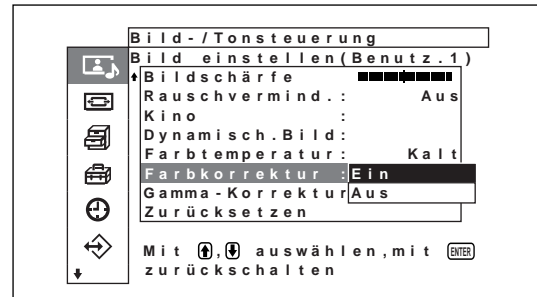
*Wenn [MENU-Funktion] (Seite 23 (DE)) im Menü “Anfangseinstellungen” auf [Zurück] gesetzt wurde, können Sie mit den Tasten **↑/↓** auf der Fernbedienung den Cursor nach links bzw. rechts verschieben. Wenn Sie den Cursor mit den Tasten **↑/↓** nach oben bzw. unten verschieben wollen, setzen Sie [MENU-Funktion] auf [Ein/Aus].*

- (5) Gehen Sie wie in Schritt (4) erläutert vor. Wenn Sie den Namen eingegeben haben, wählen Sie “Ende” und drücken **ENTER**. Nun erscheint wieder das Menü “Farbtemperatur”.

Farbkorrektur

Zum Reproduzieren natürlicher, kräftiger Farben.

- 1 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option “Farbkorrektur” aus und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Wählen Sie mit **↑/↓** den Farbkorrekturmodus aus und drücken Sie **ENTER**.
Ein: Die Farbkorrektur wird eingeschaltet.
Aus: Die Farbkorrektur wird ausgeschaltet.

Gamma-Korrektur

Zum automatischen Einstellen der Balance der hellen und dunklen Bildbereiche.

- 1 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option “Gamma-Korrektur” aus und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



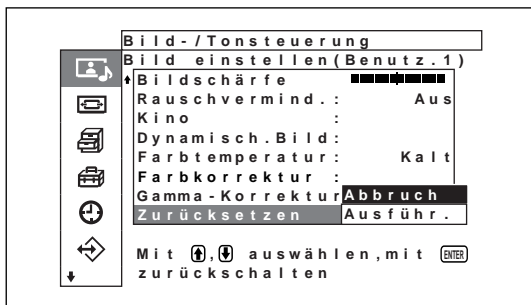
- 2 Wählen Sie mit **↑/↓** den Gammakorrekturmodus aus und drücken Sie **ENTER**.
Hoch: Die Gammakorrektur wird auf einen hohen Wert eingestellt.
Mittel: Die Gammakorrektur wird auf einen mittleren Wert eingestellt.
Niedrig: Die Gammakorrektur wird auf einen niedrigen Wert eingestellt.

Hinweise

- Für ein RGB-Signal können Sie Chroma und Phase nicht einstellen.
- Für ein Farbdifferenzsignal können Sie Phase nicht einstellen.
- Für ein Eingangssignal im PAL- PAL-M- PAL-N- PAL60- oder SECAM-Format können Sie Phase nicht einstellen.
- Wenn Sie ein Schwarzweißsignal (B&W) einspeisen, können die Farbtiefe und die Farbtöne nicht eingestellt werden.

Zurücksetzen der Optionen im Menü Bild einstellen auf ihre ursprünglichen Werte

- 1 Stellen Sie im Menü Bild einstellen den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf "Zurücksetzen", und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf "Ausführ.", und drücken Sie **ENTER**. Die Optionen im Menü Bild einstellen werden auf die ursprünglichen Werte zurückgesetzt.

So brechen Sie das Zurücksetzen ab

Drücken Sie **MENU**, bevor Sie **ENTER** drücken. Sie können mit **↑/↓** auch "Abbruch" auswählen und dann **ENTER** drücken.

Bildvergrößerung

Das Bild wird so vergrößert, dass es je nach Bildformat, wie z. B. normale Fernsehsendungen oder Wide Clear Vision usw., den gesamten Bildschirm ausfüllt.

Im Breitbildmodus stehen die folgenden Optionen zur Auswahl.

Originalbilder (Bildtyp)

Vergrößerte Bilder



- Normale Bilder mit einem Bildformat von 4:3 werden ohne Veränderungen angezeigt, wenn sie im Breitbild-Zoom auf volle Bildschirmgröße vergrößert werden (Bildformat: 4:3).

Vergrößert Bilder im Format 4:3 in voller Bildschirmgröße auf das Format 16:9.



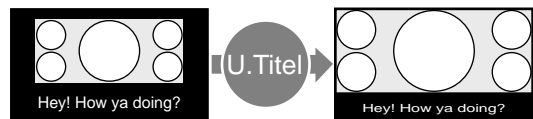
- Sendungen im Format Wide Clear Vision (Bildformat: 16:9)
- Filme in VistaVision und ähnlichen, sehr breiten Formaten mit Untertiteln innerhalb des Bildes (Bildformat: 1,85:1)
- Bilder von einer Videokamera oder DVD-Software mit Bildformatinformationen (Typ ID-1)

Die Bilder werden so vergrößert, dass sie den Bildschirm bis zum linken und rechten Rand ausfüllen. Je nach Bildtyp sind am oberen und unteren Bildrand schwarze Streifen zu sehen.



- Bilder von einer Videokamera oder DVD-Software mit Bildformatinformationen (Typ ID-1)

Das Bild wird horizontal auf die volle Bildschirmgröße verbreitert, ohne dass die Höhe verändert wird.



- Filme in CinemaVision und ähnlichen, sehr breiten Formaten mit Untertiteln außerhalb des Bildes (Bildformat: 2,35:1)

Nur der Bereich mit den Untertiteln wird komprimiert. Das Bild füllt den Bildschirm bis zum linken und rechten Rand.



- Bilder mit einem Bildformat von 4:3 werden ohne Vergrößerung im ursprünglichen Format (4:3) angezeigt, wenn für sie die Einstellung "4/3" (werkseitige Einstellung) ausgewählt ist und "Breitbildmodus" auf Ein gesetzt ist.

Das Bild wird ohne Vergrößerung angezeigt.

Einstellen der automatischen Breitbildfunktion

Bei einigen normalen Fernsehsendungen und bei Wide Clear Vision-Sendungen usw. wird zusammen mit dem Videosignal ein Identifikationssteuersignal übertragen. Dank der automatischen Breitbildfunktion werden Bilder, die auf diesem Identifikationssteuersignal basieren, originalgetreu reproduziert oder verschiedene Bildtypen werden unabhängig von diesem Identifikationssteuersignal optimal vergrößert.

Außerdem können normale Fernsehsendungen und BS-Sendungen mit einem Bildseitenverhältnis von 4:3 vergrößert und mit einem Bildseitenverhältnis von 16:9 angezeigt werden.

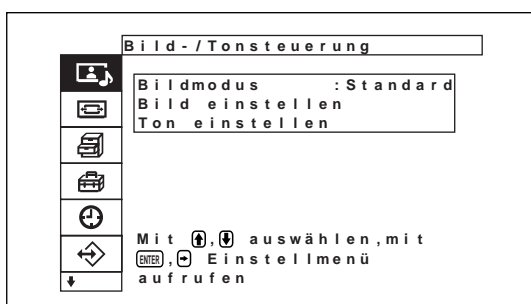
Identifikationssteuersignal

Dieses Steuersignal dient dazu, das Bildseitenverhältnis des Originalbildes originalgetreu auf einem Fernsehschirm zu reproduzieren. Folgende Bilder enthalten dieses Signal:

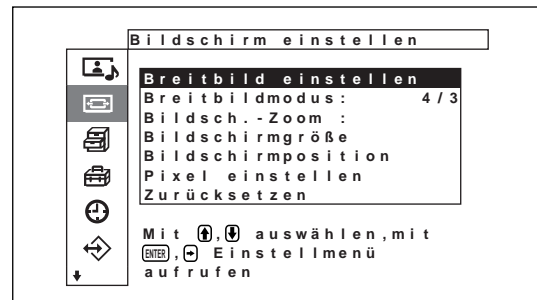
- Sendungen im Format Wide Clear Vision.
- Bilder, die mit einer Fernsehkamera mit Informationen zum Bildseitenverhältnis aufgenommen wurden (ID-1-Format).
- Fernsehsendungen mit einem Signal, mit dem das Bildseitenverhältnis auf 4:3 eingestellt wird.
- Bilder mit Informationen zum Bildseitenverhältnis, die über den D4-Eingang empfangen werden.

1 Drücken Sie MENU.

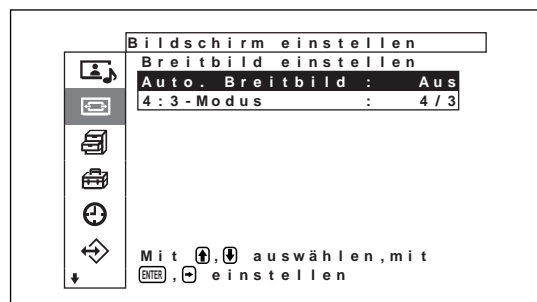
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



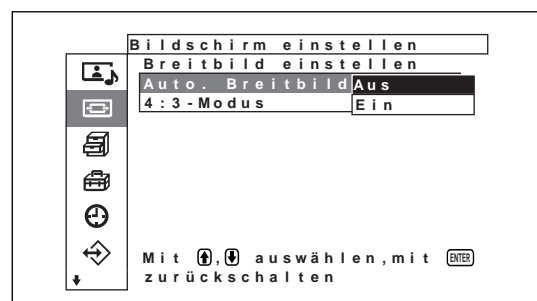
- 2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf "Bildschirm einstellen" und drücken Sie ENTER. Das Menü "Bildschirm einstellen" erscheint auf dem Bildschirm.



- 3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf "Breitbild einstellen" und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

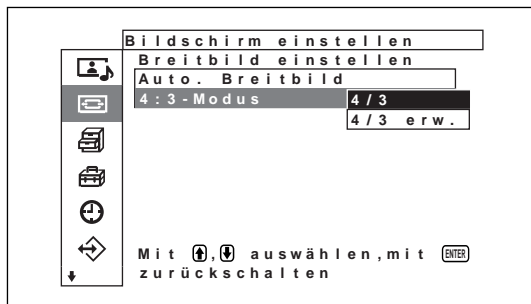


- 4 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf "Auto. Breitbild" und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 5 Wählen Sie mit **↑/↓** die Einstellung für die automatische Breitbildfunktion.
Aus: Die Bilder werden unverändert reproduziert.
Ein: Das Bild wird vergrößert und mit dem optimalen Bildseitenverhältnis angezeigt.
- 6 Drücken Sie ENTER. Nun erscheint wieder das Menü "Breitbild einstellen".

- 7** Wählen Sie mit **↑/↓** die Option “4:3-Modus” aus und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



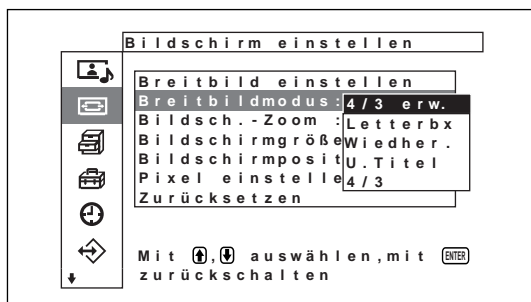
- 8** Wählen Sie mit **↑/↓** den 4:3-Bildmodus aus.
4/3: Bilder mit einem Seitenverhältnis von 4:3 werden unverändert angezeigt.
4/3 erw.: Bilder mit einem Bildseitenverhältnis von 4:3 werden auf ein Bildseitenverhältnis von 16:9 vergrößert und dann angezeigt. (Wenn kein Erkennungssteuersignal vorhanden ist.)

- 9** Drücken Sie **ENTER**.
Nun erscheint wieder das Breitbild einstellen.

Einstellen des Zoom-Modus

Die Bilder können auch unabhängig vom Bildtyp im gewünschten Zoom-Modus vergrößert werden.

- 1** Stellen Sie im Menü “Bildschirm einstellen” den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf “Breitbildmodus” und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Wählen Sie mit **↑/↓** den Zoom-Modus aus.
4/3 erw.: Vergrößert Bilder im Format 4:3 in voller Bildschirmgröße auf das Format 16:9.
Letterbx: Das Bild wird ganz bis zum linken und rechten Rand des Bildschirms vergrößert. Je nach Bildtyp können schwarze Streifen oben und unten am Bildrand erscheinen.
Wiedher.: Das Bild erstreckt sich links und rechts über den gesamten Bildschirm, ohne die Höhe zu ändern.
U.Titel: Das Bild wird ganz bis zum linken und rechten Rand des Bildschirms vergrößert und der Bereich, in dem Untertitel angezeigt werden, wird komprimiert.
4/3: Das Bild wird ohne Vergrößerung angezeigt.

- 3** Drücken Sie **ENTER**.
Nun erscheint wieder das Menü “Bildschirm einstellen”.

Hinweis

- Wenn Sie den Breitbildmodus wählen, wird die automatische Breitbildfunktion deaktiviert. Wenn Sie die automatische Breitbildfunktion nutzen wollen, stellen Sie wieder “Ein” ein.
- Je nach Bildtyp und -größe wird das Bild oben oder unten abgeschnitten oder die Untertitel werden nicht vollständig auf dem Bildschirm angezeigt.
- Wenn Sie das Gerät für kommerzielle Zwecke oder in der Öffentlichkeit benutzen und die Breitbildumschaltfunktion verwenden, beachten Sie bitte, dass es zu Bildverzerrungen (horizontal bzw. vertikal komprimiertes Bild) kommen kann. Außerdem stellt dies gemäß den Bestimmungen des Urheberrechts möglicherweise eine Verletzung von Urheberrechten dar.

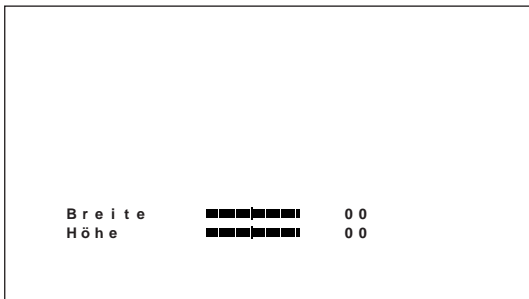
Einstellen von Bildgröße und Bildposition

Sie können das Bild verschieben, so daß es auf den Bildschirm paßt, bzw. Bildhöhe und Bildbreite unabhängig voneinander einstellen.

Die Anweisungen in dieser Bedienungsanleitung gelten für den Fall, dass die Menütaaste auf "Ein/Aus" steht. Unter "Menü Bildschirm einstellen" (Seite 20 (DE)) finden Sie weitere Informationen zum Menü "Bildschirm einstellen".

Einstellen der Bildgröße

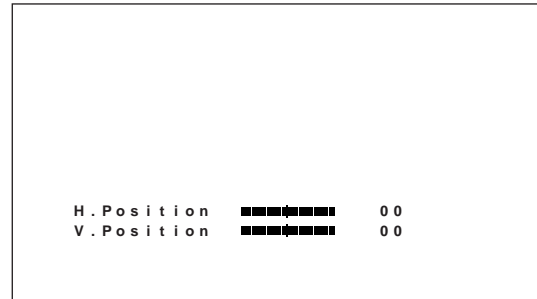
- 1 Stellen Sie im Menü Bildschirm einstellen den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf "Bildschirmgröße", und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie die Bildhöhe und die Bildbreite mit den Tasten **↑/↓/←/→** ein.
 - ←/→**: Zum Einstellen der Bildbreite.
 - ↑/↓**: Zum Einstellen der Bildhöhe.
 Die Bildbreite kann auf dem Bildschirm auf einen Wert zwischen -128 (Minimum) und +127 (Maximum) eingestellt werden. Die Bildhöhe kann auf dem Bildschirm auf einen Wert zwischen -128 (Minimum) und +127 (Maximum) eingestellt werden.
- 3 Drücken Sie ENTER. Nun erscheint wieder das Menü "Bildschirm einstellen".

Einstellen der Bildposition

- 1 Stellen Sie im Menü Bildschirm einstellen den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf "Bildschirmposition", und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Mit den Tasten **↑/↓/←/→** verschieben Sie das Bild in horizontaler oder vertikaler Richtung.
 - ←/→**: Zum Verschieben des Bildes nach links bzw. rechts.
 - ↑/↓**: Zum Verschieben des Bildes nach unten bzw. oben.
 Die horizontale Bildposition kann auf dem Bildschirm auf einen Wert zwischen 128 (links) und 127 (rechts) eingestellt werden. Die vertikale Bildposition kann auf dem Bildschirm auf einen Wert zwischen 128 (unten) und 127 (oben) eingestellt werden.

- 3 Drücken Sie ENTER. Nun erscheint wieder das Menü "Bildschirm einstellen".

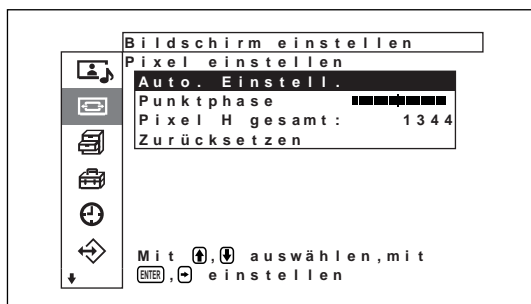
Einstellen der Pixel

Wenn am Rand von Zeichen und vertikalen Linien zu starke Bildstörungen zu sehen sind, können Sie die Punktphase und die Gesamtzahl der horizontalen Pixel einstellen.

Hinweis

Diese Option hängt vom verwendeten Computersignal ab.

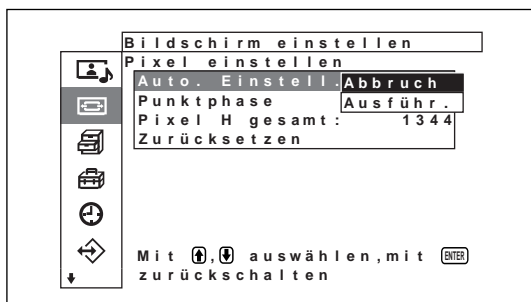
- 1 Stellen Sie im Menü Bildschirm einstellen den Cursor (gelb) mit den Tasten \uparrow/\downarrow auf "Pixel einstellen", und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Sie können die Punktphase und die Gesamtzahl der horizontalen Pixel automatisch oder manuell einstellen.

Automatisches Einstellen

- (1) Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option Auto. Einstell. aus, und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- (2) Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option Ausführ., und drücken Sie ENTER. Die Punktphase und die Gesamtzahl der horizontalen Pixel werden automatisch eingestellt.

Manuelles Einstellen

- (1) Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow die Option Punktphase oder Pixel H gesamt, und drücken Sie ENTER.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm. Der unten dargestellte Bildschirm erscheint beim Auswählen von Punktphase.



- (2) Stellen Sie mit \uparrow/\downarrow die Punktphase bzw. die Gesamtzahl der horizontalen Pixel ein, und drücken Sie ENTER.

Hinweis

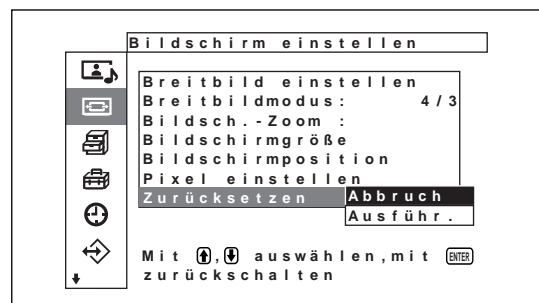
Aufgrund von bestimmten Bildmustern können weiterhin Störungen auftreten, auch wenn Sie "Auto. Einstell." verwendet haben. Stellen Sie in diesem Fall die Punktphase manuell ein.

So setzen Sie die Optionen des Menüs Pixel einstellen auf ihre ursprünglichen Werte zurück

Stellen Sie im Menü Pixel einstellen den Cursor (gelb) mit den Tasten \uparrow/\downarrow auf "Zurücksetzen", und drücken Sie ENTER. Wählen Sie anschließend mit \uparrow/\downarrow die Option Ausführ., und drücken Sie ENTER.

Zurücksetzen der Optionen im Menü Bildschirm einstellen auf die ursprünglichen Werte

- 1 Stellen Sie im Menü Bildschirm einstellen den Cursor (gelb) mit den Tasten \uparrow/\downarrow auf "Zurücksetzen", und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten \uparrow/\downarrow auf "Ausführ.", und drücken Sie ENTER. Die Optionen im Menü "Bildschirm einstellen" werden auf die ursprünglichen Werte zurückgesetzt.

So brechen Sie das Zurücksetzen ab

Drücken Sie MENU, bevor Sie ENTER drücken.
Sie können mit **↑/↓** auch "Abbruch" auswählen und dann ENTER drücken.

Einstellen der Tonqualität

Sie können die Höhen, die Bässe und die Balance einstellen. Darüber hinaus können Sie den Raumklangmodus einstellen.

Einstellen der Höhen, Bässe, Balance usw.

Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf dem Bildschirm auf und wählen Sie mit **↑/↓** die Option "Höhen", "Bässe", "Balance" oder "Raumklang" aus dem Menü "Ton einstellen".

Höhen

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option "Höhen" und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** für die Höhen einen Wert zwischen -50 (Minimum) und +50 (Maximum) ein.

↑/→: Die Höhen werden verstärkt.

↓/←: Die Höhen werden abgeschwächt.

Bässe

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option "Bässe" und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** für die Bässe einen Wert zwischen -50 (Minimum) und +50 (Maximum) ein.

↑/→: Die Bässe werden verstärkt.

↓/←: Die Bässe werden abgeschwächt.

Balance

Wählen Sie mit **↑/↓** die Option "Balance" und drücken Sie ENTER.

Stellen Sie mit **↑/↓/←/→** für die Balance einen Wert zwischen 50 (links) und 50 (rechts) ein.

↑/→: Die Lautstärke auf der rechten Seite wird erhöht.

↓/←: Die Lautstärke auf der linken Seite wird erhöht.

Raumklang

Wählen Sie je nach Bildtyp den Raumklangmodus aus.

1 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option "Raumklang" und drücken Sie ENTER.

2 Wählen Sie mit **↑/↓** den Raumklangmodus aus und drücken Sie ENTER.

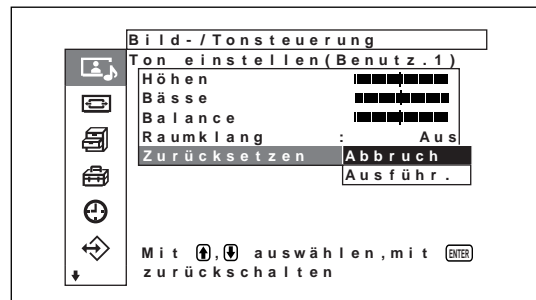
Aus: Kein Raumklang wird ausgegeben.

Saal: Die Stereowirkung des Tons wird bei Filmen oder Musiksendungen intensiviert.

Simul.: Bei normalen Mono-Sendungen oder Nachrichtensendungen erzielen Sie mit simuliertem Stereoklang eine bessere Wirkung.

Zurücksetzen der Optionen im Menü Ton einstellen auf die ursprünglichen Werte

1 Stellen Sie im Menü "Ton einstellen" den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf "Zurücksetzen" und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf "Ausführ." und drücken Sie ENTER.
Die Optionen im Menü "Ton einstellen" werden auf die ursprünglichen Werte zurückgesetzt.

So brechen Sie das Zurücksetzen ab

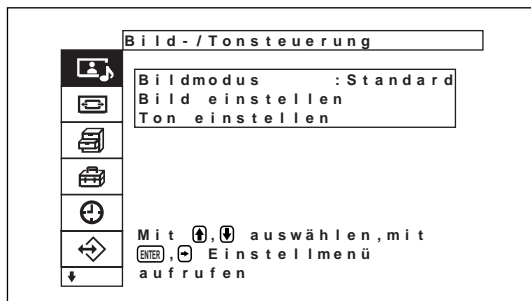
Drücken Sie MENU, bevor Sie ENTER drücken.
Sie können mit **↑/↓** auch "Abbruch" auswählen und dann ENTER drücken.

Die Speicherfunktion

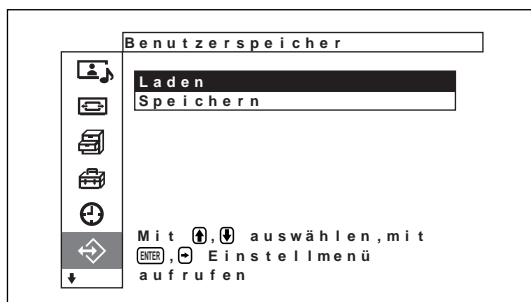
Mit der Funktion **SPEICHERN** können Sie die aktuelle Bildeinstellung für die einzelnen Eingangssignale speichern. Die gespeicherten Einstellungen können Sie danach jederzeit abrufen. Sie können die Optionen in den Menüs Bild-/Tonsteuerung und Bildschirm einstellen in den Speicher stellen. Auf diese Weise können Sie die Bildeinstellungen für bis zu zwanzig Eingangssignale speichern. Sie können einen Namen für die Einstellungen der Optionen eingeben (bis zu 6 Zeichen Länge).

Speichern der aktuellen Einstellungen

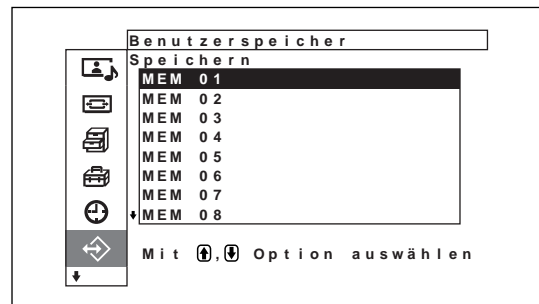
- 1 Drücken Sie **MENU**.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf "Benutzerspeicher", und drücken Sie **ENTER**.
Das Menü Benutzerspeicher erscheint auf dem Bildschirm.



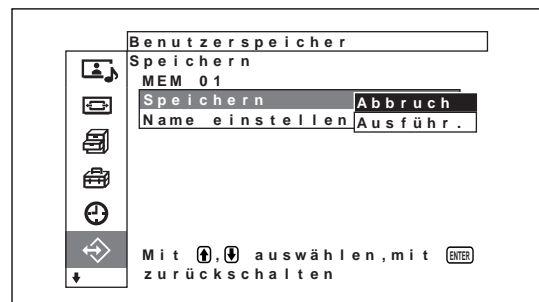
- 3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf "Speichern", und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4 Wählen Sie mit **↑/↓** eine Speichernummer (01 bis 20) aus, und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

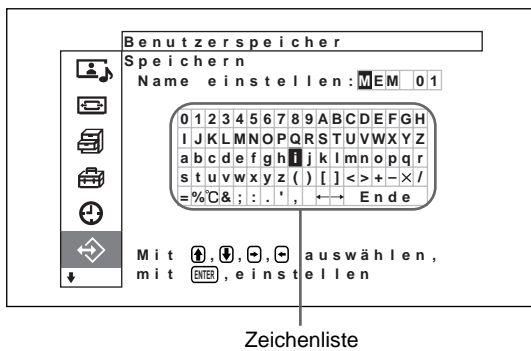


- 5 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf "Speichern", und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 6 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf "Ausführ.", und drücken Sie **ENTER**.
Die aktuellen Einstellungen werden unter der ausgewählten Speichernummer im Gerät gespeichert.
Wenn Sie einen Namen für die Einstellungen eingeben wollen, gehen Sie wie im Folgenden erläutert vor.

- 7** Drücken Sie den Cursor (gelb) mit \uparrow/\downarrow auf "Name einstellen", und drücken Sie erneut ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



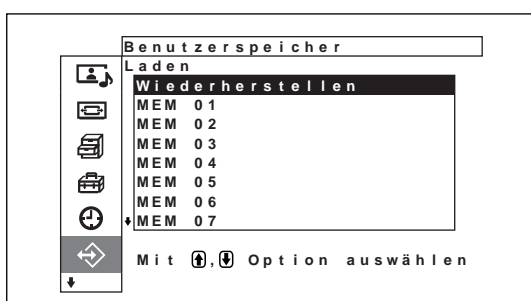
- 8** Wählen Sie mit $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ ein Zeichen oder Symbol in der Zeichenliste aus und drücken Sie ENTER. Das ausgewählte Zeichen wird eingegeben. Wenn Ihnen ein Fehler unterläuft, wählen Sie \leftarrow auf dem Bildschirm, um den Cursor um ein Zeichen nach links zurückzusetzen, und korrigieren Sie den Fehler.

Wenn [MENU-Funktion] (Seite 23 (DE)) im Menü "Anfangseinstellungen" auf [Zurück] gesetzt wurde, können Sie mit den Tasten \uparrow/\downarrow auf der Fernbedienung den Cursor nach links bzw. rechts verschieben. Wenn Sie den Cursor mit den Tasten \uparrow/\downarrow nach oben bzw. unten verschieben wollen, setzen Sie [MENU-Funktion] auf [Ein/Aus].

- 9** Gehen Sie wie in Schritt 8 erläutert vor. Wenn Sie den Namen eingegeben haben, wählen Sie "Ende" und drücken ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü Speichern.

Aufrufen der gespeicherten Einstellungen

- 1** Stellen Sie im Menü Benutzerspeicher den Cursor (gelb) mit den Tasten \uparrow/\downarrow auf "Laden", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



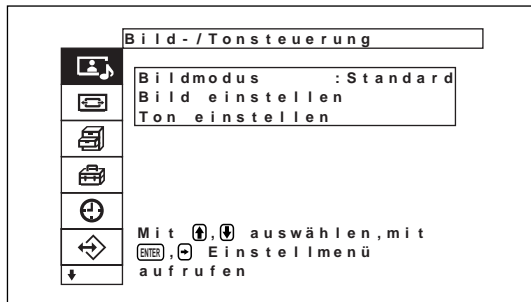
- 2** Stellen Sie den Cursor mit den Tasten \uparrow/\downarrow auf die Speichernummer (01 - 20) der Einstellung, die Sie abrufen wollen.
Der gespeicherte Einstellwert wird abgerufen. Um wieder den zu zuvor eingestellten Wert in Kraft zu setzen, stellen Sie den Cursor auf "Wiederherstellen".

- 3** Drücken Sie die Taste ENTER.
Auf dem Bildschirm erscheint wieder der Bildschirm "Benutzerspeicher" zum Speichern und Abrufen von Einstellwerten.

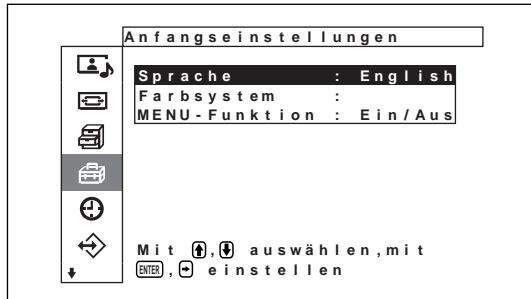
Auswählen der Menüsprache

Sie können als Sprache für die Bildschirmanzeigen Japanisch, Englisch, Deutsch, Französisch, Spanisch oder Italienisch, auswählen.

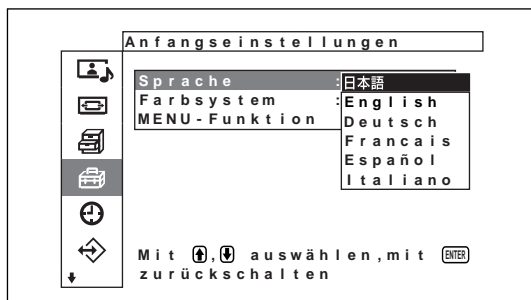
- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf "Anfangseinstellungen", und drücken Sie ENTER.
Das Menü Anfangseinstellungen erscheint auf dem Bildschirm.



- 3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf "Sprache", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit ↑/↓ auf die gewünschte Sprache, und drücken Sie ENTER.
Nun erscheinen die Bildschirmmenüs in der ausgewählten Sprache.

日本語: Japanisch
ENGLISH: Englisch
DEUTSCH: Deutsch
FRANÇAIS: Französisch
ESPAÑOL: Spanisch
ITALIANO: Italienisch

Bildschirmschoner-funktion

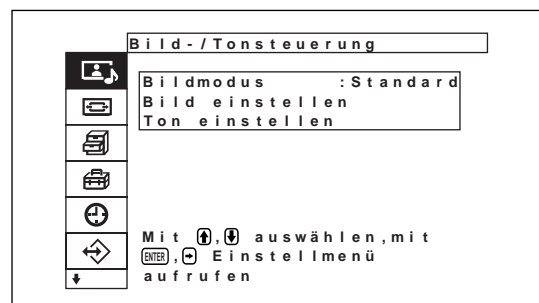
Wenn ein Bild, bei dem sich die Helligkeit nicht ändert, oder ein Standbild, wie zum Beispiel Computer-Bilder, lange Zeit angezeigt wird, kann das Bild auf dem Bildschirm einbrennen, so dass ständig ein Nachbild zu sehen ist.

Um dieses Problem zu beheben oder zumindest zu reduzieren, ist dieses Gerät mit einer Bildschirmschonerfunktion ausgestattet.

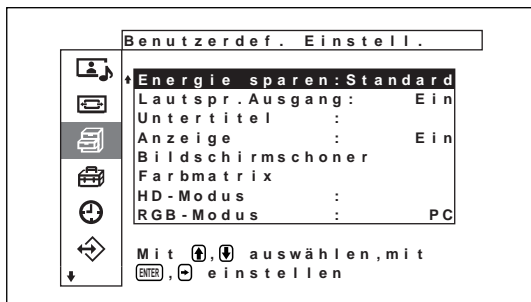
Es gibt zwei Typen von Bildschirmschonern: Bei dem einen werden die Farben des Bildes umgekehrt (Bildumkehrung), bei dem anderen wird das Bild in einem festgelegten Intervall auf dem Bildschirm verschoben (Bildverschiebung).

Umkehren der Bildfarben

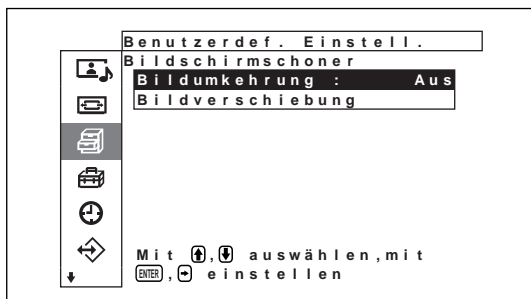
- 1 Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



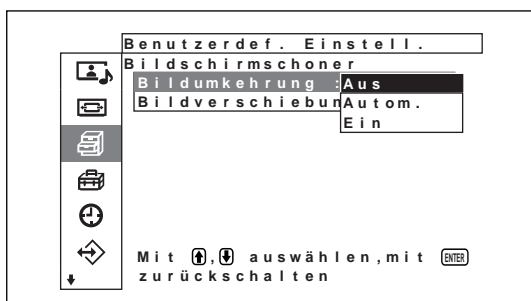
- 2** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten \uparrow/\downarrow auf "Benutzerdef. Einstell.", und drücken Sie ENTER.
Das Menü Benutzerdef. Einstell. erscheint auf dem Bildschirm.



- 3** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten \uparrow/\downarrow auf "Bildschirmschoner", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

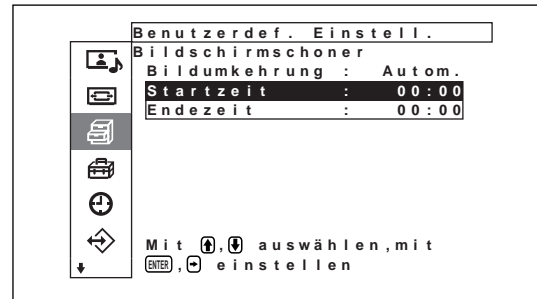


- 4** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten \uparrow/\downarrow auf "Bildumkehrung", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.

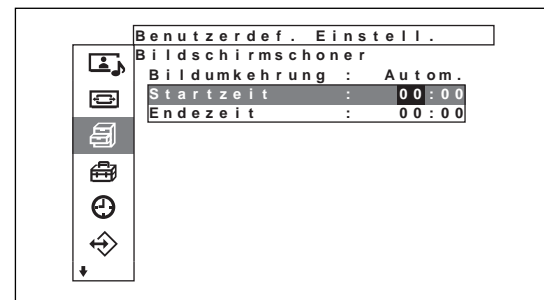


- 5** Wählen Sie mit \uparrow/\downarrow den Modus für die Bildumkehrung aus.
Aus: Die Bildumkehrung wird auf Aus gesetzt.
Autom.: Die Bildumkehrung wird einmal am Tag ausgeführt.
Ein: Die Bildfarben werden umgekehrt.

Wenn Sie "Autom." wählen und ENTER drücken, erscheint das folgende Menü.



- (1) Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten \uparrow/\downarrow auf "Startzeit", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint und der Hintergrund der Stundenangabe wird hervorgehoben angezeigt.



- (2) Stellen Sie mit \uparrow/\downarrow die Stunde ein, zu der das Bild umgekehrt werden soll, und drücken Sie ENTER.

Damit ist die Einstellung für die Stunde eingegeben und die Minuten werden hervorgehoben angezeigt.

- (3) Stellen Sie mit \uparrow/\downarrow die Minuten ein und drücken Sie ENTER. Damit ist die Einstellung für die Minuten eingegeben. Mit \leftarrow schalten Sie zurück zum Bildschirm aus Schritt 5.
Wenn Sie mit den Tasten am Gerät arbeiten, schließen Sie das Menü mit der Taste MENU und setzen Sie [MENU-Funktion] (Seite 23 (DE)) im Menü "Initial Setup" auf [Zurück]. Die Taste MENU am Gerät hat dann dieselbe Funktion wie die Taste \leftarrow .

- (4) Stellen Sie genauso die Uhrzeit ein, zu der die Funktion Bildumkehrung enden soll.
Das Bild wird zur Startzeit umgekehrt, und zur Endezeit wird es wieder wie ursprünglich angezeigt. Dieser Zyklus wird automatisch einmal am Tag ausgeführt.

Hinweis

Wenn Sie für Startzeit und Endezeit dieselbe Uhrzeit angeben, hat die Einstellung von Startzeit Priorität vor der der Endezeit. Zur Endezeit wird das Bild daher nicht wieder wie ursprünglich angezeigt.

Automatisches Verschieben der Bildposition

- 1 Stellen Sie im Menü Bildschirmschoner den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf "Bildverschiebung", und drücken Sie **ENTER**. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf "Verschiebung", und drücken Sie **ENTER**. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 3 Wählen Sie mit **↑/↓** den Modus für die Verschiebung aus.
Aus: Die Funktion Bildverschiebung wird deaktiviert.
Ein: Die Funktion Bildverschiebung wird aktiviert.
- 4 Drücken Sie **ENTER**. Das Menü Bildverschiebung wird wieder angezeigt.

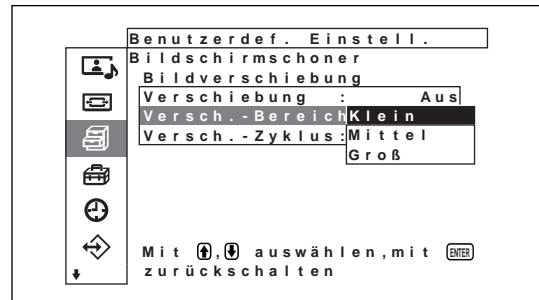
- 5 Wählen Sie mit **↑/↓** die Option Versch.-Bereich (Verschiebungsdistanz) oder Versch.-Zyklus (Verschiebungsdauer) aus, und drücken Sie **ENTER**.

Die folgenden Werte stehen zur Verfügung:

Versch.-Bereich: Klein, Mittel, Groß

Versch.-Zyklus: 10Sek, 30Sek, 1Min., 5Min.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm. Der unten dargestellte Bildschirm erscheint beim Auswählen von Versch.-Bereich.



- 6 Stellen Sie mit **↑/↓** die Option Versch.-Bereich bzw. Versch.-Zyklus ein, und drücken Sie **ENTER**.

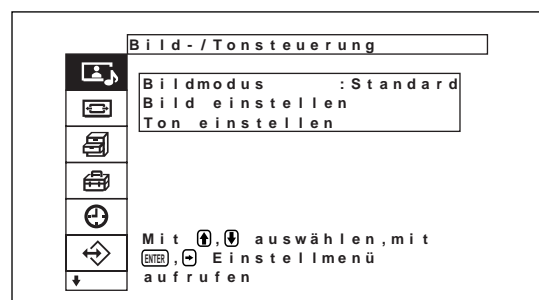
Wenn Bildumkehrung und Bildverschiebung auf Ein gesetzt werden

Wenn die Funktion Bildverschiebung aktiviert wird, während das Bild umgekehrt angezeigt wird, so wird das umgekehrte Bild verschoben.

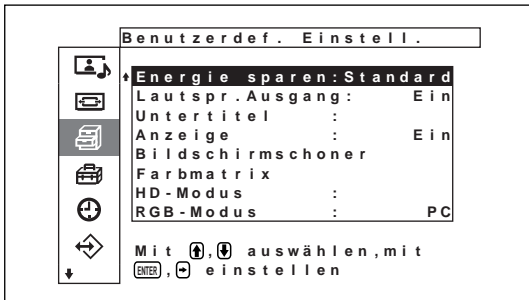
Einstellen der Farbmatrix

Sie können die Farbmatrix so einstellen, dass Bilder in natürlichen Farben angezeigt werden, wenn Bildsignale mit dem SignalfORMAT 480p (525p), 1080i (1125i) oder 720p (750p) von einem digitalen BS-Tuner, digitalen CS-Tuner, DVD-Player usw. eingespeist werden, der an den Farbdifferenzgangssignaladapter angeschlossen ist.

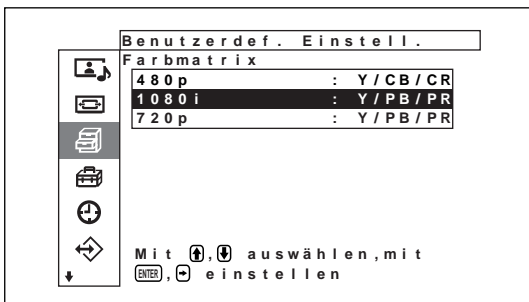
- 1 Drücken Sie **MENU**. Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



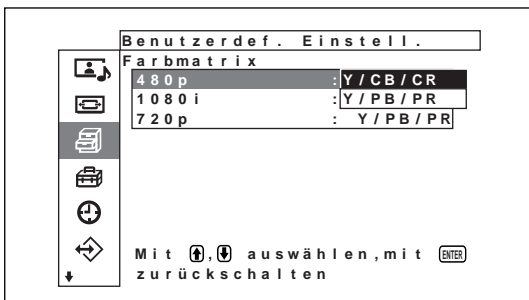
- 2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf "Benutzerdef. Einstell." und drücken Sie ENTER. Das Menü "Benutzerdef. Einstell." erscheint auf dem Bildschirm.



- 3 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf "Farbmatrix" und drücken Sie ENTER. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4 Wählen Sie mit **↑/↓** das Signalformat aus. Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



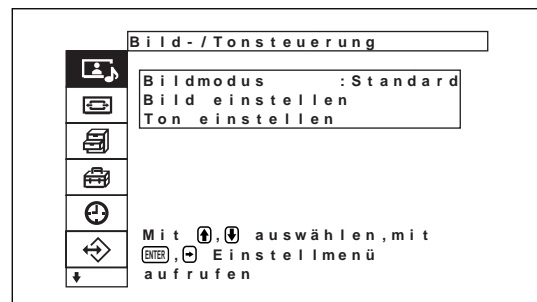
- 5 Wählen Sie mit **↑/↓** die Farbmatrix aus.
Y/CB/CR: Beim Signalformat 480p.
Y/PB/PR: Beim Signalformat 1080i oder 720p.
 Einzelheiten zur richtigen Einstellung schlagen Sie bitte in der Bedienungsanleitung zum jeweiligen Gerät nach.

Automatisches Steuern des Ein-/Ausschaltens (Ein-/Ausschaltautomatik)

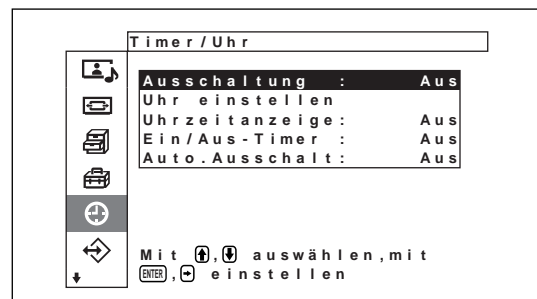
Dieser Monitor verfügt über zwei Funktionen zum automatischen Ein-/Ausschalten. Sie können ihn so einstellen, dass er sich nach einem bestimmten Zeitraum automatisch ausschaltet, wenn kein Signal eingeht (Funktion Auto.Ausschalt). Und Sie können die Uhrzeit einstellen, zu der sich der Monitor automatisch ein- bzw. ausschaltet (Funktion Ein/Aus-Timer). Darüber hinaus steht eine Sleep-Funktion zur Verfügung, mit der das Gerät nach einer voreingestellten Zeitspanne ausgeschaltet wird, auch wenn Signale am Bildschirm eingehen.

Sleep-Funktion

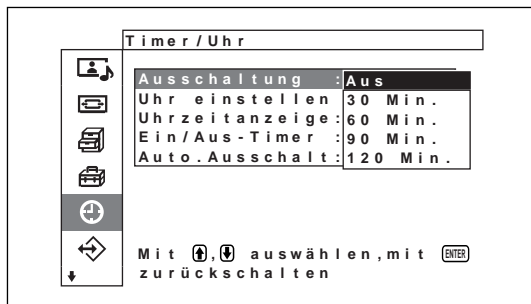
- 1 Drücken Sie MENU. Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf "Timer/Uhr" und drücken Sie ENTER. Das Menü "Timer/Uhr" erscheint auf dem Bildschirm.



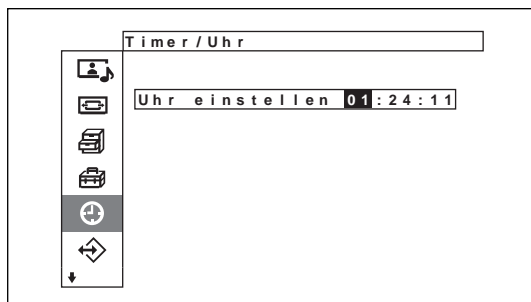
- 3** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf “Ausschaltung” und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4** Wählen Sie mit **↑/↓** die Zeitspanne bis zum Ausschalten des Geräts aus.
Aus: Das Gerät wird nicht ausgeschaltet.
30 Min.: Das Gerät wird nach 30 Minuten ausgeschaltet.
60 Min.: Das Gerät wird nach 60 Minuten ausgeschaltet.
90 Min.: Das Gerät wird nach 90 Minuten ausgeschaltet.
120 Min.: Das Gerät wird nach 120 Minuten ausgeschaltet.

Einstellen der Uhrzeit

- 1** Stellen Sie im Menü “Timer/Uhr” den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf “Uhr einstellen” und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü wird angezeigt und die Hintergrundfarbe der Uhrzeit wechselt zu gelb.



- 2** Stellen Sie mit **↑/↓** die Stunde ein und drücken Sie **ENTER**.
Damit ist die Einstellung für die Stunde eingegeben und die Minuten werden mit gelbem Hintergrund angezeigt.
- 3** Stellen Sie die Minuten wie die Stunde ein und drücken Sie **ENTER**.
Die Einstellung für die Minuten ist damit eingegeben und die Hintergrundfarbe der Sekunden wechselt zu Gelb.

- 4** Drücken Sie **ENTER**.
Die Sekunden werden auf 00 zurückgesetzt.

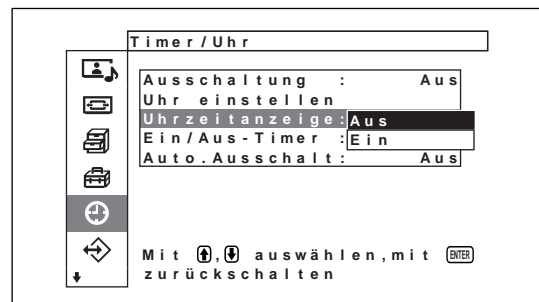
- 5** Drücken Sie **MENU**.
Der Monitor schaltet wieder zur normalen Anzeige. Wenn Sie weitere Einstellungen vornehmen oder Einstellungen erneut vornehmen müssen, gehen Sie wieder wie ab Schritt **1** erläutert vor.

Hinweis

Wenn die angezeigte Uhr erheblich nachgeht, hat sich möglicherweise der eingebaute Akku entladen. Wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler, um den Akku austauschen zu lassen.

Anzeigen der Uhrzeit

- 1** Stellen Sie im Menü “Timer/Uhr” den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf “Uhrzeitanzeige” und drücken Sie **ENTER**.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



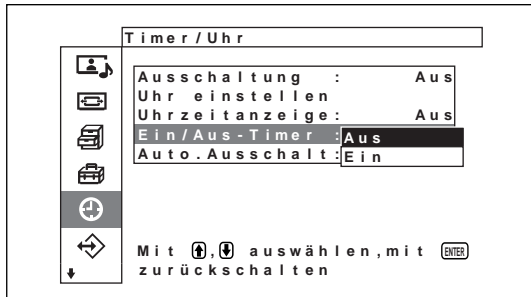
- 2** Wählen Sie mit **↑/↓** die Option Ein aus und drücken Sie **ENTER**.
Wenn das Menü nicht mehr angezeigt wird, erscheint eine Uhr in der linken oberen Ecke des Bildschirms.

Wenn Sie die Taste **DISPLAY** auf der Fernbedienung drücken, wird die Uhr in der Ecke des Bildschirms ausgeblendet und stattdessen werden das gerade eingespeiste Signal und der Bildmodus angezeigt. Wenn Sie die Taste **DISPLAY** erneut drücken, erscheint wieder die Uhr in der Ecke des Bildschirms.

Timer-Funktion zum Ein-/Ausschalten

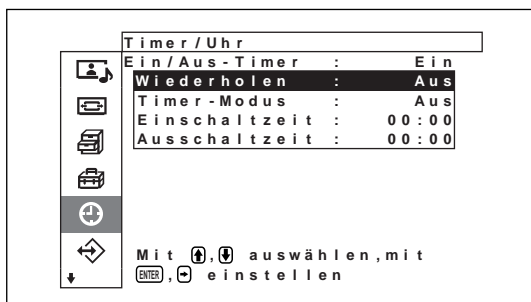
- 1** Stellen Sie im Menü Timer/Uhr den Cursor (gelb) mit den Tasten **↑/↓** auf "Ein/Aus-Timer", und drücken Sie ENTER.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



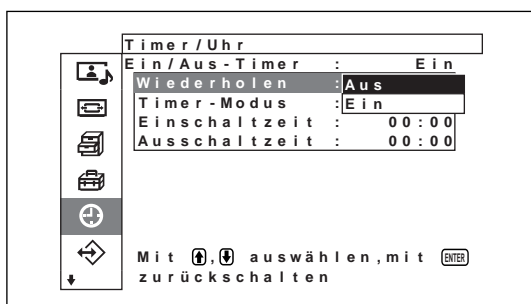
- 2** Wählen Sie mit **↑/↓** die Option Ein aus, und drücken Sie ENTER.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 3** Wählen Sie mit **↑/↓** die Option "Wiederholen" und drücken Sie ENTER.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4** Wählen Sie mit **↑/↓** den Wiederholmodus aus.

Aus: Das Gerät wird nur einmal ein-/ausgeschaltet.

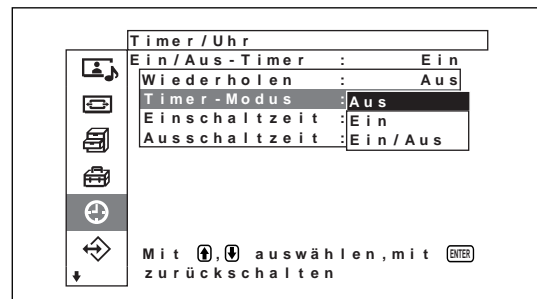
Ein: Das Gerät wird jeden Tag zur voreingestellten Zeit ein-/ausgeschaltet.

- 5** Drücken Sie ENTER.

Nun erscheint wieder das Menü "Ein/Aus-Timer".

- 6** Wählen Sie mit **↑/↓** die Option "Timer-Modus" aus, und drücken Sie ENTER.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 7** Stellen Sie mit **↑/↓**, um den Timer-Modus auszuwählen.

Aus: Das Gerät wird zu der unter "Ausschaltzeit" eingestellten Zeit ausgeschaltet.

Ein: Das Gerät wird zu der unter "Einschaltzeit" eingestellten Zeit eingeschaltet.

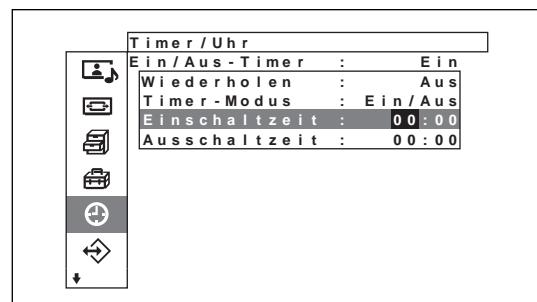
Ein/Aus: Das Gerät wird zu der unter "Einschaltzeit" eingestellten Zeit ein- und zu der unter "Ausschaltzeit" eingestellten Zeit ausgeschaltet.

- 8** Drücken Sie ENTER.

Nun erscheint wieder das Menü "Ein/Aus-Timer".

- 9** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf "Einschaltzeit", und drücken Sie ENTER.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm. Die Stundenangabe wird in einem hellblauen Feld angezeigt.



- 10** Stellen Sie mit **↑/↓** die Stunden ein, und drücken Sie ENTER.

Die Uhrzeit ist damit eingestellt und die Minutenangabe wird in einem hervorgehobenen Feld angezeigt.

11 Stellen Sie mit **↑/↓** die Minuten ein, und drücken Sie ENTER.

Mit **←** schalten Sie zurück zum Bildschirm aus Schritt **2**.

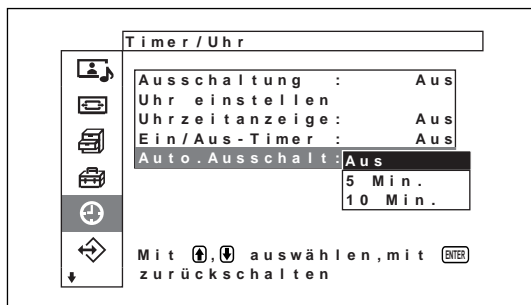
Wenn Sie mit den Tasten am Gerät arbeiten, schließen Sie das Menü mit der Taste MENU und setzen Sie [MENU-Funktion] (Seite 23 (DE)) im Menü "Initial Setup" auf [Zurück]. Die Taste MENU am Gerät hat dann dieselbe Funktion wie die Taste ←.

12 Stellen Sie den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf "Ausschaltzeit", und drücken Sie ENTER. Stellen Sie wie oben erläutert die Stunden und Minuten ein.

Energiesparfunktion

1 Stellen Sie im Menü Timer/Uhr den Cursor (gelb) mit **↑/↓** auf "Auto. Ausschalt", und drücken Sie ENTER.

Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



2 Wählen Sie mit **↑/↓** den Zeitraum aus, nach dem das Gerät in den Energiesparmodus wechselt.

Aus: Die Energiesparfunktion arbeitet nicht.

5 Min.: Schaltet nach fünf Minuten in den Energiesparmodus, wenn kein Signal eingeht.

10 Min.: Schaltet nach 10 Minuten in den Energiesparmodus, wenn kein Signal eingeht.

Wenn der Energiesparmodus aktiviert ist, wechselt das Gerät in den Bereitschaftsmodus.

So beenden Sie die Energiesparfunktion

- Drücken Sie den Schalter **⏻** am Bereich für Netzschalter **⏻** (Bereitschaft) / Netzanzeige oder den Schalter POWER ON auf der Fernbedienung.

Selbstdiagnosefunktion

Das Gerät verfügt über eine Selbstdiagnosefunktion. Damit wird der Zustand des Monitors anhand der Art des Blinkens der Anzeige STANDBY angegeben. Die Art des Blinkens gibt Auskunft über den aktuellen Zustand des Monitors.

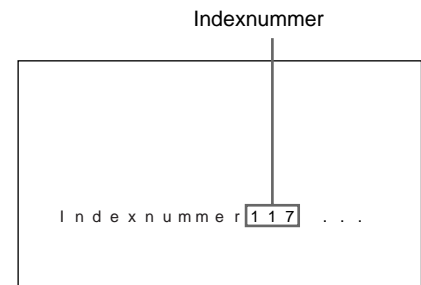
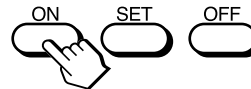
Wenn die Anzeige STANDBY blinkt, sehen Sie nach, wie oft sie blinkt, und wenden Sie sich an Ihren autorisierten Sony-Händler.

- 1 Sehen Sie nach, wie die Anzeige STANDBY blinkt.
Die Anzeige blinkt (und ein Bild wird auf dem Monitor angezeigt), oder die Anzeige blinkt in Intervallen von drei Sekunden (und kein Bild wird auf dem Monitor angezeigt).
Zählen Sie, wie oft die Anzeige in Intervallen von drei Sekunden blinkt. Die Anzeige kann zum Beispiel zweimal blinken, es folgt eine Pause von drei Sekunden und dann wieder zweimal blinken usw. In diesem Fall blinkt die Anzeige zweimal.
- 2 Ziehen Sie den Netzstecker des Geräts aus der Netzsteckdose.
Wenden Sie sich mit der Anzahl des Blinkens an einen autorisierten Sony-Händler.

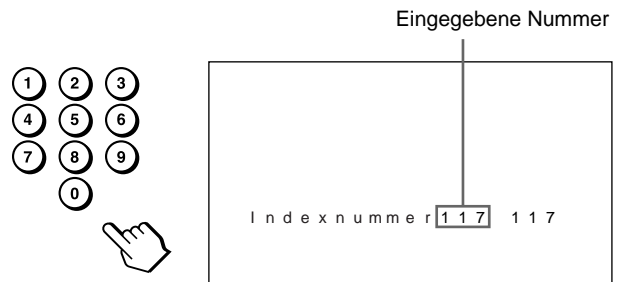
Steuern eines bestimmten Monitors über die Fernbedienung

Mit der mitgelieferten Fernbedienung können Sie einen bestimmten Monitor steuern, ohne die anderen, ebenfalls angeschlossenen Monitore zu beeinflussen.

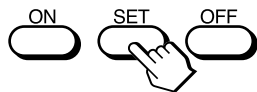
- 1 Drücken Sie die Taste ID MODE ON auf der Fernbedienung.
Die Indexnummern der Monitore werden auf allen Monitoren weiß angezeigt. Jedem Monitor ist werkseitig eine eigene Indexnummer zwischen 1 und 255 zugeordnet.
Unter "So ändern Sie die Indexnummer" in der rechten Spalte auf der nächsten Seite erfahren Sie, wie Sie die Indexnummer ändern können.



- 2 Geben Sie mit den Tasten 0 – 9 auf der Fernbedienung die Indexnummer des Monitors ein, den Sie steuern wollen.
Die eingegebene Nummer erscheint rechts neben der Indexnummer der einzelnen Monitore.



- 3** Drücken Sie ID MODE SET.
Die Zeichen auf dem ausgewählten Monitor werden nun zyan angezeigt, die auf den anderen Monitoren grün. Das Einschalten bzw. das Schalten in den Bereitschaftsmodus wirkt sich allerdings auch auf die anderen Monitore aus.



Sie können nun einen bestimmten Monitor steuern. Im ID-Modus stehen alle Funktionen außer Ein-/Ausschalten zur Verfügung.

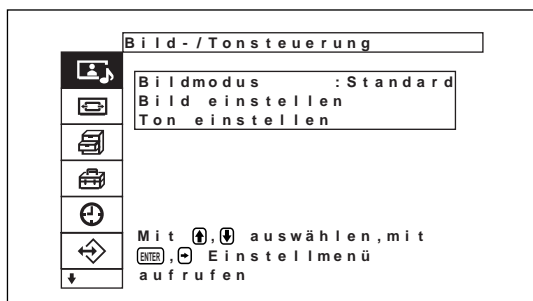
- 4** Nachdem Sie alle Einstellungen geändert haben, drücken Sie die Taste ID MODE OFF. Der Monitor schaltet wieder in den normalen Modus.



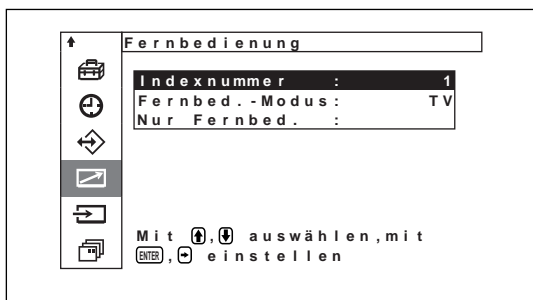
So ändern Sie die Indexnummer

Sie können die Indexnummer gegebenenfalls ändern. Verwenden Sie zum Ändern der Nummer die Tasten am Steuertastenbereich des Monitors.

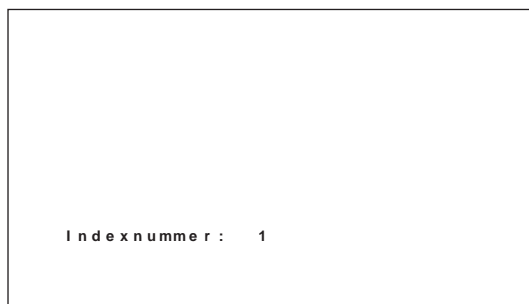
- 1** Drücken Sie MENU.
Das Hauptmenü erscheint auf dem Bildschirm.



- 2** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf "Fernbedienung", und drücken Sie ENTER.
Das Menü Fernbedienung erscheint auf dem Bildschirm.



- 3** Stellen Sie den Cursor (gelb) mit den Tasten ↑/↓ auf "Indexnummer", und drücken Sie ENTER.
Das folgende Menü erscheint auf dem Bildschirm.



- 4** Stellen Sie die Indexnummer mit ↑/↓ ein, und drücken Sie ENTER.
Nun erscheint wieder das Menü Fernbedienung.

Verwenden anderer Fernbedienungsmodelle

Folgende Funktionen können Sie mit anderen Fernbedienungsmodellen ausführen.

- Ein- und Ausschalten
- Eingangswahl
- Menüfunktionen
- Bildeinstellungen: Kontrast, Phase und Farbe
- Bildschirmanzeige ein/aus

Je nach Modell Ihrer Fernbedienung stehen nur bestimmte Tasten zur Verfügung, und Sie können nur bestimmte Operationen ausführen. Eine Übersicht finden Sie in der Tabelle unten.

Modell der Fernbedienung		RM-854	RM-921	RM-PJ1001
Einstellung der Option FERNBED. MODUS		TV	TV	PJ
Eingangswahl	INPUT1	RGB	RGB1	A
	INPUT2	—	RGB2	B
	VIDEO	LINE1	LINE	VIDEO
Menütasten	MENU	MENU	MENU	MENU oder ←
	ENTER	ENTER	ENTER	ENTER oder →
	↑	+	SELECT+↑	↑
	↓	—	SELECT-↓	↓
Bildeinstellung	Kontrast	CONTRAST+/-	—	CONTR+/-
	Farbe	CHROMA+/-	—	COLOR+/-
	Phase	PHASE+/-	—	HUE+/-
Bildschirminformationen		DISPLAY	DISPLAY	STATUS ON

Technische Daten

Bildverarbeitung

Voreingestelltes Signal

siehe Seite 28 (DE)

Abtastrate	13,5 MHz bis 140 MHz
Bildschirmsystem	Plasmabildschirm (Wechselstrom)
Anzeigeauflösung	1 365 Punkte (horizontal) × 768 Zeilen (vertikal)
Pixelgröße	0,81 (horizontal) × 0,81 (vertikal) mm
Bildgröße	1 106 (horizontal) × 622 (vertikal) mm
Bildschirmgröße	50 Zoll, Diagonale 1 270 mm

Eingänge und Ausgänge

INPUT1/INPUT2

RGB/YUV D-Sub, 15polig (weiblich) (×2)
(siehe "Stiftbelegung" auf Seite 53 (DE))

AUDIO Stereominibuchse
500 mV effektiver Mittelwert,
hohe Impedanz

SPEAKER

7 W + 7 W (6 Ohm), direkte
unsymmetrische Impedanz:
6 – 16 Ohm

CONTROL S IN/OUT

REMOTE (RS-232C)
9poliger D-Sub-Anschluß (×1)

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)¹⁾

COMPOSITE IN BNC-Anschluß (×1)
FBAS-Videosignal, 1 Vp-p ±2 dB,
sync-negativ, 75 Ohm
(automatischer Abschluß)

Y/C IN Mini-DIN, 4polig (×1)
Y-Signal (Luminanz): 1 Vp-p ±2
dB, sync-negativ, 75-Ohm-
Abschlußwiderstand
C-Signal (Chrominanz): Burst
0,286 Vp-p ±2 dB (NTSC), 75-
Ohm- Abschlußwiderstand
Burst 0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), 75-
Ohm- Abschlußwiderstand

AUDIO IN Stereominibuchse
500 m V effektiver Mittelwert,
hohe Impedanz

COMPOSITE OUT

BNC-Durchschleifanschluß (×1)

Sicherheitsbestimmungen

UL1950, CSA Nr. 950 (c-UL),
FCC Klasse B, IC Klasse B,
EN60 950 (NEMKO), CE, C-
Tick

Allgemeines

Betriebsspannung 100 bis 240 V Wechselstrom, 50/
60 Hz, 5,4 bis 2,2 A

Leistungsaufnahme

490 W

Betriebsbedingungen

Temperatur: 0 bis 35 °C
Luftfeuchtigkeit: 20 bis 90%
(nicht kondensierend)
Atmosphärischer Druck: 700 bis
1 060 hPa

Lager-/Transportbedingungen

Temperatur: -10 °C bis +40 °C
Luftfeuchtigkeit: 20 bis 90%
(nicht kondensierend)
Atmosphärischer Druck: 720 bis
1 114 hPa

Abmessungen

1 246 × 755 × 100 mm
(B/H/T, ohne vorstehende Teile)

Gewicht

46,7 kg

Mitgeliefertes Zubehör

Netzkabel (1)
Netzsteckerhalter (2)
Kabelhalter A (2)
Kabelhalter B (6)
Fernbedienung RM-971 (1)
R6-Batterien der Größe AA (2)
Bedienungsanleitung (1)

Gesondert erhältliches Zubehör

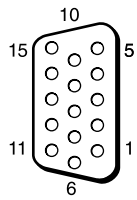
Monitorständer SU-P50C
Lautsprecher SS-SP10A
Videoeingangsadapter BKM-B10

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen,
bleiben vorbehalten.

1) Der PFM-50C1E ist nicht mit VIDEO-Anschlüssen ausgestattet. Beim PFM-50C1E können FBAS-Video- und Y/C-Signale in den Monitor eingespeist werden, wenn der Videoeingangsadapter BKM-B10 (nicht mitgeliefert) im Monitor installiert wird.

Stiftbelegung

Anschluß RGB/YUV (D-Sub, 15polig)



Stift Nr.	Signal
1	Videosignal Rot oder R-Y oder P _R
2	Videosignal Grün oder Y oder Grünsignal mit Synchronisation
3	Videosignal Blau oder B-Y oder P _B
4	Masse
5	Masse
6	Masse Rot
7	Masse Grün
8	Masse Blau
9	Nicht belegt
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	Horizontales oder zusammengesetztes Synchronisationssignal
14	Vertikales Synchronisationssignal
15	SCL

ADVERTENCIA

Para evitar el peligro de incendio o descargas eléctricas, no exponga la unidad a la lluvia ni a la humedad.

Presencia de alta tensión peligrosa en el interior de la unidad. No abra el aparato. Solicite asistencia técnica sólo a personal especializado.

La toma mural debe estar instalada cerca del equipo y debe accederse a ésta con facilidad.

Precauciones	5 (ES)
Características	6 (ES)
Ubicación y función de componentes y controles	7 (ES)
Parte frontal / Parte posterior / Lateral derecho	7 (ES)
Sección de indicadores / Interruptor \odot (de espera) ...	8 (ES)
Sección de botones de control (parte superior)	8 (ES)
Panel de conectores	9 (ES)
Mando a distancia RM-971	11 (ES)
Precaución	13 (ES)
Conexiones	14 (ES)
Conexión de los altavoces	14 (ES)
Conexión del cable de alimentación de CA	14 (ES)
Ejemplo de conexión	14 (ES)
Fijación del núcleo de ferrita	16 (ES)
Uso de los menús en pantalla	18 (ES)
Empleo mediante menús	18 (ES)
Guía de los menús	18 (ES)
Visualización de la imagen	26 (ES)
Conmutación de la señal de entrada	26 (ES)
Información sobre la señal de entrada, el modo de imagen y el estado de la visualización	27 (ES)
Conmutación del modo de visualización	29 (ES)
Función de ahorro de energía	29 (ES)
Selección de la calidad de imagen	30 (ES)
Ajuste de la imagen	31 (ES)
Ajuste del contraste, brillo, crominancia, fase, etc.	31 (ES)
Restauración de los valores originales de los elementos del menú Ajuste imagen	34 (ES)
Ampliación de imágenes	34 (ES)
Ajuste panorámico auto	35 (ES)
Ajuste del modo panorámico	36 (ES)
Cambio del tamaño y posición de la imagen	37 (ES)
Cambio de tamaño de la imagen	37 (ES)
Ajuste de la posición de la imagen	37 (ES)
Ajuste de los píxeles	38 (ES)

Restauración de los valores originales de los elementos del menú Control pantalla	39 (ES)
Ajuste de la calidad del sonido	39 (ES)
Ajuste de agudos, bajos y balance, etc.	39 (ES)
Restauración de los elementos del menú de Ajuste sonido a su ajuste original.....	40 (ES)
Uso de la función de memoria	40 (ES)
Almacenamiento del ajuste actual	40 (ES)
Recuperación de un ajuste almacenado	41 (ES)
Selección del idioma en pantalla	42 (ES)
Función de protector de pantalla	42 (ES)
Inversión de los tonos de color de la imagen	42 (ES)
Cambio automático de la posición de la imagen	44 (ES)
Ajuste de la matriz de colores	45 (ES)
Control automático de la alimentación (función de control de alimentación)	45 (ES)
Función de Autoapagado	45 (ES)
Ajuste de la hora	46 (ES)
Visualización de la hora	46 (ES)
Función temporizador act/des	47 (ES)
Función de ahorro de energía.....	48 (ES)
Función de autodiagnóstico	48 (ES)
Empleo de una pantalla específica con el mando a distancia	49 (ES)
Uso de otros modelos de mando a distancia	51 (ES)
Especificaciones	52 (ES)

Precauciones

Seguridad

- Una placa de identificación que indica la tensión de funcionamiento, consumo de energía, etc. se encuentra en la parte posterior de la unidad.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea examinada por personal especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural si no va a utilizarla durante varios días o más.
- Para desconectar el cable de alimentación de CA, tire del enchufe. No tire nunca del propio cable.
- Para instalar la unidad en el suelo, asegúrese de utilizar el soporte opcional.

Instalación

- Con el fin de evitar el recalentamiento interno de la unidad, permita que reciba una ventilación adecuada. No la coloque sobre superficies (alfombras, mantas, etc.) ni cerca de materiales (cortinas, tapices) que puedan bloquear los orificios de ventilación.
- No instale la unidad en un lugar cerca de fuentes de calor como radiadores o salidas de aire caliente, ni en lugares expuestos a la luz solar directa, polvo excesivo o vibraciones o golpes mecánicos.
- Al instalar múltiples equipos con la unidad, pueden producirse problemas como un funcionamiento defectuoso del mando a distancia, ruido de imagen o sonido, etc., según la posición de la unidad y de los demás equipos.

PDP (panel de visualización de plasma)

- Es posible que vea en la pantalla cómo permanecen algunos puntos brillantes (rojos, azules o verdes) o cómo aparecen puntos negros. A pesar de que el panel de visualización de plasma está fabricado con tecnología de alta precisión, puede crear algunos píxeles negros o brillantes. Sin embargo, aunque aparezcan puntos negros en el borde del mismo o irregularidades de brillo o franjas de color, esto no indica un fallo de funcionamiento.
- No muestre la misma imagen fija en la pantalla durante mucho tiempo. En caso contrario, puede aparecer una imagen residual o fantasma en parte del panel. Utilice la función de protector de pantalla para igualar la visualización en pantalla.

- Debido al proceso de fabricación de esta pantalla de plasma, si se utiliza en sitios con baja presión atmosférica, por ejemplo a grandes alturas, la unidad puede emitir pitidos o zumbidos.
- Se la stessa immagine viene visualizzata per un periodo di tempo prolungato, è possibile che una parte di tale immagine si imprima sullo schermo e lasci un'immagine residua. Per evitare tale fenomeno, utilizzare la funzione salvaschermo fornita per visualizzare un'immagine a schermo pieno. Nel caso di immagini residue, utilizzare la funzione salvaschermo oppure utilizzare un software video o di immagine in modo che sullo schermo sia sempre presente un'immagine in movimento. Sebbene le immagini residue di scarsa entità (immagini impresse) risultino meno evidenti, una volta verificatosi, il fenomeno non potrà essere risolto completamente.
- Para proteger la pantalla de plasma, esta unidad no acepta comandos del mando a distancia ni de los botones de función de la unidad durante un intervalo de tiempo después de pulsar los botones ON o STANDBY. Después de pulsarlos, espere unos 8 segundos antes de introducir un comando.

Limpieza

Para mantener la unidad como nueva, límpiela periódicamente con una solución detergente poco concentrada. Nunca utilice disolventes concentrados como diluyentes o bencina ni limpiadores abrasivos, ya que pueden dañar el acabado. Como precaución de seguridad, desenchufe la unidad antes de limpiarla.

Acerca de la manipulación y la limpieza de la pantalla

La pantalla de este aparato requiere una serie de cuidados especiales de manipulación y limpieza. Para limpiar, utilice un paño de limpieza a fin de evitar tocar directamente el panel.

Embalaje

Conserve la caja y los materiales de embalaje, ya que son ideales para transportar la unidad. Al trasladar la unidad, embálela tal como se indica en la caja.

Si desea realizar alguna consulta referente a la unidad, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

Características

Las unidades de PFM-50C1/50C1E son pantallas de 16:9 de panel plano de 50 pulgadas. Están equipadas con el panel PDP (Plasma Display Panel), que acepta distintos tipos de señales mediante el convertidor de exploración incorporado.

Calidad de imagen mejorada

PFM-50C1/50C1E utiliza un panel de visualización de plasma de 1365 puntos × 768 líneas de alta precisión. Este panel ofrece una capacidad de reproducción de imágenes de gran calidad a partir de una amplia variedad de fuentes de imagen.

Circuito de imágenes digitales de alta calidad de Sony

El procesamiento digital coherente de todas las señales de imagen permite reproducir fielmente imágenes de alta calidad.

Amplificadores de audio

Esta pantalla está equipada con amplificadores de sonido digital de gran calidad que, combinados con unos altavoces opcionales, proporciona una presentación espectacular.

Otras características

- Se proporciona una ranura de opción para las expansiones futuras.
- Función de modo de unidad de cine
- Conectores de salida para altavoz (I/D)
- Control S (IN/OUT)
- Dos entradas RGB/componente y una entrada de vídeo.
- Muestra la señal HDTV con señal de sincronización de tres niveles.
- Filtro de peine tridimensional para la separación NTSC Y/C.
- Filtro de peine por correlación de líneas para la separación PAL Y/C.
- Detección automática de señales de entrada con indicación en pantalla.
- Compatibilidad con Windows¹⁾95/98 PnP (Plug and Play).
- Función de Imagen dinámica
- Menú en pantalla para realizar distintos ajustes
- Indicación en pantalla en seis idiomas para facilitar el acceso al usuario. (Idiomas: inglés, alemán, francés, italiano, español y japonés.)
- Ajuste fino del tamaño y posición de la imagen
- Función de memoria para el almacenamiento de hasta veinte ajustes de imagen.
- Control de ID
- Función de autodiagnóstico
- Conector de control remoto (RS-232C) (D-sub de 9 pines)
- Permite emplear mandos a distancia Sony infrarrojos utilizando el código SIRCS.
- Ajuste vertical
- Decodificador de "Closed caption" (título)
- Protector de pantalla para reducir imágenes residuales o fantasma.

Advertencia sobre la conexión de la alimentación

Utilice un cable de alimentación adecuado al suministro eléctrico local.

PFM-50C1/50C1E

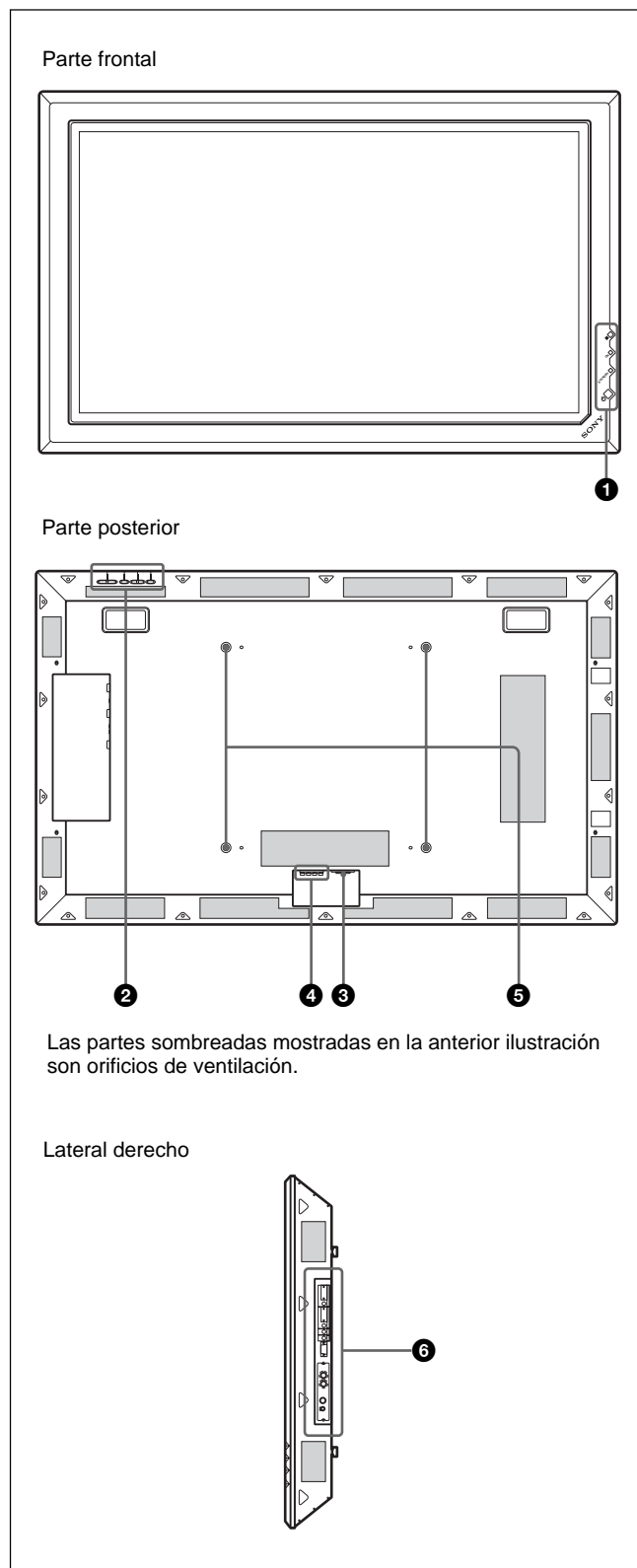
	Estados Unidos, Canadá	Europa continental	Reino Unido, Irlanda, Australia, Nueva Zelanda	Japón
Tipo de enchufe	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Extremo hembra	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Tipo de cable	SVT	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Valor nominal mínimo del juego de cables	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Aprobación de seguridad	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

a) Nota: Utilice un enchufe de valor nominal adecuado que cumpla con las regulaciones locales.



1) Windows es una marca comercial registrada de Microsoft Corporation (en EE.UU. y otros países).

Ubicación y función de componentes y controles

Parte frontal / Parte posterior / Lateral derecho



1 Sección de indicadores / interruptor (de espera)

Para obtener información detallada sobre la sección de indicadores / interruptor  (de espera), consulte “Sección de indicadores / Interruptor  (de espera)” en la página 8 (ES).

2 Sección de botones de control

Para obtener más información sobre la sección de botones de control, consulte “Sección de botones de control (parte superior)” en la página 8 (ES).

3 Toma \sim AC IN

Conecte el cable de alimentación de CA suministrado a esta toma y a una toma mural. Una vez conectado el cable de alimentación de CA, el indicador STANDBY se ilumina en color rojo y el monitor cambia al modo de espera.

Si desea obtener más información acerca del cable de alimentación, consulte “Conexión del cable de alimentación de CA” en la página 14 (ES).

4 Toma SPEAKER (Salida de audio)

El componente audio de la señal que se muestra en pantalla se emite cuando se conectan a esta toma altavoces vendidos por separado.

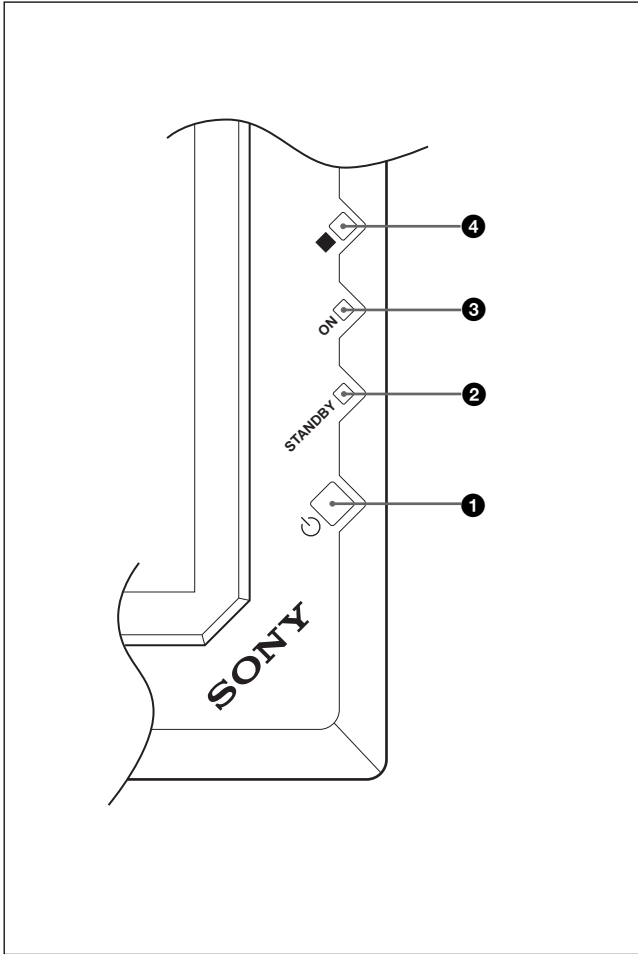
5 Ganchos de instalación del soporte

Utilice estos ganchos para instalar el soporte (no suministrado).

6 Panel de conectores

Para obtener más información sobre el panel de conectores, consulte “Panel de conectores” en la página 9 (ES).

Sección de indicadores / Interruptor (de espera)



1 Interruptor (de espera)

Púlselo para encender la pantalla. Vuelva a pulsarlo para volver al modo de espera.

Nota

Para proteger el panel, es necesario cierto tiempo para activar la unidad o ponerla en modo de espera. Espere unos 8 segundos después de realizar cualquiera de estas operaciones antes de volver a pulsar este interruptor.

2 Indicador STANDBY

Se ilumina en rojo en el modo de espera. Si parpadea el indicador STANDBY, consulte "Función de autodiagnóstico" en la página 48 (ES).

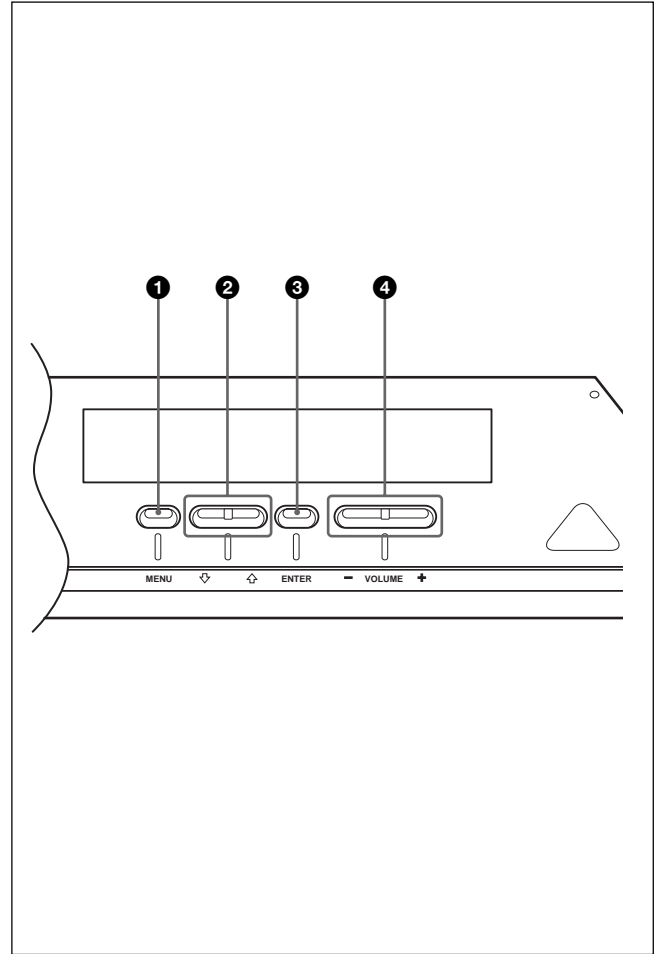
3 Indicador ON

Se ilumina en verde cuando la unidad de visualización está activada.

4 Detector de control remoto

Recibe la señal del mando a distancia.

Sección de botones de control (parte superior)



1 Botón MENU

Púlselo para que aparezca el menú. Cuando el menú aparece en la pantalla, púlselo para volver al nivel anterior del menú. El menú ya no se muestra cuando pulsa de nuevo este botón.

Si utiliza el botón MENU para volver al nivel de menú anterior, consulte "Menú Ajuste inicial" en la página 23 (ES).

2 Botones ↑/↓

Púlselos para desplazar el cursor (amarillo) hasta un elemento o para ajustar un valor en un menú.

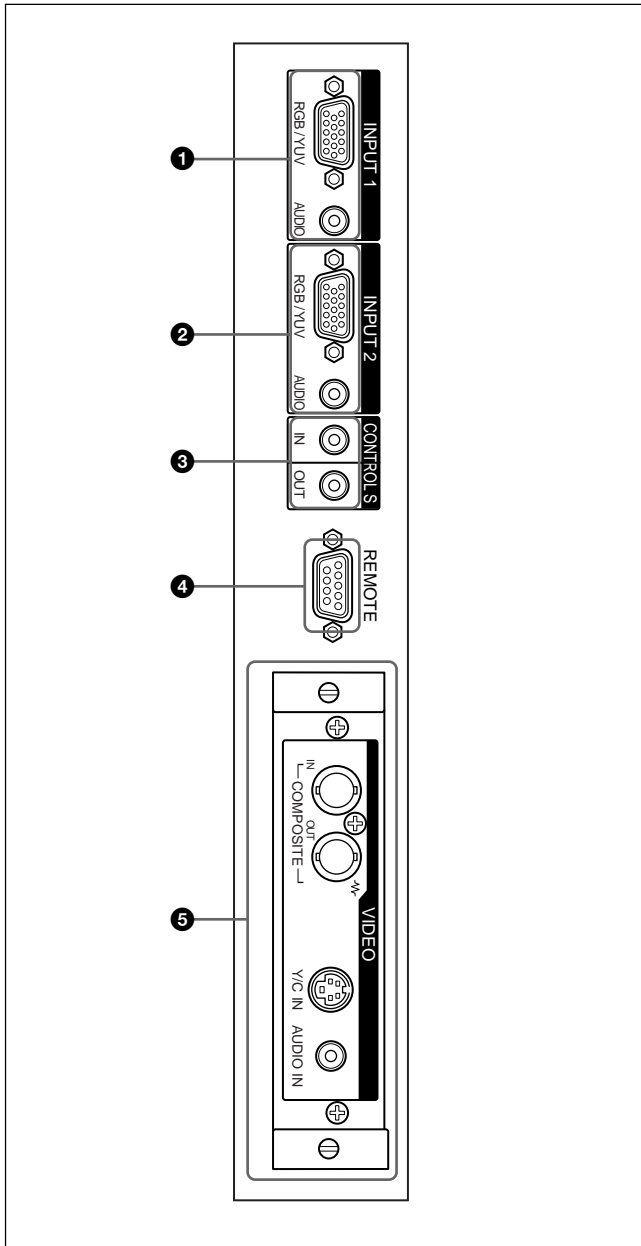
3 Botón ENTER

Pulse este botón para seleccionar el elemento que desee en el menú mostrado.

4 Botón VOLUME +/-

Púlselo para ajustar el volumen del sonido que emiten los altavoces.

Panel de conectores



1 Conectores INPUT1

RGB/YUV (D-sub de 15 pines): Se conecta a la salida de señal (YUV) de componente o de señal RVB de un ordenador o de un componente de un equipo de vídeo.

Esta pantalla también acepta la señal de componente HD analógica (Y/PB/PR). Consulte "Asignación de pines" en la página 53 (ES) al introducir una señal de componente.

AUDIO (minitoma estéreo): Introduce una señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un ordenador o de un componente de un equipo de vídeo.

2 Conectores INPUT2

RGB/YUV (D-sub de 15 pines): Se conecta a la salida de señal RVB o de componente (YUV) de un ordenador o equipo de vídeo.

Esta pantalla también acepta la señal de componente HD analógica (Y/PB/PR). Consulte "Asignación de pines" en la página 53 (ES) al introducir una señal de componente.

AUDIO (minitoma estéreo): Introduce una señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un ordenador o de un componente de un equipo de vídeo.

3 Conector CONTROL S IN/OUT (Entrada/salida de señal del control S) (minitoma)

Con un único mando a distancia es posible controlar múltiples aparatos si está conectado al conector CONTROL S de un aparato de vídeo u otra pantalla. Conecte el conector CONTROL S OUT de esta pantalla al conector CONTROL S IN del otro dispositivo y, a continuación, el conector CONTROL S IN de la pantalla al conector CONTROL S OUT del otro dispositivo.

4 Conector REMOTE (RS-232C) (D-sub de 9 pines)

Este conector permite realizar el control remoto de la pantalla mediante el protocolo RS-232C. Para obtener información detallada, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

5 Conectores VIDEO

El PFM-50C1E no dispone de conectores VIDEO. En los modelos PFM-50C1E, se pueden introducir la entrada Y/C y la entrada de vídeo compuesta en la pantalla si ésta tiene instalado el adaptador de entrada de vídeo BKM-B10 (no suministrado).

COMPOSITE IN (tipo BNC): Se conecta a la salida de señal de vídeo compuesta de un componente de un equipo de vídeo.

COMPOSITE OUT (tipo BNC): Se conecta a la entrada de señal de vídeo compuesta de un componente de un equipo de vídeo.

Y/C IN (mini DIN de 4 pines): Se conecta a la salida de señal Y/C de un componente de un equipo de vídeo.

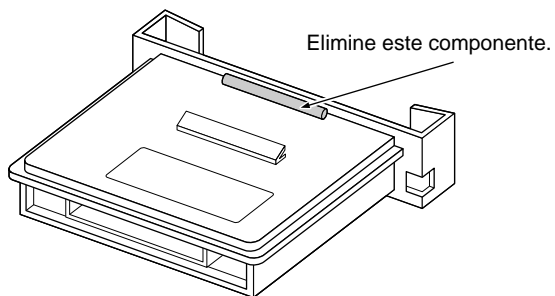
AUDIO IN (minitoma estéreo): Introduce una señal de audio. Se conecta a la salida de audio de un componente de un equipo de vídeo.

Utilice los núcleos de ferrita que aparecen a continuación, o modelos compatibles, para fijarlos a los cables que enchufe a los conectores de señal INPUT1 o INPUT2 RGB/YUV.

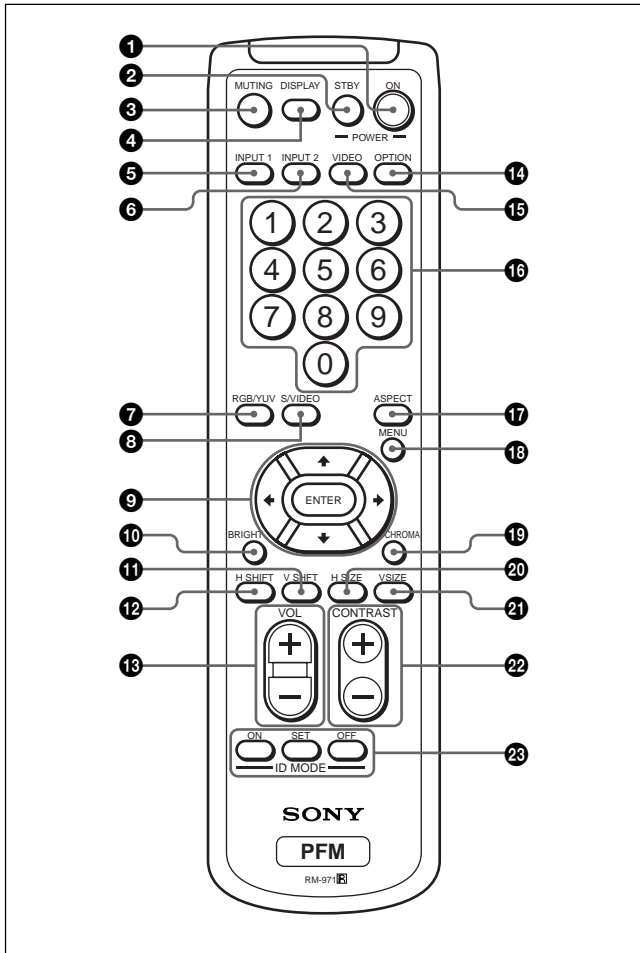
SMF-400 (DSub-DSub 15P)

MTSB-15HKBB-18 (DSub 15P-BNC)

Si utiliza el modelo PFM-50C1E con BKM-B10 (no suministrado) y aparecen líneas laterales en la pantalla, elimine el componente que se muestra en la ilustración.



Mando a distancia RM-971



1 Interruptor POWER ON

Púlselo para encender la pantalla.

2 Botón STANDBY

Púlselo para que la pantalla cambie al modo de espera.

3 Botón MUTING

Silencia el sonido.

4 Botón DISPLAY

Muestra la información sobre la señal de entrada y el modo de imagen en el panel de visualización. Púlselo de nuevo para borrarla.

Pulse este botón de nuevo para borrarla.

Si deja que la información permanezca en pantalla, ésta desaparecerá automáticamente transcurrido un breve período de tiempo.

5 Botón INPUT1

Selecciona la señal introducida desde los conectores INPUT1.

6 Botón INPUT2

Selecciona la señal introducida desde los conectores INPUT2.

7 Botón RGB/YUV

Púlselo para seleccionar el formato que coincida con el de la señal de entrada conectada al conector INPUT1 o INPUT2. Con cada pulsación, se alterna entre RVB y YUV.

8 Botón S/VIDEO

Entre todos los conectores VIDEO, selecciona la entrada de señal del conector COMPOSITE IN o el conector Y/C IN.

9 Botones ↑/↓/←/→/ENTER

Los botones ↑/↓/←/→ desplazan el cursor del menú (amarillo) y ajustan los valores, etc. Al pulsar el botón ENTER se entra en el menú seleccionado o se fija el contenido.

10 Botón BRIGHT +/-

Ajusta el brillo si el modo de imagen se ajusta en "Usuario 1-3".

Pulse este botón y, a continuación, ajuste el brillo mediante el botón 9 ↑/↓ o ←/→.

11 Botón V SHIFT

Ajusta el centrado vertical. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el centrado vertical con el botón 9 ↑/↓.

12 Botón H SHIFT

Ajusta el centrado horizontal. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el centrado horizontal con el botón 9 ↑/↓ o el botón ←/→ 9.

13 Botón VOLUME +/-

Ajusta el volumen.

14 Botón OPTION

Selecciona la entrada de señal del adaptador opcional (excepto BKM-B10) cuando lo instala en la unidad.

15 Botón VIDEO

Entre todos los conectores VIDEO, selecciona la entrada de señal del conector COMPOSITE IN o el conector Y/C IN.

16 Botones numéricos

Púlselos para introducir el número de índice.

17 Botón ASPECT

Selecciona la relación de aspecto de la imagen (modo panorámico).

18 Botón MENU

Púlselo para que aparezca el menú. El menú ya no se muestra cuando pulsa de nuevo este botón.

Si utiliza el botón MENU para volver al nivel de menú anterior, consulte "Menú Ajuste inicial" en la página 23 (ES).

19 Botón CHROMA +/-

Ajusta la crominancia si el modo de imagen está fijado en "Usuario 1-3". Pulse este botón y, a continuación, ajuste el centrado horizontal con \uparrow/\downarrow o el botón \leftarrow/\rightarrow 9.

20 Botón H SIZE

Ajusta el tamaño horizontal de la imagen. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el tamaño horizontal de la imagen con el botón \uparrow/\downarrow 9.

21 Botón V SIZE

Ajusta el tamaño vertical de la imagen. Pulse este botón y, a continuación, ajuste el tamaño vertical de la imagen con el botón \uparrow/\downarrow 9.

22 Botón CONTRAST +/-

Ajusta el contraste si el modo de imagen está establecido en "Usuario 1-3".

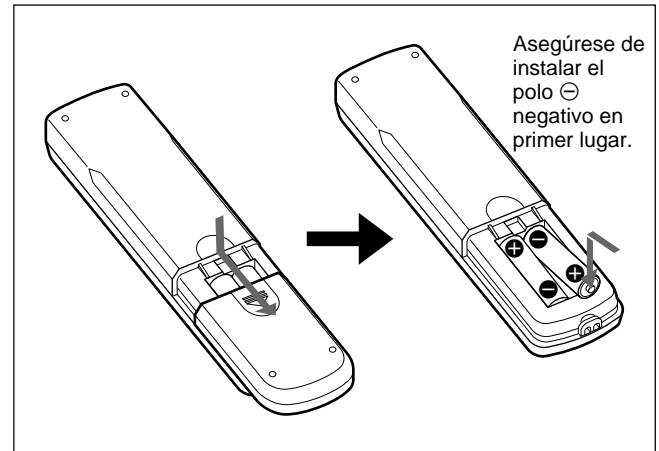
23 Botones ID MODE (ON/SET/OFF)

Pulse el botón ON para que aparezca un número de índice en pantalla. A continuación, introduzca el número de índice de la pantalla que desee utilizar mediante los botones numéricos 16 y pulse el botón SET. Después de realizar esta operación, pulse el botón OFF para volver a cambiar del modo ID al modo normal.

Para obtener información detallada sobre el número de índice, consulte "Empleo de una pantalla específica con el mando a distancia" en la página 49 (ES).

Instalación de pilas

Inserte dos pilas de tamaño AA (R6) con la polaridad correcta.



- Con un uso normal, las pilas pueden durar hasta medio año. Si el mando a distancia no funciona correctamente, es posible que se hayan agotado antes las pilas. Sustitúyalas por otras nuevas.
- Para evitar daños producidos por posibles fugas, retire las pilas si no tiene previsto utilizar el mando a distancia durante un periodo prolongado.

Si el mando a distancia no funciona

Compruebe que el indicador STANDBY se ilumina y que Modo Remoto del menú Control remoto no está ajustado en DES. Es posible controlar la pantalla mediante el mando a distancia sólo si se cumplen las dos condiciones que se indican a continuación.

- La pantalla está encendida o en el modo de espera.
- El elemento Modo Remoto del menú Control remoto está ajustado en TV o en PJ.

Para obtener información detallada sobre Modo Remoto, consulte "Menú Control remoto" en la página 24 (ES).

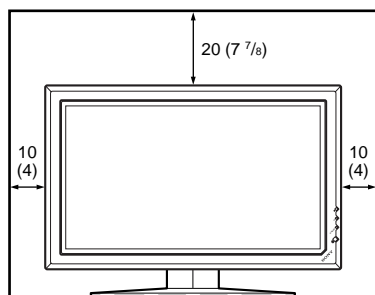
Precaución

Proporcionar una gran cantidad de espacio alrededor de la pantalla.

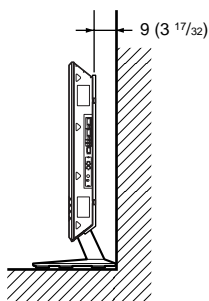
- Cuando utilice la pantalla, asegúrese de que el espacio existente a su alrededor es más grande que el que se muestra en la figura que aparece a continuación. Ello garantizará una adecuada ventilación.
- La temperatura ambiente debe ser de 0 °C a +35 °C (32 °F a 95 °F).
- Utilice el soporte de pantalla SU-P50C (no suministrado) como soporte.
- Es posible que algunos componentes se calienten mientras la unidad está encendida, lo cual podría causar quemaduras. Con la pantalla encendida, o justo después de que ésta pase al modo de espera, no toque la parte superior ni posterior de la unidad.

Al utilizar el soporte (no suministrado)

Frontal



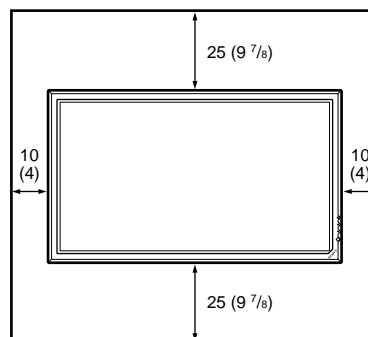
Lateral



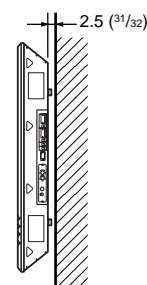
Unidades: cm (pulgadas)

Al montar la pantalla en horizontal

Frontal




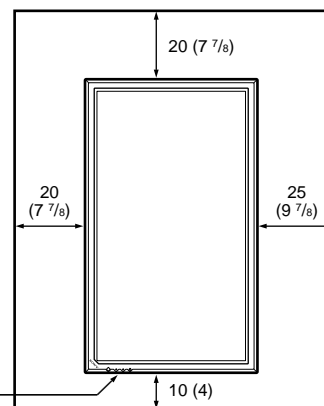
Lateral



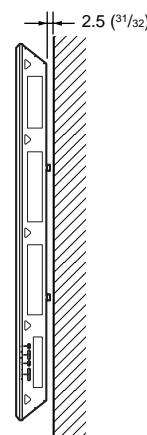
Unidades: cm (pulgadas)

Al montar la pantalla en vertical

Asegúrese de que el interruptor  (de espera) se encuentra en la parte inferior.



Lateral



Unidades: cm (pulgadas)

Notas sobre la retención de imágenes

Si se muestran las imágenes **1** – **5** (a continuación) durante un período de tiempo prolongado, puede producirse una retención de la imagen (imagen residual) en un área de la pantalla debido a las características del panel de la pantalla de plasma. Es posible reducir la retención de imágenes mediante los pasos **A** – **D**.

Situaciones que pueden provocar imágenes residuales o retención de imágenes

- 1** Barras negras en la parte superior e inferior que aparecen con una fuente de video panorámica (imagen tipo buzón)
- 2** Barras negras a izquierda y derecha que aparecen con una fuente de video 4:3 (emisión de TV convencional)
- 3** Fuentes de videojuegos
- 4** Visualizaciones de menú en pantalla de DVD
- 5** Menús en pantalla, números de canal, etc. de equipos conectados como DSS, decodificadores, unidades de video, etc.

Precauciones para evitar o reducir las imágenes residuales y la retención de imágenes

- A** Utilice la función automática Screen Saver (protector de pantalla) en movimiento.
- B** Evite la visualización de números de canal, menús en pantalla, etc. de equipos conectados como, por ejemplo, DSS, decodificadores, unidades de video, etc. Para borrar los números de canal o menús en pantalla, consulte el manual del usuario del equipo conectado.
- C** Reduzca el brillo de la imagen y de la fuente de video en el modo Wide Zoom (zoom panorámico) o Full Mode (pantalla completa).
- D** Es posible reducir pequeñas retenciones de imagen mediante la función “Invers. imag” (Inversión de imagen) de “Protector de pantalla”, aunque no es posible eliminarlas por completo una vez que se han producido.

Notas acerca de “Pic. Inversion (Inversión de la imagen)” de “Screen Saver”

Si la imagen visualizada aparece como el negativo de una película, es posible que “Pic. Inversion (Inversión de la imagen)” de “Screen Saver” esté ajustado en “Auto” u “On”. Para volver a la imagen normal, seleccione “Off” o restablezca la hora especificada en “Auto”.

Pic. Inversion (Inversión de la imagen) invierte los colores de la imagen (ejemplo: de blanco a negro, de negro a blanco) y corrige la retención de imágenes (imagen residual) con la imagen de la pantalla activada. Durante la inversión de imágenes, la imagen tiene un aspecto similar al negativo de una película. No se trata de un fallo de funcionamiento.

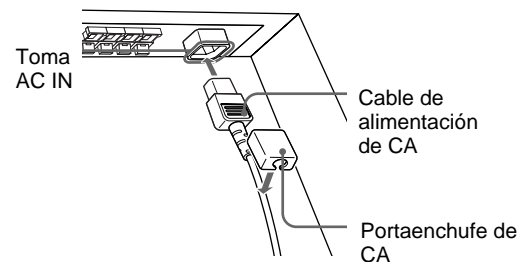
Conexiones

Conexión de los altavoces

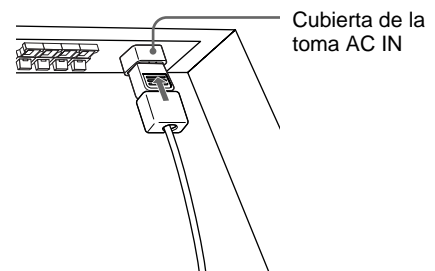
Podrá disfrutar de visionados con una mayor presencia conectando los altavoces (SS-SP10A, no suministrados). Asegúrese de que ha conectado los altavoces correctamente. Si desea obtener más información acerca de cómo conectar los altavoces, consulte el manual de instrucciones que se suministra con éstos.

Conexión del cable de alimentación de CA

- 1** Enchufe el cable de alimentación de CA en la toma AC IN. A continuación, conecte el portaenchufe de CA (suministrado) al cable de alimentación de CA.



- 2** Deslice el portaenchufe de CA sobre el cable hasta que se conecte a la cubierta de la toma AC IN.



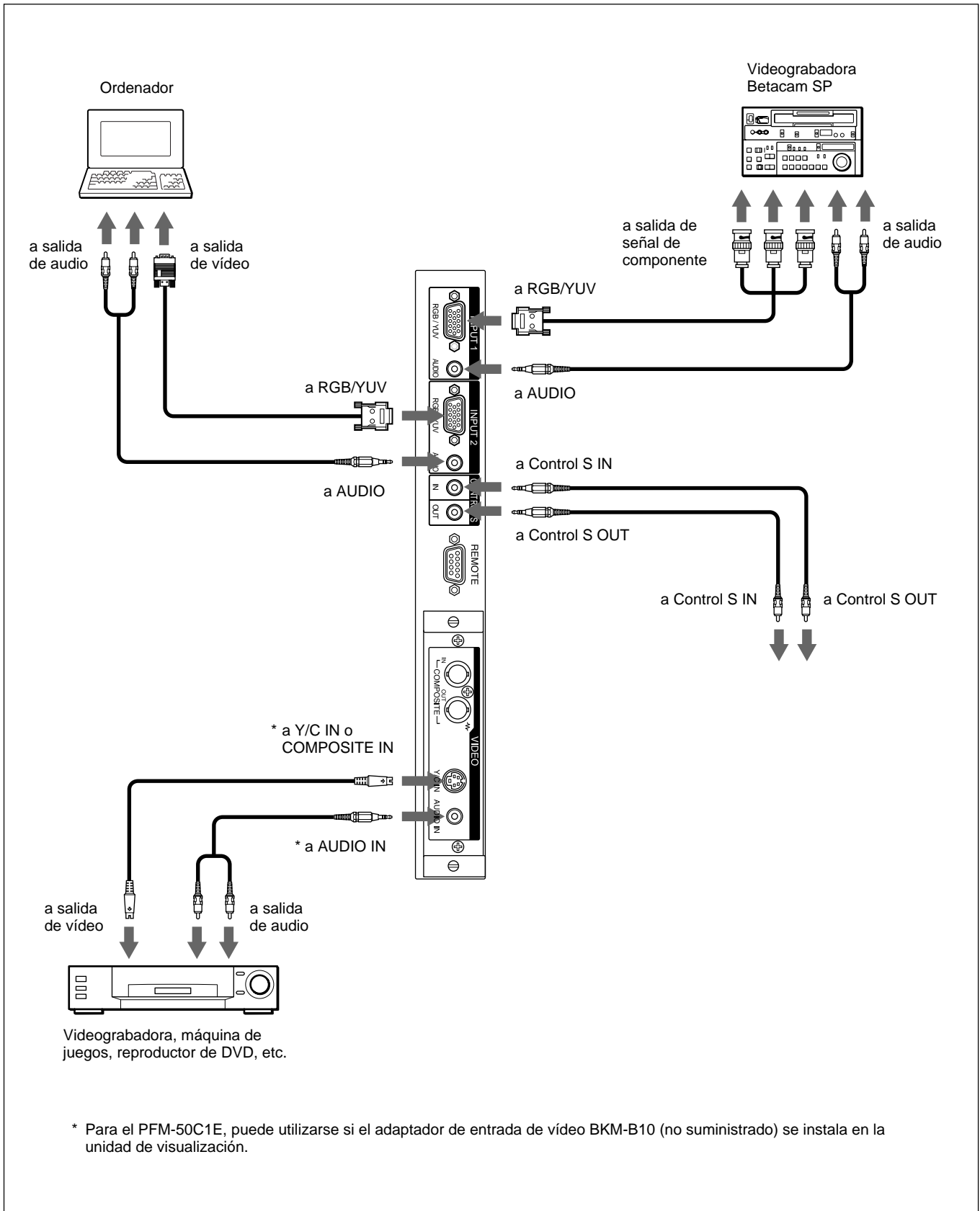
Para retirar el cable de alimentación de CA

Tras apretar el portaenchufe de CA y liberarlo, agarre el enchufe y tire del cable de alimentación de CA.

Ejemplo de conexión

Antes de comenzar

- En primer lugar, compruebe que ha desactivado la alimentación de todos los equipos.
- Emplee cables de conexión adecuados al equipo que va a conectar.
- Los conectores de cable deben insertarse por completo en las tomas. Una conexión floja puede producir zumbidos y otros ruidos.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe, nunca del propio cable.
- Consulte el manual de instrucciones del equipo que vaya a conectar.
- Inserte el enchufe firmemente en la toma AC IN.
- Utilice el portaenchufe de CA (suministrados) que mejor fije el enchufe de CA.

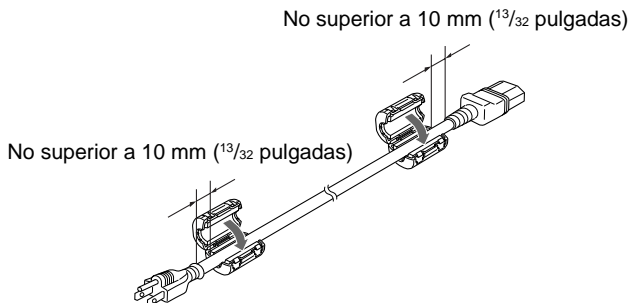


* Para el PFM-50C1E, puede utilizarse si el adaptador de entrada de vídeo BKM-B10 (no suministrado) se instala en la unidad de visualización.

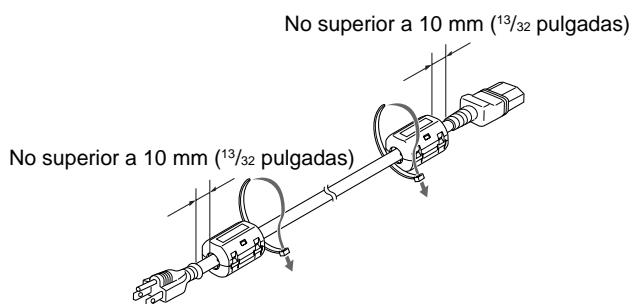
Fijación del núcleo de ferrita

Al fijarlo al cable de alimentación de CA

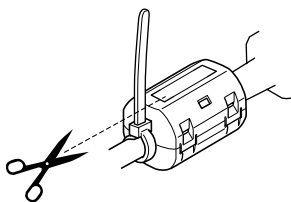
- 1 Fije los núcleos de ferrita a ambos extremos del cable de alimentación de CA y ciérrelos hasta que se oiga un “clic”.



- 2 Enrolle el tope alrededor del cable para que los núcleos de ferrita no resbalen.

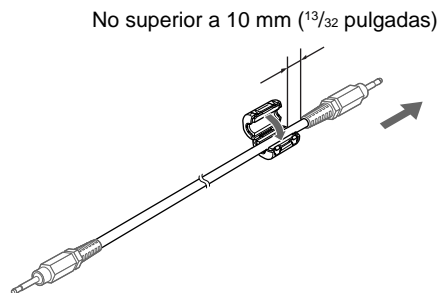


- 3 Apriete el tope y corte la parte superflua.

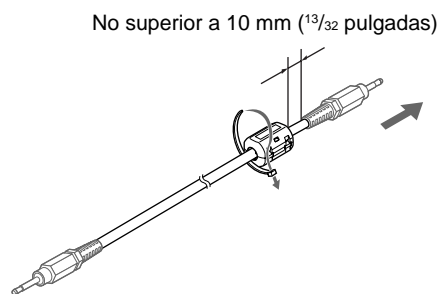


Al fijarlo a los cables

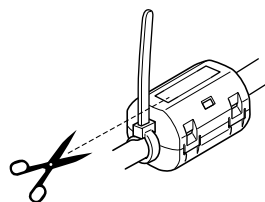
- 1 Fije el núcleo de ferrita al extremo del cable más próximo a la unidad y ciérrelo hasta que oiga un “clic”.



- 2 Enrolle el tope alrededor del cable para que el núcleo de ferrita no resbale.



- 3 Apriete el tope y corte la parte superflua.

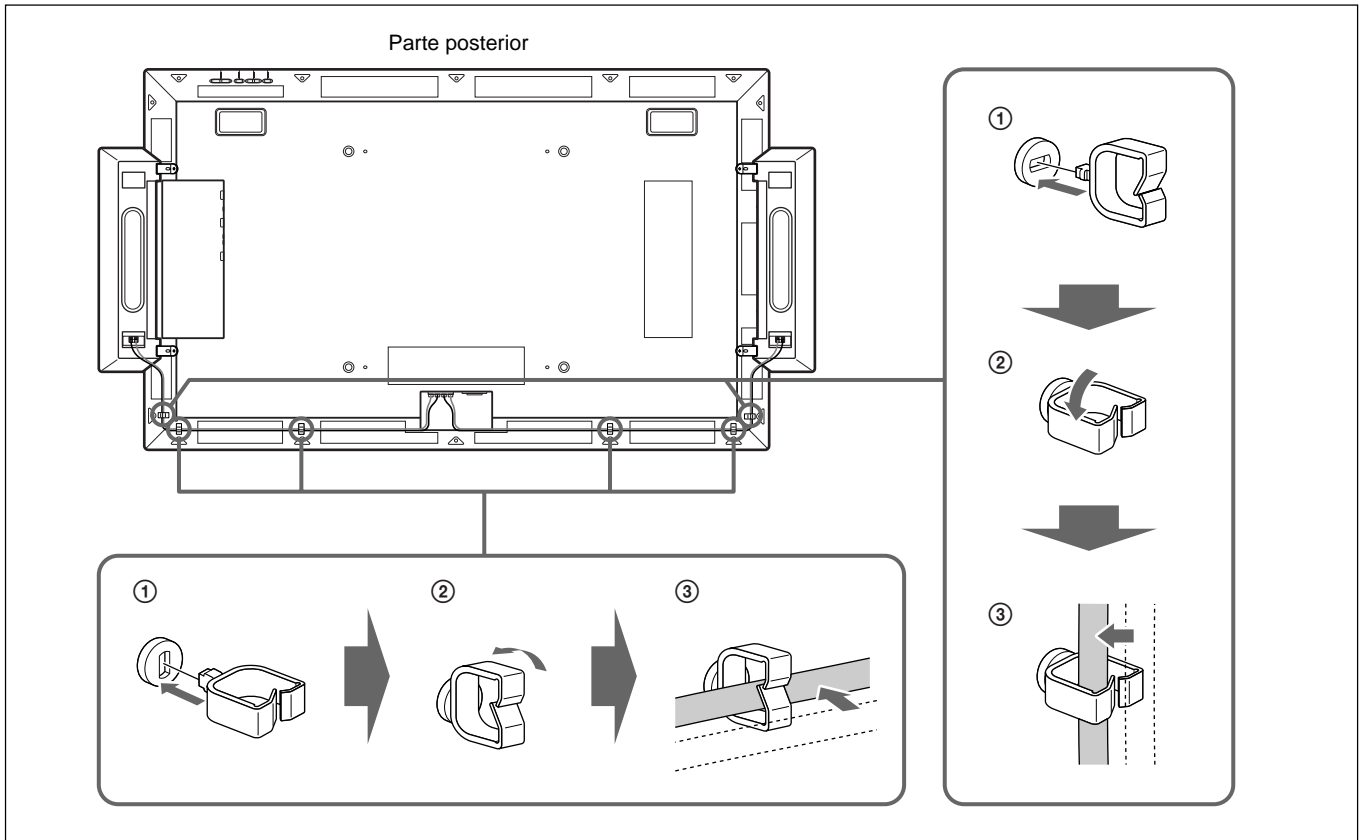


Notas

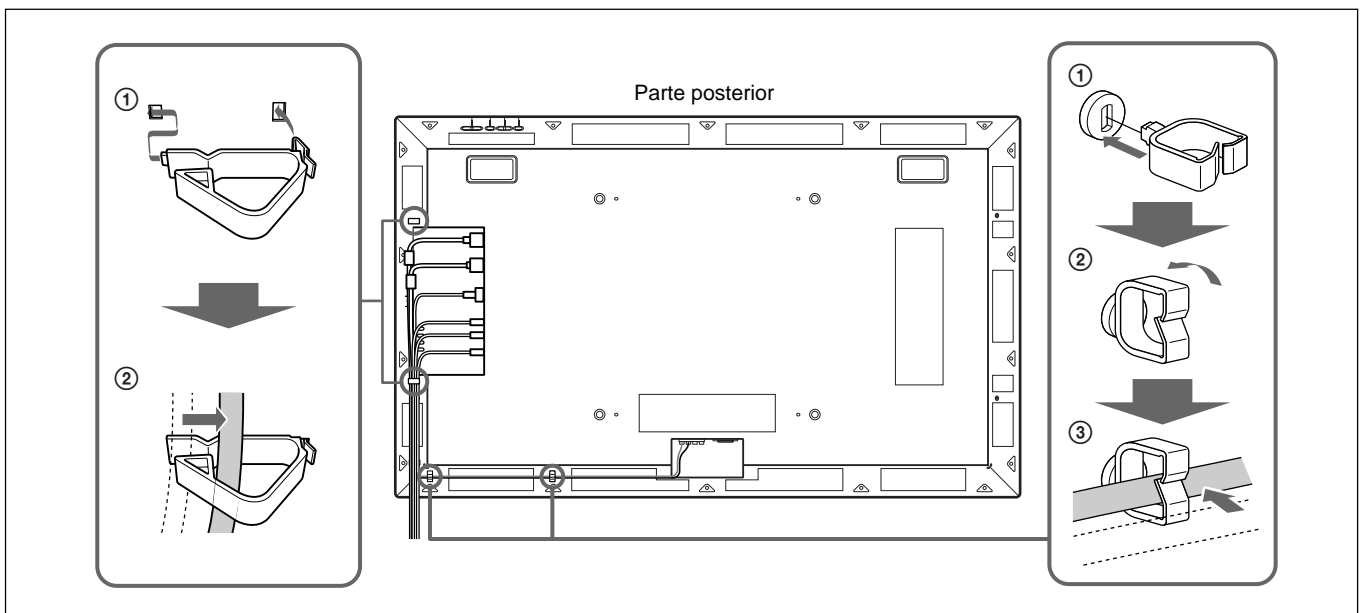
- Si conecta esta unidad a diferentes equipos mediante los conectores RGB/YUV, utilice el cable especificado.
SMF-400 (D-Sub 15P - 5 BNC)
SMF-410 (D-Sub 15P - D-Sub 15P)
Cuando conecte un cable a cualquiera de los terminales que se enumeran a continuación, fije el núcleo de ferrita suministrado antes de utilizar dicho cable.
AUDIO (INPUT1)
AUDIO (INPUT2)
- Le advertimos de que esta unidad no cumplirá la normativa EMC a menos que se instale el núcleo de ferrita en el cable de interconexión.

Uso de los portacables

Puede sujetar los cables de los altavoces de forma eficaz mediante los portacables B (×6) suministrados. Conecte el portacables tal y como se muestra en la siguiente ilustración.



Si no utiliza los altavoces, puede usar los portacables A (×2) y B (×2) suministrados para agrupar los cables que no se utilicen. Los portacables se sujetan tal como se muestra en la ilustración.

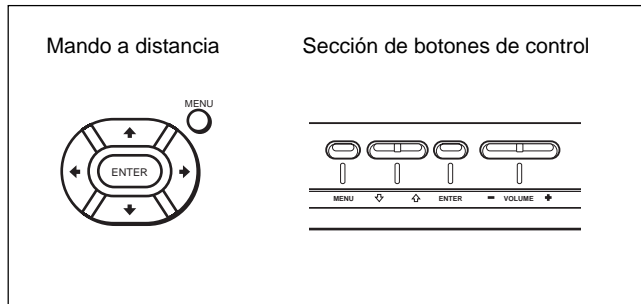


Uso de los menús en pantalla

Empleo mediante menús

Botones de empleo de menús

Utilice los botones de la unidad de visualización o del mando a distancia para realizar operaciones con los menús.



Este Manual de instrucciones explica el funcionamiento con mando a distancia. Los botones \uparrow/\downarrow y ENTER del mando a distancia tienen las mismas funciones que los botones \uparrow/\downarrow y ENTER de la pantalla.

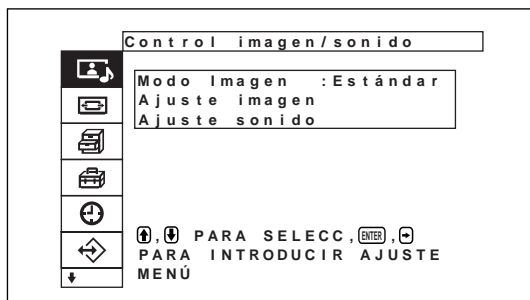
Nota

El funcionamiento puede ser distinto en algunos casos, puesto que el botón \leftarrow/\rightarrow no aparece en la pantalla.

Configuración del menú

Para seleccionar el idioma utilizado en el menú, consulte la página 42 (ES).

- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2 Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo), y pulse ENTER para seleccionar un menú. El cursor se desplaza al siguiente menú.

- 3 Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) y ENTER para seleccionar un elemento.
El menú correspondiente al elemento seleccionado aparece en el panel de visualización.
Los ajustes se seleccionan de forma similar cuando se muestra el siguiente menú.

- 4 Pulse \uparrow/\downarrow para ajustar o seleccionar el valor y ENTER para confirmar.
El ajuste se registra y vuelve a aparecer el menú anterior.

Para volver a la pantalla normal, pulse el botón MENU.

Para desplazarse por los niveles de menú, utilice los botones \leftarrow/\rightarrow .

Si desea utilizar el botón MENU para desplazarse por los niveles de menú, consulte "Func. MENU" de la página 23 (ES).

Guía de los menús

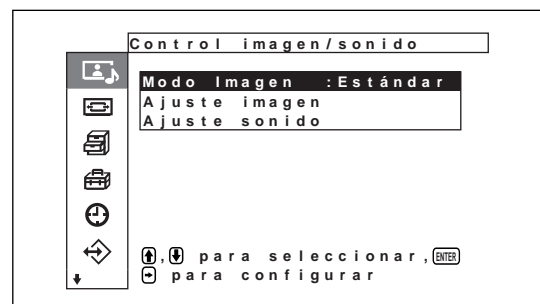
Nota

Los elementos que no se puedan configurar o ajustar mediante una señal de entrada se muestran con un fondo gris oscuro.

Además, aparece el mensaje "Ajuste imposible" en la parte inferior de la pantalla.

Menú Control imagen/sonido

Ajusta la calidad de imagen y de sonido de las imágenes que se muestran en la pantalla.



Modo Imagen

Ajusta el modo de calidad de imagen para que coincida con el brillo o el patrón de fondo.

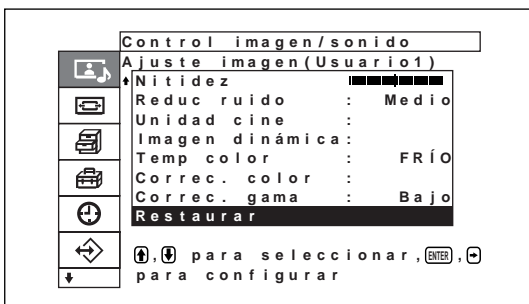
Para obtener más detalles, consulte "Selección de la calidad de imagen" en la página 30 (ES).

Menú Ajuste imagen

Este menú se emplea para ajustar la imagen. La calidad de la imagen puede ajustarse según las preferencias del usuario mediante los menús del Usuario1 al 3.

Nota

La calidad de la imagen no puede ajustarse al modo Estándar ni al modo Intenso.



Contraste

Pulse ↑/→ para aumentar el contraste y ↓/← para disminuirlo.

Brillo

Pulse ↑/→ para aumentar el brillo de la imagen y ↓/← para disminuirlo.

Crominancia

Pulse ↑/→ para aumentar la saturación de color y ↓/← para disminuirla.

Fase

Pulse ↑/→ para que toda la imagen adquiriera un tono verdoso y ↓/← para que adquiriera un tono púrpura.

Nitidez

Pulse ↑/→ para aumentar el nivel de corrección del contorno de la imagen y pulse ↓/← para disminuirlo.

Reduc ruido

Ajusta la reducción del nivel de granulación de la imagen y del ruido del color a uno de los cuatro niveles “Apagar”, “Bajo”, “Medio” y “Alto”.

Para obtener más detalles, consulte “Reduc ruido” en la página 31 (ES).

Unidad cine

Cuando está ajustada en automático, las imágenes se muestran con un suave movimiento, característico de las imágenes de las películas de cine.

Para obtener más detalles, consulte “Unidad cine” en la página 32 (ES).

Imagen dinámica

Aumenta el contraste haciendo que el color blanco sea más luminoso y el negro más oscuro.

Para obtener más detalles, consulte “Imagen dinámica” en la página 32 (ES).

Temp color

Combina la temperatura del color.

Para obtener información detallada, consulte “Temp color (temperatura del color)” en la página 32 (ES).

Correc. color

Cuando está ajustado en Encender, se reproduce un color atractivo y saludable.

Para obtener más detalles, consulte “Correc. color” en la página 33 (ES).

Correc. gama

Ajusta el balance de las porciones claras y oscuras de las imágenes a uno de los tres niveles existentes “Alto”, “Medio” y “Bajo”.

Para obtener más detalles, consulte “Correc. gama” en la página 33 (ES).

Restaurar

Restaura los ajustes de fábrica de los elementos del menú Ajuste imagen.

Para obtener más información sobre el uso de la función de restauración, consulte “Restauración de los valores originales de los elementos del menú Ajuste imagen” en la página 34 (ES).

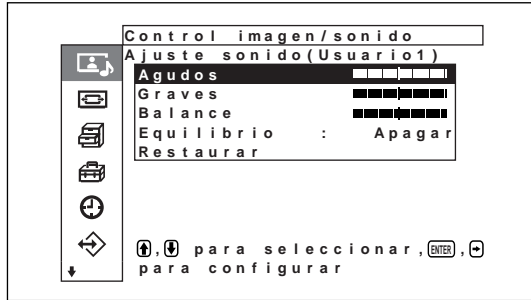
Menú Ajuste sonido

Ajusta la calidad del sonido mediante el proceso de las señales.

Cuando el modo de calidad de imagen está ajustado en los menús del Usuario1 al 3, permite adaptar la calidad del sonido según las preferencias del usuario.

Nota

La calidad del sonido no se puede ajustar si el modo de imagen se ha definido como “Estándar” o “Intenso”.



Agudos

Pulse **↑/→** para aumentar los agudos y **↓/←** para disminuirlos.

Graves

Pulse **↑/→** para aumentar los graves y **↓/←** para disminuirlos.

Equilibrio

Pulsando **↑/→** aumentará el volumen a la derecha y si pulsa **↓/←** aumentará el volumen a la izquierda.

Envolvente

La función envolvente se puede ajustar en uno de los siguientes cuatro niveles “Apagar”, “Hall”, “Sim”.
Para obtener más detalles, consulte “Envolvente” en la página 39 (ES).

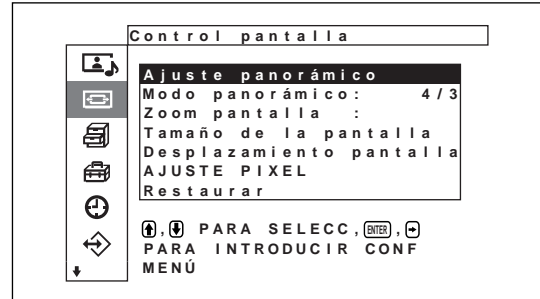
Restaurar

Restaura los ajustes de fábrica en los elementos del menú de Ajuste sonido.
Para más detalles sobre la utilización de la función de restauración, consulte “Restauración de los elementos del menú de Ajuste sonido a su ajuste original” en la página 40 (ES).

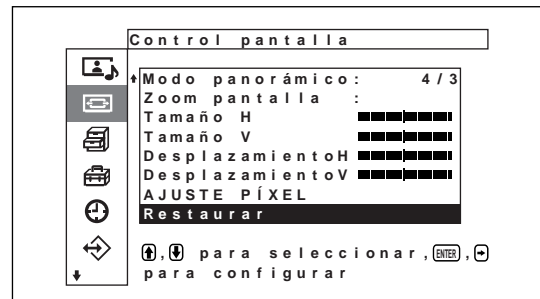
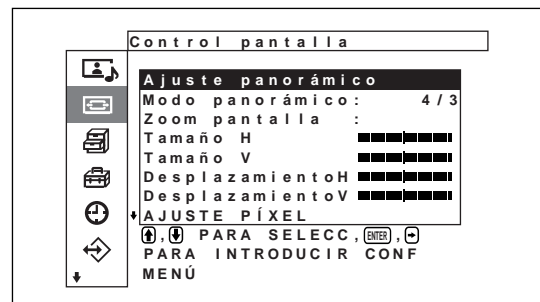
Menú Control pantalla

Este menú se utiliza para dar a la imagen un nuevo tamaño y posición.
 La pantalla y el modo de funcionamiento del menú de control del tamaño de imagen varían en función de los ajustes de la tecla Menu.

Caso en que la tecla Menu está ajustada en “Enc/Apa” (el ajuste de fábrica)



Caso en que la tecla Menu está ajustada en “Intro”



Ajuste panorámico

Ajusta la función de panorámico automático. La función de panorámico automático permite elegir entre emisiones de televisión normales, Wide Clear Vision o imágenes panorámicas, cada una con sus diferentes proporciones de visualización horizontal y vertical, para ampliar automáticamente la imagen a un formato de pantalla panorámica con una relación de aspecto de 16:9, de modo que ofrece la visualización óptima de los diferentes tipos de imagen.
Para obtener más detalles, consulte “Ajuste panorámico auto” en la página 35 (ES).

Modo panorámico

Cambia la pantalla de visualización panorámica para coincidir con el tamaño y tipo de imagen.
Para obtener más detalles, consulte “Ajuste del modo panorámico” en la página 36 (ES).

Zoom pantalla

Amplia la imagen el doble (×2), el triple (×3) y el cuádruple (×4).

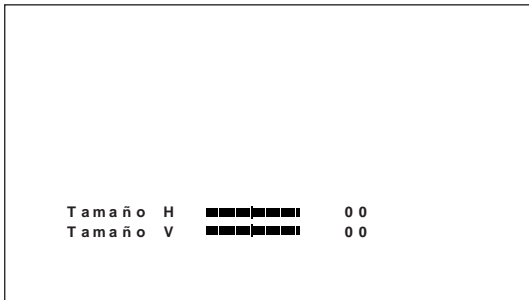
Nota

Los ajustes de ampliación sólo se pueden utilizar si el modo panorámico se ajusta en “restore”.

Menú Tamaño de la pantalla

Este menú se utiliza para ajustar el tamaño de la imagen.

Este menú sólo se muestra si la tecla Menu está ajustada en “Enc/Apa”.



Tamaño H

Ajusta horizontalmente el tamaño de la imagen. Pulse ➡ para ampliar el tamaño horizontal y pulse ← para reducirlo.

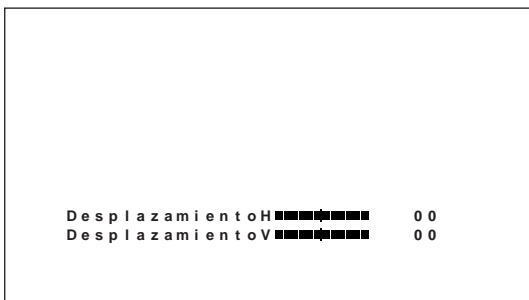
Tamaño V

Ajusta verticalmente el tamaño de la imagen. Pulse ↑ para ampliar el tamaño vertical y pulse ↓ para reducirlo.

Menú Desplazamiento pantalla

Este menú se utiliza para ajustar el centrado de la imagen.

Este menú sólo se muestra si la tecla Menu está ajustada en “Enc/Apa”



DesplazamientoH

Ajusta el centrado horizontal. Pulse ➡ para desplazar la imagen hacia la derecha y ← para desplazarla hacia la izquierda.

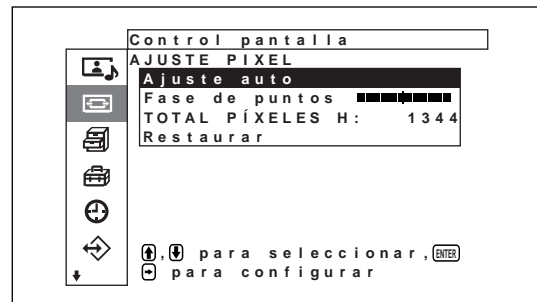
DesplazamientoV

Ajusta el centrado vertical. Pulse ↑ para desplazar la imagen hacia arriba y ↓ para desplazarla hacia abajo.

Menú AJUSTE PÍXEL

Este menú se utiliza para ajustar los píxeles de la imagen.

El ajuste sólo se puede realizar cuando se recibe una señal del ordenador.



Ajuste auto

Ajusta automáticamente la fase punto y el número total de píxeles horizontales.

Para obtener más detalles, consulte “Ajuste de los píxeles” en la página 38 (ES).

Fase de puntos

Ajusta la fase de puntos. Pulse ↑/➡ para aumentar la fase de puntos y ↓/← para disminuirla.

TOTAL PÍXELES H

Ajusta el número total de píxeles horizontales. Pulse ↑/➡ para aumentar el número de píxeles y ↓/← para disminuirlos.

Restaurar

Restaura los ajustes de fábrica en los elementos del menú AJUSTE PÍXEL.

Para más detalles sobre la utilización de la función de restauración, consulte “Para restaurar los ajustes originales de los elementos del menú Ajuste píxel” en la página 38 (ES).

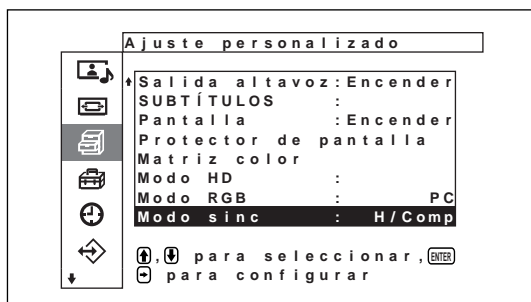
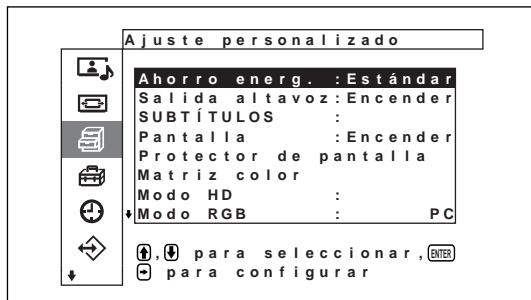
Restaurar

Restaura los ajustes de fábrica en los elementos del menú Control pantalla.

Para obtener más detalles sobre la utilización de la función de restauración, consulte “Restauración de los valores originales de los elementos del menú Control pantalla” en la página 39 (ES).

Menú Ajuste personalizado

Reduce el consumo de energía o establece un protector de pantalla, entre otros.



Ahorro energ.

Se utiliza para visualizar la pantalla y ahorrar energía. Para obtener más detalles, consulte “Función de ahorro de energía” en la página 29 (ES).

Salida altavoz

Cuando está en la posición ON, se emite un sonido a través de los altavoces (SS-SP10A, no suministrado).

SUBTÍTULOS

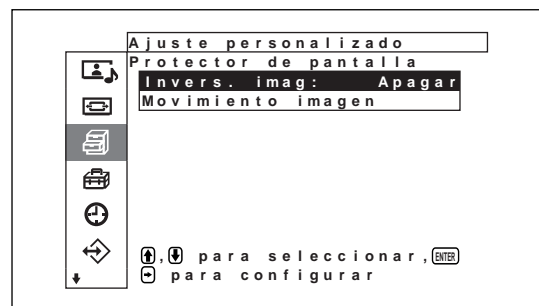
Se visualizan los subtítulos. Para obtener más detalles, consulte “Visualización del Subtítulos (títulos)” en la página 29 (ES).

Pantalla

Si selecciona Activado, podrá ver información sobre la señal de entrada en la parte inferior del panel de visualización durante unos cinco segundos, cuando active la alimentación o cambie la señal de entrada.

Menú Protector de pantalla

Corrige o disminuye los daños tales como imágenes fantasma o residuales, causados al mostrar la misma imagen en la pantalla durante períodos de tiempo prolongados.



Invers. imag

Ajusta un protector de pantalla que invierte la tonalidad de las imágenes.

Para obtener más detalles, consulte “Función de protector de pantalla” en la página 42 (ES).

Movimiento imagen

Ajusta un protector de pantalla que desplaza automáticamente la posición de visualización de las imágenes transcurrido un cierto tiempo.

Para obtener más detalles, consulte “Función de protector de pantalla” en la página 42 (ES).

Matriz color

Ajusta la matriz de colores, de modo que las imágenes se muestran en tonos de colores naturales durante la entrada de la señal de un componente desde dispositivos conectados de forma externa.

Para obtener más detalles, consulte “Ajuste de la matriz de colores” en la página 45 (ES).

Modo HD

Ajusta el modo según las señales de los componentes analógicos HD que se introducen en ENTRADA1 o ENTRADA2 del conector D del adaptador opcional.

1080i: Si está conectado a un sintonizador digital BS

1035i: Si está conectado a una unidad de vídeo Hi-Vision (banda base) u otro dispositivo Hi-Vision.

Notas

- En este modo no puede llevarse a cabo la configuración de la tarjeta de opciones.
- El conector BKM-B11 D-4 está ajustado en [1080i].

Modo RGB

Determina el modo cuando un dispositivo que emite señales RGB se conecta a los terminales RGB/YUV de ENTRADA1 e ENTRADA2.

DTV: Si está conectado a un sintonizador digital de señales RGB, etc.

PC: Si está conectado a un PC, etc.

Nota

En este modo no puede llevarse a cabo la configuración de la tarjeta de opciones.

Modo sinc

Determina el modo según la señal de entrada del pin 13 de los terminales RGB/YUV de ENTRADA1 e ENTRADA2. Las señales pueden ajustarse sólo en 575/50i o 480/60i.

H/Comp: Si se produce la entrada de una señal horizontal o una señal* de sincronización compuesta

Vídeo: Si se produce la entrada de una señal de vídeo o una señal* de sincronización compuesta

*En función del nivel de la señal de sincronización compuesta, es posible que la imagen no se visualice correctamente. En ese caso, modifique el ajuste del Modo sinc.

Ajustes de la señal de entrada y del modo de sincronización

PIN	Entrada de señal por encima del D-sub	Ajuste del modo de sincronización
13	Vídeo compuesto de 480/60i, 575/50i	Señal de vídeo
	Sincronización compuesta	
	Sincronización compuesta	
13/14	Sinc H/Sinc V	Señal de sincronización
2	Sincronización en verde	

Consulte “Asignación de pines” (página 53 (ES)) para obtener información sobre las asignaciones de pines de los conectores RGB/Y de ENTRADA1 e ENTRADA2.

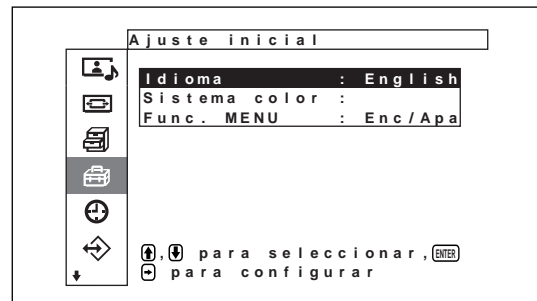
Notas

- Cuando se ajusta la unidad en Synchronizing signals, puede que la imagen no se visualice aunque se reciba una señal de COMPOSITE SYNC. En ese caso, modifique el ajuste del Modo sinc.
- En cuanto a los ajustes del modo de sincronización, ENTRADA1 e ENTRADA2 pueden ajustarse de manera independiente. Sin embargo, si la unidad se configura para un tipo de entrada distinto a los ajustados, es posible que no se envíe ninguna señal de salida. En ese caso, modifique los ajustes del modo de sincronización para que coincidan con la señal de entrada de todos los conectores de entrada. A continuación, active la señal de entrada.
- En el caso de algunas entradas sólo pueden seleccionarse señales de sincronización. En tal caso, no se visualizará la imagen incluso si se recibe una señal de vídeo a través del conector de 13 pines. Introduzca señales de sincronización vertical u horizontal a través de los conectores de 13 ó 14 pines, o bien señales Sync On Green (Sincronización en verde) a través del conector RGB.

- Con Sync On Green (Sincronización en verde), la imagen no se visualizará si no se ajusta la unidad para aceptar señales de sincronización.
- Los ajustes del Modo sinc no pueden realizarse mediante las tarjetas de opciones.
- Esta unidad no es compatible con la sincronización compuesta de tres valores ni con 576/60P.

 **Menú Ajuste inicial**

Selecciona el idioma o la señal de origen de la visualización del menú y las funciones de las teclas del menú, entre otros.



Idioma

Selecciona el idioma de pantalla (japonés, inglés, alemán, francés, español o italiano).

Para obtener más detalles, consulte “Selección del idioma en pantalla” en la página 42 (ES).

Sistema color

Selecciona la señal de entrada.

- Auto:** para ver señales NTSC, PAL, SECAM/NTSC4.43 o NTSC/PAL-M/PAL-N
- NTSC:** para mostrar señales NTSC
- NTSC4.43:** para mostrar señales NTSC4.43
- PAL:** para mostrar señales PAL
- SECAM:** para mostrar señales SECAM
- PAL-M:** para mostrar señales PAL-M
- PAL-N:** para mostrar señales PAL-N
- PAL60:** para mostrar señales PAL60

Cuando el sistema de colores se ajusta en “Auto”, un sistema de colores adicional con capacidad de la detección automática se ajusta en el siguiente nivel.

- Detección automática de NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43
- Detección automática de NTSC/PAL-M/PAL-N

Nota

Sólo se pueden ajustar cuando se recibe una señal de vídeo.

Func. MENU

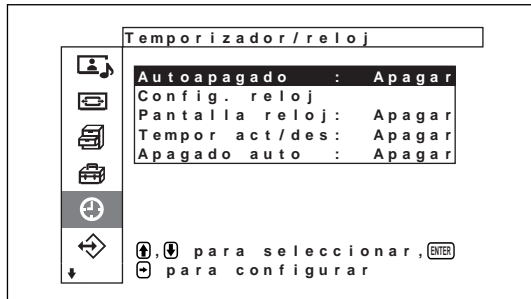
Selecciona la operación cuando se pulsa una tecla del menú.

Enc/Apa: La pantalla del menú cambia de activa a desactiva cada vez que se pulsa la tecla del menú.

Volver: El cursor vuelve al nivel anterior cada vez que se pulsa la tecla del menú.

Menú Temporizador/reloj

Ajusta la hora o el temporizador y muestra la hora o se ajusta si se enciende o apaga automáticamente.



Autoapagado

Desconecta automáticamente la alimentación cuando pasa un cierto tiempo predeterminado. El tiempo de reposo puede ajustarse en 30, 60, 90 ó 120 minutos.

Para obtener más detalles, consulte "Función de Autoapagado" en la página 45 (GB).

Configurar reloj

Ajusta la hora.

Para obtener más detalles, consulte "Ajuste de la hora" en la página 46 (ES).

Pantalla reloj

Muestra la hora ajustada en la pantalla cuando está ajustado en la posición Activado.

Para obtener más detalles, consulte "Visualización de la hora" en la página 47 (ES).

Tempor act/des

Ajusta la hora en que la alimentación se conecta y se desconecta automáticamente.

Para obtener más detalles, consulte "Función temporizador act/des" en la página 47 (ES).

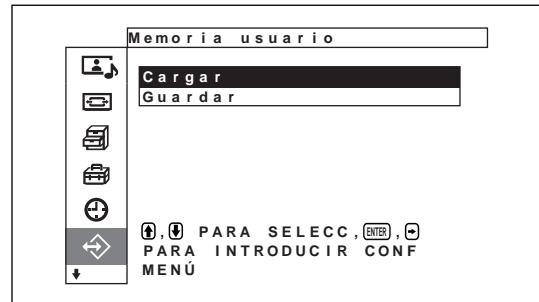
Apagado auto

Desconecta automáticamente la alimentación cuando en la pantalla no entra una señal durante una cantidad de tiempo predeterminada.

Para obtener más detalles, consulte "Función de ahorro de energía" en la página 48 (ES).

Menú Memoria usuario

Este menú se utiliza para almacenar o recuperar los ajustes de los menús Control imagen/sonido y Control pantalla.



Para obtener información detallada, consulte "Uso de la función de memoria" en la página 40 (ES).

Cargar

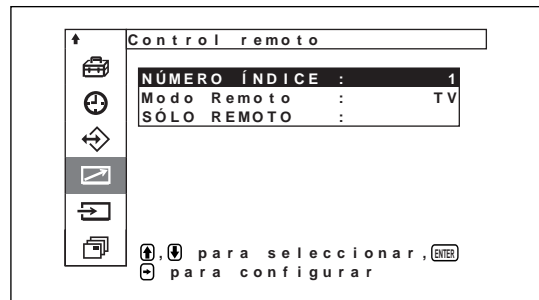
Recupera los ajustes predefinidos.

Guardar

Guarda los ajustes.

Menú Control remoto

Este menú se usa para los ajustes de control remoto.



NÚMERO ÍNDICE

Ajusta el número de índice de la pantalla.

Nota

Para ajustar el número, utilice los botones de la unidad de visualización.

El número de índice no se puede ajustar mediante el mando a distancia.

Para obtener información detallada sobre el número de índice, consulte "Empleo de una pantalla específica con el mando a distancia" en la página 49 (ES).

Modo Remoto

Selecciona el modo del mando a distancia.

TV: El mando a distancia de la pantalla Sony o TV

PJ: el mando a distancia del proyector Sony

DES: Desactiva el control remoto.

Nota

Para cambiar el modo del mando a distancia, utilice los botones de la unidad de visualización. No es posible cambiar dicho modo con el mando a distancia. *Para obtener más información, consulte “Uso de otros modelos de mando a distancia” en la página 51 (ES).*

SÓLO REMOTO

Seleccione Activado para desactivar los botones de control de la unidad de visualización. La pantalla sólo puede controlarse con el mando a distancia. Para cancelar el modo SÁ O REMOTO, ajuste “SÁ O REMOTO” en Apa con el mando a distancia.

Nota

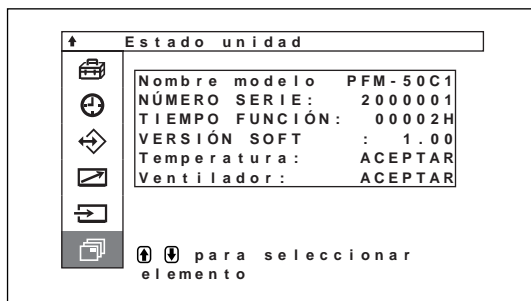
El ajuste de esta opción se conserva al desconectar el cable de alimentación de CA o cuando se enciende y apaga la pantalla con el mando a distancia.

➔ Menú Selec. entrada

Este menú se utiliza para cambiar la señal de entrada. *Para obtener información detallada sobre el cambio de la señal de entrada, consulte “Conmutación de la señal de entrada” en la página 26 (ES).*

📄 Menú Estado unidad

Este menú se utiliza para mostrar información sobre el estado interno de la pantalla.

**Nombre modelo**

Indica el nombre del modelo.

NÚMERO SERIE

Indica el número de serie.

TIEMPO FUNCIÓN

Indica el número total de horas de uso.

Nota

El modo de espera no se contabiliza como parte del tiempo de funcionamiento.

VERSIÓN SOFT

Indica la versión de software del sistema.

Temperatura

Indica si la temperatura interna de la unidad de visualización es normal.

ACEPTAR: Normal

NG: Anormal

Cuando la temperatura interna no es normal, aparece NG y el elemento parpadea en color rojo. También parpadea el indicador STANDBY de la sección de indicadores / interruptor ⏻ (de espera).

Nota

Si los orificios de ventilación se bloquean o la pantalla se utiliza en un entorno mal ventilado, es posible que se muestren intermitentemente las iniciales “NG” en rojo. En este caso, asegúrese de que los orificios de ventilación no están bloqueados e instale la unidad de visualización en un lugar bien ventilado. Si el mensaje sigue apareciendo, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

Si el indicador STANDBY parpadea o aparece la indicación NG, consulte “Función de autodiagnóstico” en la página 48 (ES).

Ventilador

En esta unidad de visualización se incorporan ventiladores de enfriamiento. Este elemento indica si los ventiladores de enfriamiento funcionan correctamente.

ACEPTAR: Normal

NG: Anormal

Cuando los ventiladores no funcionan correctamente, aparece la indicación NG y el elemento parpadea en color rojo. También parpadea el indicador STANDBY de la sección de indicadores / interruptor ⏻ (de espera).

Notas

- En caso de que la pantalla muestre intermitentemente las iniciales “NG” en rojo, póngase en contacto con el distribuidor a quien compró la unidad o con el Centro de servicio técnico de Sony más cercano. *Si el indicador STANDBY parpadea o aparece la indicación NG, consulte “Función de autodiagnóstico” en la página 48 (ES).*
- Los ventiladores de enfriamiento detectan la temperatura interna de la unidad de visualización y controlan la rotación del ventilador. Si la temperatura ambiente es alta, aumentará la velocidad y el ruido de los ventiladores.

Visualización de la imagen

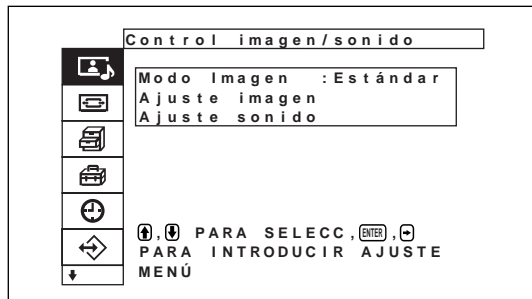
Antes de comenzar

- Encienda la pantalla.
- Encienda el equipo conectado y reproduzca una fuente de vídeo.
- Para visualizar en pantalla la información sobre la señal de entrada al activar la alimentación o al cambiar dicha señal, ajuste el elemento "Pantalla" del menú Ajuste personalizado en Activado.
- Para seleccionar el idioma en pantalla que desee para el menú, consulte la página 42 (ES).

Conmutación de la señal de entrada

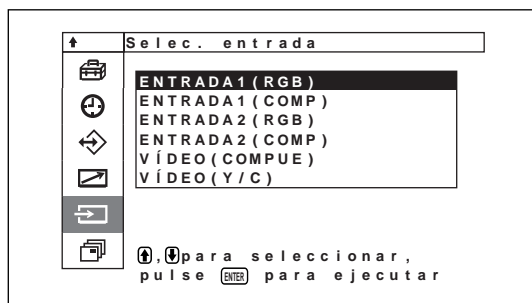
1 Pulse MENU.

El menú principal aparece en el panel de visualización.



2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a "Selec. entrada" y pulse ENTER.

El menú Selec. entrada aparecen en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a la fuente de entrada que vaya a mostrar y pulse ENTER.

ENTRADA1 (RGB): Selecciona la señal de audio y vídeo introducida desde los conectores INPUT1 cuando la señal de entrada es RVB.

ENTRADA1 (COMP): Selecciona la señal de audio y vídeo introducida desde los conectores INPUT1 cuando la señal de entrada es de componente.

ENTRADA2 (RGB): Selecciona la señal de audio y vídeo introducida desde los conectores INPUT2 cuando la señal de entrada es RVB.

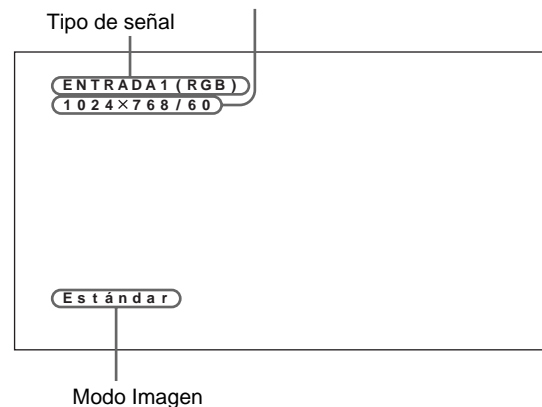
ENTRADA2 (COMP): Selecciona la señal de audio y vídeo introducida desde los conectores INPUT2 cuando la señal de entrada es de componente.

VÍDEO (COMPUE): Selecciona la señal de audio y vídeo introducida desde el conector COMPOSITE IN y la toma AUDIO IN de los conectores VIDEO.

VÍDEO (Y/C): Selecciona la señal de audio y vídeo introducida desde el conector Y/C IN y la toma AUDIO IN de los conectores VIDEO.

La señal de entrada seleccionada aparece en el panel de visualización.

Sistema de color o frecuencia horizontal/vertical



Puede cambiar de señal de entrada mediante el mando a distancia que se suministra con el panel de visualización.

Notas

- Recomendamos que el equipo de vídeo que sirve de fuente de entrada esté equipado con TBC (corrector de base de tiempo). Si el monitor recibe una señal sin TBC, la imagen puede desaparecer debido a las perturbaciones de la señal de sincronización.
- Si se envían señales con el mismo formato desde diferentes sistemas, el ajuste Picture Quality (Calidad de la imagen) utilizará como valor por omisión el último valor ajustado (sólo cuando el formato de las señales sea idéntico).

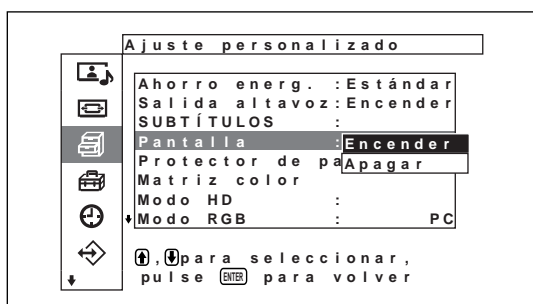
Información sobre la señal de entrada, el modo de imagen y el estado de la visualización

La información sobre la señal de entrada y el modo de imagen aparece en el panel de visualización durante aproximadamente cinco segundos al encender la unidad o cambiar la señal de entrada.

Para desactivar esta función, siga los pasos siguientes.

- 1 En el menú Ajuste personalizado, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Pantalla” y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Pulse **↑/↓** para ajustar Pantalla en Desactiv y pulse ENTER.

Para visualizar la información

Ajuste Pantalla en Activado en el anterior paso 2. El ajuste por omisión de fábrica es Activado.

Nota

Puede visualizar la información sobre la señal de entrada y el modo de imagen en cualquier momento pulsando el botón DISPLAY del mando a distancia, independientemente del ajuste anterior.

Señales de entrada predefinidas			
	Nombre de señal	Sistema de color o frecuencia horizontal/vertical	
Señales de ordenador			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5kHz	70,1Hz
2	640x350@85Hz (VESA ^{b)} STD)	37,9kHz	85,1Hz
3	640x400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,1Hz
4	640x480@60Hz (VESA STD)	31,5kHz	59,9Hz
5	Mac ^{c)} 13"	35,0kHz	66,7Hz
6	640x480@72Hz (VESA STD)	37,9kHz	72,8Hz
7	640x480@75Hz (VESA STD)	37,5kHz	75,0Hz
8	640x480@85Hz (VESA STD)	43,3kHz	85,0Hz
9	852x480@60Hz (I/O DATA) ^{d)}	31,7kHz	60,0Hz
10	VGA (VGA TEXT)	31,5kHz	70,1Hz
11	720x400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,0Hz
12	800x600@56Hz (VESA STD)	35,2kHz	56,3Hz
13	800x600@60Hz (VESA STD)	37,9kHz	60,3Hz
14	800x600@72Hz (VESA STD)	48,1kHz	72,2Hz
15	800x600@75Hz (VESA STD)	46,9kHz	75,0Hz
16	800x600@85Hz (VESA STD)	53,7kHz	85,1Hz
17	Mac 16"	49,7kHz	74,6Hz
18	1024x768@60Hz (VESA STD)	48,4kHz	60,0Hz
19	1024x768@70Hz (VESA STD)	56,5kHz	70,1Hz
20	1024x768@75Hz (VESA STD)	60,0kHz	75,0Hz
21	1024x768@85Hz (VESA STD)	68,7kHz	85,0Hz
22	1152x864@75Hz (VESA STD)	67,5kHz	75,0Hz
23	Mac 21"	68,7kHz	75,1Hz
24	1280x960@60Hz (VESA STD)	60,0kHz	60,0Hz
25	1280x960@85Hz (VESA STD)	85,9kHz	85,0Hz
26	1280x1024@60Hz (VESA STD)	64,0kHz	60,0Hz
27	1280x1024@75Hz (VESA STD)	80,0kHz	75,0Hz
28	1280x1024@85Hz (VESA STD)	91,1kHz	85,0Hz
29	1600x1200@60Hz (VESA STD)	75,0kHz	60,0Hz
30	856x480@60Hz (Matrox) ^{e)}	30,2kHz	60,0Hz
31	856x480@59,6Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	59,6Hz
32	856x480@60,1Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	60,1Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	

- a) VGA es una marca comercial registrada de International Business Machines Corporation, EE.UU.
- b) VESA es una marca comercial registrada de Video Electronics Standards Association.
- c) Mac (Macintosh) es una marca comercial registrada de Apple Computer, Inc.
- d) Este elemento sólo está disponible al utilizar una placa aceleradora de gráficos fabricada por I-O DATA Corporation.
- e) Este elemento sólo se encuentra disponible cuando se utiliza una tarjeta gráfica fabricada por Matrox Graphics Inc.

Notas

- Al introducir una señal HDTV, introduzca la señal de sincronización de tres niveles en el 2º pin del conector ENTRADA1 o ENTRADA2 (D-sub de 15 pines).
- Al introducir una señal de ordenador con la resolución mostrada en el elemento nº 29, ajuste Tamaño H, DesplazamientoH, Tamaño V y DesplazamientoV en el valor estándar (00) y ZOOM en Restaurar en el menú Control pantalla, o la imagen podría oscilar.
- Si el color de la imagen es demasiado claro tras introducir la señal de DVD en el modelo PFM-50C1/50C1E, ajuste el color en "Crominancia" en el menú Ajuste imagen.
- Una vez reajustada la fase, se reducirá la resolución.

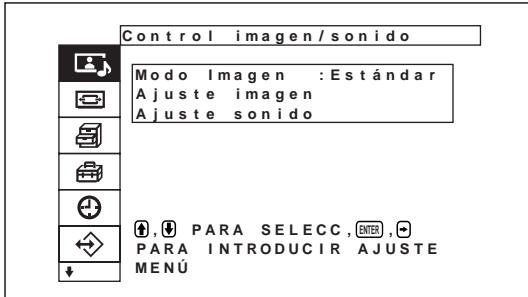
Indicaciones en pantalla sobre el estado de la unidad

Indicaciones en pantalla	Significado
640x480 / 60 (ej.)	La señal de entrada seleccionada es RVB de ordenador.
525 / 60 (ej.)	La señal de entrada seleccionada es de vídeo componente.
NTSC (ej.)	La señal de entrada seleccionada es NTSC.
OTROS	La señal de entrada está fuera del rango de captación.
Sin sinc	No hay ninguna señal de entrada.
ENTRADA1 (RGB)	El modo de señal de ENTRADA1 está ajustado en RVB.
ENTRADA1 (YUV)	El modo de señal de ENTRADA1 está ajustado en vídeo de componente.
VÍDEO (COMPUE)	La entrada de vídeo compuesta está seleccionada para VIDEO.
VÍDEO (Y/C)	La entrada de vídeo Y/C está seleccionada para VIDEO.

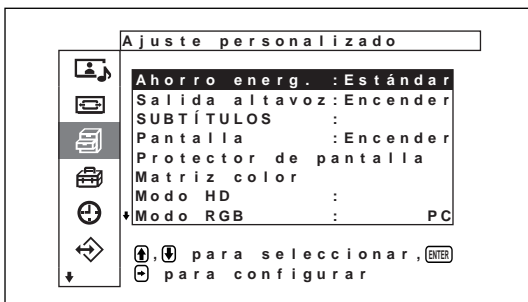
Conmutación del modo de visualización

Visualización del Subtítulos (títulos)

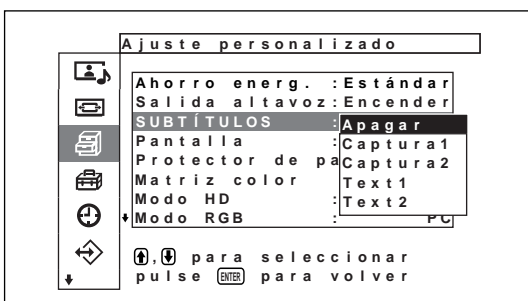
- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "Ajuste personalizado" y pulse ENTER.
Aparece el menú Ajuste personalizado en el panel de visualización.



- 3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) hasta "SUBTÍTULOS" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.

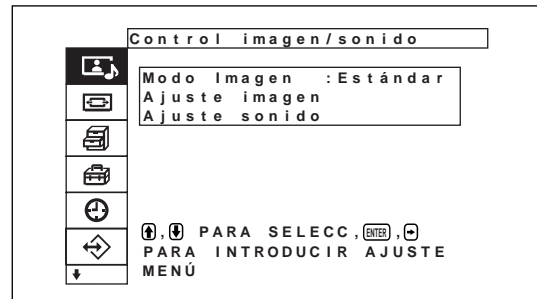


- 4 Seleccione el tipo de título con ↑/↓.
Apagar: El título no se muestra.
Captura1: Muestra el título1 sobre la imagen.
Captura2: Muestra el título2 sobre la imagen.
Text1: Muestra el título1 sobre un fondo negro.
Text2: Muestra el título2 sobre un fondo negro.
- 5 Pulse MENU.
Vuelve a aparecer el menú Ajuste personalizado.

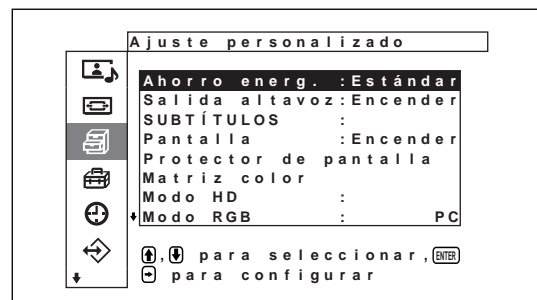
Función de ahorro de energía

De este modo, puede ver la pantalla ahorrando energía.

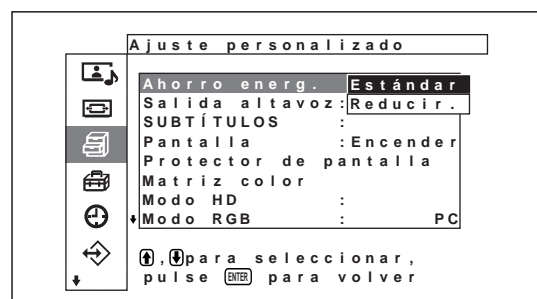
- 1 Pulse MENU
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2 Pulse ↑/↓ para mover el cursor (amarillo) a "Ajuste personalizado" y pulse ENTER.
Aparece el menú "Ajuste personalizado" en el panel de visualización.



- 3 Pulse ↑/↓ para mover el cursor (amarillo) a "Ahorro energ." y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4 Pulse ↑/↓ para encender o apagar el modo Ahorro energ.
Estándar: Sin ahorro de energía
Reducir.: Ahorro de energía
Al activar Ahorro energ. (Reducir), el brillo de la pantalla se reduce y puede ver la pantalla a la vez que se ahorra energía.

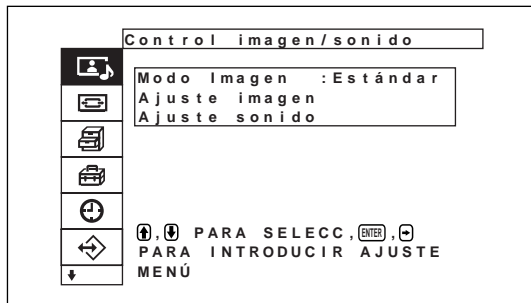
Notas

- Si se desconecta el sistema cuando “Ahorro energ.: Reducir” está seleccionado, al conectarlo de nuevo se seguirá mostrando la misma configuración.
- Si selecciona los menús del 1 al 3 personalizados en el modo de calidad de imagen, podrá ajustar la calidad de la imagen aunque haya seleccionado “Ahorro energ.: Reducir”. Sin embargo, si aumenta el contraste o el brillo, es posible que pierda los efectos de ahorro de energía.

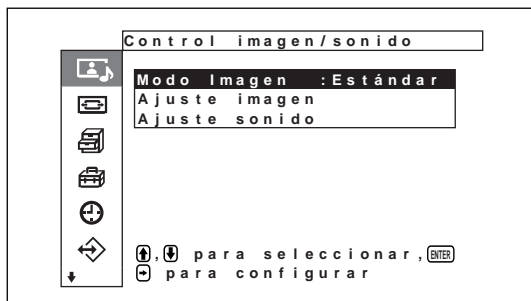
Selección de la calidad de imagen

Se puede seleccionar la calidad de imagen de acuerdo con el tipo de imagen y el brillo que la rodea.

- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “Control imagen/sonido” y pulse ENTER.
El menú de control imagen/sonido aparece en el panel de visualización.



- 3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “Modo imagen” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4 Seleccione el modo de imagen con ↑/↓ y pulse ENTER.
Estándar: Si se utiliza un ajuste de contraste y contorno moderado, podrá obtenerse una calidad de imagen prácticamente real.
Intenso: Este ajuste proporciona imágenes de nitidez intensa en las que el contorno de la imagen y el contraste están ajustados a sus valores máximos.
Usuario 1-3: Puede ajustar la calidad de la imagen según sus preferencias mediante el menú Ajuste imagen.

Ajuste de la imagen

Mientras visualiza la imagen, puede ajustar el contraste, brillo, crominancia, fase, etc., según sus preferencias. Los ajustes pueden realizarse por separado para cada señal de entrada. También es posible almacenar en memoria los niveles ajustados. Ajuste el Modo de imagen con cualquiera de los ajustes “Usuario 1-3”.

Ajuste del contraste, brillo, crominancia, fase, etc.

Pulse MENU para que el menú principal aparezca en el panel de visualización y seleccione “Contraste”, “Brillo”, “Crominancia”, “Fase”, “Nitidez”, “Reduc ruido”, “Unidad cine”, “Imagen dinámica”, “Temp color”, “Correc. color” o “Correc. gama” desde el menú de Ajuste de imagen.

Contraste

Seleccione “Contraste” con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER. Ajuste el contraste con $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ dentro del margen Mín (0) a Máx (255).

- \uparrow/\rightarrow : para aumentar el contraste de la imagen
- \downarrow/\leftarrow : para disminuir el contraste de la imagen

Brillo

Seleccione “Brillo” con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER. Ajuste el brillo con los botones $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ dentro del margen Mín (0) a Máx (+100).

- \uparrow/\rightarrow : para que la imagen sea más brillante
- \downarrow/\leftarrow : para que la imagen sea más oscura

Crominancia

Seleccione “Crominancia” con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER. Ajuste la crominancia con $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ dentro del margen Mín (-128) a Máx (+127).

- \uparrow/\rightarrow : para aumentar la intensidad del color
- \downarrow/\leftarrow : para disminuir la intensidad del color

Fase

Seleccione “Fase” con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER. Ajuste la fase con $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ dentro del margen Mín (-128) a Máx (+127).

- \uparrow/\rightarrow : para que el conjunto de la imagen adquiriera un tono verdoso
- \downarrow/\leftarrow : para que el conjunto de la imagen adquiriera un tono púrpura

Nitidez

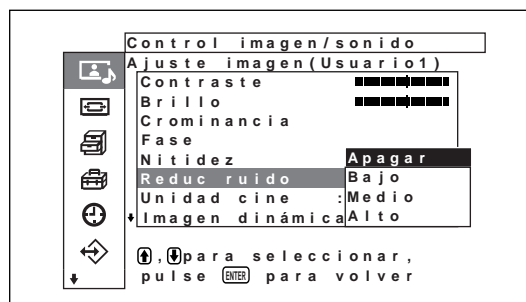
Seleccione “Nitidez” con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER. Ajuste la nitidez con $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ entre Mín (-5) y Máx (+5).

- \uparrow/\rightarrow : para aumentar la nitidez de la imagen
- \downarrow/\leftarrow : para disminuir la nitidez de la imagen

Reduc ruido

Reduce la granulación de la imagen y el ruido del color.

- 1 Seleccione “Reduc ruido” con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Seleccione el modo Reduc ruido con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.

Apagar: La señal de la imagen se muestra directamente.

Bajo: para ajustar el procesamiento de reducción del ruido en bajo

Medio: para ajustar el procesamiento de reducción del ruido en medio

Alto: para ajustar el procesamiento de reducción del ruido en alto

Unidad cine

Detecta automáticamente imágenes capturadas en película (24 fotogramas) y reproduce dichas imágenes con el característico movimiento suave de las imágenes de cine.

- 1 Seleccione “Unidad cine” con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Seleccione el modo unidad de cine con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.

Auto: Procesamiento de señales óptimo para imágenes de cine.

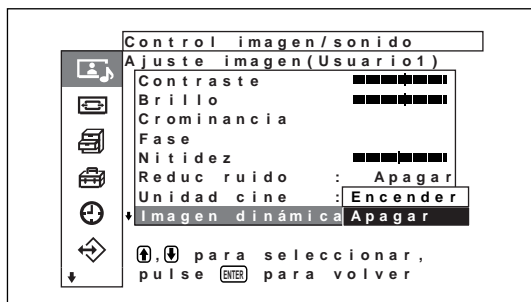
Apagar: Las señales de vídeo se visualizan directamente.

Imagen dinámica

Aumenta el contraste haciendo que el color blanco sea más luminoso y el negro más oscuro.

- 1 Seleccione “Imagen dinámica” con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Seleccione el modo de imagen dinámica con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.

Encender: La función Imagen dinámica se utiliza

Apagar: La función Imagen dinámica no se utiliza

Temp color (temperatura del color)

También es posible ajustar la temperatura del color. Puede seleccionar Cálido, Neutro o Frío, o bien ajustar cada ganancia de forma más precisa. Pueden registrarse hasta seis temperaturas del color ajustadas. También es posible cambiar su nombre (hasta seis caracteres).

- 1 Seleccione “Temp color” con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.

- 2 Seleccione la temperatura del color con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.

Frío: para ajustar la temperatura del color en alto

Neutro: para ajustar la temperatura de color en neutro

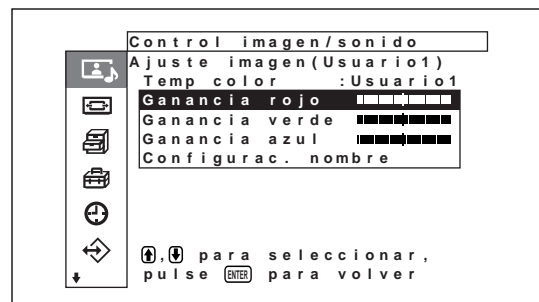
Cálido: para ajustar la temperatura del color en bajo

Usuario1 – 3: para ajustar la ganancia de forma más precisa

Cuando selecciona Cálido, Neutro o Frío, vuelve a aparecer el menú Ajuste imagen.

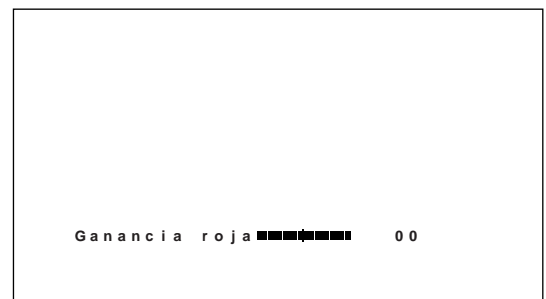
Si selecciona “Usuario1” a “Usuario3”

Cuando selecciona “Usuario1” a “Usuario3”, aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- (1) Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) hasta el elemento de ganancia que desea ajustar y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.

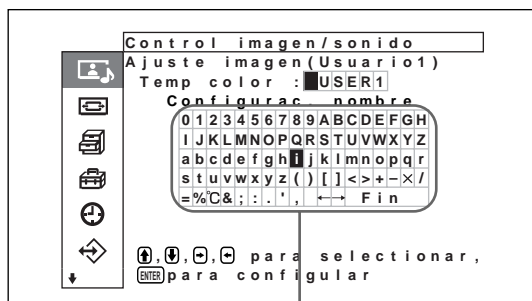


- (2) Ajuste la ganancia (0 a 255) con $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ y pulse ENTER.

El menú vuelve al menú Temp color.

Para cambiar de nombre la temperatura del color que ha ajustado, siga los pasos que se describen a continuación.

- (3) Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) hasta "Configurac. nombre" y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



Lista de caracteres

- (4) Seleccione un carácter o símbolo de la lista de caracteres mediante $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$ y pulse INTRO. Se seleccionará ese carácter. Si se equivoca, seleccione [\leftarrow] en la pantalla para retroceder el cursor un carácter y, a continuación, corrija el error.

Si [Func. MENU] (página 23 (ES)) del menú Ajuste inicial se ajusta en [Volver], los botones \uparrow/\downarrow del mando a distancia desplazarán el cursor hacia la izquierda y hacia la derecha. Para que los botones \uparrow/\downarrow desplacen el cursor hacia arriba y hacia abajo, ajuste [Func. MENU] en [Enc/Apa].

- (5) Repita los pasos (4) y, una vez que haya introducido el nombre, seleccione "Fin" y pulse ENTER.

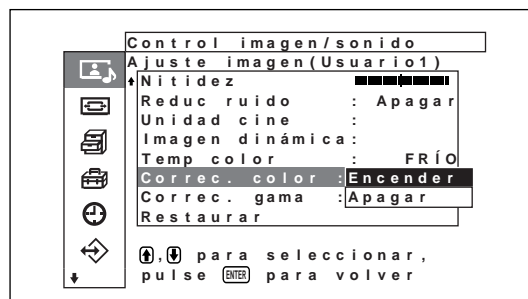
El menú vuelve al menú Temp color.

Correc. color

Permite reproducir un color atractivo y saludable.

- 1 Seleccione "Correc. color" con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Seleccione el modo corrección de color con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.

Encender: para ajustar la corrección de color en la posición ON

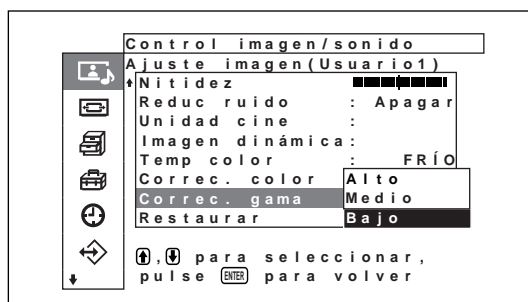
Apagar: para ajustar la corrección de color en la posición OFF

Correc. gama

Ajusta automáticamente el balance entre las porciones de imágenes claras y las oscuras.

- 1 Seleccione "Correc. gama" con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Seleccione el modo corrección de gama con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.

Alto: para ajustar la corrección de gama en alto

Medio: para ajustar la corrección de gama en medio

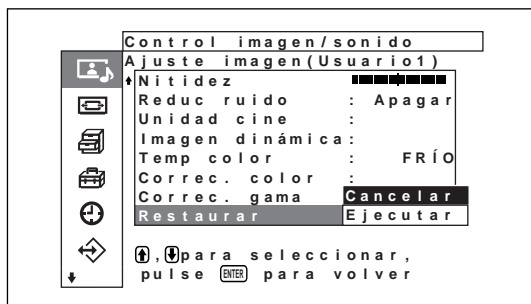
Bajo: para ajustar la corrección de gama en bajo

Notas

- Los controles Crominancia y Fase no funcionan con una señal RVB.
- El control Fase no funciona con una señal de componente.
- El control Fase no funciona con una fuente de color PAL, PAL-M, PAL-N, PAL60 o SECAM.
- Si introduce una señal en blanco y negro (B&W), no podrá ajustar la profundidad y el tono del color.

Restauración de los valores originales de los elementos del menú Ajuste imagen

- 1 En el menú Ajuste imagen, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Restaurar” y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Ejecutar” y pulse ENTER. Se restauran los elementos del menú Ajuste imagen.

Para cancelar la función de restauración

Pulse MENU antes de pulsar ENTER.

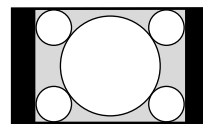
Otra opción consiste en seleccionar “Cancelar” mediante **↑/↓** y, a continuación, pulsar ENTER.

Ampliación de imágenes

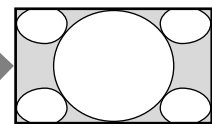
Amplia la imagen para cubrir toda la pantalla dependiendo del tipo de imagen, como por ejemplo emisiones de televisión normales o “Wide Clear Vision”, etc.

El modo panorámico ofrece las siguientes opciones.

Imágenes originales (tipo de imagen)

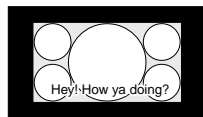


Ampl
4/3

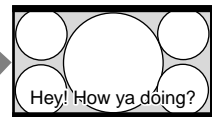


- Permite que las imágenes comunes que tienen una relación de aspecto de 4:3 aparezcan de forma natural cuando se aumentan al tamaño de pantalla completa durante el ajuste en Zoom ampli (relación de aspecto y pantalla: 4:3).

Amplía imágenes 4:3 de pantalla completa a imágenes de 16:9.

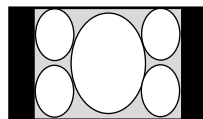


BUZÓN

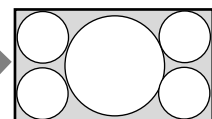


- Emisiones “Wide Clear Vision” (relación de aspecto: 16:9)
- Películas filmadas, por ejemplo, en VistaVision u otros que aparecen en sentido vertical en la dirección horizontal de la pantalla y que incluyen subtítulos en la imagen (relación de aspecto: 1.85:1)
- Imágenes del software de una cámara de vídeo o de DVD que contiene información sobre la relación de aspecto (tipo ID-1)

Las imágenes se aumentan al tamaño de pantalla completa cuando se alinean con los lados derecho e izquierdo de la pantalla. (Pueden permanecer barras negras en la parte superior o inferior de la pantalla, en función del tipo de imagen.)

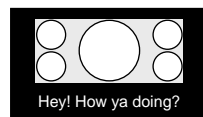


restore

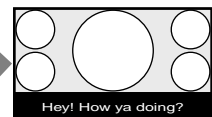


- Imágenes del software de una cámara de vídeo o de DVD que contiene información sobre la relación de aspecto (tipo ID-1)

Los bordes izquierdo y derecho de la imagen se aumentan al tamaño de pantalla completa sin cambiar la parte superior ni la inferior.

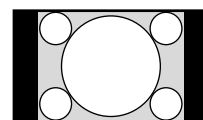


SUB
TÍTULO

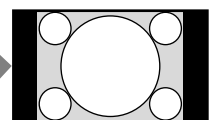


- Películas filmadas, por ejemplo, en CinemaVision u otros que aparecen en sentido vertical en la dirección horizontal de la pantalla y que incluyen subtítulos fuera de la imagen (relación de aspecto: 2.35:1)

La imagen se muestra en la pantalla comprimiendo sólo el área de los subtítulos, mientras que el tamaño se aumenta al de pantalla completa y se alinea con los lados izquierdo y derecho de la pantalla.



4/3



- Las imágenes se muestran en la relación original de aspecto de 4:3 sin que aumenten al ajustar en “4/3” las imágenes con una relación de aspecto de 4:3 (“4/3” es el ajuste de fábrica) y Panorámico automático está ajustado en Enc.

Muestra la imagen sin ampliarla.

Ajuste panorámico auto

En algunas emisiones normales de televisión y de “Wide Clear Vision”, etc., junto con la señal de vídeo, se transmite una señal de control de identificación. La función de panorámico auto reproduce con fidelidad imágenes basadas en esta señal de control de identificación o amplía varios tipos de imágenes hasta su tamaño óptimo, independientemente de la señal de control de identificación.

Adicionalmente, las emisiones de televisión normales y las emisiones BS que se emitan en formato 4:3 también se pueden ampliar y visualizar en formato 16:9.

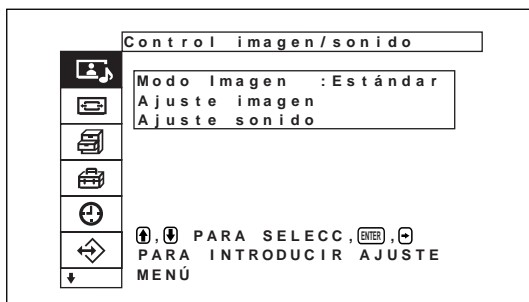
Señal de control de identificación

Se trata de una señal de control para reproducir fielmente el formato de la imagen original en la pantalla del televisor. Las imágenes que contienen este tipo de señal son las siguientes:

- Emisiones “Wide Clear Vision”
- Imágenes grabadas con cámara de televisión que contiene información sobre el formato (formatos ID-1)
- Emisiones de televisión que contienen una señal para ajustar el formato en 4:3.
- Imágenes que contienen información sobre el formato recibido desde el conector de entrada D4.

1 Pulse MENU.

El menú principal aparece en el panel de visualización.



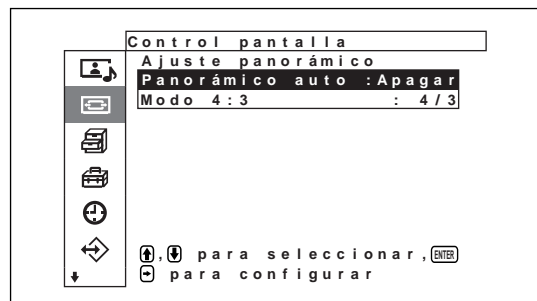
2 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “Control pantalla” y pulse ENTER.

El menú Control pantalla aparece en el panel de visualización.



3 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “Ajuste panorámico” y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



4 Pulse ↑/↓ para desplazar el cursor (amarillo) a “Panorámico auto” y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



5 Seleccione un ajuste de panorámico automático mediante el botón ↑/↓.

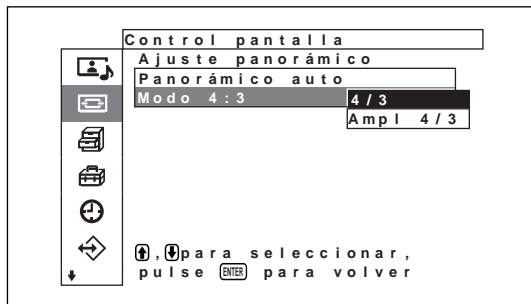
Apagar: Las imágenes se reproducirán tal cual aparecen.

Encender: La imagen se amplía y muestra en la relación de aspecto más apropiada.

6 Pulse ENTER.

El menú vuelve al menú de Ajuste panorámico.

- 7** Seleccione “Modo 4:3” con **↑/↓** y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



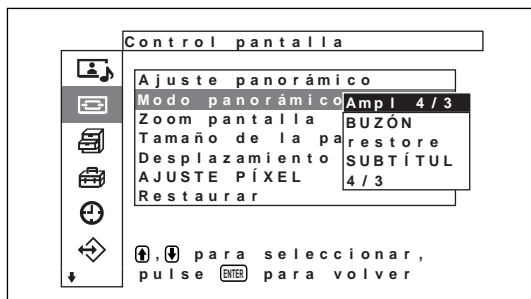
- 8** Seleccione el modo de Modo 4:3 con **↑/↓**.
4/3 : Las imágenes con una relación de aspecto 4:3 se muestran tal cual aparecen.
Ampl 4/3: Las imágenes con una relación de aspecto 4:3 se reproducen después de ser ampliadas a una relación de aspecto 16:9. (Cuando no existe una señal de control discriminatoria.)

- 9** Pulse ENTER.
 El menú vuelve al menú de control pantalla.

Ajuste del modo panorámico

Las imágenes se pueden también ampliar al modo panorámico deseado independientemente del tipo de imagen.

- 1** En el menú de control pantalla, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) a “Modo panorámico” y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2** Seleccione el modo de zoom con **↑/↓**.

Ampl 4/3: Amplía imágenes 4:3 de pantalla completa a imágenes de 16:9.

BUZÓN: Amplía la imagen ocupando toda la pantalla de izquierda a derecha. (Las barras negras pueden permanecer en la parte superior o inferior de la pantalla, en función del tipo de imagen.)

restore: Extiende los lados derecho e izquierdo de la imagen ocupando toda la pantalla pero sin cambiar la parte superior e inferior.

SUBTÍTUL: Amplia la imagen ocupando toda la pantalla de derecha e izquierda y comprime la zona donde se visualizan los subtítulos.

4/3: Muestra la imagen sin ampliarla.

- 3** Pulse ENTER.

El menú vuelve al menú de Control pantalla.

Notas

- Si selecciona el modo panorámico, se inhabilitará la función de panorámico automático. Si desea utilizar la función de panorámico automático, vuelva a seleccionar “Encender”.
- Dependiendo del tipo y del tamaño de imagen, las partes superior o inferior de la imagen pueden quedar cortadas o los subtítulos no se podrán ver completamente.
- Recuerde que si esta unidad se utiliza para fines comerciales o para visionados públicos en cafés y hoteles, es posible que con la función de cambio a pantalla panorámica la imagen se comprima o alargue y se puede incurrir en una violación de los derechos de copyright según las leyes de copyright.

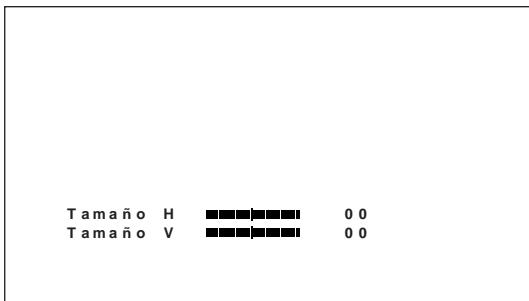
Cambio del tamaño y posición de la imagen

Es posible desplazar la posición de la imagen de forma que encaje en la pantalla, o ajustar el tamaño vertical y horizontal de la imagen por separado.

Este Manual de instrucciones explica el funcionamiento en caso de que la tecla Menú se ajuste en "Enc/Apa". Consulte "Menú Control pantalla" (página 20 (ES)) para obtener más información sobre el menú Control pantalla.

Cambio de tamaño de la imagen

- 1 En el menú Control pantalla, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta "Tamaño de la pantalla" y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



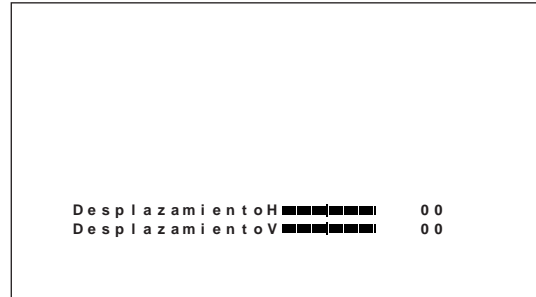
- 2 Ajuste el tamaño de la imagen vertical y horizontalmente mediante los botones **↑/↓/←/→**.
 - ←/→**: Ajusta el tamaño de la imagen horizontalmente.
 - ↑/↓**: Ajusta el tamaño de la imagen verticalmente.

El tamaño de la imagen horizontal se muestra en la pantalla con valores de ajuste de MIN (-128) a MAX (+127). El tamaño de la imagen vertical se muestra en la pantalla con valores de ajuste de MIN (-128) a MAX (+127).

- 3 Pulse ENTER. El menú vuelve al menú de Control pantalla.

Ajuste de la posición de la imagen

- 1 En el menú Control pantalla, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta "Desplazamiento pantalla" y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Los botones **↑/↓/←/→** mueven la imagen vertical y horizontalmente.
 - ←/→**: Mueve la imagen hacia la derecha y hacia la izquierda
 - ↑/↓**: Mueve la imagen arriba y abajo

La posición de la imagen horizontal se muestra en la pantalla con valores de ajuste de LEFT (128) a RIGHT (127). El tamaño de la imagen vertical se muestra en la pantalla con valores de ajuste de BOTTOM (128) a TOP (127).
- 3 Pulse ENTER. El menú vuelve al menú de Control pantalla.

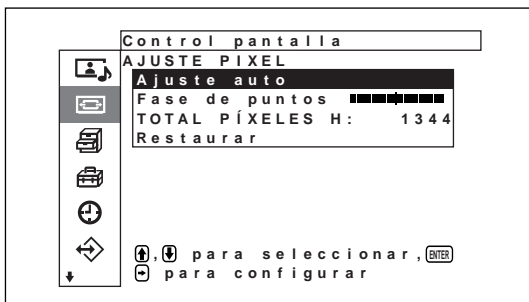
Ajuste de los píxeles

Si hay mucho ruido en los bordes de los caracteres o de las líneas verticales, puede ajustar la fase de puntos y el número total de píxeles horizontales.

Nota

Este elemento depende de la señal del ordenador que se utiliza.

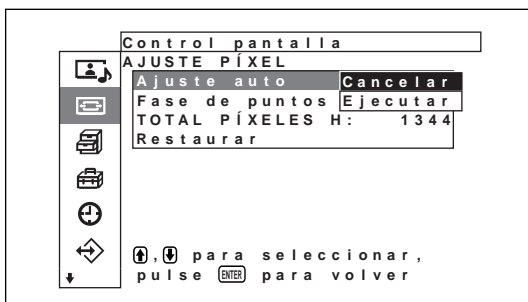
- 1 En el menú Control pantalla, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “AJUSTE PÍXEL” y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Puede ajustar la fase de puntos y el número total de píxeles horizontales automática o manualmente.

Ajuste automático

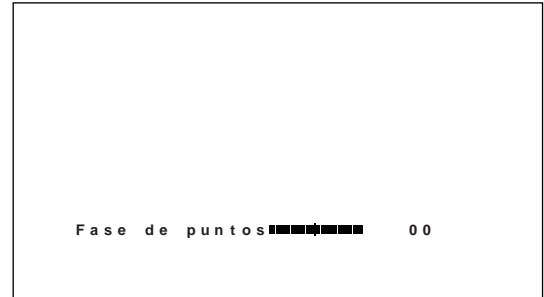
- (1) Seleccione “Ajuste auto” con **↑/↓** y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- (2) Seleccione Ejecutar con **↑/↓** y pulse ENTER. La fase de puntos y el número total de píxeles horizontales se ajustan automáticamente.

Ajuste manual

- (1) Seleccione Fase de puntos o TOTAL PÍXELES H con **↑/↓** y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización. (La siguiente ilustración corresponde a la selección de Fase de puntos.)



- (2) Ajuste la fase de puntos o el número total de píxeles horizontales con **↑/↓** y pulse ENTER.

Nota

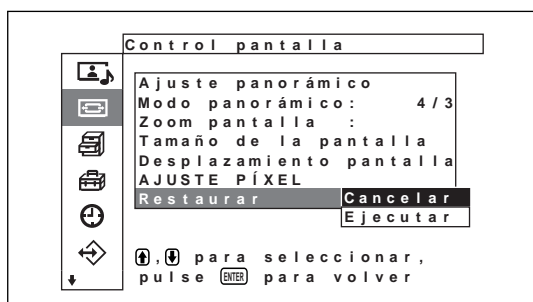
Debido a los patrones de la imagen, es posible que, en ocasiones, el ruido continúe a pesar de haber utilizado la opción Ajuste auto. En tal caso, ajuste la fase de puntos manualmente.

Para restaurar los ajustes originales de los elementos del menú Ajuste píxel

En el menú Ajuste píxel, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Restaurar” y pulse ENTER. A continuación seleccione Ejecutar con **↑/↓** y pulse ENTER.

Restauración de los valores originales de los elementos del menú Control pantalla

- 1 En el menú Control pantalla, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Restaurar” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Ejecutar” y pulse ENTER.
Se restauran los elementos del menú Control pantalla.

Para cancelar la función de restauración

Pulse MENU antes de pulsar ENTER.

Otra opción consiste en seleccionar “Cancelar” mediante **↑/↓** y, a continuación, pulsar ENTER.

Ajuste de la calidad del sonido

Se pueden ajustar los niveles de agudos, bajos y balance. Igualmente se puede ajustar el modo envolvente.

Ajuste de agudos, bajos y balance, etc.

Pulse MENU para que aparezca el menú principal en el panel de visualización y seleccione y con **↑/↓** seleccione “Agudos”, “Graves”, “Equilibrio” o “Envolvente” en el menú Ajuste sonido.

Agudos

Seleccione “Agudos” con **↑/↓** y pulse ENTER.
Ajuste los agudos con **↑/↓/←/→** entre MÍN (-50) y MÁX (+50).

↑/→: para aumentar los agudos

↓/←: para disminuir los agudos

Graves

Seleccione “Graves” con **↑/↓** y pulse ENTER.
Ajuste los graves con **↑/↓/←/→** entre MÍN (-50) y MÁX (+50).

↑/→: para aumentar los graves

↓/←: para disminuir los graves

Equilibrio

Seleccione “Balance” con **↑/↓** y pulse ENTER.
Ajuste el balance con **↑/↓/←/→** entre IZQUIERDA (50) y DERECHA (50).

↑/→: para aumentar el volumen de la derecha

↓/←: para aumentar el volumen de la izquierda

Envolvente

Seleccione el modo de salida envolvente según el tipo de imagen.

- 1 Seleccione “Envolvente” con **↑/↓** y pulse ENTER.

- 2 Seleccione el modo envolvente con **↑/↓** y pulse ENTER.

Apagar: Sin salida envolvente

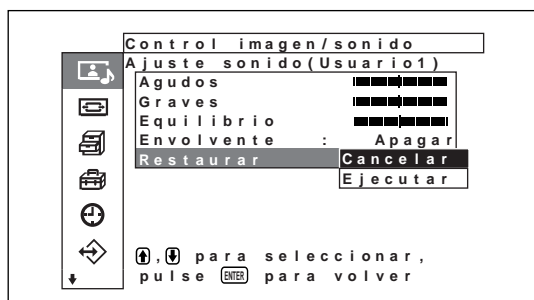
Hall: Cuando desee proporcionar una calidad más realista al sonido en estéreo de películas o programas musicales.

Sim: Cuando desee dar a los programas monoaurales normales o a las noticias televisadas una calidad más realista mediante gracias a la simulación de sonido estéreo.

Restauración de los elementos del menú de Ajuste sonido a su ajuste original

- 1 En el menú Ajuste sonido, pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) a “Restaurar” y pulse ENTER.

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) a “Ejecutar” y pulse ENTER.

Se restablecerán los elementos del menú ajuste sonido.

Para cancelar la función de restauración

Pulse MENU antes de pulsar ENTER.

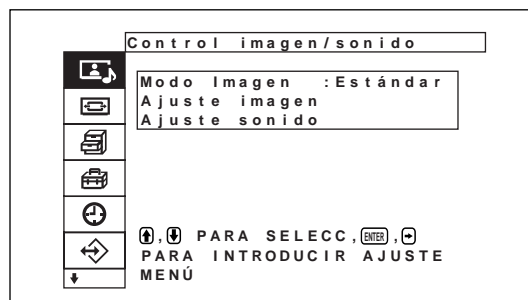
Otra opción consiste en seleccionar “Cancelar” mediante \uparrow/\downarrow y, a continuación, pulsar ENTER.

Uso de la función de memoria

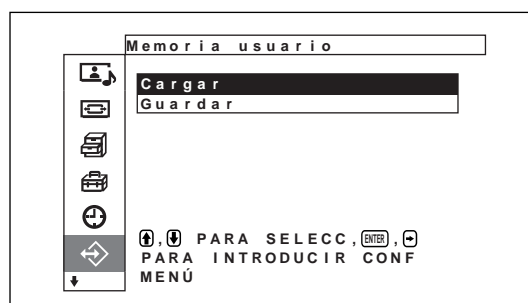
Con la función Memoria es posible almacenar el ajuste actual de la imagen de cada señal de entrada. Los ajustes almacenados pueden restablecerse cuando resulte necesario. Los elementos de los menús Control imagen/sonido y Control pantalla pueden memorizarse. Es posible almacenar los ajustes de imagen de hasta veinte señales de entrada. También es posible asignar nombre a los ajustes de los elementos (hasta 6 caracteres).

Almacenamiento del ajuste actual

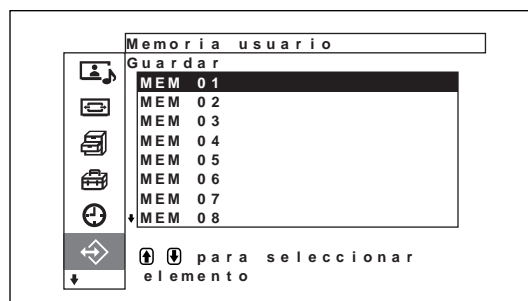
- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



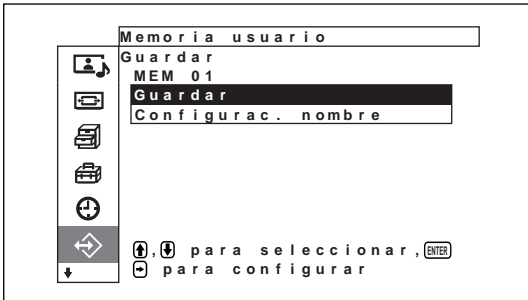
- 2 Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Memoria usuario” y pulse ENTER.
Aparece el menú Memoria usuario en el panel de visualización.



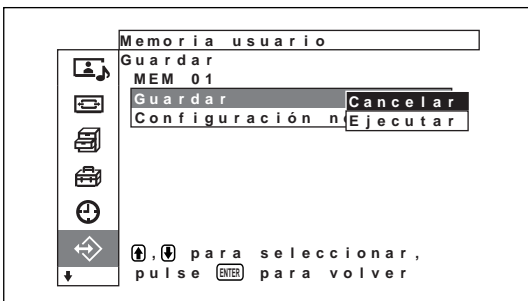
- 3 Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Guardar” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4** Seleccione un número de memoria (01 a 20) con **↑/↓** y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.

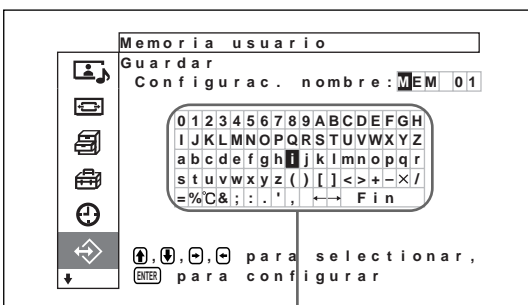


- 5** Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Guardar” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 6** Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Ejecutar” y pulse ENTER.
Los datos actuales quedan almacenados en el número de memoria seleccionado.
Cuando asigne un nombre a un ajuste, siga el siguiente procedimiento.

- 7** Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) a “Configurac. nombre” y pulse ENTER de nuevo.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



Lista de caracteres

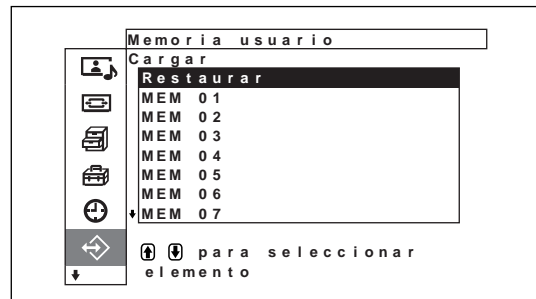
- 8** Seleccione un carácter o símbolo de la lista de caracteres mediante **↑/↓/←/→** y pulse INTRO.
Se seleccionará ese carácter. Si se equivoca, seleccione [**←**] en la pantalla para retroceder el cursor un carácter y, a continuación, corrija el error.

*Si [Func. MENU] (página 23 (ES)) del menú Ajuste inicial se ajusta en [Volver], los botones **↑/↓** del mando a distancia desplazarán el cursor hacia la izquierda y hacia la derecha. Para que los botones **↑/↓** desplacen el cursor hacia arriba y hacia abajo, ajuste [Func. MENU] en [Enc/Apa].*

- 9** Repita el paso **8** y cuando haya terminado de introducir el nombre, seleccione “Fin” y pulse ENTER.
Vuelve a aparecer el menú Guardar.

Recuperación de un ajuste almacenado

- 1** En el menú Memoria usuario, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Cargar” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2** Desplace el cursor hasta el número de la memoria (01-20) del ajuste que desea especificar mediante los botones **↑/↓**.
Recupera el ajuste almacenado.

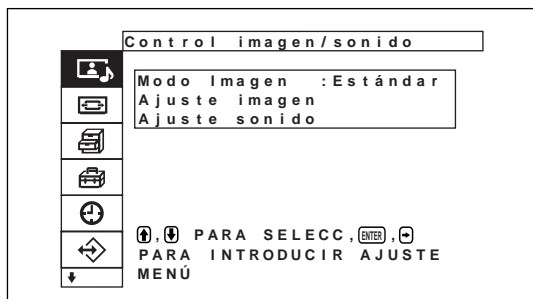
Para restaurar el ajuste que se utilizaba antes de recuperar el ajuste almacenado, coloque el cursor en “Restaurar”.

- 3** Pulse el botón ENTER.
La pantalla vuelve a la pantalla de memoria del usuario para restaurar y recuperar los ajustes.

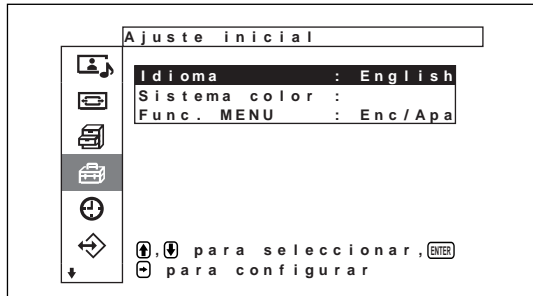
Selección del idioma en pantalla

Es posible seleccionar el idioma que desee para la pantalla entre japonés, inglés, alemán, francés, español o italiano.

- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2 Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) hasta "Ajuste inicial" y pulse ENTER.
Aparece el menú Ajuste inicial en el panel de visualización.



- 3 Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) a "Idioma" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4 Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) hasta el idioma que desee y pulse ENTER.
El idioma en pantalla cambia por el que haya seleccionado.

日本語: japonés

ENGLISH: inglés

DEUTSCH: alemán

FRANÇAIS: francés

ESPAÑOL: español

ITALIANO: italiano

Función de protector de pantalla

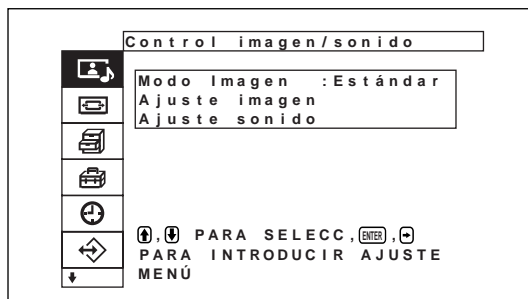
Si una imagen sin cambios de brillo o una imagen estática, como el tipo de imagen que se muestra en un ordenador, se visualiza durante largo tiempo, se marcará una imagen residual (fantasma) en el panel de visualización.

Para corregir o disminuir la gravedad del problema, esta unidad se suministra con una función de protección de pantalla.

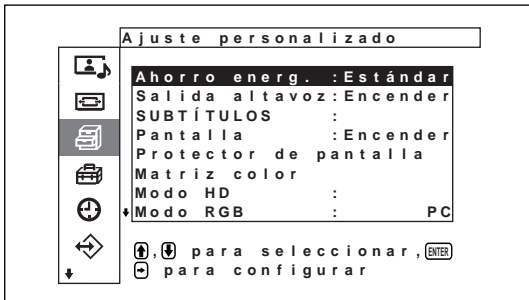
Existen dos tipos de protector de pantalla: una que invierte los tonos de color de la imagen (Invers. imag) y otra que mueve la imagen por la pantalla automáticamente durante un intervalo de tiempo predefinido (Movimiento imagen).

Inversión de los tonos de color de la imagen

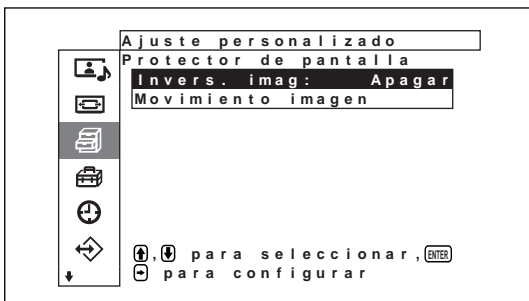
- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



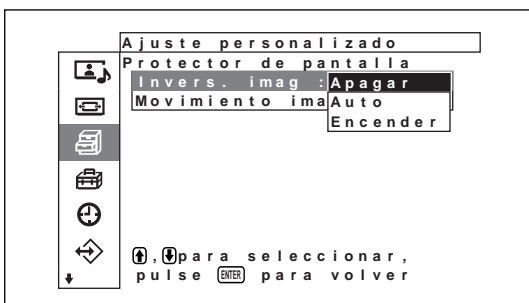
- 2 Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) hasta "Ajuste personalizado" y pulse ENTER. Aparece el menú Ajuste personalizado en el panel de visualización.



- 3 Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) hasta "Protetor de pantalla" y pulse ENTER. El menú principal aparece en el panel de visualización.

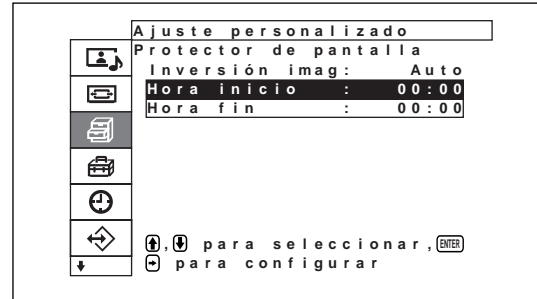


- 4 Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) hasta "Invers. imag" y pulse ENTER. El menú principal aparece en el panel de visualización.

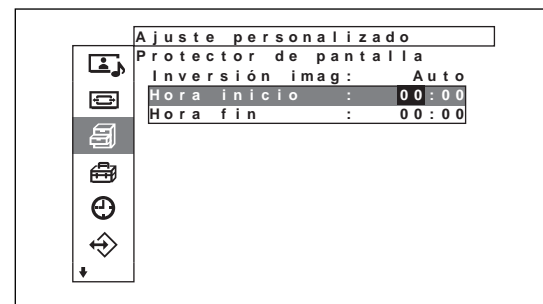


- 5 Seleccione el modo Inversión imag con \uparrow/\downarrow .
Apagar: para ajustar Inversión imag en Desactiv
Auto: Lleva a cabo el proceso Inversión imag una vez al día.
Encender: Invierte los tonos de color de la imagen

Cuando selecciona Auto y pulsa ENTER, aparece el siguiente menú.



- (1) Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) hasta "Hora inicio" y pulse ENTER. Aparecerá el siguiente menú y el fondo de la hora se mostrará en relieve.



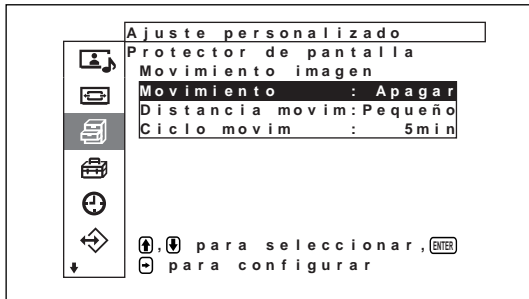
- (2) Ajuste la hora en que se va a invertir la imagen con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER. El ajuste de la hora se introduce y el fondo de los minutos aparece con relieve.
- (3) Ajuste los minutos con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER. Se introduce el ajuste de los minutos. Pulse \leftarrow para volver a la pantalla que se muestra en el paso 5.
Cuando utilice los botones de la unidad, pulse el botón MENU para cerrar el menú y ajuste [Func. MENU] (página 23 (ES)) del menú Ajuste inicial en [Volver]. De este modo, el botón MENU de la unidad tiene la misma función que el botón \leftarrow .
- (4) De forma similar, ajuste la hora en que debe cancelarse la función Inversión imag. La imagen en pantalla se invertirá en el Hora inicio y volverá a la imagen original en el Hora fin. Este ciclo se lleva a cabo automáticamente una vez al día.

Nota

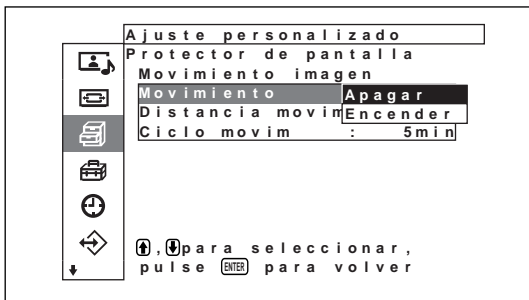
Si ajusta Hora inicio y Hora fin en la misma hora, el ajuste de Hora inicio tiene prioridad sobre el de Hora fin y la visualización no vuelve a su presentación original en Hora fin.

Cambio automático de la posición de la imagen

- 1 En el menú Protector de pantalla, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Movimiento imagen” y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 2 Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Movimiento” y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 3 Seleccione el modo de Movimiento con **↑/↓**.
Apagar: Cancela la función Movimiento imagen.
Encender: Activa la función Movimiento imagen.
- 4 Pulse ENTER.
 Vuelve a aparecer el menú Movimiento imagen.

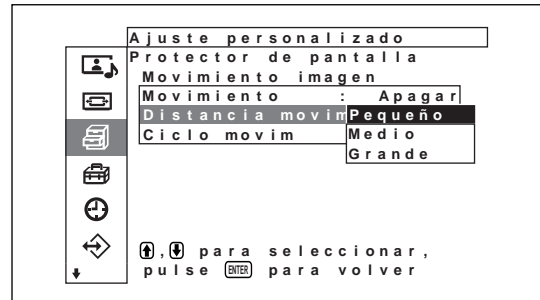
- 5 Seleccione Distancia movim (distancia de desplazamiento) o Ciclo movim (tiempo) con **↑/↓** y pulse ENTER.

Es posible seleccionar los siguientes valores:

Distancia movim: Pequeño, Medio, Grande

Ciclo movim: 10seg, 30seg, 1min, 5min

Aparece el siguiente menú en el panel de visualización. (La siguiente ilustración corresponde a la selección de Distancia movim.)



- 6 Ajuste el Distancia movim o Ciclo movim con **↑/↓** y pulse ENTER.

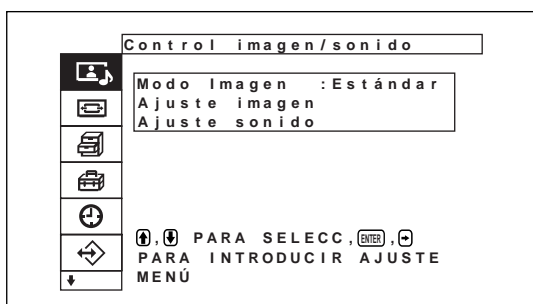
Si Inversión imag y Movimiento imagen están ajustadas en ACT

Si se lleva a cabo la función ROTACIÓN IMAG mientras se invierte la imagen, la imagen invertida se muestra cambiando la posición.

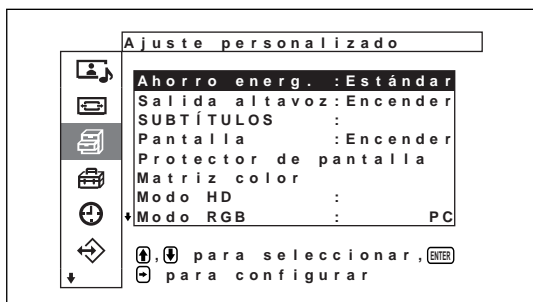
Ajuste de la matriz de colores

La matriz de colores se puede ajustar de forma que las imágenes aparezcan en colores naturales cuando la entrada de un sintonizador digital BS, de un sintonizador digital CS o de un reproductor de DVD conectado al adaptador de entrada tenga un formato de señal de 480p (525p), 1080i (1125i) o 720p (750p).

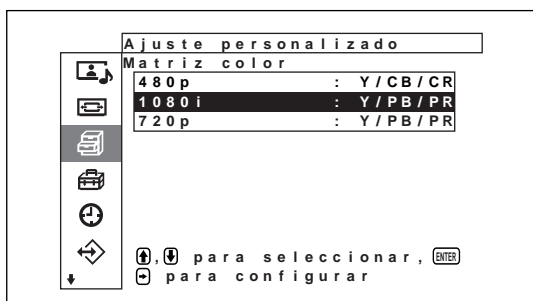
- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



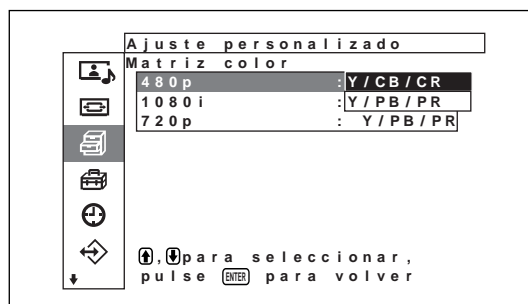
- 2 Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) hasta "Ajuste personalizado" y pulse ENTER.
Aparece el menú Ajuste personalizado en el panel de visualización.



- 3 Pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) hasta "Matriz color" y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4 Seleccione el formato de la señal con \uparrow/\downarrow .
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 5 Seleccione la matriz de colores con \uparrow/\downarrow .
Y/CB/CR: Cuando el formato de la señal es 480p.
Y/PB/PR: Cuando el formato de la señal es 1080i o 720p.

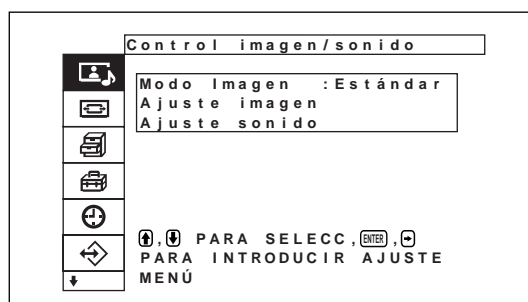
Consulte el manual de instrucciones que se suministra con cada dispositivo para configurarlos correctamente.

Control automático de la alimentación (función de control de alimentación)

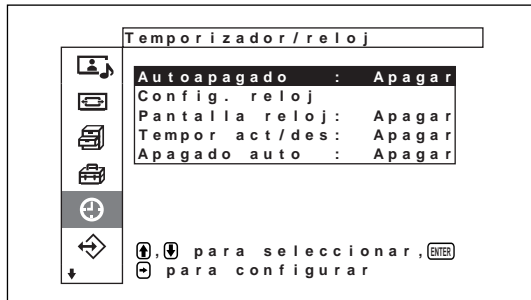
Esta pantalla dispone de dos funciones de control de alimentación. Puede ajustarlo para desactivar la alimentación automáticamente después de un determinado período si no se recibe ninguna señal de entrada (función Apagado auto). Puede ajustar la hora en que se activa/desactiva automáticamente la alimentación (función ACT/DESACT). Adicionalmente, se proporciona una función de reposo que desconecta la alimentación automáticamente transcurrido un tiempo determinado, incluso si se está visualizando la pantalla.

Función de Autoapagado

- 1 Pulse MENU.
El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2** Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) a “Temporizador/reloj” y pulse ENTER.
El menú temporizador/reloj aparece en el panel de visualización.



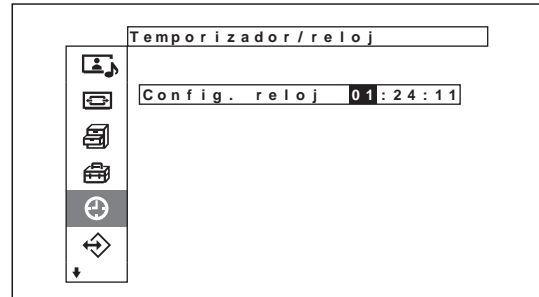
- 3** Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) a “Autoapagado” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4** Seleccione el tiempo transcurrido antes de desconectar la alimentación con **↑/↓**.
Apagar: No se desconecta la alimentación.
30 min.: Se desconecta la alimentación transcurridos 30 minutos.
60 min.: Se desconecta la alimentación transcurridos 60 minutos.
90 min.: Se desconecta la alimentación transcurridos 90 minutos.
120 min.: Se desconecta la alimentación transcurridos 120 minutos.

Ajuste de la hora

- 1** En el menú temporizador/reloj, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Config. reloj” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú y el color de fondo de la hora aparece en amarillo.



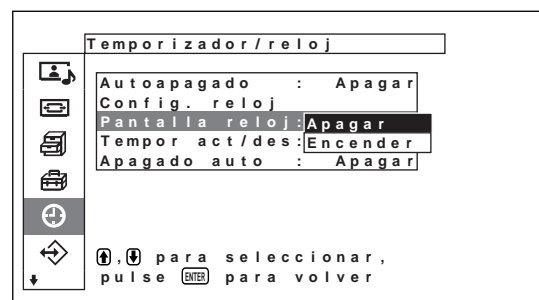
- 2** Ajuste la hora con **↑/↓** y pulse ENTER.
El indicador muestra el ajuste de la hora y el fondo de los minutos aparece de color amarillo.
- 3** Ajuste también los minutos y pulse ENTER.
El indicador muestra el ajuste de los minutos y el fondo de los segundos aparece de color amarillo.
- 4** Pulse ENTER.
Los segundos se restablecen a 00.
- 5** Pulse MENU.
La pantalla vuelve a la pantalla normal. Si es necesario realizar más ajustes, o si debe realizarse el ajuste de nuevo, repita el proceso desde el paso 1.

Nota

Si el reloj se atrasa significativamente, es posible que la pila interna se esté agotando. Póngase en contacto con un proveedor autorizado de Sony para cambiar la pila.

Visualización de la hora

- 1** En el menú Temporizador/reloj, pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) a “Pantalla reloj” y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



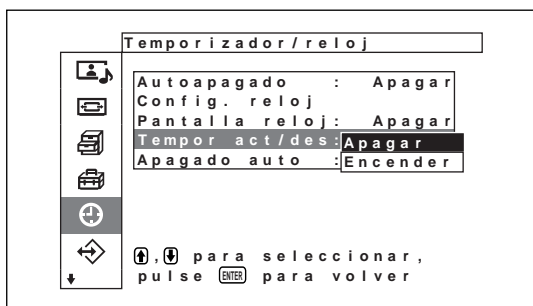
- 2** Seleccione Encender con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.
Cuando el menú deja de mostrarse, aparece un reloj en la esquina superior izquierda de la pantalla.

Cuando pulse el botón DISPLAY en el mando a distancia, desaparecerá el reloj que se muestra en la esquina de la pantalla del panel y, en su lugar, aparecerá la señal actualmente seleccionada y el Modo Imagen. Si vuelve a pulsar el botón DISPLAY, el reloj vuelve a la esquina del panel de visualización.

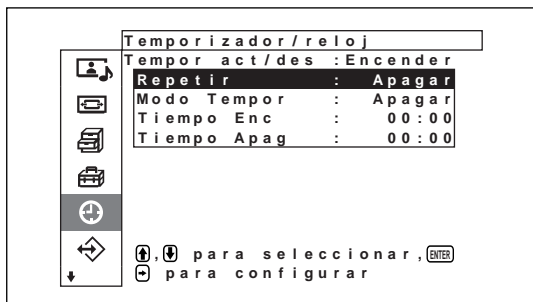
Función temporizador act/des

- 1** En el menú Temporizador/reloj, pulse \uparrow/\downarrow para desplazar el cursor (amarillo) hasta "Tempor act/des" y pulse ENTER.

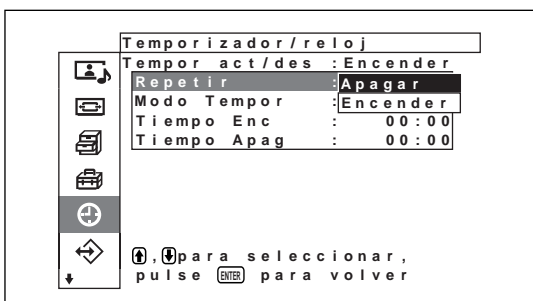
El siguiente menú aparece en la pantalla del monitor.



- 2** Seleccione Encender con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



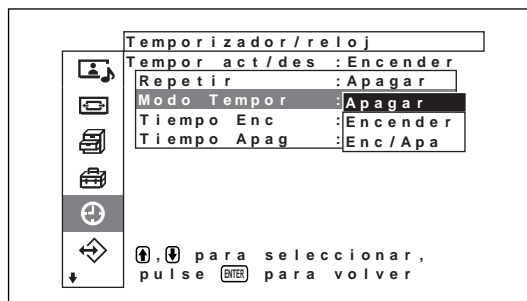
- 3** Seleccione "Repetir" con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4** Seleccione el modo de repetición con \uparrow/\downarrow .
Apagar: La alimentación se conecta y desconecta sólo una vez
Encender: La alimentación se conecta y desconecta cada día a la hora seleccionada.

- 5** Pulse ENTER.
El menú vuelve al menú Tempor act/des.

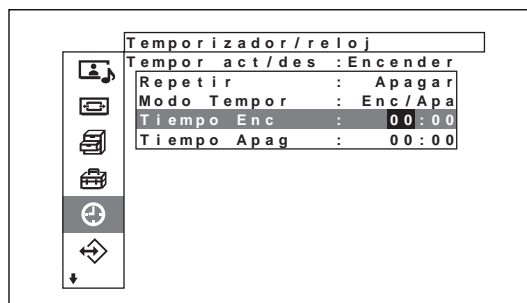
- 6** Seleccione Modo Tempor con \uparrow/\downarrow y pulse ENTER.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 7** Pulse \uparrow/\downarrow para seleccionar el modo del temporizador.
Apagar: La alimentación se desconecta a la hora ajustada en Tiempo desact.
Encender: La alimentación se conecta a la hora ajustada en Tiempo act.
Enc/Apa: La alimentación se conecta a la hora ajustada en Tiempo act, y se desconecta a la hora ajustada en Tiempo desact.

- 8** Pulse ENTER.
El menú vuelve al menú Tempor act/des.

- 9** Pulse \uparrow/\downarrow para mover el cursor (amarillo) a "Tiempo Enc" y pulse ENTER.
Aparece el menú siguiente en el panel de visualización. El área situada detrás de la hora se muestra en color azul claro.



10 Pulse **↑/↓** para ajustar la hora y pulse **ENTER**.
Se introduce la hora y el área situada detrás de los minutos se muestra en relieve.

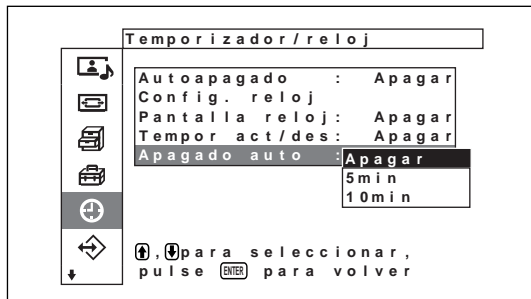
11 Pulse **↑/↓** para ajustar los minutos y pulse **ENTER**.
Pulse **←** para volver a la pantalla que se muestra en el paso **2**.

*Cuando utilice los botones de la unidad, pulse el botón **MENU** para cerrar el menú y ajuste [Func. MENU] (página 23 (ES)) del menú Ajuste inicial en [Volver]. De este modo, el botón **MENU** de la unidad tiene la misma función que el botón **←**.*

12 Pulse **↑/↓** para mover el cursor (amarillo) a “Tiempo desact” y pulse **Intro**. Realice el mismo proceso para la hora y minutos activados.

Función de ahorro de energía

1 En el menú Temporizador/reloj, pulse **↑/↓** para mover el cursor (amarillo) a “Apagado auto” y pulse **ENTER**.
Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



2 Pulse **↑/↓** para seleccionar el tiempo que debe transcurrir hasta el cambio al modo de ahorro de energía.

Apagar: La función de ahorro de energía no se activa.

5min: Se pasa al modo de ahorro de energía después de cinco minutos si no hay señal de entrada.

10min: Se pasa al modo de ahorro de energía después de diez minutos si no hay señal de entrada.

Cuando el modo de ahorro de energía está activado, la unidad cambia al modo de espera.

Para cancelar la función de ahorro de energía

Pulse el interruptor **⏻** de la sección de indicadores / interruptor **⏻** (de espera) o el interruptor **POWER ON** del mando a distancia.

Función de autodiagnóstico

La unidad cuenta con una función de autodiagnóstico. Esta función muestra el estado de la pantalla de acuerdo con el patrón que muestra el parpadeo del indicador **STANDBY**. El patrón parpadeante informa sobre el estado actual de la pantalla.
Si parpadea el indicador **STANDBY**, compruebe el número de parpadeos y consulte a un proveedor Sony autorizado.

1 Compruebe el patrón parpadeante del indicador **STANDBY**.
El indicador parpadea con una imagen visible en la pantalla, o bien a intervalos de tres segundos sin ninguna imagen en la pantalla.

Cuente el número de parpadeos si el indicador parpadea a intervalos de tres segundos. Por ejemplo, el indicador parpadea dos veces, seguido de una pausa de tres segundos, dos parpadeos más y una repetición de lo anterior. En este caso, se cuentan dos parpadeos.

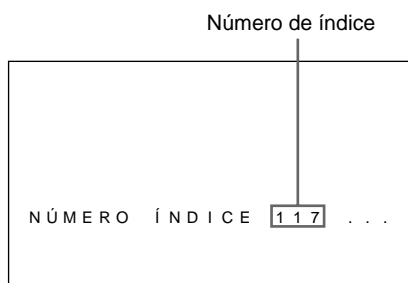
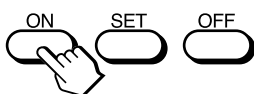
2 Desenchufe la unidad.
Comunique el número de parpadeos a un proveedor Sony autorizado.

Empleo de una pantalla específica con el mando a distancia

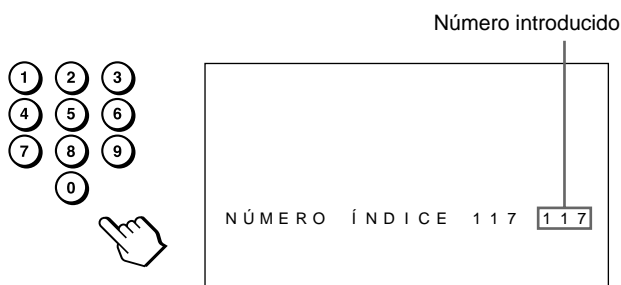
Con el mando a distancia suministrado, puede emplear una pantalla específica sin afectar a las demás pantallas instaladas a la vez.

- 1 Pulse ID MODE ON en el mando a distancia. Aparecen números de índice de monitor en caracteres blancos en todas las pantallas (a cada pantalla se le asigna un número de índice individual predefinido de 1 a 255.)

Consulte "Para cambiar el número de índice" en la columna derecha de la página siguiente si desea cambiar el número de índice.

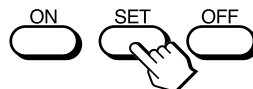


- 2 Introduzca el número de índice de la pantalla que desee emplear utilizando los botones 0 - 9 del mando a distancia. El número introducido aparece junto al número de índice de cada pantalla.



Empleo de una pantalla específica con el mando a distancia

- 3 Pulse ID MODE SET. Los caracteres de la pantalla seleccionada se tornan de color cian mientras los demás se vuelven verdes. La activación de la alimentación y del modo de espera también se aplica a las otras pantallas.



Sólo podrá emplear la pantalla especificada. (Todas las operaciones se encuentran disponibles en el modo ID, excepto la activación/desactivación de la alimentación.)

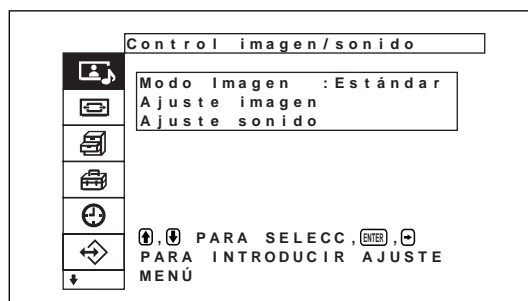
- 4 Cuando se hayan completado todos los ajustes, pulse el botón ID MODE OFF. La pantalla vuelve al modo normal.



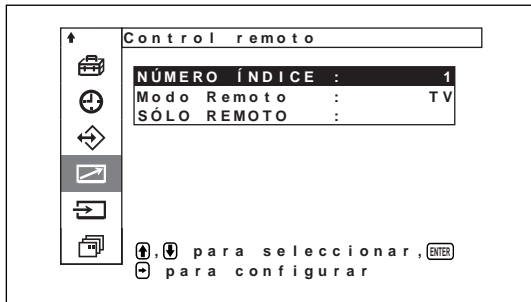
Para cambiar el número de índice

Puede cambiar el número de índice en caso necesario. Para cambiar el número, utilice los botones de la sección de botones de control de la unidad de visualización.

- 1 Pulse MENU. El menú principal aparece en el panel de visualización.



- 2** Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “Control remoto” y pulse ENTER. Aparece el menú Control remoto en el panel de visualización.



- 3** Pulse **↑/↓** para desplazar el cursor (amarillo) hasta “NÚMERO ÍNDICE” y pulse ENTER. Aparece el siguiente menú en el panel de visualización.



- 4** Seleccione el NÚMERO ÍNDICE con **↑/↓** y pulse ENTER. Vuelve a aparecer el menú Control remoto.

Uso de otros modelos de mando a distancia

Las siguientes operaciones pueden realizarse con otros modelos de mando a distancia.

- Activación y desactivación de la alimentación
- Selección de entrada
- Operaciones de menú
- Ajustes de imagen: contraste, fase y croma
- Activación y desactivación de indicaciones en pantalla

Las operaciones disponibles y los botones utilizados para cada operación están limitados en función de cada mando a distancia. Consulte la tabla siguiente.

Modelo de mando a distancia		RM-854	RM-921	RM-PJ1001
Ajuste de MODO REMOTO		TV	TV	PJ
Selección de entrada	INPUT1	RGB	RGB1	A
	INPUT2	—	RGB2	B
	VIDEO	LINE1	LINE	VIDEO
Operación de menú	MENU	MENU	MENU	MENU o ←
	ENTER	ENTER	ENTER	ENTER o →
	↑	+	SELECT+↑	↑
	↓	-	SELECT-↓	↓
Ajuste de imagen	Contraste	CONTRAST+/-	—	CONTR+/-
	Crominancia	CHROMA+/-	—	COLOR+/-
	Fase	PHASE+/-	—	HUE+/-
Información en pantalla		DISPLAY	DISPLAY	STATUS ON

Especificaciones

Proceso de vídeo

Señal preajustada	<i>Consulte la página 28 (ES)</i>
Índice de muestreo	13,5 MHz a 140 MHz
Sistema de paneles	Panel de visualización de plasma tipo AC
Resolución de pantalla	1365 puntos (horizontal) × 768 líneas (vertical)
Densidad de píxel	0,81 (horizontal) × 0,81 (vertical) mm ($1/32 \times 1/32$ pulgadas)
Tamaño de imagen	1106 (horizontal) × 622 (vertical) mm ($43 \frac{17}{32} \times 24 \frac{1}{2}$ pulgadas)
Tamaño de panel	50 pulgadas (diagonal: 1270 mm)

Entradas y salidas

INPUT1/INPUT2

RGB/YUV	D-sub de 15 pines (hembra) (×2) <i>(consulte "Asignación de pines" en la página 53 (ES))</i>
AUDIO	Minitoma estéreo 500 mVrms, alta impedancia

ALTAVOZ

7 W + 7 W (6 ohmios), impedancia directa no equilibrada: 6-16 ohmios

CONTROL S IN/OUT

REMOTE (RS-232C)	Conector D-sub de 9 pines (×1)
------------------	--------------------------------

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)¹⁾

COMPOSITE IN	Tipo BNC (×1) Vídeo compuesta, 1 Vp-p ±2 dB sincronización negativa, 75 ohmios (terminación automática)
--------------	--

Y/C IN	Tipo mini DIN de 4 pines (×1) Y (luminancia): 1 Vp-p ±2 dB sincronización negativa, terminación de 75 ohmios C (crominancia): Señal subportadora de crominancia 0,286 Vp-p ±2 dB (NTSC), terminación de 75 ohmios Señal subportadora de crominancia 0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), terminación de 75 ohmios
AUDIO IN	Minitoma estéreo 500 m Vrms, alta impedancia
COMPOSITE OUT	Tipo BNC (×1) Derivada
Normas de seguridad	UL1950, CSA nº 950 (c-UL), FCC Clase B, IC Clase B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

General

Requisitos de alimentación	100 a 240 V CA, 50/60 Hz, 5,4 a 2,2 A
Consumo de energía	490 W
Condiciones de funcionamiento	Temperatura: 0 °C a 35 °C (32 °F a 95 °F) Humedad: 20% a 90% (sin condensación) Presión atmosférica: 700 a 1 060 hPa
Condiciones de almacenamiento/transporte	Temperatura: -10 °C a +40 °C (14 °F a 104 °F) Humedad: 20% a 90% (sin condensación) Presión atmosférica: 720 a 1 114 hPa
Dimensiones	1 246 × 755 × 100 mm (49 $\frac{1}{8}$ × 29 $\frac{3}{4}$ × 4 pulgadas) (an/al/prf, partes salientes excluidas)
Peso	46,7 kg (102 lb 15 oz)

1) El PFM-50C1E no dispone de conectores VIDEO. Para el PFM-50C1E, la entrada Y/C y de vídeo compuesta puede introducirse en el monitor si éste está provisto del adaptador de entrada de vídeo BKM-B10 (no suministrado).

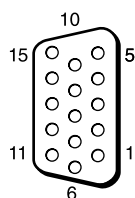
Accesorios suministrados

- Cable de alimentación de CA (1)
- Portaenchufe de CA (2)
- Portacables A (2)
- Portacables B (6)
- Mando a distancia RM-971 (1)
- Pilas de tamaño AA (R6) (2)
- Manual de instrucciones (1)

Accesorios opcionales

- Soporte de pantalla SU-P50C
- Altavoz SS-SP10A
- Adaptador de entrada de vídeo
BKM-B10
(sólo para el PFM-50C1E)

Diseño y especificaciones sujetos a cambios sin previo aviso.

Asignación de pines
Conector RGB/YUV (D-sub de 15 pines)


Pin nº	Señal
1	Vídeo roja o R-Y o P _R
2	Y o vídeo verde o Sincronización en verde
3	Vídeo azul o B-Y o P _B
4	Masa
5	Masa
6	Masa roja
7	Masa verde
8	Masa azul
9	Sin uso
10	Masa
11	Masa
12	SDA
13	Sincronización H o compuesta
14	Sincronización V
15	SCL

AVVERTENZA

Par evitare rischi di incendi o scosse elettriche, non esporre l'apparecchio alla pioggia o all'umidità.

Voltaggi molto alti sono presenti all'interno dell'apparecchio. Non aprire il contenitore. Rivolgersi solo a personale qualificato.

La presa di corrente deve essere situata vicino all'apparecchio e deve essere facilmente accessibile.

Precauzioni	5 (IT)
Caratteristiche	6 (IT)
Posizione e funzione dei comandi e delle parti	7 (IT)
Parte anteriore / Parte posteriore / Lato destro	7 (IT)
Sezione interruttore / indicatore  (attesa)	8 (IT)
Sezione tasti di controllo (Parte superiore)	8 (IT)
Pannello dei connettori	9 (IT)
Telecomando RM-971	11 (IT)
Avvertenza	13 (IT)
Collegamenti	14 (IT)
Collegamento dei diffusori	14 (IT)
Collegamento del cavo di alimentazione CA	14 (IT)
Esempio di collegamento	14 (IT)
Applicazione del nucleo in ferrite	16 (IT)
Utilizzo dei menu a schermo	18 (IT)
Funzionamento tramite i menu	18 (IT)
Guida dei menu	18 (IT)
Riproduzione dell'immagine	26 (IT)
Cambiamento del segnale di ingresso	26 (IT)
Informazioni relative al segnale di ingresso, al modo immagine e alle condizioni del display	27 (IT)
Modifica del modo di visualizzazione	29 (IT)
Funzione di risparmio energetico	29 (IT)
Selezione della qualità dell'immagine	30 (IT)
Regolazione dell'immagine	31 (IT)
Regolazione di contrasto, luminosità, colore, fase e così via	31 (IT)
Ripristino delle voci del menu Regola immagine alle impostazioni originali	34 (IT)
Picture Enlargement	34 (IT)
Impostazione di Auto Wide	35 (IT)
Impostazione del Modo ampio	36 (IT)
Modifica delle dimensioni e della posizione dell'immagine	37 (IT)
Modifica delle dimensioni dell'immagine	37 (IT)
Regolazione della posizione dell'immagine	37 (IT)
Regolazione dei pixel	38 (IT)

Ripristino delle voci del menu Comando schermo alle impostazioni originali	38 (IT)
Regolazione della qualità dell'audio	39 (IT)
Regolazione degli acuti, dei bassi, del bilanciamento e così via.....	39 (IT)
Ripristino delle voci del menu Regola audio sulle impostazioni iniziali	39 (IT)
Utilizzo della funzione di memoria	40 (IT)
Memorizzazione dell'impostazione corrente	40 (IT)
Richiamo delle impostazioni memorizzate	41 (IT)
Selezione della lingua per le indicazioni a schermo	41 (IT)
Funzione salva schermo	42 (IT)
Inversione dei toni di colore dell'immagine	42 (IT)
Modifica automatica della posizione dell'immagine visualizzata	44 (IT)
Regolazione della matrice di colore	45 (IT)
Controllo automatico dell'alimentazione attivata/ disattivata (funzione di controllo dell'alimentazione)	46 (IT)
Funzione spegnimento	46 (IT)
Regolazione dell'ora	46 (IT)
Visualizzazione dell'ora	47 (IT)
Funzione Timer att/dis	47 (IT)
Funzione di risparmio energetico	48 (IT)
Funzione di autodiagnostica	49 (IT)
Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando	49 (IT)
Utilizzo di altri modelli di telecomando	51 (IT)
Caratteristiche tecniche	52 (IT)

Precauzioni

Sicurezza

- La targhetta indicante la tensione operativa, il consumo energetico, ecc. è situata nella parte posteriore dell'apparecchio.
- Se liquidi o oggetti solidi penetrano nel rivestimento, scollegare l'apparecchio e farlo controllare da personale qualificato prima di utilizzarlo ulteriormente.
- Se si prevede di non utilizzare l'apparecchio per un lungo periodo, scollegarlo dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo di alimentazione CA, tirarlo dalla spina e mai dal cavo stesso.
- Se l'apparecchio viene installato sul pavimento, assicurarsi di utilizzare il supporto opzionale.

Installazione

- Per evitare il surriscaldamento interno dell'apparecchio, consentire un'adeguata circolazione d'aria. Non collocare l'apparecchio su superfici quali coperte o tappeti né in prossimità di materiali quali tendaggi che potrebbero bloccare le prese di ventilazione.
- Non collocare l'apparecchio in prossimità di fonti di calore quali radiatori o condotti dell'aria né in luoghi soggetti alla luce solare diretta, a polvere eccessiva, a vibrazioni di tipo meccanico o a urti.
- Se vengono installati diversi componenti collegandoli al presente apparecchio, è possibile che in base alle relative posizioni si verifichino problemi di funzionamento del telecomando, disturbi delle immagini e del suono e problemi simili.

Informazioni sul display al plasma (PDP - Plasma Display Panel)

- Sullo schermo potrebbero apparire punti neri o luminosi (rossi, blu o verdi). Non si tratta di problemi di funzionamento. Sebbene il pannello del display al plasma sia stato creato secondo una tecnologia di altissima precisione, potrebbero essere visualizzati alcuni pixel più chiari o più scuri degli altri. Eventuali punti scuri presenti sul bordo dello schermo o la visualizzazione di strisce e irregolarità di colore non costituiscono un problema di funzionamento.
- Non visualizzare lo stesso fermo immagine per un lungo periodo, diversamente su una parte dello schermo potrebbe rimanere un'immagine residua. Utilizzare la funzione salva schermo per uniformare lo schermo.

- Dato il tipo di fabbricazione, se il presente pannello del display al plasma viene utilizzato in luoghi in cui la pressione è estremamente bassa, quali altitudini elevate, potrebbe essere udito un disturbo.
- Se la stessa immagine viene visualizzata per un periodo di tempo prolungato, è possibile che una parte di tale immagine si imprima sullo schermo e lasci un'immagine residua. Per evitare tale fenomeno, utilizzare la funzione salvaschermo fornita per visualizzare un'immagine a schermo pieno. Nel caso di immagini residue, utilizzare la funzione salvaschermo oppure utilizzare un software video o di immagine in modo che sullo schermo sia sempre presente un'immagine in movimento. Sebbene le immagini residue di scarsa entità (immagini impresse) risultino meno evidenti, una volta verificatosi, il fenomeno non potrà essere risolto completamente.
- Per proteggere il display al plasma, il presente apparecchio non accetta i comandi del telecomando o dei tasti funzione per alcuni secondi successivi all'attivazione del modo di accensione/attesa. Pertanto, dopo avere effettuato tale operazione, attendere circa 8 secondi prima di inviare un comando.

Pulizia

Per mantenere in buone condizioni l'apparecchio, pulirlo saltuariamente con una soluzione detergente neutra. Non utilizzare in nessun caso solventi quali benzene né detergenti abrasivi onde evitare di danneggiare il rivestimento scollegare l'apparecchio prima di procedere alla pulizia.

Note sull'uso e sulla pulizia dello schermo

Lo speciale strato dello schermo deve essere trattato con cura quando si pulisce o si maneggia il TV. Per evitare di toccare lo schermo, pulire utilizzando un panno morbido.

Reimballaggio

Non gettare il materiale di imballaggio poiché potrebbe risultare utile per il trasporto dell'apparecchio. In tal caso, reimballare l'apparecchio come illustrato sulla confezione.

Per qualsiasi domanda o problema relativo all'apparecchio, contattare un rivenditore Sony autorizzato.

Caratteristiche

La PFM-50C1E è costituita da display a pannello piatto da 50 pollici con rapporto di formato 16:9 dotati di un display al plasma (PDP, Plasma Display Panel) in grado di accettare vari tipi di segnali grazie alla presenza di un convertitore di scansione incorporato.

Migliore qualità di immagine

La serie PFM-50C1E utilizza un display al plasma a 1365 punti × 768 linee ad alta precisione che consente di riprodurre immagini di elevata qualità da più sorgenti di immagine.

Circuito di qualità di immagine elevata di proprietà di Sony

Elaborazione digitale elevata di tutti i segnali di immagine per una fedele riproduzione di immagini di qualità eccellente.

Diffusori amplificatore audio

Il presente display è dotato di amplificatori digitali di elevata qualità audio che, se utilizzati con diffusori opzionali, garantiscono una presentazione efficace.

Altre caratteristiche

- Per eventuali espansioni è presente uno slot opzionale.
- Funzione modo Cinema drive
- Prese uscita diffusori (L/R)
- Control S (IN/OUT)
- Due ingressi RGB/componente e un ingresso video.
- Visualizzazione del segnale HDTV con segnale sincronico a tre livelli.
- Filtro a pettine tridimensionale per la separazione del segnale NTSC Y/C.
- Filtro a pettine con correlazione della linea per la separazione del segnale PAL Y/C.
- Rilevamento automatico del segnale di ingresso con indicazione a schermo.
- Windows¹⁾95/98 PnP (Plug and Play) compatibile.
- Funzione Dynamic picture
- Menu a schermo per effettuare varie regolazioni e impostazioni
- Indicazioni a schermo in sei lingue per un facile accesso alle funzioni: inglese, tedesco, francese, italiano, spagnolo e giapponese.
- Regolazione fine delle dimensioni e della posizione delle immagini.
- Funzione di memoria per un massimo di venti impostazioni di immagine.
- Controllo ID
- Funzione di autodiagnostica
- Connettore per il comando a distanza (RS-232C) (D-sub a 9 piedini)
- Accetta i telecomandi Sony a raggi infrarossi che utilizzano il codice SIRCS.
- Installazione verticale
- Decodificatore sottotitoli
- Salva schermo per prevenire la formazione di immagini residue.

Avvertenza sul collegamento dell'alimentazione

Utilizzare un cavo di alimentazione adeguato alla tensione operativa locale.

PFM-50C1E

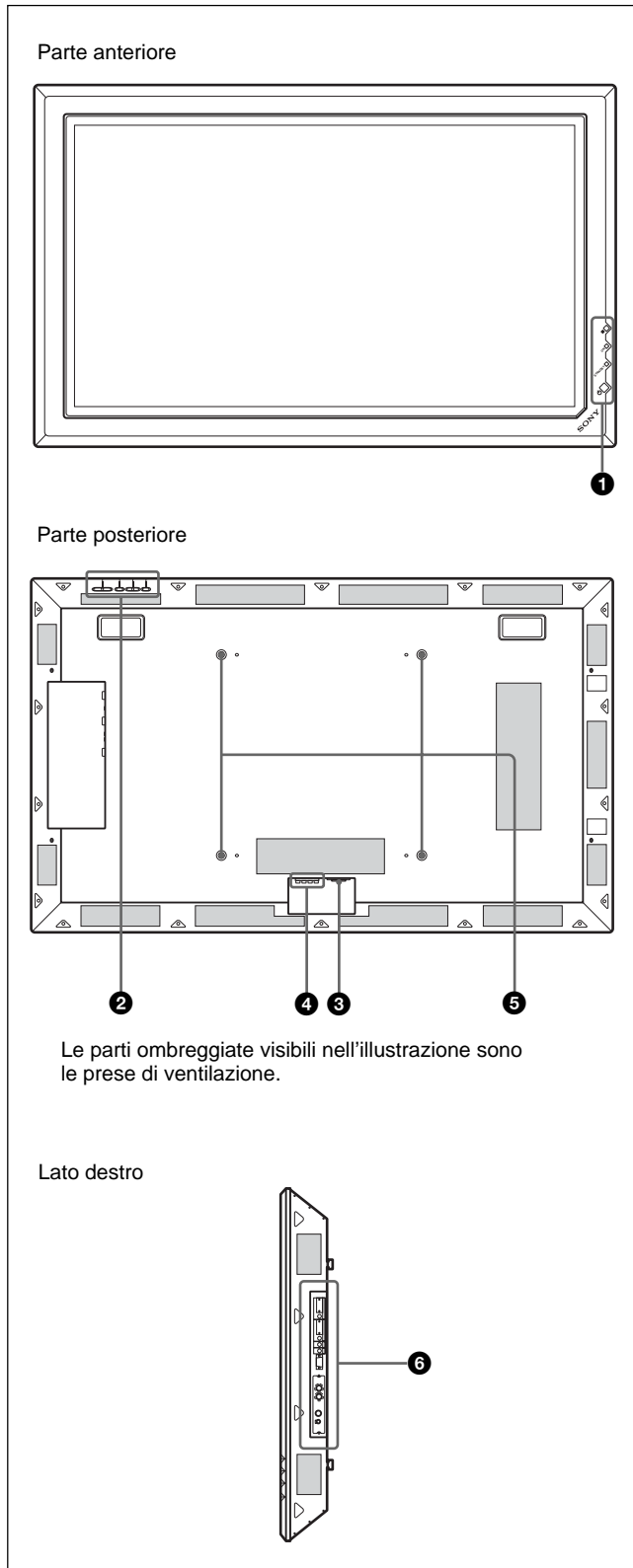
	Stati Uniti, Canada	Europa continentale	Regno Unito, Irlanda, Australia, Nuova Zelanda	Giappone
Tipo di spina	VM0233	COX-07 636	— ^{a)}	VM1296
Estremità femmina	VM0089	COX-02 VM0310B	VM0303B	VM1313
Tipo di cavo	SVT	H05VV-F	CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
Tensione e corrente nominali minime dei cavi	10A/125V	10A/250V	10A/250V	10A/125V
Approvazione delle norme di sicurezza	UL/CSA	VDE	VDE	DENAN-HO

a) Nota: utilizzare una spina con potenza nominale che si adatti alle norme vigenti nel proprio paese.



1) Windows è un marchio di fabbrica registrato di Microsoft Corporation (U.S.A e altri paesi).

Posizione e funzione dei comandi e delle parti

Parte anteriore / Parte posteriore / Lato destro



❶ Sezione interruttore / indicatore (attesa)

Per ulteriori informazioni sulla sezione interruttore / indicatore  (attesa), vedere "Sezione interruttore / indicatore  (attesa)" a pagina 8 (IT).

❷ Sezione tasti di controllo

Per ulteriori informazioni sulla sezione tasti di controllo, vedere "Sezione tasti di controllo (Parte superiore)" a pagina 8 (IT).

❸ Presa \sim AC IN

Collegare il cavo di alimentazione CA in dotazione a questa presa, quindi alla presa di rete. Una volta collegato il cavo di alimentazione CA, l'indicatore STANDBY si illumina in rosso e il monitor entra nel modo di attesa.

Per ulteriori informazioni sul cavo di alimentazione, vedere "Collegamento del cavo di alimentazione CA" a pagina 14 (IT).

❹ Presa SPEAKER (uscita audio)

Se a questa presa vengono collegati diffusori opzionali venduti separatamente, viene trasmesso il componente audio del segnale visualizzato sullo schermo.

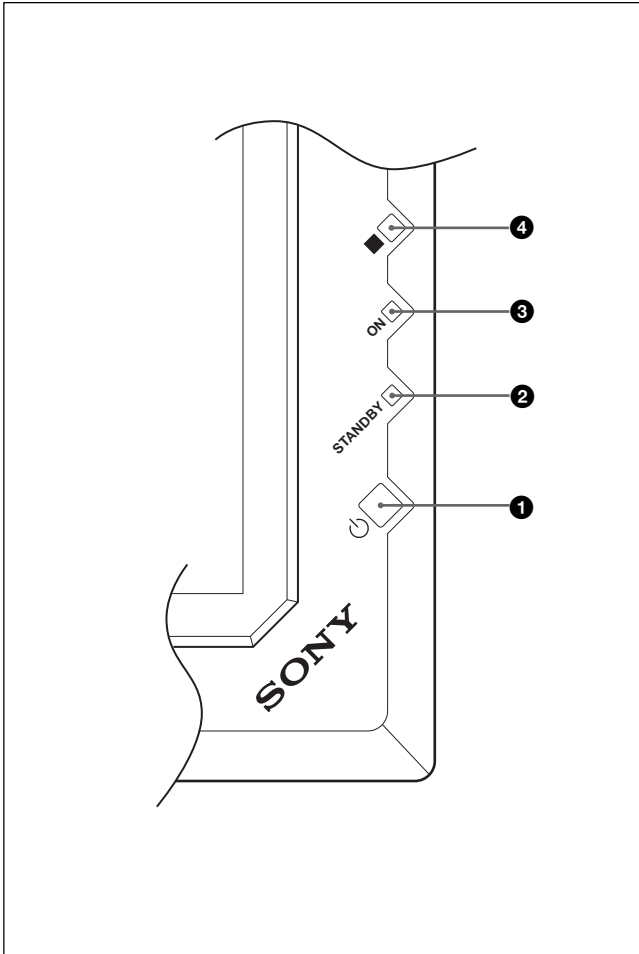
❺ Ganci per l'installazione del supporto

Per l'installazione del supporto utilizzare i ganci (non in dotazione).

❻ Pannello dei connettori

Per ulteriori informazioni sul pannello dei connettori, vedere "Pannello dei connettori" a pagina 9 (IT).

Sezione interruttore / indicatore (attesa)



1 Interruttore (attesa)

Premere per attivare il display. Premere di nuovo per tornare al modo di attesa.

Nota

Per proteggere il pannello, è necessario attendere alcuni secondi per far sì che venga attivato il modo di accensione/attesa. Pertanto, dopo avere effettuato tale operazione attendere circa 8 secondi prima di premere nuovamente l'interruttore.

2 Indicatore STANDBY

Si illumina in rosso se il monitor è nel modo di attesa. Se l'indicatore STANDBY lampeggia, vedere "Funzione di autodiagnostica" a pagina 49 (IT).

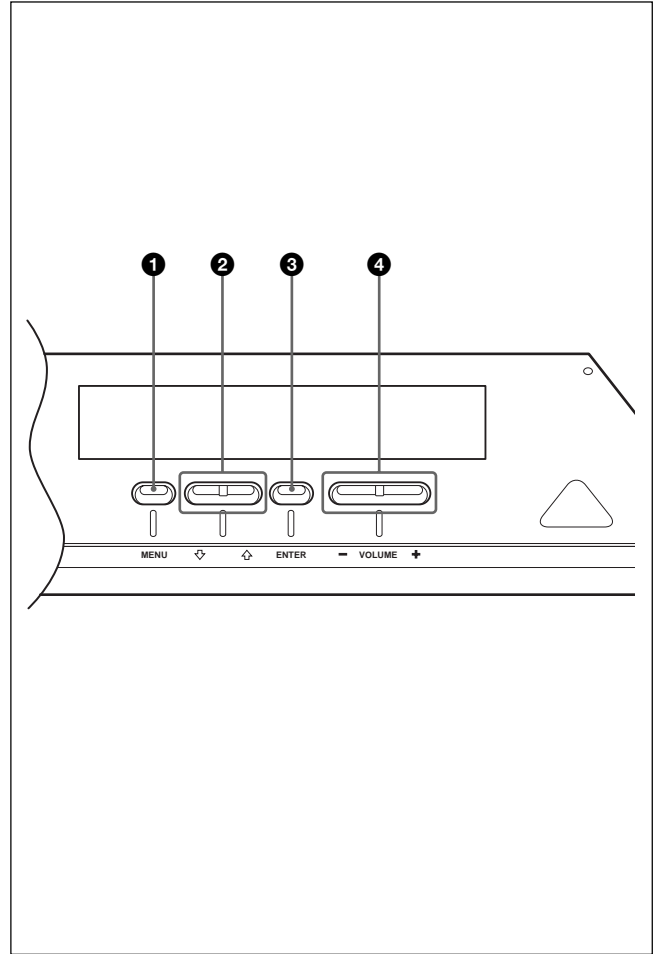
3 Indicatore ON

Si illumina in verde quando il display viene attivato.

4 Sensore del comando a distanza

Riceve il segnale dal telecomando.

Sezione tasti di controllo (Parte superiore)



1 Tasto MENU

Premere per visualizzare il menu. Durante la visualizzazione del menu sul pannello del display, premere per tornare al menu precedente. Alla successiva pressione del tasto il menu scompare. Se si utilizza il tasto MENU per tornare al livello di menu precedente, vedere "Menu Impostazione iniziale" a pagina 23 (IT).

2 Tasti /

Premere per spostare il cursore (giallo) su una voce o per effettuare la regolazione di un valore all'interno di un menu.

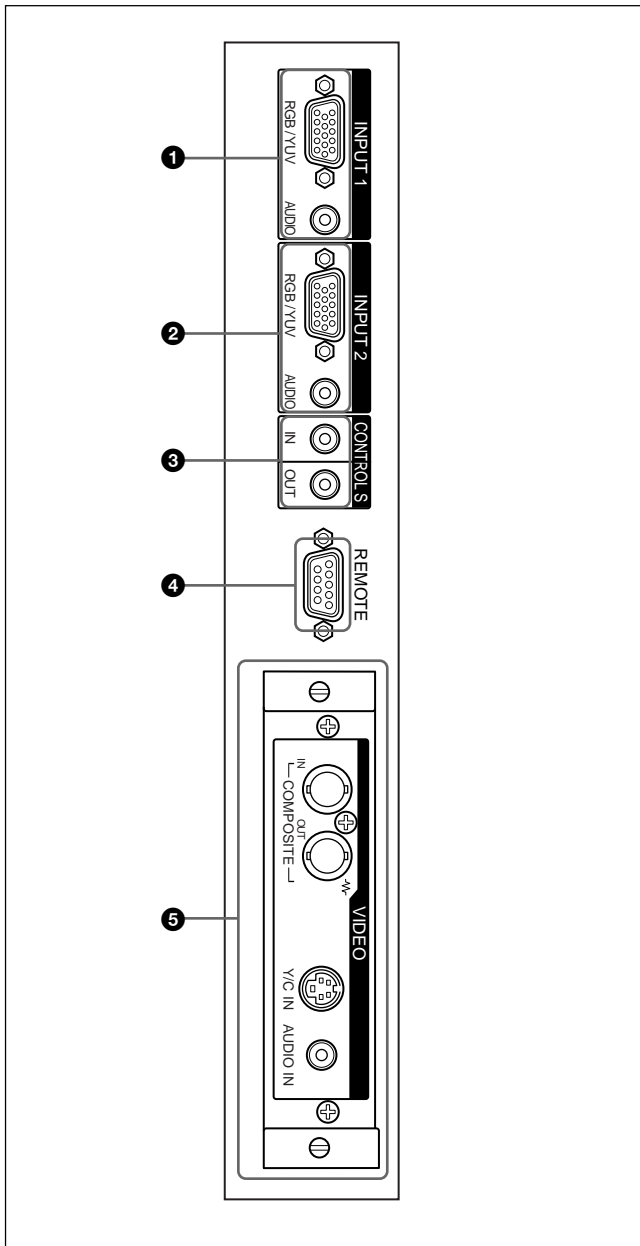
3 Tasto ENTER

Premere per selezionare la voce desiderata nel menu visualizzato.

4 Tasto VOLUME +/-

Premere per regolare il volume dell'audio trasmesso dai diffusori.

Pannello dei connettori



1 Connettori INPUT1

RGB/YUV (D-sub a 15 piedini): questo connettore collega all'uscita del segnale RGB o del segnale componente (YUV) di un computer o di un apparecchio video.

Questo display accetta inoltre un segnale componente analogico HD (Y/PB/PR). Per l'immissione di un segnale componente, vedere "Assegnazione dei piedini" a pagina 53 (IT).

AUDIO (minipresa stereo): questo connettore immette un segnale audio e collega all'uscita audio di un computer o di un apparecchio video.

2 Connettori INPUT2

RGB/YUV (D-sub a 15 a piedini): questo connettore collega all'uscita del segnale RGB o del segnale componente (YUV) di un computer o di un apparecchio video.

Questo display accetta inoltre un segnale componente analogico HD (Y/PB/PR). Per l'immissione di un segnale componente, vedere "Assegnazione dei piedini" a pagina 53 (IT).

AUDIO (minipresa stereo): questo connettore immette un segnale audio e collega all'uscita audio di un computer o di un apparecchio video.

3 Connettore (minipresa) CONTROL S IN/OUT (Controllo ingresso/uscita segnale S)

Mediante il collegamento al connettore CONTROL S di un dispositivo video o di un altro display, è possibile controllare più dispositivi con un solo telecomando. Collegare il connettore CONTROL S OUT del presente display al connettore CONTROL S IN dell'altro dispositivo, quindi collegare il connettore CONTROL S IN del presente display al connettore CONTROL S OUT IN dell'altro dispositivo.

4 Connettore REMOTE (RS-232C) (D-sub a 9 piedini)

Questo connettore consente il controllo a distanza del display mediante il protocollo RS-232C. Per ulteriori informazioni, contattare un rivenditore Sony autorizzato.

5 Connettori VIDEO

I modelli PFM-50C1E non dispongono dei connettori VIDEO. Per PFM-50C1E, è possibile inviare al display i segnali di ingresso Y/C e video composito solo se sullo stesso sono installati l'adattatore di ingresso video BKM-B10 (non in dotazione).

COMPOSITE IN (tipo BNC): collega all'uscita del segnale video composito di un apparecchio video.

COMPOSITE OUT (tipo BNC): collega all'ingresso del segnale video composito di un apparecchio video.

Y/C IN (mini DIN a 4 piedini): collega all'uscita del segnale Y/C di un apparecchio video.

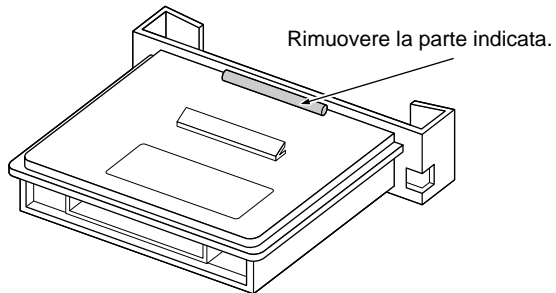
AUDIO IN (minipresa stereo): immette un segnale audio e collega all'uscita audio di un apparecchio video.

Utilizzare i nuclei di ferrite elencati di seguito, o modelli compatibili, da applicare ai cavi di collegamento ai connettori dei segnali RGB/YUV INPUT1 o INPUT2.

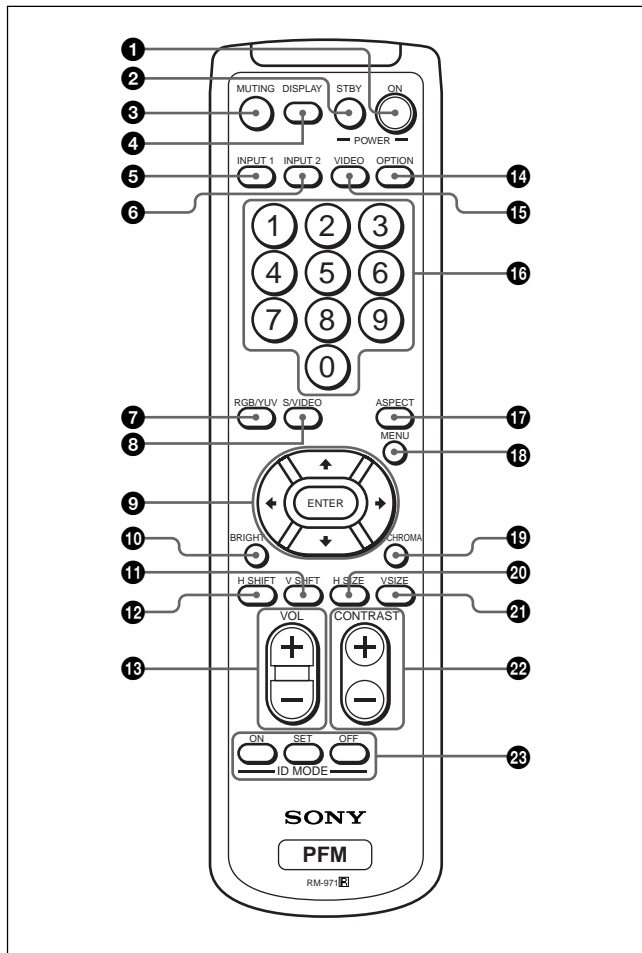
SMF-400 (DSub-DSub 15P)

MTSB-15HKBB-18 (DSub 15P-BNC)

Se si sta utilizzando il modello PFM-50C1E utilizzando l'adattatore BKM-B10 (non in dotazione) e se sullo schermo sono presenti delle strisce laterali, rimuovere la parte indicata nell'illustrazione.



Telecomando RM-971



❶ Interruttore POWER ON

Premere per attivare il display.

❷ Tasto STANDBY

Premere per impostare il display sul modo di attesa.

❸ Tasto MUTING

Consente di disattivare l'audio.

❹ Tasto DISPLAY

Visualizza le informazioni relative ai segnali di ingresso e il modo immagine nel pannello del display. Premere di nuovo per disattivare la visualizzazione. Se dopo che questa informazione viene visualizzata non viene effettuata alcuna operazione entro alcuni secondi, l'informazione stessa scomparirà automaticamente.

❺ Tasto INPUT1

Premere per selezionare il segnale immesso dai connettori INPUT1.

❻ Tasto INPUT2

Premere per selezionare il segnale immesso dai connettori INPUT2.

❼ Tasto RGB/YUV

Premere per selezionare il formato corrispondente a quello del segnale di ingresso collegato al connettore INPUT1 o INPUT2. Ad ogni pressione del tasto, il formato passa da RGB a YUV e viceversa.

❽ Tasto S/VIDEO

Seleziona il segnale immesso tramite il connettore COMPOSITE IN o Y/C IN presente tra i connettori VIDEO. Ad ogni pressione del tasto, il segnale passa da COMPOSITE IN a Y/C IN e viceversa.

❾ Tasti ↑/↓/←/→/ENTER

I tasti ↑/↓/←/→ consentono di spostare il cursore del menu (giallo) e di impostare i valori. Premendo il tasto ENTER, si accede al menu selezionato o alle voci di impostazione.

❿ Tasto BRIGHT

Regola la luminosità con il modo immagine impostato su "Utente 1-3".

Premere questo tasto, quindi regolare la luminosità utilizzando il tasto ❾ ↑/↓ o ←/→.

⓫ Tasto V SHIFT

Per regolare la centratura verticale. Premere questo tasto, quindi regolare la centratura verticale tramite il tasto ❾ ↑/↓.

⓬ Tasto H SHIFT

Per regolare la centratura orizzontale. Premere questo tasto, quindi regolare la centratura orizzontale tramite il tasto ❾ ↑/↓ o il tasto ←/→.

⓭ Tasto VOLUME +/-

Consente di regolare il volume.

⓮ Tasto OPTION

Seleziona il segnale immesso tramite l'adattatore opzionale (ad eccezione di BKM-B10), se installato sull'apparecchio.

⓯ Tasto VIDEO

Seleziona il segnale immesso tramite il connettore COMPOSITE IN o Y/C IN presente tra i connettori VIDEO.

16 Tasti numerici

Premere per immettere il numero indice.

17 Tasto ASPECT

Seleziona il rapporto di formato dell'immagine (Modo ampio).

18 Tasto MENU

Premere per visualizzare il menu. Durante la visualizzazione del menu sul pannello del display, premere per tornare al menu precedente. Alla successiva pressione del tasto il menu scompare.
Se si utilizza il tasto MENU per tornare al livello di menu precedente, vedere "Menu Impostazione iniziale" a pagina 23 (IT).

19 Tasto CHROMA

Regola la saturazione del colore se il modo immagine è impostato su "Utente 1-3". Premere questo tasto, quindi regolare la centratura orizzontale con i tasto 9 SELECT ↑/↓ o ←/→.

20 Tasto H SIZE

Per regolare le dimensioni orizzontali delle immagini. Premere questo tasto, quindi regolare le dimensioni orizzontali delle immagini tramite il tasto 9 ↑/↓.

21 Tasto V SIZE

Per regolare le dimensioni verticali delle immagini. Premere questo tasto, quindi regolare le dimensioni verticali delle immagini tramite il tasto 9 ↑/↓.

22 Tasto CONTRAST +/-

Per regolare il contrasto. Regola il contrasto se il modo immagine è impostato su "Utente 1-3".

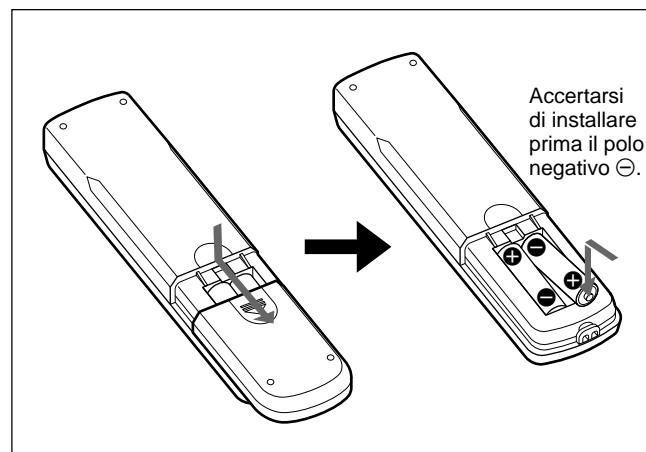
23 Tasti ID MODE (ON/SET/OFF)

Premere il tasto ON per visualizzare sullo schermo un numero indice. Quindi immettere tramite i tasti numerici 16 il numero indice del display che si desidera utilizzare e premere il tasto SET. Una volta terminata l'operazione, premere il tasto OFF per passare dal modo ID al modo normale.

Per informazioni sul numero indice, vedere "Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando" a pagina 49 (IT).

Installazione delle pile

Inserire due pile R6 (formato AA) rispettando la corretta polarità.



- Con un funzionamento normale, le pile durano circa sei mesi. Se il telecomando non funziona correttamente è possibile che le pile si siano scaricate in anticipo. In tal caso, sostituirle con altre nuove.
- Se si prevede di non utilizzare il telecomando per un lungo periodo, rimuovere le pile onde evitare danni dovuti a possibili perdite di elettrolita.

Se il telecomando non funziona

Controllare che l'indicatore STANDBY si illumini e che Modo telecom. nel menu Telecomando non sia impostato su NO. Il telecomando funziona solo se vengono rispettate le due condizioni che seguono.

- Il display è acceso o si trova nel modo di attesa.
- Modo telecom. nel menu Telecomando è impostato su TV o PJ.

Per informazioni su Modo telecom., vedere "Menu Telecomando" a pagina 24 (IT).

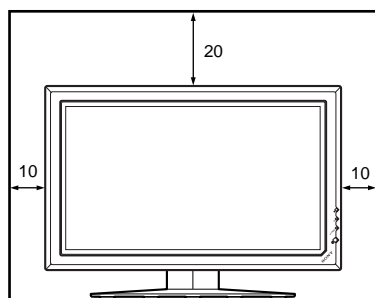
Avvertenza

Installare il display in un luogo spazioso

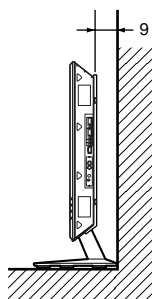
- Durante l'installazione del display, accertarsi che lo spazio che lo circonda sia maggiore rispetto a quanto indicato nell'immagine sotto riportata.
- La temperatura ambiente deve essere compresa tra 0 °C e +35 °C.
- Utilizzare il supporto SU-P50C per display (non in dotazione).
- Quando l'apparecchio è acceso, alcune parti potrebbero surriscaldarsi, causando eventuali ustioni. Quando il display è acceso, oppure appena è entrato nel modo di attesa, non toccare la parte superiore o quella posteriore dell'apparecchio.

Installazione con il supporto (non in dotazione)

Parte anteriore



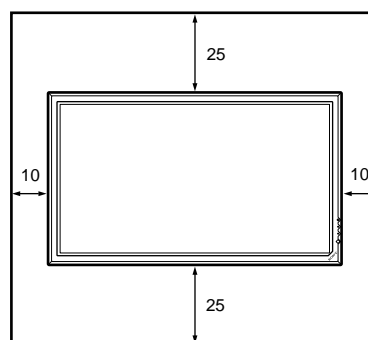
Parte laterale



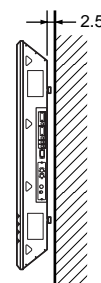
Unità: cm

Installazione orizzontale del display

Parte anteriore



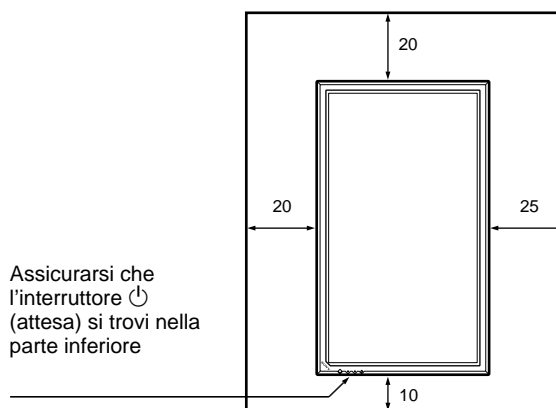
Parte laterale



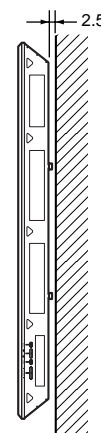
Unità: cm

Installazione verticale del display

Parte anteriore



Parte laterale



Unità: cm

Note relative al fenomeno dell'immagine residua

Se le immagini da **1** a **5**, riportate di seguito, vengono visualizzate per un lungo periodo, è possibile che su parti dello schermo rimanga un'immagine residua dovuta alle caratteristiche del display al plasma. È possibile ridurre tale fenomeno seguendo i punti da **A** a **D** riportati di seguito.

Situazioni in cui appare spesso un'immagine residua

- 1** Bande nere nelle parti superiore e inferiore che appaiono con sorgenti video ampie (immagini in formato Letter box)
- 2** Bande nere nelle parti sinistra e destra che appaiono con sorgenti video con formato 4:3 (trasmissioni televisive normali)
- 3** Videogiochi
- 4** Menu a schermo di DVD
- 5** Menu a schermo, numeri di canale e simili di apparecchi collegati quali DSS, televisori via cavo, dispositivi video e così via.

Precauzioni per evitare/ridurre il fenomeno dell'immagine residua

- A** Utilizzare la funzione di salvaschermo in movimento automatico.
- B** Evitare di visualizzare numeri di canale, menu a schermo e simili di apparecchi collegati quali DSS, televisori via cavo, dispositivi video e così via. Per eliminare i numeri di canale e i menu a schermo, consultare il manuale dell'apparecchio collegato.
- C** Ridurre la luminosità dell'immagine e/o della sorgente video del display nei modi zoom ampio o modo pieno.
- D** È possibile ridurre il fenomeno di deboli immagini residue mediante la funzione "INVER. IMMAG." in "SALVA SCHERMO", ma solo parzialmente se il fenomeno si è già verificato.

Note su "INVER. IMMAG." in "SALVA SCHERMO"

Se l'immagine visualizzata appare come il negativo di una pellicola, è possibile che "INVER. IMMAG." in "SALVA SCHERMO" sia impostato su "AUTO" o su "SI". Per tornare all'immagine normale, selezionare "NO" o azzerare il tempo specificato in "AUTO". La funzione di inversione dell'immagine inverte il colore dell'immagine (ad esempio, da bianco a nero, da nero a bianco) e corregge il fenomeno dell'immagine residua durante la visualizzazione delle immagini.

L'immagine appare come il negativo di una pellicola quando la funzione di inversione dell'immagine è attiva; ciò non costituisce un problema di funzionamento.

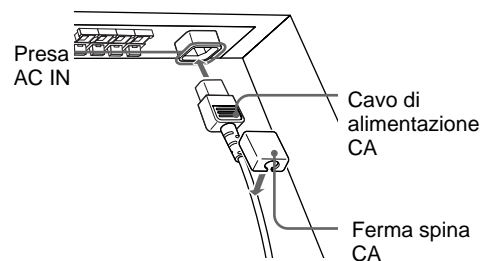
Collegamenti

Collegamento dei diffusori

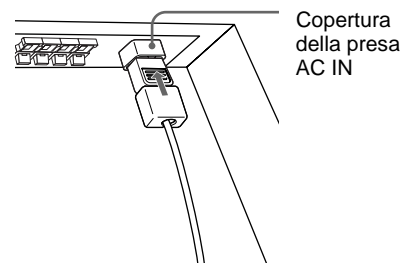
È possibile ottenere una visione delle immagini più realistica collegando i diffusori (SS-SP10A, non in dotazione). È necessario accertarsi di effettuare correttamente il collegamento dei diffusori. Per ulteriori dettagli sul collegamento dei diffusori consultare le istruzioni per l'uso in dotazione con i diffusori.

Collegamento del cavo di alimentazione CA

- 1** Inserire il cavo di alimentazione CA nella presa AC IN. Quindi fissare il ferma spina CA (in dotazione) al cavo di alimentazione CA.



- 2** Fare scorrere il ferma spina CA sul cavo finché non raggiunge la copertura della presa AC IN.



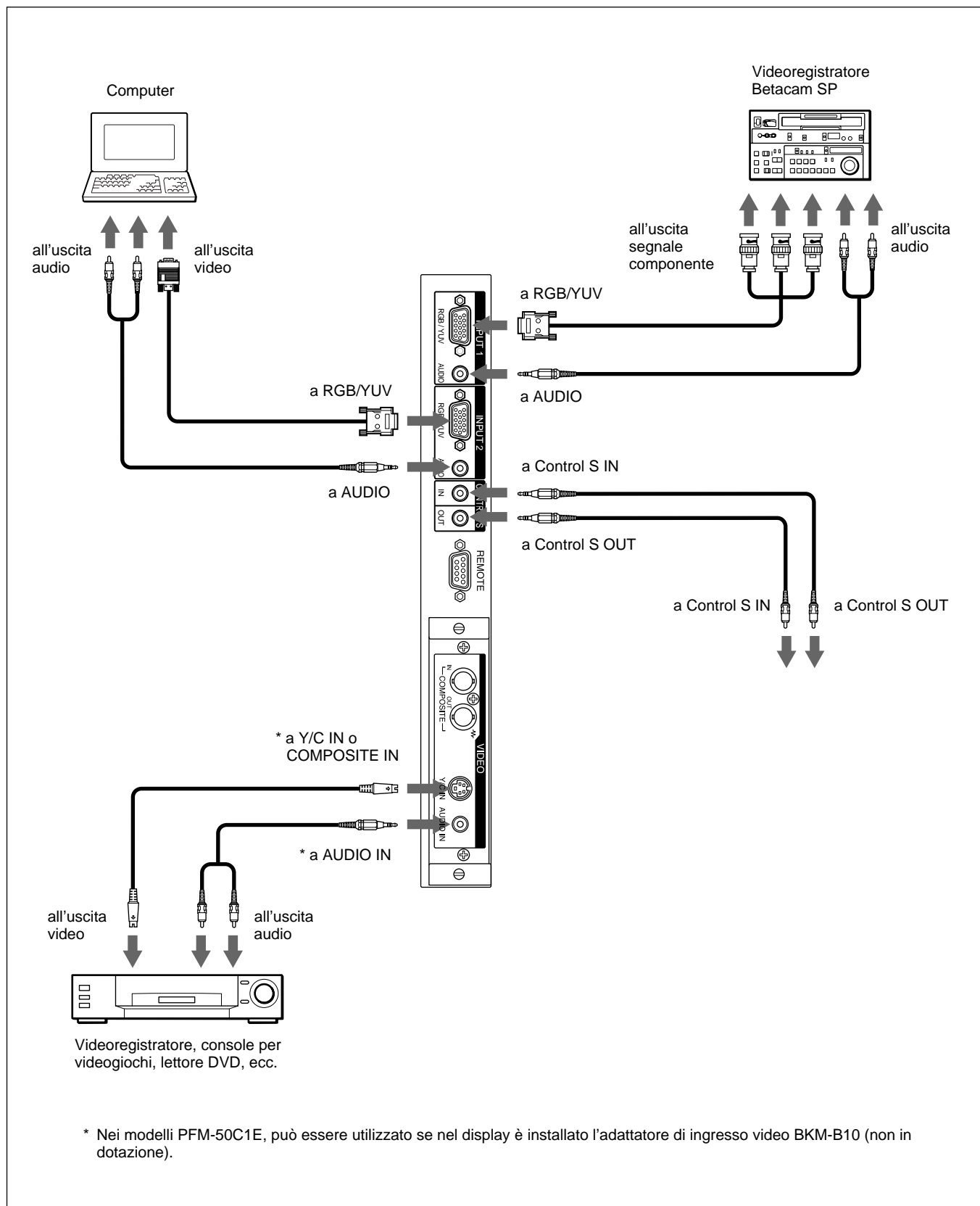
Per rimuovere il cavo di alimentazione CA

Dopo avere premuto ai lati e sbloccato il fermaspina CA, afferrare la spina ed estrarre il cavo di alimentazione CA.

Esempio di collegamento

Operazioni preliminari

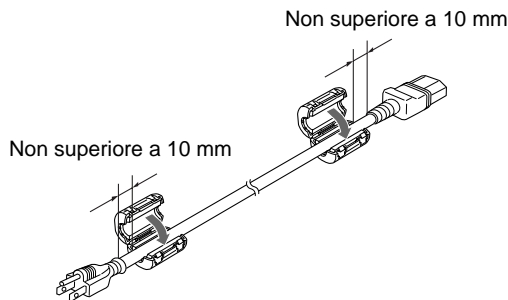
- Assicurarsi che l'alimentazione di ogni apparecchio sia disattivata.
- Utilizzare cavi di collegamento adatti agli apparecchi da collegare.
- I connettori dei cavi devono essere inseriti saldamente nelle prese, diversamente si potrebbero verificare disturbi.
- Per scollegare il cavo, tirarlo dalla spina e mai dal cavo stesso.
- Fare riferimento al manuale delle istruzioni dell'apparecchio da collegare.
- Inserire saldamente la spina nella presa AC IN.
- Per mantenere saldamente in posizione la spina CA, utilizzare uno dei due appositi fermi (in dotazione).



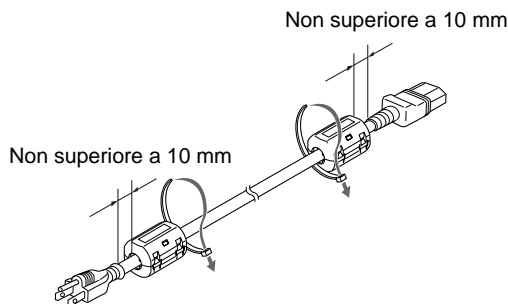
Applicazione del nucleo in ferrite

Applicazione al cavo di alimentazione CA

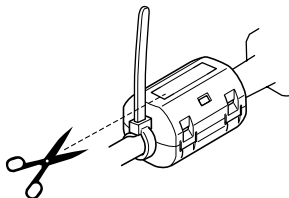
- 1 Applicare i nuclei di ferrite a entrambe le estremità del cavo di alimentazione CA, quindi chiudere i nuclei di ferrite finché non scattano in posizione.



- 2 Collocare il fermo attorno al cavo in modo da bloccare i nuclei di ferrite.

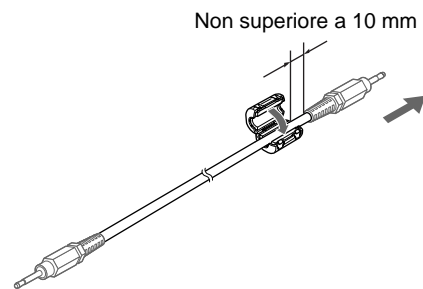


- 3 Stringere il fermo, quindi tagliare la parte in eccedenza.

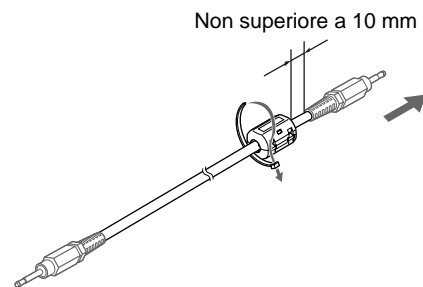


Applicazione ai cavi

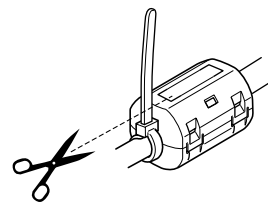
- 1 Applicare il nucleo di ferrite all'estremità del cavo più vicina all'apparecchio, quindi chiuderlo finché non scatta in posizione.



- 2 Collocare il fermo attorno al cavo in modo da bloccare il nucleo di ferrite.



- 3 Stringere il fermo, quindi tagliare la parte in eccedenza.

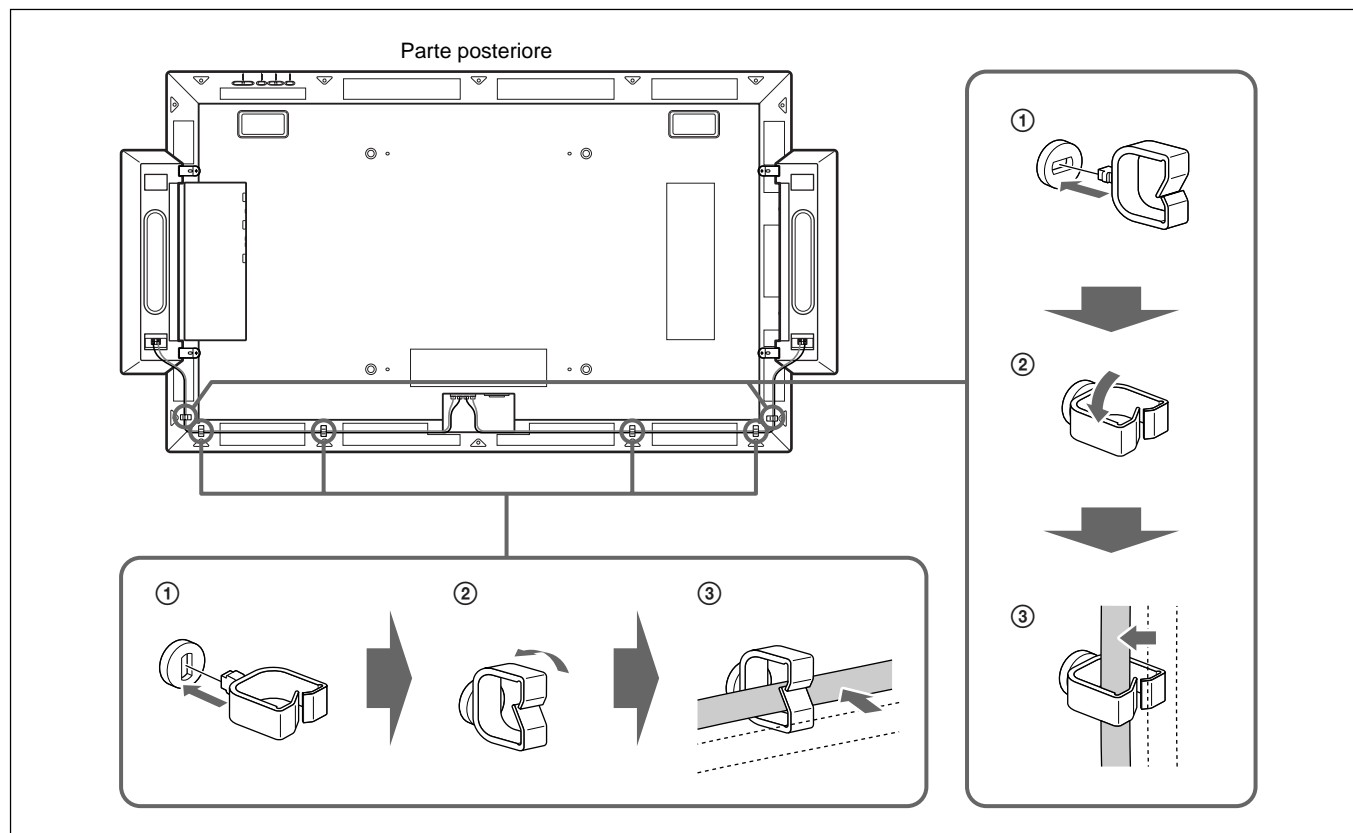


Note

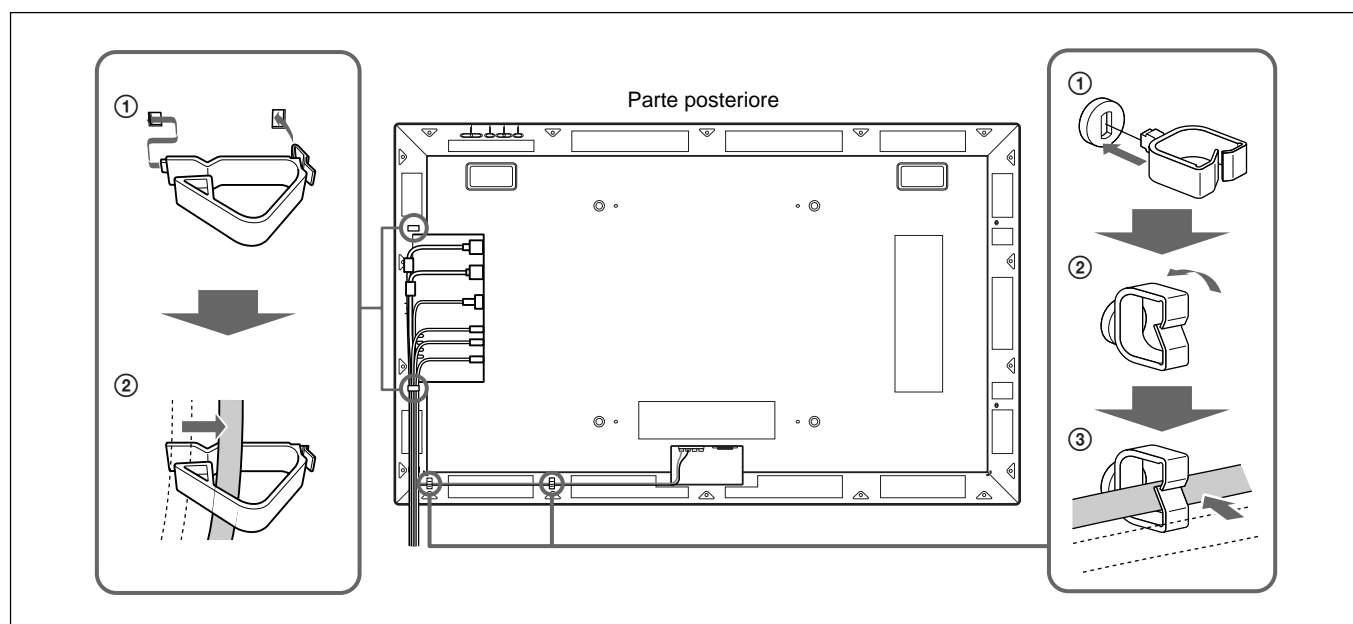
- Per il collegamento del presente apparecchio ad altri dispositivi utilizzando i connettori RGB/YUV, utilizzare il cavo specificato.
SMF-400 (D-Sub 15P - 5 BNC)
SMF-410 (D-Sub 15P - D-Sub 15P)
Se ad uno dei terminali elencati di seguito viene collegato un cavo, prima di utilizzarlo applicare il nucleo di ferrite fornito.
AUDIO (INPUT1)
AUDIO (INPUT2)
- Si noti che il presente apparecchio è conforme ai limiti EMC solo se nel cavo di collegamento è installato il nucleo di ferrite.

Uso dei fermacavi

Grazie ai fermacavi B (×6) in dotazione, è possibile avvolgere con praticità i cavi dei diffusori. Applicare i fermacavi come raffigurato di seguito.



Se non vengono impiegati i diffusori, è possibile utilizzare i fermacavi A (×2) e B (×2) forniti per fissare i cavi inutilizzati. I fermacavi devono venire applicati come mostrato nell'illustrazione.

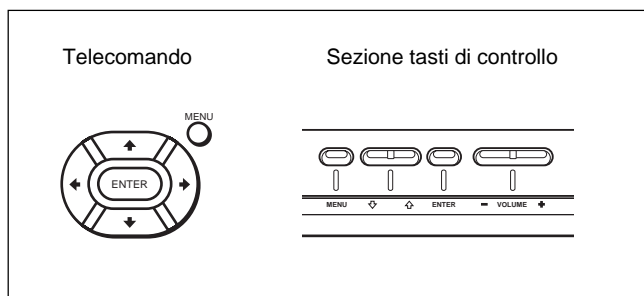


Utilizzo dei menu a schermo

Funzionamento tramite i menu

Tasti di funzionamento dei menu

Per il funzionamento dei menu, utilizzare i tasti sul display e sul telecomando.



Nel presente manuale sono riportate le istruzioni per l'uso relative all'utilizzo dell'apparecchio mediante il telecomando. I tasti \uparrow/\downarrow e ENTER del telecomando, hanno la stessa funzione dei tasti \uparrow/\downarrow e ENTER del display.

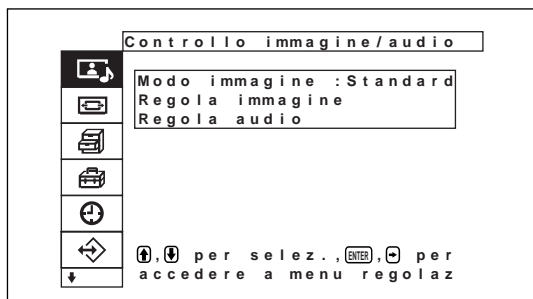
Nota

In alcuni casi il funzionamento potrebbe variare poiché il display non è dotato del tasto \leftarrow/\rightarrow .

Configurazione del menu

Per selezionare la lingua utilizzata nel menu, vedere a pagina 41 (IT).

- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display appare il menu principale.



- 2 Premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo), quindi premere ENTER per selezionare il menu. Il cursore passa al menu successivo.

- 3 Premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo), quindi premere ENTER per selezionare una voce. Sul pannello del display appare il menu della voce selezionata.

Le impostazioni vengono selezionate allo stesso modo, una volta visualizzato il menu successivo.

- 4 Premere \uparrow/\downarrow per effettuare la regolazione o selezionare l'impostazione, quindi premere ENTER.

L'impostazione viene registrata e viene visualizzato il menu precedente.

Per tornare alla schermata normale, premere il tasto MENU.

Per spostarsi fra i vari livelli del menu, utilizzare i tasti \leftarrow/\rightarrow .

Se si desidera utilizzare il tasto MENU per spostarsi fra i vari livelli del menu, vedere "Funzione MENU" a pagina 23 (IT).

Guida dei menu

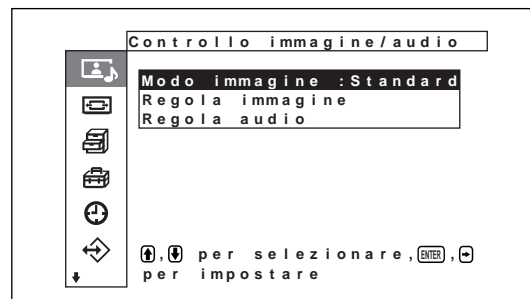
Nota

Non è possibile impostare né regolare mediante un segnale di ingresso le voci visualizzate con uno sfondo di colore grigio.

Nella parte inferiore della schermata, viene inoltre visualizzato il messaggio "Regolazione non disponibile".

Menu Controllo immagine/ audio

Regola la qualità dell'immagine e del suono delle immagini visualizzate sul display.



Mode immagine

Imposta il modo di qualità dell'immagine per adattarlo alla luminosità o al motivo circostanti.

Per ulteriori informazioni, vedere "Selezione della qualità dell'immagine" a pagina 30 (IT).

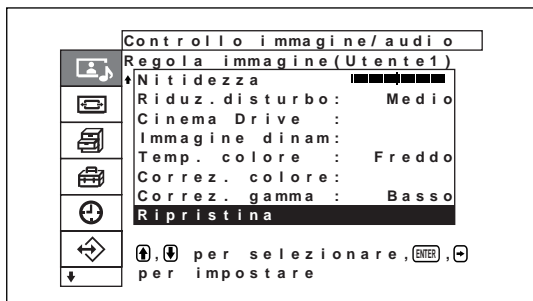
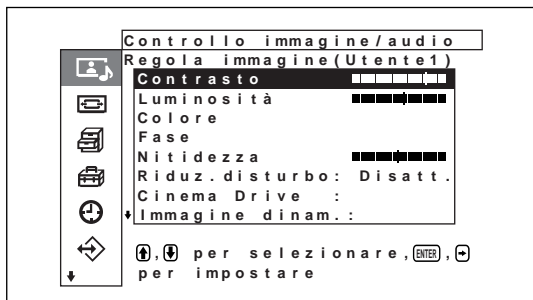
Menu Regola immagine

Questo menu viene utilizzato per la regolazione dell'immagine.

È possibile regolare la qualità dell'immagine come si desidera utilizzando i menu Utente da 1 a 3.

Nota

Non è possibile regolare la qualità dell'immagine nei modi Standard o Vivido.



Contrasto

Premere **↑/→** per aumentare il contrasto e **↓/←** per diminuirlo.

Luminosità

Premere **↑/→** per rendere più luminosa l'immagine e **↓/←** per renderla più scura.

Colore

Premere **↑/→** per aumentare la saturazione del colore e **↓/←** per diminuirla.

Fase

Premere **↑/→** per rendere l'intera immagine di colore verdastro e **↓/←** per renderla di colore rossastro.

Nitidezza

Premere **↑/→** per aumentare il livello di correzione del contorno dell'immagine; premere **↓/←** per diminuirlo.

Riduz. disturbo

Imposta il livello di riduzione del disturbo della granulosità e del colore per ciascuna immagine in base a uno dei quattro livelli inclusi tra "Disatt", "Basso", "Medio" e "Alto."

Per ulteriori informazioni, vedere "Riduz. disturbo (Noise Reduction, riduzione del disturbo)" a pagina 31 (IT).

Cinema Drive

Se impostato su automatico, le immagini vengono riprodotte con il movimento morbido tipico delle immagini di film.

Per ulteriori informazioni, vedere "Cinema Drive" a pagina 32 (IT).

Immagine dinam.

Aumenta il contrasto rendendo più luminoso il bianco e più scuro il nero.

Per ulteriori informazioni, vedere "Immagine dinam." a pagina 32 (IT).

Temp. colore

Per modificare la temperatura di colore.

Per ulteriori informazioni, vedere "Temp. colore (temperatura di colore)" a pagina 32 (IT).

Correz. colore

Se impostata su Attivato, riproduce colori brillanti e nitidi.

Per ulteriori informazioni, vedere "Correz. colore" a pagina 33 (IT).

Correz. gamma

Imposta il bilanciamento delle aree chiare e scure delle immagini su uno dei tre livelli inclusi tra "Alto", "Medio" e "Basso".

Per ulteriori informazioni, vedere "Correz. gamma" a pagina 33 (IT).

Ripristina

Per ripristinare le impostazioni di fabbrica delle voci del menu Regola immagine.

Per ulteriori informazioni sulla funzione di ripristino, vedere "Ripristino delle voci del menu Regola immagine alle impostazioni originali" a pagina 34 (IT).

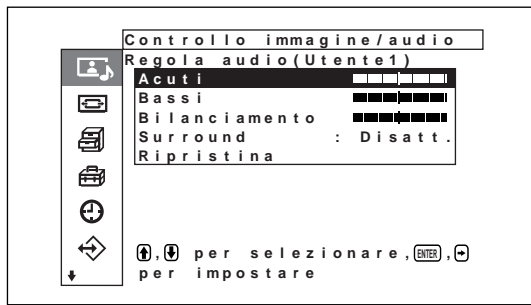
Menu Regola audio

Regola la qualità audio mediante l'elaborazione del segnale.

Quando il modo qualità immagine è impostato su Utente da 1 a 3, è possibile regolare la qualità dell'audio come desiderato.

Nota

Non è possibile regolare la qualità audio se Picture Mode è impostato su “Standard” o “Vivido”.



Acuti

Premere ↑/→ per aumentare gli acuti e ↓/← per diminuirli.

Bassi

Premere ↑/→ per aumentare i bassi e ↓/← per diminuirli.

Bilanciamento

Premendo ↑/→ il volume emesso dal lato destro viene aumentato, premendo ↓/← viene aumentato quello emesso dal lato sinistro.

Surround

La funzione surround può essere impostata su uno dei quattro livelli compresi tra “Disatt.,” “Hall,” “Simulaz.”.

Per ulteriori informazioni, vedere “Surround” a pagina 39 (IT).

Ripristina

Riporta i valori delle voci del menu Regolazione audio sulle impostazioni predefinite.

Per ulteriori informazioni sull'uso della funzione di ripristino, vedere “Ripristino delle voci del menu Regola audio sulle impostazioni iniziali” a pagina 39 (IT).

Menu Comando schermo

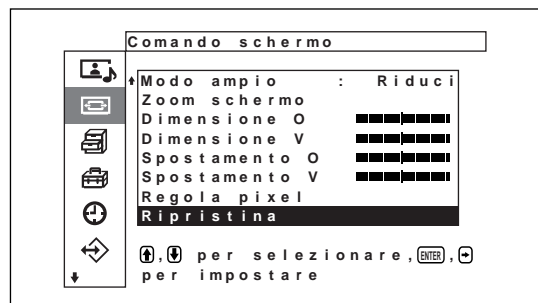
Questo menu viene utilizzato per impostare le dimensioni e la posizione dell'immagine.

La schermata e il modo d'uso del menu per il Comando schermo dell'immagine variano in base all'impostazione del tasto Menu.

Se il tasto Menu è impostato su “Att/Dis” (impostazione predefinita)



Se il tasto Menu è impostato su “Return”



Impostazione:9

Imposta la funzione modo a 16:9. La funzione Auto Wide (modo ampio automatico) consente di scegliere fra trasmissioni televisive ordinarie, Wide Clear Vision o immagini a schermo ampio, ciascuna delle quali possiede differenti proporzioni per la visualizzazione orizzontale e verticale; tale funzione consente inoltre di ingrandire automaticamente l'immagine a schermo ampio con rapporto di formato 16:9, rendendo possibile la visualizzazione appropriata per i vari tipi di immagine.

Per ulteriori informazioni, vedere “Impostazione di Auto Wide” a pagina 35 (IT).

Modo ampio

Seleziona la visualizzazione a schermo ampio in modo che corrisponda al tipo e alla dimensione dell'immagine.

Per ulteriori informazioni, vedere “Impostazione del Modo ampio” a pagina 36 (IT).

Zoom schermo

Ingrandisce l'immagine rispettivamente del doppio (×2), triplo (×3) e quadruplo (×4).

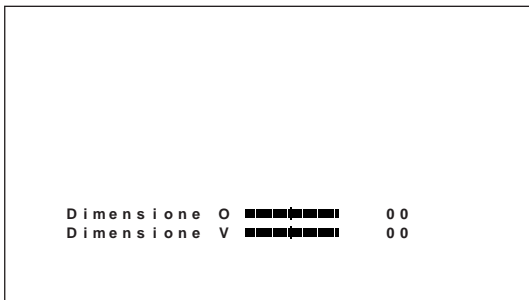
Nota

È possibile utilizzare le impostazioni di ingrandimento se il modo ampio è impostato su "Riprist".

Menu Dimensione schermo

Questo menu viene utilizzato per regolare le dimensioni dell'immagine.

Questo menu viene visualizzato solo se il tasto Menu è impostato su "Att/Dis".



Dimensione O

Consente di regolare la dimensione orizzontale. Premere → per aumentare la dimensione orizzontale e premere ← per diminuirla.

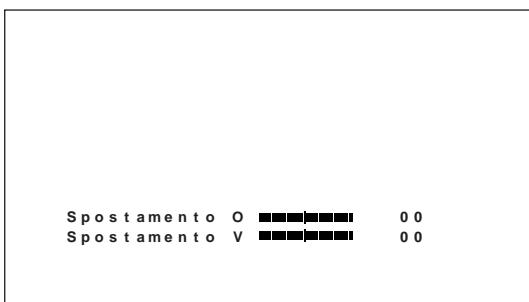
Dimensione V

Consente di regolare la dimensione verticale. Premere ↑ per aumentare la dimensione verticale e premere ↓ per diminuirla.

Menu Spostamento schermo

Questo menu viene utilizzato per regolare la centratura dell'immagine.

Questo menu viene visualizzato solo se il tasto Menu è impostato su "Att/Dis".



Spostamento O

Consente di regolare la centratura orizzontale. Premere → per spostare l'immagine verso destra e premere ← per spostarla verso sinistra.

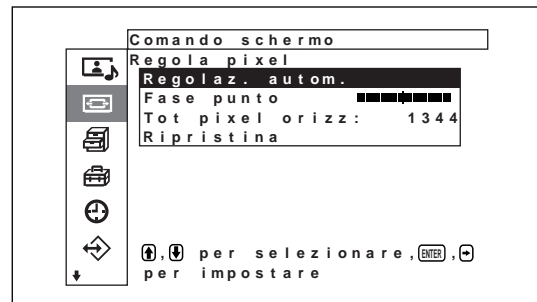
Spostamento V

Consente di regolare la centratura verticale. Premere ↑ per spostare l'immagine verso l'alto e premere ↓ per spostarla verso il basso.

Menu Regola pixel

Consente di regolare i pixel dell'immagine.

È possibile effettuare la regolazione solo durante il ricevimento del segnale del computer.



Regolaz. autom.

Effettua la regolazione automatica della fase punto e del totale di pixel orizzontali.

Per ulteriori informazioni, vedere "Regolazione dei pixel" a pagina 38 (IT).

Fase punto

Consente di regolare la fase punto. Premere ↑/→ per aumentare la fase punto e premere ↓/← per diminuirla.

Tot pixel orizz

Consente di regolare il totale di pixel orizzontali.

Premere ↑/→ per aumentare il totale di pixel e premere ↓/← per diminuirlo.

Ripristina

Ripristina le voci del menu Regola pixel sui valori di fabbrica.

Per ulteriori informazioni sull'uso della funzione di ripristino, vedere "Ripristino delle voci del menu Regola pixel alle impostazioni originali" a pagina 38 (IT).

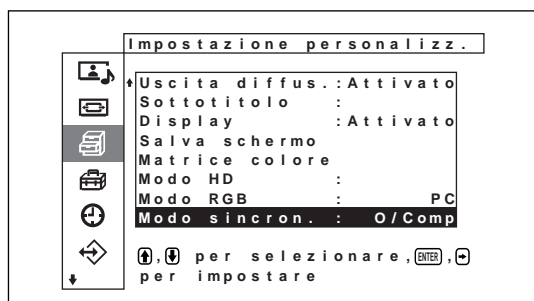
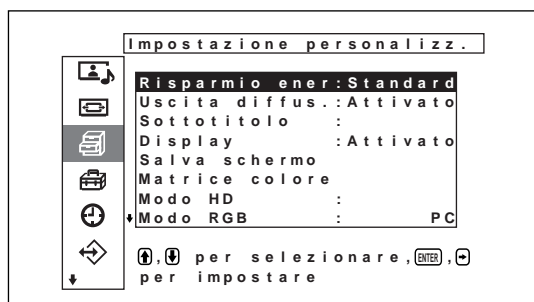
Ripristina

Ripristina le impostazioni di fabbrica per le voci del menu Comando schermo.

Per ulteriori dettagli sull'utilizzo della funzione di ripristino, vedere "Ripristino delle voci del menu Comando schermo alle impostazioni originali" a pagina 38 (IT).

Menu Impostazione personalizz.

Consente di ridurre il consumo energetico o di impostare uno screen saver e così via.



Risparmio ener.

Utilizzato per visualizzare lo schermo nel modo di risparmio energetico.

Per ulteriori informazioni, vedere “Funzione di risparmio energetico” a pagina 29 (IT).

Uscita diffus.

Se attivata, questa funzione consente al suono di essere emesso dai diffusori (SS-SP10A, non in dotazione).

Sottotitolo

Consente di visualizzare i sottotitoli.

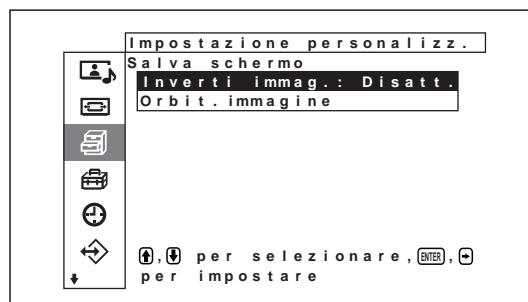
Per ulteriori informazioni, vedere “Visualizzazione dei sottotitoli” a pagina 29 (IT).

Display

Selezionando Attivato è possibile visualizzare per circa cinque secondi le informazioni relative al segnale di ingresso nella parte inferiore del pannello del display quando l'alimentazione è attivata o durante la commutazione del segnale di ingresso.

Menu Salva schermo

Riduce o previene il fenomeno delle immagini residue conseguente alla visualizzazione della stessa immagine sullo schermo per un periodo prolungato.



Inverti immag.

Imposta il salva schermo per l'inversione della tonalità dell'immagine.

Per ulteriori informazioni, vedere “Funzione salva schermo” a pagina 42 (IT).

Orbit. immagine

Imposta il salva schermo in modo che la posizione dell'immagine visualizzata sul display venga automaticamente spostata allo scadere di un intervallo di tempo impostato.

Per ulteriori informazioni, vedere “Funzione salva schermo” a pagina 42 (IT).

Matrice colore

Imposta la matrice di colore in modo che le immagini vengano visualizzate in toni di colore naturali durante l'immissione di un segnale componente derivante da un dispositivo esterno collegato.

Per ulteriori informazioni, vedere “Regolazione della matrice di colore” a pagina 45 (IT).

Modo HD

Imposta il modo in base alla trasmissione dei segnali componenti analogici HD a INPUT1 e INPUT2 del connettore D dell'adattatore opzionale.

1080i: se collegato a un sintonizzatore digitale BS

1035i: se collegato a una piastra video Hi-Vision (banda base) o a un altro dispositivo Hi-Vision convenzionale.

Note

- In questa modalità non è possibile attivare l'impostazione di schede opzionali.
- Il connettore BKM-B11 D-4 è impostato su [1080i].

Modo RGB

Imposta il modo se ai terminali RGB/YUV di INPUT1 e INPUT2 è collegato un dispositivo che emette segnali RGB.

DTV: se collegato a un sintonizzatore digitale del segnale RGB e così via

PC: se collegato a un PC, e così via

Nota

In questa modalità, non è possibile attivare l'impostazione di schede opzionali.

Modo sincron.

Imposta il modo in base al segnale immesso in corrispondenza del piedino 13 dei terminali RGB/YUV di INPUT1 e INPUT2. È possibile impostare i segnali unicamente su 575/50i o 480/60i.

O/Comp: se viene immesso un segnale orizzontale o un segnale di sincronizzazione composito*

Video: se viene immesso un segnale video o un segnale di sincronizzazione composito*

*A seconda del livello del segnale di sincronizzazione composito, è possibile che l'immagine non venga visualizzata correttamente. In questo caso, modificare l'impostazione del Modo sincron.

Segnale di ingresso e impostazioni del modo di sincronizzazione

PIN	Segnale immesso con D-sub	Impostazione del modo di sincronizzazione
13	Video composito 480/60i, 575/50i	Segnale video
	Sincronico composito	
	Sincronico composito	
13/14	Sincronico O/Sincronico V	Segnale di sincronizzazione
2	Sincronia su verde	

Fare riferimento a "Assegnazione dei piedini" (pagina 53 (IT)) per ulteriori informazioni sull'assegnazione dei piedini ai connettori RGB/Y di INPUT1 e INPUT2.

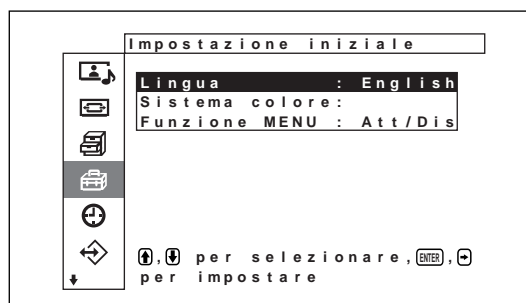
Note

- Se l'apparecchio è stato impostato per richiedere i segnali di sincronizzazione, è possibile che l'immagine non venga visualizzata, anche se viene immesso un segnale COMPOSITE SYNC. In questo caso, modificare l'impostazione del Modo sincron.
- Per le impostazioni del modo di sincronizzazione, è possibile impostare separatamente INPUT1 e INPUT2, ma se per l'apparecchio viene impostato un ingresso diverso da quelli indicati nelle impostazioni, è possibile che il segnale non venga emesso. In questo caso, impostare il modo di sincronizzazione affinché corrisponda al segnale di ingresso per ciascun connettore di ingresso, quindi commutare il segnale di ingresso.
- Esistono alcuni segnali di immagine per cui è possibile selezionare soltanto i segnali di sincronizzazione. In tal caso, anche se mediante il connettore a 13 piedini viene immesso un segnale video, l'immagine non viene visualizzata. Immettere i segnali di sincronizzazione orizzontale/verticale attraverso i connettori a 13 o 14 piedini oppure immettere i segnali di sincronismo su verde mediante il connettore RGB.

- Con il segnale di sincronismo su verde, se l'apparecchio non è stato impostato per accettare i segnali di sincronizzazione, l'immagine non viene visualizzata.
- Non è possibile attivare le impostazioni del Modo sincron utilizzando schede opzionali.
- Questo apparecchio non supporta i tre valori dei segnali sincronici compositi e 576/60P.

Menu Impostazione iniziale

Seleziona la lingua o la sorgente del segnale del display del menu, le funzioni dei tasti menu e così via.

**Lingua**

Seleziona la lingua delle indicazioni a schermo (giapponese, inglese, tedesco, francese, spagnolo o italiano).

Per ulteriori informazioni, vedere la sezione relativa alla selezione della lingua per le indicazioni a schermo a pagina 41 (IT).

Sistema colore

Seleziona il segnale di ingresso.

Auto: per visualizzare i segnali NTSC, PAL, SECAM/NTSC4.43 o NTSC/PAL-M/PAL-N

NTSC: per visualizzare i segnali NTSC

NTSC4.43: per visualizzare i segnali NTSC4.43

PAL: per visualizzare i segnali PAL

SECAM: per visualizzare i segnali SECAM

PAL-M: per visualizzare i segnali PAL-M

PAL-N: per visualizzare i segnali PAL-N

PAL60: per visualizzare i segnali PAL60

Se il sistema di colore è impostato su "Auto", nel livello successivo viene impostato un sistema di colore aggiuntivo in grado di effettuare la rilevazione automatica.

- Rilevazione automatica di NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43

- Rilevazione automatica di NTSC/PAL-M/PAL-N

Nota

Impostabile solo durante la ricezione di un segnale video.

Funzione MENU

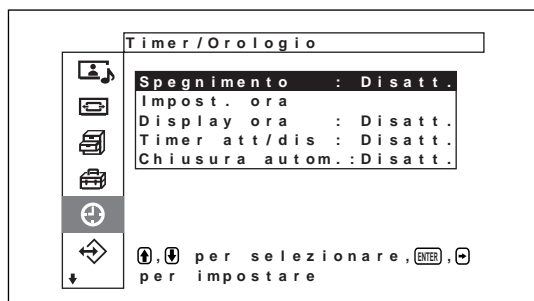
Seleziona l'operazione relativa alla pressione del tasto menu.

Att/Dis: il display del menu viene attivato e disattivato ad ogni pressione del tasto menu.

Indietro: il cursore torna al livello precedente ad ogni pressione del tasto menu.

Menu Timer/Orologio

Imposta l'ora o il timer e visualizza l'ora oppure imposta l'attivazione o la disattivazione automatica dell'alimentazione.



Spegnimento

Imposta la disattivazione automatica dell'alimentazione allo scadere di un intervallo impostato. L'ora di spegnimento è impostabile tra 30, 60, 90 o 120 minuti.

Per ulteriori informazioni, vedere "Funzione spegnimento" a pagina 46 (IT).

Impost. ora

Consente di impostare l'ora.

Per ulteriori informazioni, vedere "Regolazione dell'ora" a pagina 46 (IT).

Display ora

Se impostata, questa voce consente di visualizzare l'ora sullo schermo.

Per ulteriori informazioni, vedere "Visualizzazione dell'ora" a pagina 47 (IT).

Timer att/dis

Consente di impostare l'ora di attivazione e disattivazione dell'alimentazione.

Per ulteriori informazioni, vedere "Funzione Timer att/dis" a pagina 47 (IT).

Chiusura autom.

Disattiva l'alimentazione automaticamente se nessun segnale viene immesso al display per un periodo di tempo determinato.

Per ulteriori informazioni, vedere "Funzione di risparmio energetico" a pagina 48 (IT).

Menu Memoria utente

Questo menu viene utilizzato per memorizzare o richiamare le impostazioni e i menu Controllo immagine/audio e Comando schermo.



Per ulteriori informazioni, vedere "Utilizzo della funzione di memoria" a pagina 40 (IT).

Carica

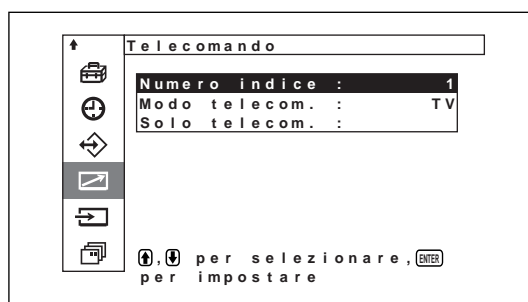
Per richiamare le impostazioni di fabbrica.

Salva

Per salvare le impostazioni.

Menu Telecomando

Questo menu viene utilizzato per le impostazioni del telecomando.



Numero indice

Per impostare il numero indice del display.

Nota

Per impostare i numeri, utilizzare i tasti sul display. Non è possibile impostare il numero di indice mediante il telecomando.

Per ulteriori informazioni sui numeri indice, vedere "Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando" a pagina 49 (IT).

Modo telecom.

Per selezionare il modo del telecomando.

TV: telecomando del display Sony o del televisore

PJ: telecomando di un proiettore Sony

Disatt.: per disattivare l'utilizzo del telecomando.

Nota

Per cambiare il modo del telecomando, utilizzare i tasti sul display. Non è possibile cambiare il modo del telecomando mediante il telecomando stesso.

Per ulteriori informazioni, vedere "Utilizzo di altri modelli di telecomando" a pagina 51 (IT).

Solo telecom.

Per disattivare i tasti di comando sul display, selezionare Attivato. In questo modo il display può essere controllato solo tramite il telecomando. Impostare "Solo telecom." su Dis mediante il telecomando per annullare il modo solo telecomando.

Nota

L'impostazione di questa voce viene mantenuta anche se il cavo di alimentazione CA viene scollegato o se si attiva/disattiva il display utilizzando il telecomando.

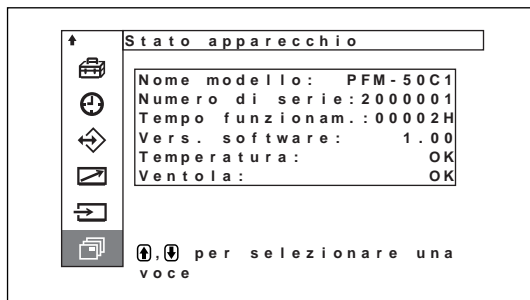
➔ Menu Selezione ingresso

Questo menu viene utilizzato per cambiare il segnale di ingresso.

Per ulteriori dettagli sul cambiamento del segnale di ingresso, vedere "Cambiamento del segnale di ingresso" a pagina 26 (IT).

📄 Menu Stato apparecchio

Questo menu viene utilizzato per visualizzare le informazioni relative alle condizioni interne del display.

**Nome Modello**

Indica il nome del modello.

Numero di Serie

Indica il numero di serie.

Tempo funzionam.

Indica il numero totale delle ore di funzionamento.

Nota

Il modo di attesa non viene preso in considerazione nel Tempo funzionam.

Vers. software

Indica la versione del software del sistema.

Temperatura

Indica se la temperatura interna del display è normale.

OK: normale

NG: anomala

Se la temperatura interna è anomala, l'indicazione NG viene visualizzata e la voce lampeggia in rosso; lampeggia inoltre l'indicatore STANDBY nella sezione interruttore / indicatore ⏻ (attesa).

Nota

È possibile che l'indicatore "NG" venga visualizzato e lampeggi in rosso se le prese di ventilazione sono ostruite o se il display viene utilizzato in un luogo scarsamente ventilato.

In tal caso, controllare che le prese di ventilazione non siano bloccate e installare il display in una posizione adeguatamente ventilata. Se il messaggio non scompare, contattare un rivenditore Sony autorizzato. Se l'indicatore STANDBY lampeggia o l'indicazione NG viene visualizzata, vedere "Funzione di autodiagnostica" a pagina 49 (IT).

Ventola

Le ventole di raffreddamento si trovano all'interno del display. Questa voce indica se le suddette ventole funzionano correttamente.

OK: normale

NG: anomala

Se le ventole di raffreddamento non funzionano correttamente, viene visualizzata l'indicazione NG e la voce lampeggia in rosso; lampeggia inoltre l'indicatore STANDBY sulla sezione interruttore / indicatore ⏻ (attesa).

Note

- Se l'indicatore "NG" viene visualizzato e lampeggia in rosso, è necessario contattare il rivenditore presso il quale l'apparecchio è stato acquistato o il centro di assistenza Sony più vicino.

Se l'indicatore STANDBY lampeggia o l'indicazione NG viene visualizzata, vedere "Funzione di autodiagnostica" a pagina 49 (IT).

- Le ventole di raffreddamento individuano la temperatura interna del display e controllano la rotazione delle ventole. Se la temperatura circostante è elevata, la velocità di rotazione delle ventole aumenta e il rumore emesso sarà maggiore.

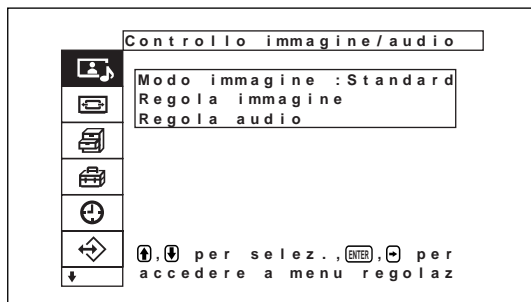
Riproduzione dell'immagine

Operazioni preliminari

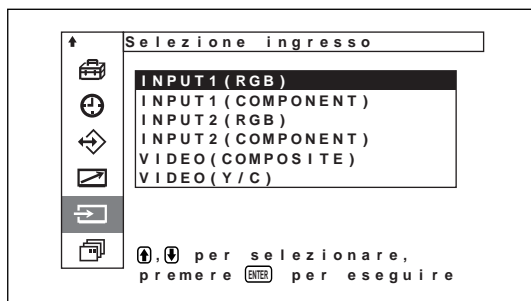
- Accendere il display.
- Accendere l'apparecchio collegato e riprodurre una sorgente video.
- Quando si attiva l'alimentazione o si cambia segnale di ingresso, se si desidera visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso impostare "Display" nel menu Impostazione personalizz. su Attivato.
- Per selezionare la lingua utilizzata nei menu, vedere a pagina 41 (IT).

Cambiamento del segnale di ingresso

- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Selezione ingresso", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display vengono visualizzati il menu Selezione ingresso.



- 3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) sulla sorgente di ingresso da visualizzare, quindi premere ENTER.

INPUT1 (RGB): per selezionare il segnale audio e video immesso tramite i connettori INPUT1 se il segnale di ingresso è un segnale RGB.

INPUT1 (COMPONENT): per selezionare il segnale audio e video immesso tramite i connettori INPUT1 se il segnale di ingresso è un segnale componente.

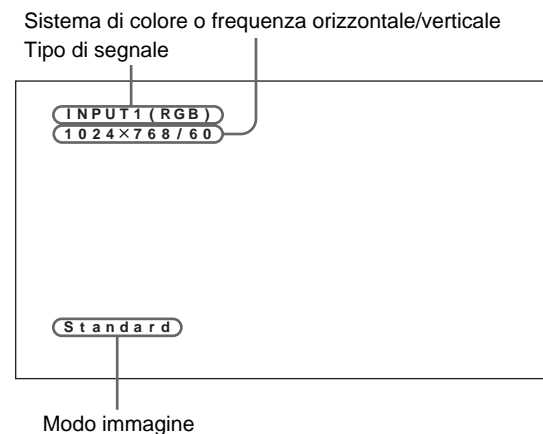
INPUT2 (RGB): per selezionare il segnale audio e video immesso tramite i connettori INPUT2 se il segnale di ingresso è un segnale RGB.

INPUT2 (COMPONENT): per selezionare il segnale audio e video immesso tramite i connettori INPUT2 se il segnale di ingresso è un segnale componente.

VIDEO (COMPOSITE): per selezionare il segnale audio e video immesso tramite il connettore COMPOSITE IN e la presa AUDIO IN tra i connettori VIDEO.

VIDEO (Y/C): per selezionare il segnale audio e video immesso tramite il connettore Y/C IN e la presa AUDIO IN tra i connettori VIDEO.

Sul pannello del display viene visualizzato il segnale di ingresso selezionato.



È possibile modificare il segnale di ingresso utilizzando il telecomando in dotazione con il display.

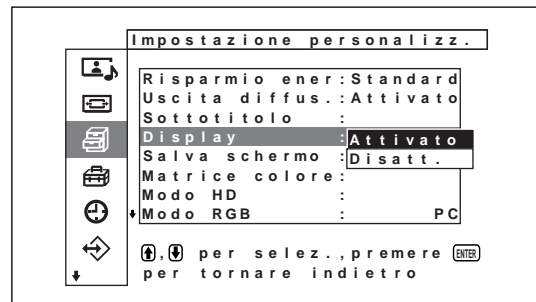
Note

- Come sorgente di ingresso, si consiglia di utilizzare un apparecchio video dotato di TBC (time base corrector). Se il monitor riceve un segnale privo di TBC, l'immagine potrebbe sparire a causa di disturbi generati dal segnale sincronico.
- Se da più sistemi vengono trasmessi segnali nello stesso formato, l'impostazione relativa alla qualità dell'immagine viene ripristinata sull'ultimo valore impostato (solo se i formati del segnale sono identici).

Informazioni relative al segnale di ingresso, al modo immagine e alle condizioni del display

Le informazioni relative al segnale di ingresso e al modo immagine vengono visualizzate sul pannello del display per circa cinque secondi quando l'alimentazione viene attivata o quando si cambia il segnale di ingresso.
Per disattivare questa funzione, seguire la procedura descritta di seguito.

- 1** Nel menu Impostazine personalizz., premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su "Display", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2** Premere **↑/↓** per impostare Display su Disatt., quindi premere ENTER.

Per visualizzare le informazioni

Impostare Display su Attivato al punto **2** di cui sopra. L'impostazione di fabbrica è Attivato.

Nota

È possibile visualizzare le informazioni relative al segnale di ingresso e al modo immagine ogni volta che lo si desidera premendo il tasto DISPLAY sul telecomando, senza tenere conto delle impostazioni eseguite.

Segnali di ingresso preselezionati			
	Segnale	Sistema di colore o frequenza orizzontale/verticale	
Segnali computer			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31,5kHz	70,1Hz
2	640×350@85Hz (VESA ^{b)} STD)	37,9kHz	85,1Hz
3	640×400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,1Hz
4	640×480@60Hz (VESA STD)	31,5kHz	59,9Hz
5	Mac ^{c)} 13"	35,0kHz	66,7Hz
6	640×480@72Hz (VESA STD)	37,9kHz	72,8Hz
7	640×480@75Hz (VESA STD)	37,5kHz	75,0Hz
8	640×480@85Hz (VESA STD)	43,3kHz	85,0Hz
9	852×480@60Hz (I/O DATA) ^{d)}	31,7kHz	60,0Hz
10	VGA (VGA TEXT)	31,5kHz	70,1Hz
11	720×400@85Hz (VESA STD)	37,9kHz	85,0Hz
12	800×600@56Hz (VESA STD)	35,2kHz	56,3Hz
13	800×600@60Hz (VESA STD)	37,9kHz	60,3Hz
14	800×600@72Hz (VESA STD)	48,1kHz	72,2Hz
15	800×600@75Hz (VESA STD)	46,9kHz	75,0Hz
16	800×600@85Hz (VESA STD)	53,7kHz	85,1Hz
17	Mac 16"	49,7kHz	74,6Hz
18	1024×768@60Hz (VESA STD)	48,4kHz	60,0Hz
19	1024×768@70Hz (VESA STD)	56,5kHz	70,1Hz
20	1024×768@75Hz (VESA STD)	60,0kHz	75,0Hz
21	1024×768@85Hz (VESA STD)	68,7kHz	85,0Hz
22	1152×864@75Hz (VESA STD)	67,5kHz	75,0Hz
23	Mac 21"	68,7kHz	75,1Hz
24	1280×960@60Hz (VESA STD)	60,0kHz	60,0Hz
25	1280×960@85Hz (VESA STD)	85,9kHz	85,0Hz
26	1280×1024@60Hz (VESA STD)	64,0kHz	60,0Hz
27	1280×1024@75Hz (VESA STD)	80,0kHz	75,0Hz
28	1280×1024@85Hz (VESA STD)	91,1kHz	85,0Hz
29	1600×1200@60Hz (VESA STD)	75,0kHz	60,0Hz
30	856×480@60Hz (Matrox) ^{e)}	30,2kHz	60,0Hz
31	856×480@59,6Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	59,6Hz
32	856×480@60,1Hz (Matrox) ^{e)}	30,1kHz	60,1Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50i	
9	480/60i	480/60i	
10	1080/24psf	1080/48i	
11	1080/50i	1080/50i	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60i	
15	720/60p	720/60P	

- a) VGA è un marchio di fabbrica registrato di International Business Machines Corporation, USA.
 b) VESA è un marchio di fabbrica registrato di Video Electronics Standards Association.
 c) Mac (Macintosh) è un marchio di fabbrica registrato di Apple Computer, Inc.
 d) Disponibile solo se viene utilizzato un acceleratore grafico prodotto da I-O DATA Corporation.
 e) Questa voce è disponibile solo se viene utilizzata una scheda grafica prodotta da Matrox Graphics Inc.

Note

- Se viene immesso un segnale HDTV, trasmettere il segnale sincronico a tre livelli al piedino numero 2 del connettore INPUT1 o INPUT2 (D-sub a 15 piedini).
- Se viene immesso un segnale del computer con la risoluzione indicata alla voce 29 della tabella, impostare Dimensione O, Spostamento O, Dimensione V e Spostamento V sul valore standard (00) e Zoom schermo su Ripristina nel menu Comando schermo, diversamente l'immagine potrebbe oscillare.
- Se dopo avere trasmesso il segnale DVD al monitor PFM-50C1E il colore delle immagini risulta eccessivamente chiaro, regolare il colore impostando "Colore" nel menu Regola immagine
- Una volta effettuata la regolazione della fase, la risoluzione viene ridotta.

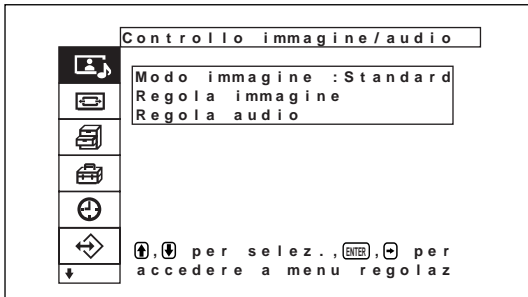
Indicazioni a schermo relative alle condizioni effettive del display

Indicazione a schermo	Significato
640×480 / 60 (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è computer RGB.
525 / 60 (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è video componente.
NTSC (eg.)	Il segnale di ingresso selezionato è NTSC.
VARIE	Il segnale di ingresso non rientra nel campo di cattura.
No sincronizz.	Non vi sono segnali di ingresso.
INPUT1 (RGB)	Il modo del segnale di INPUT1 è impostato su RGB.
INPUT1 (YUV)	Il modo del segnale di INPUT1 è impostato su video componente.
VIDEO (COMPOSITE)	Per VIDEO è selezionato l'ingresso video composito.
VIDEO (Y/C)	Per VIDEO è selezionato l'ingresso video Y/C.

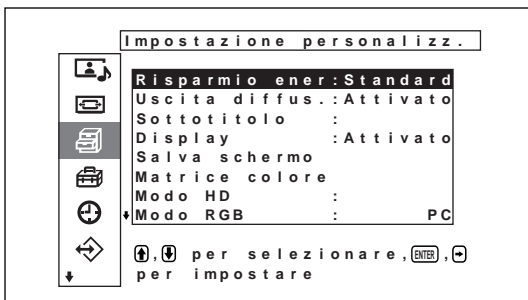
Modifica del modo di visualizzazione

Visualizzazione dei sottotitoli

- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display appare il menu principale.



- 2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Impostazione personalizz.", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il menu Impostazione personalizz.



- 3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Sottotitolo", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.

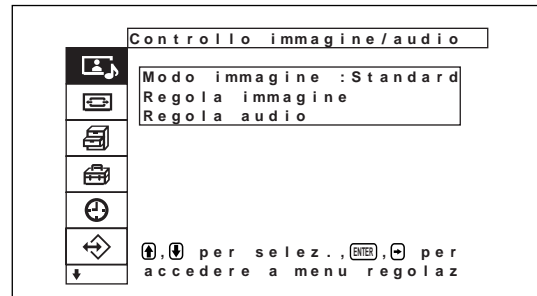


- 4 Selezionare il tipo di sottotitolo tramite ↑/↓.
Disatt.: per non visualizzare i sottotitoli.
Cattura1: per visualizzare il sottotitolo 1 sull'immagine.
Cattura2: per visualizzare il sottotitolo 2 sull'immagine.
Testo1: per visualizzare il sottotitolo 1 su sfondo nero.
Testo2: per visualizzare il sottotitolo 2 su sfondo nero.

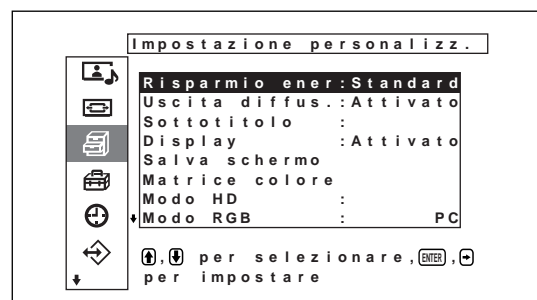
- 5 Premere MENU.
Il monitor torna al menu Impostazione personalizz.

Funzione di risparmio energetico

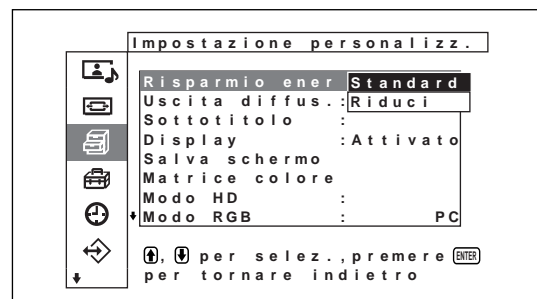
- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Impostazione personalizz.", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu "Impostazione personalizz."



- 3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Risparmio ener.", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 4 Premere ↑/↓ per selezionare il modo Risparmio ener.
Standard: funzione di risparmio energetico disattivata
Riduci: funzione di risparmio energetico disattivata. Attivando la funzione Risparmio ener. (Riduci), la luminosità dello schermo viene ridotta e, sebbene il consumo energetico sia ridotto, è possibile visualizzare quanto desiderato.

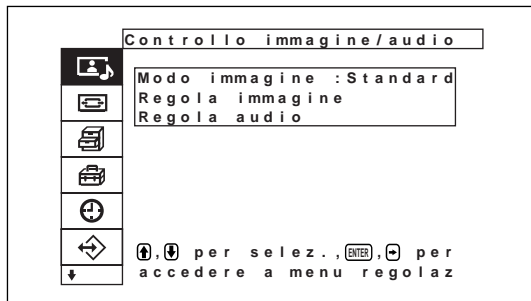
Note

- Se si seleziona “Risparmio ener.: Riduci” e si disattiva l'alimentazione, la stessa impostazione verrà resa effettiva alla successiva attivazione dell'alimentazione.
- Se si seleziona Utente da 1 a 3 nel modo di qualità dell'immagine, è possibile regolare la qualità dell'immagine anche se è stato impostato “Risparmio ener.: Riduci”. Tuttavia, se si aumenta il contrasto o la luminosità, è possibile che il risparmio energetico venga disabilitato.

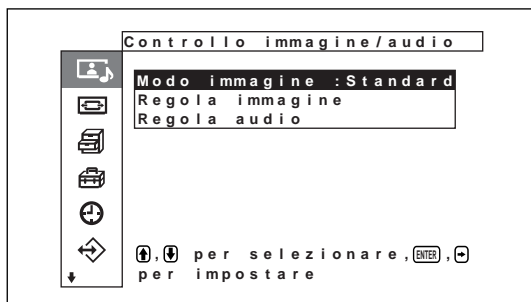
Selezione della qualità dell'immagine

È possibile selezionare la qualità dell'immagine in base al tipo di immagine e della luminosità circostante.

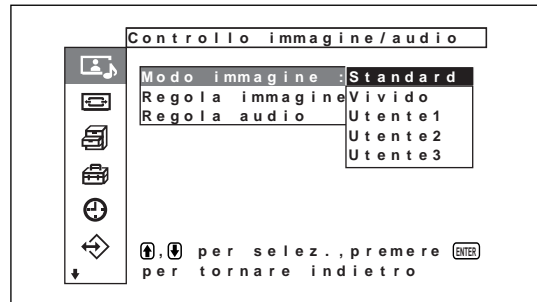
- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Controllo immagine/audio”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu “Controllo immagine/audio”.



- 3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Modo immagine”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu riportato di seguito.



- 4 Selezionare il modo di immagine utilizzando ↑/↓, quindi premere ENTER.
Standard: È possibile ottenere una qualità realistica dell'immagine grazie ad un contrasto moderato e alla regolazione dei contorni.
Vivido: mediante questa impostazione, il contorno e il contrasto delle immagini sono regolati sui valori massimi, in modo da far apparire le immagini particolarmente nitide.
Utente1-3: È possibile impostare la qualità dell'immagine come desiderato utilizzando il menu per la regolazione dell'immagine.

Regolazione dell'immagine

Durante la visualizzazione dell'immagine è possibile regolarne il contrasto, la luminosità, il colore, la fase e così via come desiderato. Le regolazioni possono essere effettuate separatamente per ogni segnale di ingresso ed è inoltre possibile memorizzarle.

Impostare il modo immagine su una delle impostazioni "Utente1-3".

Regolazione di contrasto, luminosità, colore, fase e così via

Premere MENU per visualizzare il menu principale sul pannello del display e selezionare "Contrasto", "Luminosità", "Colore", "Fase", "Nitidezza", "Riduz. disturbo", "Cinema Drive", "Immagine dinam.", "Temp. colore", "Correz. colore" o "Correz. gamma" nel menu di regolazione dell'immagine.

Contrasto

Selezionare "Contrasto" tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Regolare il contrasto tramite **↑/↓/←/→** su un livello compreso tra MIN (0) e MAX (255).

↑/→: per aumentare il contrasto dell'immagine

↓/←: per diminuire il contrasto dell'immagine

Luminosità

Selezionare "Luminosità" tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Regolare la luminosità tramite **↑/↓/←/→** su un livello compreso tra MIN (-128) e MAX (+127).

↑/→: per rendere più luminosa l'immagine

↓/←: per rendere più scura l'immagine

Colore

Selezionare "Colore" tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Regolare il colore tramite **↑/↓/←/→** su un livello compreso tra MIN (-128) e MAX (+127).

↑/→: per aumentare l'intensità del colore

↓/←: per diminuire l'intensità del colore

Fase

Selezionare "Fase" tramite **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Regolare la fase tramite **↑/↓/←/→** su un livello compreso tra Rosso (-128) e Verde (+127).

↑/→: per rendere verdastra l'intera immagine

↓/←: per rendere violacea l'intera immagine

Nitidezza

Selezionare "Nitidezza" utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Regolare la nitidezza utilizzando **↑/↓/←/→** secondo la gamma compresa tra MIN (-5) e MAX (+5).

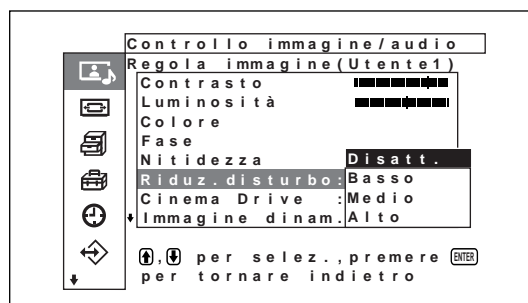
↑/→: per aumentare la nitidezza dell'immagine

↓/←: per diminuire la nitidezza dell'immagine

Riduz. disturbo (Noise Reduction, riduzione del disturbo)

Consente di ridurre i disturbi della granulosità e del colore dell'immagine.

- 1 Selezionare "Riduz. disturbo" utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 2 Selezionare il modo NR utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Disatt.: il segnale dell'immagine viene visualizzato direttamente.

Basso: per impostare l'elaborazione NR su un livello basso

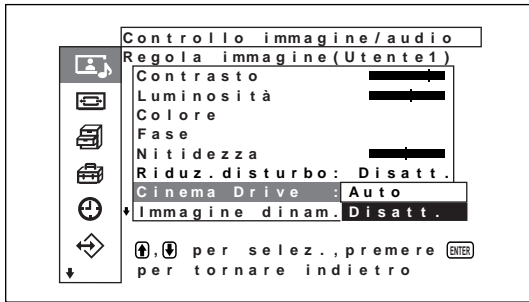
Medio: per impostare l'elaborazione NR su un livello medio

Alto: per impostare l'elaborazione NR su un livello alto

Cinema Drive

Consente di rilevare automaticamente le immagini catturate su film (da 24 fotogrammi) e di riprodurle con il caratteristico movimento omogeneo delle immagini di film.

- 1 Selezionare "Cinema Drive" utilizzando \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.

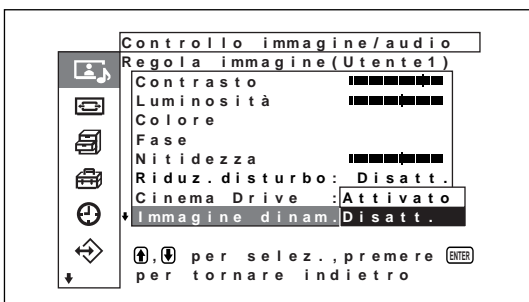


- 2 Selezionare il modo Cinema Drive utilizzando \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.
Auto: viene eseguita l'elaborazione del segnale ottimale per le immagini di film.
Disatt.: i segnali video vengono visualizzati direttamente.

Immagine dinam.

Aumenta il contrasto rendendo più luminoso il bianco e più scuro il nero.

- 1 Selezionare "Immagine dinam." utilizzando \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 2 Selezionare il modo Dynamic Picture utilizzando \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.
Attivato: la funzione Dynamic Picture viene utilizzata
Disatt.: la funzione Dynamic Picture non viene utilizzata

Temp. colore (temperatura di colore)

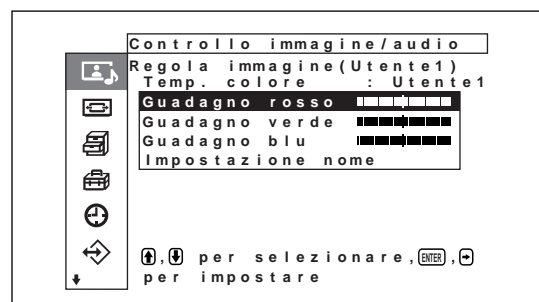
Per impostare la temperatura di colore è possibile selezionare Freddo, Neutro o Basso oppure regolare con maggiore accuratezza ogni guadagno. È possibile registrare fino a sei temperature di colore regolate e rinominarle con nomi di un massimo di sei caratteri.

- 1 Selezionare "Temp colore" tramite \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.
- 2 Selezionare la temperatura di colore tramite \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.
Freddo: per impostare una temperatura di colore elevata
Neutro: per impostare la temperatura di colore su un valore neutro
Caldo: per impostare una temperatura di colore bassa
Utente1 – 3: per impostare il guadagno con maggiore accuratezza

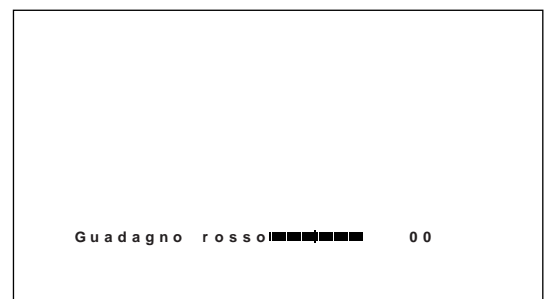
Se si seleziona Caldo, Neutro o Freddo, il monitor torna al menu Regola immagine.

Se si seleziona da "Utente1" a "Utente3"

Se si seleziona da "Utente1" a "Utente3", sul pannello del display appare il seguente menu.



- (1) Premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) sulla voce di guadagno che si desidera impostare, quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu sul display.



- (2) Regolare il guadagno (da 0 a 255) mediante $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$, quindi premere ENTER.

Il menu torna al menu Temp. colore.

Se si assegna un nuovo nome alla temperatura di colore regolata, seguire la procedura descritta nei punti seguenti.

- (3) Premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Impostazione nome", quindi premere ENTER.

Viene visualizzato il seguente menu sul display.



Elenco dei caratteri

- (4) Selezionare un carattere o un simbolo nell'elenco dei caratteri mediante $\uparrow/\downarrow/\leftarrow/\rightarrow$, quindi premere ENTER. Il carattere selezionato viene inserito. In caso di errore, selezionare [\leftarrow] sullo schermo per spostare il cursore indietro di un carattere, quindi correggere l'errore.

Se [Funzione MENU] (pagina 23 (IT)) nel Menu Impostazione iniziale è stato impostato su [Indietro], mediante i tasti \uparrow/\downarrow del telecomando è possibile spostare il cursore verso sinistra e verso destra. Per spostare il cursore verso l'alto e verso il basso mediante i tasti \uparrow/\downarrow , impostare [Funzione MENU] su [Att/Dis].

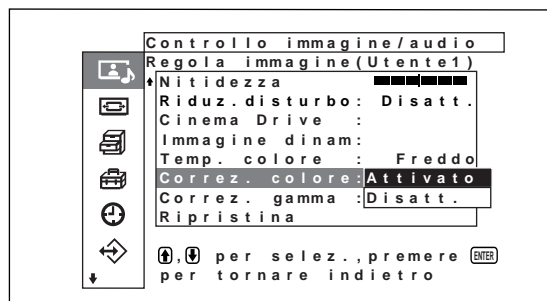
- (5) Ripetere le operazioni dei punti (4), selezionare "fine" dopo aver immesso il nome, quindi premere ENTER. Viene di nuovo visualizzato il menu Temp. colore.

Correz. colore

È possibile riprodurre colori brillanti e nitidi.

- 1 Selezionare "Correz. colore" utilizzando \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.

Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 2 Selezionare il modo di correzione del colore utilizzando \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.

Attivato: per impostare la correzione del colore su ON

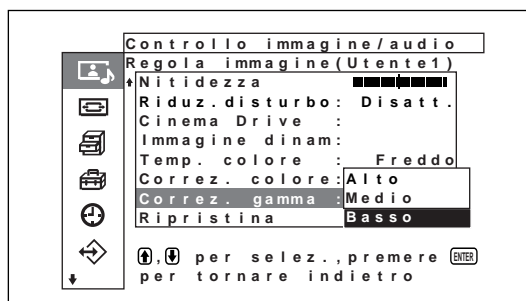
Disatt.: per impostare la correzione del colore su OFF

Correz. gamma

Consente di regolare in modo automatico il bilanciamento tra le parti luminose e scure delle immagini.

- 1 Selezionare "Correz. gama" utilizzando \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.

Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 2 Selezionare il modo relativo alla correzione della gamma utilizzando \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.

Alto: per impostare la correzione della gamma su un valore alto

Medio: per impostare la correzione della gamma su un valore medio

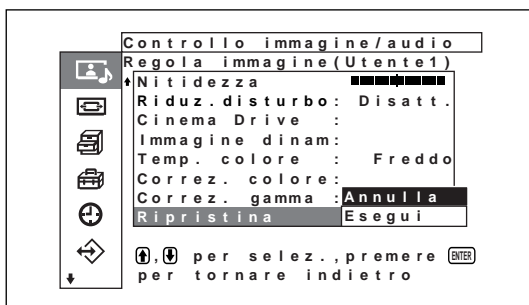
Basso: per impostare la correzione della gamma su un valore basso

Note

- Le impostazioni di Colore e Fase non sono disponibili con il segnale RGB.
- L'impostazione di Fase non è disponibile con un segnale componente.
- L'impostazione di Fase non è disponibile con una sorgente di colore PAL, PAL-M, PAL-N, PAL60 o SECAM.
- Se si immette un segnale in bianco e nero, la profondità del colore e il tono del colore non possono essere regolati.

Ripristino delle voci del menu Regola immagine alle impostazioni originali

- 1 Nel menu Regola immagine, premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Ripristina", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2 Premere $\blacktriangle/\blacktriangledown$ per spostare il cursore (giallo) su "Esegui", quindi premere ENTER.
Le voci del menu Regola immagine vengono riportate ai valori iniziali.

Per annullare la funzione di ripristino

Premere MENU prima di ENTER.

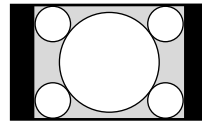
In alternativa, selezionare "Attivato" utilizzando \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.

Picture Enlargement

Consente di ingrandire l'immagine in modo da riempire l'intero schermo in base al tipo di immagine, ad esempio le immagini di normali trasmissioni televisive o Wide Clear Vision e così via.

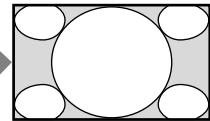
Per il modo ampio sono disponibili le seguenti possibilità di selezione.

Immagine ingrandite



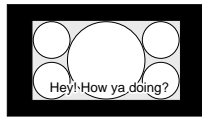
Esp.
4/3

Immagine originale (tipo immagine)

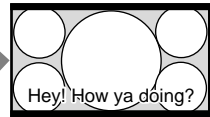


- Le immagini con rapporto di formato 4:3 appaiono naturali se ingrandite a schermo pieno quando viene utilizzata la funzione di zoom ampio (rapporto di formato: 4:3).

Ingrandisce le immagini a schermo pieno con rapporto di formato 4:3 in immagini con rapporto di formato 16:9.

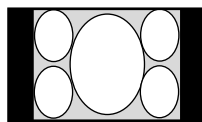


Letter
bx

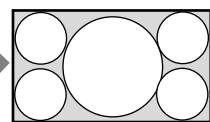


- Trasmissioni Wide Clear Vision (rapporto di formato: 16:9)
- Film girati in VistaVision e così via che appaiono allungati nel senso orizzontale dello schermo e contengono catture all'interno dell'immagine (rapporto di formato: 1,85:1)
- Immagini di video camera o DVD contenenti informazioni relative al rapporto di formato (tipo ID-1)

Durante l'allineamento con i lati destro e sinistro dello schermo, le immagini vengono ingrandite a schermo pieno. A seconda dell'immagine, è possibile che sulle parti inferiore e superiore dello schermo rimangano visualizzate delle bande nere.

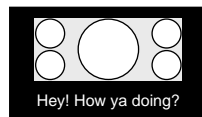


Riprist.

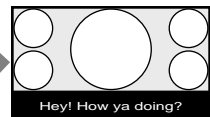


- Immagini di video camera o DVD contenenti informazioni relative al rapporto di formato (tipo ID-1)

I bordi destro e sinistro dell'immagine vengono ingranditi a schermo pieno senza che vengano modificati i bordi superiore e inferiore.

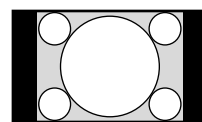


Sottotit.

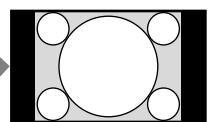


- Film girati in CinemaVision e così via che appaiono allungati nel senso orizzontale dello schermo e contengono catture all'esterno dell'immagine (rapporto di formato: 2,35:1)

L'immagine viene visualizzata sullo schermo comprimendo unicamente l'area di visualizzazione delle catture ingrandendo a schermo pieno le dimensioni ed effettuando l'allineamento con i bordi destro e sinistro dello schermo.



Riduci



- Le immagini vengono visualizzate nel formato originale 4:3 senza essere ingrandite quando vengono impostate su "4/3" ("4/3" è l'impostazione di fabbrica) e la funzione 16:9 automatica è impostata su Att.

Consente di visualizzare l'immagine senza effettuare ingrandimenti.

Impostazione di Auto Wide

Poiché in alcune trasmissioni televisive, Wide Clear Vision e così via, insieme al segnale video viene trasmesso un segnale di controllo di identificazione, la funzione Auto Wide consente di riprodurre immagini in base al segnale di controllo di identificazione o di ingrandire in modo ottimale vari tipi di immagine, indipendentemente da tale segnale.

Inoltre, le normali trasmissioni televisive e BS con rapporto di formato 4:3 possono venire ingrandite e visualizzate con rapporto di formato 16:9.

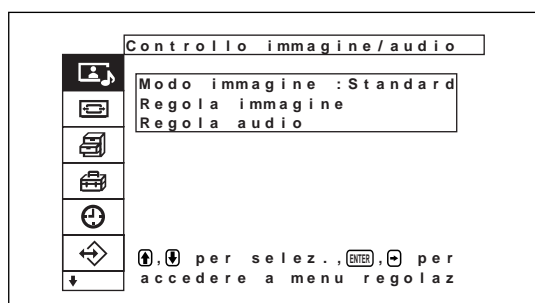
Segnale di controllo di identificazione

Questo segnale di controllo consente di riprodurre fedelmente sullo schermo del televisore il rapporto di formato dell'immagine originale. Di seguito vengono riportate le immagini contenenti questo tipo di segnale:

- Trasmissioni Wide Clear Vision
- Immagini registrate mediante una videocamera contenente informazioni sul rapporto di formato (formato ID-1)
- Trasmissioni televisive contenenti un segnale che consente di impostare il rapporto di formato su 4:3.
- Immagini contenenti le informazioni sul rapporto di formato ricevute dal connettore di ingresso D4.

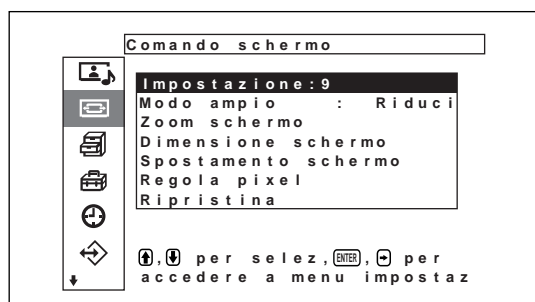
1 Premere MENU.

Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



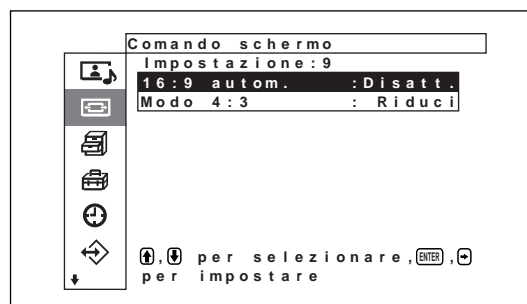
2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Comando schermo”, quindi premere ENTER.

Sul pannello del display viene visualizzato il menu Comando schermo.



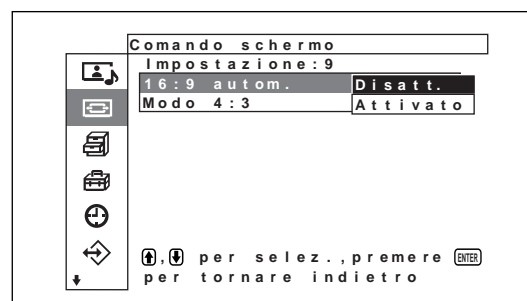
3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “Impostazione 9”, quindi premere ENTER.

Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



4 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su “16:9 autom”, quindi premere ENTER.

Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



5 Selezionare un'impostazione di 16:9 autom. (modo ampio automatico) utilizzando il tasto ↑/↓.

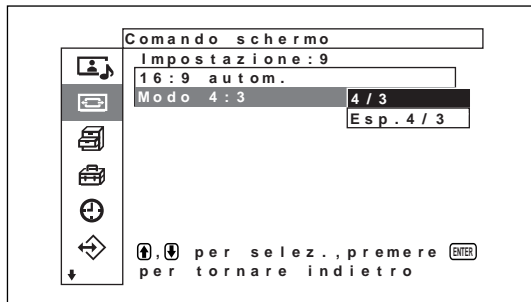
Disatt.: Le immagini vengono riprodotte fedelmente.

Attivato: L'immagine viene ingrandita e visualizzata nel rapporto di formato più appropriato.

6 Premere ENTER.

Viene visualizzato di nuovo il menu Impostazione 9.

- 7** Selezionare “Modo 4:3” utilizzando \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



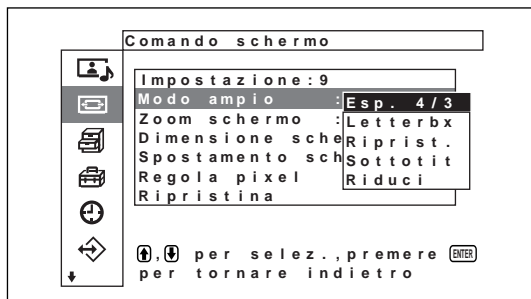
- 8** Selezionare il modo 4:3 utilizzando \uparrow/\downarrow .
4/3: Le immagini con rapporto di formato 4:3 vengono visualizzate fedelmente.
Esp. 4/3: Le immagini con rapporto di formato 4:3 vengono visualizzate dopo essere state ingrandite in immagini con rapporto di formato 16:9. (in assenza di un segnale di controllo discriminante).

- 9** Premere ENTER.
Viene visualizzato di nuovo il Impostazione: 9.

Impostazione del Modo ampio

È inoltre possibile ingrandire le immagini in base al modo zoom desiderato, indipendentemente dal tipo di immagine.

- 1** Nel menu Comando schermo, premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su “Modo ampio”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 2** Selezionare il modo zoom utilizzando \uparrow/\downarrow .
Esp. 4/3: ingrandisce le immagini a schermo pieno con rapporto di formato 4:3 in immagini con rapporto di formato 16:9.

Letterbx: consente di ingrandire completamente l'immagine sui bordi sinistro e destro dello schermo. A seconda dell'immagine, è possibile che sulle parti inferiore e superiore dello schermo rimangano visualizzate delle bande nere.

Riprist.: consente di ingrandire i lati sinistro e destro dell'immagine su tutto lo schermo senza modificare le parti superiore e inferiore.

Sottotit: consente di ingrandire completamente l'immagine sui bordi sinistro e destro dello schermo e di ridurre l'area in cui sono visualizzate i sottotitoli.

Riduci: consente di visualizzare l'immagine senza effettuare ingrandimenti.

- 3** Premere ENTER.
Viene visualizzato di nuovo il menu Comando schermo.

Note

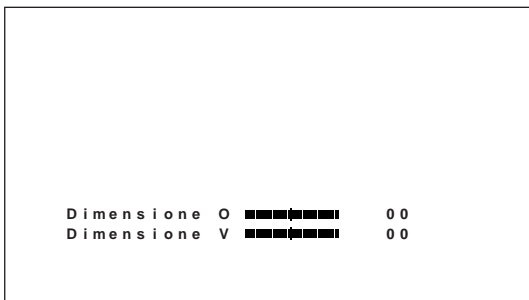
- Se si imposta il modo ampio, la funzione 16:9 autom. (modo ampio automatico) viene disattivata. Se si desidera utilizzare la funzione 16:9 autom., reimpostarla su “Attivato”.
- A seconda del tipo e delle dimensioni dell'immagine, è possibile che la parte superiore o inferiore dell'immagine venga tagliata.
- Se il presente apparecchio viene utilizzato per scopi commerciali o per la visione pubblica in caffetterie o alberghi utilizzando la funzione per la selezione dello schermo ampio, è possibile che si verifichi una compressione o un allungamento della schermata. Inoltre, è possibile che alcune leggi per la protezione dei diritti d'autore vengano violate.

Modifica delle dimensioni e della posizione dell'immagine

È possibile spostare la posizione dell'immagine in modo che si adatti allo schermo oppure regolarne separatamente le dimensioni verticali e orizzontali. Il funzionamento indicato nel presente manuale è relativo allo stato in cui il tasto Menu è impostato su "Att/Dis". Per ulteriori informazioni, vedere "Menu Comando schermo" a pagina 20 (IT).

Modifica delle dimensioni dell'immagine

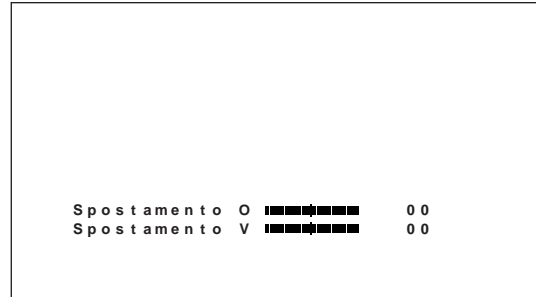
- 1 Nel menu Comando schermo, premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su "Dimensione schermo", quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2 Regolare le dimensioni verticale e orizzontale dell'immagine utilizzando i tasti **↑/↓/←/→**.
←/→: regola la dimensione orizzontale dell'immagine
↑/↓: regola la dimensione verticale dell'immagine
 La dimensione orizzontale dell'immagine viene visualizzata sullo schermo secondo i valori di regolazione compresi tra MIN (-128) e MAX (+127). La dimensione verticale dell'immagine viene visualizzata sullo schermo secondo i valori di regolazione compresi tra MIN (-128) e MAX (+127).
- 3 Premere ENTER. Viene visualizzato di nuovo il menu Comando schermo.

Regolazione della posizione dell'immagine

- 1 Nel menu Comando schermo, premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su "Spostamento schermo", quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2 I tasti **↑/↓/←/→** spostano l'immagine nei sensi verticale e orizzontale.
←/→: sposta l'immagine verso sinistra e verso destra
↑/↓: sposta l'immagine verso l'alto e verso il basso
 La posizione orizzontale dell'immagine viene visualizzata sullo schermo secondo i valori di regolazione compresi tra LEFT (128) e RIGHT (127). La posizione verticale dell'immagine viene visualizzata sullo schermo secondo i valori di regolazione compresi tra BOTTOM (128) e TOP (127).
- 3 Premere ENTER. Viene visualizzato di nuovo il menu Comando schermo.

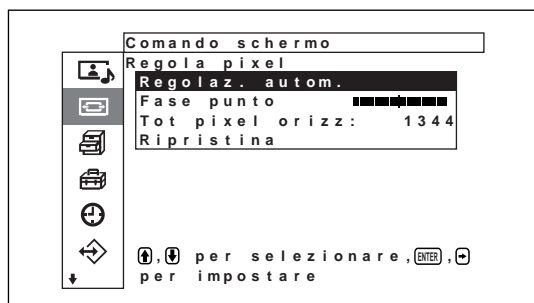
Regolazione dei pixel

Se i bordi dei caratteri o delle linee verticali risultano eccessivamente disturbati, è possibile regolare la fase dei punti e il numero totale di pixel orizzontali.

Nota

Questa voce dipende dal segnale del computer utilizzato.

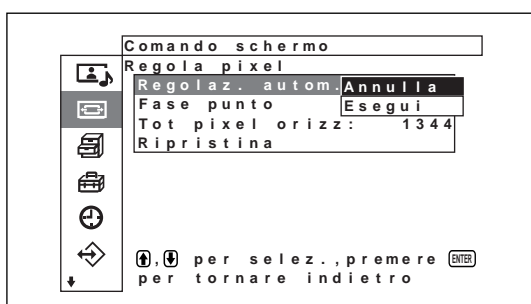
- 1 Nel menu Comando schermo, premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Regola pixel", quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2 È possibile regolare la fase dei punti e il numero totale di pixel orizzontali automaticamente o manualmente.

Regolazione automatica

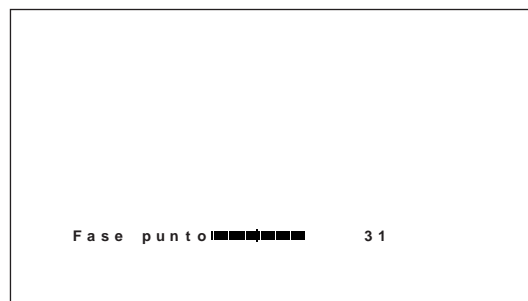
- (1) Selezionare Regolaz. autom. tramite \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- (2) Selezionare Esegui tramite \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER. La fase dei punti e il numero totale di pixel orizzontali vengono regolati automaticamente.

Regolazione manuale

- (1) Selezionare Fase punto o Tot pixel orizz tramite \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu (l'illustrazione si riferisce alla selezione di Fase punto).



- (2) Regolare la fase dei punti o il numero totale di pixel orizzontali tramite \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.

Nota

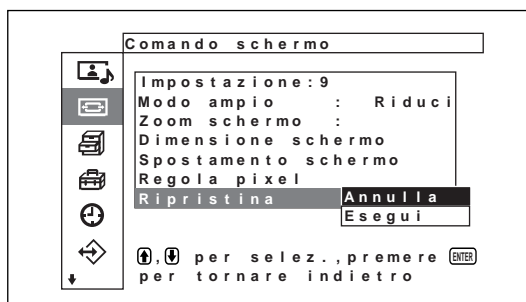
A causa dei motivi dell'immagine, è possibile che i disturbi proseguano anche se viene utilizzata la funzione Regolaz. autom. In tal caso, tentare di regolare la fase dei punti manualmente.

Ripristino delle voci del menu Regola pixel alle impostazioni originali

Nel menu Regola pixel, premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Ripristina", quindi premere ENTER. Selezionare Esegui tramite \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.

Ripristino delle voci del menu Comando schermo alle impostazioni originali

- 1 Nel menu Comando schermo, premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Ripristina", quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su “Esegui”, quindi premere ENTER.

Le voci del menu Comando schermo vengono riportate ai valori iniziali.

Per annullare la funzione di ripristino

Premere MENU prima di ENTER.

In alternativa, selezionare “Attivato” utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Regolazione della qualità dell'audio

È possibile regolare il livello degli acuti e dei bassi, nonché il bilanciamento. Inoltre, è possibile impostare il modo surround.

Regolazione degli acuti, dei bassi, del bilanciamento e così via

Premere MENU per visualizzare il menu principale sul pannello del display, quindi, utilizzando **↑/↓**, selezionare “Acuti”, “Bassi”, “Bilanciamento” o “Surround” nel menu Regola audio.

Acuti

Selezionare “Acuti” utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Utilizzando **↑/↓**, regolare gli acuti entro la gamma compresa tra MIN (-50) e MAX (+50).

↑: per aumentare gli acuti

↓: per diminuire gli acuti

Bassi

Selezionare “Bassi” utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Utilizzando **↑/↓**, regolare i bassi entro la gamma compresa tra MIN (-50) e MAX (+50).

↑: per aumentare i bassi

↓: per diminuire i bassi

Bilanciamento

Selezionare “Bilanciamento” utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Utilizzando **↑/↓**, regolare il bilanciamento entro la gamma compresa tra LEFT (50) e RIGHT (50).

↑: per aumentare il volume nella parte destra

↓: per aumentare il volume nella parte sinistra

Surround

Selezionare il modo di uscita surround in base al tipo di immagine.

- 1 Selezionare “Surround” utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.

- 2 Selezionare il modo surround utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Disatt.: nessun modo surround

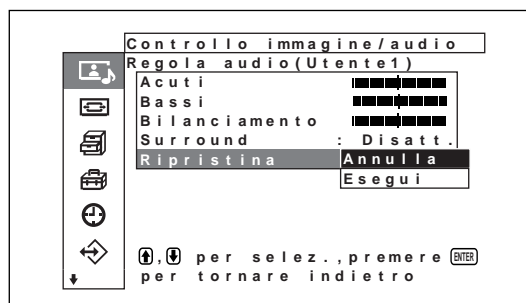
Hall: per ottenere un effetto audio stereo per programmi musicali o film.

Simulaz.: per dare ai programmi monofonici ordinari o ai notiziari un senso di realismo grazie ad un audio stereo simulato.

Ripristino delle voci del menu Regola audio sulle impostazioni iniziali

- 1 Nel menu Regola audio, premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su “Ripristina”, quindi premere ENTER.

Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 2 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su “Esegui”, quindi premere ENTER.

Le voci del menu Regola audio vengono riportate ai valori iniziali.

Per annullare la funzione di ripristino

Premere MENU prima di ENTER.

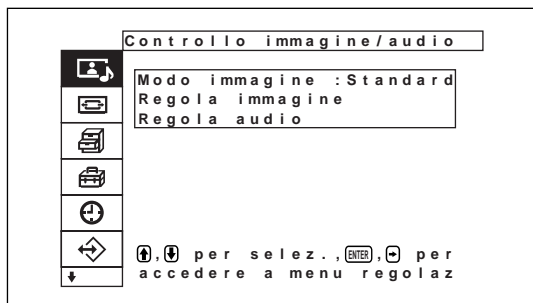
In alternativa, selezionare “Attivato” utilizzando **↑/↓**, quindi premere ENTER.

Utilizzo della funzione di memoria

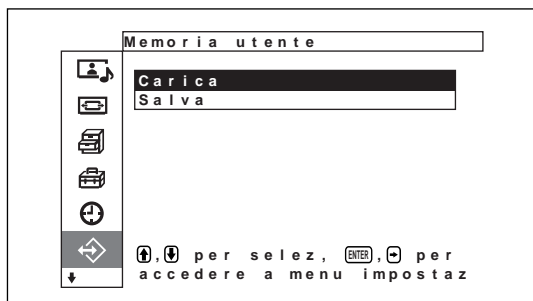
È possibile salvare le impostazioni dell'immagine corrente per ciascun segnale di ingresso utilizzando la funzione Memoria. Se necessario, le impostazioni salvate possono essere ripristinate. È possibile memorizzare le impostazioni effettuate nei menu Controllo immagine/audio e Comando schermo. Le impostazioni delle immagini possono essere salvate per un massimo di venti segnali di ingresso ed è inoltre possibile assegnare nomi di un massimo di 6 caratteri alle impostazioni delle voci.

Memorizzazione dell'impostazione corrente

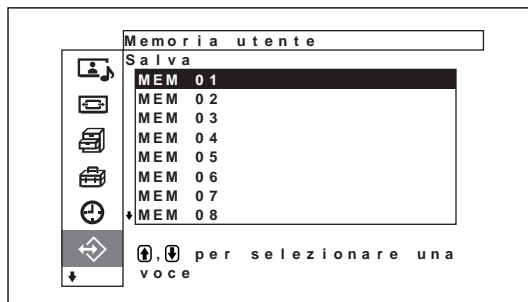
- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



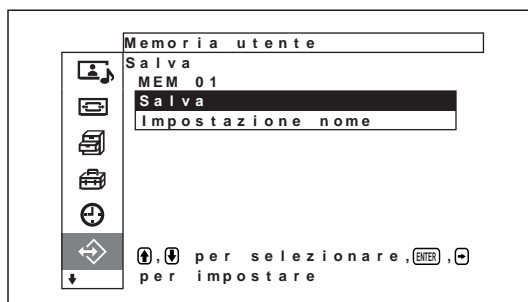
- 2 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Memoria utente", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il menu Memoria utente.



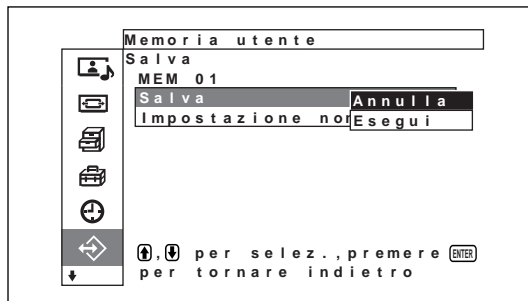
- 3 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Salva", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 4 Selezionare un numero di memoria (da 01 a 20) tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.

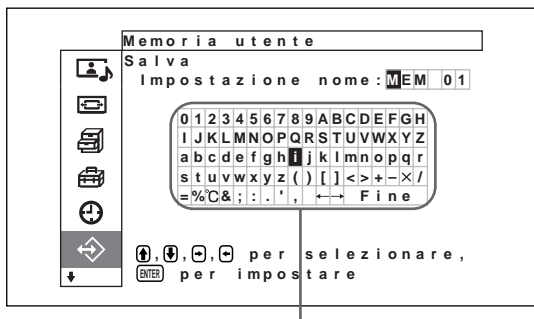


- 5 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Salva", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 6 Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Esegui", quindi premere ENTER.
I dati correnti vengono memorizzati in corrispondenza del numero di memoria selezionato.
Per assegnare un nome alle impostazioni, seguire la procedura descritta di seguito.

- 7** Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su “Impostazione nome”, quindi premere di nuovo ENTER.
Sullo schermo del monitor appare il seguente menu.



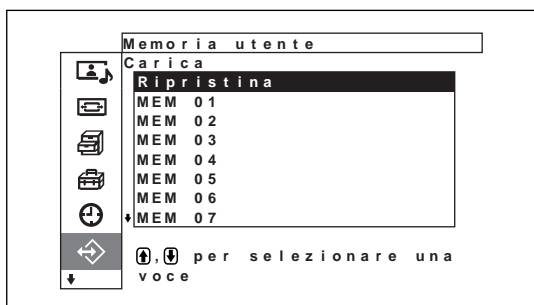
elenco dei caratteri

- 8** Selezionare un carattere o un simbolo nell'elenco dei caratteri mediante **↑/↓/←/→**, quindi premere ENTER. Il carattere selezionato viene inserito. In caso di errore, selezionare [**←**] sullo schermo per spostare il cursore indietro di un carattere, quindi correggere l'errore.
*Se [Funzione MENU] (pagina 23 (IT)) nel Menu Impostazione iniziale è stato impostato su [Indietro], mediante i tasti **↑/↓** del telecomando è possibile spostare il cursore verso sinistra e verso destra. Per spostare il cursore verso l'alto e verso il basso mediante i tasti **↑/↓**, impostare [Funzione MENU] su [Att/Dis].*

- 9** Ripetere il punto **8**, selezionare “Fine” dopo avere terminato l’inserimento del nome, quindi premere ENTER.

Richiamo delle impostazioni memorizzate

- 1** Nel menu Memoria utente, premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su “Carica”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



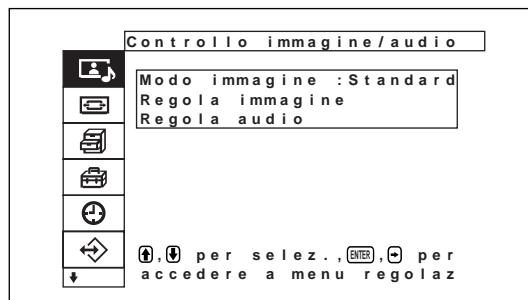
- 2** Spostare il cursore sul numero di memoria (da 01 a 20) dell'impostazione che si desidera richiamare utilizzando i tasti **↑/↓**.
Il valore di regolazione memorizzato viene richiamato.
Per ripristinare il valore precedente all'operazione di richiamo spostare il cursore su “Ripristina”.

- 3** Premere il tasto ENTER.
Il display ritorna alla schermata Memoria utente utilizzata per memorizzare e richiamare i valori di regolazione.

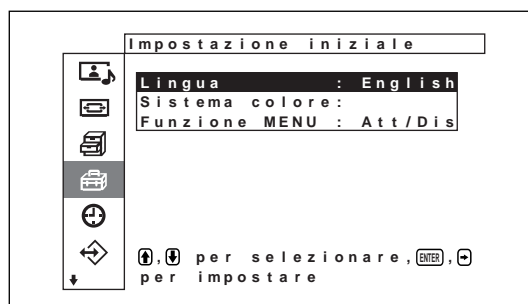
Selezione della lingua per le indicazioni a schermo

Le lingue disponibili per le indicazioni a schermo sono il giapponese, l'inglese, il tedesco, il francese, lo spagnolo e l'italiano.

- 1** Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2** Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su “Impostazione iniziale”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il menu Impostazione iniziale.



- 3** Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su “Lingua”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 4** Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) sulla lingua desiderata, quindi premere ENTER.
Le indicazioni a schermo vengono visualizzate nella lingua selezionata.

日本語: giapponese
ENGLISH: inglese
DEUTSCH: tedesco
FRANÇAIS: francese
ESPAÑOL: spagnolo
ITALIANO: italiano

Funzione salva schermo

Se viene visualizzata per un lungo periodo di tempo un’immagine con luminosità costante o un fermo immagine, come accade con le immagini visualizzate su un computer, un’immagine residua potrebbe imprimersi sul display.

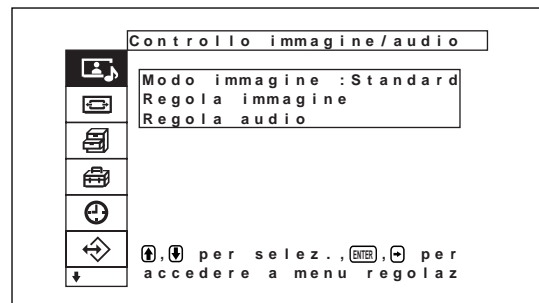
Per correggere o limitare questo fenomeno, l’apparecchio è dotato di una funzione di salvaschermo.

Sono disponibili due tipi di salvaschermo: uno inverte i toni del colore dell’immagine (Inverti immag.), mentre l’altro sposta automaticamente l’immagine all’interno dello schermo ad intervalli preimpostati (Orbit. immagine).

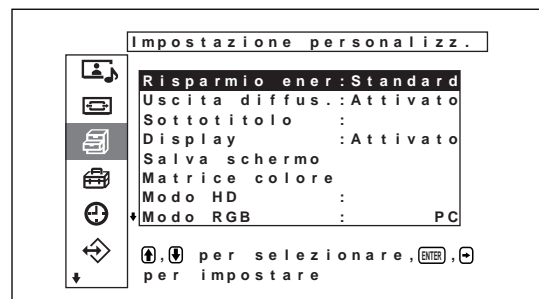
Inversione dei toni di colore dell’immagine

- 1** Premere MENU.

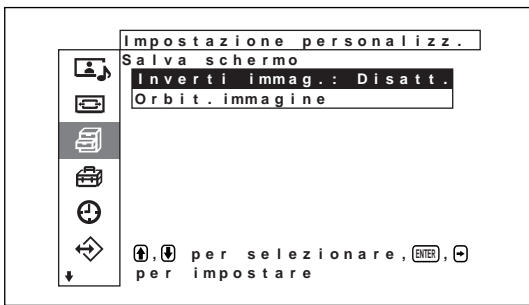
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



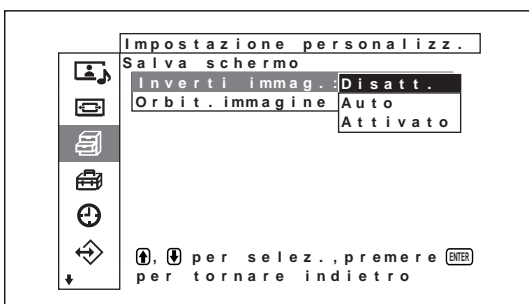
- 2** Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su “Impostazione personalizz.”, quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il menu Impostazione personalizz.



- 3 Premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su “Salva Schermo”, quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.

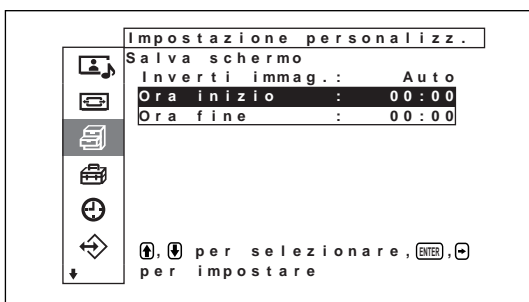


- 4 Premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su “Inverti immag.”, quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.

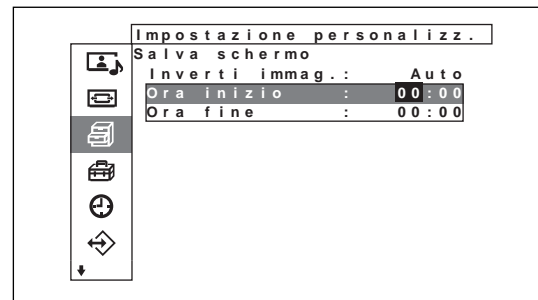


- 5 Selezionare il modo Inverti immag. tramite \uparrow/\downarrow . **Disatt.:** per impostare Inverti immag. su Disatt. **Auto:** per eseguire automaticamente la funzione Inverti immag. una volta al giorno. **Attivato:** Inverte i toni di colore dell'immagine

Se viene selezionato Auto, quindi viene premuto ENTER, verrà visualizzato il seguente menu.



- (1) Premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su “Ora inizio”, quindi premere ENTER. Viene visualizzato il seguente menu e lo sfondo dell'ora viene visualizzato in rilievo.



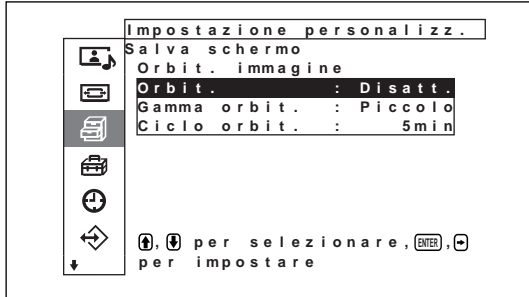
- (2) Impostare l'ora in cui si desidera che l'immagine venga capovolta tramite \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER. Viene immessa l'impostazione dell'ora e lo sfondo dei minuti viene retroilluminato.
- (3) Impostare i minuti tramite \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER. I minuti vengono impostati. Premere \leftarrow per tornare alla schermata visualizzata al punto 5. *Se vengono utilizzati i tasti sull'apparecchio, premere il tasto MENU per chiudere il menu e impostare [Funzione MENU] (pagina 23 (IT)) nel menu Impostazione iniziale su [Indietro]. Il tasto MENU sull'apparecchio ha la stessa funzione del tasto \leftarrow .*
- (4) Allo stesso modo, impostare l'ora in cui si desidera che la funzione Inverti immag. venga disattivata. L'immagine visualizzata viene capovolta all'ora impostata in Ora inizio e torna alla posizione originale all'ora impostata in Ora fine. Questo ciclo viene eseguito automaticamente una volta al giorno.

Nota

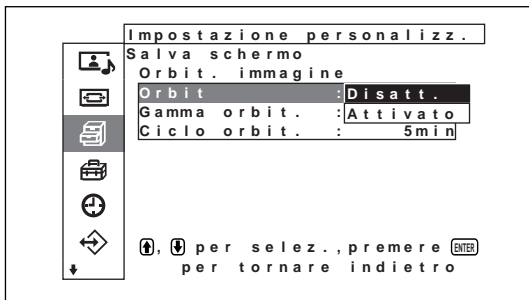
Se si impostano Ora inizio e Ora fine sulla stessa ora, l'impostazione di Ora inizio ha priorità su quella di Ora fine e il display non torna alla posizione originale all'ora preimpostata in Ora fine.

Modifica automatica della posizione dell'immagine visualizzata

- 1 Nel menu Salva schermo, premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Orbit. immagine", quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2 Premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Orbit.", quindi premere ENTER. Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 3 Selezionare il modo Orbit. tramite \uparrow/\downarrow .
Disatt.: per annullare la funzione Orbit. immagine.
Attivato: per impostare la funzione Orbit. immagine.

- 4 Premere ENTER. Il monitor torna al menu Orbit. immagine.

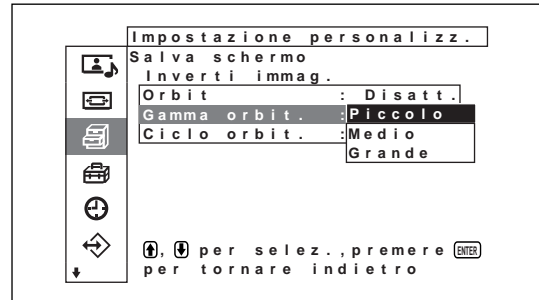
- 5 Selezionare Gamma orbit. (distanza di movimento) o Ciclo orbit. (tempo) tramite \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.

È possibile selezionare i seguenti valori:

Gamma orbit.: Piccolo, Medio, Grande

Ciclo orbit.: 10sec, 30sec, 1min, 5min

Sul pannello del display appare il seguente menu (l'illustrazione si riferisce alla selezione di Gamma orbit.).



- 6 Regolare Gamma orbit. o Ciclo orbit. tramite \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.

Quando Inverti immag. e Orbit. immagine sono impostati su Attivato

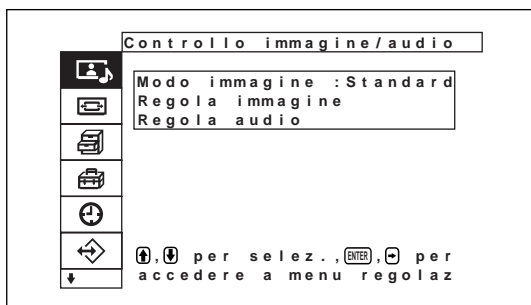
Se la funzione Orbit. immagine è attivata mentre l'immagine è capovolta, questa viene visualizzata mentre cambia posizione.

Consente di visualizzare il display nel modo di risparmio energetico.

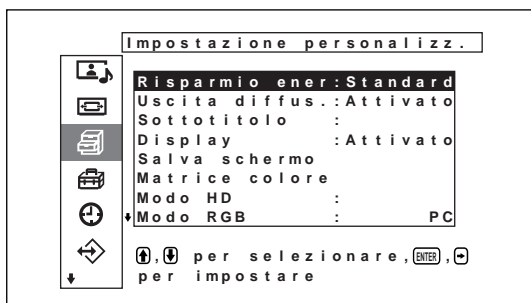
Regolazione della matrice di colore

È possibile impostare la matrice di colore in modo che le immagini vengano visualizzate a colori naturali se l'ingresso di un sintonizzatore digitale BS, di un sintonizzatore CS digitale o di un lettore DVD e così via collegati all'adattatore dell'ingresso componente sono dotati di formato di segnale pari a 480p (525p), 1080i (1125i) o 720p (750p).

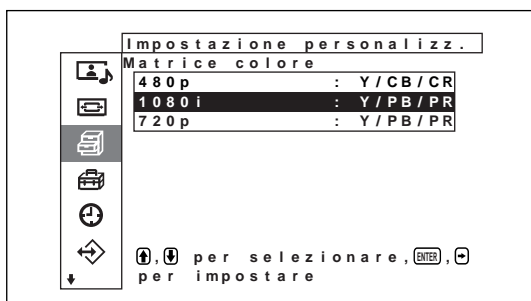
- 1 Premere menu.
Il menu principale compare sul display.



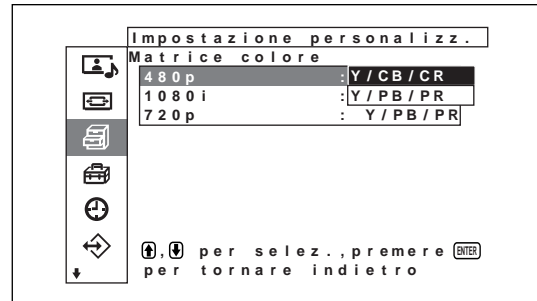
- 2 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su "Impostazione personalizz.", quindi premere ENTER.
Il menu Impostazione personalizz. compare sul display.



- 3 Premere **↑/↓** per spostare il cursore (giallo) su "Matrice colore", quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu sul display.



- 4 Selezionare il formato del segnale mediante **↑/↓**.
Viene visualizzato il seguente menu sul display.



- 5 Selezionare la matrice di colore mediante **↑/↓**.
Y/CB/CR: se il formato del segnale è 480p.
Y/PB/PR: se il formato del segnale è 1080i o 720p.

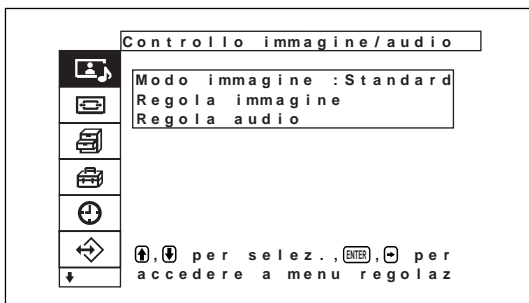
Consultare le istruzioni per l'uso in dotazione con ciascun dispositivo per ulteriori dettagli relativi all'impostazione corretta.

Controllo automatico dell'alimentazione attivata/disattivata (funzione di controllo dell'alimentazione)

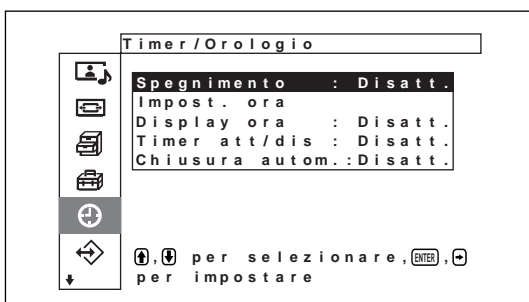
Il presente display dispone di due funzioni di controllo dell'alimentazione. È possibile impostarlo in modo che l'alimentazione venga disattivata automaticamente dopo un determinato periodo di tempo se non vi è nessun segnale di ingresso (funzione Chiusura autom.); oppure è possibile impostare l'ora di attivazione o disattivazione automatica del monitor (Timer att/dis). Inoltre, è possibile utilizzare una funzione di risparmio energetico che consente di disattivare automaticamente l'alimentazione dopo un periodo di tempo prestabilito anche durante l'uso dello schermo.

Funzione spegnimento

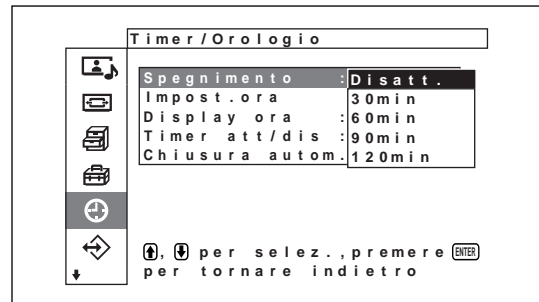
- 1 Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2 Premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Timer/Orologio", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu Timer/Orologio.



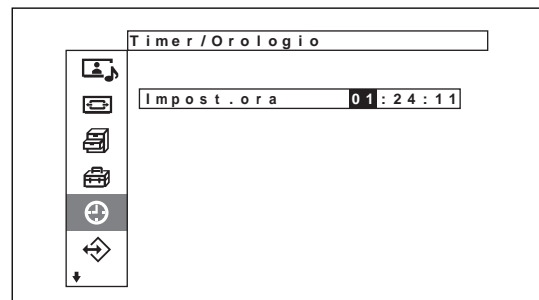
- 3 Premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Spegnimento", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 4 Utilizzando \uparrow/\downarrow , selezionare il periodo di tempo dopo il quale si desidera che l'alimentazione venga disattivata.
Disatt.: l'alimentazione non viene disattivata.
30 min.: l'alimentazione viene disattivata dopo 30 minuti.
60 min.: l'alimentazione viene disattivata dopo 60 minuti.
90 min.: l'alimentazione viene disattivata dopo 90 minuti.
120 min.: l'alimentazione viene disattivata dopo 120 minuti.

Regolazione dell'ora

- 1 Nel menu Timer/Orologio, premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Impost. ora", quindi premere ENTER.
Viene visualizzato il seguente menu e il colore dello sfondo dell'orologio diventa giallo.



- 2 Regolare l'ora mediante \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.
L'impostazione per l'ora viene effettuata e lo sfondo dei minuti viene visualizzato in giallo.
- 3 Regolare nello stesso modo i minuti, quindi premere ENTER.
L'impostazione dei minuti viene effettuata e lo sfondo dei secondi diventa giallo.

4 Premere ENTER.
I secondi vengono azzerati.

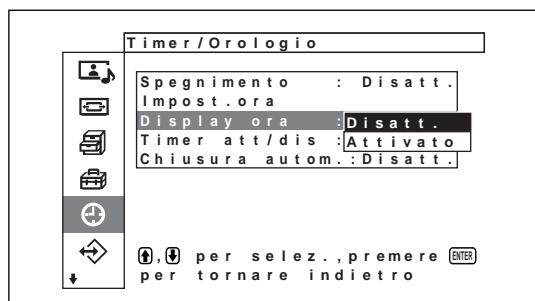
5 Premere MENU.
Il display torna alla schermata normale. Se è necessario effettuare ulteriori regolazioni, oppure se è necessario effettuare di nuovo l'impostazione, ripetere la procedura descritta a partire dal punto 1.

Nota

Se la visualizzazione dell'ora appare troppo lenta, è possibile che la batteria interna si stia scaricando. Per sostituire la batteria, rivolgersi al proprio rivenditore Sony autorizzato.

Visualizzazione dell'ora

1 Nel menu Timer/Orologio, premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Display ora", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.

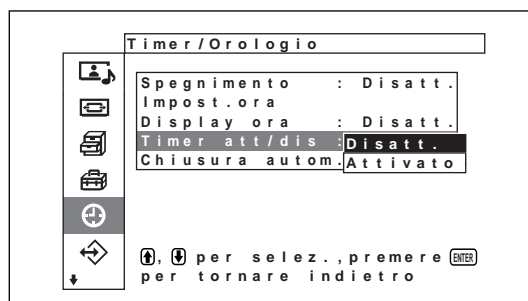


2 Selezionare Attivato mediante \uparrow/\downarrow e premere ENTER.
Quando il menu non è visualizzato, nell'angolo superiore sinistro del display viene visualizzato un orologio.

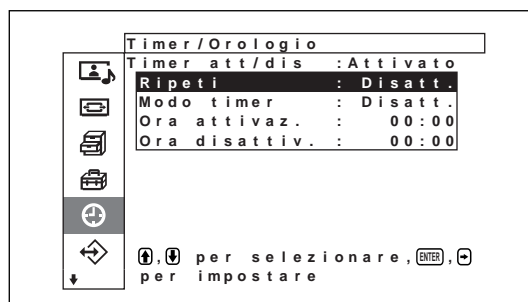
Se viene premuto il tasto DISPLAY sul telecomando, l'orologio visualizzato nell'angolo dello schermo del pannello scompare e vengono visualizzati nella stessa posizione il segnale di ingresso corrente e il Modo immagine. Se viene premuto di nuovo il tasto DISPLAY, viene nuovamente visualizzato l'orologio.

Funzione Timer att/dis

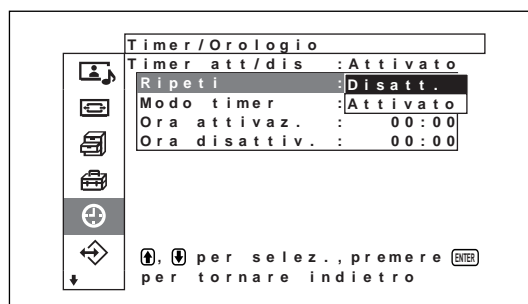
1 Nel menu Timer/Orologio, premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Timer att/dis", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



2 Selezionare Attivato tramite \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



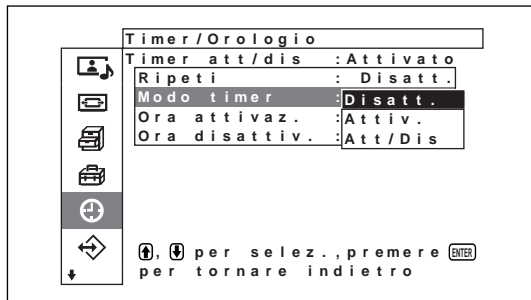
3 Selezionare "Ripeti" utilizzando \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



4 Selezionare il modo di ripetizione utilizzando \uparrow/\downarrow .
Disatt.: l'alimentazione viene attivata/disattivata solo una volta
Attivato: l'alimentazione viene attivata/disattivata alla stessa ora preimpostata ogni giorno.

5 Premere ENTER.
Viene visualizzato di nuovo il menu Timer att/dis.

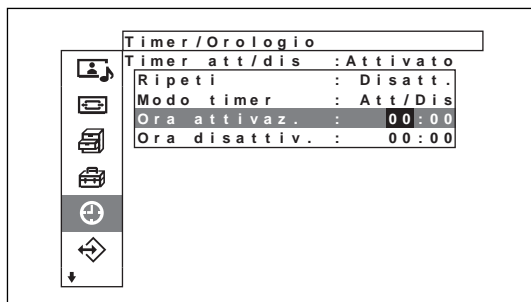
- 6** Selezionare Modo timer tramite \uparrow/\downarrow , quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu.



- 7** Premere \uparrow/\downarrow per selezionare il modo del timer.
Disatt.: l'alimentazione viene disattivata all'ora impostata utilizzando Ora disattiv.
Attiv.: l'alimentazione viene attivata all'ora impostata utilizzando Ora attivaz.
Att/Dis: l'alimentazione viene attivata all'ora impostata utilizzando Ora attivaz. e disattivata all'ora impostata utilizzando Ora disattiv.

- 8** Premere ENTER.
Viene visualizzato di nuovo il menu Timer att/dis.

- 9** Premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Ora attivaz.", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display viene visualizzato il seguente menu e l'area sottostante l'ora diventa di colore blu chiaro.



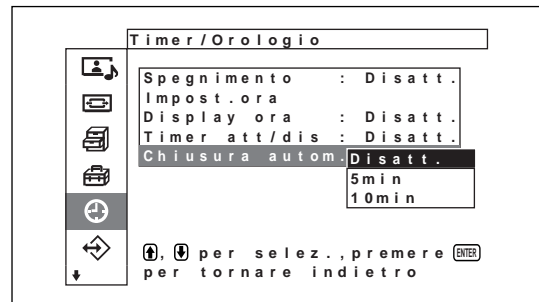
- 10** Premere \uparrow/\downarrow per impostare l'ora, quindi premere ENTER.
Consente di visualizzare il display nel modo di risparmio energetico.

- 11** Premere \uparrow/\downarrow per impostare i minuti, quindi premere ENTER.
Premere \leftarrow per tornare alla schermata visualizzata al punto **2**.
Se vengono utilizzati i tasti sull'apparecchio, premere il tasto MENU per chiudere il menu e impostare [Funzione MENU] (pagina 23 (IT)) nel menu Impostazione iniziale su [Indietro]. Il tasto MENU sull'apparecchio ha la stessa funzione del tasto \leftarrow .

- 12** Premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Ora disattiv.", quindi premere ENTER.
Effettuare la stessa procedura per impostare l'ora e i minuti per l'attivazione dell'alimentazione.

Funzione di risparmio energetico

- 1** Nel menu Timer/Orologio, premere \uparrow/\downarrow per spostare il cursore (giallo) su "Chiusura autom.", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 2** Premere \uparrow/\downarrow per selezionare l'intervallo di tempo che deve trascorrere prima dell'attivazione del modo di risparmio energetico.

Disatt.: per non attivare la funzione di risparmio energetico.

5min: per attivare il modo di risparmio energetico dopo cinque minuti dalla mancata immissione di segnali di ingresso.

10min: per attivare il modo di risparmio energetico dopo dieci minuti dalla mancata immissione di segnali di ingresso.

Se il modo di risparmio energetico è attivato, l'apparecchio entra nel modo di attesa.

Per disattivare la funzione di risparmio energetico

Premere l'interruttore \odot nella sezione interruttore / indicatore \odot (attesa) oppure l'interruttore POWER ON sul telecomando.

Funzione di autodiagnostica

Il presente apparecchio dispone di una funzione di autodiagnostica.

Questa funzione permette di individuare le condizioni del display tramite il modo in cui lampeggia l'indicatore STANDBY. In base al tipo di lampeggiamento è possibile capire le condizioni attuali del display.

Se l'indicatore STANDBY lampeggia, controllare quante volte lampeggia e contattare un rivenditore Sony autorizzato.

1 Controllare il lampeggiamento dell'indicatore STANDBY.

L'indicatore lampeggia (con un'immagine sul display) o lampeggia ad intervalli di tre secondi (senza immagini sul display).

Se l'indicatore lampeggia ad intervalli di tre secondi, contare quante volte lampeggia. Ad esempio, l'indicatore lampeggia due volte, quindi rimane spento per tre secondi, quindi di nuovo due volte e così via. In tal caso, il numero di lampeggiamenti sarà due.

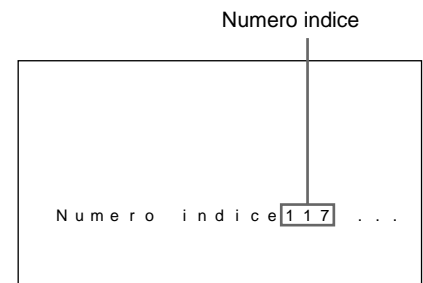
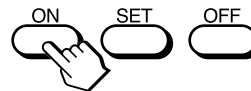
2 Scollegare l'apparecchio. Riferire ad un rivenditore Sony autorizzato il numero di lampeggiamenti.

Utilizzo di un display specifico tramite il telecomando

Tramite il telecomando in dotazione è possibile utilizzare un display specifico senza influenzare altri display installati contemporaneamente.

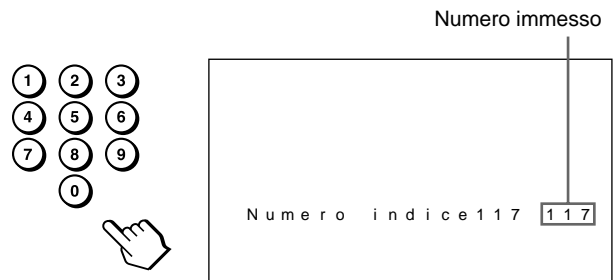
1 Premere ID MODE ON sul telecomando. I numeri di indice del display vengono visualizzati in caratteri bianchi su tutti i display (ad ogni display viene assegnato un numero indice preimpostato da 1 a 255).

Per informazioni sulla modifica del numero indice, vedere "Modifica del numero indice" nella colonna di destra della prossima pagina.

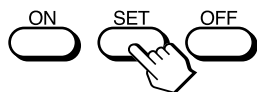


2 Inserire il numero indice del display che si desidera utilizzare utilizzando i tasti da 0 a 9 sul telecomando.

Il numero inserito viene visualizzato accanto al numero indice di ciascun display.



- 3** Premere ID MODE SET.
I caratteri sul display selezionato diventano azzurri mentre gli altri caratteri diventano verdi. Il modo di accensione/attesa si riferisce anche agli altri display.



È possibile utilizzare solo il display specificato (nel modo ID sono disponibili tutte le operazioni ad eccezione dell'attivazione/disattivazione dell'alimentazione).

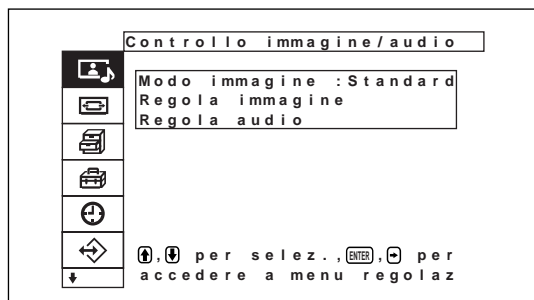
- 4** Una volta completate tutte le modifiche delle impostazioni, premere il tasto ID MODE OFF. Il display torna al modo normale.



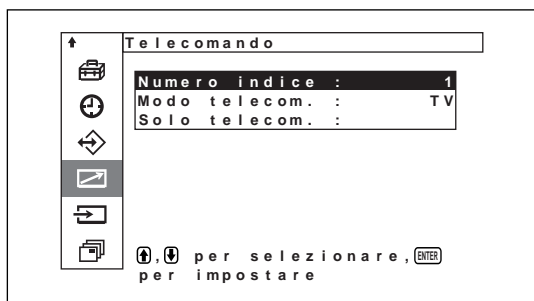
Modifica del numero indice

Se necessario è possibile cambiare il numero indice. Per cambiare il numero, utilizzare i tasti presenti sulla sezione tasti di controllo del display.

- 1** Premere MENU.
Sul pannello del display viene visualizzato il menu principale.



- 2** Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Telecomando", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il menu Telecomando.



- 3** Premere ↑/↓ per spostare il cursore (giallo) su "Numero indice", quindi premere ENTER.
Sul pannello del display appare il seguente menu.



- 4** Selezionare il numero indice tramite ↑/↓, quindi premere ENTER.
Il monitor torna al menu Telecomando.

Utilizzo di altri modelli di telecomando

Quanto descritto di seguito può essere effettuato utilizzando altri modelli di telecomando.

- Attivazione/disattivazione dell'alimentazione
- Selezione dell'ingresso
- Utilizzo dei menu
- Regolazione dell'immagine: contrasto, fase e colore
- Attivazione/disattivazione delle indicazioni a schermo

Le funzioni disponibili e i tasti da utilizzare dipendono da ciascun telecomando che si utilizza. Vedere la seguente tabella.

Modello telecomando		RM-854	RM-921	RM-PJ1001
Impostazione MODO TELEC		TV	TV	PJ
Selezione dell'ingresso	INPUT1	RGB	RGB1	A
	INPUT2	—	RGB2	B
	VIDEO	LINE1	LINE	VIDEO
Utilizzo dei menu	MENU	MENU	MENU	MENU o ←
	ENTER	ENTER	ENTER	ENTER o →
	↑	+	SELECT+↑	↑
	↓	-	SELECT-↓	↓
Regolazione dell'immagine	Contrasto	CONTRAST+/-	—	CONTR+/-
	Colore	CHROMA+/-	—	COLOR+/-
	Fase	PHASE+/-	—	HUE+/-
Informazioni a schermo		DISPLAY	DISPLAY	STATUS ON

Caratteristiche tecniche

Elaborazione video

Segnali preimpostati

vedere a pagina 28 (IT).

Frequenza di campionamento

da 13,5 MHz a 140 MHz

Pannello

Pannello con display al plasma
tipo CA

Risoluzione del display

1365 punti (orizzontale) ×
768 linee (verticale)

Passo dei pixel

0,81 (orizzontale) ×
0,81 (verticale) mm

Dimensioni dell'immagine

1106 (orizzontale) ×
622 (verticale) mm

Dimensioni del pannello

50 pollici (diagonale 1270 mm)

Ingressi e uscite

INPUT1/INPUT2

RGB/YUV

D-sub a 15 piedini (femmina) (×2)
*(vedere "Assegnazione dei
piedini" a pagina 53 (IT).)*

AUDIO

Minipresa stereo
500 mVrms, alta impedenza

DIFFUSORE

7W + 7W (6 ohm), impedenza non
bilanciata diretta : 6-16 ohm

CONTROL S IN/OUT

REMOTE (RS-232C)

D-sub a 9 piedini (×1)

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)¹⁾

COMPOSITE IN

Tipo BNC (×1)
Video composito, 1 Vp-p ±2 dB
sincronismo negativo, a 75 ohm
(terminazione automatica)

Y/C IN

Mini DIN a 4 piedi (×1)

Y (luminanza): 1 Vp-p ±2 dB
sincronismo negativo, con
terminazione a 75 ohm

C (crominanza): segnale di
sincronizzazione 0,286 Vp-p
±2 dB (NTSC), con terminazione
a 75 ohm

Segnale di sincronizzazione
0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), con
terminazione a 75 ohm

AUDIO IN

Minipresa stereo
500 m Vrms, alta impedenza

COMPOSITE OUT

Tipo BNC (×1) a ciclo aperto

Normative sulla sicurezza

UL1950, CSA N. 950 (c-UL), FCC
Class B, IC Class B, EN60 950
(NEMKO), CE, C-Tick

Generali

Requisiti di alimentazione

da 100 a 240 V CA, 50/60 Hz,
5,4 a 2,2 A

Consumo energetico

490 W

Condizioni di utilizzo

Temperatura: da 0 °C a 35 °C
Umidità: da 20% a 90% (senza
formazione di condensa)
Pressione atmosferica: da 700 a
1 060 hPa

Condizioni di conservazione/trasporto

Temperatura: da -10 °C a +40 °C
Umidità: da 20% a 90% (senza
formazione di condensa)
Pressione atmosferica: da 720 a
1 114 hPa

Dimensioni

1 246 × 755 × 100 mm
(l/a/p, escluse le parti sporgenti)

Peso

46,7 kg

1) Il modello PFM-50C1E non dispone dei connettori VIDEO. Se nel monitor è stato installato l'adattatore di ingresso video BKM-B10 (non in dotazione), per il modello PFM-50C1E è possibile trasmettere l'ingresso video composito e l'ingresso Y/C.

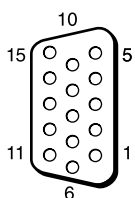
Accessori in dotazione

Cavo di alimentazione CA (1)
 Ferma spina CA (2)
 Fermacavo A (2)
 Fermacavo B (6)
 Telecomando RM-971 (1)
 Pile R6 (formato AA) (2)
 Istruzioni per l'uso (1)

Accessori opzionali

Supporto SU-P50C per display
 Diffusore SS-SP10A
 Adattatore di ingresso video
 BKM-B10

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Assegnazione dei piedini
Connettore RGB/YUV (D-sub a 15 piedini)

N. piedino	Segnale
1	Video rosso oppure R-Y o P _R
2	Video verde o Y o Sinc su verde
3	Video blu oppure B-Y o P _B
4	Terra
5	Terra
6	Terra rosso
7	Terra verde
8	Terra blu
9	Non in uso
10	Terra
11	Terra
12	SDA
13	Sincronismo H o composito
14	Sincronismo V
15	SCL

警告

为避免引发意外的火灾或遭受雷击的危险，请勿将本机置于雨点所及或者潮湿的地方。

输出插座应安装于装置附近使用方便的地方。

目录

使用前须知	5 (CS)
特性	6 (CS)
部件和控制器的位置和功能	7 (CS)
前视图 / 后视图 / 右视图	7 (CS)
⏻ (待机) 开关 / 指示灯部分	8 (CS)
控制键部分 (顶视图)	8 (CS)
连接器面板	9 (CS)
遥控器 RM-971	11 (CS)
小心	13 (CS)
连接	14 (CS)
扬声器的连接	14 (CS)
连接交流电源线	14 (CS)
连接实例	14 (CS)
安装铁素体芯	16 (CS)
使用屏幕菜单	18 (CS)
通过菜单操作	18 (CS)
菜单指南	18 (CS)
观看图像	26 (CS)
切换输入信号	26 (CS)
输入信号、图像模式和 显示器状态信息显示	27 (CS)
切换显示模式	29 (CS)
节能功能	29 (CS)
选择图像质量	30 (CS)
调整图像	30 (CS)
调整对比度、亮度、色度和相位等	30 (CS)
将 Adjust Picture 菜单项目 恢复到初始设定	33 (CS)
图像放大	34 (CS)
设定自动宽屏幕	34 (CS)
设定宽屏幕模式	35 (CS)
调整图像的尺寸和位置	36 (CS)
调整图像的尺寸	36 (CS)
调整图像的位置	36 (CS)

调整像素	37 (CS)
恢复画面控制菜单调整值	37 (CS)
调整音质	38 (CS)
调整高音、低音和均衡等	38 (CS)
将 Adjust Sound (调整音质) 菜单项目	
恢复到其初始设定	38 (CS)
使用存储功能	39 (CS)
存储当前设定	39 (CS)
调用存储的设定	40 (CS)
选择屏幕语言	41 (CS)
屏幕保护功能	41 (CS)
反转图像的色调	41 (CS)
自动改变图像位置	43 (CS)
调整色彩矩阵	43 (CS)
自动控制电源开 / 关 (定时器功能)	44 (CS)
睡眠功能	44 (CS)
调整时间	45 (CS)
显示时间	45 (CS)
开 / 关定时器功能	45 (CS)
节电功能	46 (CS)
自检功能	47 (CS)
用遥控器操作指定的显示器	47 (CS)
使用其他型号遥控器	49 (CS)
规格	50 (CS)

使用前须知

安全方面

- 指示工作电压、功耗等的铭牌位于本机背面。
- 万一有异物或液体进入机内，请拔下本机的电源插头，并经维修人员检查之后方可继续使用。
- 如果数日以上不使用本机，请从墙上电源输出插座拔下本机的电源插头。
- 拔取电源线时，请拿住插头拔出，切勿拉扯电源线。
- 将本机落地安装时，务必使用选购的支架。

安装方面

- 保证良好的空气流通以防内部积热。请勿将本机放在地毯、毛毯等上面或窗帘、帷幔旁边，否则通风孔会受阻。
- 请勿将本机安装在靠近散热器或排气管等热源之处，以及受阳光直射、多尘、有机械振动或冲击之处。
- 在本机周围安装多台装置时，根据本机和其他装置的位置，可能会发生遥控器误操作、图像杂波、噪声等问题。

PDP（等离子体显示面板）

- 有些暗点或亮点（红、蓝或绿）残留在屏幕上，但这并非故障。虽然平面显示屏是精密装置，但在制造过程中仍会出现若干暗的或亮的像素点。屏幕的边缘有暗点，或不规则彩色和亮的条纹并不表示故障。
- 请勿在屏幕上长时间显示相同的图像，否则，图像的某部分可能出现残影和重影。请使用屏幕保护功能补偿屏幕显示器的使用。
- 因为此等离子体显示面板的制造方法，当将它用于高海拔等低气压的地方时，可能会从本机发出嗡嗡的噪音。
- 如果长时间在屏幕上显示相同的图像，图像的某部分可能出现残影和重影。为避免出现此现象，请使用屏幕保护功能以补偿整个屏幕的使用。如果出现重影，请使用屏幕保护功能，或使用某些视频软件或图像软件以在屏幕上提供连续的动作。如果出现轻微重影（残影），效果可能不明显，一旦出现残影，将不会完全消失。
- 为保护等离子显示，在切换至 ON/STANDBY（开/待机）后的一段时间内，本机不从遥控器或本机上的功能键接收指令。操作结束后，请等待大约 8 秒钟再输入指令。

清洁方面

为保持机壳一往如新，请定期用中性洗涤液进行清洁。切勿使用诸如稀释剂或汽油等烈性溶剂或研磨粉，否则会损伤机壳。为安全起见，请在清洁本机前拔下电源插头。

关于显示屏的使用和清洁

当使用或清洁电视机时应特别当心显示屏特殊的表面涂层。清洁时，请用干净的软布擦拭，避免直接接触显示屏。

重新包装方面

请保存原装的纸箱和包装填料，它们是您搬运本机的理想包装箱。将本机搬运到其他地方时，请按照纸箱上的图示重新包装。

如果有关于本机的任何问题，请与授权的 Sony 经销商联系。

特性

PFM-50C1E 是采用 PDP（等离子体显示面板）的 16:9 50 英寸平面显示器，它利用内置扫描转换器可以接收各种类型的信号。

改进的图像质量

PFM-50C1E 使用 1365 点 × 768 行、高精密度等离子体显示面板，可以从各种图像源再现高质量的图像。

Sony 所拥有的数字高图像质量电路

对所有图像信号进行一致的数字处理，实现高质量图像的可靠再现。

音频放大器扬声器

此显示器装备高音质数字式放大器，与选购的扬声器配合使用时，将向您提供更为有效的演示。

其他特性

- 电影驱动器模式功能
- 扬声器输出（L/R）插座
- 控制 S（IN/OUT）
- 两组 RGB/分量输入和一组视频输入。
- 显示带三级同步信号的 HDTV 信号。
- 三维空间梳状滤波器用于 NTSC Y/C 分离。
- 行相关梳状滤波器用于 PAL Y/C 分离。
- 带屏幕指示的自动输入信号检测。
- 与 Windows¹⁾ 95/98 PnP（即插即用）兼容。
- 动态图像功能。
- 屏幕菜单用于各种调整和设定
- 六种语言的屏幕显示便于用户使用。（语言 英语、德语、法语、意大利语、西班牙语和日语）
- 图像尺寸和位置的微调
- 存储功能用于存储多达二十个图像设定。
- ID 控制
- 自检功能
- 遥控（RS-232C）连接器（D 副 9 芯）
- 接受使用 SIRCS 代码的 Sony 红外光遥控器。
- 直立安装
- 封闭字幕解码器
- 屏幕保护功能减少残像或重影。
- 有一个选择插槽供将来扩展用。
插槽选择的转接器便于快速和方便的系统升级。

电源连接警告

请使用适合当地电源的电源线。

PFM-50C1E

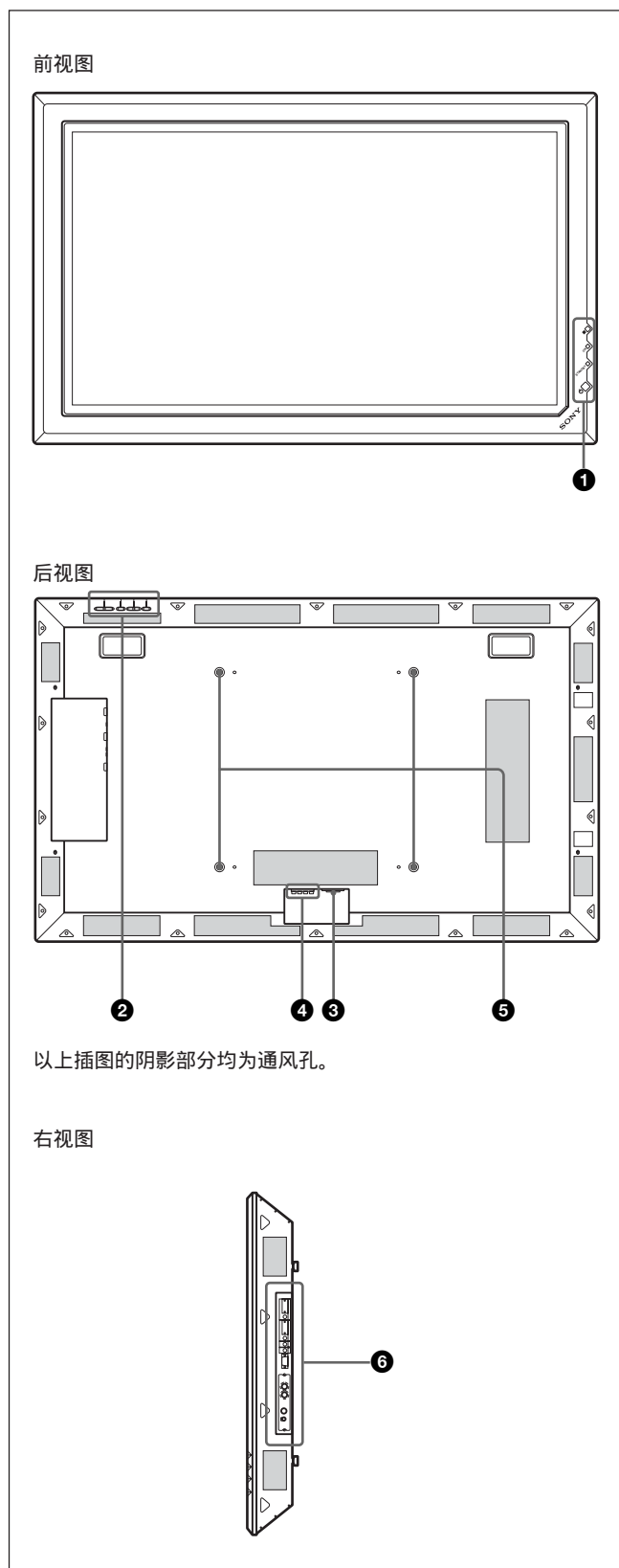
	美国、 加拿大	欧共体		英国、爱尔兰、 澳大利亚、新西兰	日本
插头类型	VM0233	COX-07	636	— ^{a)}	VM1296
阴性端子	VM0089	COX-02	VM0310B	VM0303B	VM1313
电线类型	SVT	H05VV-F		CEE (13) 53rd (O.C)	HVCTF
额定电流和电压	10A/125V	10A/250V		10A/250V	10A/125V
安全合格标准	UL/CSA	VDE		VDE	DENAN-HO

a) 注 请使用适合所在国用的电源插头。

1) Windows 是微软公司的注册商标（美国和其他国家）。

部件和控制器的位置和功能

前视图 / 后视图 / 右视图



❶ (待机) 开关 / 指示灯部分

有关 (待机) 开关 / 指示灯部分的详细说明, 请参见第 8 页上的“(待机) 开关 / 指示灯部分”。

❷ 控制键部分

有关控制键部分的详细说明, 请参见第 8 页上的“控制键部分 (顶视图)”。

❸ ~ AC IN (交流输入) 插座

将附带的交流电源线连接至此插座和墙上插座。一旦连接了交流电源线, STANDBY 指示灯点亮为红色, 本显示器处于待机模式。

有关电源线的详细说明, 请参见第 14 页上的“连接交流电源线”。

❹ SPEAKER OUT (扬声器输出) 插座

当将扬声器 (未附带) 连接至此插座时, 则输出显示于屏幕上的音频分量信号。

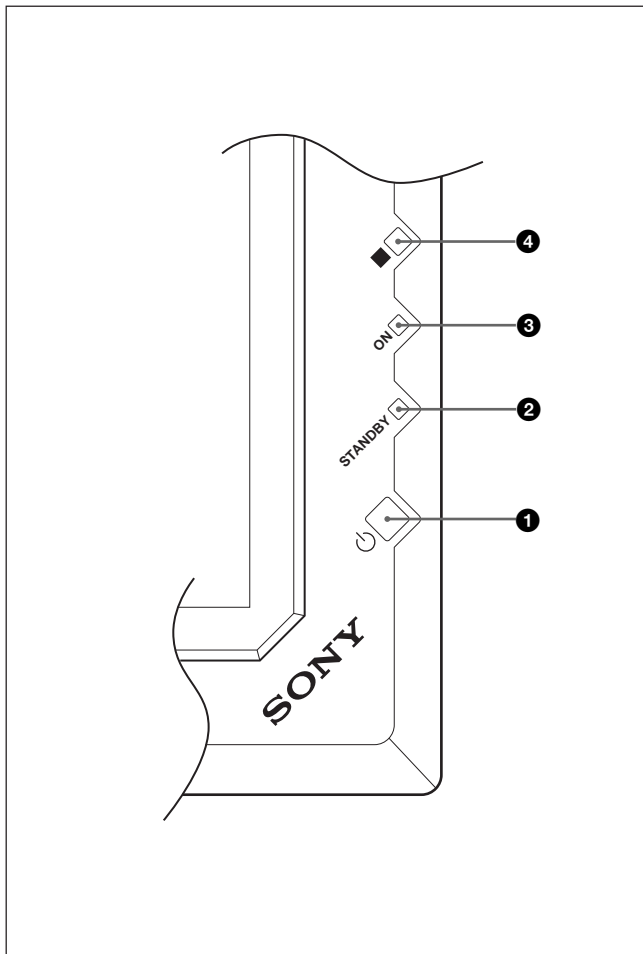
❺ 支架安装挂钩

用这些挂钩安装支架 (未附带)。

❻ 连接器面板

有关连接器面板的详细说明, 请参见第 9 页上的“连接器面板”。

⏻ (待机) 开关 / 指示灯部分



① ⏻ (待机) 开关

按此键打开显示器。再按一下回到待机模式。

注

为保护显示面板，将本机转换为 ON/STANDBY (开 / 待机) 模式需经过一段时间。一项操作结束后约 8 秒钟后，再按此键。

② STANDBY (待机) 指示灯

在待机模式下点亮为红色。

当 STANDBY 指示灯闪烁时，请参见第 47 页上的“自检功能”。

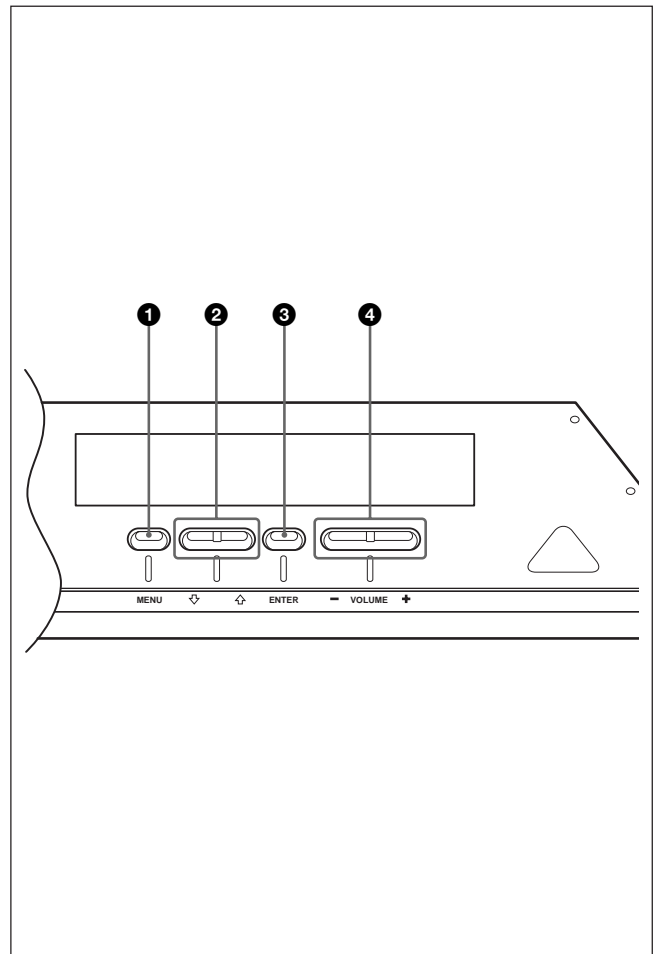
③ ON (开) 指示灯

当显示器打开时点亮为绿色。

④ 遥控检测器

接收来自遥控器的信号。

控制键部分 (顶视图)



① MENU (菜单) 键

按此键使菜单出现。再按一次此键，菜单消失。

使用 MENU 键返回到上一级菜单时，请参见第 23 页上的“Initial Setup (初始设定) 菜单”。

② ↑/↓ 键

按此键在菜单上将光标 (黄色) 移到某个项目或调整数值。

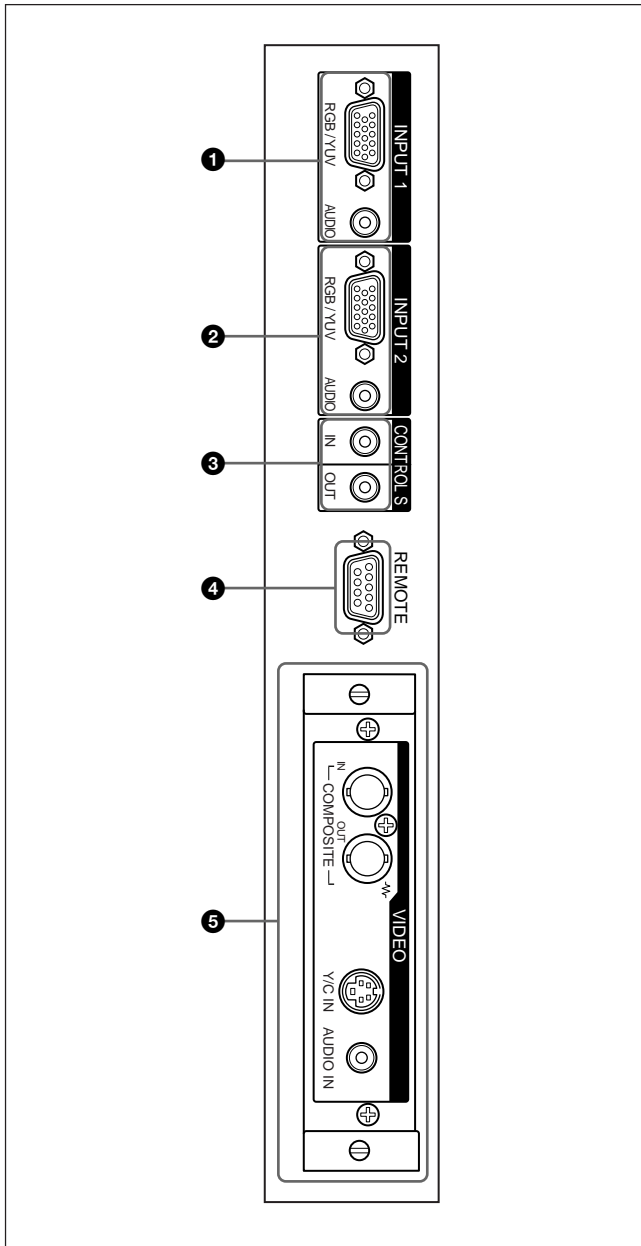
③ ENTER (执行) 键

按此键从显示的菜单上选择所需的项目。

④ VOLUME (音量) +/- 键

按此键调节从扬声器发出的音量。

连接器面板



① INPUT1 (输入 1) 连接器

RGB/YUV (D 副 15 芯) 连接电脑或一台视频装置的 RGB 信号或分量 (YUV) 信号输出。本显示器也接受 HD 模拟分量 (Y/P_B/P_R) 信号。输入这种分量信号时, 请参见第 51 页上的“管脚配置”。

AUDIO (音频) (立体声微型插孔) 输入音频信号。连接电脑或一台视频装置的音频输出。

② INPUT2 (输入 2) 连接器

RGB/YUV (D 副 15 芯) 连接电脑或一台视频装置的 RGB 信号或分量 (YUV) 信号输出。本显示器也接受 HD 模拟分量 (Y/P_B/P_R) 信号。输入这种分量信号时, 请参见第 51 页上的“管脚配置”。

AUDIO (音频) (立体声微型插孔) 输入音频信号。连接电脑或一台视频装置的音频输出。

③ CONTROL S IN/OUT (控制 S 信号输入/输出) 连接器 (微型插孔)

当连接至视频装置或其他显示器的 CONTROL S 连接器时, 可用单个遥控器控制多台装置。连接本显示器的 CONTROL S OUT 端子和其他装置的 CONTROL S IN 端子、本显示器的 CONTROL S IN 端子和其他装置的 CONTROL S OUT 端子。

④ REMOTE (遥控) (RS-232C) 连接器 (D 副 9 芯)

此连接器允许用 RS-232C 规程遥控本显示器。有关详细说明, 请与授权的 Sony 经销商联系。

⑤ VIDEO (视频) 连接器

PFM-50C1E 未配备 VIDEO 连接器。对于 PFM-50C1E, 当 BKM-B10 视频输入转接器 (未附带) 安装在显示器上时, 复合视频和 Y/C 输入信号可以被输入到显示器。

COMPOSITE IN (复合输入) 连接器 (BNC 型): 连接至视频装置上的复合视频信号输出连接器。

COMPOSITE OUT (复合输出) 连接器 (BNC 型): 连接至视频装置上的复合视频信号输入连接器。

Y/C IN (Y/C 输入) 连接器 (微型 DIN 4 芯): 连接至视频装置上的 Y/C 信号输出连接器。

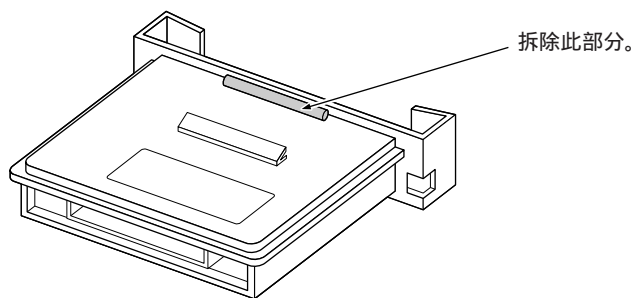
AUDIO IN (音频输入) 连接器 (立体声微型插孔): 输入音频信号。连接至视频装置上的音频输出连接器。

使用以下铁氧体芯, 或相适应的模式, 连接至连接于 INPUT1 或 INPUT2 RGB/YUV 信号连接器的电缆上。

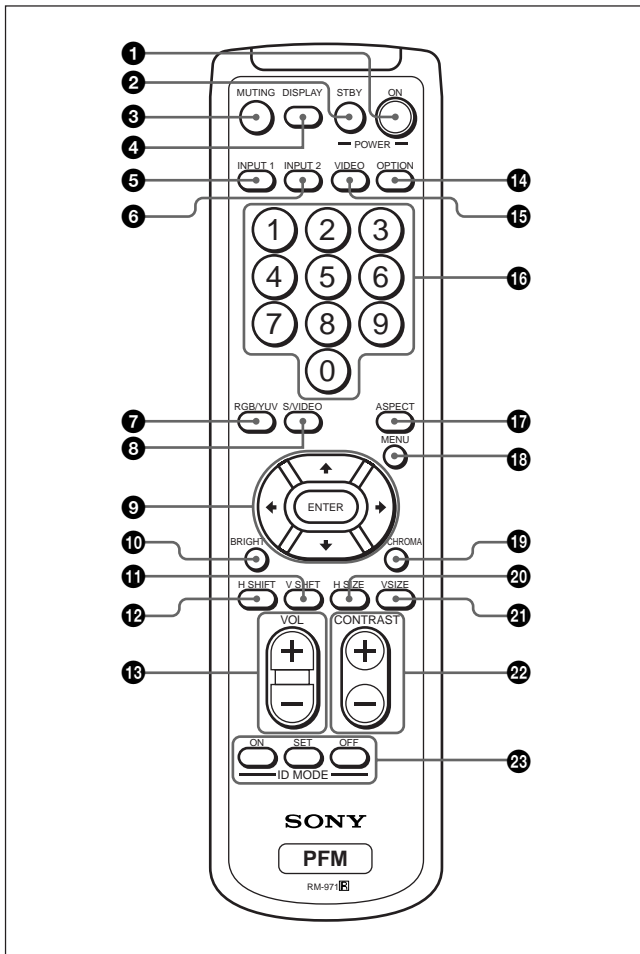
SMF-400 (DSub-Dsub 15P)

MTSB-15HKBB-18 (DSub 15P-BNC)

若使用配有 BKM-B10 (未附带) 的 PFM-50CIE, 并发现屏幕上有横向条纹, 请按照插图将其拆除。



遥控器 RM-971

**① POWER ON (电源接通) 开关**

按此键接通显示器的电源。

② STANDBY (待机) 键

按此键使显示器进入待机模式。

③ MUTING (消音) 键

消去声音。

④ DISPLAY (显示) 键

在显示器屏幕显示输入信号信息和图像模式。再按一下清除。

如果此信息持续显示片刻而未进行任何操作，信息将自动消失。

⑤ INPUT1 (输入 1) 键

从 INPUT1 连接器选择信号输入。

⑥ INPUT2 (输入 2) 键

从 INPUT2 连接器选择信号输入。

⑦ RGB/YUV 键

按此键选择连接于 INPUT1 或 INPUT2 连接器的匹配输入信号的格式。每按一次此键在 RGB 和 YUV 之间转换。

⑧ S/VIDEO (视频) 键

从VIDEO接口的COMPOSITE IN接口或Y/C IN接口选择信号输入。每按一次此键在COMPOSITE IN和Y/C IN之间转换。

⑨ ↑/↓/←/→/ENTER (↑/↓/←/→/输入) 键

↑/↓/←/→键用于移动菜单光标(黄色)和设置设定值等。按ENTER键执行所选菜单或设定内容。

⑩ BRIGHT (亮度) +/- 键

图像模式为“User(用户)1-3”时，调整亮度。按此键，然后用↑/↓或←/→键调节亮度⑨。

⑪ V SHIFT (垂直偏移) 键

调整垂直对中。按此键并用↑/↓键⑨调整垂直对中。

⑫ H SHIFT (水平偏移) 键

调整水平对中。按此键并用↑/↓或←/→键⑨调整水平对中。

⑬ VOLUME (音量) +/- 键

调节音量。

⑭ OPTION (选择) 键

在本机上安装选购的转接器时，请从选购的转接器选择信号输入(BKM - B10除外)。

⑮ VIDEO (视频) 键

从VIDEO接口的COMPOSITE IN接口或Y/C IN接口选择信号输入。

⑯ 数字键

按键输入索引号码。

⑰ ASPECT (纵横比) 键

选择画面的纵横比(缩放模式)。

⑱ MENU (菜单) 键

按此键使菜单出现。再按一下此键，菜单消失。

使用MENU键返回到上一级菜单时，请参见第23页上的“Initial Setup(初始设定)菜单”。

19 CHROMA (色度) 键

当图像模式设定为“User (用户) 1-3”时,用此键调节色度。按此键并用 **↑/↓** 或 **←/→** 键 **9** 调节色度。

20 H SIZE (水平尺寸) 键

调整水平图像尺寸。按此键并用 **↑/↓** 键 **9** 调整水平图像尺寸。

21 V SIZE (垂直尺寸) 键

调整垂直图像尺寸。按此键并用 **↑/↓** 键 **9** 调整垂直图像尺寸。

22 CONTRAST (对比度) +/- 键

图像模式为“用户 1-3”时,用于调整对比度。

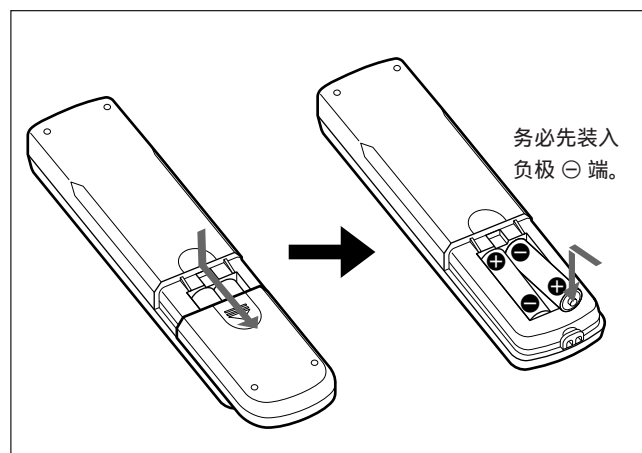
23 ID MODE (ID 模式) (ON/SET/OFF) (开/设定/关) 键

按 ON 键使索引号码出现在屏幕上。然后使用数字键 **16** 输入所要操作的本显示器的索引号码并按 SET 键。结束操作后,按 OFF 键从 ID 模式恢复到普通模式。

有关索引号码的详细说明,请参见第 47 页上的“用遥控器操作指定的显示器”。

安装电池

按正确的极性装入两节 AA 尺寸 (R6) 电池。



- 在通常操作下,电池最长可使用半年。如果遥控器操作异常,电池可能即将耗尽。请更换新电池。
- 为避免因电池漏液而造成损坏,如果长时间不使用遥控器,请取出电池。

遥控器不起作用时

检查 STANDBY 指示灯是否点亮; Remote 菜单中的 Remote Mode 是否未设定为 OFF。只有在具备以下两个条件下遥控器才能操作显示器。

- 显示器电源接通,或其处于待机状态。
- Remote 菜单中的 Remote Mode 被设定为 TV 或 PJ。

有关 Remote Mode 的详细说明,请参见第 24 页上的“Remote (遥控) 菜单”。

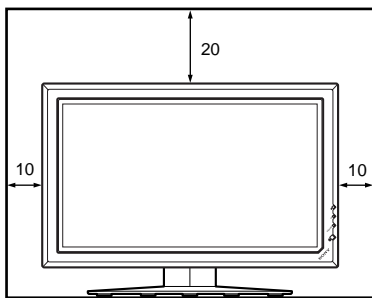
小心

在显示器周围留出足够的空间

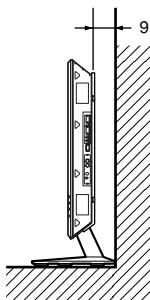
- 使用显示器时，请确保在本机周围有比下列图示尺寸大的空间。这将保证正常通风。
- 环境温度必须在 0°C 至 +35°C 范围中。
- 请使用 SU-P50C 显示器支架（未附带）作为支架。
- 有关支架、螺丝和螺栓等硬件的安装，我们无法指定应使用的规格，因为其安装是由当地经授权的经销商进行的。有关安装的事宜，请与有资格的 Sony 经销商联系。
- 本机电源打开时，有些零件可能会发热，引起燃烧。显示器电源打开时，或刚进入待机状态后，请勿触摸本机的顶部或背面。

使用支架（未附带）时

前视图



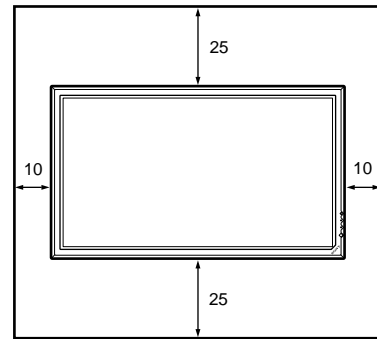
侧视图



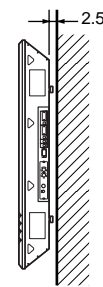
单位 cm

水平安装显示器时

前视图



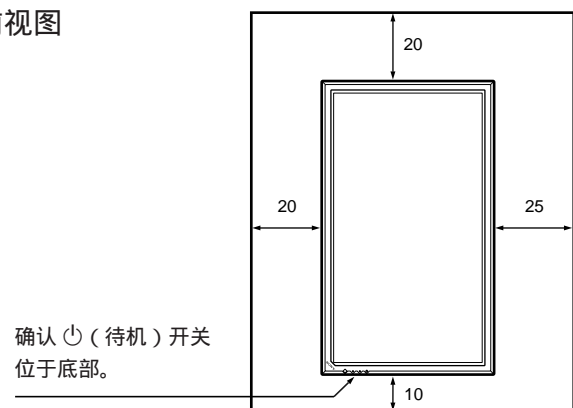
侧视图



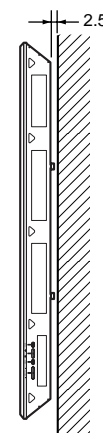
单位 cm

垂直安装显示器时

前视图



侧视图



单位 cm

关于图像残影

如果长时间地显示 **1** - **5** 图像（下面），因等离子体显示面板的特点，在屏幕的局部将会产生残影（重影）。在以下 **A** - **D** 步骤可能会减少重影的产生。

可能造成内部烧毁和图像残影的情况

- 1** 输入宽幅视频时黑色条带出现在顶部和底部（信箱电影）
- 2** 4:3 纵横比视频输入时左侧和右侧出现黑色条带（正常播放）
- 3** 输入游戏图像
- 4** 显示 DVD 屏幕菜单
- 5** 如 DSS、电缆箱、录像机等连接装置的屏幕菜单、频道号码等

避免造成内部烧毁和图像残影

- A** 使用自动入轨的“Screen Saver”功能。
- B** 避免出现如 DSS、电缆箱、录像机等连接装置的屏幕菜单、频道号码等。要消除频道号码、屏幕菜单，详情请参阅所连接的装置的使用指南。
- C** 用“Wide Zoom”或“Full Mode”功能以减小图像和/或视频输入显示的亮度。
- D** 用“Screen Saver”的“Pic.Inversion”（图像倒置）功能可能会减少镜像重影。

关于“Screen Saver”的“Pic. Inversion（图像倒置）”

如果显示的图像如同胶卷的底片，“Screen Saver”的“Pic.Inversion（图像倒置）”可能设定为“Auto”或“On”。要转换为正常图像，选择“Off”或在“Auto”中重新设定具体时间。图像打开时，Pic.Inversion（图像倒置）图像的色彩倒转（白变成黑，黑变成白）并且纠正图像残影（残影）。图像倒置时图像看起来像胶卷的底片。这并非故障。

连接

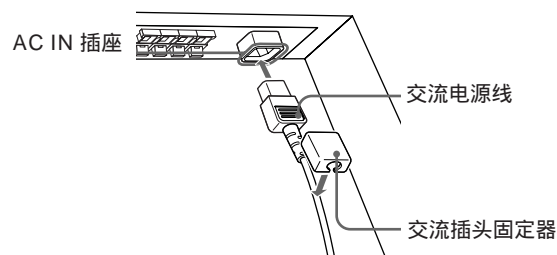
扬声器的连接

连接扬声器，可欣赏到更有临场感的图像。

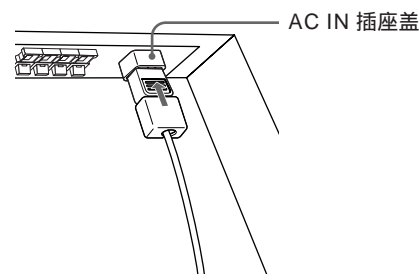
务请正确连接扬声器。有关连接扬声器的详细说明，请参见扬声器附带的使用说明书。

连接交流电源线

- 1** 将交流电源线插入 AC IN 插座。然后，将交流插头固定器（附带）装在交流电源线上。



- 2** 将交流插头固定器沿着电源线滑动直至连接到 AC IN 插座盖上。



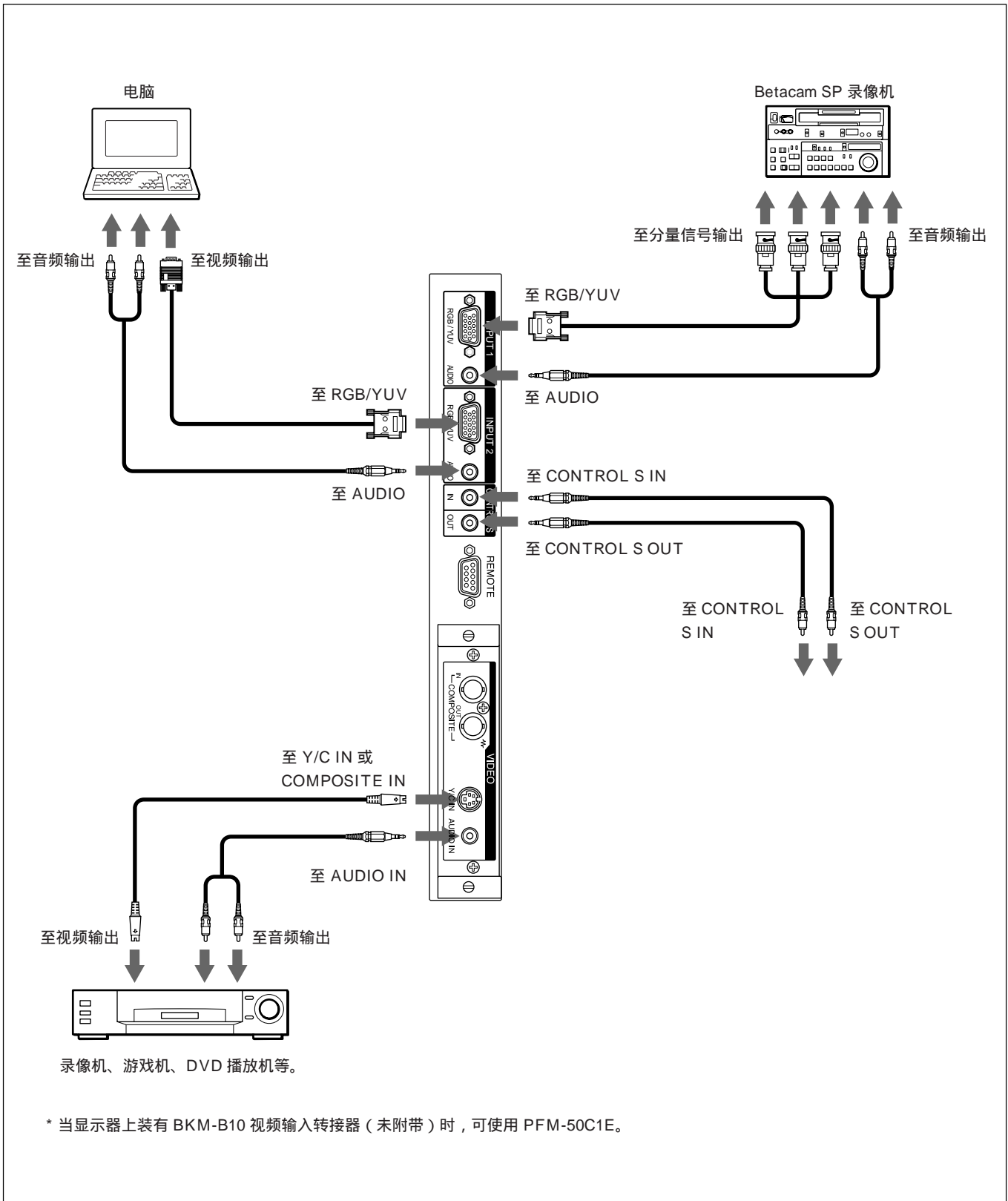
要拔下交流电源线时

捏住交流插头固定器并将其释放，然后抓住插头并拔下交流电源线。

连接实例

开始之前

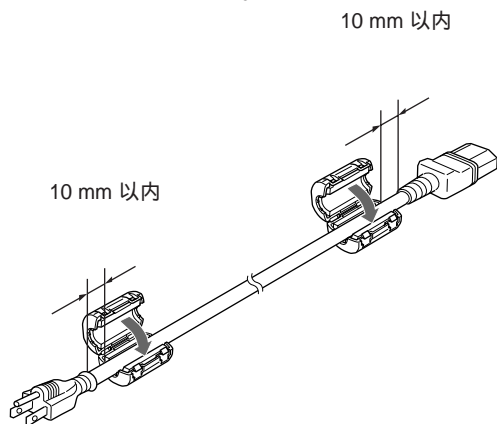
- 首先请确认各装置的电源已关闭。
- 请使用适合所连接装置的连接电缆。
- 电缆连接器应完全插入插孔。松动的连接可能引起啸叫和其他噪音。
- 要拔下电缆时，请拿住插头拔，切勿拉扯电缆。
- 请参阅所连接装置的使用说明书。
- 请将插头牢固地插入 AC IN 插座。
- 请使用其中一个交流插头固定器（附带）以便稳固地固定交流插头。



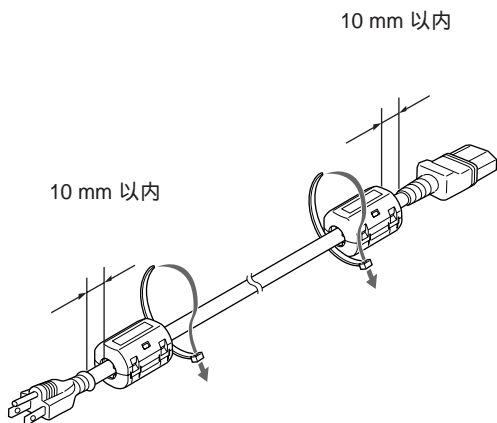
安装铁素体芯

连接至交流电源线时

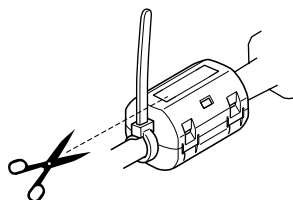
- 1 将铁素体芯安装在交流电线的两端并合上铁素体芯直至发出喀嗒声。



- 2 将止动器绕在电线上使铁素体芯无法滑动。

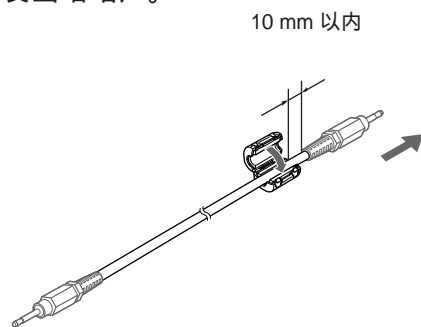


- 3 紧固止动器并将多余部分剪断。

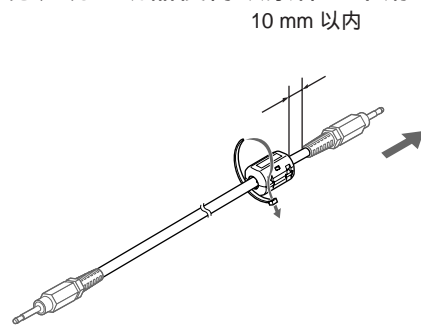


连接至电缆时

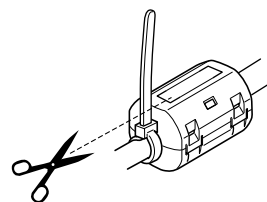
- 1 将铁素体芯连接于靠近本装置的电缆一端，直至其发出喀嗒声。



- 2 将电缆缠绕止动器使得铁素体芯不滑动。



- 3 拉紧制动器并剪除多余部份。



注

- 用 RGB/YUV 连接器将本机连接至装置的各部位时，请用专用电缆。

SMF-400 (D-Sub 15P-5BNC)

SMF-410 (D-Sub 15P-D-Sub 15P)

- 当将电缆连接至以下任一接口时，请在使用电缆前安装铁素体芯。

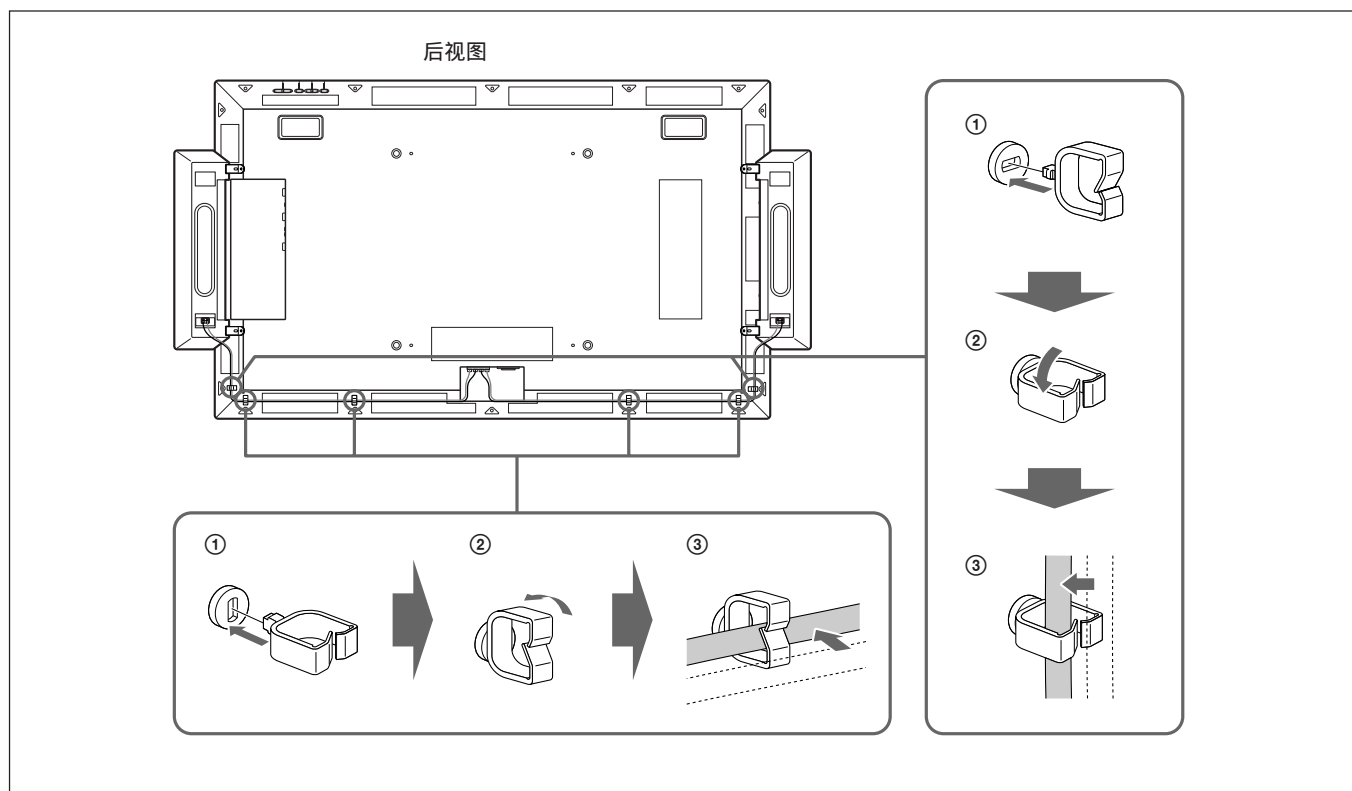
AUDIO (INPUT1)

AUDIO (INPUT2)

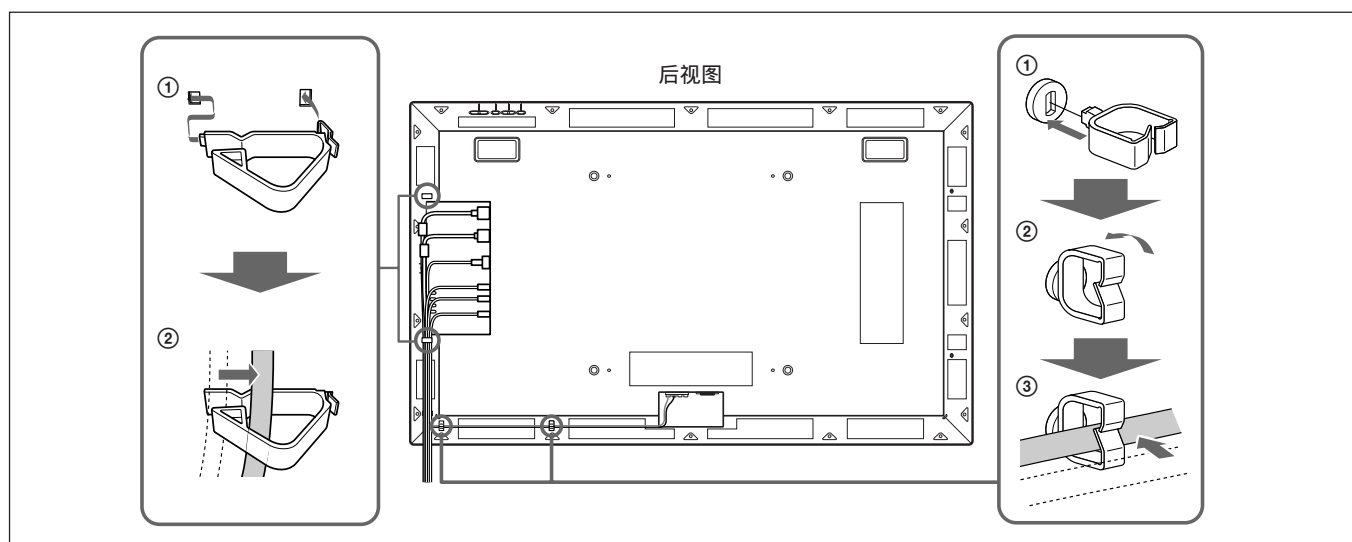
- 请注意，如果不将铁素体芯安装在连接线上，本装置不符合 EMC 限定。

使用电缆夹

可用附带的电缆夹 B (6 个) 有效地捆扎扬声器电缆。请按下图所示的方法安装电缆夹。



若不使用扬声器，可以用附带的电缆夹 A (×2) 和电缆夹 B (×2) 将不用的电缆捆扎好。请按插图安装电缆夹。

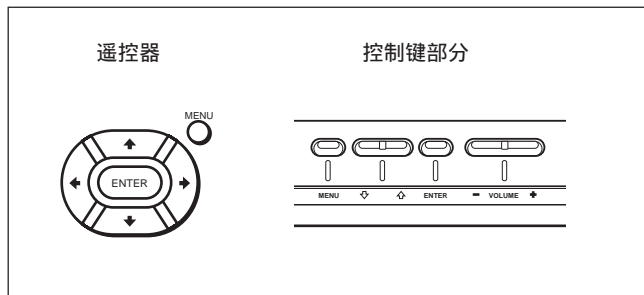


使用屏幕菜单

通过菜单操作

菜单操作键

使用显示器或遥控器上的键用于菜单操作。



本使用说明书用遥控器进行操作说明。遥控器上的 \uparrow/\downarrow 键及 ENTER 键与主机上的 \uparrow/\downarrow 键及 ENTER 键具有相同的功能。

注

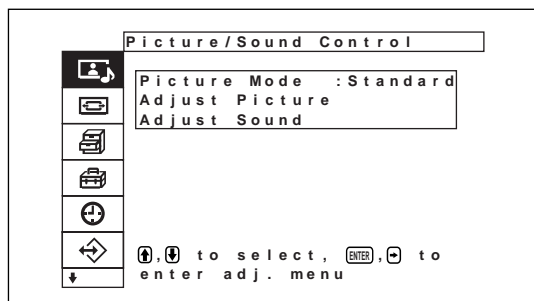
主机上没有 \leftarrow/\rightarrow 键，因此，部分操作有不同之处。

菜单结构

要选择用于菜单的语言时，请参见第 41 页。

1 按 MENU 键。

主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 \uparrow/\downarrow 键移动光标（黄色）并按 ENTER 键选择菜单。

光标移至下一个菜单。

3 按 \uparrow/\downarrow 键移动光标（黄色）并按 ENTER 键选择项目。

所选项目的菜单出现在显示器屏幕上。

当显示下一个菜单时，同样会选择该设定。

4 按 \uparrow/\downarrow 键调整或选择设定并按 ENTER 键设定。

设定被登记而且菜单返回到前面的菜单。

要返回到普通屏幕时，请按 MENU 键。

要在菜单级之间移动时，请使用 \leftarrow/\rightarrow 键。

若要使用 MENU 键在菜单级之间移动时，请参见第 23 页上的“菜单功能”。

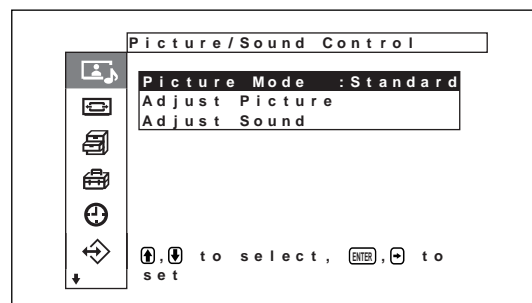
菜单指南

注

无法用输入信号设定或调整的项目带有灰黑色背景。此外，在画面下方将显示“无法调整”字样。

Picture/Sound Control (图像 / 声音控制) 菜单

调节显示于显示器上的图像质量和图像的声音质量。



Picture Mode (图像模式)

设定符合环境亮度或式样的图像质量模式。

有关详细说明，请参见第 30 页上的“选择图像质量”。

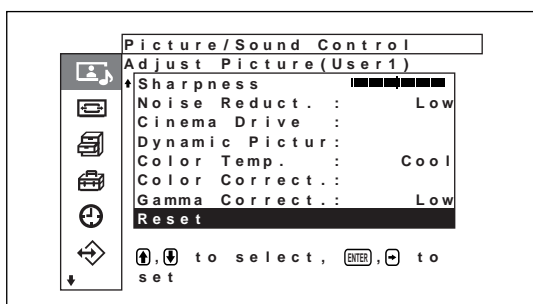
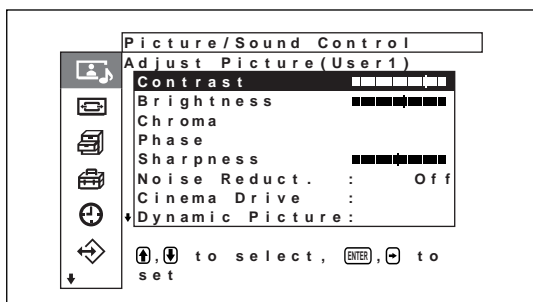
Adjust Picture (图像调整) 菜单

此菜单用于调整图像。

可用 User (用户) 1-3 菜单调整图像质量以符合您的需要。

注

在 Standard (标准) 模式或 Dynamic Picture (动态图像) 模式下无法调整图像质量。



Contrast (对比度)

按 ↑/→ 键增大对比度, 按 ↑/← 键减小对比度。

Brightness (亮度)

按 ↑/→ 键使图像变亮, 按 ↑/← 键使图像变暗。

Chroma (色度)

按 ↑/→ 键增大色彩饱和度, 按 ↑/← 键减小彩色饱和度。

Phase (相位)

按 ↑/→ 键使整个图像发绿, 按 ↑/← 键使其发红。

Sharpness (锐度)

按 ↑/→ 键增大图像的轮廓校正, 按 ↑/↓ 键减小该值。

Noise Reduct. (减噪)

设定等级以将图像颗粒和色彩噪音减至四个等级 (“Off”, “Low”, “Mid”, 和 “High”) 之一。

有关详细说明, 请参见第 31 页上的 “Noise Reduct.”。

Cinema Drive (电影驱动器)

当此项目被设为自动时, 则会以具有动画特点的平滑动作来再现图像。

有关详细说明, 请参见第 31 页上的 “Cinema Drive”。

Dynamic Picture (动态图像)

增强对比度, 使白色更亮, 黑色更暗。

有关详细说明, 请参见第 31 页上的 “Dynamic Picture”。

Color Temp. (色温)

改变色温。

有关详细说明, 请参见第 32 页上的 “Color Temp.”。

Color Correct. (色彩校正)

设定为 ON 时, 可再见美丽、健康的色彩。

有关详细说明, 请参见第 33 页上的 “Color Correct.”。

Gamma Correct. (伽马校正)

可将图像亮部和暗部的均衡设为三个等级

(“High”, “Mid” 和 “Low”) 之一。

有关详细说明, 请参见第 33 页上的 “Gamma Correct.”。

Reset (复位)

将 Adjust Picture (调整图像) 菜单项目恢复至出厂设定。

有关使用复位功能的详细说明, 请参见第 33 页上的 “将 Adjust Picture 菜单项目恢复到初始设定”。

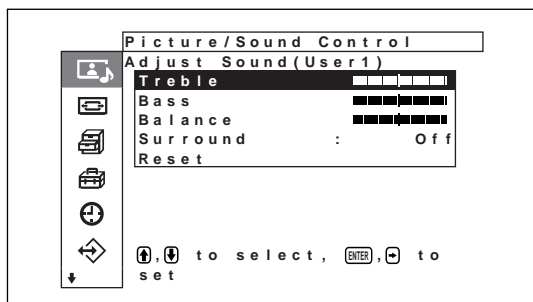
Adjust Sound (调整声音) 菜单

通过简单处理便可迅速调节声音质量。

当图像质量模式被设定为 User (用户) 1-3 时, 可以根据需要调节声音质量。

注

Picture Mode (图像模式) 为 “Standard” (标准) 或 “Vivid” (逼真) 时无法调整声音质量。



Treble (高音)

按 **↑/→** 键增强高音, 按 **↓/←** 键减弱高音。

Bass (低音)

按 **↑/→** 键增强低音, 按 **↓/←** 键减弱低音。

Balance (均衡)

在按 **↑/→** 键增大右侧音量的同时, 按 **↓/←** 键增大左侧音量。

Surround (环绕声)

可将环绕声功能设定为四种音响效果 (“Off”, “Hall” 和 “Sim”) 之一。

有关详细说明, 请参见第 38 页上的 “Surround”。

Reset (复位)

将 Adjust Sound (调整音质) 菜单项目恢复其出厂设定。

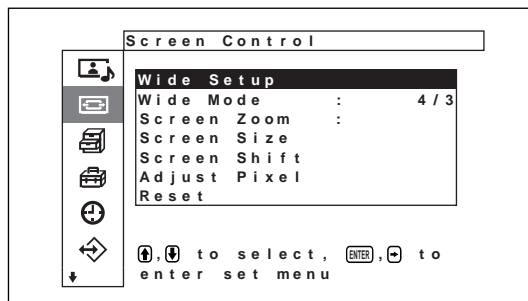
有关使用复位功能的详细说明, 请参见第 38 页上的 “将 Adjust Sound (调整音质) 菜单项目恢复到其初始设定”。

Screen Control (画面控制) 菜单

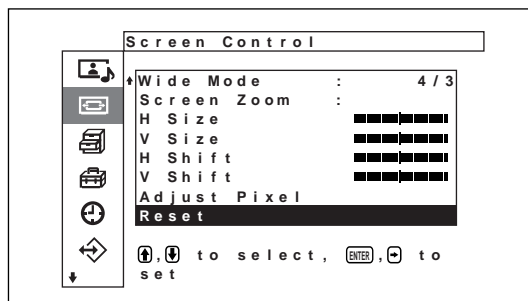
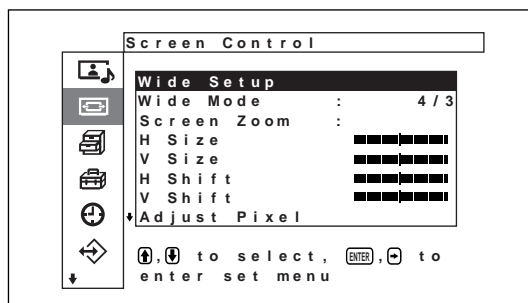
此菜单用于重新确定图像的尺寸和位置。

画面控制菜单的画面和操作方法依 MENU Function (菜单功能) 的设定而异。

MENU Function (菜单功能) 设为 “On/Off” (开/关) (出厂设定) 时



MENU Function (菜单功能) 设为 “Return” (返回) 时



Wide Setup (宽屏幕设定)

设定自动宽屏幕功能。利用自动宽屏幕功能可令您从普通电视广播、宽屏幕清晰图像或宽屏幕图像 (均有不同比例的水平和垂直显示) 中进行选择, 并以 16:9 纵横比自动地将图像放大到宽屏幕图像, 以最恰当地显示不同类型的图像。

有关详细说明, 请参见第 34 页上的 “设定自动宽屏幕”。

Wide Mode (变焦模式)

切换宽屏幕显示以符合图像的尺寸和类型。

有关详细说明, 请参见第 35 页上的 “设定宽屏幕模式”。

Screen Zoom (屏幕画面变焦)

依次将图像放大 2 倍、3 倍和 4 倍。

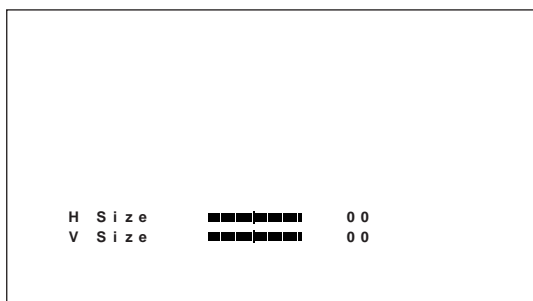
注

仅在 Wide Mode (宽屏幕模式) 设为 “Restore” 时才能扩大。

Screen Size (画面尺寸) 菜单

此菜单用于调整图像尺寸。

此菜单仅在 MENU Function (菜单功能) 设为 “On/Off (开/关)” 时才显示。



H Size (水平尺寸)

调整水平图像尺寸。按 **➡** 键放大水平尺寸，按 **⬅** 键缩小水平尺寸。

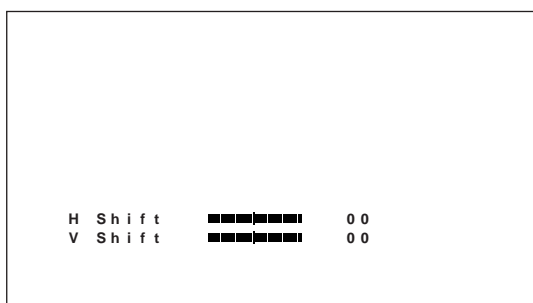
V Size (垂直尺寸)

调整垂直图像尺寸。按 **⬆** 键放大垂直尺寸，按 **⬇** 键缩小垂直尺寸。

Screen Shift (画面偏移) 菜单

此菜单用于调整图像对中。

此菜单仅在 MENU Function (菜单功能) 设为 “On/Off (开/关)” 时才显示。



H Shift (水平偏移)

调整水平对中。按 **➡** 键向右移动图像，按 **⬅** 键向左移动图像。

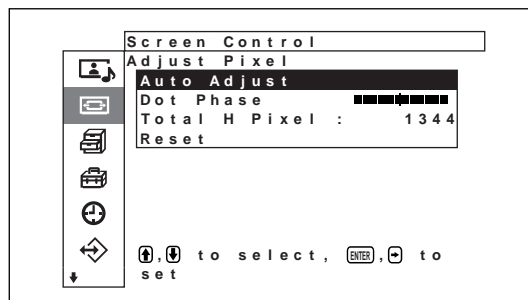
V Shift (垂直偏移)

调整垂直对中。按 **⬆** 键向上移动图像，按 **⬇** 键向下移动图像。

Adjust Pixel (调整像素) 菜单

此菜单用于调整图像像素。

仅在接收到电脑信号时才能调整。



Auto Adjust (自动调整)

自动调整点相位和水平像素的总数。

有关详细说明，请参见第 37 页上的“调整像素”。

Dot Phase (点相位)

调整点相位。按 **⬆/➡** 键增加点相位，按 **⬇/⬅** 键减少点相位。

Total H Pixel (总水平像素)

调整水平像素的总数。按 **⬆/➡** 键增加像素数，按 **⬇/⬅** 键减少像素数。

Reset (复位)

将 Pixel Adjust (像素调整) 菜单项目恢复至其出厂设定。

有关使用复位功能的详细说明，请参见第 37 页上的“将 Adjust Pixel (调整像素) 菜单项目恢复到其初始设定”。

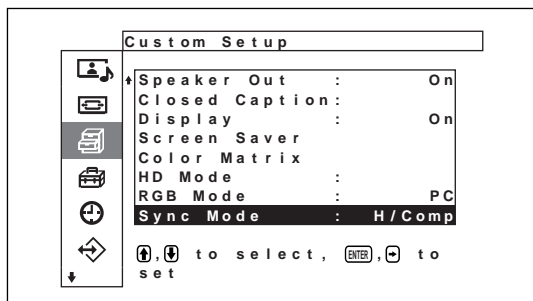
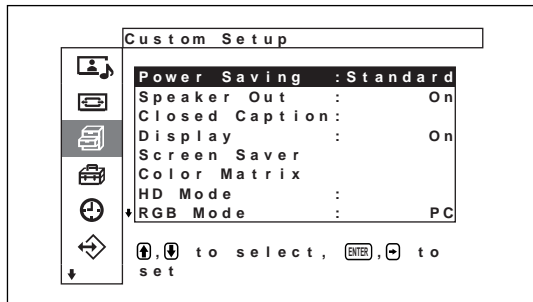
Reset (复位)

将 Screen Control (画面控制) 菜单项目恢复至其出厂设定。

有关使用复位功能的详细说明，请参见第 37 页上的“恢复画面控制菜单调整值”。

Custom Setup (用户设定) 菜单

减少电源消耗或设定屏幕保护等等。



Power Saving (节电)

用于在节电状态下观看屏幕。

有关详细说明, 请参见第 29 页上的“节能功能”。

Speaker Out (扬声器输出)

当此项目设为开时, 扬声器 (SS-SP10A 未附带) 便发出声音。

Closed Caption (封闭字幕)

显示封闭字幕。

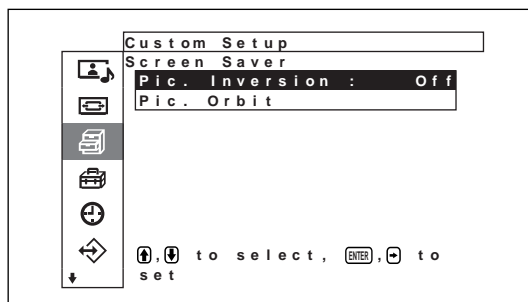
有关详细说明, 请参见第 29 页上的“显示封闭字幕”。

Display (显示器)

打开电源或切换输入信号时, 选择 ON 在显示面板的底部显示输入信号信息约 5 秒钟。

Screen Saver (屏幕保护) 菜单

校正或防止因在屏幕上长时间显示相同图像而导致的重影或残像引起的损坏。



Pic. Inversion (图像翻转)

设定屏幕保护功能以翻转图像的色调。

有关详细说明, 请参见第 41 页上的“屏幕保护功能”。

Pic. Orbit (图像移动)

设定屏幕保护功能, 在已过预定时间后自动移动图像的显示位置。

有关详细说明, 请参见第 41 页上的“屏幕保护功能”。

Color Matrix (色彩矩阵)

设定色彩矩阵, 以使从外接装置输入分量信号时以自然的色调显示图像。

有关详细说明, 请参见第 43 页上的“调整色彩矩阵”。

HD 模式

根据输入到选购转接器 D 端子的分量输入 1、分量输入 2 的 HD 模拟分量信号来设定模式。

1080i 连接至 BS 数字调谐器时

1035i 连接至高清晰视频装置 (基带) 或其他传统的高清晰装置。

注

- 无法在该模式下进行选购板的设定。
- BKM-B11 D-4 连接器被设定为 [1080i]。

RGB 模式

当输出 RGB 信号的装置连接于输入 1 和输入 2 的 RGB/YUV 端子时, 设定模式。

DTV 连接至 RGB 信号数字调谐器等时

PC 连接至电脑等时

注

无法在该模式下进行选购板的设定。

同步模式

根据在输入 1 和输入 2 的 RGB/YUV 端子的芯 13 所输入的信号设定模式。信号只能设定为 575/50i 或 480/60i。

H/Comp 当输入水平信号或复合同步信号*时

Video 当输入视频信号或复合同步信号*时

*根据复合信号电平，图像显示可能不正常。遇此情况时，请改变同步模式设定。

输入信号和同步模式设定

芯	D - Sub 的信号输入	同步模式设定
13	480/60i, 575/50i 复合视频	视频信号
	复合同步	
	复合同步	
13/14	H 同步/V 同步	同步信号
2	绿色同步	

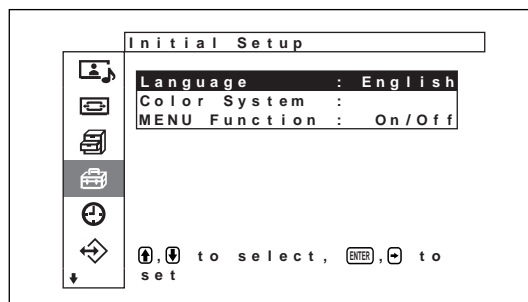
有关输入 1 和输入 2 的 RGB/Y 接口的管脚配置，请参阅“管脚配置”一节（第 51 页）。

注

- 当本机设定为同步信号时，即使输入 COMPOSITE SYNC 信号，图像可能仍不显示。遇此情况时，请改变同步模式设定。
- 对于同步模式设定，INPUT1 和 INPUT2 可以单独设定，但如果本机变换至与设定要求不同的输入，可能不输出信号。遇此情况时，请改变同步模式设定以适合各个输入连接器的输入信号，然后改变输入信号。
- 有些输入只能选择同步信号。这时，即使通过 13 芯连接器输入视频信号，图像也无法显示。通过 13 或 14 芯连接器输入水平/垂直同步信号，或通过 RGB 连接器输入 Sync On Green 信号。
- 采用 Syne On Green 时，如果本机未设定为接收同步信号，图像将不显示。
- 同步模式设定不能用选购板进行。
- 本机未提供“三值同步”复合同步和 576/50P。

Initial Setup (初始设定) 菜单

选择菜单显示的语言或信号源、菜单键的功能等等。



Language (语言)

选择屏幕语言（日语，英语，德语，法语，西班牙语或意大利语）。

有关详细说明，请参见第 41 页上的“选择屏幕语言”。

Color System (彩色制式)

选择输入信号。

Auto (自动) 显示 NTSC、PAL、SECAM/

NTSC4.43 或 NTSC/PAL-M/PAL-N 信号

NTSC 显示 NTSC 信号

NTSC4.43 显示 NTSC4.43 信号

PAL 显示 PAL 信号

SECAM 显示 SECAM 信号

PAL-M 显示 PAL-M 信号

PAL-N 显示 PAL-N 信号

PAL60 显示 PAL60 信号

彩色制式设为“Auto”（自动）时，设定在下一级可进一步进行自动检测的 Color System（彩色制式）。

- 自动检测 NTSC/PAL/SECAM/NTSC4.43。
- 自动检测 NTSC/PAL-M/PAL-N

注

仅当接收视频信号时才能进行此项设定。

菜单功能

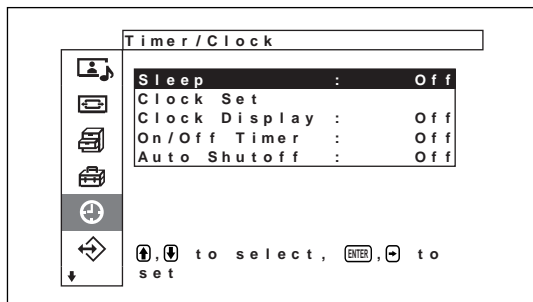
按菜单键时选择操作。

On/Off (开/关) 每次按菜单键，菜单显示均会在“开”和“关”之间切换。

Return (返回) 每次按菜单键，光标均会返回上一级。

Timer/Clock (定时器 / 时钟) 菜单

设定时刻和定时器，显示时间或设定何时电源自动打开或关闭。



Sleep (睡眠)

当已过预设时间时自动关闭电源。睡眠时间可设为 30、60、90 或 120 分钟。

有关详细说明，请参见第 44 页上的“睡眠功能”。

Clock Set (时钟设定)

设定时间。

有关详细说明，请参见第 45 页上的“调整时间”。

Clock Display (时钟显示)

设为启动时在屏幕上显示设定时间。

有关详细说明，请参见第 45 页上的“显示时间”。

On/Off Timer (开 / 关定时器)

设定电源自动打开或关闭的时间。

有关详细说明，请参见第 45 页上的“开 / 关定时器功能”。

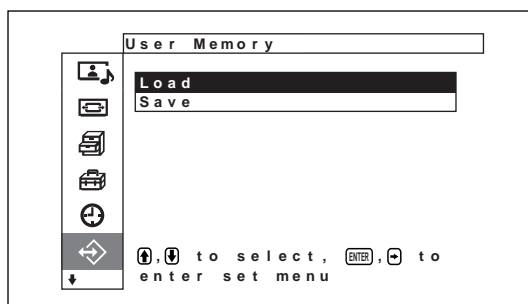
Auto Shutoff (自动关机)

显示器在预定的时间内未输入信号时会自动关闭电源。

有关详细说明，请参见第 46 页上的“节电功能”。

User Memory (用户存储) 菜单

此菜单用于保存或调用 Picture/Sound Control (图像 / 声音控制) 和 Screen Control (画面控制) 菜单中的设定。



有关详细说明，请参见第 39 页上的“使用存储功能”。

Load (调用)

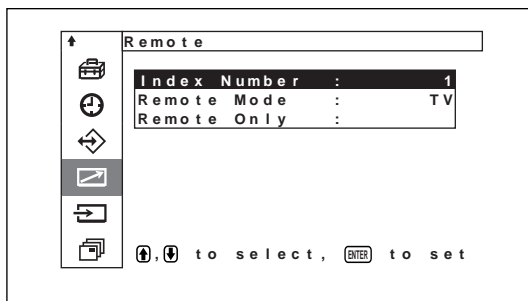
调用预先设定。

Save (保存)

保存设定。

Remote (遥控) 菜单

此菜单用于遥控设定。



Index Number (索引号码)

设定显示器的索引号码。

注

设定号码时，使用显示器上的键。无法使用遥控器设定。

有关索引号码的详细说明，请参见第 47 页上的“用遥控器操作指定的显示器”。

Remote Mode (遥控模式)

选择 Remote Commander (遥控器) 模式。

TV (电视机) Sony 显示器或电视机的遥控器

PJ (投影机) Sony 投影机的遥控器

Off (关) 遥控器不起作用。

注

改变遥控器模式时，请使用显示器上的键。无法用遥控器上的键改变遥控器模式。

有关详细说明，请参见第 49 页上的“使用其他型号遥控器”。

Remote Only (仅限于遥控器)

选择 ON 使显示器前面板控制键无效。显示器只能由遥控器控制。

要取消 Remote Only 模式时，请用遥控器将“Remote Only”设定为 OFF。

注

拨下交流电源线或用遥控器打开 / 关闭显示器时此项目的设定仍然保留。

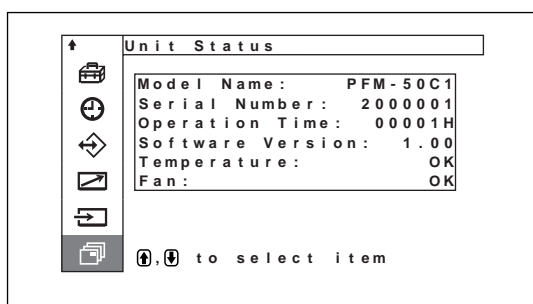
➡ Input Select Menu (输入选择菜单)

此菜单用于切换输入信号。

有关切换输入信号的详细说明，请参见第 26 页上的“切换输入信号”。

📄 Unit Status (显示器状态) 菜单

此菜单用于显示显示器的内部状态。



Model Name (机型名称)

指出机型名称。

Serial Number (序号)

指出序号。

Operation Time (工作时间)

指出工作的总小时数。

注

待机模式不计为工作时间的一部分。

Software Version (软件版本)

指出系统软件版本。

Temperature (温度)

指出显示器的内部温度是否正常。

OK 正常

NG 异常

当内部温度异常时，NG 显示出来，而且此项目以红色闪烁。⏻ (待机) 开关 / 指示灯部分上的 STANDBY 指示灯也闪烁。

注

当通风孔受堵塞或在通风不良的场所使用显示器时，可能会显示“NG”信息，并闪烁呈红色。这时，请检查通风处是否受堵塞，并将显示器安装在通风良好的地方。如果此信息仍然出现，请与授权的 Sony 经销商联系。

当 STANDBY 指示灯闪烁或显示 NG 时，请参见第 47 页上的“自检功能”。

Fan (风扇)

冷却风扇内置于本显示器中。此项目表示冷却风扇是否正常工作。

OK 正常

NG 异常

冷却风扇工作异常时，NG 显示出来，而且此项目以红色闪烁。⏻ (待机) 开关 / 指示灯部分上的 STANDBY 指示灯也闪烁。

注

• 若显示“NG”并闪烁呈红色，请与购买本机的经销商或附近的 Sony 维修部联系。

当 STANDBY 指示灯闪烁或显示 NG 时，请参见第 47 页上的“自检功能”。

• 冷却风扇检测显示器的内部温度并控制风扇的旋转。如果环境温度高，风扇速度增加，风扇噪声也将增大。

观看图像

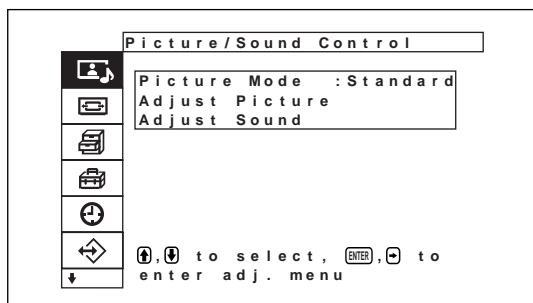
开始之前

- 接通显示器的电源。
- 接通所连接装置的电源并播放视频源。
- 若要在接通电源或切换输入时在屏幕上显示输入信号信息和图象模式，将 Custom Setup (用户设定) 菜单中的“Display”项目设定为 ON。
- 要选择菜单所使用的语言时，参见第 41 页。

切换输入信号

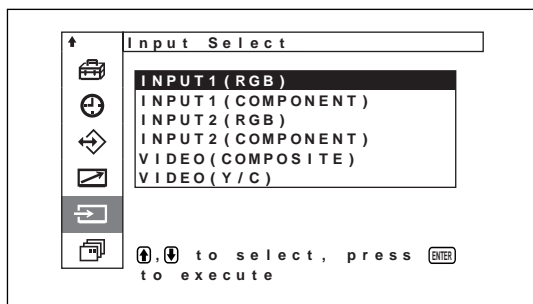
1 按 MENU 键。

主菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标 (黄色) 移到“Input Select”处并按 ENTER 键。

Input Select 菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标 (黄色) 移到所要显示的输入源处并按 ENTER 键。

INPUT1 (RGB) 当输入信号是 RGB 信号时，选择 INPUT1 连接器的音频和视频信号输入。

INPUT1 (COMPONENT) 当输入信号是分量信号时，选择 INPUT1 连接器的音频和视频信号输入。

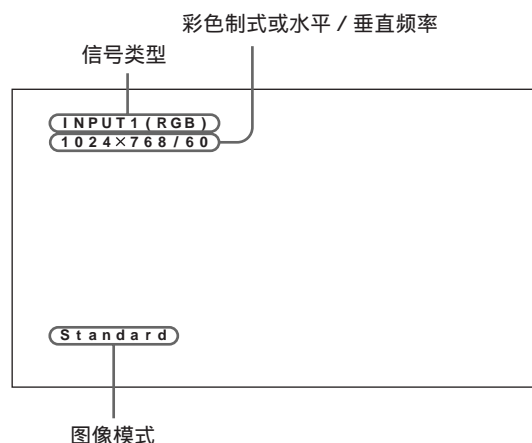
INPUT2 (RGB) 当输入信号是 RGB 信号时，选择 INPUT2 连接器的音频和视频信号输入。

INPUT2 (COMPONENT) 当输入信号是分量信号时，选择 INPUT2 连接器的音频和视频信号输入。

VIDEO (COMPOSITE) 选择 VIDEO 连接器中 COMPOSITE IN 接口和 AUDIO IN 插孔的音频和视频信号输入。

VIDEO (Y/C) 选择 VIDEO 连接器中 Y/C IN 接口和 AUDIO IN 插孔的音频和视频信号输入。

所选的输入信号出现在显示器屏幕上。



您也可以用遥控器切换输入信号。

注

- 我们建议输入源视频装置装备 TBC (时基校正器)。如果显示器接收不带 TBC 的信号，则图像可能会因同步信号的干扰而消失。
- 如果从多剖街输入相同格式的信号，Picture Quality (图像质量) 设定将预设至最近的设定值 (仅当信号格式相同时)。

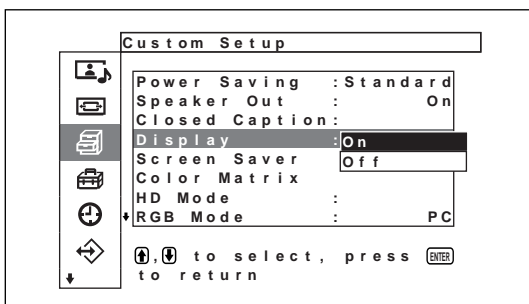
输入信号、图像模式和显示器状态信息 显示

在接通电源或切换输入信号时，输入信号、图像模式和显示器状态信息在显示器屏幕上显示约 5 秒钟。

要取消此功能时，按以下步骤操作。

- 1 在 Custom Setup (用户设定) 菜单上，按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “Display” 处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 按 **↑/↓** 键将 Display 设定为 OFF 并按 ENTER 键。

要显示信息时

在上述步骤 2 中将 Display 设定为 ON。出厂设定为 ON。

注

无论上述设定如何，只要按遥控器上的 DISPLAY 键，随时可以显示输入信号信息和时间。

预设输入信号			
	信号名称	彩色制式或水平 / 垂直频率	
电脑信号			
1	VGA ^{a)} -1 (VGA 350)	31.5kHz	70.1Hz
2	640×350@85Hz (VESA ^{b)} STD)	37.9kHz	85.1Hz
3	640×400@85Hz (VESA STD)	37.9kHz	85.1Hz
4	640×480@60Hz (VESA STD)	31.5kHz	59.9Hz
5	Mac ^{c)} 13"	35.0kHz	66.7Hz
6	640×480@72Hz (VESA STD)	37.9kHz	72.8Hz
7	640×480@75Hz (VESA STD)	37.5kHz	75.0Hz
8	640×480@85Hz (VESA STD)	43.3kHz	85.0Hz
9	852×480@60Hz (I/O DATA) ^{d)}	31.7kHz	60.0Hz
10	VGA (VGA TEXT)	31.5kHz	70.1Hz
11	720×400@85Hz (VESA STD)	37.9kHz	85.0Hz
12	800×600@56Hz (VESA STD)	35.2kHz	56.3Hz
13	800×600@60Hz (VESA STD)	37.9kHz	60.3Hz
14	800×600@72Hz (VESA STD)	48.1kHz	72.2Hz
15	800×600@75Hz (VESA STD)	46.9kHz	75.0Hz
16	800×600@85Hz (VESA STD)	53.7kHz	85.1Hz
17	Mac 16"	49.7kHz	74.6Hz
18	1024×768@60Hz (VESA STD)	48.4kHz	60.0Hz
19	1024×768@70Hz (VESA STD)	56.5kHz	70.1Hz
20	1024×768@75Hz (VESA STD)	60.0kHz	75.0Hz
21	1024×768@85Hz (VESA STD)	68.7kHz	85.0Hz
22	1152×864@75Hz (VESA STD)	67.5kHz	75.0Hz
23	Mac 21"	68.7kHz	75.1Hz
24	1280×960@60Hz (VESA STD)	60.0kHz	60.0Hz
25	1280×960@85Hz (VESA STD)	85.9kHz	85.0Hz
26	1280×1024@60Hz (VESA STD)	64.0kHz	60.0Hz
27	1280×1024@75Hz (VESA STD)	80.0kHz	75.0Hz
28	1280×1024@85Hz (VESA STD)	91.1kHz	85.0Hz
29	1600×1200@60Hz (VESA STD)	75.0kHz	60.0Hz
30	856×480@60Hz (Matrox) ^{e)}	30.2kHz	60.0Hz
31	856×480@59.6Hz (Matrox) ^{e)}	30.1kHz	59.6Hz
32	856×480@60.1Hz (Matrox) ^{e)}	30.1kHz	60.1Hz
SDTV/HDTV			
1	PAL	PAL	
2	NTSC	NTSC	
3	SECAM	SECAM	
4	NTSC4.43	NTSC4.43	
5	PAL60	PAL60	
6	PAL-M	PAL-M	
7	PAL-N	PAL-N	
8	575/50i	575/50I	
9	480/60i	480/60I	
10	1080/24psf	1080/48I	
11	1080/50i	1080/50I	
12	576/50p	576/50P	
13	480/60p	480/60P	
14	1080/60i	1080/60I	
15	720/60p	720/60P	

- a) VGA 是美国国际商用机器公司的注册商标。
- b) VESA 是视频电子标准协会的注册商标。
- c) Mac (Macintosh) 是苹果电脑公司的注册商标。
- d) 此项目仅在使用 I-O DATA 公司的图形加速器板时有效。
- e) 此项目仅在使用 Matrox Graphics 公司的图形卡时有效。

注

- 输入 HDTV 信号时，将三级同步信号输入至 INPUT1 或 INPUT2 (D 副 15 芯) 连接器的第 2 管脚。
- 输入以分辨率显示在第 29 号项目中的电脑信号时，在 Screen Control (画面控制) 菜单上将 H Size、H Shift、V Size 和 V Shift 设定为标准 (00) 并将 Zoom Size 设定为 Reset ，否则图形可能振荡。
- 如果在 PFM-50C1E 中输入 DVD 信号后图像色彩过于暗淡，则请在 Adjust Picture (调整图像) 菜单中调整 “ Chroma ” 设定中的色彩。
- 当调整相位时，分辨率将下降。

显示器状态的实际屏幕显示

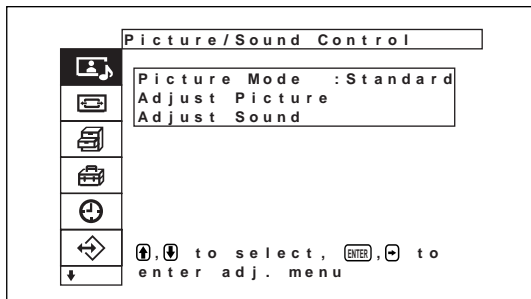
屏幕显示	含义
640×480 / 60 (例)	所选的输入信号为电脑 RGB。
525 / 60 (例)	所选的输入信号为分量视频。
NTSC (例)	所选的输入信号为 NTSC。
OTHERS	输入信号超出获取范围。
NO SYNC	无输入信号。
INPUT1 (RGB)	INPUT1 的信号模式被设定为 RGB。
INPUT1 (YUV)	INPUT1 的信号模式被设定为分量视频。
VIDEO (COMPOSITE)	选择用于 VIDEO 的复合视频输入。
VIDEO (Y/C)	选择用于 VIDEO 的 Y/C 视频输入。

切换显示模式

显示封闭字幕

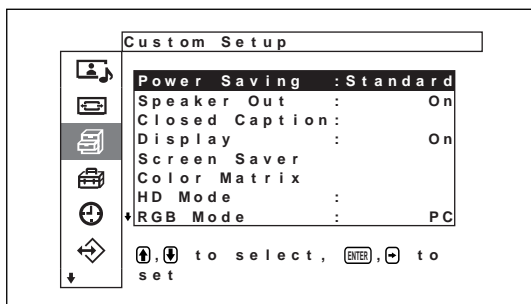
1 按 MENU 键。

主菜单出现在显示器屏幕上。



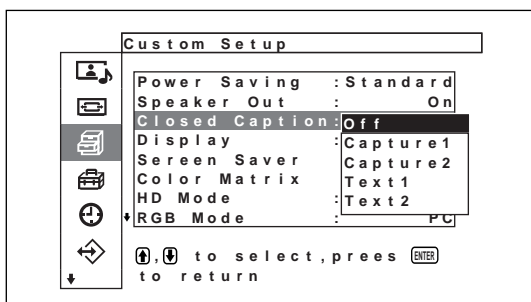
2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “ Custom Setup ” 处并按 ENTER 键。

Custom Setup（用户设定）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “ Closed Caption ” 处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 用 ↑/↓ 键选择字幕类型。

Off（关） 不显示字幕。

Capt1（字幕 1） 在图像上显示字幕 1。

Capt2（字幕 2） 在图像上显示字幕 2。

Text1（文字 1） 在黑色背景下显示字幕 1。

Text2（文字 2） 在黑色背景下显示字幕 2。

5 按 MENU 键。

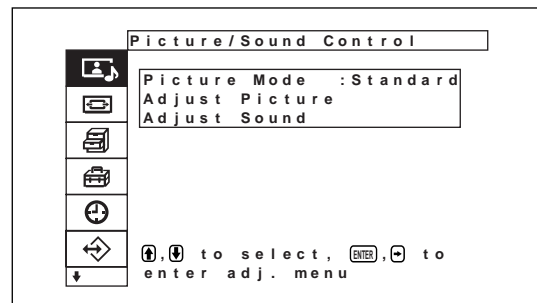
菜单恢复到 Custom Setup（用户设定）菜单。

节能功能

此功能可以使您在节能时观看显示器。

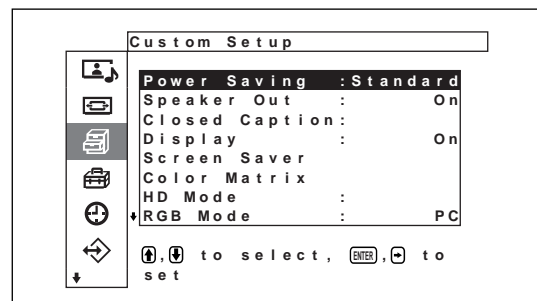
1 按 MENU 键。

主菜单出现在显示器屏幕上。



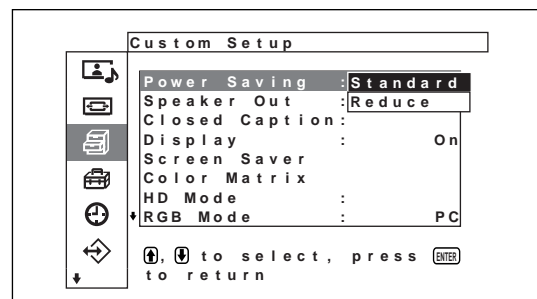
2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到 “ Custom Setup ” 处并按 ENTER 键。

Custom Setup（用户设定）菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移动到 “ Power Saving ” 处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 按 ↑/↓ 键选择节电模式。

Standard：不节能

Reduce：节能

启动节电功能后，屏幕亮度会降低，在节能时可以观看显示器。

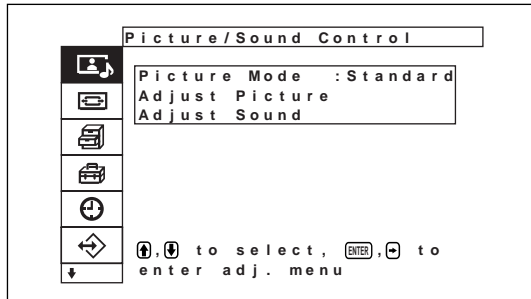
注

- 选择“Power Saving:Reduce”并关闭电源时，下次打开电源时相同设定仍有效。
- 在图象质量模式下选择 User（用户）1-3 时，虽然已设定“Power Saving:Reduce”，但仍可调整图象质量。但若提高对比度或亮度，则可能会使节电功能失效。

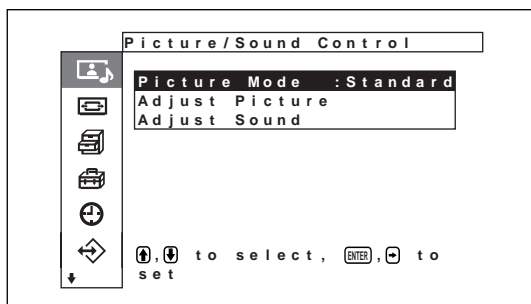
选择图像质量

可根据图像类型和环境亮度选择图像质量。

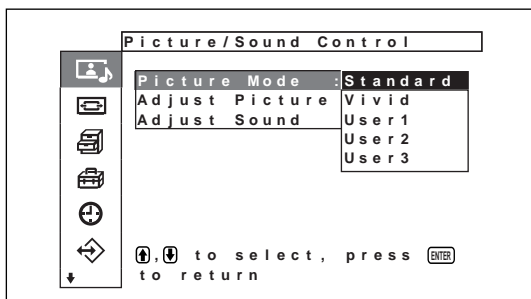
- 按 MENU 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。



- 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Picture/Sound Control”处并按 ENTER 键。
Picture/Sound Control（图像/声音控制）菜单出现在显示器屏幕上。



- 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Picture Mode”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 用 ↑/↓ 键选择图像模式并按 ENTER 键。
Standard 通过适当的对比度和轮廓调整，可以获得很高的图像质量。
Vivid 此设定可使图像具有很强的锐度，将图像轮廓和对比度设为其最大值。
User1-3 可用 Adjust Picture（调整图像）菜单根据需要设定图像质量。

调整图像

可以在观看图像的同时调整对比度、亮度、色度、相位等以适合您的喜好。可以分别对各个输入信号进行调整。也可以将调整值存储在存储器中。请将 Picture Mode（图像模式）设为“User1-3”中的一种。

调整对比度、亮度、色度和相位等

按 MENU 键使主菜单出现在显示器屏幕上并从 Adjust Picture（调整图像）菜单调整“Contrast”、“Brightness”、“Chroma”、“Phase”、“Sharpness”、“Noise Reduct”、“Cinema Drive”、“Dynamic Picture”、“Color Temp”、“Color Correct”或“Gamma Correct”。

Contrast

用 ↑/↓ 键选择“Contrast”并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（0）至 MAX（255）的范围中调整对比度。

- ↑/→ 增大图像对比度
- ↓/← 减小图像对比度

Brightness

用 ↑/↓ 键选择“Brightness”并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN（-128）至 MAX（+127）的范围中调整亮度。

- ↑/→ 使图像变亮
- ↓/← 使图像变暗

Chroma

用 **↑/↓** 键选择 “Chroma” 并按 ENTER 键。
用 **↑/↓/←/→** 键在 MIN (- 128) 至 MAX (+ 127) 的范围中调整色度。

- ↑/→** 增大图像色度
- ↓/←** 减小图像色度

Phase

用 **↑/↓** 键选择 “Phase” 并按 ENTER 键。
用 **↑/↓/←/→** 键在 RED (- 128) 至 GREEN (+ 127) 的范围中调整相位。

- ↑/→** 使整个图像发绿
- ↓/←** 使整个图像发红

Sharpness

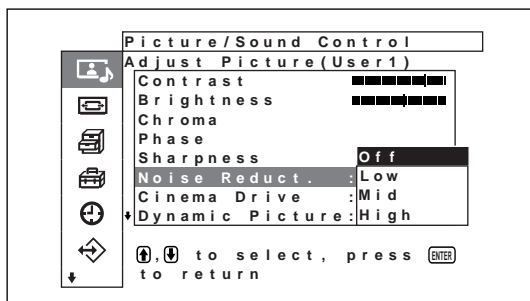
用 **↑/↓** 键选择 “Sharpness” 并按 ENTER 键。
用 **↑/↓/←/→** 键在 MIN (- 5) 至 MAX (+ 5) 的范围中调整锐度。

- ↑/→** 增强图像锐度
- ↓/←** 减弱图像锐度

Noise Reduct.

减少图像颗粒和色彩噪音。

- 1 用 **↑/↓** 键选择 “NR” 并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

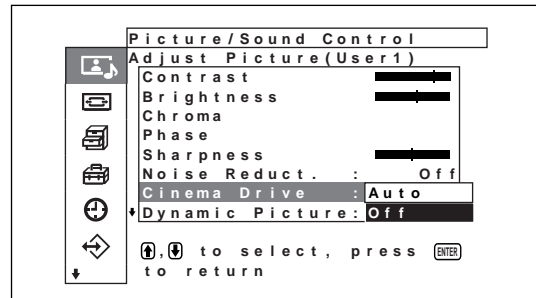


- 2 用 **↑/↓** 键选择 NR 并按 ENTER 键。
Off 直接显示图像信号。
Low 将 NR 处理设为弱。
Mid 将 NR 处理设为中。
High 将 NR 处理设为强。

Cinema Drive

自动检测取自电源 (24 帧) 的图像，并用电源图像特有的平滑动作再现这些图像。

- 1 用 **↑/↓** 键选择 “Cinema Drive” 并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

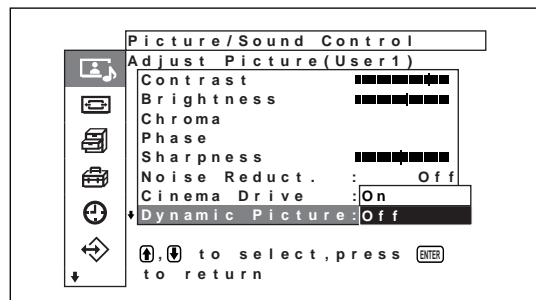


- 2 用 **↑/↓** 键选择电影驱动器模式并按 ENTER 键。
Auto 进行信号处理，使其最适于电影图像。
Off 直接显示视频信号。

Dynamic Picture

使白色更白，黑色更黑以提高对比度。

- 1 用 **↑/↓** 键选择 “Dynamic Picture” 并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 用 **↑/↓** 键选择动态图像模式并按 ENTER 键。
On 使用 Dynamic Picture (动态图像) 功能
Off 不使用 Dynamic Picture (动态图像) 功能

Color Temp.

您也可以设定色温。可以选择 Cool、Neutral 或 Warm、或者更精确地调整各增益。最多可以登记三个所调整の色温。可以将它们重新命名（长度最多为六个字符）。

1 用 **↑/↓** 键选择 “Color Temp.” 并按 ENTER 键。

2 用 **↑/↓** 键选择色温并按 ENTER 键。

Cool (冷) 将色温设定为高

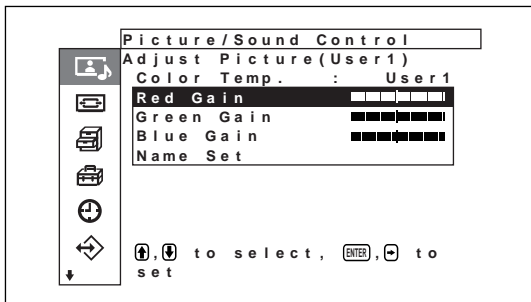
Neutral (中性) 将色温设为中性

Warm (暖) 将色温设定为低

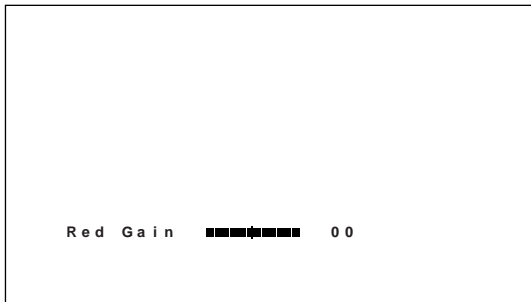
USER1 - 3 更精确地设定增益

选择 Warm、Neutral 或 Cool 时，菜单恢复至 Adjust Picture (调整图像) 单。

选择 “USER1” 至 “USER3” 时
选择 “USER1” 至 “USER3” 时以下菜单出现在显示器屏幕上。



(1) 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到所要设定的增益项目并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



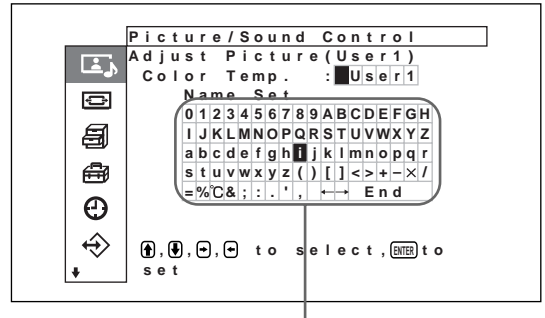
(2) 用 **↑/↓/←/→** 键调整增益 (0 至 255) 并按 MENU 键。

菜单恢复到 Color Temp. (色温) 菜单。

对所调整の色温重新命名时，按以下步骤进行。

(3) 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “Name Set” 处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



字符一览表

(4) 用 **↑/↓/←/→** 键在字符一览表中选择字符或符号并按 ENTER 键。所选的字符被输入。若选择有误，则选择画面上的 [←]，将光标退回一个字符，然后更正错误。

当 Initial Setup 菜单上的 [MENU Function] (第 23 页) 被设定于

[Return] 位置时，可用遥控器上的 **↑/↓** 键将光标左移或右移。要用 **↑/↓** 键将光标上移或下移时，请将 [MENU Function] 设于 [On/Off] 位置。

(5) 重复步骤 (4) 并在结束输入名称后，选择 “End” 并按 ENTER 键。

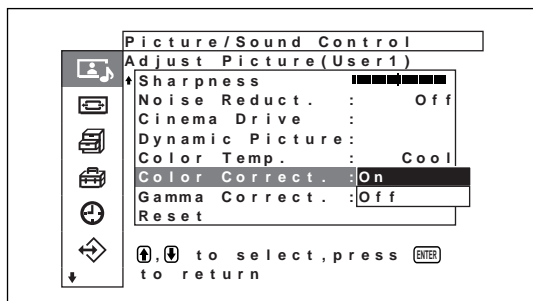
菜单恢复到 Color Temp. 菜单。

Color Correct.

可以再现美丽而健康的色彩。

- 1 用 **↑/↓** 键选择 “Color Correct.” 并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 用 **↑/↓** 键选择色彩校正模式并按 ENTER 键。

On 将色彩校正设为 On

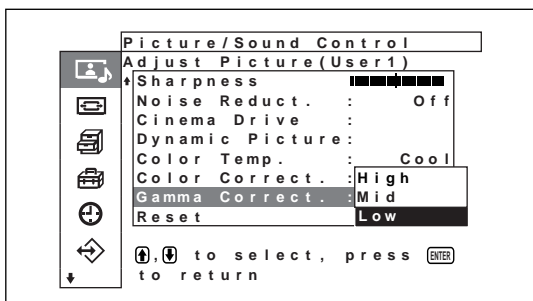
Off 将色彩校正设为 Off

Gamma Correct.

自动调整图像明亮部分和阴暗部分之间的均衡。

- 1 用 **↑/↓** 键选择 “Gamma Correct.” 并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 用 **↑/↓** 键选择伽马校正模式并按 ENTER 键。

High (高) 将伽马校正设为 “高”

Mid (中) 将伽马校正设为 “中”

Low (低) 将伽马校正设为 “低”

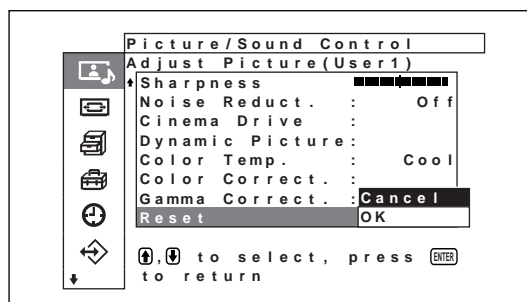
注

- CHROMA 和 PHASE 控制对 RGB 信号不起作用。
- PHASE 控制对分量信号不起作用。
- PHASE 控制对 PAL 或 PAL-M 或 PAL-N 或 PAL60 或 SECAM 彩色源不起作用。
- 输入黑白 (B & W) 信号时，无法调整色彩和色调的深度。

将 Adjust Picture 菜单项目恢复到初始设定

- 1 在 Adjust Picture (调整图像) 菜单上，按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “Reset” 处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “Execute” 处并按 ENTER 键。

Adjust Picture (调整图像) 菜单项目被恢复。

要取消复位功能时

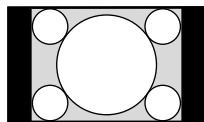
在按 ENTER 键之前按 MENU 键。或者，用 **↑/↓** 键选择 “Cancel”，然后按 ENTER 键。

图像放大

根据图像类型（如普通电视广播或宽屏幕清晰图像等）放大图像以覆盖整个屏幕。

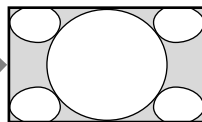
对于宽屏幕模式，可进行以下选择。

原图像



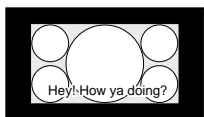
Expd.
4/3

放大的图像
(图像种类)

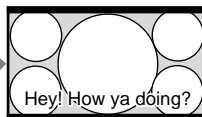


- 使原图像具有 4:3 纵横比以设定为宽屏幕变焦（屏幕纵横比：4:3）。

图像被自然地放大到整个屏幕大小

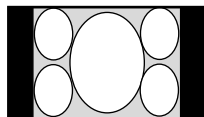


Letter
bx

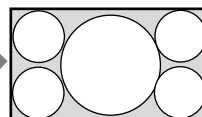


- 宽屏幕清晰图像广播（纵横比：16:9）
- 以可视图像等拍摄的电影长时间出现在屏幕水平方向并在图像（1.85:1）中含有字幕
- 来自摄像机或含有纵横比信息（ID-1 格式）的 DVD 软件的图像

对准屏幕的左右两侧，图像被放大到整个屏幕大小。（根据图像从种类，可能会在屏幕的上部和下部留下黑条）

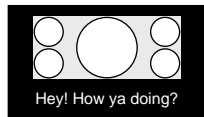


Restore

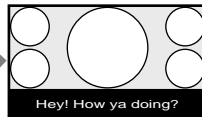


- 来自摄像机或含有纵横比信息（ID-1 格式）的 DVD 软件的图像

图像的左右边缘被放大到整个屏幕大小，而不改变上部和下部。

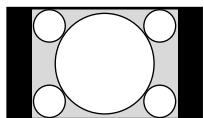


Sub
title

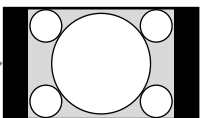


- 以电影图像等拍摄的电影长时间出现在屏幕水平方向并在图像（纵横比：2.35:1）中含有字幕

在将图像放大到整个屏幕大小并对准屏幕左右侧的同时，通过仅压缩显示字幕的区域将图像显示在屏幕上。



4/3



- 当纵横比为 4:3 的图像被设定为“Normal”（“Normal”为出厂设定），并且 Auto Wide 设定为 On 时。

图像以原来的 4:3 纵横比显示图像而不放大图像

设定自动宽屏幕

在某些普通电视和宽屏幕清晰图像广播等中用视频信号传送识别控制信号。自动宽屏幕功能将根据此识别控制信号如实地再现图像，或无视此识别控制信号将各种类型的图像放大至最佳尺寸。

此外，普通电视广播和卫星电视广播所具有 4:3 的纵横比也可放大并以 16:9 的纵横比显示。

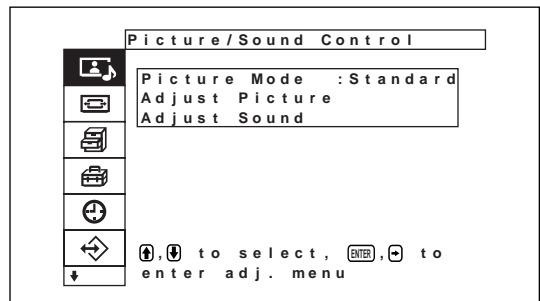
识别控制信号

此控制信号可在电视屏幕上如实地再现原图像的纵横比。含有此信号的图像由以下组成

- 宽屏幕清晰图像广播
- 用包含纵横比信息（ID-1 格式）的摄像机拍摄的图像。
- 包含将纵横比设为 4:3 的信号的视频广播。
- 从 D4 输入连接器接收的、含有纵横比信号的图像。

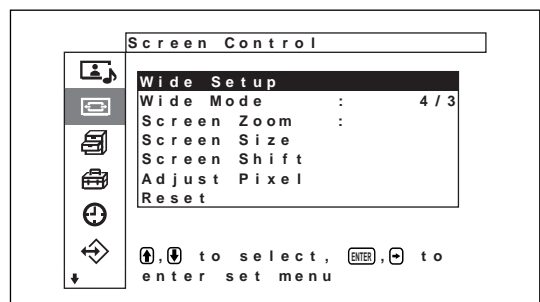
1 按 MENU 键。

主菜单出现在显示器屏幕上。

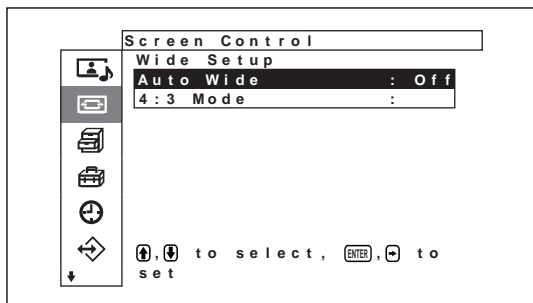


2 按 ↑/↓ 键将光标（黄色）移到“Screen Control”处并按 ENTER 键。

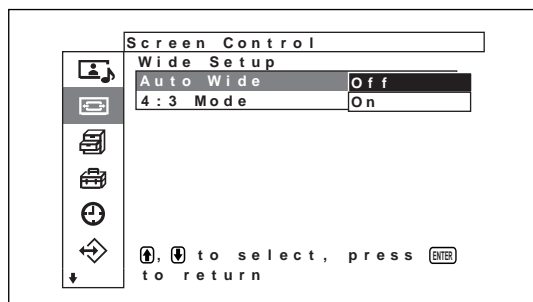
Screen Control（画面控制）菜单出现在显示器屏幕上。



- 3** 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “Wide Setup” 处并按 **ENTER** 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



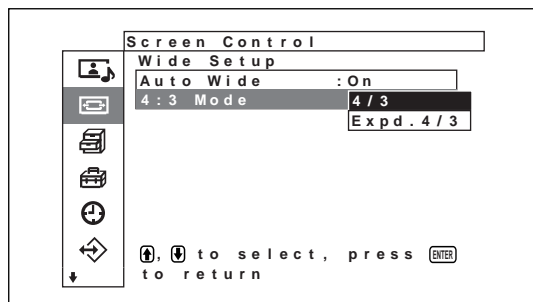
- 4** 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “Auto Wide” 处并按 **ENTER** 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 5** 用 **↑/↓** 键选择 Auto Wide (自动宽屏幕) 设定。
Off : 图像按其原样再现。
On : 图像以最适当的纵横比被放大和显示。

- 6** 按 **ENTER** 键。
菜单恢复到 Wide Setup (宽屏幕设定) 菜单。

- 7** 用 **↑/↓** 键选择 “4:3 Picture” 并按 **ENTER** 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



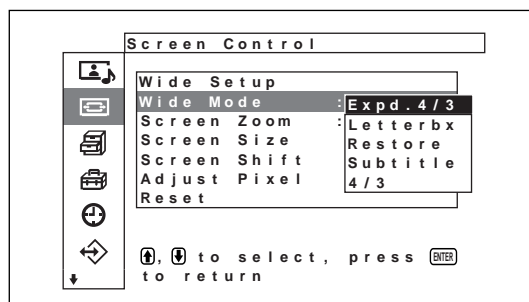
- 8** 用 **↑/↓** 键选择 4:3 图像模式。
4/3 将 4:3 纵横比的图像放大到 16:9 纵横比。
Expd.4/3 放大到 16:9 纵横比后, 显示 4:3 纵横比的图像。(无识别控制信号时)

- 9** 按 **ENTER** 键。
菜单恢复到 Wide Setup 菜单。

设定宽屏幕模式

也可无视图像类型而以所需的宽屏幕模式放大图像。

- 1** 在 Screen Control (画面控制) 菜单上, 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “Wide Mode” 处并按 **ENTER** 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2** 用 **↑/↓** 键选择 Wide Mode。
Expd.4/3 将全屏幕 4:3 图像放大到 16:9 图像。
Letterbox 将图像放大至屏幕的所有左右边缘。(根据图像的种类, 可能会在屏幕的上部和下部留下黑条)
Restore 将图像的左右侧扩大至整个屏幕而不改变顶部和底部。
Subtitle 将图像放大至屏幕的所有左右边缘, 并仅压缩显示字幕的区域。
4/3 显示未放大的图像。

- 3** 按 **ENTER** 键。
菜单恢复到 Screen Control (画面控制) 菜单。

注

- 若设定宽屏幕模式, 则无法使用自动宽屏幕功能。若要使用自动宽屏幕功能, 请将其重新设定为 “On”。
- 根据图像的类型和尺寸, 图像的顶部或底部可能被切除或者字幕可能不完全包含在屏幕上。
- 请注意, 若本机被用于商业目的, 或在咖啡店或旅馆用于公开放演, 并且若使用宽屏幕切换功能并进行画面的压缩或放大, 则可能会侵害受版权法保护的版权。

调整图像的尺寸和位置

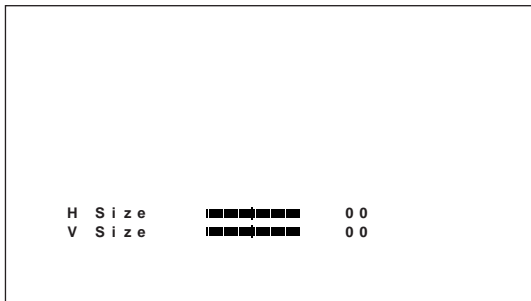
可以移动图像的位置以适合屏幕，或分别调整图像的垂直和水平尺寸。

本使用说明书说明在 MENU Function (菜单功能) 被设为“On/Off”的状态下的操作。

有关 Screen Control (画面控制) 的详情，请参阅“Screen Control (画面控制) 菜单”(第 20 页)。

调整图像的尺寸

- 1 在 Screen Control (画面控制) 菜单上，按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到“Screen Size”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 用 **↑/↓/←/→** 键水平和垂直调整图像尺寸。
←/→：水平调整图像尺寸
↑/↓：垂直调整图像尺寸
图像水平方向的尺寸在画面上以最小 (—128) ~ 最大 (+127) 的调整值来显示。垂直方向的尺寸以最小 (—128) ~ 最大 (+127) 的调整值来显示。出厂预设值为 00。

- 3 按 ENTER 键。
菜单恢复到 Screen Control (画面控制) 菜单。

调整图像的位置

- 1 在 Screen Control (画面控制) 菜单上，按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到“Picture Shift”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 按 **↑/↓/←/→** 键可垂直和水平移动图像。
←/→：向左侧和右侧移动图像
↑/↓：向上和向下移动图像
图像的水平位置在画面上以左 (128) ~ 右 (127) 的调整值来显示。垂直位置在画面上以下 (128) ~ 上 (127) 的调整值显示。出厂预设值为 00。
- 3 按 ENTER 键。
菜单恢复到 Screen Control (画面控制) 菜单。

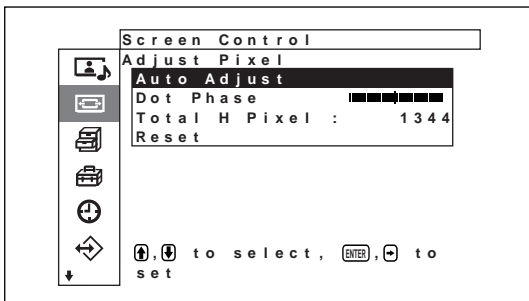
调整像素

如果字符边缘有许多杂波或垂直线条，可以调整点相位和水平像素的总数。

注

此项目依所使用的电脑信号而异。

- 1 在 Screen Control (画面控制) 菜单上，按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “ Adjust Pixel ” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

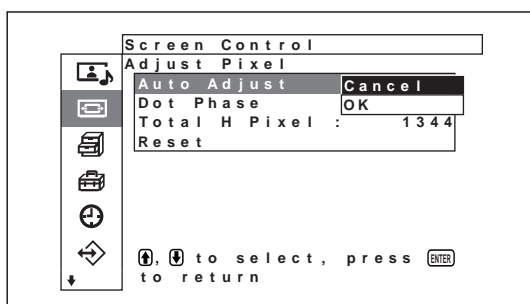


- 2 可以自动或手动调整点相位和水平像素的总数。

自动调整

- (1) 用 **↑/↓** 键选择 “ Auto Adjust ” 并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。

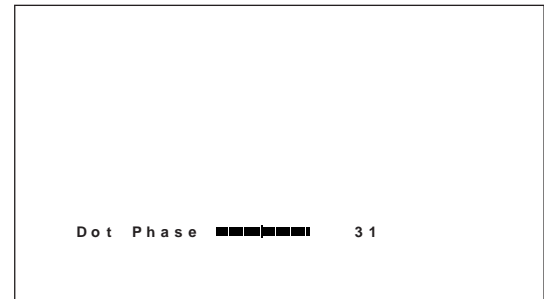


- (2) 用 **↑/↓** 键选择 “ OK ” 并按 ENTER 键。
点相位和水平像素的总数被自动调整。

手动调整

- (1) 用 **↑/↓** 键选择 Dot Phase 或 Total H Pixel 并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。(下图为选择 Dot Phase)



- (2) 用 **↑/↓** 键调整点相位或水平像素的总数并按 ENTER 键。

注

由于图像上的图案，有时即使使用 Auto Adjust (自动调整) 后仍有噪音发生。这时，请手动调整点相位。

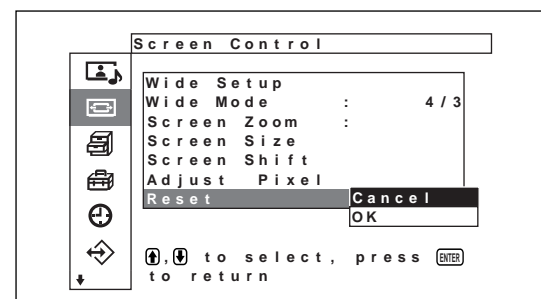
将 Adjust Pixel (调整像素) 菜单项目恢复到其初始设定

在 Adjust Pixel (调整像素) 菜单上，按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “ Reset ” 处并按 ENTER 键。然后用 **↑/↓** 键选择 “ OK ” 并按 ENTER 键。

恢复画面控制菜单调整值

- 1 在 Screen Control (画面控制) 菜单上，按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “ Reset ” 处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “ OK ” 处并按 ENTER 键。

Screen Control (画面控制) 菜单项目被恢复。

要取消复位功能时

在按 ENTER 键之前按 MENU 键。或者，用 **↑/↓** 选择 “ Cancel ” ，然后按 ENTER 键。

调整音质

可调整高音等级、低音等级和均衡。还可设定环绕声模式。

调整高音、低音和均衡等

按 MENU 键使主菜单出现在显示器屏幕上，然后从 Adjust Sound (调整音质) 菜单选择 “Treble”、“Bass”、“Balance” 或 “Surround”。

Treble

用 ↑/↓ 键选择 “Treble” 并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN (- 50) 至 MAX (+ 50) 的范围内调整高音。

↑/→ 增加高音

↓/← 减少高音

Bass

用 ↑/↓ 键选择 “Bass” 并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 MIN (- 50) 至 MAX (+ 50) 的范围内调整低音。

↑/→ 增加低音

↓/← 减少低音

Balance

用 ↑/↓ 键选择 “Balance” 并按 ENTER 键。
用 ↑/↓/←/→ 键在 LEFT (50) 至 RIGHT (50) 的范围内调整均衡。

↑/→ 增加右侧音量

↓/← 增加左侧音量

Surround

根据图像类型选择环绕声模式。

1 用 ↑/↓ 键选择 “Surround” 并按 ENTER 键。

2 用 ↑/↓ 键选择环绕声模式并按 ENTER 键。

Off 无环绕声信号输出

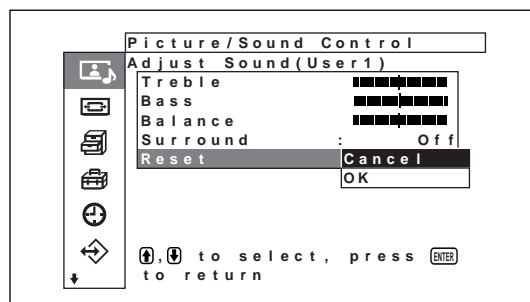
Hall 使电影和音乐等的立体声更具临场感

Sim 将普通电视广播和新闻节目的单声变为模拟立体声，增强其临场感

将 Adjust Sound (调整音质) 菜单项目恢复到其初始设定

1 在 Adjust Sound (调整音质) 菜单上，按 ↑/↓ 键将光标 (黄色) 移到 “Reset” 处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



2 按 ↑/↓ 键将光标 (黄色) 移到 “Execute” 处并按 ENTER 键。

Adjust Sound (调整音质) 菜单项目恢复其初始设定。

要取消复位功能时

在按 ENTER 键之前按 MENU 键。或者，用

↑/↓ 键选择 “Cancel” 并按 ENTER 键。

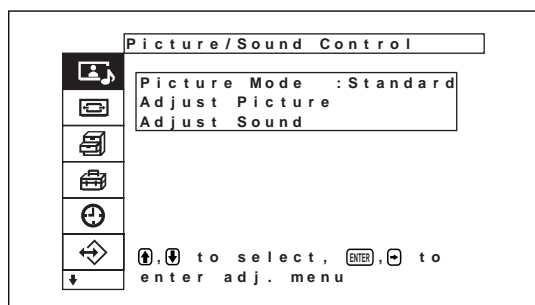
使用存储功能

可以用 MEMORY 功能保存各输入信号的当前图像设定。保存的设定可以随时恢复。可以存储 Picture/Sound Control (图像 / 声音控制) 和 Screen Control (画面控制) 菜单中的项目。最多可以保存二十个输入信号的图像设定。可以对项目的设定命名 (长度最多为 6 字符)。

存储当前设定

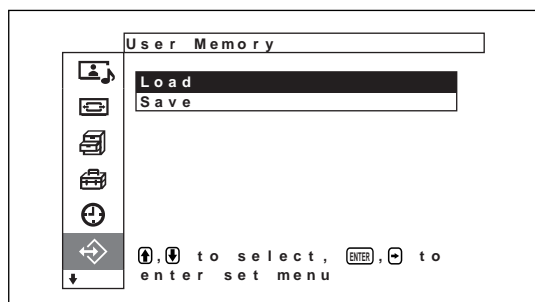
1 按 MENU 键。

主菜单出现在显示器屏幕上。



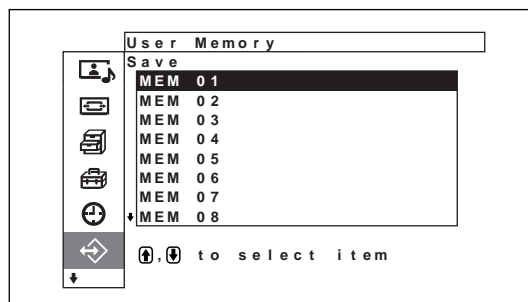
2 按 ↑/↓ 键将光标 (黄色) 移到 “ User Memory ” 处并按 ENTER 键。

User Memory (用户存储) 菜单出现在显示器屏幕上。



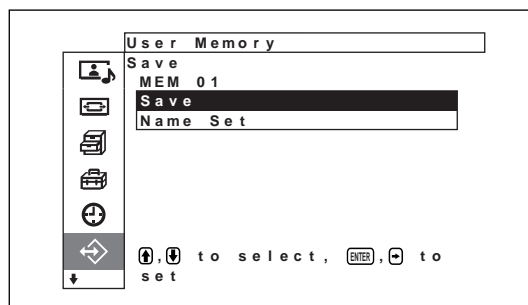
3 按 ↑/↓ 键将光标 (黄色) 移到 “ Save ” 处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



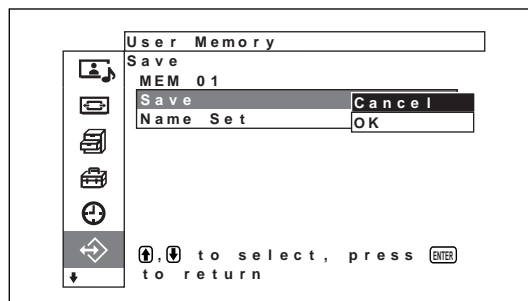
4 用 ↑/↓ 键选择存储号码 (01 至 20) 并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



5 按 ↑/↓ 键将光标 (黄色) 移到 “ Save ” 处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



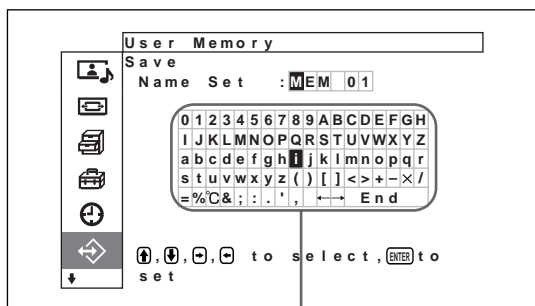
6 按 ↑/↓ 键将光标 (黄色) 移到 “ OK ” 处并按 ENTER 键。

当前的数据被存储在所选存储号码中。

当设定名称时，按照下列步骤进行。

- 按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到 “Name Set” 并按 **ENTER** 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



字符一览表

- 用 **↑/↓/←/→** 键在字符一览表中选择字符或符号并按 **ENTER** 键。所选的字符被输入。若选择有误，则选择画面上的 **[←]**，将光标退回一个字符，然后更正错误。

当 Initial Setup 菜单上的 [MENU Function]（第 23 页）被设定于 [Return] 位置时，可用遥控器上的 **↑/↓** 键将光标左移或右移。要用 **↑/↓** 键将光标上移或下移时，请将 [MENU Function] 设于 [On/Off] 位置。

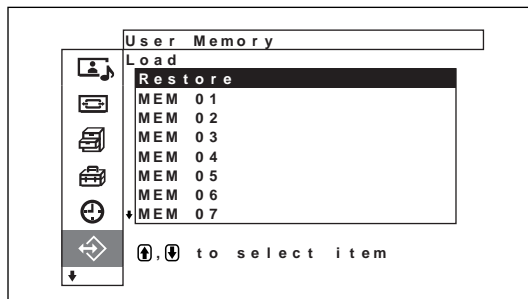
- 重复步骤 8 的操作，输入完姓名后选择 “End” 并按 **ENTER** 键。

菜单恢复到 Save（保存）菜单。

调用存储的设定

- 在 User Memory（用户储存）菜单上，按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到 “Load” 处并按 **ENTER** 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 用 **↑/↓** 键将光标移到想要调用设定的存储号码（01 至 20）处。

所存储的调整值被调用。

在调用前要有效地存储调整值时，请将光标移到 “Restore” 处。

- 按 **ENTER** 键。

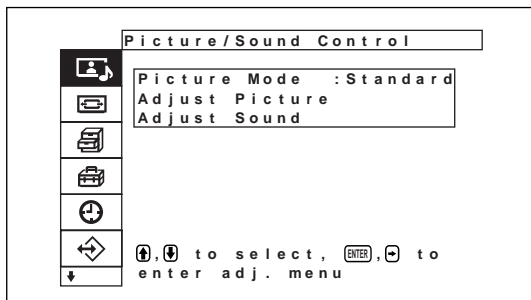
显示返回到用于存储的 User Memory（用户储存）画面，并调用调整值。

选择屏幕语言

可以从日语、英语、德语、法语、西班牙语或意大利语中选择屏幕语言。

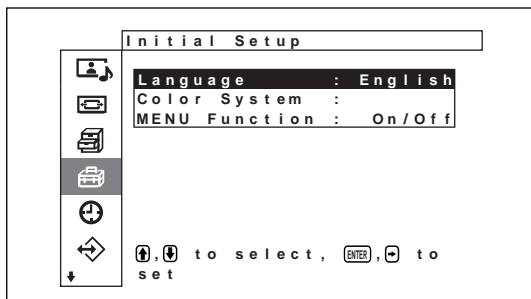
1 按 MENU 键。

主菜单出现在显示器屏幕上。



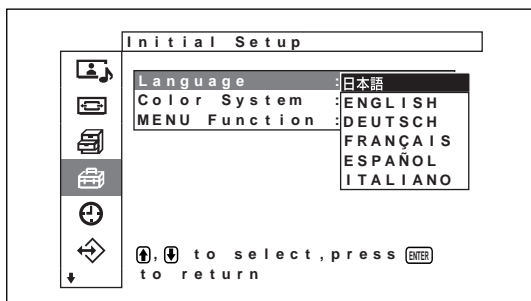
2 按 ↑/↓ 键将光标 (黄色) 移到 “Initial Setup” 处并按 ENTER 键。

Initial Setup (初始设定) 菜单出现在显示器屏幕上。



3 按 ↑/↓ 键将光标 (黄色) 移到 “Language” 菜单处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



4 按 ↑/↓ 键将光标 (黄色) 移到所需的语言处并按 ENTER 键。

屏幕语言切换为所选的语言。

日本語: 日语

ENGLISH: 英语

DEUTSCH: 德语

FRANÇAIS: 法语

ESPAÑOL: 西班牙语

ITALIANO: 意大利语

屏幕保护功能

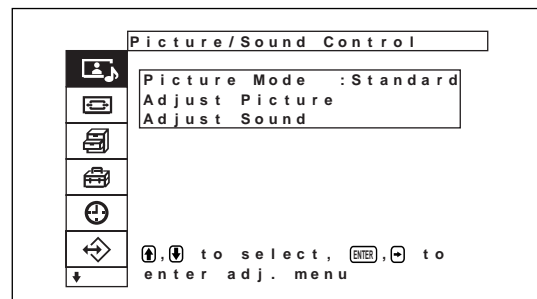
如果长时间显示不改变亮度的图像或静止图像 (如电脑上显示的图像), 显示器上则可能出现残像。为了修正或减小此现象的严重性, 本显示器具有屏幕保护功能。

屏幕保护功能有两种屏幕保护方式: 一种是反转图像色调 (Pic. Inversion), 另一种是以预先设定的时间间隔自动在屏幕上移动图像 (Pic.Orbit)。

反转图像的色调

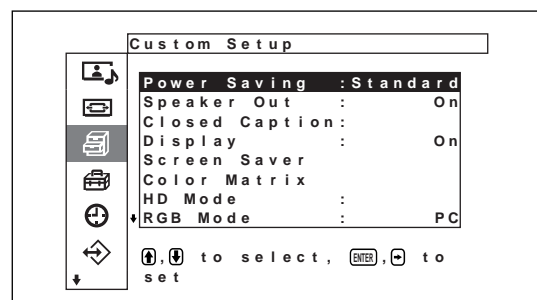
1 按 MENU 键。

主菜单出现在显示器屏幕上。

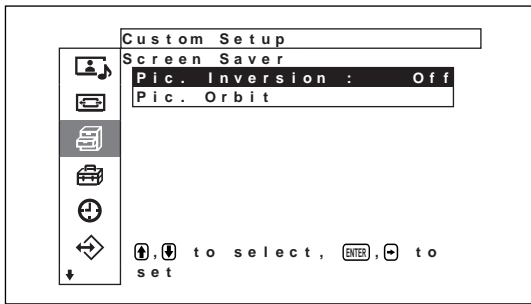


2 按 ↑/↓ 键将光标 (黄色) 移到 “Custom Setup” 处并按 ENTER 键。

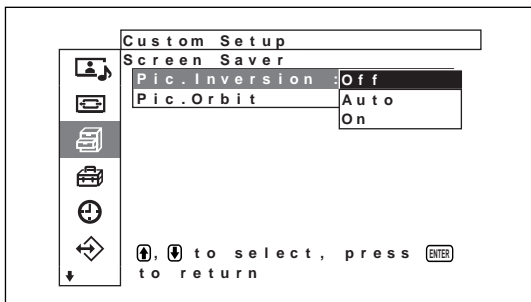
Custom Setup (用户设定) 菜单出现在显示器屏幕上。



- 3 按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到“Screen Saver”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

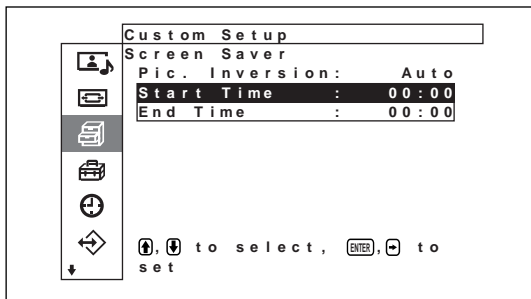


- 4 按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到“Pic. Inversion”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

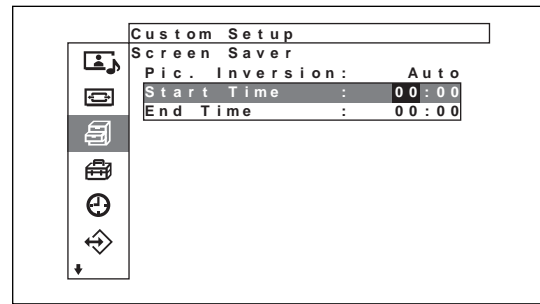


- 5 用 **↑/↓** 键选择 Pic. Inversion 模式。
Off（关） 将 Pic. Inversion 设定为 Off
Auto（自动） 一天进行一次 Pic. Inversion 处理
On（开） 将 Pic. Inversion 设定为 On

选择 AUTO 后按 ENTER 键时，出现以下菜单。



- (1) 按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到“Start Time”处并按 ENTER 键。
以下菜单出现，小时的背景显示为蓝色。



- (2) 用 **↑/↓** 键设定图像翻转时的小时并按 ENTER 键。
小时的设定被输入，而且分钟的背景显示为凸状。

- (3) 用 **↑/↓** 键设定菜单并按 ENTER 键。分钟的设定被输入。按 **←** 键恢复到步骤 5 中所显示的画面。
当用装置上的按钮操作装置时若想要使用 MENU 键以关闭菜单，请将 Initial Setup（初始设定）菜单上的 [MENU Function]（第 23 页）设为 [Return]。这样，装置上的 MENU 键将具有与 **←** 键相同的功能。

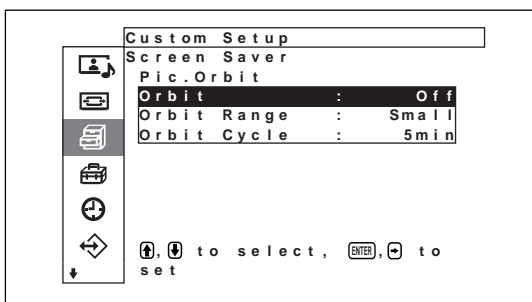
- (4) 同时，设定 Pic. Inversion 功能被取消时的时间。
显示将在 Start Time 翻转并在 End Time 恢复到原来的显示。此过程一天中自动进行一次。

注

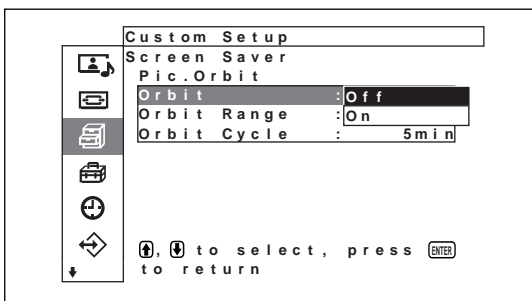
若将 Start Time 和 End Time 设定为相同时间，则 Start Time 的设定比 End Time 优先，显示图像不会在 End Time 恢复到原来的图像。

自动改变图像位置

- 1 在 Screen Saver 菜单上，按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到“Pic. Orbit”处并按 **ENTER** 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。

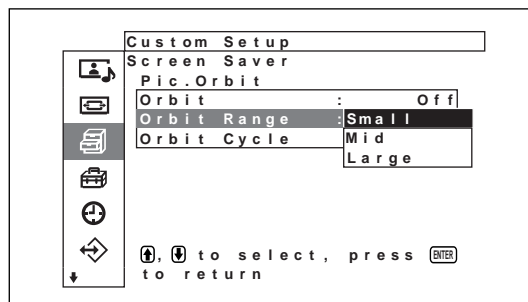


- 2 按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到“Orbit”处并按 **ENTER** 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 3 用 **↑/↓** 键选择 Orbit 模式。
Off (关) 取消 Pic. Orbit 功能。
On (开) 设定 Pic. Orbit 功能。
- 4 按 **ENTER** 键。
菜单恢复到 Pic. Orbit (图像移动) 菜单。
- 5 用 **↑/↓** 键选择 Orbit Range (移动距离) 或 Orbit Cycle (时间) 并按 **ENTER** 键。
可以选择以下数值
Orbit Range Small、Mid、Large
Orbit Cycle 10sec、30sec、1min、5min

以下菜单出现在显示器屏幕上。(下图为选择 Orbit Range。)



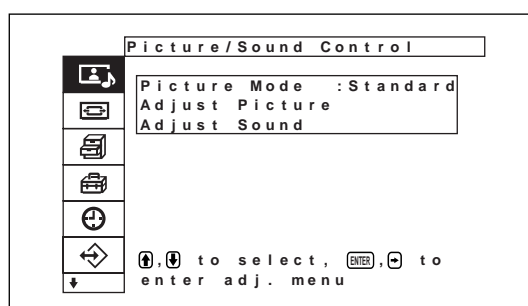
- 6 用 **↑/↓** 键调整 Orbit Range 或 Orbit Cycle 并按 **ENTER** 键。

Pic. Inversion 和 Pic. Orbit 均设定为 ON 时
如果 Pic. Orbit 功能在图像翻转时启动，则翻转图像的显示位置改变。

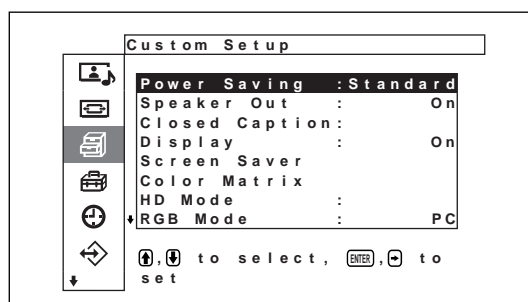
调整色彩矩阵

从连接于分量输入转接器的 BS 调谐器、数字 CS 调谐器及 DVD 播放机等输入的信号为 480p (525p)、1080i (1125i) 或 720p (750p) 的各信号方式时，可将图像设定为自然色彩。

- 1 按 **MENU** 键。
主菜单出现在显示器屏幕上。

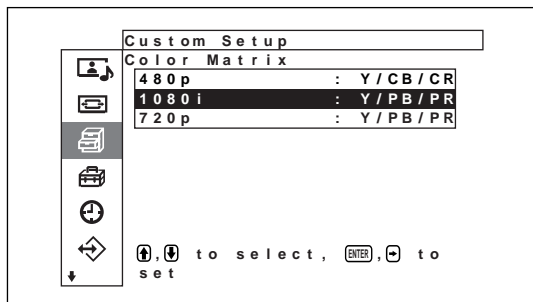


- 2 按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移动“Custom Setup”处并按 **ENTER** 键。
Custom Setup (用户设定) 菜单出现在显示器屏幕上。



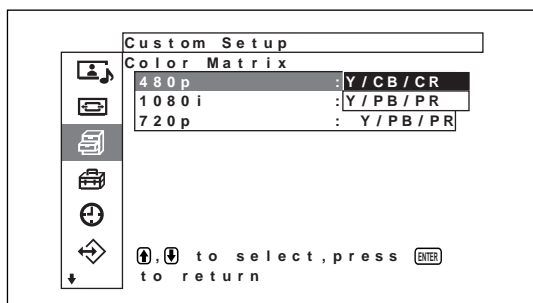
- 3** 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移动 “ Color Matrix ” 处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 4** 用 **↑/↓** 键选择信号方式。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 5** 用 **↑/↓** 键选择色彩矩阵。

Y/CB/CR : 信号方式为 480p 时。

Y/PB/PR : 信号方式为 1080i 或 720p 时。

有关正确设定的详细说明, 请参见各装置附带的使用说明书。

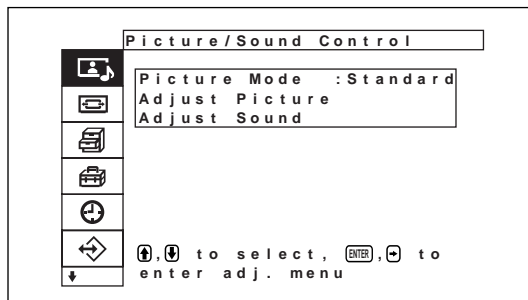
自动控制电源开 / 关 (定时器功能)

本显示器有三种电源控制功能。一种是可以将其设定为若无输入信号, 则在一定时间后自动关闭电源 (Power Saving 功能)。另一种是可以设定电源自动开 / 关 (On/Off 定时器功能) 的时间。此外, 还具有睡眠功能 即使在屏幕显示期间, 预设时间过后也会自动关闭电源。

睡眠功能

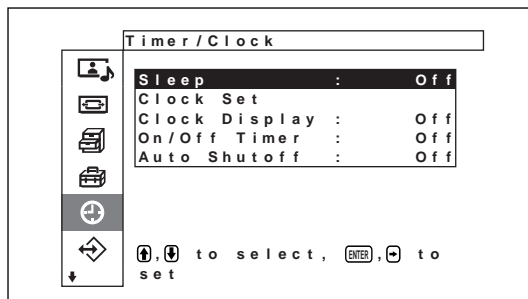
- 1** 按 MENU 键。

主菜单出现在显示器屏幕上。



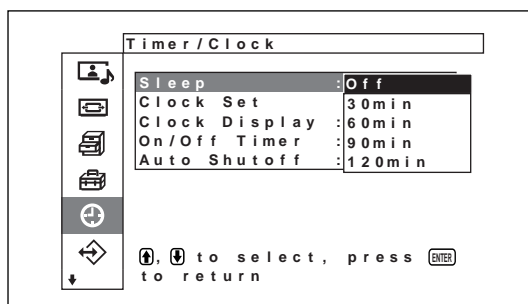
- 2** 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “ Timer/ Clock ” 处并按 ENTER 键。

Timer/Clock (定时器 / 时钟) 菜单出现在显示器屏幕上。



- 3** 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “ Sleep ” 处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 4** 用 **↑/↓** 键选择关闭电源的时间。

Off 不关闭电源。

30 min. 30 分钟后关闭电源。

60 min. 60 分钟后关闭电源。

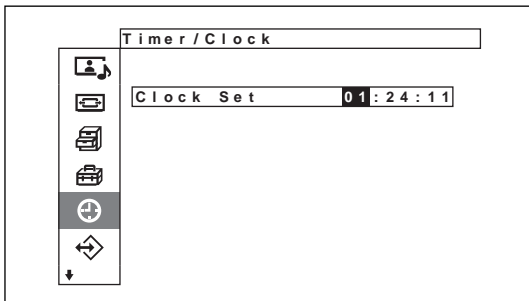
90 min. 90 分钟后关闭电源。

120 min. 120 分钟后关闭电源。

调整时间

- 1 在 Timer/Clock (定时器/时钟) 菜单上, 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移动 “ Clock Set ” 处并按 ENTER 键。

显示以下菜单, 时间的背景色变为黄色。



- 2 用 **↑/↓** 键调整小时并按 ENTER 键。小时的设定被输入, 分钟的背景显示呈黄色。
- 3 同样, 调整分钟并按 ENTER 键。分钟的设定被输入, 秒钟的背景变为黄色。
- 4 按 ENTER 键。
秒钟复位到 00。
- 5 按 MENU 键。
如果必须进一步调整, 或再进行设定, 使显示将恢复至正常画面, 请从步骤 1 进行操作。

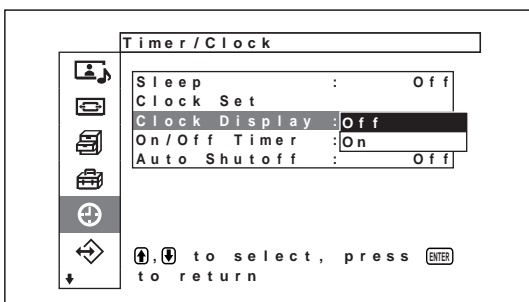
注

如果显示的时间明显变慢, 可能是内部电池已耗尽。请与 Sony 授权的经销商联系以更换电池。

显示时间

- 1 在 Timer/Clock (定时器/时钟) 菜单上, 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移动 “ Clock Display ” 处并按 ENTER 键。

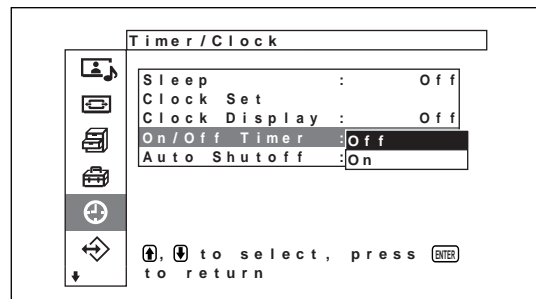
以下菜单出现在显示器屏幕上。



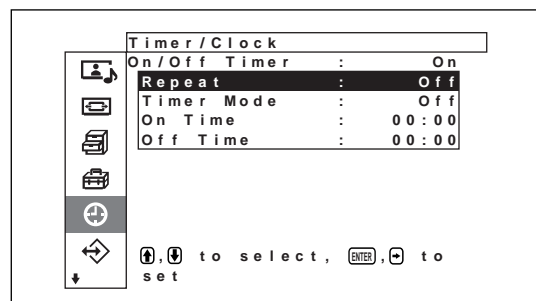
- 2 用 **↑/↓** 键选择 On 并按 ENTER 键。
菜单消失时, 在显示器左上角显示出时钟。
按遥控器上的 DISPLAY 键时, 显示在显示器屏幕角落的时钟消失, 在其位置处显示出现在的输入信号信息和 Picture mode。若再次按 DISPLAY 键, 时钟恢复在显示器屏幕的角落显示。
如果此信息持续显示约 5 分钟, 将自动消失。
另外, 关闭本机电源时, 电源打开时的 Clock Display 设定将不保存。

开 / 关定时器功能

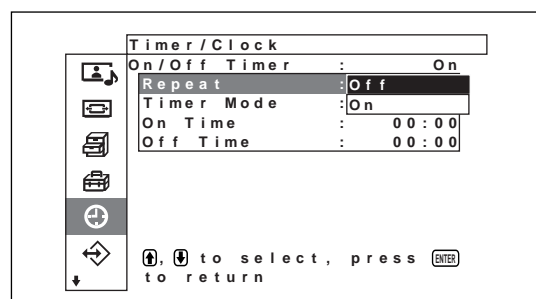
- 1 在 Timer/Clock (定时器 / 时钟) 菜单上, 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “ On/Off Timer ” 处并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



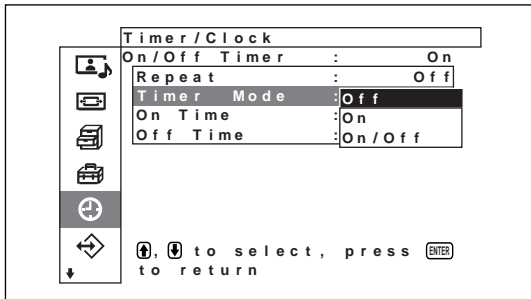
- 2 用 **↑/↓** 键选择 On 并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



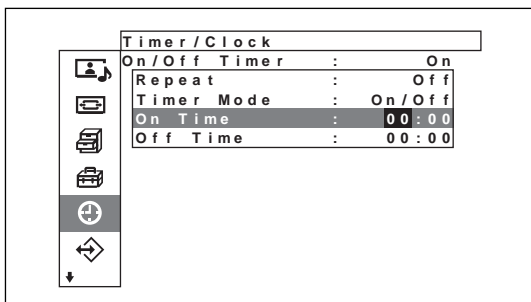
- 3 用 **↑/↓** 键选择 “ Repeat ” 并按 ENTER 键。
以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 4** 用 **↑/↓** 键选择重复模式。
 Off 电源仅开/关一次
 On 电源在预设的每天同一时间开 / 关。
- 5** 按 ENTER 键。
 菜单恢复到 On/Off Timer (开 / 关定时器) 菜单。
- 6** 用 **↑/↓** 键选择 “ Timer ” 键并按 ENTER 键。
 以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 7** 按 **↑/↓** 键选择定时器模式。
 Off 在用 OFF TIME 设定的时间关闭电源。
 On 在用 ON TIME 设定的时间打开电源。
 On/Off 在用 ON TIME 设定的时间打开电源，在用 OFF TIME 设定的时间关闭电源。
- 8** 按 ENTER 键。
 菜单恢复到 On/Off Timer (开 / 关定时器) 菜单。
- 9** 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “ On Time ” 处并按 ENTER 键。
 以下菜单出现在显示器屏幕上。
 小时后面的区域呈浅蓝色。

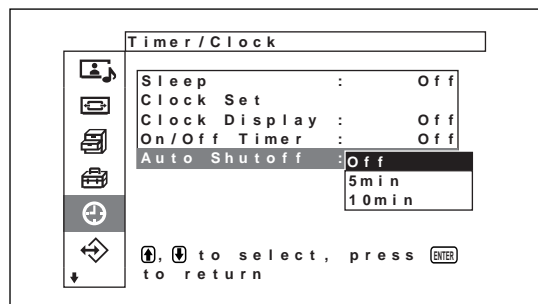


- 10** 按 **↑/↓** 键设定小时并按 ENTER 键。
 时间被输入，分钟后面的区域呈蓝色。

- 11** 按 **↑/↓** 键设定分钟并按 ENTER 键。
 按 **←** 键恢复到步骤 2 中所显示的画面。
 当用装置上的按钮操作装置时若想要使用 MENU 键以关闭菜单，请将 Initial Setup (初始设定) 菜单上的 [MENU Function] (第 23 页) 设为 [Return] 。这样，装置上的 MENU 键将具有与 **←** 键相同的功能。
- 12** 按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “ Off Time ” 处并按 ENTER 键。请对电源开小时和分钟进行相同的操作。

节电功能

- 1** 在 Timer/Clock (定时器 / 时钟) 菜单中，按 **↑/↓** 键将光标 (黄色) 移到 “ Auto Shutoff ” 处并按 ENTER 键。
 以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 2** 按 **↑/↓** 键选择改变至节电模式前的时间长度。
 Off (关) 节电功能不起作用。
 5min 若无输入信号，5 分钟后改变至节电模式。
 10min 若无输入信号，10 分钟后改变至节电模式。

节电模式启动时，本机则进入待机状态。

要取消节电功能时

- 按 **⏻** (待机) 开关 / 指示灯部分上的 **⏻** 开关或遥控器上的 POWER ON 开关。

自检功能

本机具有自检功能。

此功能根据 STANDBY 指示灯所示闪烁方式，显示显示器的状态。闪烁的方式提示您显示器当前的状态。

如果 STANDBY 指示灯闪烁，请检查闪烁的次数并与授权的 Sony 经销商联系。

1 检查 STANDBY 指示灯的闪烁方式。

指示灯闪烁（显示器上显示有图像时）或以 3 秒钟的间隔闪烁（显示器上无图像显示时）。

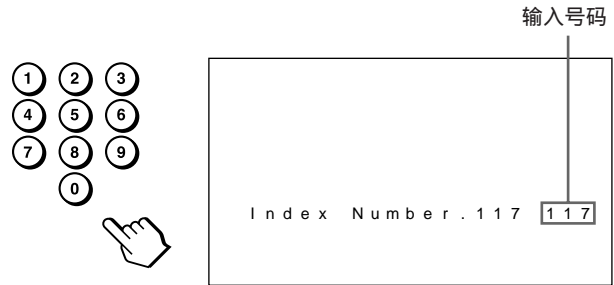
如果指示灯以 3 秒钟的间隔闪烁，请对闪烁次数计数。例如，指示灯闪烁 2 次，接着暂停 3 秒钟，闪烁 2 次并重复，则闪烁次数计为 2 次。

2 拨下本机的电源。

将闪烁次数通知授权的 Sony 经销商。

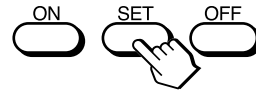
2 用遥控器上的 0 至 9 键输入您要操作的显示器的索引号码。

输入号码出现在各显示器索引号码的右侧。



3 按 ID MODE SET 键。

所选的显示器上的字符变成绿色，其他的变成红色。电源 ON/STANDBY 也适于其他显示。



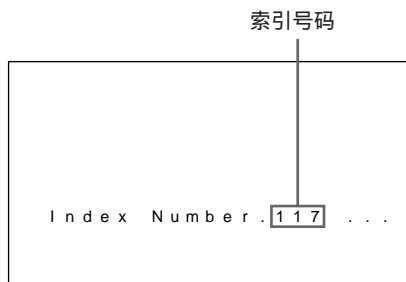
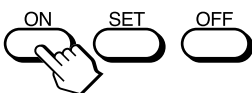
您只能操作所指定的显示器。

用遥控器操作指定的显示器

可以用附带的遥控器操作指定的显示器，而不影响同时安装的其他显示器。

1 按遥控器上的 ID MODE ON 键。监视在所有显示器上以白色字符出现的索引号码。（各显示器分配到一个 1 至 255 之间的独特预设索引号码。）

参见此页右栏中的“改变索引号码”来改变索引号码。



4 当所有设定改变已经完成时，按 ID MODE OFF 键。

显示器恢复到普通模式。



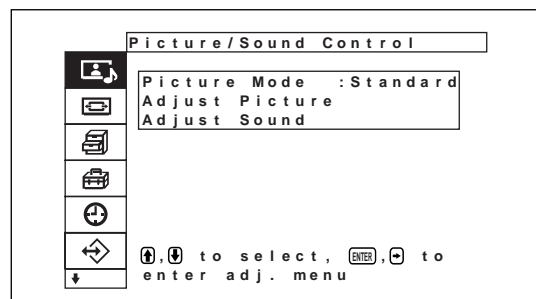
改变索引号码

若有必要，可以改变索引号码。

改变号码时，请使用显示器控制键部分上的键。

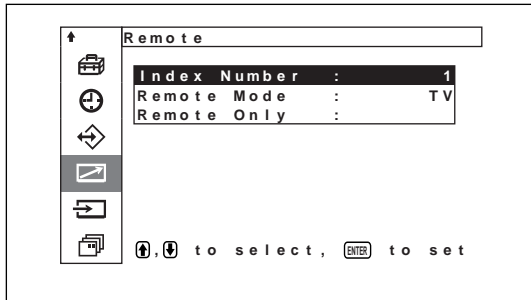
1 按 MENU 键。

主菜单出现在显示器屏幕上。



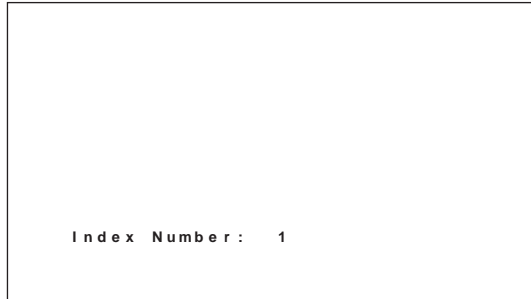
- 按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到 “Remote” 处并按 ENTER 键。

Remote（遥控）菜单出现在显示器屏幕上。



- 按 **↑/↓** 键将光标（黄色）移到 “Index Number” 处并按 ENTER 键。

以下菜单出现在显示器屏幕上。



- 用 **↑/↓** 键选择索引号码并按 ENTER 键。
菜单恢复到 Remote（遥控）菜单。

使用其他型号遥控器

使用其他型号遥控器可以进行以下操作。

- 电源开 / 关
- 输入选择
- 菜单操作
- 图像调整 对比度、相位和色度
- 屏幕显示开 / 关

可以进行的操作和各操作中所使用的键受各遥控器的限制。请参见下表。

遥控器型号		RM-854	RM-921	RM-PJ1001
REMOTE MODE 设定		TV	TV	PJ
输入选择	INPUT1	RGB	RGB1	A
	INPUT2	—	RGB2	B
	VIDEO	LINE1	LINE	VIDEO
菜单操作	MENU	MENU	MENU	MENU 或 ←
	ENTER	ENTER	ENTER	ENTER 或 →
	↑	+	SELECT + ↑	↑
	↓	-	SELECT - ↓	↓
图像调整	对比度	CONTRAST +/-	—	CONTR +/-
	色度	CHROMA +/-	—	COLOR +/-
	相位	PHASE +/-	—	HUE +/-
屏幕信息		DISPLAY	DISPLAY	STATUS ON

规格

视频操作

预设信号	参见第 28 页。
采样率	13.5 至 140 MHz
面板系统	交流型等离子体显示面板
显示分辨率	1365 点 (水平) × 768 行 (垂直)
像素间距	0.81 (水平) × 0.81 (垂直) mm
图像尺寸	1106 (水平) × 622 (垂直) mm
面板尺寸	50 英寸 (对角线 1270 mm)

输入和输出

INPUT1/INPUT2

RGB/YUV D 副 15 芯 (内插式) (参见第 51 页上的“管脚配置”。)

AUDIO 立体声微型插孔
500 mVrms, 高阻抗

SPEAKER 7W + 7W (8 Ω), 直接不平衡阻抗: 6-16 Ω

CONTROL S IN/OUT

REMOTE (RS-232C)

D 副 9 芯型 (×1)

VIDEO (NTSC, PAL, SECAM, NTSC4.43, PAL60, PAL-M, PAL-N)¹⁾

COMPOSITE IN BNC 型 (×1)
复合视频, 1 Vp-p ±2 dB 同步负, 75 Ω (自动终端)

Y/C IN 微型 DIN 4 芯型 (×1)

Y (亮度) 1 Vp-p ±2 dB 同步负, 75 Ω 终端

C (色度) 脉冲
0.286 Vp-p ±2 dB (NTSC), 75 Ω 终端

脉冲 0.3 Vp-p ±2 dB (PAL), 75 Ω 终端

AUDIO IN 立体声微型插孔
500m Vrms, 高阻抗

COMPOSITE OUT

BNC 型 (×1) 环通

安全规则 UL 1950, CSA No. 950 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN60 950 (NEMKO), CE, C-Tick

总体

电源 100 至 240 V 交流, 50/60 Hz, 5.4 A 至 2.2 A

电源消耗 490 W

工作条件 温度 0 °C 至 35 °C

湿度 20% 至 90%

(无湿气凝结)

气压 700 至 1060 hPa

贮存 / 搬运条件 温度 -10 °C 至 +40 °C

湿度 20% 至 90%

(无湿气凝结)

气压 720 至 1114 hPa

尺寸 1246 × 755 × 100 mm

(宽 / 高 / 厚, 不包括突出部分)

重量 46.7 kg

1) PFM-50C1E 未配备 VIDEO 连接器。对于 PFM-50C1E, 当显示器安装了 BKM-B10 视频输入转接器 (未附带) 时, 复合视频和 Y/C 输入信号便可输入到显示器。

附件

- 交流电源线 (1)
- 交流插头固定器 (2)
- 电缆夹 A (2)
- 电缆夹 B (6)
- 遥控器 RM-971 (1)
- AA 尺寸 (R6) 电池 (2)
- 使用说明书 (1)

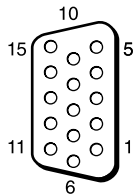
选购件

- 显示器支架 SU-P50C
- 扬声器 SS-SP10A
- 视频输入转接器 BKM-B10
(仅限于 PFM-50C1E)

设计和规格若有变更，恕不另行通知。

管脚配置

RGB/YUV 连接器 (D 副 15 芯)



管脚号	信号
1	红色视频或 R-Y 或 P _R
2	绿色视频或 Y 或绿色同步
3	蓝色视频或 B-Y 或 P _B
4	接地
5	接地
6	红色接地
7	绿色接地
8	蓝色接地
9	未使用
10	接地
11	接地
12	SDA
13	H 同步或复合同步
14	V 同步
15	SCL

<http://www.sony.net/>

Printed on recycled paper

お問い合わせは
「ソニー業務用製品ご相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

Sony Corporation Printed in Japan

Free Manuals Download Website

<http://myh66.com>

<http://usermanuals.us>

<http://www.somanuals.com>

<http://www.4manuals.cc>

<http://www.manual-lib.com>

<http://www.404manual.com>

<http://www.luxmanual.com>

<http://aubethermostatmanual.com>

Golf course search by state

<http://golfingnear.com>

Email search by domain

<http://emailbydomain.com>

Auto manuals search

<http://auto.somanuals.com>

TV manuals search

<http://tv.somanuals.com>